

---

# 博士学位論文

合意形成を目指す会話における不同意表明の  
言語・非言語行動の分析  
——ジェンダーの観点からの日中対照研究——

金沢大学大学院人間社会環境研究科  
人間社会環境学専攻

学籍番号 1721082010  
氏名 趙 東玲  
主任指導教員名 西嶋 義憲 教授



# 目次

<b>第1章 序論</b> .....	<b>1</b>
1.1 研究背景 .....	1
1.1.1 合意形成を目指す会話における不同意表明の特性 .....	1
1.1.2 ジェンダーの観点からの日中対照研究の必要性 .....	4
1.2 研究目的 .....	5
1.3 論文の構成 .....	5
<b>第2章 先行研究</b> .....	<b>7</b>
2.1 本研究に関わる理論的な先行研究 .....	7
2.1.1 会話の構造に関する研究 .....	7
2.1.2 マルチモデル談話分析 .....	10
2.2 合意形成を目指す会話に関する研究 .....	12
2.2.1 会話の構造・合意形成の方法と契機に関する研究 .....	13
2.2.1.1 日本語母語場面における合意形成の会話 .....	13
2.2.1.2 日本語と中国語の対照研究 .....	16
2.2.2 合意形成までの意見表明に注目した研究 .....	16
2.2.2.1 日本語母語場面の研究 .....	16
2.2.2.2 日本語と中国語の対照研究 .....	17
2.2.2.3 接触場面とその他の言語との比較 .....	20
2.3 不同意表明に関する研究 .....	23
2.3.1 不同意表明の発話連鎖と発話構成に注目した研究 .....	23
2.3.2 不同意表明の言語ストラテジーに注目した研究 .....	26
2.3.2.1 日本語母語場面の研究 .....	26
2.3.2.2 日本語と中国語の対照研究 .....	28
2.3.2.3 日本語と他言語の対照研究 .....	30
2.3.3 不同意表明に伴う非言語行動の研究 .....	31
2.4 本章のまとめ .....	32
2.4.1 先行研究の課題 .....	32
2.4.2 本研究の立場と研究課題 .....	34
<b>第3章 研究方法</b> .....	<b>37</b>
3.1 調査概要 .....	37
3.1.1 会話参加者の属性 .....	37
3.1.1.1 日本での調査 .....	37

3.1.1.2 中国での調査.....	38
3.1.2 データ.....	39
3.1.2.1 データの収集.....	39
3.1.2.2 調査の手順.....	40
3.1.2.3 会話内容.....	40
3.1.2.4 会話現場の記録.....	40
3.1.3 音声データの文字化の方法.....	41
<b>3.2 分析の単位.....</b>	<b>42</b>
3.2.1 ターン(発話文)の認定.....	42
3.2.2 発話.....	44
3.2.2.1 発話機能に関する理論的な枠組み.....	44
3.2.2.1.1 move.....	44
3.2.2.1.2 発話機能と発話内行為.....	44
3.2.2.2 本研究における発話機能と発話の分割.....	45
3.2.2.2.1 「発話機能」の設定.....	45
3.2.2.2.2 発話の分割.....	53
<b>3.3 分析の対象としての不同意表明.....</b>	<b>56</b>
3.3.1 用語の定義.....	56
3.3.2 不同意表明の範囲.....	56
3.3.2.1 伝達意図による分類.....	56
3.3.2.1.1 「明示的表明」と「非明示的表明」.....	56
3.3.2.1.2 「明示的表明」の表現方法.....	57
3.3.2.1.3 「非明示的表明」の表現方法.....	58
3.3.2.2 先行発話と不同意表明.....	65
3.3.2.3 発話領域.....	66
<b>3.4 各章の研究方法の概観と統計処理.....</b>	<b>67</b>
<b>第4章 合意に至るまでの会話の全体的な構造.....</b>	<b>68</b>
4.1 はじめに.....	68
4.2 研究課題.....	68
<b>4.3 分析方法と対象.....</b>	<b>68</b>
4.3.1 会話の構成.....	68
4.3.2 本研究の会話の構成.....	69
4.3.2.1 「談話」.....	70
4.3.2.1.1 「意見交換」談話.....	70
4.3.2.1.2 「合意形成」談話.....	72
4.3.2.2 「シーケンス」.....	72
4.3.2.3 「話段」.....	73
4.3.2.2.1 「情報提供」話段.....	73

4.3.2.2.2 「議論」、「回避」、「共感」話段 .....	74
4.3.2.2.3 「誘導」、「調整」話段 .....	76
<b>4.4 「意見交換」談話の展開パターン .....</b>	<b>77</b>
4.4.1 展開パターン1: 「議論→調整」型 .....	78
4.4.1.1 基本型: 「議論→調整」型 .....	78
4.4.1.2 反復型: 「議論→調整→同一話題による議論→調整」型 .....	79
4.4.1.3 新話題型: 「議論→調整→新話題による議論→調整」型 .....	84
4.4.2 展開パターン2: 「議論→誘導」型 .....	85
4.4.2.1 誘導順応型: 「議論→誘導→調整」型 .....	85
4.4.2.2 誘導反復型: 「議論→誘導→議論→誘導→調整」型 .....	87
4.4.3 比較の結果と考察 .....	87
4.4.3.1 「自己主張」の堅持に関する日中母語話者間の異同 .....	87
4.4.3.2 「自己主張」の堅持に関するジェンダー上の特徴 .....	90
<b>4.5 意見調整のパターン .....</b>	<b>91</b>
<b>4.6 本章のまとめ .....</b>	<b>93</b>
<b>第5章 意見対立のシーケンスにおける不同意表明 .....</b>	<b>95</b>
5.1 はじめに .....	95
5.2 研究課題 .....	95
5.3 分析方法 .....	95
5.3.1 分析の対象 .....	95
5.3.2 分析の方法 .....	96
5.4 結果 .....	97
5.4.1 「議論」話段の不同意表明の特徴 .....	97
5.4.1.1 相手の主張(提案)に対する否定 .....	97
5.4.1.1.1 否定集中型 .....	97
5.4.1.1.2 主張否定連続型 .....	99
5.4.1.2 否定に対する反応 .....	102
5.4.1.2.1 意見の対立に対する態度 .....	102
5.4.1.2.2 意見対立の持続状況 .....	103
5.4.1.3 話者同士の相互の不同意表明による「議論」話段の構成 .....	106
5.4.2 「回避」話段の不同意表明 .....	107
5.4.2.1 「回避」話段と意見対立 .....	107
5.4.2.2 「回避」話段の構成 .....	107
5.4.3 「共感」話段の不同意表明 .....	109
5.4.4 意見対立のシーケンスの構造 .....	110
5.5 本章のまとめと考察 .....	111
5.5.1 意見対立をさせる行動に関する日中両言語の比較 .....	111

5.5.2 「議論」話段の不同意表明に関する話者間の比較.....	112
<b>第6章 不同意表明と言語ストラテジー.....</b>	<b>115</b>
6.1 はじめに.....	115
6.2 研究課題.....	115
6.2.1 先行研究との関連.....	115
6.2.2 研究目的と課題.....	115
6.3 研究方法.....	116
6.3.1 対人関係構築に関する理論的な枠組み.....	116
6.3.2 分析の手順と方法.....	117
6.4 全体的な表明傾向の比較.....	123
6.4.1 発話数.....	123
6.4.2 「明示的表明」と「非明示的表明」の使用状況の比較.....	123
6.4.3 「明示的表明」——あからさまに述べるか補償行為を使って述べるか.....	124
6.5 「明示的表明」のストラテジーの使用実態の比較.....	125
6.5.1 「あからさまに述べる」のストラテジー.....	125
6.5.2 「補償行為を伴いながら述べる」のストラテジー.....	126
6.5.3 小括.....	129
6.6 「非明示的表明」のストラテジーの使用実態の比較.....	130
6.6.1 「ストラテジーの型」の使用実態.....	130
6.6.1.1 言語間の比較.....	130
6.6.1.2 話者間の比較.....	131
6.6.2 「明示的表明」の前後に遂行される非明示的なストラテジー.....	132
6.6.2.1 言語間の比較.....	133
6.6.2.2 話者間の比較.....	136
6.7 本章のまとめと考察.....	137
6.7.1 言語間の比較.....	137
6.7.1.1 不同意表明と対人関係の考慮.....	137
6.7.1.2 不同意表明と話者自身のフェイスの考慮.....	138
6.7.2 話者間の比較——「逸脱」行動.....	139
<b>第7章 不同意表明に伴う手の動きと視線行動.....</b>	<b>142</b>
7.1 はじめに.....	142
7.2 研究課題.....	142
7.3 研究方法.....	143
7.3.1 不同意表明発話.....	143
7.3.2 手の動きの検出方法.....	143

7.3.2.1	検出方法	143
7.3.2.2	表出機能	143
7.3.2.3	不同意表明発話に伴った手の動きの表出機能	146
7.3.3	視線の検出方法	147
<b>7.4</b>	<b>手の動きに関する結果と考察</b>	<b>148</b>
7.4.1	手の動きの全体的な表出状況	148
7.4.1.1	手の動きがある不同意表明発話	148
7.4.1.2	発話との対応関係	149
7.4.2	機能別表出	150
7.4.2.1	言語間の比較	150
7.4.2.2	話者間の比較	152
7.4.3	種類別表出	152
7.4.3.1	言語間の比較	152
7.4.3.2	話者間の比較	153
7.4.4	空間別表出	155
7.4.4.1	発話領域と動作の表出空間	155
7.4.4.1.1	不同意表明の発話領域	155
7.4.4.1.2	手の動きの表出空間	156
7.4.4.1.3	発話領域と動作の表出空間の関連	156
7.4.4.2	言語間の比較	156
7.4.4.3	話者間の比較	157
7.4.5	考察—「自己志向」と「他者志向」	158
<b>7.5</b>	<b>視線に関する結果と考察</b>	<b>158</b>
7.5.1	視線行動の表出状況	158
7.5.2	視線行動の影響要素	160
7.5.2.1	話者交替の観点の視線行動	160
7.5.2.1.1	発話終了時の視線「ON」の要因	160
7.5.2.1.2	発話終了時の視線「OFF」の影響要素	161
7.5.2.2	発話志向の観点の視線行動	162
7.5.2.2.1	発話志向	162
7.5.2.2.2	「OFF→OFF」タイプ形成が可能となる要素	163
7.5.2.2.3	「OFF→ON」・「ON→ON」タイプ形成が可能となる要素	164
7.5.2.2.4	「OFF→ON→OFF」タイプ形成の可能な要素	165
7.5.2.3	小括	168
7.5.3	視線行動の表出に関する話者間の比較	168
<b>7.6</b>	<b>手の動きと視線行動</b>	<b>169</b>
<b>7.7</b>	<b>本章のまとめ</b>	<b>171</b>
7.7.1	手の動きに関して	171
7.7.2	視線行動に関して	172
7.7.3	手の動きと視線行動	173

<b>第8章 結論と今後の課題</b> .....	<b>175</b>
<b>8.1 結果と総合的考察</b> .....	<b>175</b>
8.1.1 日中両言語において顕著な差が見られる行動.....	175
8.1.1.1 従来の研究結果と一致する結果が得られたことについて.....	175
8.1.1.2 従来の研究結果と異なる結果が得られたことについて.....	177
8.1.2 顕著な男女差が見られる行動.....	178
8.1.2.1 男女差が見られる行動.....	178
8.1.2.2 「逸脱」行動.....	180
8.1.3 顕著なジェンダー差が見られる行動.....	180
<b>8.2 本研究の意義</b> .....	<b>182</b>
<b>8.3 今後の課題</b> .....	<b>183</b>
<b>謝 辞</b> .....	<b>185</b>
<b>参考文献</b> .....	<b>187</b>
<b>付録</b> .....	<b>198</b>
<付録①> 調査説明・同意書と調査のフェイスシート.....	198
<付録②> 会話資料.....	201
日本人男性会話資料.....	201
日本人女性会話資料.....	247
中国人男性会話資料.....	293
中国人女性会話資料.....	328



## 図表一覧

### 【図】

図 1-1	合意形成を目指す会話の構造(柏崎・足立・福岡(1997:63)による整理)……………	3
図 1-2	意見交換段階の構造イメージ図……………	4
図 2-1	柏崎・足立・福岡(1997:63)「会話の基本的な流れ」……………	13
図 2-2	梶本(2000:226)「自発型の連鎖構造」……………	14
図 2-3	大和(2009)による「会話の流れ」……………	15
図 2-4	不同意の発話連鎖(杉本, 2001:200)……………	24
図 2-5	ターンテッキングパターン I (詹, 2014:31)……………	25
図 2-6	ターンテッキングパターン II (詹, 2014:32)……………	25
図 3-1	データの記録方法……………	41
図 3-2	意見交換のやりとりのパターン……………	65
図 4-1	会話の重層構造のイメージ図……………	69
図 4-2	合意形成を目指す会話の構成と「不同意表明」との関係性……………	69
図 4-3	「基本型」による会話の構造……………	78
図 4-4	「反復型」による会話の構造……………	81
図 4-5	「反復型」としての会話例 4-12 の流れ……………	81
図 4-6	「新話題型」による会話の構造(会話例 4-13 の流れ)……………	84
図 4-7	「1 同 2 異」会話パターンを例とした「誘導順応型」……………	86
図 4-8	「1 同 2 異」会話パターンを例とした「誘導反復型」……………	87
図 4-9	日中母語話者の友人に対する勝負意識……………	89
図 5-1	「否定集中型」に関する話者間の差……………	99
図 5-2	「主張否定連続型」に関する話者間の差……………	100
図 5-3	相手の提案を直ちに否定する行動に関する話者間の差……………	102
図 5-4	意見の対立を際立たせる行動に関する話者間の差……………	103
図 5-5	日本語の「議論」話段の構成特徴……………	106
図 5-6	中国語の「議論」話段の構成特徴……………	107
図 5-7	日本語の意見対立シークエンスの構造……………	111
図 5-8	中国語の意見対立シークエンスの構造……………	111
図 5-9	不同意表明の相互行為に見られた男女行動様式の差異……………	113
図 6-1	FTA に関する可能なボライトネス・ストラテジー……………	115
図 6-2	不同意表明のストラテジーの分類構造図……………	116
図 6-3	不同意の明示か非明示かの表明状況に関する言語間の比較……………	122
図 6-4	明示か非明示かの表明状況に関する話者間の比較……………	123
図 6-5	日本語の「明示的表明」の下位ストラテジーの使用……………	123
図 6-6	中国語の「明示的表明」の下位ストラテジーの使用……………	123
図 6-7	「明示的表明」のストラテジーに関する話者間の比較……………	124
図 6-8	「あからさまに述べる」のストラテジーの話者別の使用実態……………	124
図 6-9	補償行為の使用に関する話者間の差……………	128

図 6-10 「非明示的表明」の型の使用に関する話者間の差	131
図 6-11 「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの話者間の比較	136
図 6-12 「言語間の比較と同じ傾向を示す行動」の例	139
図 6-13 「逸脱」行動の例	139
図 7-1 手の動きがある不同意表明行為に関する話者間の差	148
図 7-2 手の動きとの対応関係の不同意表明行為に関する話者間の差	149
図 7-3 会話例 7-7 の「態度の補助」機能の実例	150
図 7-4 機能別表出による不同意表明行為の話者間の差	151
図 7-5 「指す」動作の表出に関する話者間の差	154
図 7-6 「叩く」動作の表出に関する話者間の差	154
図 7-7 「動かす」動作の表出に関する話者間の差	154
図 7-8 手の動きの表出空間	155
図 7-9 「相手空間」侵入に関する話者間の比較	156
図 7-10 有意差がある視線行動タイプの話者間の比較	168
図 7-11 挑戦を示す不同意表明行為の話者間の比較	170
図 8-1 話者同士の意見表明行動の対人距離	178

【表】

表 2-1 電話会話の終了部の構造と表現(小野寺, 1992)	9
表 2-2 誘いの会話の展開構造(中井, 2017)	9
表 2-3 李(2001)「意見表明発話(ターン)の構成」	21
表 2-4 金(2015)による接触場面における不同意表明時の配慮行動	27
表 3-1 日本語母語話者の属性(男性)	37
表 3-2 日本語母語話者の属性(女性)	37
表 3-3 中国語母語話者の属性(男性)	38
表 3-4 中国語母語話者の属性(女性)	39
表 3-5 <伝達の内容・姿勢>の面からの「発話機能」の特徴分析(国立国語研究所, 1994)	46
表 3-6 「意見交渉」発話と対応する発話機能	47
表 3-7 合意形成を目指す会話における発話全体の発話機能	48
表 3-8 TCU の境界(榎本, 2008)	54
表 3-9 接続詞の 6 分類(永野, 1958)	54
表 3-10 発話領域による不同意表明の分類	67
表 3-11 課題解明の研究方法一覧表	67
表 4-1 「意見交換」談話の構造パターン	88
表 4-2 「意見交換」談話の構造パターンの話者別の内訳	90
表 4-3 意見調整パターン	92
表 4-4 意見調整パターンの話者別の内訳	92
表 4-5 会話の全体的な構造に関する分析の結果	94
表 5-1 「意見交渉」発話の発話類型	96
表 5-2 発話の分類(木山, 2001)	96

表 5-3	1つのターンのうちに複数の発話②が内包される内訳	99
表 5-4	否定行動の連続の状況	100
表 5-5	否定行動の連続に関する話者別の内訳	100
表 5-6	否定行動の出し方	102
表 5-7	否定行動の出し方に関する話者別の内訳	102
表 5-8	否定に対する反応	102
表 5-9	否定に対する反応の話者別の内訳	103
表 5-10	「②→①」の後続発話	104
表 5-11	意見の対立を続ける行動の連鎖	104
表 5-12	「②→①」の後続発話の話者別の内訳	104
表 5-13	意見の対立を続ける行動の連鎖の話者別の内訳	104
表 5-14	「回避」話段の構成	109
表 5-15	不同意表明に関する話者同士の相互行為	112
表 6-1	不同意表明のストラテジー	117
表 6-2	「明示的表明」のストラテジーの説明例	120
表 6-3	不同意表明の発話数	122
表 6-4	B&L (1987) に示した FTA をあからさまに行う可能の場合	125
表 6-5	「明示的表明」の補償行為の使用状況	126
表 6-6	「明示的表明」の配慮ストラテジーの話者別の内訳 (日本語)	127
表 6-7	「明示的表明」の配慮ストラテジーの話者別の内訳 (中国語)	127
表 6-8	CM と CF のポジティブ・ストラテジーの残差分析の結果	128
表 6-9	「非明示的表明」のストラテジーの使用実態	129
表 6-10	「非明示的表明」のストラテジーの残差分析の結果 (言語間の比較)	130
表 6-11	「非明示的表明」のストラテジーの残差分析の結果 (話者間の比較)	130
表 6-12	「明示的表明」の前後に遂行される非明示的なストラテジーの回数と頻度	132
表 6-13	「明示的表明」の前の非明示的なストラテジーの残差分析の結果	133
表 6-14	「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの残差分析の結果	134
表 6-15	「明示的表明」の前後に遂行される非明示的なストラテジーの働き	134
表 6-16	「明示的表明」の前の非明示的なストラテジーの話者別の内訳	135
表 6-17	「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの話者別の内訳	135
表 6-18	「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの残差分析の結果	135
表 7-1	不同意表明発話の発話数	142
表 7-2	手の動きの説明	143
表 7-3	意見表明発話に伴う手の動きの表出機能	143
表 7-4	不同意表明に伴う手の動きの機能	146
表 7-5	視線行動タイプの分類	146
表 7-6	手の動きがある不同意表明行為の発話	147
表 7-7	話者別の手の動きを伴う不同意表明行為の発話	148
表 7-8	手の動きとの対応関係の不同意表明行為の発話	149
表 7-9	話者別の手の動きとの対応関係の不同意表明行為の発話	149
表 7-10	手の動きの機能別表出	150
表 7-11	話者別の手の動きの機能別表出	151

表 7-12	種類別の手の動きの使用状況	152
表 7-13	「明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果	152
表 7-14	「非明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果	153
表 7-15	手の動きの使用回数と残差分析の結果（話者間の比較）	153
表 7-16	「明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果	153
表 7-17	「非明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果	153
表 7-18	手の動きの空間別の表出状況	156
表 7-19	手の動きの種類別と空間別の対応表出状況	156
表 7-20	手の動きの空間別の表出回数と残差分析の結果	156
表 7-21	不同意表明発話における視線行動のタイプの表出状況	158
表 7-22	日・中言語それぞれ上位 3 位の視線行動に関する残差分析の結果	158
表 7-23	不同意表明発話の発話終了時の視線行動	158
表 7-24	「共通認識喚起」ストラテジーの発話末の視線行動	160
表 7-25	「意見の不完全叙述」ストラテジーの発話末の視線行動	160
表 7-26	「発話志向」の分類基準	162
表 7-27	「叙述志向」の視線配布	163
表 7-28	「感情表出志向」の「OFF→ON」タイプ	163
表 7-29	「OFF→ON→OFF」タイプの影響要素と残差分析の結果	166
表 7-30	話者間の視線行動タイプの分布と残差分析の結果	167
表 7-31	日本語における挑戦を示す不同意表明行為	169
表 7-32	中国語における挑戦を示す不同意表明行為	169
表 7-33	挑戦を示す不同意表明行為の話者別の内訳	169
表 8-1	不同意表明の諸行動に表現された距離感と親密さ	176
表 8-2	「逸脱」行動	179
表 8-3	共感表明の内訳	182

# 第1章 序論

## 1.1 研究背景

### 1.1.1 合意形成を目指す会話における不同意表明の特性

話者同士がお互いに異なる意見を持って会話に参加する討論場面において、不同意表明行動には「話者自身の目的の達成と対人関係の配慮」、「発話意図の言語表現による伝達と会話の流れによる伝達」、「言語手段による伝達と非言語手段による伝達」といった、対立しあいながらも共存する異なる指向性が存在する。

まず、「話者自身の目的の達成と対人関係の配慮」という指向性に関しては、話者各自が自分の意見を合意案にさせようとする自己中心的な目的を持つと同時に、それぞれ持っている異なる意見を話し合いにより調整して、より合理的な合意案を選択するという協働的な目的もある。では、合意案の形成に至るまで「話者自身の自己中心的な目的」の達成と「対人関係」の配慮にどのようにバランスをとっているのだろうか。例えば、次の会話例 1-1 において、話者双方がお互いに相手の提案を擁護している(ターン 52 とターン 54)。

会話例 1-1:

(話者 A の提案「服」と話者 B の提案「食べ物」についてのやりとり)

50 JM09B で、難民…

51 <3 秒>

52 JM09A やっぱ食べ物か?

53 <4 秒>

54 JM09B 衣服か?

55 JM09A 衣服か、食べ物かって感じやろ

56 JM09B まあ、冬やったら、衣服かもしれんな(うん)寒いしな

57 <3 秒>

58 JM09A うーん

このような発話が対人関係を優先して発されたように見えるが、そうではない可能性もある。なぜなら、相手の提案を擁護する際に、ためらいを示す 3 秒以上の沈黙と、不確定の「か」、「まあ」、「かもしれん」の使用によって納得していない気持ちが読み取れるからである。そのため、相手からの肯定をお互いに受け入れず、「服」と「食べ物」のいずれもが合意案に向けて進まず、意見対立の状態が続いている。言い換えると、この断片における話者同士は、対人関係の維持を考慮しながら自己中心的な目的を達成しようとバランスをとっている。

それに対し、会話例 1-2 において、中国語母語話者は、話者自己中心的な目的の達成ばかりを考慮している。このように意見表明する場合、対話者との対人関係はどのように良好に維持されるのだろうか。

会話例 1-2:

24 CF01A 农村肯定不缺水吧。(農村だったら、水足りないのはありえないでしょ。)

- 
- 25 CF01B 但是他们的水，就是肯定水源不是，有些可能不是很好，或者有些就是被污染的。  
(でも彼らの水は、きっと水源が良くないものとか、あるいは、汚染されているものとかがある。)
- 26 CF01A 不是啊，你不知道农村吧。就是他们那儿有井水。  
(いや、あなたは農村のことはよくわからないだろ。彼らのところには井戸水がある。)
- 27 CF01B 我知道井水，就是，比如说我们那种农村就是井水也是，就是，已经被污染了。然后就是，然后就是政府又出钱弄的，就是，自来水，就是每家每户装了自来水管，就是井水已经喝不了。  
(井戸水はわかるけど、例えば私の農村の井戸水はすでに汚染されていて、それから、政府に出資してもらって、家ごとに水道を取り付けたので、井戸水はもう飲めなくなっている。)
- 

対人関係の維持については、2つの考え方がある。その1つはBrown & Levinson (1987)のポライトネス理論によるものである。不同意表明行動の対人関係の維持について、ポライトネス理論の観点から捉える研究が少なくない(堀田, 2014, 2017; 王, 2013; 趙 2018a等)。Brown & Levinson (1987)のポライトネス理論によれば、不同意表明は相手のポジティブ・フェイス<sup>1</sup>を脅かす行為である。そのため、相手のポジティブ・フェイスに配慮した適切な言語表現による表明が重要となる。もう1つの考え方に基づく言語行動として、言語表現に何の緩和策も施さないあからさまな不同意表明もある。ある文化においてあからさまなやり方も配慮行動として成り立つと指摘されている。例えば、生越(2012)によると、韓国では親しい相手が自分のものを使うとき、自分に何も言わずに使っても問題ない。むしろ、言わないほうが自然である。そういう行為が、コミュニケーション双方の親しさを確認することになるため、韓国の親しい間柄では対人配慮行動の1つと捉えることができるという。しかし、同様の行為を日本で行えば不愉快に感じる可能性が高いだろう。つまり、何をすれば対人関係の考慮になるのかは各々の文化によって異なる。したがって、言語行動上の対人関係の考慮は、井出・植野(2012)が指摘しているように、敬語表現やぼかし表現等の言語表現の運用レベルにとどまらず、社会制度や生活慣習などの言語外の条件による制約も含んでいる。これにより、言語表現の運用レベルの対人関係の考慮と文化的な制約条件の対人関係の考慮は、それぞれ「ミクロ」と「マクロ」として捉えることができる。言語行動は、言語表現そのものを分析しても、その特徴を適切に捉えることができないので、「マクロ」レベルの配慮も視野に入れて研究する必要がある。

次に、「発話意図の言語表現による伝達と会話の流れによる伝達」という指向性である。前述したように、対話者のフェイスを侵害する恐れがある言語行動をとるにあたっては、良好な人間関係の維持を考慮したうえで、適切な対人関係行動をするのが不可欠である。ここでいう適切な対人関係行動は、個々の発話の言語表現に限らず、会話の流れにおける発話の位置づけからも見られる。しかし、日中両言語の様々な言語行動を分析した従来の研究はもっぱら言語表現に注目するものが多い。それらの研究結果では、日本語母語話者は間接的な言い回しを好む「他者配慮」、中国語母語話者は直接的な言い回しを好む「自

---

<sup>1</sup> B&L(1987)のポライトネス理論によれば、人間には、他人に正しく評価されたい、認められたいという欲求である「ポジティブ・フェイス(positive face)」と、自分の行動や領域を侵害されたくないという欲求である「ネガティブ・フェイス(negative face)」という2種類のフェイスがある。

己中心」の傾向が明らかにされてきた(李, 2001; 楊, 2009; 王, 2013; 陳, 2014; 楊, 2015; 趙, 2012; 黃, 2015, 2016; 高, 2020 等)。不同意を伝える場合に使われた間接的な言い回しは、相手が傷つくのを軽減するという側面から、良い対人関係を維持するための「他者配慮」の手段として捉えることができる。他方、間接的な言い回しは、実は話者が本当に伝えようとする気持ちを相手に察してもらうための行動だと言える。話者がこのような行動を通して伝えようとする本当の意図は、その発話の前後の文脈から切り離されると正確に捉えられなくなる可能性が高くなる。例えば、上で挙げた会話例 1-1 における相手の提案を擁護する発話群(ターン 51-58)と、次の会話例 1-3 における明確な意見を出さない発話群(ターン 68-73)は、話者自身の主張を堅持するための行動、つまり、「自己中心」を行動の基準として行われたものと見ることもできる。

会話例 1-3 :

(話者双方の提案「飲み物」と「布団」についての話し合い)

- 
- 68 JF01A どの、状況ね(うんうん)、どうしようか  
 69 JF01B どっちだろう  
 70 <5 秒>  
 71 JF01A 分からない(hhhhh)わからんな<hhhh>  
 72 JF01B どっちもどちな気がするな  
 73 JF01A うん、どうしようか[v]
- 

このことから、対人関係行動は言語表現の分析のみからは適切に捉えることができないことが分かる。伝えようとする本当の意図は談話の文脈に潜んでいる場合があるからである。そのため、対人関係行動を会話の構造から適切に捉えることが期待される。

ある目的を持って行われる談話の全体的な構造は一般に、「開始部」・「主要部」・「終了部」の 3 つの部分から成っていると考えられているが、談話の種類や状況によってそれぞれの部分をなす構成要素には違いがある。そのような会話の局所的な構造を「話段」の概念を用いて分析する研究がある(ザトラウスキー, 1993)。ザトラウスキー(1993)の研究以降、「依頼」(猪崎 2000)、「相談」(鈴木 2002, 2007)、「助言」(高橋 2016)、「討論」(柏崎・足立・福岡 1997, 梶本 2000, 寅丸 2006)などのように、ある明確な目的に向かって談話を遂行する会話が研究され、各々の会話の局所的な構造に見られる「談話型」が明らかにされてきた。しかし、合意形成を目指す会話の構造は、図 1-1 のように、意見交換段階の構造が明らかにされず、ただ「提案→提案応答」で簡単に触れているにとどまっている。

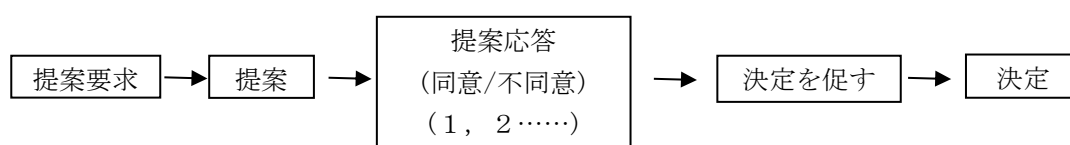


図 1-1 合意形成を目指す会話の構造(柏崎・足立・福岡(1997:63)による整理)

その上、大和(2009)、星野(2010)で指摘された意見交換段階の発話連鎖と、木山(2001)、李・松崎(2009)で分類された意見表明発話の種類を加えると、つぎの図 1-2 のように、より完全に近い会話構造のイメージ図が想像できるが、そこまで解明した研究が見当たらない。

い。

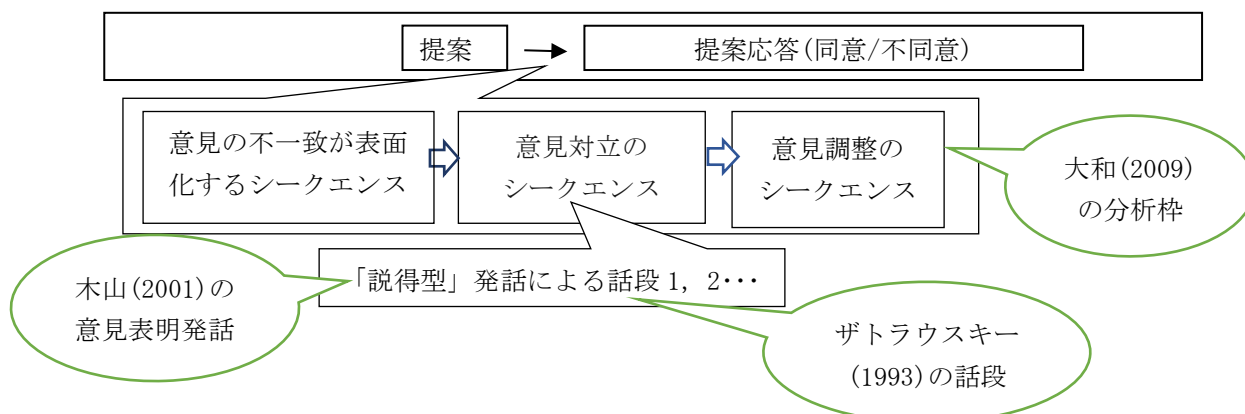


図 1-2 意見交換段階の構造イメージ図

最後は、「言語手段による伝達と非言語手段による伝達」の指向性である。コミュニケーションとは言語だけで行うものではない。石井・久米(2013)によれば、コミュニケーションとは「人が、物理的及び社会文化的環境・コンテクストの影響を受けながら、他者と言語及び非言語メッセージを授受・交換することによって、認知的及び情意的な意味づけをする動的な活動過程である」(p. 20)と定義されている。したがって、言語使用の面に限らず、非言語行動の究明は特に対面コミュニケーションの理解を深めることができると、多くの先行研究が指摘している(伊藤, 1991; 片桐, 1998 等)。意見表明場面の非言語行動に対する分析の中で、対人配慮と関わる笑い・うなずき(法, 2011)、ないし手の身振り(ザトラウスキー, 2012)に注目した研究が見られる。しかし、言語による態度の伝達を補強したり、補助したりするという情報や意図の伝達に役立つものに対する分析が少ない。

### 1.1.2 ジェンダーの観点からの日中対照研究の必要性

本研究では、まず、日本語と中国語の比較を通して、言語文化による相違点と類似点を明らかにしたい。グローバル化が進む今日、異なる文化的背景を持った人々の接触が頻繁となり、異文化間のコミュニケーションにおける摩擦や誤解が避けられなくなっている。「意見表明」に関して、印象深いのは、梶原(2003)の研究結果である。梶原(2003)は、日本人学生との交流活動に参加する留学生(そのうち90%が中国人)の意見の述べ方が、日本人学生に「直接的な表現や自己主張が強くて少し怖い」(p. 93)という印象を与えるとして、接触場面の日・中コミュニケーション上の問題を指摘している(倉田・楊, 2010: 158; 楊, 2015: 87)。接触場面の中国人が「直接的な表現」で意見を表明する一要因として、無意識に行っているコミュニケーションのやり方、つまりコミュニケーション・スタイルの違いが挙げられる。井上(2015)によれば、言語の対照研究を通じて、それぞれの社会現象のあり方をより明確に説明することができるという。そのため、異なる文化的背景を有する人たちのインタラクションにおいて、それぞれの文化的な特徴や差異を明らかにするには、言語行動に対する対照分析が必要となる。つまり、言語使用の面で相違を明らかにすることは異文化間のコミュニケーション・スタイルを理解する第一歩になると考えられる。



---

そのうえ、ジェンダーの観点から分析することも異文化間コミュニケーションの理解にさらに役立つ可能性があると思われる。日本と中国が東アジア圏という比較的似ている文化的背景を持っているため、男性同士と女性同士はそれぞれコミュニケーション上に大きな相違が見られないと予想されるが、実際は違いがある可能性がある。そのような可能性を考慮しなければミスコミュニケーションを避けることができないだろう。ミルズ (2006) によると、言語とジェンダーの関係を探った多くの研究では、ジェンダー差は多くの言語・文化で同様な特徴を見せることが報告されているという。宇佐美(2006)は、言語や文化が異なっても、女性は男性に比べ、柔らかく、丁寧に、あまり断定しないで、同意を求めるような話し方をすると指摘しており、多くの文化圏で、少なくとも表面上の言語行動を捉えた範囲では、女性は男性より、より丁寧・ポライトであると述べている。この結果は日韓両言語の男女間の「同意・共感」表明を考察した陳(2013)と張(2016)で確認されている。しかし、日中両言語の「不同意表明」を考察した王(2013)ではその結果が確認できずに、日中両言語とも多くの場面において大きな男女差は見られないと指摘している。これらの研究は局所的な分析を基準にしているため、その妥当性を適切に評価することができない。

## 1.2 研究目的

上述の議論に基づき、本研究の目的を設定する。以下の4点について、日中両母語話者それぞれ同性の友人同士の会話において、どのような特徴が観察されるのか、また、観察された母語話者一般の特徴を男女に分けて別々見ると、ジェンダーにどのような特徴が観察されるのかを明らかにすることが本研究の目的である。

- (1) 合意に至るまでの会話の全体像はいかなるものであるか。適切な対人関係行動は会話の構造においてどのように捉えるのか。
- (2) 合意に達するまでの会話の展開に、話者同士間の相互行為による不同意表明の仕方にどのような特徴があるのか。
- (3) 話者自身の自己中心的な目的を達成するためには相手に異なる意見を表明する必要があるが、その際、どのような配慮行動が観察されるのか。
- (4) 不同意表明の言語行動に伴う非言語行動は、その振る舞いと機能にどのような特徴が観察されるのか。

本研究はある特定の社会的関係にある話者間の対人行動の規則性を導き出そうとする日中対照研究の一環として、初めて言語と非言語の両面、及びジェンダーの観点から合意形成を目指す討論談話の意見表明の諸相を究明するものである。その成果は、日本語や中国語を外国語として学習させる言語教育に応用可能な資料を提供することが期待される。

## 1.3 論文の構成

本論文は8章からなる。

本章が第1章である。ここでは、本研究の研究背景、研究方法と目的を述べた。

第2章では、先行研究を概観することにより、本研究に残された課題及び本研究の立場

---

を明らかにする。先行研究を、合意形成を目指す会話の構造研究、結論が生成されるまでの意見表明に関する研究、及び不同意表明に関する対人配慮と非言語の側面からの研究の3つの側面から概観する。

第3章では、調査の概要と分析の枠組みについて述べる。調査の概要に、調査の手順、会話の内容、会話現場の記録と文字化の方法について説明する。分析の枠組みに、分析の単位である「ターン」と「発話」の認定と分割について述べる上、本研究の分析の対象である不同意表明の各側面を紹介する。

第4章～第7章では、資料の分析結果を述べる。

第4章では、まず会話の構成と不同意表明との関係性を明らかにする。そして、「意見交換」談話に注目し、合意案の形成に至るまでの全体のプロセスと、合意案の形成の契機の2つの側面から合意に至るまでの会話の全体像を分析する。そこに見られた言語間及びジェンダー間の特徴を明らかにする。

第5章では、「議論」話段、「回避」話段と「共感」話段の発話構成に注目し、不同意表明に関する話者双方の相互行為によってどのような対立の局面が形成されるのかを言語間及びジェンダー間の特徴を明らかにする。

第6章では、1人の話者の不同意表明発話に焦点を当て、不同意表明の仕方とそこに構築される対人関係について論じる。具体的には明示と非明示な不同意表明に使われるストラテジーと、「非明示的な不同意表明」の「明示的な不同意表明」の前後における役割の3つの側面から論じる。そして、そこに見られる言語間及びジェンダー間の特徴を明らかにする。

第7章では、不同意表明発話に伴う手の動きと視線行動の役割を明らかにする。まず、手の動きについては、主として機能別、種類別、空間別の表出に関する言語間及びジェンダー間の特徴を明らかにする。次に、視線行動については、まず視線行動の全体的な表出状況を明らかにする。そして、視線行動に影響可能な要素について「話者交替」と「発話志向」の観点から分析を行い、言語間及びジェンダー間の特徴を明らかにする。最後に、手の動き・視線行動と不同意表明発話の3要素の組み合わせによる会話上の役割について論じ、言語間及びジェンダー間の特徴を明らかにする。

第8章では、総括として、第4章から第7章までの研究結果をまとめ、包括的な考察を行う。最後に、本研究の意義と今後の課題を述べる。

---

## 第2章 先行研究

本研究の主な課題は、異文化理解を促す言語行動の分析として、不同意表明をどのように体系的に扱うことが可能であるかを、合意形成を目指す会話の分析を通して考察することにある。

ある特定の言語行為について会話分析で立てる問いとしては、どのような会話上の位置で行っているのか、どんな発話の構成であるのか、そしてその行為がいかんして適切な振る舞いになっているのかということに関しては Pomerantz & Fehr (2011) で述べられている。その中で、会話上の位置、つまり、「なぜ今ここでその発話がなされるのか」の解明は会話を構造的な観点から分析し、その発話の合理性や適切性、及び会話の規則を明らかにすることである。発話の構成と適切な振る舞いには「伝達と配慮」という意味付けがある。そのうえ、近年、会話分析の領域において言語行為の理解を促すことができる非言語行為を対象とした研究が多くなり、マルチモーダル的なアプローチが増えつつある。

そこで、まず、2.1 では、本研究に関わる理論的な先行研究として、会話の構造に対する分析の先行研究と、マルチモーダルな視点からの分析を概観する。その次、2.2 では合意形成を目指す会話の構造、合意形成の方法と契機、及び結論が生成されるまでの意見表明に関する研究の成果と問題点の指摘を行う。2.3 では、不同意表明に注目し、不同意表明の出し方、発話の構成、言語と非言語的ストラテジーを扱った先行研究を挙げ、2.4 では本研究の位置づけを探してみる。

### 2.1 本研究に関わる理論的な先行研究

#### 2.1.1 会話の構造に関する研究

会話には一定の枠組みがある。言語行為の成立は会話のやりとりと密接に結びつく場合が多いため、言語行為の理解のために、会話の構造に対する分析が欠くべからざるものだと言える。Levinson (1983) によると、会話の線条的構造における相互関連的な特質とその流れがどのように作り上げられているかを発見しようとするのは、会話分析の目的の一つであるという。会話の構造は大雑把に「局所的構造」と「全体的構造」の2区分にできるが、「局所的構造」にはいくつかのレベルが存在する。2つの「ターン」の間に決められたものとして「話者交替」や「隣接ペア」があり、2つ以上の「ターン」からなる一まとまりの「発話の連鎖構造」もある。さらに連鎖構造と連鎖構造の関係を結びつくことができる「談話」(南, 1983) というレベルも存在する。

「話者交替」の先行研究としては、Sacks, Schegloff & Jefferson (1974) が挙げられる。Sacks, Schegloff & Jefferson (1974) は発言権の移行が生じやすい言語形式上の位置を適切移行箇所(Transition Relevant Place: TRP)と規定し、その概念を使用し、「話者交替のルール」<sup>2</sup>を提示している。そのほか、話者交替と関わる、発話権の移行が生じやすい言語

---

<sup>2</sup> [ルール I] すべての交替の最初の TRP で適用する。

(a) 現在の話し手が、次の話し手を指名した場合、現在の話し手は話すのを止め、次の話し手が次に話すことになる。

(b) 現在の話し手が次の話し手を指名しない場合、最初に話した人が発話限を得る。

---

形式や非言語の合図も考察されている。「申し出」や「要求」のような上昇調の疑問文に呼びかけ言葉・命令文などは強い TRP となり (Sacks, Schegloff & Jefferson, 1974)、視線や頭の振りなどは話者交替に影響を与えている (Kendon, 1967 ; Duncan, 1974) などでの考えがあった。

そして、「隣接ペア」とは、Schegloff and Sacks (1973) で指摘された概念で、挨拶—挨拶、質問—答えのような、やり取りの基本単位となる発話機能を持つペアである。また、隣接ペアとされる発話連鎖について以下の条件をまとめている (Levinson, 1983:303-304)。

- (i) 隣接している
- (ii) それぞれが異なる話し手によって発せられる
- (iii) 第 1 発話、第 2 発話という順序で現れる
- (iv) 特定の第 1 部分が特定の第 2 部分を要求する

隣接ペアはお互いに隣接しているというのは原則としている。しかし、質問に更なる質問が続き、2 番目の質問への答えの後に最初の質問への答えがなされるという入れ子型 (熊谷, 2016) の場合がある。

この「入れ子型」の発話は厳密的に隣接ペアとして扱わずに、「挿入発話連鎖」とする研究があった (ザトラウスキー, 1993 ; 深澤, 1999 等)。それに対応して「先行発話連鎖」も成立されている。例えばペンを借りる場合では、以下の例のように、依頼と承諾という隣接ペアに先行する依頼先行発話 (ペンがある?) と、それに対する応答発話「うん」からなる発話ペア (ないしそれらよりもっと長い発話群) のことを「先行発話連鎖」とされている (ザトラウスキー, 1993 ; 梶本, 2000 など)。このように会話のやりとりにおける「位置 1」から「位置 4」までの発話による行為の連鎖のことを連鎖構造と呼ばれている。

<例> : 依頼行為の連鎖構造

位置 1	: 依頼先行発話	A: ペンがある?
位置 2	: 先行発話に対する応答	B: うん
位置 3	: 依頼	A: 貸して
位置 4	: 承諾	B: どうぞ

以上の行為連鎖の構造を、ザトラウスキーはさらに参加者の「談話」の目的によって区分し、「話段」という概念を提示した。ザトラウスキー (1993) では勧誘の談話を取り上げ、勧誘の談話の連鎖の構造が「勧誘の話段」と「勧誘応答の話段」に分類し、一つの談話の中に「勧誘の話段」と「勧誘応答の話段」を複数重ねて作り上げる現象を構造的に捉えた。

ザトラウスキーが会話を構造的に捉える出発点は、日本語教育の視点から会話の構造の研究の必要性を唱えている (ザトラウスキー, 1986a, 1986b, 1987) ということになる。ザトラウスキー (1986a, 1986b, 1987) では、日本語教育における文型中心の授業方法に対し、実際の話し言葉の分析に基づく「談話型」<sup>3</sup> を教える必要があることを、勧誘の会話の分析を通して主張している。そのため、ザトラウスキー (1993) では、電話における「勧誘の談話」について、会話の構造の「局部的仕組み」と「全体的構造」の側面から「談話」の展

---

(c) (a) 乃至 (b) がいない場合、現在の話し手が必ずではないが、話し続ける。

[ルール II] 2 番目以降の TRP で適用する。

現在の話し手によって、[ルール I] (c) が適用された場合、次の TRP で [ルール I] (a) (b) (c) が適用される。このようにして、話し手が交替するまで繰り返される。

<sup>3</sup> 『日本語でビジネス会話 中級編』(1996 : v) では、「談話型」について、ある場面・状況での話の流れの中から取り出した話のまとまりをパターン化したものであると述べられている。

開の仕方を分析した。

「話段」を用いて会話の連鎖構造を扱う研究は、ザトラウスキー(1993)の以降、誘い(中井 2017)、依頼(猪崎 2000)、相談(鈴木 2002、2007)、助言(高橋 2016)、討論(柏崎・足立・福岡 1997、梶本 2000、寅丸 2006)など様々であり、ある明確な目的に向かって談話を遂行する会話に広がり、各々の会話の局所的な構造に見られる「談話型」が明らかになった。

対照研究の中では、ザトラウスキー(1993)の分析方法を援用する研究も少なくない。「誘い」談話に関する日中対照分析(黄, 2015、2016)、日韓対照分析(鄭, 2009、2010)や、依頼談話に関する日中対照分析(李, 2002)、日韓対照分析(柳, 2012)、反対意見表明談話に関する日韓対照分析(李, 2001)が挙げられる。

一方、ザトラウスキー(1993)では勧誘の談話の「全体的構造」について、「全体的構造」は「開始部」・「第 1 話題」とそれを受け継ぐ「話題の連鎖」・「終了部」によって組み立てられ、電話の会話を例にして説明した。このように、「開始部—主要部—終了部」という会話の全体構造を包括的に分析する研究は、電話の会話を対象とする研究が多い(橋内 1985、岡本 1990、小野寺 1992 など)。これらの研究では、電話会話の開始部と終了部の構造や典型的な表現、日本語としての特徴などが明らかにされている。その中で、小野寺(1992)では、終了部の構造と表現について、終了部は、前終結、人間関係の再確認、終結の 3 つの部分になっているとした(表 2-1)。

表 2-1 電話会話の終了部の構造と表現(小野寺, 1992)

(1) 前終結
「じゃあ」、「それじゃ」
(2) 人間関係の再確認
1. 「じゃまた」—「また」(慣用的隣接ペア)
2. 「よろしくお願いします」(常套語)
3. 「ありがとうございました。」(感謝)
(3) 終結
「ごめんくださいませ」—「ごめんくださいませ」、 「失礼いたしました」—「失礼いたしました」(謝り)

表 2-2 誘いの会話の展開構造(中井, 2017)

誘いの会話の展開構造の各段階		定義
開始部	挨拶・雑談部	会話を開始する挨拶や雑談などを行う段階
主要部	先行部	誘いの予告や、会話時間の有無を確認する段階
	誘い部	
	勧誘部	誘いの表現を用いて誘う段階
	事情説明部	誘いに至ったきっかけや事情を説明したり、確認
	事情確認部	したりする段階
	都合確認部	誘いの日時や場所が適当か確認する段階
	承諾部	誘いを受け入れる段階
	断り・弁明部	誘いを断る。また、その理由を述べる段階
	相談部	会合場所・時間の決定を行う段階
	終結部	
	前終結部	誘いの会話の終結を示唆し、それに同意する段階
	関係再確認部	今後の良好な関係の継続をお互いに確認しあう段階(感謝、謝罪、将来の接触への言及など)
終了部	別れの挨拶部	会話を終わらせて別れるための挨拶を行う段階

---

小野寺(1992)の研究結果と異なり、中井(2017)では「前終結」と「人間関係の再確認」は「終了部」ではなく、誘いの会話の展開構造の「主要部」に分類されている(表 2-2)。誘いのような目的の明確な会話の場合、その目的が達成される時点に一回終了する行動を行い、会話を終わらせる終了部に至ると考えられる。

以上で述べたように、会話の全体構造を分析する研究や、「話段」の概念を用いた分析のような大まかな会話の流れを扱うもの、さらに「話段」の構造をより解明するために隣接ペアを基本とする発話と発話の連鎖に注目する研究など、研究によって扱う構造のレベルは様々である。これらの会話の構造の研究では会話を相互行為と見なし、一つ一つの発話のコミュニケーション上の機能を分析して、発話の連なりを明らかにするという方法が取られる(筒井, 2012:5)。

### 2.1.2 マルチモダール談話分析

人々が日常的なコミュニケーションの中で、視線、ジェスチャー、うなずき、顔の表情といった非言語行動を使い、言語とともに様々な情報や意図を表現したり、対人関係の構築や維持をしたりしている。非言語行動を分析することは自然なインタラクションの理解のために必要とされ(Kendon, 1970; Goodwin, 1981; 林, 1973; 南, 1979; 伊藤, 1991; 片桐, 1998 等)、言語と非言語のチャンネル間の結合関係について Kendon(1980)はマルチモダール(multi-modality)性の考え方を提唱している。

非言語行動の研究は1960年代から本格的に始まった(Davis, 1979; 伊藤, 1991)が、最初の研究は非言語行動を言語行動とは引き離し、非言語行動単独を対象としてコミュニケーション上の役割や機能を議論する研究が一般的であった。それは、Birdshistell(1970)の kinesics(身体動作学)、Hall(1963, 1966)の proxemics(近接空間学・距離論)のような心理学、社会学、人類学などの研究領域からの関心が高まっている(伊藤, 1991; 坊農, 2008; 施, 2017)ためである。

こういった言語学と隣接した研究領域の成果に踏まれ、Kendon は発話中のジェスチャーに着目し始め、会話の発話とともに産出されたジェスチャーの構造の側面を分析した。Kendon(1967, 1980, 1990)では身体の向きや眉の動き、腕の動き、手の動きなどの身体動作(非言語行動<sup>4</sup>)の変化の点を時間軸上に並べ、同時に変化する箇所は会話構造・談話構造上の何らかの変化が起こっているかについて分析している。Kendon の一連の分析(Kendon, 2004 も含む)のほか、会話におけるジェスチャーの時間構造を分析した研究は Schegloff(1984)も挙げられる。これらの研究では話し手の発話と話し手自身の動作との関係が論じられるのは共通している。

一方、会話における聞き手の非言語行動(身体動作や視線移動)に着目し、話し手の発話をどう理解するかということをも身体動作や視線でどう表現するのか、会話の構造にどのような影響を与えているのかを明らかにしてきた研究も見られた(Heath, 1986; Goodwin, 2009)。

またこれらの研究では、視線行動が身体動作と同時に分析対象になっており、それらの相互的な関係性はダイナミックに捉えられている。

---

<sup>4</sup>原稿では「non-verbal behavior」では「body motion」という術語を用いている。

---

視線行動については、話者交替を引き起こす要因の研究として始められた(深澤, 1999)。例えば、Kendon(1967:77)では、英語の話し手は長い発話を始める時に視線をそらし、話し終わる前の最後の発話で相手を見て、話し終わった後、そのまま相手を見つめたり、ターンを譲ったりすると述べている。近年に至っても視線行動が発話権の取得と関係があることは次々報告されている(Jokinen, et al., 2010 ; Kawahara, et al., 2012)。また、視線行動の会話における表出について、機能という視点からの捉えもある。Kendon(1981)では視線の機能を認知機能、フィードバック機能、調整機能と表現機能といった 4 つに分類した。認知機能は相手に注意を向けていること、また、意思の疎通を希望することを指す。フィードバック機能は相手から投射された視線には行動指針の働きがあるという。調整機能は話者と相手とどちらが働きかけを行う順にあるかを制御しているのである。最後に、表現機能は話者の態度や情動を伝える働きを指し、相手に好意を示している場合には、視線行動の量は増えると述べられている。Argyle & Cook(1976)では会話における視線は以下の意味を持っている。

話し手の視線：

- 1) 発話の終了か文法的中断のときに、聞き手のほうに見続ける。
- 2) 特定の語句を強調したり、発話を説得的にしたりするときに、聞き手のほうを見続ける。
- 3) 特定の人や物などへの注視は、次の話者を示唆するのに用いられる。
- 4) 自分の話がどう受け入れられているか、また、話を継続できるかについてモニターしている。

聞き手の視線：

- 5) 話し手の話に興味・関心等を持っていることを示す。逆に話に無関心や非同意を示すときには、視線を離す。
- 6) 特定の発話後の見続けは、話し手の発話を促進する。
- 7) 話し手の表情や話し手の視線の方向などに視線を頻繁的に向け、モニターしている。

日本の言語研究において、言語行動とつながる非言語行動を概観した最初の試みは林(1973)であり、その後、南(1979)は林(1973)の試みを踏まえ、非言語行動を含んだ言語行動の理論的モデルの提案の重要性を指摘している。しかし、林と南の提案の以降、日本の言語研究では非言語行動を研究対象とする試みはまだ多くない(坊農, 2008)。その理由について、坊農(2008:4)では、非言語行動をどのように取り扱うべきかという方法の問題と、非言語行動がどのように解釈されるべきかという理論の問題に対する研究者内の合意が取れていないことが挙げられる。それゆえ、以上の問題点の解決については、非言語行動に対する研究の中で、会話分析の手法でアプローチすることを志すものが見られた。ノンバーバル行動の基本的な表出次元を検討する伊藤(1991)、ジェスチャーの時間構造の分析方法と実践を志す細馬(2008、2009)、発話内容とハンド・ジェスチャーを用いたマルチ・チャンネル・アプローチを検討する前田ら(2011)、マルチモーダルデータに基づいた多人数会話の構造理解を試みる角・矢野・西田(2011)、多人数会話における視線情報を用いた話者区間検出手法を志す井上ら(2014)などが挙げられる。

研究対象から見ると、視線、身振り、うなずき、笑いについての研究が見られる。視線に対する研究は、視線のふるまいが話者交替との関係を明らかにした井上ら(2014)、榎本・伝(2011)や、ポスター会話における聞き手の理解との関係を明らかにした河原(2013)、以上の 2 つの視点を同時に考察した坊農(2008)が見られる。身振りに対する分析は、手に

---

焦点を当て、人や物を指す手の形や機能を考察したザトラウスキー(2006、2012)、安井ら(2018)等がある。うなずきと笑いに対する分析は、ポライトネス・ストラテジーとしての機能が注目されている(宮崎, 2009; 早川, 1995、1996、2002 など)。

また、マルチモーダルの視点から取り扱う具体的な言語行動に関して、「共同発話」や「同意」を示す際に言語とともに表現されるジェスチャーには何があるのか、これらのジェスチャーは意図の伝達にどのような働きを持っているのかについて分析した研究はザトラウスキー(2000、2002)、杉浦(2011)が挙げられる。杉浦(2011)では、日本語会話における同意を示すターンに着目し、マルチモダリティの視点からターンの様々なデザイン特性がどのように相互に係わりあっているかを分析することで、同意の強さを包括的に記述している。その結果、言語形式上の同意表明はミニマムに抑える一方、身体動作や表情などの非言語的特性を有機的に組み合わせることによって進行中の評価活動への関わり合いの強さを最大限に高めることで「強い同意」を達成することが明らかになった。杉浦(2011)に指摘された同意を強化する非言語的特性は、同意を口に出すと同時に、相手の方を指さしたり、下に向けた顔を上に向け、相手の顔をしかめていることなどがある。

そのほか、「勧誘」、「依頼」、「断り」発話をする際に伴う視線行動についての考察も見られた。任(2002)は勧誘と依頼に対する断る行動を取り上げ、日・韓国語話者はそれぞれどのような形のアイ・コンタクトをとるのかについて考察を行った。日本語話者は、依頼を断る場面に行われたアイ・コンタクトは、勧誘を断る場面より「視線 ON→ON」<sup>5</sup>の数が減る傾向が見られた。勧誘行動は誘い側の利益より受け手の利益を前提とする場合が多いが、依頼行動は依頼側の能力の欠如や自分の都合のため頼む場合が多いことから、「自分利益＝相手負担」の関係が成立する。負担度の度合いが大きい場合、視線を相手から逸らすという結果になる。ハヤティ(2016、2020)は日本語母語話者とインドネシア人スンダ語母語話者の断り発話に関わる視線行動について分析を行った。その結果、日本語母語話者は、断りのような言いにくく、気まずい思いをさせる発話では視線を逸らす可能性が高いという従来の研究結果と異なり、親しい友人同士の断り場面では相手を見る傾向が強いと指摘している。また、その原因について親しい友人関係の中では、視線を合わせることで誠実さを表すことになるためであると述べられている。

このように、対面コミュニケーションに対する会話分析の中で、日本語の言語研究でも日本語と他言語の対照研究でもマルチモーダルのアプローチが増えつつある。これらは Kendon(1980)のマルチモーダル性の考え方をベースとし、「マルチモーダルの談話分析」<sup>67</sup>という理論的な分析手法のために一定の蓄積が提供されているということが言えるだろう。

## 2.2 合意形成を目指す会話に関する研究

本研究が取り扱う合意形成を目指す会話は、会話参加者同士の持っている意見がばらばらであり、それらの中から会話者全員の意志を代表できる意見に縮小し、それで会話を終

---

<sup>5</sup> 「視線 ON→ON」というのは、発話の始めから終わりまで相手の視線をずっと凝視するものである。

<sup>6</sup> マルチモーダル談話分析(MDA)とは、言語とその他の身振り手振り、などの記号的システムが共同することで、いかに意味を生み出すかを観察するための方法である。

<sup>7</sup> アムンルド トーマス マーティン, 英語教育講座 『マルチモーダル談話分析(Multimodal Discourse Analysis: MDA)とは?』 [https://www.nara-edu.ac.jp/assets/seeds/amundrud.pdf#:~:text=](https://www.nara-edu.ac.jp/assets/seeds/amundrud.pdf#:~:text=,), 2022年3月28日



わらせる会話である。このプロセスにおいて、会話者全員を代表できる意見が達成されるまで、各々の異なる意見をすり合わせ、関係性を共同で構築する相互行為が見られる。したがって、研究者にとってそのプロセスを深く理解することが重要である。

## 2.2.1 会話の構造・合意形成の方法と契機に関する研究

### 2.2.1.1 日本語母語場面における合意形成の会話

柏崎(1996)は、アマチュア劇団のメンバーである親しい間柄の5人(男性2人、女性3人)が、脚本を基にどのような舞台を作っていくかという話し合いを取り上げ、合意形成の方法に関して談話運営の発話(話段)を対象に考察している。談話運営の発話、もしくは話段は性質上に①談話の流れ・方向性を決める発話もしくは話段、②決定促しの発話もしくは話段、③決定として収束させる発話もしくは話段、の大きく3つに分類されている。まずは「決定促し」についてである。合意形成は必ず「決定促し」を経由することが確認され、そして、「決定促し」行動を行う話し手の意見と異なる相手の意見を合意案として促す例と、十分に検討されていない提案を合意案として促す例が見られたという。十分に討論してからの決定促しは参加者全員の意志をまとめ、提示する発話なので合意に至る契機であるが、十分に検討されていないうちに出示された決定促しは、次の話段で次々不同意が表明されると指摘している。

柏崎・足立・福岡(1997)は同様の分析資料を使い、合意決定に至るプロセスに重要な役割を担うものとして、会話を「提案要求」・「提案」・「提案応答(同意)」・「提案応答(不同意)」・「提案応答(中立)」・「提案応答(保留)」・「決定を促す」・「決定」といった話段に分け、会話の基本的な流れを明らかにした(図2-1)。

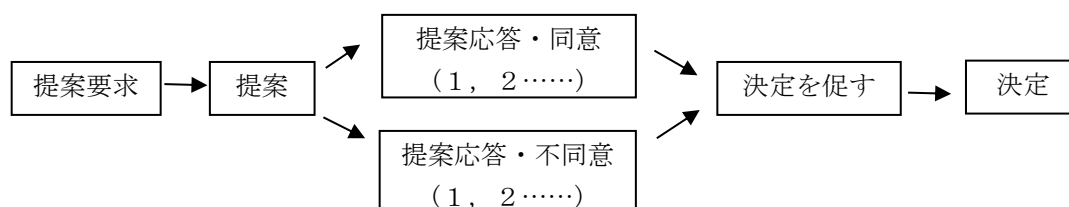


図2-1 柏崎・足立・福岡(1997:63)「会話の基本的な流れ」

柏崎(1996)と柏崎・足立・福岡(1997)の分析からは、まず、合意の形成は「決定促し」話段と関わることがわかった。「決定促し」行動に関して、親しい関係の友人同士の会話では配慮を示しながら合意に促す行動と、強引に合意に促す行動が観察され、強引な決定促しによる合意形成が成功しない事例が存在することが分かった。

梶本(2000)では同様な会話の流れが確認された。梶本(2000)は組織の中で上下関係のある会話者と対等な立場の会話者の会話を比較し、どのような会話の連鎖構造や言語形式で会話を行うことが会話者の上下・対等関係を示すことに関わるのかを解明することである。その結果、課題解決に向けての連鎖の型が会話者の上下・対等関係によって異なることが明らかになった。上下関係の会話に出てきた「命令型」と「指示仰ぎ型」の連鎖と異なり、対等関係の会話では「自発型」の連鎖構造が確認された(図2-2)。この連鎖構造について、梶本は不同意の後に再反論が続く流れもあるので、この図は簡略化した連鎖の図式であると述べている。

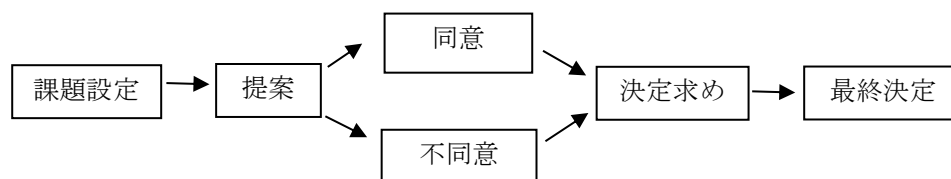


図 2-2 梶本(2000:226)「自発型の連鎖構造」

柏崎(1996)、柏崎・足立・福岡(1997)、梶本(2000)の何かを決める実際のミーティング会話を分析対象としていることと違い、小笠(2002)の分析資料は、ある話題について最終的に結論を出すように求められて行った討論会話である。話題の制限や参加者の関係などの要素による影響があるかもしれないため、上述の研究と異なる結果が得られた。

小笠(2002)では、はっきりとした会話の管理者を持たない大学生 4 人間(男女 2 名ずつ)の討論の話し合いを取り上げ、結論へ向けてどのようなやり取りがなされるか、結論がどのように出されるかについて分析し、それらの結果からそのような話し合いの場にはどのような規範(行動の基準)があるのかを明らかにした。分析資料は同授業に出席している大学生が、「脳死を法律で死と認めるべきか」という話題について最終的に結論を出すように求められて行った討論会話である。その結果、まず、話題や相手の考えに対し、すぐに賛否を示す意見や意見の分かる理由を明らかに表明するのではなく情報交換を先に行う特徴が見られ、結論の生成に一つの意見に集約する過程が見られないという。お互いに意見を戦わせない理由として、討論はお互いに意見を出しあうということより知識を交換する場とみなされているためであると指摘し、また、結論に向かって意見をまとめない理由も、結論よりも情報のやり取りを重視し、そのため、結論はそれまでの話し合いと関係が薄く、唐突に出されることによる話し合いが途切れるという特徴が見られたと指摘している。

大塚(2003)では、同様に結論の形成は「決定促し」を経由する必要があると結論しておらず、代わりに結論が生成される前の段階にポーズが観察された。大塚(2003)は、日本人大学生により実際に行われた少数人のグループ討論(大学生男女 2 名ずつ)を取り上げ、進行役の役割を中心に考察しているが、結論の生成の方法も明らかにされた。進行役の役割について、先行研究で指摘された討論の開始・終結の宣言、課題移行時の終結の確認、次の課題の読み上げだけでなく、討論の運営と結論の生成に関わっていると指摘している。その中で結論の生成に関して、十分に話し合われた後でのポーズをきっかけとして、会話者の総意をまとめた形にして提示、同意・確認を得た上での結論を発する発話で実現していると指摘している。討論が終結に近づいていることを示しているポーズの後、進行役がそれまで出てきた意見から現在の参加者の総意を汲み取ったものとして提示する形で合意案に至るのは 8 割ほどであると述べられている。また、進行役の決定に関して年齢と性別の要素をも考慮して考察した結果、他の参加者より年上、同年齢の場合は、男性が進行役となっており、この結果からグループ討論にもタテ社会の人間関係が反映されていると述べられている。

この研究から、年齢と性別が同等に統一される場合、どのような会話者が進行役の役割を担当するのか、結論の生成はその両方と関わるのかといったことに興味深い。

以上の研究のほか、合意形成会話の構造の中で、意見交換段階に重点を置き、その段階の構造と合意形成と関わる方法などを詳細に論じる研究は大和(2009)と星野(2010)が挙げられる。

大和(2009)では初対面同士の社会人 5 人の合意形成に向かう意見交渉会話を取り上げ、意見の歩み寄りがどのようになし遂げられるのかを分析している。その結果、まず会話は、①意見の不一致が表面化するシーケンス(段階)、②自分の意見の主張と説得のシーケンス、③意見調整を試みるシーケンスの 3 段階の過程によって構成されると指摘している。そして、各段階における会話参加者の議論に参加する様子について考察し、1 人の会話参加者の様子をシーケンスごとに比較した結果、②の段階において自分の意見の正当性を主張し他の会話参加者を説得する行動が見られたが、③の段階になると、相手の意見に理解を示したり、自分の主張を弱めたりすることによって意見の調整を試み、相手に妥協や歩み寄り行動を見せる行動が窺えたと述べられている。また、意見の歩み寄りが始まる契機として「沈黙」と「第 3 者のヒント」が観察されたという。対立した意見の持つ会話参加者の行き詰まりを感じ取った第 3 者の合意に向けるヒントの提示は、対立している話者同士の主張の緩和と歩み寄りを引き出す役割があると述べられている。

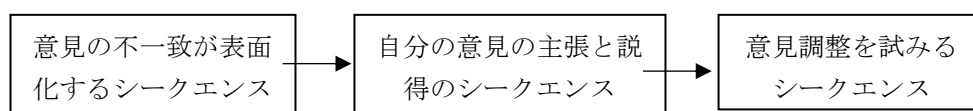


図 2-3 大和(2009)による「会話の流れ」

このような初対面同士の合意形成に関わる特徴は、友人同士関係の会話にも確認された。星野(2010)では同性の親しい友人関係にある大学生 4 人が実施した課題解決型の話し合いを取り上げ、話し合いはどのような発話連鎖によって展開されているのかを中心に分析している。その結果、課題解決につながる意見には同意の対象となる意見、却下の対象となる意見、先行のやり取りを総括し合意へ導く突破口となる意見があるため、発話連鎖を「意見に対する肯定的な連鎖」・「意見に対する否定的な連鎖」・「停滞したやりとりに転換の契機を与える連鎖」に分類できると述べられている。「意見に対する肯定的な連鎖」に関しては、質問・応答を繰り返すことで意見を精緻化する、または意見を部分的に修正・補足するなどによって意見の納得感を高めていく特徴がある。「意見に対する否定的な連鎖」に関しては、提案者以外の参加者同士が否定的評価を小出しにして積み上げ、協働で否定的評価を伝達している特徴がある。さらに「停滞したやりとりに転換の契機を与える連鎖」に関しては、意見対立している当事者以外の参加者が客観的な意見を出すことによって場面に転換を与え、次の局面に移行を促す特徴が見られたという。それ以外に、沈黙・笑い・フィラーのような非言語情報は、否定的評価の含意を持つ方略として使われていることも観察されたと述べられている。

この 2 つの分析を通して、合意形成と関わる意見の調整に関して、意見調整段階に入る契機があること、そしてそれによって意見調整が進むプロセスが浮かび上がる。

以上で挙げた先行研究から、会話の構造、合意がどのように形成されるかといったことは構造分析から分かった。

その中で、会話の構造は、柏崎・足立・福岡(1997)と梶本(2000)に指摘された「会話の基本的な流れ」の上に、大和(2009)と星野(2010)の意見交換段階の詳しい構造を加え、より完全な会話の構造になると考えられる。

合意形成の方法と契機について以下の 2 点が明らかされた。

- 1) 合意に至るまでの過程には、「決定促し」のような合意に誘導する発話があるが、

---

「決定促し」を経由しない合意に至る会話もある。

- 2) 「決定促し」に関して、発話自体に対する分析もあるが、「決定促し」を出す話者の役割に重点を置く分析と、話者の身分を指摘する分析もある。

これより、「決定促し」に関して、以下の2つの課題が残されたと思われる。

- 1) 「決定促し」発話はどのような形式、意味及び機能を持っている発話で成されるのか。  
2) 「決定促し」にはどのような人間関係が反映されているのか。

### 2.2.1.2 日本語と中国語の対照研究

合意形成会話の構造と合意形成の方法などに注目した日中対照研究は、陳(2014)と郭(2006)が挙げられる。

陳(2014)では、何かを決める意見交換会話を取り上げ、提案と提案に対する同意・不同意・中立の態度を中心に考察し、合意に至るまでのプロセスを明らかにした。分析資料は、親しい関係の20代前半の同性の大学生3人が、食事会の日時・場所、及び食べ物について全員合意するまでの話し合いである。その結果、日本語では最初に会話者全員で協働して提案の範疇を決め、その後、また協働してその範疇を少しずつ具体化し合意に近づく行動が見られるのに対し、中国語では最初から個人の好みを反映する具体的な提案を出し、そして、相手に出された提案を反対しあい、自分の提案を主張しあう行動により他者を説得する過程の中で、一番いい提案が合意案として決まるというプロセスが見られたという。また、1人だけ同意を得られなかった場合には2人が協力して反対する1人を説得することが見られた。

郭(2006)では、台湾人の中国語母語話者と日本語母語話者を対象とし、両言語の会話スタイルの類似点・相違点や特徴的なものを探ることを目的として分析している。分析資料は、友人関係の大学生同士4名に（日本人グループが男性2名・女性2名の大学院生同士、台湾人グループが男性1名・女性3名大学生同士）、大学の学園祭に模擬店を出すということを想定してグループ討論を実施してもらう会話である。その結果によると、両言語の会話スタイルでは類似点が3点、相違点が2点観察されたという。その中で、結論へ到達するまでのプロセスに関して、日本人の場合、会話参加者は相手の意見を取り入れながら、その上で自分の意見を足していくというような、同じ土台に立って意見表明をし、結論へと向かう。台湾人は同じ土台に立って論じるのではなく、お互いに意見や提言を出し合うというプロセスで結論へ進む、という異なる特徴が見られた。

以上で述べたように、陳(2014)と郭(2006)の分析で合意に至るまでのプロセスに関して共通の結果が得られたことが分かった。つまり、日・中母語話者の違いは意見表明を行う際に、同じ土台に基づいて行動するかどうかの違いである。しかし、前節で確認された合意形成の方法と契機に関する日本語母語話者の特徴は日・中母語話者の行動にどのような異同点が存在するかについて分析されていない。

## 2.2.2 合意形成までの意見表明に注目した研究

### 2.2.2.1 日本語母語場面の研究

若野(1998)は、大学生10人前後の大きめの集団の何かを決める話し合いを取り上げ、提案に対する可決・否決をめぐるストラテジーに焦点を当てて考察を行っている。調査対象は厳格な上下関係や技術の有無による発話権の制限がないサークルのメンバーであるため、

---

上下関係が緩やかであり、上下関係よりも、すでに構築されている親しい関係が目立つと述べられている。その結果、提案の可決は直接的な言葉で表されることが多いが、提案の否決や意見の不支持を表す戦略は間接的であることが確かめられた。また、提案の支持グループと反対グループの間で意見が対立する場合、グループ間の論争が見られた。提案に対して反対グループから反対の意が出された場合、支持グループは反対側の疑念を解消しようとする方向に向けて提案を擁護する発話をすることに對し、反対グループはまだ納得できない場合はさらに反対の意を重ねて提出する。

若野(1998)の分析からは、親密な関係の場合には、円滑な人間関係を崩さないように、否決の戦略を間接化する行動が確認された。しかし、一方、「反対→反対→反対」のような発話連鎖も見られた。つまり、良い人間関係の構築の中で、意見の対立がないわけではないことも分かった。

それ以外に、前節に述べたように、小笠(2002)、星野(2010)においても合意形成会話の意見表明の特徴が明らかにされた。小笠(2002)では、日本語母語話者は、話題や相手の考えに対してすぐに賛否を示す意見や意見が分かれる理由を明らかに表明するのではなく、情報交換を先に行う特徴や、お互いに意見をあまり戦わせない特徴があるということが明らかになった。星野(2010)では、「意見に対する肯定的な連鎖」に関して、質問・応答を繰り返すことで意見を精緻化し、または意見を部分的に修正・補足するなどによって意見の納得感を高めていく特徴、「意見に対する否定的な連鎖」に関して、提案者以外の参加者同士が、否定的評価を小出しに積み上げ、協働で否定的評価を伝達している特徴が見られたという結果が分かった。実は、星野(2010)に指摘された「意見に対する肯定的な連鎖」は、質問・応答を繰り返すことで意見を精緻化することは、小笠(2002)の言う情報交換の過程と同じことであると言える。

こうして、日本語母語話者の何かを決める会話では、まず、意見の対立があるかどうかで異なる結果が得られた。そして、意見の対立がない場合には情報交換を重んじる特徴、意見の対立がある場合には異なる意見を間接的に表明する戦略と、異なる意見を協働的に出すやり方が見られた。

#### 2.2.2.2 日本語と中国語の対照研究

賈(2008)は、男女2名ずつの顔見知りの大学生と大学院生による授業討論場面の会話<sup>8</sup>を取り上げ、話者交替の視点から日中両言語の意見表明行動の違いを明らかにした。分析は、まず、次の話し手を誰が選択するかにより、「他者選択」と「自己選択」に分けている。

「他者選択」に対する考察した結果によると、日本語では意見表明の発言をまだしていない参加者を呼んだり、発話を誘ったりするような「発話勧誘」が多く、中国語では相手の発話内容に対し、相手に対応してほしい「質疑」が多いことが見られたという。この結果より、日本語母語話者は「人間関係重視型」(対人関係重視)<sup>9</sup>であるのに対し、中国語母語話者は「内容重視型」と推測できると述べられている。

---

<sup>8</sup> 賈(2008)は統一の結論が生成できるように討論を行うというような指示が調査方法のところには書いていないため、厳密的に結論生成までの討論として挙げられない。しかし、考察対象であるターンの取得は、討論の流れのどの部分(開始部、主要部、結論部)においてもあるため、結論生成部に出てきたものも含めて考察されている可能性もある。

<sup>9</sup> 賈(2008)に使われている「人間関係重視」という用語を、本研究では対面の話者同士の関係に重点をおくため、「対人関係重視」に言い換える。

---

「自己選択」に対する考察した結果では、日本語では「ターン挿入」、中国語では「ターン並列」が多いことが観察された。このことから、相手が意見表明しているうちに日本語母語話者はその発話と関連する短いコメントを差し込むことで、相手の意見が最後まで表明できるように協働的な姿勢を示しているのに対し、中国語母語話者は相手の発話に割り込んで急いで自分の意見を表明しようとするが、相手がターンを譲らないことにより、話者双方のばらばらの意見が同時に発されることが分かった。

賈(2008)では、「他者選択」に対する分析からまとめられた「内容重視型」は、「対人関係重視」の正反対として「自己重視」に言い換えられるだろう。なぜかという、「質疑」は相手に表明された意見の内容に重点を置く可能性があるが、暗示的に反対の態度を示すことにより自分の意見を重視する可能性もあるためであると考えられるからである。

「自己選択」にも、日本語母語話者は協力的な姿勢で会話を進む「対人関係重視」の特徴、中国語母語話者は自分が話し手としての話す権利を重んじる「自己重視」の特徴も見られる。

日本語母語話者は「対人関係重視」、中国語母語話者は「自己重視」の特徴を持っていることは以下に挙げる研究からも別の側面から支持されている。

李・松崎(2009)では初対面同士(2人1組にした20代の女子大学生同士)の何かを決める日常的な会話を取り上げ、話題の内容構成と意見の述べ方を中心に分析し、意見表明の言語行動の特徴を明らかにした<sup>10</sup>。話題の内容構成は、「事実」と「考案」の意見提示によって成されている。「事実」は意見表明の根拠としてロールプレーカードに提示された内容であるが、「考案」はロールプレーカードにない話者自身で考えたことを根拠としての意見表明である。そして、この調査によると、日本語母語話者は双方の情報を確認しながら「事実(48%)」と「考案(52%)」を同じぐらいの割合で、中国語母語話者は「事実(30%)」より「考案(70%)」を多く表明することが見られた。また、意見の述べ方に対し、分析対象を「説得型」と「共感型」の意見表明に分けて分析を行っている。「説得型」の意見表明は1つのターンのうちに話者自身の主張に有利な意見だけ述べることであり、「共感型」の意見表明は、自分の主張に不利な意見だけを表明したり、自分の主張に有利な意見を表明すると同時に不利な意見をも表明したり、どちらの立場にも有利とも不利とも言えない中立的な意見を表明することのまとめである。その結果、日本語母語話者は「説得型」より「共感型」を1.6倍以上使用しており、「共感型」を好む傾向、中国語母語話者は「説得型」を「共感型」の3倍以上に使用し、自分の主張に有利な意見ばかりを積極的に提示する「説得型」を好む傾向が見られたと述べている。

李・松崎(2009)の「話題の内容構成」と「意見の述べ方」に着目したそれぞれの分析の結果から、日本語母語話者は提示された内容に基づいて意見表明をし、また「議論」より「共感」を好む傾向、中国語母語話者は主観的な考えに基づいた相手への説得を好む傾向が分かった。このことから、賈(2008)の考察の結果と同じように、日本語母語話者は「対人関係重視」、中国語母語話者は「自己重視」の特徴を持っていると言えるだろう。

陳(2014)でも意見表明言語行動を焦点に当てて分析し<sup>11</sup>、それにより日中母語話者の特徴の違いを探っている。意見表明言語行動の特徴という点、日本語では、1)相手の提案に強い肯定的な意志表示を示す、2)自分の主張を弱めの意志表示で少しずつ明確化する、

---

<sup>10</sup> 母語場面と接触場面の特徴を比較する研究であるが、ここでは母語場面の分析の結果のみ紹介する。

<sup>11</sup> 陳(2014)はどういう研究であるか、また、分析結果の一部(合意に至るまでのプロセスに対する分析)を2.2.1.2節で紹介したため、ここでは省略する。

3) 発話権を奪わず、情報提供しあうことにより会話を目標の方向に進む、といった3つの特徴が観察された。それに対し、中国語では、1) 相手の提案に強い否定的な意志表示を示す、2) 相手と異なる自分の意見を主張したい場合、相手の意見を無視したり、発話権を奪ったりして、沢山の情報を一気に伝えることによって自分の話を一方的に述べる。3) 2)のやり方で相手を説得し、会話を目標の方向に進む、といった日本語と全く異なる特徴が見られたという。この結果は、日本語母語話者が「対人関係重視」、中国語母語話者が「自己重視」の特徴であることを反映していると思われる。しかし、親しい友人同士関係の話し合いの場合、日本語母語話者が反対の意見をあまり表明しないのはなぜであろうか。それについてさらに深く考察する必要があると思われる。

そのほか、台湾人の中国語母語話者を対象とした日中対照研究が1つ挙げられる。前述もしたが(2.2.1.2節)、郭(2006)では日中両言語の会話スタイルの類似点が3点、相違点が2点観察されたという。まず、類似点に関して、1) 意見が纏まらず、行き詰まった時の対処の仕方として、お茶等を飲みながら少し休んでから話を再開すること、2) 議題の切り出し方として、男性が主導権を握ること、3) 相手の意見に賛成する時の戦略として、間を殆ど置かず相手の発話の後にあるいはまだ完全に終わっていないうちに、すぐ賛成の言葉を発することが両言語のどちらにおいても観察された。相違点に関して、1) 相手と違う意見を言う時の仕方に、2) 結論へ到達するまでのプロセスとして、意見の土台があるかどうかということに異なっている。相手と違う意見を言う時の仕方に関して、日本語母語話者は相手の意見や提言に一度賛同してから自分の意見を述べるという間接的なやり方、台湾人の中国語母語話者は相手の意見や提言の欠点を見つけ、それを否定してから自分の意見を出すという直接的なやり方を取ることが観察された。言語行動のほか、非言語行動についても考察を行っている。台湾人の会話では手を出すという合図で発話権を取る特徴が見られたが、日本語母語話者の会話では見られない。また、台湾人は日本人に比べてより多く身ぶり手振りを使用していることが確認された。

非言語行動を分析の対象としたのは郭(2006)の重要な貢献である。しかし、台湾人の中国語母語話者に多く使用された身ぶり手振りは具体的にどのようなものであるか、どのような発話や発語に伴って表出されるかについての記述がないため、今後明らかにしていく必要がある。

以上で取り上げた研究の以外に、日中両言語の対比が含まれた日中米の比較研究が1つ挙げられる。

久米他(2000)では、日中米の小集団討論場面におけるコミュニケーション様式について対照分析をし、その中で、日中両言語の特徴が明らかになった。会社の同僚である社会人3名ないし5名を1組として調査を行った。収集されたデータは対称ではなく、日本語ではデータが3組(そのうち2組は調査対象が3名と5名の男性であり、もう1組は調査対象が男性2名と女性3名の男女混合である)が収集され、中国語では1組(調査対象が3名全員男性である)しか収集されていない。分析を通して最も顕著に差が見られた特徴として以下の4点が確認された。1) 課題の達成に関して、日本語では主題からのずれと会話の盛り上がりがよくあり、中国語では主題からのずれが少なく、冗談やユーモアによる会話を盛り上げる発話が少ないことから、日本語母語話者は課題達成よりも「場」と人間関係あるいは会話を楽しむことを重視し、中国語母語話者は討論を優先するという傾向があること、2) 意見の表現方法に関して、日本語では始めは意見を強く言わず、相手の反応によって意見を明確に断定的に述べるという「自己イメージ点検」の傾向があり、中国語では

---

直接自分の意見を表明する傾向があること、3)反論の表現方法に関して、日本語では間接的に意見を表明し、また、ストレートに意見を述べる場合は、自分自身で笑うなどの方法でストレートに意見を述べることによる場の緊張を防ぎ、中国語では他者の意見に賛成し、反論の意見はあまり見られないこと、4)会話の進行役に関して、日本語では会話の最中に舵取り、方向付けをする発話は殆ど見られなく、中国語では主導権を握る人が存在していること、が指摘されている。

久米他(2000)では小集団討論に関する顕著に差が見られた日中両言語の特徴が明らかされる。しかし、中国語母語話者が他者の意見に賛成し、反論の意見があまり見られないという結論については、これまで述べてきた他の研究の結論と異なっていると言える。中国人の中にも個人差があることが示唆される。

以上の対照研究の結果からは、以下の4点確認された。

- 1)日本語母語話者は「対人関係重視」、中国語母語話者は「自己重視」であるという特徴は、意見表明に関するいろんな側面から検証された(賈(2008)では話者交替;李・松崎(2009)では話題の内容構成;李・松崎(2009)、陳(2014)と郭(2006)では意見表明の仕方;久米他(2000)では課題達成の過程における話題のずれ)。
- 2)意見の表現方法に関して、日本語母語話者は間接的な方法で、中国語母語話者は直接的な方法で行うことは指摘されている(陳(2014)・郭(2006)・久米他(2000))。
- 3)意見の述べ方を分析したうえで、性別上の役割(郭(2006))、笑いのようなパラ言語(久米他(2000))、手振りのような非言語行動(郭(2006))にも少し触れている研究もある。
- 4)そのほか、日本語母語場面の研究に指摘された、日本人の会話では合意に至るまでのプロセスに意見の対立がない特徴、情報交換を重んじる特徴が確認された(陳(2014)・郭(2006)・久米他(2000))。

### 2.2.2.3 接触場面とその他の言語との比較

その他の研究は、日本語母語話者と外国人学習者の接触場面の研究の木山(2001)、日韓対照研究の李(2001)、日独対照研究の法他(2011)、日米対照研究の大貫(2015)が挙げられる。これらの研究は、話者同士が異なる意見を持っていることをお互いに了解している前提で、合意形成を目指して会話を進めることが共通している。このような会話の場合、会話のどの側面を分析の際に重視するのかを見てみる。

木山(2001)では、ロールプレイの手法で7か国<sup>12</sup>の日本語学習者と日本語母語話者を初対面ペアにして、合同食事会の場所を決めるという設定で話合いをさせている。そして、「主題とする店は自分側か、相手側か」と、「話者の態度は肯定的か、否定的か」という2つの尺度を掛け合わせ、発話を分類した。具体的には、自分が希望する店に対する肯定的な意見を「説得型肯定」、相手が希望するのに対する否定的な意見を「説得型否定」、相手が希望する店に対する肯定的な意見を「共感型肯定」、自分が希望する店に対する否定的な意見を「共感型否定」といった4種類の発話に分けている。結果としては、日本語母語話者の談話では、以下の3点から「説得」型と「共感」型のバランスが保たれる特徴が窺えた。1)話者自分が推薦する店の良い点をあげると同時に、悪い点にも言及している。

---

<sup>12</sup> 学習者の母語の情報として、台湾語5名、ネパール語5名、英語4名、タイ語、広東語、韓国語、ポーランド語が各1名である。



2) 相手が店を紹介した直後に、自分の薦める店の悪い点を言いながら、相手の薦める店に共感をする。3) 対話者が 2 つずつある候補の中から消去法的に選考から外す場合、母語話者は必ずお互いの候補を 1 つずつ外し、両方の候補が残っている状態で最終選考をする。

一方、学習者の特徴について、日本語能力が十分ではない学習者は、対話者の発話に依存し、「共感」型の発話の割合が相対的に大きく、結果的に日本語母語話者に近いが、日本語能力が中・上級になる学習者の場合、「説得」型、特に「説得型否定」の発話の割合が増えると指摘している。

木山(2001)の分析からは日本語母語話者は、「説得」型と「共感」型発話のバランスをできるだけ保つ行動を取っており、決定的に勝つ印象を与えることは極力避けることが分かった。そこから「対人関係重視」の特徴が反映されていると思われる。しかし、「説得」型と「共感」型の分類に疑問がある。

木山(2001:67)の論述に基づき、「共感」型のコミュニケーションは 1) 相手と異なった意見を持つ際に相手の意見を尊重する、あるいは自分の意見を控える行為、2) 相槌・笑い・「まあ」などのような話し合いの場を保つための行為で実現されることが分かった。しかし、相槌・笑い・「まあ」のような意見を曖昧にする言語行為は、話し合いの場を保つための共感行為というより、不同意の表明を回避する役割として働いている場合も少なくない。そのため、何の基準に基づいてそのような言い方が「共感」発話だと判断されたのか不明である。どういう場合に共感行為、どういう場合に意見表明を回避することに分類できるのかという基準を明確にする必要がある。

李(2001)では、日本語母語話者と韓国人日本語学習者を調査対象に意見表明発話(ターン)の内容構成に対する考察を通し、日韓両言語の違いを明らかにした。まず、発話(ターン)の内容構成に「自己主張優先型」意見表明と「相手配慮型」意見表明に分けている。「自己主張優先型」意見表明は「自分の主張を支持する事実の指摘」により異なる意見を表明する発話である。「相手配慮型」意見表明は(1)「相手の主張を支持する事実の指摘」、(2)「自分の意見にとって不利になる事実の指摘」、(3)「中立的な立場の意見提示」による発話、及びそれらと「自己主張優先型」発話の組み合わせ(4-6)による発話のことである(表 2-3)。

表 2-3 李(2001)「意見表明発話(ターン)の構成」

意見表明の類型	発話の構成
自己主張優先型	自分の主張を支持する事実の指摘
相手配慮型	(1)相手の主張を支持する事実の指摘 (2)自分の意見にとって不利になる事実の指摘 (3)中立的な立場の意見提示 (4)相手の主張を支持する事実の指摘+自分の主張を支持する事実の指摘 (5)相手の主張を支持する事実の指摘+自分の主張を支持する事実の指摘+中立的な立場の意見提示 (6)自分の主張を支持する事実の指摘+中立的な立場の意見提示

そして、この 2 種類の意見表明の使用頻度から日本語の場合、「自己主張優先型」(31.8%)より「相手配慮型」意見表明(68.2%)を 2 倍以上使用しており、「相手配慮型」を好む傾向が見られた。一方、韓国語では、「自己主張優先型」の方(51.7%)が「相手配慮型」(48.3%)より使用割合がやや高いため、「自己主張優先型」を好むと断言しにくいと

述べられている。しかし、「相手配慮型」意見表明の具体的な発話を見ると、日本語母語話者の発話と比べた結果、韓国語母語話者は相手を配慮しながら自分の意志表明に重点を置く特徴が見られたと指摘している。なぜかという、日本語の場合は特に「相手の主張を支持する事実の指摘」を言うとき、具体的な例を挙げて丁寧に支持の気持ちを伝えるのが目立つが、韓国語のほうは、「そうですね」・「それも理にかなう話ですが」のような単純な同意表示だけで表し、代わりにその後に来る自分の主張を支持する話がターンの大部分を占めるためである。

李(2001)では日本語母語話者は「相手配慮型」意見表明を好み、また、相手を支持する場合に丁寧な言語行動をとることが分かった。これらは「対人関係重視」の特徴であると示唆されると思われる。一方、調査対象の韓国人日本語学習者は、日本語の影響を受ける可能性があるため、考察された特徴は韓国語母語話者の特徴であるということに疑問がある。

法他(2011)はコーパス<sup>13</sup>に収録された会話を取り上げ、合意形成を目指す会話の非言語行動を中心に考察し、日本とドイツでの差異を明らかにした。分析資料は会話参加者 2 人に、遭難した際に必要なものを決めるという想定で、それぞれ持ち物 10 個のうちから、持ち出す 3 個を会話前に事前に決定してもらい、最終的に持ち出す 3 個の物の順位付けを決定させるという合意形成対話である。分析対象の非言語行動は、意見が一致していない場合や合意がうまくいかない場合に生じた不安と緊張を緩和する機能を持つ笑顔、笑いと頷きである。その結果、まず、笑顔に関して、表出頻度が両言語で変わらないが、表出の長さは日本語がドイツの 2 倍近く表していることが観察された。言い換えると、日本人はドイツ人より 1 回あたりの笑顔の継続時間が長いということである。次に、笑いに関しては、表出頻度も表出の長さも両言語にも大きな差が見られないという。さらに、自分と相手とのどちらが発話をするときに笑顔と笑いを表すかに関して、日本人は自分の発話時より圧倒的に相手が発話している時に笑顔と笑いを表出するが、ドイツ人は発話者がどちらであろうとも笑顔との関係は見られなく、笑いは相手が発話しているときにより多く表出する傾向が観察されたと述べられている。最後に、頷きに関しては、日本語ではドイツ語より連続した頷きを行うことが多く、日本人は相手への同意をより強く伝える行動で表出することが窺えた。

大貫(2015)は高校時代の友人同士 2 名(40 代・50 代の女性)が共通の友人の結婚祝いのパーティプランを決める会話を取り上げ、発語量・発話行為と発話内容の面から分析を行い、日本語母語話者とアメリカ人英語話者の違いを探り出した。調査は話者同士が異なるプランを持ちながら会話を開始、最終的にどちらの一方を選択するかという対面のロールプレイの形で実際されている。それによると、まず発語量と発話行為に対する分析の結果として、日本語母語話者は 1 ターン内での発語量がアメリカ英語話者に比べて少ないが、ターン数が多く、情報を細切れにしながら伝えているが、アメリカ英語話者は 1 ターン内での発語量が多く、情報をまとめて伝える特徴があることが観察されたという。また、日本語母語話者の会話では確認要求の発話行為が頻繁に見られるが、アメリカ英語話者の会話では確認されていない。次に、発話内容に対する分析の結果として、最も顕著に違いが見られた特徴は以下の 2 点が挙げられる。まず説得の方法に関して、アメリカ英語の場合は双方のプランの優劣を比較したうえで自分の利点を強調するが、日本語の場合に双方の

<sup>13</sup> 日本とドイツで対照可能なマルチモーダルコーパス Gube-G に収録されたデータを利用した。

---

プランに対する優劣比較がなく、一方的に話者が選んだプランの効果を訴求する。次に、同意に対する姿勢に関して、アメリカ英語話者は自分のプランより相手のプランのほうが良いという認識で同意を示すが、日本語母語話者は自分のプランも相手のプランもどちらも良いというように相手のプランを受け入れて合意を示す。

大貫(2015)では、日本語母語話者の意見の対立を避けようとする「議論」の方法と、相手の説得を納得していないが同意を示す行動に、「対人関係重視」の特徴が示唆されていると思われる。

以上で述べたように、話者同士が異なる意見を持っていることをお互いに了解する前提で意見交換を開始する会話の場合、意見表明発話の内容構成(木山, 2001; 李, 2001; 大貫, 2015)と、異なる意見による不安や緊張を緩和する機能を持つ非言語行動(法他, 2011)は、分析をする際に重点が置かれている。

ここまで、前に述べた日本語母語場面の研究(2.2.2.1節)と日中対照研究(2.2.2.2節)の結果をまとめて、確認されたことと問題点について述べる。

- 1) 合意形成を目指す討論場面会話の様々な側面からの分析から、また、中国語、韓国語、アメリカ英語との対照分析から、日本語母語話者は「対人関係重視」の特徴を持つことが確認された。しかし、自分の意見を合意案にさせようとする前提での個人の主張は、情報交換と相手への配慮行動の中でどのように実現されるのか、あるいは相手の説得を受けて簡単に諦められるのかは不明である。
- 2) 意見表明発話の内容構成と意見表明の仕方の両面から、日本語母語話者は「対人配慮型」意見表明を行い、それに比べて中国語母語話者はより直接的な方法で行うことが確認された。しかし、それは意見表明側の発話に限定して得られた結果である。話者間の相互行為を見ると、日本語では「反対→反対→反対」(若野, 1998)のような意見対立の連鎖があるため、この場合は対人配慮がどのように示されるのか。中国語では、そのような発話連鎖が一般的な存在であると想像できるが、合意形成を目指す会話でのそういう構造に対する分析が見当たらない。
- 3) 言語の側面の特徴の分析に集中している。言語の分析の補助的な扱いとして、笑いや手振りの分析がされているに過ぎない。非言語行動に重点を置いて分析したものは今のところ法他(2011)だけである。

## 2.3 不同意表明に関する研究

先行研究では、考察する対象範囲がまちまちであるため、「不同意」と関わる用語が統一されていない。それらは大きく、意見の対立を前提とする不同意表明と、一方的に相手の行動を否定する発話の2つに分類できる。前者の代表的な用語には「不同意」・「反対意見」・「不一致」、「反論」などがあり、後者には「否定」・「否定的評価」などがある。本節では、これらをすべて「不同意表明」として論じる。

### 2.3.1 不同意表明の発話連鎖と発話構成に注目した研究

「不同意表明」の発話連鎖と発話構成に注目した研究には、日本語母語場面の場合では杉本(2001)、寅丸(2006)、日韓対照研究では李(2001, 2003)、日中対照研究では(詹(2014)が挙げられる。

杉本(2001)では職場での自然談話を資料として、相互理解のための言語行動の構造を明

らかにすることを目的として分析を行っている。分析の結果の一つとして、不同意の発話連鎖が明らかになった(図 2-4)。図 2-4 に示したように、相手の説明と主張に対する最初の不同意が表明された後、「質問—応答」、「反論—納得」、「反論—確認」、「反論—反論」の連鎖が観察された。その中で、「質問—応答」が 10 例であるのに対して、「反論—納得」は 2 例、「反論—確認」は 3 例、そして、「反論—反論」は 1 例しか見られなかったという。この結果は、タテ社会の中での人間関係を重んじる日本社会では、正面きつての議論はさける傾向が表れていると述べられている。

以上の結果から、話者同士の相互行為による不同意が 1 回のみ表明されるのは圧倒的に多く、2 回表明されるのは 1 回表明の半分であり、3 回まで続くのはあまりないということが明らかになった。

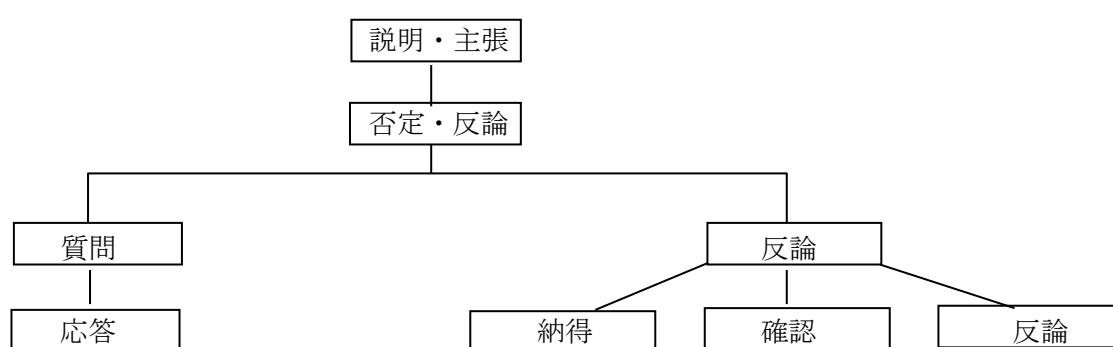


図 2-4 不同意の発話連鎖(杉本, 2001:200)

寅丸(2006)では学習者が自分の意見を聞き手に分かりやすく伝達できるような基礎的案談話運用力の育成を目的として、テレビのシンポジウムの討論の談話を資料とし、日本語の討論の談話における「意見表明」の構造を明らかにした。その結果、まず、意見表明の構成要素には「意見」と「意見」を証拠づける「事実」と「根拠」<sup>14</sup>の3つの要素があると指摘している。また、これらの要素の組み合わせによる意見表明の仕方に対して順序を付けると、「根拠→意見」(35.4%)、「意見→根拠」(18.8%)、「事実→意見」(11.1%)、「事実→根拠→意見」(8.9%)の順となっていると述べられている。このことから、意見が事実や根拠による証拠づけの前に出されることより、証拠づけが行われてから述べられやすく、またこのような意見の述べ方は日本語の討論の談話における「意見表明」の方略の1つであると分かった。

寅丸(2006)の「意見表明」の構造の解明では、意見の述べ方の特徴も浮かび上がった。また、分析対象は討論の談話であるため、ここでの「意見」は「異なる意見」も内包されると想像でき、不同意発話までの構造が明らかになったと言える。

李(2001, 2003)では大学生 50 名ずつに対して実践式のインタビューを利用し、日韓両言語の反対意見の表現形式を中心に分析している。調査は、話題と反対の理由を予め規定し、それに基づいて「どのように談話を組み立てるか」に注目して行われている。その結果、日本語の談話においては「談話支持ストラテジー表現→理由節→提案節」という線状性を

<sup>14</sup> 「事実」では〈事実説明〉、「根拠」では〈判断提示〉、「意見」では〈意見主張〉と〈評価表明〉の発話機能が中心となっていると説明されている。(p. 32)

持った同一パターンの談話構造が認められ、日本語社会の構成員はその意識の中に「何をどのように言うか」というルールが一般的な知識として備わっていると指摘している。一方、韓国語の談話の場合は、比較的自由に談話を構成していくものが多いと指摘している。反対意見における日韓両言語行動の構造の違いを明らかにした後、場の改まり度と上下関係を変数として捉え、反対意見言語行動における反対意見を示す発話の表現形式と談話支持ストラテジー表現使い分けについても分析した。

李(2001, 2003)では、日本語母語話者は1ターン内で「談話支持ストラテジー表現」・「理由」・「提案」といったことを一気に出す特徴が分かった。この点に疑問がある。日本語母語話者が1ターン内での発語量が少なく、代わりにターン数が多いと指摘されている観点(大貫, 2015)から見ると、1つのターン内でこんなにたくさんの情報を一気に伝えることは日本語の特徴であるとは言い難い。実際の会話においては、多様なパターンが存在すると思われるため、インタビューからの分析は不十分であると言える。

詹(2014)は女子大学生の会話を取り上げ、隣接ペアの観点から、ターンテイクング(turn-taking)に注目し、日中両言語の会話がどのような組織によって構成されていくのかを明らかにした。まず、不同意を示すターンについて、「主流ターン」と「非主流ターン」に分類している。「主流ターン」とは実質的な内容の発話でフロアを取りえる内容のターンであり、「非主流ターン」は、フロアを取りえる内容を持たないターン、その大半を占めるのは相槌であると述べられている。そして、ターンテイクングはパターンIとパターンII(図2-5、図2-6)の2種類に分けられると指摘している。

その結果、まず、中国人女性大学生では、7割近くの不同意隣接ペアがターンテイクングパターン「I→I」の形で構成され、また、この形は5回以上続くこともよくあり、9回以上続く場合もあるのに対し、日本語グループにおける「I→I」連鎖は、2、3回連続するものが最も多いと述べられている。次に、日本人女性大学生の会話では、相槌を打ちながら不同意へ導いていくという「I→II」・「II→I」・「II→II」の展開の仕方が7割ほどあることが確認された。



図 2-5 ターンテイクングパターン I (詹, 2014:31)

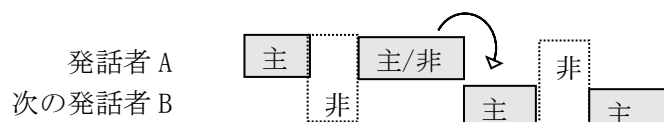


図 2-6 ターンテイクングパターン II (詹, 2014:32)

詹(2014)では、日本語母語話者は相手の意見を「理解している」、乃至「認めている」という意味付けがある相槌を打ちながら、相手に不同意の意見を表明する特徴が分かった。しかし、不同意に限らず、多くの言語行動の場合においても相槌は談話の構造に必ず出現する要素である。そのため、相槌の有無から不同意の構造を解明するのは十分ではないと思われる。

---

以上の分析からは、「不同意表明」の構造の解明に、話者間の相互行為による発話連鎖(杉本, 2001; 詹, 2014)と、話し手 1 人の不同意発話の構造(寅丸, 2006; 李, 2001, 2003)が明らかになった。これらの結果の上、不同意表明発話をさらに細分化する場合、どのような結果となるのかは本研究の 1 つの課題とする。

### 2.3.2 不同意表明の言語ストラテジーに注目した研究

「不同意表明」の言語ストラテジーに注目した研究は対人配慮の視点からの考察が圧倒的に多い。

#### 2.3.2.1 日本語母語場面の研究

米井(1997)は、クラブのミーティング、テレビ討論番組、話し合い形式のトーク番組における不同意の言語行動について、会話分析の観点から考察している。その結果、不同意の意見表明における対人配慮の特徴は、不同意の意見表明を遅れさせる「前置き」などによる配慮と、意見を表明する発話(「拒否部分」)の配慮的な言い方によって実現していると指摘している。その中で、不同意の意見を遅れさせる「前置き」などによる配慮に、不同意の意見を表明する前に、相手の意見を問う発話を入れる言い方、「あの一」・「うーん」のフィラーを用いて発話を始める言い方、相手の意見への同意を示した後「でも」を使って不同意を出す言い方、「ちょっといいですか」・「一つだけ言わせてください」のような前置きを使う言い方、前提を「一でしょ？」などを用い相手に問いかける言い方などがある。そして、意見を表明する発話(「拒否部分」)の配慮的な言い方には、人の意見を引用して意見を出したり、言いさし表現や意見を和らげる表現で意見を出したり、相手に「問いかける」形式で意見を出す言い方がある。そして、以上の要素を組み合わせ、日本語の会話において観察された対人配慮の特徴には、「前置き・相手の意見への同意を示す」タイプが一番多く、「前置き・共感を得る」・「拒否部分・相手に問いかける」の形も割合が高いと指摘している。

梶本(2004)では、より具体的な人間関係がある日常会話を対象として調査を行い、親しい関係の同性友人の会話における反対のストラテジーを明らかにした。梶本によると、反対意見には「目的達成」と「対人関係配慮」の 2 つの指向性が存在すると指摘している。

「目的達成」には「断定的な発話で反対の意を表明する」・「「いや、でも」のような談話標識を使い、反対であることを印象づける」・「反対であることを強調する」・「反対の理由を述べる」の 4 つの方略がある。「対人関係配慮」には「反対であることをぼかす」・「問いかけることにより自分の意見を押し付けない」・「流暢でない言い方をすることで遠慮の姿勢を示す」・「共通の立場に立っていることを示す」と「親しみの気持ちを示す」の 5 つの方略があるという。

関崎(2010)では否定的評価の表現の方法が「明示的な否定的評価」と「明示的ではない否定的評価」に分けられている。「明示的ではない否定的評価」については否定的評価の意味を持った語彙や表現で表すのではないが、実際には相手を批判する、非難する、注意するなどの機能や、相手に同意しない機能を持った発話であると述べられている。その具体的な表現方法は、相手に評価を下す親しい同性同士の大学(院)生が参加した 2 者間会話において、使用頻度の高さから順を付けると次のようになる。比較的に多く使用されるのは「否定的に捉えた行為の言語化」(29.8%)、「否定的に評価する根拠となる事実・状況を指摘する」(26.2%)「明示的な表現の繰り返しを避ける」(19.0%)の 3 つである。そ

れ例外に、「感情の表明」(7.1%)「疑問詞での言い換え」(6.0%)、「話し手自身の状況を述べる」(3.6%)、「例え話」(2.4%)がある。またこれらの表現方法は、相手への言及を回避するものと、ネガティブ・フェイスを脅かす度合いを緩和するもの、の2通りの方法を通して配慮を実施していると述べられている。筆者の調べた範囲では、日本語を対象とする研究の中で、関崎(2010)ははじめて明確に「不同意表明」を明示性との関連で分類したものであると言える。

その後の研究の金(2012、2015)は、「配慮」の視点から不同意表明について述べた。「不同意」を明示性と関連づけて分類していないが、「配慮」を示す言い方は非明示的な不同意表明に分類することができると考えられる。

金(2012)は20代の大学生の男性2名を1組とし、サークル活動の日程や場所などを決める話し合いでの「不同意コミュニケーション」において、どのような「配慮」が行われるのか、また「配慮」はどのような意味を持つのかについて考察した。その結果、不同意を行う前、不同意を行う際、及び不同意が連続するやりとりに「配慮」行動が確認されたという。不同意を行う前に、相手の意図を明確にする手段としての、相手の意見を確認する発話は「配慮」行動として確認された。そして、不同意を行う際の言語表現に、可能性を残す表現、異なる意見を提案の形で伝える言い方、断言を避ける文末表現、及び同意を誘う問いかけなどの「配慮」が確認され、これらは相手に意見表明の余地を与え、意見交換してほしい姿勢を示す「配慮」行動である。最後に、不同意が連続するやりとりに、理由や根拠のみ伝えることにより自分自身の意見への理解を促す行為と、不同意表明の後の理由や根拠の提示、相手の意見への修正、または同意の意見締めくくなどの関係修復のための「配慮」行動が確認された。これらは、人間関係や場の状況、さらにやりとりの展開に応じる配慮行動であると指摘されている。金(2012)のように、不同意が連続するやりとりに注目し、配慮の様相を明らかにする研究は今まで見当たらない。

それに対する、金(2015)は金(2012)を踏まえ、日本語母語話者と中国人学習者の接触場面の会話を分析対象とし、不同意表明に関する「配慮」を明らかにした。それによると、まず、金(2012)に指摘された多くの「配慮」行動<sup>15</sup>は接触場面の会話にも確認された。ま

表 2-4 金(2015)による接触場面における不同意表明時の配慮行動

配慮行動のカテゴリー		具体的な表し方
表現形式	意見を緩和する表現形式	・断定を避ける文末表現
	話を続けやすくする表現形式	・同意を誘う問いかけによる文末表現 ・確認による文末表現
表現内容	意見を緩和する表現内容	・「不同意表明」の前に示された理解 ・「不同意表明」の前に述べられた同意の意見 ・不同意の理由 ・迷いを表す意見
	相手の理解を促す表現内容	・不同意の理由や根拠
	親しみを示す表現内容	・意図的な「突っ込み」
	あいまいな表現内容	・曖昧な意見

「表 2：接触場面でみられた配慮」(p. 46)をもとに筆者が整理

<sup>15</sup> 金(2012)に指摘された「不同意が連続するやりとり」における「配慮」を言及していないため。

---

た、これらの「配慮」行動を金(2012)の分類と違い、「表現形式」と「表現内容」の側面に分けてカテゴリー化した。その結果を表 2-4 に示した。

金(2015)の分類では、例えば、「迷いを表す意見」、「突っ込み」、「曖昧な意見」などの配慮を示す表現は非明示的な表し方として不同意を示していると思われる。

以上の研究結果から、確認されたことと問題点を述べる。

不同意を明示的あるいは非明示的な表現で表明する場合があると考えられるが、はっきりそのような分類する研究は関崎(2010)だけである。梶本(2004)における「目的達成」(効率達成)と「対人関係配慮」の分類方法について、「目的達成」は明示的な不同意表明として取り扱われるが、「対人関係配慮」の中での戦略は全部非明示的な不同意表明として取り扱われない。例えば、「流暢でない言い方をすることで遠慮の姿勢を示す」という対人関係配慮の戦略は明示の場合でもよく使われるからである。そのため、不同意表明をめぐる「明示」、「非明示」、「効率達成」、「対人関係配慮」といった要素を全体的に把握し、「効率達成のための明示的な表明」、「対人関係配慮のための明示的な表明」と「対人関係配慮のための非明示的な表明」の 3 区分に分類できるのかということとは本研究の課題とする。

### 2.3.2.2 日本語と中国語の対照研究

楊(2009)は、中国語母語場面と日中接触場面の日常会話の中で、「事実情報に対する不一致」・「意図や解釈のずれによる不一致」・「認識に対する不一致」の 3 種類の不一致における戦略の使用について考察し、中国語母語話者と日中接触場面の日本母語話者の共通点と相違点を明らかにした。「認識に対する不一致」は参加者の主観性を強く帯びた考えの食い違いによるものなので、対人関係管理のために「間接表明」と「回避」の戦略がより多く使われていることが共通している。ただし、「間接表明」については中国語母語話者に比べて日本語母語話者は、有意に多く使っている。これらの結果から、ある事柄に対する認識の食い違いがある場合、日中両母語話者ともに相手の立場に配慮しながら異なる意見を出すよう工夫するが、日本語母語話者のほうがその傾向が強いと言える。

王(2013)では、会話分析とポライトネス分析の 2 つの視点から、多様な人間関係と場面<sup>16</sup>を設定し、日中両言語それぞれにおいて不同意はどのように表明されるのか、また、男女差が見られるのかについて考察した。会話分析の場合は、「単位方略」<sup>17</sup>を使い、不同意表明を「否定型」・「指摘型」・「発言要求型」・「共感期待型」・「回避型」の 5 つの方略の型に分類し、さらに「否定型」と「指摘型」を「明示的な方略」に、「発言要求型」、「共感期待型」と「回避型」を「暗示的な方略」にカテゴリーしている。分析の結果、「意見や評価の不同意」に関しては多くの場面において、日本語母語話者はより多くの暗示的な言い方を使用し不同意を表明するが、中国語母語話者はより多くの明示的な言

---

<sup>16</sup> 多様な場面というのは、日常生活でよく対面する場面を、フォーマルな場面からカジュアルな場面まで、フォーマルな相談場面、インフォーマルな相談場面、買い物場面、食事場面の 4 つの場面のことである。

<sup>17</sup> 国立国語研究所(1994)では、「単位方略」をあるタスクを遂行するために必要な戦略の行動様式を類型化したものであると規定している。



---

い方で不同意を表明する傾向、「事実の不同意」に関しては両者ともに明示的に不同意を表明する傾向が見られたという。そして、単位方略の使用に関する男女差に関して、多くの場面において日中両言語ともに大きな男女差は見られないが、男性はより多く明示的に否定をし、女性はより多く回避することが見られたと指摘している。

次に、ポライトネス分析の場合、不同意表明発話を「ポライトネス理論」の枠組みに対応させ、以下の4点の結果が得られたという。まず①不同意を表明するかどうかに関して、多くの場面でも日本語母語話者に比べ中国語母語話者のほうが遠慮せずに不同意を表明しやすい。相手が親しい関係の友達と家族でも、さらに相手がやりたいと思っていることや、相手の好みに関わるもの等に対して異議を持つ時であっても、日本語母語話者のほうが不同意を表明しにくいと述べられている。②「ポジティブ・ストラテジー」に関して、多くの場面において、日本語母語話者より中国語母語話者のほうが積極的に用いる。③「ネガティブ・ストラテジー」に関して、日中両言語共に比較的多く使って不同意を表明するが、日中両言語において「ネガティブ・ストラテジー」の捉え方は異なる。日本語では語彙のレベルから文のレベルまで様々な形式の「ネガティブ・ストラテジー」を使うが、中国語では主に単語を添加して発話を和らげることが多く、日本語のような文法的に明確に区別できる手段は少ない。したがって、中国語の「ネガティブ・ストラテジー」は気づかれにくいいため、中国語の言い方は硬い印象を与えかねないと指摘している。④多くの場面において、中国語より日本語母語話者のほうが「ほめかし」の言い方を多用する。

趙(2018a)では王(2013)の会話分析の方法を参考した上で、不同意表明を「明示的な表明」と「暗示的な表明」のほか、「補助の表明」の3種類に分類している。その中で、「明示的な表明」に「否定型」・「指摘型」が、「暗示的な表明」に「回避型」があり、これらは常に単独に使われる方略であると述べられている。それに対し、「発言要求型」と「共感期待型」は常に明示的な不同意の前後に随伴的に発されるため、「補助の表明」にされている。分類に基づき、不同意表明を行う際に「配慮」がどのようにして親しい同性の友人に伝わるのかを出し方と言語形式との2つの側面から明らかにした。その結果、不同意表明の出し方において、1)不同意が明示される前に同意できないことを予告的に暗示すること、2)不同意が明示された後で相手の同意や共感、理解を求めること、3)相手の提案に興味を示し、不同意の明示を遅らせることまたは回避すること、4)不同意を提案の形で示し、相手との親密さを表すこと、5)不同意表明の補助手段を単独で行使すること、6)不同意表明の補助手段を複合的に行使すること、といった「配慮」行動が観察された。そのうち、1)と2)は日中両母語話者に共通し、3)・5)と4)・6)はそれぞれ日本語母語話者と中国語母語話者の特徴と見なされる。次に、不同意表明の言語形式において日本語母語話者の特徴として不同意が明示される場合に、話を続けやすくするための言語形式(問いかけ、確認、「～けど」「～かな」のような断定を避ける文末表現ど)を多用し、中国語の会話ではそういう「配慮」の言語形式が見られず、断定する表現形式の使用が多い。

なお趙(2018a)では、「発言要求型」と「共感期待型」は常に明示的な不同意の前後に随伴的に発されるため、「補助の表明」に分類しているが、発話内容を見ると、それは「回避型」と同様の「暗示的な表明」ではないかと思われ、「補助の表明」の分類にはもう少し検討の余地がありそうである。

儲(2019)では「否定的評価」を中心に、「否定的評価」<sup>18</sup>の表現方法に日中両言語の間

---

<sup>18</sup> 儲(2019)では、分析の対象である「否定的評価」とは、「図書館で手に取った本を本棚に返さず帰ろう

にどのような違いがあるのかを談話完成テストの調査方法を採用して考察した。分析の枠組みは以下の3つのステップで構築されている。まず、「否定的評価」は単独で否定的な意味の伝達が意味論、語用論的に可能なものを「主要部」、それ以外のものを「周辺部」とされている。また、「主要部」の発話について、「表意」と「推意」のレベルから、推論によって結果的に「否定的評価」として機能する発話は「間接的に否定的評価を為す発話」であると述べられている。最後に発話に意味を付け、「批判」と「悪態/罵り」の意味付けがある発話は「直接的な否定的評価」と、「直接改善要求」・「間接改善要求」・「冗談/皮肉/からかい」・「確認/ほのめかし」の意味付けがある発話は「間接的な否定的評価」とされている。分析の結果、まず、「直接的な否定的評価」の意味公式の使用に、日本語では「そんなのダメだよ」、「それを誰もがするようになったらどうなると思う？」のような「批判」の意味公式が、また中国語では「バーカ」、「お前豚なの？」のような「悪態/罵り」の意味公式が有意に多く用いられるという。このことから、日本語母語話者は「規範性」を志向するストラテジー、中国語母語話者は「関係性」を志向するストラテジーを好むと述べられている。次に、「間接的な否定的評価」の意味公式の使用に、「相手と自分の距離の遠近を伝達する手段」として日本語では「確認/ほのめかし」の「ネガティブ・ストラテジー」、中国語では「冗談/皮肉/からかい」の「ポジティブ・ストラテジー」が有意に多用されることが観察されたという。ただし、儲(2019)に指摘された「悪態/罵り」について、女性がそのような乱暴な言い方を実際に口にできるのかに疑問を持った。談話完成テストであるから出てきた回答なのか、本当に中国語母語話者の特徴なのか慎重な検討が必要であろう。

以上で述べたように、不同意表明に関する日中対照研究は2.3.2.1節の日本語母語話者場面の研究と比べ、効率優先伝達か配慮優先伝達かという伝達の特徴による分類が主流となっている。しかし、分類の際の判断が主観的に思われる。明確な基準に基づいたより客観的な分類方法が必要だと思われる。

また、不同意表明発話の言語形式についての分析が現在あまりない。異なる言語体系である日中両言語は、不同意表明の言語行動が、それぞれどのような表現形式で表されるのか、それを明らかにするのは重要な意義があると思われる。

### 2.3.2.3 日本語と他言語の対照研究

日本語と他言語の対照研究は、日韓対照研究の林(2010, 2015)、張(2017)が挙げられる。

林(2010)ではポライトネスの観点から、日・韓の母語話者間の親しい友人同士の会話における否定的評価を発する際のストラテジーと発した後の補償行為について考察を行っている。否定的評価を発する際の話し手のストラテジーとして、声の大きさや話すスピードを変えるなどの行動による「韻律操作」、「感情や程度の誇張」、「笑い」を挙げており、これらは相手に冗談・遊びであることを示すものであると指摘している。また、否定的評価を行った後、どのようなフェイス侵害補償行為を行っているかという点で、日本語母語話者は自身がへりくだることで相手のフェイスを補償しているが、韓国語母語話者は相手のほかの側面をほめることで補償を行うことが観察されたと述べられている。

林(2015)では、林(2010)の結果に加えて、否定的評価の表現形式と談話の組み立て方の

---

とする」行為・「歩きながらスマートフォンを操作する」行為、などの社会的規範や習慣、論理・道徳から逸脱した行動を取った相手に対する否定的評価を下すことである。

---

分析が行われている。それによると、否定的評価の表現形式に関して、「非難」の意味付けがある疑問文が多く使用されていること、そして、談話の組み立て方に関して、否定することを予告する前触れや前置き表現、また、沈黙を挟んだり、言い淀んだり、語尾を伸ばすことで、発話の速度を遅くしている行動が観察されたという。さらに、否定的評価とその前の発話による発話連鎖を分析し、日本語母語話者は否定的評価の受け手が先に自身の非を話題として持ち出すことに対し、否定的評価を行う側が同調する形で否定的評価を行う場面が多いと指摘している。

張(2017)は同性の親しい友人同士の日常的な自由会話における「不同意」と「否定的評価」を中心に、会話の流れにおいて一時的な「対立」を形成した場合と、「冗談」として用いられた場合の相互行為に見られるジェンダー差を明らかにした。まず、対立の場合の「不同意」や「否定的評価」行為に関する分析では、女性同士の会話では「対立」はトラブル源であると見なされ、積極的に意見交渉を行い、異なった意見を一致させることで「対立」を終了させる行動が観察された。一方、男性同士の会話では相手との意見差を縮め、一致させようとする交渉は見られるものの、意見の一致点までは達成されず、また交渉に失敗して話者間の意見の差が全く縮まらないまま会話を終了させる相互行為も観察された。次に、冗談として捉えた「不同意」や「否定的評価」行為に関する分析では、女性同士の会話では一方向の行為である。一方、男性同士の会話では相手によって冗談の形で出された不同意に対して、同じく冗談の形で返すことにより、不同意を積み重ねる双方向の特徴が見られた。

このように、林(2010)と張(2017)では、「笑い」や「冗談」のような暗示的な不同意表明のストラテジーが分析の対象の1つとされていることが分かった。また、張(2017)はジェンダーの視点から考察を行う研究として、不同意表明に関する考察に大きく貢献していると思われる。

したがって、以上のように「不同意表明」の言語ストラテジーに注目した研究を総合的に見ると、日中対照研究に残された課題は①不同意表明のより合理的な分類、②不同意表明発話の言語形式の対照考察、③ジェンダーの視点からの考察の3点であると言える

### 2.3.3 不同意表明に伴う非言語行動の研究

不同意表明に伴う非言語行動に関する研究は、細馬(2009)、趙(2018b、2019)が挙げられる。細馬(2009)は非優先的な応答のジェスチャーの時間構造の変化、趙(2018b、2019)は不同意発話の手のジェスチャーの種類と機能について、それぞれ中国人女性の特徴と日中両言語の女性の比較について考察している。

細馬(2009)は、話者交替を含む複数の発話にまたがる「グランド・ジェスチャー」<sup>19</sup>に着目し、発話連鎖の構造とジェスチャーとの関係を事例により分析した。まず、発話連鎖の構造において、非優先的な応答<sup>20</sup>と明確な不同意表明発話は二段構えの不同意表現として捉えられている。この二段構えの不同意表現は同様のジェスチャーを伴って発される場合、異なる表出特徴が観察された。例えば、人差し指が曲がるというジェスチャーを伴って不

---

<sup>19</sup> 細馬(2009)が注目したグランド・ジェスチャーとは、1つのターン内で行われているジェスチャーと異なり、同一話者による離れた複数のターン間で連続するジェスチャーのことを指す。

<sup>20</sup> 遅延や引き延ばしを伴う応答で不同意を示す発話のことである。

---

同意を表明する事例では、非優先的な応答の際、人差し指が少し内側に曲がり、手がじわじわと閉じ加減になるが、明確な不同意表明に伴う場合、人差し指は速度をあげて内側に曲がるのが観察された。同様に、拳を振り下すジェスチャーを伴う事例でも、非優先的な応答の場合、ジェスチャーは遅延化されることが観察された。これらの現象から、発話の中身に連動してジェスチャーの動作の強さも変わることが分かった。

趙(2018b)は中国語母語話者を被験者に、相手に対する不同意や話者自身の主張などが言明される際、どのような形の手動きが伴い、それらの手動きはどのような機能を持つのかについて分析を試みている。その結果、中国語母語話者は「指す」・「置く」・「叩く」・「動かす」の4種類の「手動き」によって言語表現を補助し、不同意や主張などの態度を伝えていることが明らかになった。しかしながら、趙(2018b)で指摘されたこれらの手動きの機能は、「指す」動作が「指示的な機能」、他の3種類の動作をまとめて「行為的な機能」と2区分されているのに過ぎない。「指す」動作は、それが伴う言語表現の違いによって「指示的な機能」だけでなく、「行為的な機能」も備わっていると考えられたため、手動きの機能を適切に分析するためにはより細分化される必要がある。

趙(2019)は趙(2018b)の問題点を修正し、「行為的な機能」に注目し、「行為的な機能」がある「指す」・「叩く」・「動かす」を中心に考察を行い、「指示的な機能」をもつ「指す」動作を考察対象外とした。量的にこの3種類の動作の表出に対する対照分析を行った結果、まず、日本語母語話者は特に「指す」動作を多用するのに対し、中国語母語話者は3種類の動作それぞれ同程度の頻度で表出し、差異は認められなかったという。また、手動きの表出は不同意表明発話の種類との関係を見ると、中国語母語話者は手動きは明示的な不同意表明発話に、日本語母語話者は非明示的な不同意表明発話に伴って表出されるのが有意に多いことが観察された。さらに、手動きを表す領域として、自分の領域と相手の領域を設定し分析したところ、中国語母語話者は頻繁に相手の領域に侵入して手を動かす傾向があり、日本語母語話者は基本的に話者自身の領域内で動作する特徴が見られた。そのため、以上の3つの側面からの考察の結果から、非言語行動において、日本語母語話者は「他者志向優先」の対人的な配慮行動を採用しているが、中国語母語話者は「自己志向優先」の特徴があると結論づけている。趙(2019)は女性同士の会話のみに限定して分析を行ったが、その結果は男性にも適応するのかは不明である。

## 2.4 本章のまとめ

### 2.4.1 先行研究の課題

これまで概観した先行研究からは、以下の4つの課題が浮上してくる。

まず、1点目は、会話参加者2名による合意形成会話を扱った研究が少ないということである。2.2節で見てきたように、先行研究が対象とする会話は、4名による小集団討論が非常に多い(小笠, 2002; 大塚, 2003; 星野, 2010; 賈, 2008; 郭, 2006)。また、生活の中で実際に行われている何かを決めるインフォーマルな話し合いは会話参加者が少なくとも3名からなる(柏崎(1996)、柏崎他(1997)、大和(2009)は5名、若野(1998)は10名、陳(2014)は3名)。3名以上の参加者による会話は意見が対立することによって停滞する場合、意見対立する当事者以外の立場に立つ第3者の合意に向けたヒントの提示によって、対立する話者同士は主張の緩和や歩み寄りを行い(大和, 2009; 星野, 2010)、あるいはこの第

3者が対立する話者同士のどちらかの意見に与し、この2人が協力して反対する側の1人を説得し、会話を停滞から合意へ導く(陳, 2014)といったやり方が見られた。このことから、多人数の意見を交わす会話では、合意に導く「決定促し」(柏崎, 1996)のような役割を果たす会話者が存在することが判明した。一方、「決定促し」を経由しない合意に至る会話もある。この場合、合意案になる意見は会話者の総意として定まるまで十分に討論される(大塚, 2003; 大和, 2009)必要がある。3名以上による会話では以上のように、合意に達する過程が見られた。会話者2名の場合は、コンフリクトをどのように解消させ、合意形成に至るのだろうか。この点について、以下の2つの問題点が浮か上がる。1)コンフリクトを解消する「決定促し」はどの会話者によって果たされるのか、そして「決定促し」はどのような言語表現、意味、及び機能を持つ発話で達成されるのか。2)「決定促し」を経由しない場合、会話者2名の総意として定まる意見はどのような過程を経て達成されるのか。

そして、2点目は、会話の構造に対する取扱いは研究目的によってまちまちである。まず、柏崎他(1997)と梶本(2000)では、提案から決定までの会話の基本的な流れを提示した。しかし、図2-1、図2-2に示された流れにおいて「主張」と「不同意」はどのように展開し、どの段階で「決定促し」や「決定求め」に至るかなどが示されていない。大和(2009)に指摘された3つのシーケンス(図2-3)は、この2つの簡略化した会話の流れの図式の内容を充実したものである。大和(2009)の分析によれば、何かを決めるための話し合いの場合、1つの提案をめぐる会話を展開するのではなく、話者ごとに自分自身の意見を持っている。そのため、話者ごとに意見を提出することにより意見の不一致が表面化されるようになる。しかし、大和(2009)ではこの段階の構造ではなく、言語表現の側面について中心的に分析した。それに対し、杉本(2001)では意見の不一致が表面化した段階の構造を分析し、図2-4の発話連鎖が観察された。そして、図2-1(図2-2)、図2-3、図2-4を総合すれば、合意形成を目指す会話の流れの全体像を捉えることができる。

本研究が取り扱う会話は、会話を行う前に話者双方が異なる意見を持っていることをお互いに了解する前提で意見を交換し、そして合意案としてのものを異なる意見の中から決めるという形の会話である。この種の会話では、意見の対立が必ず生じる。一方、良好な対人関係の維持も考えざるを得ない。そのため、会話の局所的な各箇所を確認された日本語母語話者の「対人関係重視」の特徴(木山, 2001; 李, 2001; 大貫, 2015)は会話を全体的に捉える場合どうだろうか。自分の意見を合意案にさせようとする前提での個人の主張は、相手への配慮行動の中で実現させようとするのか。または、相手の説得を受けて簡単に諦められるのか。意見表明の言語行動で確認された中国語母語話者の「自己重視」の特徴(李・松崎, 2009; 陳, 2014; 郭, 2006等)は会話の構造とどのような関係があるのだろうか。それらを見るためには本研究が取り扱う会話の構造の全体像を先に明らかにする必要がある。

3点目は、マルチモーダル談話分析の視点からの研究が少ないということである。会話を交わすことは、実は、視線、ジェスチャー、うなずき、顔の表情などの非言語行動を使い、言語とともに様々な情報や意図を表現したり、対人関係の構築や維持をしたりするマルチモーダルコミュニケーションのことである。マルチモーダル談話分析は、言語とその他の身振り手振りなどの記号的システムが共同することで、いかに意味を生み出すかを観察するための方法である。それによって対面コミュニケーションの理解を深めることが出来る。しかしながら、合意形成会話に着目した研究は、意見表明の言語的側面の分析に集

---

中している。その際、言語の分析の補助として、笑いや手振り、沈黙、フィラー(久米他, 2000; 郭, 2006; 大和, 2009; 星野, 2010)等が分析されている。他方、非言語行動に焦点を当てた研究も見られる(法他, 2011; 趙, 2018b, 2019)。法他(2011)では、意見の不一致による不安と緊張を緩和する機能がある笑い・笑顔・うなずきに焦点を当てて分析している。しかし、量的分析はなされているが、それに関する十分な考察が行われていない。趙(2018b, 2019)では、不同意を示す言葉を補強したり、言葉の代わり不同意を表明する機能があるジェスチャーについて分析している。しかし、そこでは手の動きのみを研究の対象としており、坊農(2008)、Goodwin(2009)のように、身体動作と同時に視線行動も分析対象にした研究と異なり、非言語行動間の関係性がダイナミックに捉えられていない。

最後に、4点目は、ジェンダー上の差異にかかわる問題である。合意に至るまでの会話を取り上げた研究にはジェンダーを扱った研究がない。2.2節で概観したように、3人以上の会話参加者による談話に注目した研究が殆どであり、それらの研究では調査対象を男女混合にしたものが多く占めている。このような調査方法により、例えば、郭(2006)で指摘された「男性は主導権を握る」という結果に示されたように、同じ会話における男女の役割の違いが明らかになった。しかし、相手が同性であるか異性であるかという性別上の関係は談話の展開に関与している(三牧, 2013)。また Tannen(1990)によれば、男女は異なった言語的指向とスタイルを発達させる単一の性の集団の中で、社会化されたため、男女の言語上の振る舞いに差が生じているという。そのため、男女の言語上の振る舞いの違いをよく解明するために、男女混合の会話ではなく、同性同士の会話を収集する必要がある。男女別々に調査することは、大貫(2015)、星野(2010)、陳(2014)などの先行研究で指摘された意見表明に関する女性の特徴、特に大貫(2015)で指摘された集団の成員間の和を作り上げる<sup>21</sup>特徴は、男性同士の会話で見られるのかを検証できる。同様に、)自立性の誇示や相手との違いの強調といった男性の特徴(Tannen, 1990)は女性同士の会話で見られるのか、また、合意形成に向かう談話においてどのように発現されるのかを検証できる。

ジェンダー上の差異に注目した対照研究の場合、同一言語・文化を共有する集団内における「男女差」と、異なる言語文化間の男性同士と女性同士の特徴の共通性「ジェンダー差」の側面について考察を行うことが可能である。その点では、日韓対照研究の張(2016)が、その両方についても分析し、顕著な差がある行動を明らかにしたが、日中対照研究の王(2013)は「男女差」のみに注目し、「ジェンダー差」を扱っていない。

#### 2.4.2 本研究の立場と研究課題

以上の課題を踏まえ、本研究では、合意形成に向かう意見表明会話における言語と非言語上のインターアクション行動について、男女一体の母語話者の一般的なスタイルタイプばかりでなく、男女それぞれの一般的なスタイルタイプを探ってみる。分析に当たって明確にしたい本研究の立場は、以下の3点である。

まず、本研究では多人数のグループ・ディスカッションではなく、一対一の2者間のある課題について合意に向かう会話を採用する。また、採用される会話はもう1つの前提がある。相手が自分と異なる意見を持つことをお互いに了解し、会話は明確な対立状態から

---

<sup>21</sup>和を作り上げるという特徴としては、例えば「相手の選択したプランの優劣を評価しない」や「歩み寄って相手のプランを受け入れる」などがある。

---

始まるという前提である<sup>22</sup>。このように異議があることを前提に、2人の会話者同士はどのように意見表明し、どのような相互行為によって対立を乗り越え、合意に向けるのかに重点をおいた研究として位置づけられる。

そして、特定の言語行動の使用様態が解明しやすいように、話題と話者の身分、ジェンダーといった変数を統制する自然会話データを収集し、実証的な研究を行う。話題について、ジェンダーの要素をうまく捉えられるように、男女それぞれにとって日常的で好まれる話題や日常生活の中でよく触れる話題に限定する。また、方法論としては、「話者自身の目的の達成と対人関係の考慮」という指向性は、会話分析の手法を用いて、会話の構造を解明することによって適切な対人関係行動を探り出す。対人関係を良好に保つ相互行為について、会話の構造の解明と言語のストラテジーの両方、つまり、会話分析とポライトネス分析の2つの側面から検討する。それぞれの考察結果を明らかにしたうえで、不同意表明に関する日中両母語話者間の違いとジェンダー上の差異を解明する。

最後に、非言語行動の考察に、本研究は手の動きと視線に焦点を置いて考察を行う。今までの意見交換会話に対するマルチモーダルの分析としては、異なる意見による雰囲気緊張を防ぐ機能、あるいは緩和する機能がある笑い・笑顔・うなずきについての研究が見られた。つまり、非言語行動による対人配慮の機能が注目されている。一方、対面コミュニケーションの場に表出された非言語行動は、言語の補助、あるいは言語の代替の手段として情報や意図の伝達を働いている。例えば、対面コミュニケーションの場に表出された、後傾姿勢や腕組み、足組みなどは相手に対する拒否感の表れとなることもある(高木, 2005)。また、Kendon(1981)に細分された視線の4つの機能<sup>23</sup>は、いずれにしても情報や意図の伝達と多少に関わると思われる。そこで、本研究は、情報や意図の伝達において、言語を補強したり、言語の代わりに伝達したりする手の動きと視線行動に焦点を当て、それらによる話者同士の相互行為を主な着目点として考察を試みる。

以上の記述から本研究の課題をまとめると、次のようになる。

課題 1: 合意に至るまでの会話の全体像はいかなるものであるか。言語ごとに、また言語横断ごとに異同が存在するのか。

詳細は第4章で述べるが、具体的には次の2つの作業課題からなる:

作業課題 1-1: 「意見交換」談話の全体的な構造に関して、パターン化できるのか。

日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

作業課題 1-2: 「意見交換」談話において、どのような契機を経由して意見調整が始まるのか。日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダー差異が見られるのか。

---

<sup>22</sup> 本研究が実施した調査から得たデータは、会話参加者2人が持ち寄った提案の中で共通の提案もあるが異なる提案もある。共通の提案に対するやりとりは会話の開始の段階にあるが、合意案の決定に関わる意見交換の話ではない。会話の全体の流れにおいて、異なる意見の中から合意案に決まるという意見交換のやりとりである。

<sup>23</sup> Kendon(1981)では、視線の機能を認知機能、フィードバック機能、調整機能と表現機能といった4つに分類した。認知機能は相手に注意を向けていること、また、意思の疎通を希望することを指す。フィードバック機能は相手から投射された視線には行動指針の働きがあるという。調整機能は話者と相手とどちらが働きかけを行う順にあるかを制御しているのである。最後に、表現機能は話者の態度や情動を伝える働きを指し、相手に好意を示している場合には、視線行動の量は増えると述べている。

---

課題 2: 不同意表明に関してどのような対立の局面が形成されるのか。そこにはどのような話者双方の相互行為が見られるのか。言語ごとに、また言語横断ごとに異同が存在するのか。

詳細は第5章で述べるが、具体的には次の2つの作業課題からなる:

作業課題 2-1: 「議論」話段はどのような発話によって構成されるのか。その発話構成に、日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

作業課題 2-2: 「回避」話段と「共感」話段はどのような発話によって構成されるのか。また、そこに現れる発話はどのような場合に不同意表明として認められるのか。それに関して日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

課題 3: 不同意表明はどのように表明されるのか。またその際、対人関係がどのように構築あるいは維持されるのか。その点において、言語ごとに、また言語横断的に異同が存在するのか。

詳細は第6章で述べるが、具体的には次の3つの作業課題からなる:

作業課題 3-1: 不同意が明示、非明示的に表明される場合、どのような言語手段で表明されるのか。その際、対人関係がどのように構築と維持されるのか。

作業課題 3-2: 非明示的な不同意は、明示的に表明される発話の前後において、会話はどのように展開され、その際対人関係がどのように構築と維持されるのか。

作業課題 3-3: 以上の2つの作業課題において、言語ごとに、またジェンダーに差異が見られるのか。

課題 4: 不同意表明に伴う手のジェスチャーと視線行動は不同意の態度の伝達、及び会話の展開にどのように関わっているのか。その点において、言語ごとに、また言語横断的に異同が存在するのか。

詳細は第7章で述べるが、具体的には次の3つの課題に分けられる:

作業課題 4-1: 不同意表明に伴う手の動きにはどのような表出特徴が見られるのか。

また、その表出に日中両言語の間及びジェンダーに差異が見られるのか。

作業課題 4-2: 不同意表明に伴う視線行動にはどのようなタイプが見られるのか、そして、それらはどのような影響要素によって表出されるのか。また、その表出に日中両言語の間及びジェンダーに違いがあるのか。

作業課題 4-3: 手の動きと視線行動との間にどのような関係があるのか。また、それは日中両言語の間及びジェンダーに違いがあるのか。

これらの課題に基づいて、意見対立の状態から合意に至る会話の構造を分析し、それにより、会話における不同意表明の位置づけが明らかになる。そのうえで、言語と非言語のストラテジーの分析を行う。これらの分析を通し、日中両言語間及びジェンダーにどのような特徴があるのかを明らかにする。



## 第3章 研究方法

本章では、本研究で扱う会話データの調査概要と分析の枠組みについて述べる。

### 3.1 調査概要

本研究のデータは、合意形成に向かっていく意見表明会話を収集するためのものである。具体的には、20歳代の日本語母語話者と中国語母語話者の男女同士の大学生をそれぞれ2人1組のペアにし、ロールプレイ法という自然会話に近い談話のデータを収集する調査方法によって行う。合意形成に向かっていく意見表明会話をしてもらったものに基づいている。そして、調査参加者の属性、データの収集方法と記録方法などは以下の通りである。

#### 3.1.1 会話参加者の属性

##### 3.1.1.1 日本での調査

調査対象：19～22歳の日本の北陸地域のK市にあるK大学とKS大学の学生、男女それぞれの同性ペア10組ずつ。

調査地及び時期：日本の北陸地域のK市、2018年11月。

そして、調査対象者の属性を以下の表3-1、表3-2に示した。

表3-1 日本語母語話者の属性(男性)

会話	話者記号	年齢	学年	出身地(県)
JM01	JM01A	19	1	福井
	JM01B	19	1	愛知
JM02	JM02A	19	2	新潟
	JM02B	20	2	静岡
JM03	JM03A	21	3	愛知
	JM03B	21	3	東京
JM04	JM04A	19	1	富山
	JM04B	19	1	新潟
JM05	JM05A	19	1	石川
	JM05B	19	1	富山
JM06	JM06A	19	1	三重
	JM06B	19	1	石川
JM07	JM07A	23	4	新潟
	JM07B	22	4	新潟
JM08	JM08A	20	2	長野
	JM08B	20	2	長野
JM09	JM09A	21	3	青森
	JM09B	20	3	石川
JM10	JM10A	21	3	岐阜
	JM10B	21	3	富山

表 3-2 日本語母語話者の属性(女性)

会話	話者記号	年齢	学年	出身地(県)
JF01	JF01A	20	3	石川
	JF01B	21	3	石川
JF02	JF02A	22	4	石川
	JF02B	21	4	石川
JF03	JF03A	21	4	新潟
	JF03B	21	4	石川
JF04	JF04A	20	3	石川
	JF04B	20	3	石川
JF05	JF05A	21	3	三重
	JF05B	20	3	岐阜
JF06	JF06A	19	1	富山
	JF06B	19	1	富山
JF07	JF07A	19	2	福井
	JF07B	20	2	富山
JF08	JF08A	20	2	栃木
	JF08B	19	2	石川
JF09	JF09A	19	1	石川
	JF09B	19	1	石川
JF10	JF10A	19	1	富山
	JF10B	20	1	滋賀

### 3.1.1.2 中国での調査

調査対象：19～24歳の中国の華北部のT市にあるN大学とT大学の大学生、男女それぞれの同性ペア10組ずつ。

調査地及び時期：中国の華北部のT市、2018年3月。

調査対象者の属性を以下の表3-3、表3-4に示した。

表 3-3 中国語母語話者の属性(男性)

会話	話者記号	年齢	学年	出身地(省 <sup>24</sup> )
CM01	CM01A	21	2	河南
	CM01B	21	2	河南
CM02	CM02A	21	2	河南
	CM02B	21	2	河南
CM03	CM03A	24	2	山東
	CM03B	21	2	山東
CM04	CM04A	21	3	陝西
	CM04B	22	3	甘肅
CM05	CM05A	23	2	山東
	CM05B	20	2	山東
CM06	CM06A	23	2	山西

<sup>24</sup> 日本の「県」と同じレベルの中国の行政区分である。

	CM06B	21	2	貴州
CM07	CM07A	21	2	広西
	CM07B	20	2	河南
CM08	CM08A	20	2	四川
	CM08B	20	2	貴州
CM09	CM09A	19	1	天津
	CM09B	19	1	天津
CM10	CM10A	22	2	四川
	CM10B	19	2	四川

表 3-4 中国語母語話者の属性(女性)

会話	話者記号	年齢	学年	出身地(省)
CF01	CF01A	21	3	重慶
	CF01B	21	3	河南
CF02	CF02A	22	3	安徽
	CF02B	21	3	甘肅
CF03	CF03A	22	3	山西
	CF03B	21	3	貴州
CF04	CF04A	21	3	貴州
	CF04B	21	3	山西
CF05	CF05A	20	2	貴州
	CF05B	19	2	河南
CF06	CF06A	23	4	山東
	CF06B	22	4	山西
CF07	CF07A	19	1	江西
	CF07B	19	1	山東
CF08	CF08A	22	2	安徽
	CF08B	21	2	江西
CF09	CF09A	21	3	河北
	CF09B	21	3	四川
CF10	CF10A	20	2	浙江
	CF10B	20	2	雲南

### 3.1.2 データ

#### 3.1.2.1 データの収集

本研究では、自然会話に近い談話のデータを収集する調査方法によって会話を収集した。ここでいう自然会話に近い談話のデータを収集する調査方法とは「自己再生型ロールプレイ」(清水, 2009)のことである。清水(2009:37)によると、ロールプレイには「自己再生型ロールプレイ」と「演劇型ロールプレイ」があり、「自己再生型ロールプレイ」とは被験者自身のアイデンティティを維持しつつ、与えられた状況でやり取りを行うもの、「演劇型ロールプレイ」とは全くの他人の役割を演じるものということであると述べている。Cohen(1996)では「演劇型ロールプレイ」は与えられた状況が被験者の実際の社会的立場とかけ離れていて、どのように行動したらよいかうまく想像できない時には不自然な行動

を引き出してしまう欠点があると述べている(清水, 2009:38)。そのため、「演劇型ロールプレイ」に比べ、「自己再生型ロールプレイ」は話者自身の経験した関連性のある記憶による発話を行うことができ、発話の内容や発話の仕方などにおいて自然談話に近いと考えられる(Kasper, 2000)。実際には、上記の2種類のロールプレイはいずれも、与えられた状況が被験者の実際の生活とかけ離れる場合、行動の不自然さが避けられないことが欠点である。そこで、本研究では調査をする際に、調査の手順や話題の設定について被験者の実際の生活に密着するよう考慮しながらロールプレイを作成した。

### 3.1.2.2 調査の手順

まず本研究では、会話参加者選定にあたっては、知人や友人に依頼し、依頼した人が会話を実施できる相手を連れて調査に参加してもらった。会話参加者の2人は友達という役割を演じさせるのではなく、実際に親しい友人関係にある人物に限定した。それにより、友人関係の立場から意見を自然に表明することができる。

本調査は、「被災地の子供たちに救援物資として送るものを選定する」というテーマで行われた。調査の際に、会話参加者が入室する前に救援物資に載せている同じ内容の写真(ロールプレイカード)が10枚ずつ会話参加者2人の手前の机に並べておき、カメラも適当な位置に設置しておく。会話参加者が席に座ってから、先ず「調査説明」<sup>25</sup>を配り、調査者はその場で会話参加者に「調査説明」に目を通すように指示し、了解を得る。その後、個人情報フェイスシートに書いてもらう。質問が無ければ、ビデオカメラとボイスレコーダーのスイッチを入れて調査者は退室する。セッション中は一切の干渉を行わず、会話の進行などは会話参加者の自由に任せる。

また、両言語の違いを生み出す社会的要因を探り出すため、フォローアップ・インタビューも加える。

### 3.1.2.3 会話内容

会話参加者に展開させた会話は、大学生にとって誰でも想像しやすい救援物資の寄付に関する内容である。具体的には、自然災害等に巻き込まれた子供たちに救援物資3点を寄付するという目的で、何を送るのかを決定する会話である。

「調査説明」における話題の提示は以下の通りである：

自然災害等に巻き込まれた子供たちに何かの救援物資を寄付する際に、写真で提示された10種類の救援物資の選択肢(飲み物, レトルト食品, 衣類, 書籍, 文房具, 玩具, 布団, 薬品, 衛生用品, テント)の中から、必要だと思う3種を会話前にそれぞれが事前に選ぶ。そして、それぞれが選定した3種の救援物資案を提示し、2人で協議して、最終的に3種に絞り込むという課題である。

### 3.1.2.4 会話現場の記録

以下の図3-1のように、各調査協力者2名を四角形のテーブルの角を挟んで着座させ、

<sup>25</sup> 「調査説明」は2つの部分からなる。1つ目は、調査の目的・意義、方法と個人情報の保護などの内容が記載されている。2つ目は、「同意書」である。調査参加者は調査に関する事項について十分な説明を受け、それを理解したうえで、研究に参加することに同意し、署名をすることになる。詳細は付録①を参考。

音声はボイスレコーダーで録音し、映像(会話参加者の上半身)はビデオカメラ 3 台で撮影した。会話参加者 2 名を同時に捉える正面のカメラのほか、会話参加者それぞれの正面に 1 台ずつ三脚で固定されたビデオカメラが配置されている。また、カメラの録画からは、会話を行う前に会話参加者に選択された 3 種類以外の写真が机に並べられている場合もあれば、ばらばらに置かれている場合もあることが記録されている。

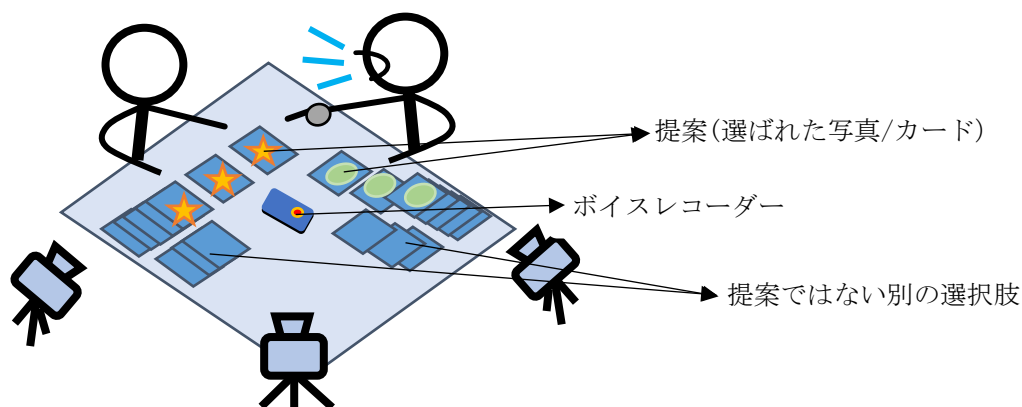


図 3-1 データの記録方法

### 3.1.3 音声データの文字化の方法

会話データ収集の結果、日・中両母語話者からはそれぞれ合計 174 分 43 秒と 181 分 12 秒の会話データが得られた。その中で、男性日本語母語話者 (JM) は 95 分 55 秒、女性日本語母語話者 (JF) は 85 分 17 秒、男性中国語母語話者 (CM) は 87 分 35 秒、女性中国語母語話者 (CF) は 87 分 08 秒である。そして、得られた会話データは、「基本的な文字化の原則」(宇佐美, 2011)にしたがって文字化した。

会話例の文字化表記は以下の通りである。

- 。 1 発話文の終わり
- ,, 相手に挿入されるため、発話文が終わってないところ
- 、(,) 1 発話文中での短い間(日本語の慣例は「、」・中国語の慣例は「,」)
- ? 疑問文(疑問の終助詞が付いていなくても、語尾を上げるなどして疑問の機能を持つ発話の終わりにもつける)
- ↑ 上昇イントネーション
- 平板イントネーション
- ↓ 下降イントネーション
- <秒> 沈黙の秒数
- (文字) 発話中に挟まれた聞き手の相槌
- (h) 聞き手の笑い(その個数により相対的笑いの長さが表現される)
- h 話者の笑い(その個数により相対的笑いの長さが表現される)
- h(h) 話者と聞き手とともに笑い
- ∅文字 h ∅から笑いを挟みながら話す。同様に、∅文字[ʌ]/[v]/[<]/[>]もあり、∅から声を大きく、または小さく、話すスピードを遅く、または早くする。
- :
- 直前の音の引き延ばし(その個数により相対的引き延ばしの長さが表現される)
- 文字... 音の言いよどみ

= =	改行される発話と第 1 話者の発話の間が短い
< >{<	同時発話の前文
< >{>	同時発話の後文
[[	割り込み発話に挿入されたところ
]]	割り込み発話の開始
「( “ ” )	固有名詞(日本語の慣例は「」・中国語の慣例は“ ”)
[^]	大きい声で話す
[v]	呟いているように話す
[<]	話すスピードを遅くする
##	聞き取り不明(その個数により相対的発話の長さが表現される)
< @ >	舌打ち

### 3.2 分析の単位

上述のように、本研究は実際に行われた会話データを基にまず文字化し、その文字化資料の分析を行うことにより、会話への分析を実施する。文字化資料を分析するためには、分析のための単位を定めることが必要となる。熊谷(1997: 21)は会話の中でどのような働きかけがどのようにやり取りされているかを見るために、会話を構成する個々の発話を考察することが第一段落であると述べている。また、中井(1991)も、談話の構造を考察する際の分析の単位について、談話が発話機能のやりとりあるいは連なりとされているため、個々の「発話」の働きの検討を通して談話の姿を記述している。そこで、本研究では、「発話」を会話分析の基礎的な単位として考えることにする。以下にターン(発話文)の認定、ターンにおける発話の分割、不同意表明発話等を取りあげる。

#### 3.2.1 ターン(発話文)の認定

分析対象とする発話の区切りについて、杉戸(1987)、宇佐美(2011)に規定されている発話文を参考する。杉戸(1987: 83)では「ひとりの参加者のひとまとまりの音声言語連続(ただし、笑いや短い相槌を含む)で、他の参加者の音声言語連続(笑いや短い相槌を含む)」とポーズによって区切られる単位」と発話文を規定している。つまり、話者交替と間という2つの要素(宇佐美, 2011)によって発話文が規定されている。このように規定されている発話文は、話者の交替で分割点が決まる「ターン(turn, 話順あるいは番)」と同一の概念として働いている。そのため、1つのターンは1つの発話から構成される場合もあるが、複数の発話から構成される場合もある。

しかし、自然会話では話者同士は間を置きながら順番を取って発話をしない場合も多い。そして、その場合に出現する、例えば、何回もの相槌によって中断される発話や、他者に挿入された後の発話についての区切りは以下のように規定する。

A 何回もの短い相槌と笑いによって中断される場合、同一会話者によるその前後の発言は連続性がある場合、1発話文として扱う。

会話例 3-1:

ターン	話者	発話
12	JF01A	なんか、まず、この、これ↑(うん)、選んだのは、なんか、〇暇

h(hhhh)やることとかさ(うん)多分なくて(うんうん)、ひまだし、で、なんか色鉛筆のセット買ったら、一本ずつ(うん)、なんか、たくさんの人が、たくさんの子供が、一斉に(うーん)、加われる(うんうんうん)、その遊びに、だしなんか、逆に大人も、童心に返って遊べる(うーん)かな、と思った。って感じ(そうね)。似たような感じ

- B 少し長い相槌と笑いが挿入され、同一会話者によるその前後の発言は連続性がある場合、1 発話文として扱うが、挿入された相槌と笑いも独立の 1 発話文として扱うため、表記は以下の例ようになる。

会話例 3-2 :

ターン	話者	発話
31-1	JF01A	なんか[マナ]は、hhh これがさ、子供にとってゆつとってでも、大人に<∅お茶は与えられてないのかとか h>{<},,
32	JF01B	<うーんうーんうーんうーん>{>}
31-2	JF01A	なんか、思ったけど、まあ、∅水分は h、<不可欠や∅なって h>{<},

つまり、相槌に関しては、発言が中断されない場合、相槌として扱う。発言の終わりに異なる話者によって発された「そうですか」・「確かに」などのような発言は実質の発話として扱う。

- C 前後に間がある場合の相槌と笑いは独立した 1 発話文と見なす。会話例 3-3 における発話 67、会話例 3-4 における発話 89 のような発話である。

会話例 3-3 :

ターン	話者	発話
66	JF03A	<hhh>{>}チャンバラ、そうそうそう hhh。そう思ったら、ちょっと本を破こうって気持ちにはならんけど
67	JF03B	まあ確かに
68	JF03A	こいつらだったら、「ぎゃっ」って

会話例 3-4 :

ターン	話者	発話
107	JM07B	でも、電気とかそういう沸かす...、(1 秒)なに、あの、装具とか(うん)、ある状態だったら、絶対も食べ物もあると思うんだよね h、そんな気しん?
108	JM07A	h h h
109	JM07B	h h h 災害が起きて、そしたらもう、これもいらないけどね、もはや

- D 第 1 話者の発話文が完成する前に、途中に挿入される形で、第 2 話者の発言が始まる場合、話者交替があるため、それぞれは 1 発話文とする。ただし、第 2 話者によって挿入された後の発言はまた第 1 話者によって発され、2 つの可能性がある。その発言は第 2 話者に挿入される前の発言の続きである場合は前の発言と同一発話文とする(会話例 3-5 に

おける発話 14-1, 14-2) 。そうでない場合は別の発話文とする(発話例 3-6 における発話 47、49-1)。

会話例 3-5 :

ターン	話者	発話
14-1	JM02B	うん。で、まあ、もう一個を選ぶときに、たしかにふとんとかテントとか(うん)基本的な、せい...、服とか生活をするためのものにしたほうが良いような気もしたんだけど、まあ、それは、だれでも思いつくし(うん)、まあ、最低限あってほしいなっていう感じで(すでにね)どれだけあるかはこの状況ではわからないから、まあ、そう考えて、この、なんか、おもちゃというか[[,
15	JM02A	]]えんぴつ?
14-2	JM02B	えんぴつ、まあ、お絵描き(んん)というか、そういうのを選んで、まあ、なぜかって言ったら、まあ、暇つぶしとか(うん)創造性とか、子供がやっぱりすごい、疲れちゃうと、その、避難所全体的な、その[[,

会話例 3-6 :

ターン	話者	発話
47	JM06A	いやいや、これ送るんやろ(あ、そっか)寄付するときに[[
48	JM06B	]]ああ、しにくいとか?
49-1	JM06A	そそそ、<なんか>{<},

### 3.2.2 発話

複数の発話によって構成されたターンは、幾つかの発話に分割できるが、その分割の基準と実際の例を紹介する。

#### 3.2.2.1 発話機能に関する理論的な枠組み

##### 3.2.2.1.1 move

熊谷(1997: 25)では、相手に対する働きかけ、即ち、質問、依頼、断りなどの行為的機能を担う最小の単位として「move」を用いられている。また、「move」の単位への分割のしかたについて、発話についてどのような行為的機能の種類を設定するかによって微妙に異なると述べている。例えば、以下の例文における B の応答発話であるが、B のターンに含まれる move を 1 つとするか、「そうねえ、」と「あの左端……」の 2 つの move に分割するか、どちらの設定も可能である。そのため、当該の発話の行為的機能の種類を先に設定することが重要となる。

A: どの絵が一番好き?

B: そうねえ、あの左端の水彩画が好きだわ。

##### 3.2.2.1.2 発話機能と発語内行為

発話機能について、山岡他(2010:109-113)の述べていることをまとめて記す。山岡他(2010:109)では、これまでの言語学関連諸分野における発話機能の扱われ方を一言で表現するならば、「発話に対する名付け」であると、また、発話に名づけをするのは決して直観的にのみ名付けられるわけではなく、理論的な要因もあると述べている。それは何かと



考えると、日本語の談話研究において、「発話機能」の扱いは、国立国語研究所(1960)に用いられた「表現意図」に始まっていると考えられる。「命令」・「叙述」・「応答」などの内容を示す「表現意図」は当時の話し言葉に対する文法研究のための概念であるが、1970年代以降の欧米の言語教育界によって提案された発話の意味や伝達の目的に即した機能という考え方を中心に据えるようになり、日本でも「表現意図」は「発話機能」に改称された。そこで、発話機能の理論的な根拠は、会話を行う話者の発話の動機や伝達の目的にあるので、発話機能とは話者がある発話を行う際に、発話の動機や伝達の目的などによって聞き手に対して果たす対人的機能のことであると考えられる<sup>26</sup>。例えば、「今、雨が降っている」という発話は、発話機能について言えば、聞き手に対する「報告」や、「外出をやめるべきだ」という「警告」などの語用的機能を持っている発話と見なすことができる。

この「発話機能」は、発話行為理論の「発語内行為 (illocutionary act) に相当すると見なすことができる。言語の意味を話者の意図から捉えた意味分析の代表的なものの1つが「発話行為論 (speech act theory)」である。発話行為論は Austin(1962)の明示的な行為遂行文から議論が始まるが、Searle(1969)は遂行動詞を持たない一般的な文であっても発語内目的、発語内効力を備えていると主張し、間接発話行為<sup>27</sup>へと考察対象を拡大した。その結果、あらゆる発話は何らかの発語内行為を内包していると思なすに至ったため、発話を発語内行為として範疇化することができ、結果としては「発話機能」と同じようなラベリングを行うことができると山岡他(2010)で述べている。

発話機能から見ていこうとする研究としては、国立国語研究所(1987、1994)、中田(1991)、熊谷(1997)などが挙げられる。これらの研究は発話行為論の流れを汲む発話機能分類を目指すものである。国立国語研究所(1994)は<伝達の内容・姿勢>、<やりとりの参加者>、<やりとりの構成>という3つの局面から発話のコミュニケーション上の機能を考えている。その中で、<伝達の内容・姿勢>の面からラベリングした発話機能を本研究の理論的な証拠として表3-5のようにまとめている。

### 3.2.2.2 本研究における発話機能と発話の分割

#### 3.2.2.2.1 「発話機能」の設定

表3-5に示されたように、国立国語研究所(1994)では、「ある発話をいくつかの角度から検討して各々の角度からその発話の特徴を求め、複数の特徴の束という形で機能をみる」(p.6)という方法で、分析を行っている。その分析の枠組みは、本調査と関連付けると、(2)の相手への働きかけの姿勢の「肯定的」・「否定的」、(3)の話題に対する「肯定

<sup>26</sup> ここでの発話機能に対する定義は山岡他(2010:110)を参考にしたものである。山岡他(2010:110)では発話機能に「話者がある発話を行う際に、その発話が聴者に対して果たす対人的機能を概念化したもの」との定義が与えられると述べている。

<sup>27</sup> 人々は毎日の生活の中でいろいろな行為を行っている。それらは日常言語の動詞を使って表現する。例えば、「座る」、「歩く」、「食べる」のような動詞を使って当該の行為を描写している。それに対し、「約束する」や「命名する」のような動詞は、その動詞を発話すること自体がその行為である。こういう動詞を「遂行動詞」と、また、こういった遂行動詞を用いて行為を遂行している文を「遂行文」とする。第一人称主語と現在時制の遂行動詞との組み合わせは遂行文の必須要素となるため、この必須要素がある遂行文は「明示的遂行文」である。例えば、「私は行くことを約束する」は明示的遂行文であり、「私は必ず行くよ」という文は発話の目的も「約束」であるが、「約束する」のような遂行動詞が使われなく、発話の目的から見て「私は行くことを約束する」の遂行文と意味上には等価であるため、間接発話行為とされる。

的」・「否定的」、(4)の相手に向けた「同調的」・「非同調的」といった分析項目を同質のものだと見なすことができる。3.1 節の「調査概要」のところにも述べたように、本調査では、話者と話題は2者合一の関係である。話者が持っている話題(話者あるいは相手

表 3-5 <伝達の内容・姿勢>の面からの「発話機能」の特徴分析(国立国語研究所, 1994)

分析項目		定義	
(1) 行為的機能	発話がなされることによってどのような行為が遂行されるか、という発話の持つ行為としての機能の基本的な種類を特定する項目	情報要求	相手に情報を提供してくれるよう要求する働き。
		行為要求	依頼、指示、命令、誘いのような相手に何かをするよう促す機能。
		注目要求	相手への呼びかけのような、相手の注意を喚起する、自分のほうに向けさせる機能。
		陳述・表出	何らかの命題内容や自分の思ったことなどを述べる機能。
		注目表示	何か気づいた存在を認めたときの「あつ」など、相手の発話をうける相槌「はい」・「ええ」など、及び質問に答える前に入れられる「そうですねえ」などがある。
		関係作り、礼儀	相手との関係を調整したりコミュニケーションの雰囲気を作ったりする働き。例えば、出会いや別れの挨拶、お礼、お詫びなどがある。
(2) 相手への働きかけの姿勢	①の項目で特定した基本的な行為を行ううえで、どのような姿勢で相手に働きかけているかを見る項目	操作的	相手の行動を誘発する、考えを変えさせるなど、その発話によって相手を動かそうとする姿勢。
		教示・伝達的	何らかの情報を相手に教えよう、伝えようとする姿勢。
		教示要求的	相手に情報をもらおうとするなど、教示を求める姿勢。
		攻撃的	相手をなじるなど、強硬な攻めの姿勢。
		共感的	興味を示す、動揺する、感銘を受けるなどの気持ちを表す姿勢。
		共感要求的	相手の同情や共感を誘おうとする働きかけの姿勢。
		肯定的	褒めるなど、相手を肯定的に評価する姿勢。
		否定的	非難する、窘めるなど、相手を否定的に評価する姿勢。
		評価表明的	評価、価値判断などを表明する姿勢。
		交話的	「いいお天気ですね」、「ええ、本当に」のように、やり取りの雰囲気をよくするなど、ことばを交わす自体が発話の主目的。
(3) 話題・内容に対する話し手の評価・態度	—	肯定的	話題・内容を良いこと、好ましいこととして評価。
		否定的	話題・内容を良くないこと、好ましくないこととして評価。
(4) 同調性	—	同調的	賛成、相手の向けてきた流れに乗る姿勢。
		非同調的	主張に反対する、相手に向けてきた流れに逆らう姿勢。
		保留	同調の有無を表明しない姿勢。

国立国語研究所(1994:7-12)に基づく筆者の整理

の選択した写真のこと)に対する肯定と否定の態度は、話者に対する同調と非同調、あるいは褒めなどの肯定的評価と非難などの否定的評価のことである。例えば、以下の例における「うそ」(発話文 211)は相手を対象として否定を示す働き(2)の「否定的」)であるが、同時に相手の選択である「文房具」という話題を反対するものとして、相手に逆らう(4)の非同調性)姿勢を示していると考えられる。そのため、以上の(2)、(3)、(4)は本研究では1つに統合することにする。

会話例 3-7(話者 A の提案「文房具」についてのやりとり)：

発話文	話者	発話
209	CF04B	你弟弟放假写吗? (弟さんは休みの時に字を書くの?)
210	CF04A	写啊。为什么不写。 (書くよ。なんで書かないの。)
→211	CF04B	瞎说。 (うそ。)

また本研究の扱ったデータは、話者同士が意見を述べ合い、それぞれの意見にお互いが触発されながら、一定の方向性を生み出していくというディスカッションである。そのため、発話がなされることによって遂行される行為そのものは、相手への働きかけであると考えられ、(1)と(2)を1つの枠にまとめることができると考えられる。

以上の考えを踏まえ、表 3-5 の(1)～(4)の詳しい枠組みを単純化し、本調査の発話に合わせ発話機能を設定する。本調査では、発話は、大きく「意見交渉」、「情報共有」、「談話進行」、「その他」という4領域に分ける。「意見交渉」領域において発話は①

表 3-6 「意見交渉」発話と対応する発話機能

発話種類	対応する発話機能
①話者自身の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話	<主張> <主張・対比> <主張・反論>
②相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を批判する発話	<否定>
③相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話	<肯定> <共感・支援>
④話者自身の提案の優位性を批判する発話及び撤回するという意図を表す発話	<主張の緩和> <主張の撤回>
⑤話者自身の提案に対する相手からの批判を受け入れる発話	<受け入れ>
⑥問いかけ、確認、繰り返し、話題転換といった話者双方のどちらの個人提案及び提案内容に関する意見に対して擁護とも批判とも表明しない発話	<意見保留>
⑦沈黙と笑いも含め、意見を表明しにくいことを示した困惑の発話	<困惑表明>

「話者自分自身の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話」、②「相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を批判する発話」、③「相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話」、④「話者自身の個人提案の優位性を批判する発話及び撤回するという意図を表す発話」、⑤「自分の個人提案に対する相手からの批判を受け入れる発話」、⑥「話者双方のどちらの個人提案及び提案内容に関する意見に対して擁護とも批判とも表明しない発話」と、⑦「意見を表明しにくいことを示した困惑の発話」の7種類が観察された。それらの会話の流れにおける機能は表3-6に示した。そして、「情報共有」、「談話進行」、「その他」の範疇に属する発話の機能を含めた詳細の説明は表3-7である。

表3-7 合意形成を目指す会話における発話全体の発話機能

発話 範疇	発話機能		説明
	上位 カテゴリー	下位 カテゴリー	
意見 交渉	同調提示	肯定	相手の述べた意見や提案の優位性などに納得する。
		共感	相手の述べたこと(理由)を発展したり、補充したり、共話したりすることと、話し合いの場を保つ相槌 <sup>28</sup> とうなずきのことである。
		主張の緩和	話者自身の提案の欠点を言う。
		主張の撤回	提案の欠点を言いながら提案を引き下げる意図を表す。
		受け入れ	話者自身の提案に対する相手からの批判意見を受け入れる。
	非同調提示	否定	マイナス評価や指摘などの否定の意見と、その意見と関係ある必要な情報や説明を根拠として提示することである。否定を示す相槌も含む。
		主張・対比 <sup>29</sup>	相手の提案及びその提案に関わる意見を対比しながら、自分の提案を表明したり、自分の提案内容の優位性を説明したりする。
		主張・反論	自分の意見や提案内容の優位性を強調することにより、相手からの批判に反論する。
		相手評価	相手のことを対象とし、マイナス評価をする。
	保留	意見保留	発話の字面から同調の有無を表明しないことである。相手の提案及びそれと関わる意見に対する問いかけ、確認、繰り返し、話題転換などの行動が含まれ、また、継続、確認などの働きをしている独立の相槌も含む(相手が発話する途中に挿入した相槌は含まない)。したがって、下位の発話機能としては「意見要求」・「確認(要求)」・「繰り返し

<sup>28</sup> 川上(1993)によれば、話し合いの場を保つ共感(うなずき、相槌)というのは、対立意見を持つ相手の発話をお互いに聞こうという姿勢を表していることである。その場合の相槌はザトラウスキー(1993:67)を参考し、「承認」、「興味」、「共感」、「同意」などを示しているものが多い。

<sup>29</sup> 相手が述べた<主張>機能の発話に対する応答として、自分自身の主張を述べることは「主張・対比」とする。相手に逆らう姿勢を示している。

			し」・「話題転換」がある。
		困惑表明	沈黙・笑いが含まれ、「どうかな」・「うーん」のような意見が表明しにくいことを感じていることを述べる。下位の発話機能としては「意見の不提示」・「沈黙」・「笑い」がある。
情報共有	情報提供と要求	主張	新しい情報としての提案を述べることである。
		情報提供	意見の交渉や合意案の決定に無関係の一般の情報と、決定の背景と条件として考慮されるべき事柄などの合意案の決定に関係がある情報を提供することである。
		情報要求	相手の発話内容の背景・条件として考慮されるべき事柄についての情報を求めることや、相手の意志・意向を尋ねる。
		確認(の要求)	物事や先行発話の内容に対する認識・把握・理解のため、情報を提示し、または、情報を求める。
		確認応答	確認に対する簡単な応答である。
談話進行	談話進行	談話進行	討論の開始・終結、合意の確認や話題の転換、進行、収束などの発話のことである。特に、談話を合意へ持ち込もうという意図のもとになされた談話の運営を目標として発話である。
		意向の表明	話題収束の段階に相手に実現を求めようとする自分の提案を述べる。
		同意要求	合意案として同意してもらいたい意志を伝える。
		同意(応答)	合意案として決まっていいたいという協力的な態度を示す。
その他	注目表示	—	何かに気づいたときの「あっ」など、相手の発話をうける相槌「はい」・「ええ」など、及び質問に答える前に入れられる「そうですねえ」など。つまり、簡単な相槌で相手に表明された意見や提供された情報に対し、同意や不同意と関係ない反応を示す相槌のことである。
	談話表示	—	これから何かの意見表明をしようとする談話の展開そのものに言及する接続表現(「じゃあ」、「それで」、「で」)やフィルター(「まあ」、「えっと」)、メタ言語的発話(「そうやな」、「そういうわけで」等)である。
	不明	—	「言いさし」や「割り込み」によって最後まで言い切れないような意味不明の発話である

発話機能の発話例<sup>30</sup>は表 3-7 に示された順で示す。会話例に出現した複数の発話によって構成されたターンの場合、各発話を 1)、2) のような番号で表記する。どのように 1)、2) に区切ったのかについては次の節で論じる。なお、発話機能は、上位のカテゴリーを []、下位のカテゴリーを <> という符号で示す。

<sup>30</sup> 中国語母語話者のデータの日本語訳は筆者による翻訳である。また、会話文の言語行為の解釈の方法として、日中それぞれ 3 名の言語学を専門とする母語話者の判断にしたがった。

[同調提示] :

<肯定> :

102 JM04B そう、子供たちにとって言ってるんだよ

103 JM04A あ、まあ限定しとるもんね

104 JM04B うん、で、そっちかこっちくっていう>{<}

→105 JM04A <そうだね>{>}、じゃあ、もう、子供たちだからまあこっちにしちやいましょうよ

<共感・支援> :

04-1 CM1B 这个，它，我感觉，不应该是这些玩具，应该是那些，毛绒的，比较[[,，

(これ、おもちゃ、僕は、これらのやつのはずがなくて、あのようなふわふわのやつだと思う。わりと [[,、)

→05 CM1A]]就是睡觉的时候可以(对对对)可以，躺在床上玩

]](つまり、眠る時に(そうそう)、ベッドの上で寝ころがって遊べるもの)

04-2 CM1B 就那种，我可以，对它诉说一些(啊)，或者它就是我的一个感情的藉慰。

(それぞれ、僕が話しかけられるような、あるいは、僕の気持ちを癒してくれるようなもの。)

<主張の緩和> :

52-2JF03B<本は>{>}本は集めやすそうだよね(うん)。いつも何だっけ資源回収やってるし。

54 JF03A やってるし。

→55 JF03B はこ、でも、運ぶの、こっちのほうが運ぶのがきついよね。

56 JF03A きついね。輸送費かかるね。

<主張の撤回> :

30 CF01B 1)反正就，现在定的就是书和(书和)衣服(衣服)。这些大家都很方便，准备。而且应该准备的也能，尽可能的多一些(嗯)。

(とにかく、今決まったのは本と(本と)洋服(洋服)。この2つはみんなにとって準備しやすく、また、量も確保できるし(うん)。)

2)然后，就是，你，你刚才说的，食物。

(次は、あれ、あなたが今言った、あの食べ物。)

→31 CF01A 食物的话我觉得如果是这个上面的话就可以不用了。一开始我没有考虑到他这上面这些东西都是，<@>都是这些。

(食べ物は、私はもし(カードの写真に)うつってるこのようなものだったら、もう要らないと思う。最初は私はこんなものだと考えていなかった。)

<受け入れ> :

97 JF05A え、別にお茶ってやる必要はないよね([お茶は話者Bの選択])

→98 JF05B 確かにね。じゃこれはやめとこうか。

[非同調提示]

<否定> :

09 CF01A 1) 其实我选择两样就是, 首先就是温饱肯定很重要嘛(嗯), 穿, 要吃得饱穿得暖, 所以这两样我就选了。

(実は、私は、つまり、まず身体を暖かいものとお腹がいっぱいなるようなものが間違いなく大事だから、この2つを選んだ(うん)。お腹がいっぱいなるようなものと身体を暖かいもの、だからこの2つは私が選んだ。)

2) 然后要是他们, 那, 就是, 得到的那种信息, 比较少, 所以要给他们一些书让他们...

(そして、もし彼らは、あの、つまり、情報がなかなか得られない場合、だから彼らに本を提供して、彼らに...)

3) 所以这是我三, 选择0这三样的原因h。

(これらを考えて、この3つを選んだ。)

→ 4) 那你选笔的话, 那, 不是, 就是农村的话不是有, 自己的墨0可以自己弄吗hhh (hh)

(あなたが選んだ文房具だが、あのう、あれっ、農村だったらあれがあるじゃないか、墨があるじゃないか。)

<主張・対比> :

64 JF02A おもちゃは? hhhhh

→65 JF02B おもちゃは↑、おもちゃっていうより私、布団のほうが気になった。

<主張・反論> :

17 JM01B 布団(うん)。布団と、俺がいるのは布団と、<1秒>、この消毒のやつと

18 JM01A 消毒

19 JM01B(1秒)と何だろうな、あと、服かな

20 JM01A 服? h

21 JM01B 服h

22 JM01A h h服いらんくね? h h

→23 JM01B0いるやろ服h

<相手評価> :

209 CF04B 你弟弟放假写吗?

弟さんは休みの時字を書くの?

210 CF04A 写啊。为什么不写。

書くよ。なんで書かないの。

→211 CF04B 瞎说。

うそ。

[意見保留]

<繰り返し> :

26 JM07B 1) < h h h h h h h、いや3つだから、3つだから h h > {>} これが一、

2) まあ、あ、たしかに、これは、これはなんか、

3) まず、あっ自分のを言うと(うん)、ま、これだと、このシーツみたいな役割も果たしてくれるし、雨(うーん)、なんか、雨が、雨が降った時に、絶対、まあ、よければというか、雨の時にいちばん役に立つ(ま)ってのがあって、2次会、2次災害っていうか、のを防げるっていうので、(うん)一番身の安全を守れるっていう点でこれにした。

→27 JM07A うーん、身の安全ね<sup>31</sup>

28 JM07B そう

<意見要求>:

20 CM06B 呃，我觉得还是要书 hh(hh) (うーん、僕はやっぱり本が要ると思う)

→21 CM06A hh(hh), 为啥? h (なんで?)<sup>32</sup>

22 CM06B 精神[へ]食粮。灾区的，<孩子>{<} [[(精神の栄養剂。被災地の子供)

23 CM06A ]]<那你>{<} 不得先解决，吃... 吃住啊，什么的。<穿啊>{<}

( (その場合) まず、食べ...、食べ物と住むところなんか、お先に解決する必要があるのでしょ。洋服も)

[困惑表明]

<意見の不提示>:

→104 JF04B はあ[感嘆詞]、何じゃろか。

[情報共有]

<主張>:

→07 JF010B 衛生用品

08 JF010A はい、衛生用品

→09 JF010B っていうのは、これだって消毒液ってことやる?

10 JF010A うん。

→11 JF010B なんかインフルエンザとかはやりそうやん?

12 JF010A 確かに。(h h h) 確かに。

<情報要求>と<情報提供><sup>33</sup>:

03 JF03A 私やっぱり災害に巻き込まれた子たちやから、衣食住(うん)ちゃんと整え

---

<sup>31</sup> 26 番の JM07B の発話を 3 つの発話機能に分割できる。その中で、2)の発話である「まあ、あ、たしかに、これは、これはなんか」は相手の選択に対する意見を表明しようとするものであるが、明確に意見を表明していない<意見保留>である。そして、27 番の発話も<意見保留>である。

<sup>32</sup> 23 番の実際の不同意発話の前に発された 21 番の発話は、笑いを伴いながら発され、また、相手の応答発話が終わらないうちに否定の意見が割り込みのかたちに急いで明らかにしているといった点を考慮し、単純なく意見要求>と<情報要求>ではなく、明確な否定の意見が発される下地としての<意見保留>であると考えられる。

<sup>33</sup> <情報要求>と<情報提供>はいつもペアとして会話に出現しているため、まとめて会話例を示す。



てあげたいなあと思って(うん)、服と、テントと、この

- 04 JF03B 食べ物  
→05 JF03A 食べ物、の3つにした。「はな」[Aさん]は？  
→06 JF03B うちは(うん)、なんか寄付するイベントだから(うん)、なんていうん、公  
式じゃないし(あ、そうね)、逆になんか、もう貰ってるだろうから(うん  
うん)、ちょっと余裕、少し生活に、なに、最低限を満たされたって考えて  
(うんうんうん)、本と(うん)、本と、おもちゃと、服

<確認(の要求)>と<確認応答>:

- 31-2JM03B =薬[v]、どっちが必要だと思う？これとこれだったら  
→33 JM03A テントかお茶？  
→34 JM03B うん、テントと飲み物、うん

[談話進行]

<談話進行>:

- 06 CM09B 1) 哈 h, 我感觉是这三样比较合适一点。  
(はあ、僕はこっちの3種類はもっとふさわしいと思う。)  
→ 2) 看我们有相同的没有。这个是相同的。  
(同じものがあるかどうか見てみよう。これは一緒。)  
07 CM09A 嗯, 肯定有相同的。(うん、絶対同じものはあるよ。)  
→08 CM09B 那这个就不用说了, 是吧。这两个是相同的(嗯)。那我们就讨论一下吃  
的跟这个学习用品。对吧? 你先说你的观点吧。  
(じゃ、これは話さなくてもいいね。この2つは一緒だから(うん)。  
我々は食べ物とこの文房具についてちょっと話しよう、いいでしょ?あな  
たは先にそちらの考えを言って。)

<同意要求>と<同意(応答)>:

- 11 CM10A 1) 水的话三天, 缺水的话三天就..., 是吧。(水だったら、3日間飲まない  
と...、でしょ。)  
2) 但食物的话可以饿一周呢。(でも、食べ物は1週間食べなくても大丈  
夫。)  
→ 3) 这点你总得认同吧=(この点に関してあなたは異議ないよね)  
→12 CM10B 1)=啊, 这点我认同。(あ、これは僕もそう思う。)  
2) 让我想一想。(ちょっと考えさせて。)

[その他]

<注目表示>:

- 22 JF07A ここから3つ選ばなきゃいけないんだよね。  
→23 JF07B ああ、そっか。

### 3.2.2.2.2 発話の分割

上述の幾つかの例に示されているように、1つのターンは複数の発話によって構成され

る場合が少なくない。こういう場合、発話の区切りはターンの構成単位である TCU(turn constructional unit, Sacks, Schegloff & Jefferson, 1974)に基づいて行う研究が多い(榎本, 2008 ; 小松, 2016 等)。例えば、榎本(2008)では、発話が完結することを示している「節末」などの要素を「TCUの境界」として挙げており(表 3-8)、言語形式から発話を区切っている。本研究は、それを参考しながらも厳密に言語形式からではなく、発話的内容的なまとまり(同じ機能を持つ)のある区切りを 1 つの単位とする。また、ひとまとまりの発話の中で接続詞によりさらに別々に分類する。接続詞は永野(1958 : 90)で分類した 6 種類に基準とする(表 3-9)。

表 3-8 TCU の境界(榎本, 2008)

節末 1	用言・助動詞終止／命令形、終助詞、感動詞類が出現するもの
節末 1	ガ・シ・ケレド系並列節が出現するもの
節末 1	引用節、条件節、並列節、理由節、カラ・ヨウニ節の後にそれらによって 投射される要素が出現しないもの
完結音調	上記 3 種類の境界以外で上昇調イントネーションが出現するもの
倒置	節末 1~3 に倒置要素が後続したもの
自己介入	話し手自身が発話を中断したもの
他者介入	話し手以外の介入により発話が中断されたもの
不明	発話内容が推測できないもの

表 3-9 接続詞の 6 分類(永野, 1958)

①	「前の事柄とそぐわない、つりあわない、反対のこと」や「前と後の対比」を表すもの
②	「前件が原因・理由で、後件が結果・結末」を表したり、「きっかけ」や「前置き」を意味するもの
③	「付け加える」あるいは「前件と後件を並立させる」もの
④	「前件に対する説明・補足」を行うもの
⑤	「前件と後件の間での選択を行う」もの
⑥	「話題を変える」もの

上記の考え方によって、実際の発話はどのように分類できるかを見ている。

以下のターン 26 は発話機能によって 3 つの発話に分割できる。1) は話者の決定しておいた 3 つの選択を示す<情報提供>、2) は相手の選択に対する意見を表明しようとする<意見保留>、3) は話者の 3 つの選択のうちの 1 つを相手に説明する<情報提供>である。そのため、3) の発話における接続助詞「し」(役割も果たしてくれるし)による並列節が出現したとしても別々の発話に分割しないとする。

- 26 JM07B 1) < h h h h h h h h、いや 3 つだから、3 つだから h h > {>} これが一、  
 2) まあ、あ、たしかに、これは、これはなんか、  
 3) まず、あつ自分のを言うと(うん)、ま、これだと、このシーツみたいな  
 役割も果たしてくれるし、雨(うーん)、なんか、雨が、雨が降った時に、  
 絶対、まあ、よければというか、雨の時にいちばん役に立つ(ま)っての  
 があって、2 次会、2 次災害っていうか、のを防げるっていうので、(う  
 ん)一番身の安全を守れるっていう点でこれにした。

中国語のデータも同様に処理する。以下のターン 09 は 4 つの発話に分割される。その根拠としては、1) は話者がなぜこの 2 つを選択したかという理由を相手に説明する<情報提供>、2) は話者の 3 つ目の選択とその理由を相手に示す<情報提供>、3) まとめ式の発言である<情報提供>、4) 相手の選択である文房具に否定的な意見を表明する<否定>という発話機能が付けられるためである。

- 09 CF01A 1) 其实我选择两样就是，首先就是温饱肯定很重要嘛（嗯），穿，要吃得饱穿得暖，所以这两样我就选了。  
(実は、私は、つまり、まず身体を暖かいものとお腹がいっぱいなるようなものが間違いなく大事だから、この 2 つを選んだ（うん）。お腹がいっぱいなるようなものと身体を暖かいもの、だからこの 2 つは私が選んだ。)
- 2) 然后要是他们，那，就是，得到的那种信息，比较少，所以要给他们一些书让他们...。  
(そして、もし彼らは、あの、つまり、情報がなかなか得られない場合、彼らに本を提供して、彼らに...)
- 3) 所以这是我三，选择 0 这三样的原因 h。  
(これらを考えて、この 3 つを選んだ。)
- 4) 那你选笔的话，那，不是，就是农村的话不是有，自己的墨 0 可以自己弄吗 hhh (hh)  
(あなたが選んだ文房具だが、あのう、あれっ、農村だったらあれがあるじゃないか、墨があるじゃないか。)

一まとまりの発話に対し、さらに接続詞を基に分割する場合がある。以下の会話例の場合、「而且」という「また」・「そして」・「なお」等に相当する追加提示表現あるいは前件と後件を並立させる表現により、発話が 2 区分されている。内容的に自分の提案である「テント」を擁護するひとまとまりであるが、接続詞「而且(そして)」によってテントの擁護理由が、1) 「便利」、2) 「必要の量が多い」に分けられるためである。この例において、「所以(だから)」も使われるが、そこで発話を分けないのは分けると前半が何について話しているのか意味不明となるためである。このように、発話の機能による分割できない発話を、内容的に意味の整えることを確保する前提で、内容を区切る接続詞を基準に分割する。

- 13-2 CF02A 1) 但是他们，自然环境特别好（嗯），所以我觉得，平时出去娱乐一下呀什么的（嗯），接触一下大自然，可是，要有老师带领着（啊，对对对），所以我觉得有个帐篷的话，就比较，方便（嗯）。  
(でも彼らのところは自然環境がとってもいい(うん)。だから、私は、外遊びとか、自然に触れるとか、先生に連れてもらって外で遊ぶ時は(そうそう)、だから、テントがあると便利だと思って(うん)。)
- 2) 而且他们那也较缺少吧，帐篷的话应该比较少。因为我们，平常是在淘宝上买啊，或者是在大型的超市啊（嗯）。那他那里的话就可能没有（是）。可能需要帐篷。  
(そして、そこにはテントが足りないでしょ、テントが少ないから。)

---

我々は普段ネット通販を利用するか、大型のスーパーで買うか（うん）。そこにはないかも（そうだね）。テントが必要かも。）

### 3.3 分析の対象としての不同意表明

本研究の分析の対象は不同意表明及びそれに関連する発話である。そこで、発話機能を特定した個々の発話から不同意表明に該当する発話を抽出する際、どのような基準で行うかについて述べる。

#### 3.3.1 用語の定義

「不同意」に関して、先行文献では、考察する対象の範囲がまちまちであるため、「不同意発話」・「不同意行為」・「不同意表明」などの用語が使用されている。倉田・楊(2010)では議論の場面において相手の見解や提案と相反する方向に持っていく不同意の意向を示す中核となる発話のことを「不同意発話」、堀田(2017)では合意形成を目指すディスカッション、ディベートなどの場面で起こり得る、先行発話である意見や提案または事実提示をはじめとした様々な命題内容に対する不同意を表す行為を「不同意行為」、王(2013)ではある会話参加者が他者のある事実情報に対する認識、ある物事に対する意見や評価と異なる意識・意見や評価を持つときに行う不賛成や非難、反論、否定の意味や含意を持つ言語行為や非言語行為（笑い、沈黙など）のことを「不同意表明」と規定している。これらの定義をまとめると、事実や情報に対する認識、物事についての意見や評価等における話者間の考えの不一致が不同意の主な構成要素として取り上げられていることが分かる。

そこで、先行研究の定義を踏まえ、本研究は「不同意表明」の用語を以下のように規定する。

「不同意表明」とは、ある物事に対する相手の意見や評価と異なる意識・意見や評価を持つ時に行う不賛成、問題点の指摘、反論、及び否定の意味や含意を持つ言語行為と非言語行為（笑い・沈黙など）のことである。

この定義の背後にある幾つかの具体的な概念があるため、以下の3つの視点(伝達意図、先行発話と発話領域)から詳細に説明する。

#### 3.3.2 不同意表明の範囲

##### 3.3.2.1 伝達意図による分類

###### 3.3.2.1.1 「明示的表明」と「非明示的表明」

「不同意表明」の定義の通りに、不同意の意図は明示的に表明される場合もあるが、非明示的に表明される場合もある。

「明示的表明」は、発話の文字通りの意味だけで話者の不同意の意図が分かるものである。その中で、「不同意の意見」と「不同意の理由」に分けられる。「不同意の意見」はマイナス評価や「違う」・「そうではない」・「要らない」、及び先行発話に使われた動詞の否定形、詰問のような疑問形などの言い方で、相手の先行発話の内容を否定・反対していることを明示的に表すことである。「不同意の理由」は相手の意見及び発話内容に対する異議を、必要な情報や説明などの根拠を提示することによって表明することである。



13	JM01B	そう、それある(うん)。だから <u>たぶん</u> 段ボール <u>とか</u> で仕切っとるから、別にいらんかな。	否定	明示的表明
----	-------	---	----	-------

### 3.3.2.1.3 「非明示的表明」の表現方法

#### (1) 「非明示的表明」としての<肯定>機能を有する発話

まず、一見肯定の態度であるが、なぜ不同意表明として捉えるのかについて述べる。会話例 3-11 のターン 51 において、話者 B は相手の提案「食べ物」に対して「直後だったら食べ物かな」と発し、肯定の態度を示した。この発話自体から、災害の直後の場合は「食べ物」に同意するが、直後ではない可能性があるため、不同意を暗示的に表明していると判断できる。この発話に対する相手の反応と、話者 B の次の発話からもこの発話が本気な肯定の態度ではないことも分かる。相手は「うん」と発し、話者 B の意見を承認した(ターン 52)。その次、話者 B は自分の提案を積極的に出した(ターン 54)。つまり、「食べ物」が合意案として不備なところがあるということは、この段階において、話者双方が共通的に認識している。そのため、ターン 51 の<肯定>機能を有する発話は実際には非明示的に不同意を表明していることが推論できる。このような不同意の意図を伝達する発話を「部分的な同意」戦略とする。「部分的な同意」は会話例 3-12 のような表現もある。ターン 52 と 54 では、話者双方がお互いに相手の提案に対して肯定を示した。一見肯定であるが、発話の前に 3 秒以上の沈黙があったり、発話の際に不確定表現の「か」を使用したりした。これらの言語表現の使用のためか、どちらの話者も相手からの肯定を受け入れなく、意見対立の状態が続いている。このことから、これらの<肯定>発話は不本意の気持ちが含意されていると想像できよう。このニュアンスはターン 55 からの発話も分かることができる。相手の提案を肯定したが、ターン 55 ではまたこれから討論する必要がある話題として提示した。これにより、話者 A の前回の肯定は不同意の態度の強さを軽減するための配慮的な戦略ではないかと考えられる。その次のターン 56 では、話者 B は相手の提案に対して再び肯定したが、「冬やったら、衣服かもしれんな、寒いしな」と発したので、冬以外の季節の場合には要らないという意図を暗示的に示した。この発話から、該話者の前回の肯定が本気の気持ちではなく、礼を返すような配慮的な言い方であることも推論できる。実際には相手の提案を納得していないことが分かった。このような「肯定」を非明示的な不同意表明として扱うことができると思われる。

#### (2) 「非明示的表明」としての<主張・対比>機能を有する発話

会話例 3-11 において、「部分的な同意」以外に、<主張・対比>機能を持つ発話も非明示的な不同意表明として捉えることができる。ターン 51 の非明示的な不同意表明の続きとして、ターン 54 で、自分の提案の話に進み、相手の提案に関する話をそこで終わらせた。この行為は再び相手の提案を認めていなく、暗示的に不同意の姿勢を示しているのではないかと考えられる。このような不同意の意図を伝達する発話を「対比案の提示と叙述」戦略とする。つまり、相手の提案とそれに関する意見に対する応答発話、あるいは、相手の提案に対する討論が停滞になる場合に出された、話者自身の提案とそれに関する説明は、相手の提案と併存させたり、対比させたりする暗示的に相手の提案を同意できないものとして捉えることができる。

会話例 3-11(話者 A の提案「食べ物」と話者 B の提案「衛生用品」についてのやりとり):

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
49 JM01A 食べ物はいると思う 50 <2秒>	主張	非明示的表明
51 JM01B そうやな、時期、時期がわからんな、直後なんかなこれ、(1秒)直後だったら食べ物かな	困惑表明(沈黙) 肯定	
52 JM01A うん 53 <1秒>	注目表示	非明示的表明
54 JM01B なんだろ、え、でも、子供だから、難民の子供たちだからあげるの(うん)、その、弱いやん、抵抗が(うん)、抗体とかが、だからとりあえず消毒で(消毒)、そう、二次災害を防ぐっていう	主張・対比	

会話例 3-12(話者 A の提案「服」と話者 B の提案「食べ物」についてのやりとり):

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
47 JM09A 1) えー、衣服、か、食べ物か。 2) 食べ物は、どうだろうか。	談話進行 困惑表明(意見の不提示)	非明示的表明
48 <2秒>	情報提供	
49 JM09A ちょ、難民のさ(うん)、その状況のイメージがさ(うん)、思ったより沸いてないからね	情報提供	非明示的表明
50 JM09B で、難民…	困惑表明(沈黙)	
51 <3秒>	肯定	非明示的表明
52 JM09A やっぱ食べ物か?	困惑表明(沈黙)	非明示的表明
53 <4秒>	肯定	非明示的表明
54 JM09B 衣服か?	談話進行	非明示的表明
55 JM09A 衣服か、食べ物かって感じやろ	肯定	
56 JM09B まあ、冬やったら、衣服かもしれない(うん) 寒いしな	肯定	非明示的表明
57 <3秒>	困惑表明(意見の不提示)	
58 JM09A うーん		

### (3) 「非明示的表明」としての「沈黙」<sup>35</sup>

不同意を示すための間接的な言い回しとして、「沈黙」は 3 つの状況がある。第 1、不同意表明発話を出す直前の沈黙である。会話例 3-11 のターン 50、会話例 3-12 のターン 51 と 53 のように、不同意表明発話を出す直前の沈黙は、不同意の姿勢を示そうとすることを予告する機能を持っていると考えられている(村田, 1997; 王, 2013; 趙, 2018)。このような「沈黙」を、不同意の意図を遅延するための非明示的な不同意表明として扱う。第 2、<困惑表明>機能の発話連鎖の中での沈黙である。会話例 3-13 のターンのように、沈黙は

<sup>35</sup> 会話例に発話機能を付ける際に、「非明示的表明」に捉えた沈黙を、「困惑表明(沈黙)」に付ける。「非明示的表明」として捉えない場合の沈黙を特に発話機能を付けない。

その前後の意見を明確に出せない発話とともに相手の提案を同意できないことを伝えている。第 3、同一の話者の「説得型」発話<sup>36</sup>に挟まれた沈黙である。会話例 3-14 の「話者 A (主張/否定) →話者 B(沈黙)→話者 A (主張/否定の続き)」の発話連鎖において、一見、話者 B は先行発話の意見に対して何の反応もしない沈黙で、明確な態度の表明を回避している。それに対する話者 A の主張し続ける反応から、ここでの「沈黙」は間接的に不同意の意図を表していると判断できる。「沈黙」に対して話者 A が続いて主張を述べる際に、「言い換え」・「つまり」に相当する「就是」を使うことにより、述べたことを補足しながら主張の合理性をできるだけ相手に受け入れさせようとする。このような自分の意見が相手に受け入れさせようとする説得行為は、その前の「沈黙」には不同意表明の意図があると感じたからと考えられる。

会話例 3-13(話者 A の提案「飲み物」と話者 B の提案「布団」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
68 JF01A どの、状況ね(うんうん)、どうしようか	困惑表明 (意見の不提示)	非明示的表明
69 JF01B どっちだろう	困惑表明 (意見の不提示)	
70 <5 秒>	困惑表明(沈黙)	
71 JF01A 分からない(hhhhh)わからんな<hhhh>	困惑表明 (意見の不提示)	
72 JF01B どっちもどっちな気がするな	困惑表明 (意見の不提示)	

会話例 3-14(話者 A の提案「薬」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
12 CM02A 啊：，但是这个药品，我感觉也是很有必要的。(うん::、けどこの薬も、僕はとっても必要だと思う。)	主張	非明示的表明
13 <2 秒>	困惑表明(沈黙)	
14 CM02A 就是，生病的时候得吃药呀，要不然。虽，虽然说他那个可能身体，山区的孩子可能身体会比较好一些吧，但是他还是会遇到一些疾病，就是，可能他自身的防御系统是无法就是，完全靠自身来解决的，所以说我觉得还是，药品还是有必要的。(つまり、病気の時に薬を飲まない。彼らの身体は、田舎の子供たちは身体が丈夫かもしれないけど、病気にかかる時もある、つまり、完全に自身の免疫力で	主張	

<sup>36</sup> 話者自身の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話と、相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を批判する発話のことである。



病気に抵抗することができなくて、だから、薬はやはり必要だと思う。)		
-----------------------------------	--	--

(4) 「非明示的表明」としての「笑い」<sup>37</sup>

「笑い」が非明示的な不同意表明として扱われる場合は、主に会話例 3-15 のターン 30 の 2 番目の発話の通りである。相手の提案「服」を否定する際に、否定のマーカ「だって」と主題「夏」を提示した後、言いようとするを略した。代わりに笑った。この場合の「h h h (笑い)」は、言葉によるマイナス評価を代替する意味付けがあると考えられる。これにより、不同意の態度が潜んでいた。そのほか、「沈黙」と同じように、同一の話者の「説得型」発話に挟まれた「笑い」は非明示的な不同意表明だと見なすこともできる。「話者 A (主張/否定) → 話者 B(笑い) → 話者 A (主張/否定の続き)」の連鎖のような、相手の主張や意見に対して言葉ではなく、単に笑いで反応する場合の「笑い」には、相手の主張や意見を納得していない含意が見られる。

それに対し、会話例 3-15 のターン 22、23、24 の発話に伴う「笑い」は、暗示的に不同意の意図を表すという機能より、むしろ明示的な不同意表明による緊張した雰囲気緩和する機能の可能性が高い。また、ターン 27 の相手の意見を受け入れる発話の直後の笑いは好意を示す機能の可能性が高い。

そのため、本研究では、不同意を示そうとする言いさし文に付いてくる「笑い」と、言葉がなくただ笑いで相手の意見を反応する「笑い」を非明示的な不同意表明として扱う。

会話例 3-15(話者 B の提案「服」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
22 JM01A h h 服いらんくね? h h	否定	非明示的表明
23 JM01B 〇いるやろ服 h	主張・反論	
24 JM01A 〇いる? h	否定	
25 JM01B え、だって<ボロボロ>{<}、ん?	主張・反論	
26 JM01A 季節によって変わるくね?	否定	
27 JM01B まあ、そうだな h h。いやでも冬でもいるやん(うん)	主張・反論	
28 JM01A そうやな、冬やったらいるわ	受け入れ	
29 JM01B うん、h h h まあ、夏いらん<わけではな いけどな h h >{<}	主張・反論	
30 JM01A 1) < h h h h h h h h h h >{>} h h 2) えっ、だって夏やったらさ h h h	否定+困惑表明 (笑い)	
31 JM01B h h 何? h h	情報要求	
32 JM01A h 別に h h、半袖半ズボンで	否定	
33 JM01B あれやん		
34 JM01A 着<てる>{<}	否定	

<sup>37</sup> 会話例に発話機能を付ける際に、「非明示的表明」に捉えた笑いを、「困惑表明 (笑い)」に付ける。「非明示的表明」として捉えない場合の笑いを特に発話機能を付けない。

(5) 「非明示的表明」としての<意見保留(意見要求)>または<情報要求>機能を有する発話

意見あるいは情報を要求する発話が非明示的な不同意表明として捉える場合は、イントネーションや発話の構成等と関わる。会話例 3-16 における意見要求発話を発する際に、わざと語尾の発音を伸ばして「なんで:」を発した。また、会話例 3-17 において、「なぜおやつを選んだのか」という意見を要求する発話に、特に助動詞の「要(なければならない)」を使用した。またそれを強調するためにイントネーションの変化もあった。「なければならない」は 2 人称主語に対する使う場合に責任の指摘や不満の情緒があると報告されている(アンディニ, 2021)。そのため、これらの行為には意見を求める以外に、何の意図を伝えようとするのが窺える。また、この 2 つの会話例のいずれにおいても、意見を求める話者は、相手の応答を得た後すぐに明確に異なる意見を出した。特に会話例 3-17 では、意見を求める発話の応答発話には、不同意側の話者に不同意を表明するための素材を提供している。これらより、イントネーションや発話の構成に変化がある意見あるいは情報を求める発話は、自分の異なる意見を出すための情報収集のものとして、非明示的な不同意表明発話だと見なすことができる。

会話例 3-16(話者 B の提案「薬」についてのやりとり):

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
31 JM05A (略)俺薬いらんと思うんだよな	否定	非明示的表明
32 JM05B なんで:	意見保留 (意見要求)	
33 JM05A なんで、なんでだろうね(h h h) h h それを h h、なんだろう	困惑表明 (意見の不提示)	
34 JM05B 消毒液とかもあるのに、写真だけど	主張・反論	
35 JM05A やー、はいらんあくとと思うんだよね> {<}	否定	

会話例 3-17(話者 A の提案「食べ物」についてのやりとり):

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
03 CF08B 你选的是零食(嗯)我选择的是药品。你为什么の要 [^] 选择零食: 呢? (あなたが選んだのはおやつ(うん)、私が選んだのは薬。なんでおやつを選ばなければなかったのか?)	情報要求	非明示的表明
04-1CF08A 灾区肯定就是... 选零食的话我感觉就是灾区的话... 肯定刚开始经历了一段比较艰难的过程。所以零食[,, (被災地絶対あの...、おやつにしたのは、被災地だったら...、絶対最初非常に難しい時期を経験すると思うから。だから、おやつ)	情報提供	非明示的表明
05 CF08B ]]哎哟↑h h h (ええっ、h h h)	困惑表明(笑い)	

04-2CF08A 食物，食物肯定是比较缺乏的，对吧。 (食べ物、食べ物は絶対足りない、でしょ)	主張・反論	
06 CF08B 这是零食，不是食物<hhh>。 (これはおやつ、食べ物じゃないh h h)	否定	

(6)「非明示的表明」としての<意見保留(繰り返し)>機能を有する発話

相手の発話を繰り返す発話には、不同意の意図が見られるのも当発話のイントネーションや発話の構成、及び後続する発話と関わる。会話例 3-18 のターン 20 のように、相手の提案を繰り返す場合に、疑問の口調で発され、また、そのうえ、短い笑いを追加した。この場合の「笑い」は前述したが、言葉によるマイナス評価を代替する意味付けがある。そのため、この発話自体から相手の提案に対する疑問が見られた。さらに、該話者は次のターンで(ターン 22)で、不同意の意図を明示化した。これらを根拠として、ターン 20 のような繰り返しは不同意の態度を潜在する非明示的な不同意表明だと判断できる。

会話例 3-18(話者 B の提案「服」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
19 JM01B(1 秒) と何だろうな、あと、服かな	主張	非明示的表明
20 JM01A 服? h	意見保留(繰り返し) 困惑表明(笑い)	
21 JM01B 服 h	主張	
22 JM01A h h 服いらんくね? h h	否定	

(7)「非明示的表明」としての<意見保留(話題転換)>機能を有する発話

以下の 2 つの状況における「話題転換」は、非明示的不同意表明に見なすことができる。第 1、会話例 3-19 のように、先行発話の相手の提案や意見に対する応答として、直接にそれに対する異議を言及せずに、代わりに話題を転換することである。第 2、相手の提案に対する討論が停滞になる場合の話題を転換することである。この意味で、前述の<主張・対比>機能を有す発話もこの枠の非明示的な不同意表明のことである。

会話例 3-19(話者 B の提案「玩具系」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
28 JF06B 玩具系を一個あげたいん>{<}やって。	主張	非明示的表明
29 JF06A 1) <一個>{>}うん、あげたい。	意見保留(繰り返し)	
2) 食べ物(うん) 必要やね、絶対 [v]、お腹空いたら可哀想やしね(うん)。	意見保留(話題転換)	
3) これと、あと、玩具系? ↑(うーん)。	談話進行	

(8)「非明示的表明」としての<情報提供>機能を有する発話

会話が停滞する時に出された、自分の提案が相手の提案より合意案としてもっとふさわしいという情報は「非明示的表明」として扱うこともできる。会話例 3-20 では、話者双方

とも相手の提案を認めていない状況(ターン 73 まで)で、話者 B は自分の提案が合意案になる有利の条件である「子供」という情報を示した。この発話は相手の提案を認めない不同意の意図が含まれていると考えられる。このような不同意の意図を暗示的に伝達する発話を「条件提示」ストラテジーにする。

会話例 3-20(話者 B の提案「布団」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
71 JF01A 分からない(hhhhh)わからんな<hhhh>	困惑表明(意見の不提示)	非明示的表明
72 JF01B どっちもどっちな気がするな	困惑表明(意見の不提示)	
73 JF01A うん、どうしようか[v]	困惑表明(意見の不提示)	
74 JF01B 子供っていうの<考えた時に>{<	情報提供	
75 JF01A <そやな>{>}, そうですね、子供、(1 秒)子供ってさっき考えた、どうかな [v]、	困惑表明(意見の不提示)	
76 <2 秒>		
77 JF01A まあ確かに、体育館で<そのまま寝かせたらかわいそやな h>{<	肯定	

(9) 「非明示的表明」としての<困惑表明(意見の不提示)>機能を有する発話

以上の会話例における<困惑表明(意見の不提示)>機能を有する発話も相手の提案を認めていない意図を有する。このような発話と前述の「非明示的表明」としての<意見保留(繰り返し)>機能を有する発話ともに、不同意の意図を潜んだ「意見の不提示」ストラテジーとする。

(10) 「非明示的表明」としての<相手評価>機能を有する発話

会話例 3-21 のターン 63 のような相手に対する評価発話は、その前後の流れから見ると、話者 B の相手の提案「本」に対する非明示的な不同意表明である。このような不同意の意図を潜んでいる発話を「冗談式評価」ストラテジーとする。

会話例 3-21(話者 A の提案「本」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能	伝達意図上の分類
61 CF04B ]]∅但如果你你会开心吗? h (でもあなたにあげたら、うれしい?)	否定	非明示的表明
62 CF04A 我不开心 h, 但是没有办法, 国家就是, 就是这样干的 h (私だったらうれしくない、でも仕方ない、国はこうやってるから。)	主張・反論	
63 CF04B 哎, ∅你好好玩儿啊 h (あなたは面白いね。)	相手評価	
64 CF04A 不, 大家捐都捐赠那个, 这个书啊, 还有这些是我们能够提供出来的。(いや、みんなはこの本を寄付しているから。そして、これら	主張・反論	

のものも私たちが提供できるもの。)

### 3.3.2.2 先行発話と不同意表明

1つの話題をめぐる意見交換は、便宜上図 3-2 の流れのように展開する<sup>38</sup>。その中で、「提案→不同意→受け入れ→話題継続」<sup>39</sup>あるいは「提案→保留→自己否定→話題継続」のように展開する場合、相手からの批判を受け入れる先行発話や、自分の提案の欠点や不備のところを述べる先行発話に対する「話題継続」はどのような発話機能が付けられるのだろうか。ここでの「話題継続」は会話例 3-22 のターン 56 のように、相手の意見の上に、さらに同方向の意見を追加するものを指す。会話例 3-22 は、話者 B の提案「本」が話題とされ、それについての意見交換の話し合いである。提案者 JF03B はまず「本」を提案として出してから、相手のあいまいな反応に応じて、「運ぶのがきつい」という理由で自分の提案の不備な点にも言及した(ターン 55)。それに対し、話者 A は「きつい」の上にさらに「輸送費かかる」というふうに発話した(ターン 56)。この場合のターン 56 の発話は、先行発話(提案側の「自己否定」)への同調を示すものと見なすこともできるが、新しい情報を提供して結果的に相手の提案に同意しないことになる。そのため、本研究では、このような発話を<否定>の発話機能を持つ明示的表明の不同意発話として扱う。

一方、単に相手の発話を繰り返す「きついね」、あるいは「そうやね」である場合、<意見保留>の発話機能を持つ非明示的表明の不同意発話に分類する。

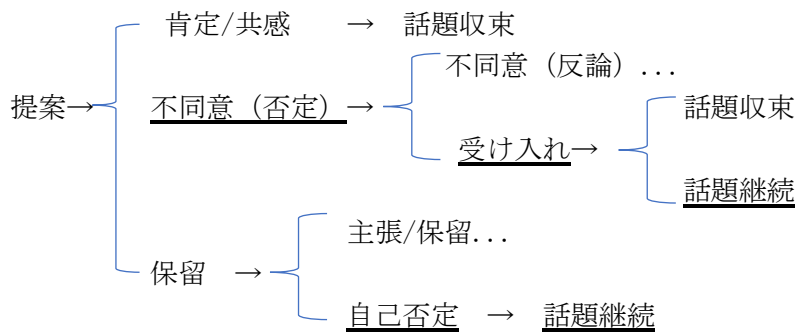


図 3-2 意見交換のやりとりのパターン

会話例 3-22(話者 B の提案「本」についてのやりとり) :

発話番号・話者・発話	発話機能
52-2JF03B <本は>{>}本は集めやすそうだよね(うん)。いつも何だっけ資源回収やってるし。	主張
54 JF03A やってるし。	意見保留(繰り返し) 主張の和らげ
55 JF03B はこ、でも、運ぶの、こっちのほうで運ぶのがきついよね。	
56 JF03A きついね。輸送費かかるね。	否定

<sup>38</sup> 図 3-2 に使われた「→」は話者間の発話をつなげる符号である。「提案→不同意→受け入れ→話題続き」の場合、「提案」と「受け入れ」を発する話者は例えば A さんだったら、「不同意」と「話題続き」は話者 B の発話である。

<sup>39</sup> ここでの「→」符号は、話者交替のしるしである。

---

会話例 3-22 のターン 56 は先行発話の「自己否定」を補足するものだからこそ、相手の提案「本」を合意案として認めようとしめない意図が見える。このように、話者同士は根本的には相手がそもそも持っている考え、即ち、自分と異なる提案に対し、不同意を表明していると言える。したがって、不同意表明に関して、以下のいくつかの発話連鎖がある。

- 1) 相手の主張(提案)に対する否定
- 2) 1)の否定に対する反論
- 3) 1)の否定を対抗する否定
- 4) 相手の主張と対抗する主張
- 5) 相手の主張の和らげに対する同調

たとえば、話者 A と B はそれぞれ提案「a」と「b」を持っている場合、上記の不同意表明応答を単純な例文で示すと、以下の通りである。

- 1) 話者 A : a がいい。  
話者 B : 要らない。
- 2) 話者 A : a がいい。  
話者 B : 要らない。  
話者 A : a が要るやろう。
- 3) 話者 A : a がいい。  
話者 B : 要らない。  
話者 A : b は要らない。
- 4) 話者 A : a がいい。  
話者 B : b がいい。
- 5) 話者 A : a は確かに要らない。  
話者 B : そう。

### 3.3.2.3 発話領域

上述のように、不同意表明は伝達意図によって大まかに「明示的表明」と「非明示的表明」に分けられる。表 3-7 の[非同調提示]の枠に分類された発話機能の中で、〈否定〉と〈相手評価〉機能を持つ発話は、相手の提案とそれと関わる考えに向けた直接の不同意表明行為、〈主張・反論〉と〈主張・対比〉機能を持つ発話は、自分の提案の優位性を述べることによる反論したり、または自分の提案は相手の提案と対比しながら出されたりすることにより相手の考えを結果的に否定する不同意表明行為である。このように、発話内容から、相手に向けた直接の不同意表明行為は「相手領域を犯す不同意表明」、後者は「話者領域に限定する不同意表明」に分けることができる<sup>40</sup>。

しかし、同じく相手の提案とそれと関わる考えを対象とした〈意見保留〉機能の下位分類である〈意見要求〉・〈確認(要求)〉・〈繰り返し〉機能を持つ発話は、相手の領域を犯す不同意表明とは言いがたい。さらに、〈意見保留〉機能の下位分類である〈話題転換〉と、〈困惑表明〉機能の下位分類である〈意見の不提示〉、〈沈黙〉、〈笑い〉機能を持った相手の提案と直接に関わらない発話も、相手のそれに対する理解に基づいて不同意表明として成り立つものである。そのため、これらの機能を持つ発話は発話の内容に基

---

<sup>40</sup>趙(2019)ではそれぞれ「攻撃的表明」と「防衛的表明」と表現されている。

づき、「相手領域に接近する不同意表明」と、相手と自分とのどちらの領域に関係ない「領域不特定の不同意表明」に分類できると考えられる。そのため、本研究では不同意表明発話を発話内容から、「相手に関わる主張領域」、「話者の主張領域」、「相手接近領域」と「領域不特定」に分けることにする(表 3-10)。

不同意表明の発話領域は、それに伴う非言語行動の領域と関わる。非言語行動の領域に関して第 7 章で述べる。

表 3-10 発話領域による不同意表明の分類

	明示的表明	非明示的表明
相手に関わる主張領域	<否定>	<相手評価>
話者の主張領域	<主張・反論>	<主張・対比>
相手接近領域	—	<意見要求>・<確認(要求)>・<繰り返し返し>
領域不特定	—	<話題転換>・<意見の不提示>・<沈黙>・<笑い>

### 3.4 各章の研究方法の概観と統計処理

前述のように、本研究は、不同意表明の諸相を探り出すため、4 つの研究課題を設定し分析を行う。この 4 つの研究課題(2.4.2 を参考)の解明は第 4 章～第 7 章で行う。そのため、各研究課題を解明する研究方法は、章ごとに詳細に記述する。ここでは表の形で提示しておく(表 3-11)。

表 3-11 課題解明の研究方法一覧表

研究課題	研究方法
課題① (第 4 章)	会話の構造・談話・話段 (南, 1983 ; ザトラウスキー, 1993)
課題② (第 5 章)	隣接ペア (Schegloff and Sacks, 1973) 発話連鎖 (ザトラウスキー, 1993)
課題③ (第 6 章)	「ポライトネス・ストラテジー」(B&L, 1987)
課題④ (第 7 章)	手の動き ⇒ジェスチャーの分析単位 (細馬, 2008) 視線行動 ⇒視線行動タイプの分類 (任, 2002)

最後に、本研究の統計処置について述べる。

本研究は、日本語と中国語、あるいは JM と JF、CM と CF のような独立した 2 群間の比率を比較するため、カイニ乗検定と残差分析を使い、有意差の検定を行う。

その中で、比較された行と列のカテゴリーが、それぞれ 2 水準で分割される「2×2 表」の場合、カイニ乗検定を使う。「2×j(2 以上)表」場合、カイニ乗検定を行った上で、残差分析を行う。

---

## 第4章 合意に至るまでの会話の全体的な構造

### 4.1 はじめに

会話には一定の構造があり、言語行為の意味や機能は会話の構造との関連で解釈される。例えば、第3章の3.3節で説明した<肯定>、<意見保留>、<情報提供>などの機能を有する発話、さらに、「沈黙」と「笑い」のような非言語の表現はその後の流れから顧みると暗示的に不同意の意図を伝えることが分かる。さらに、ある言語表現が会話の全体的なやりとりと関連づけなければ本当に伝えようとする意図が分からない。そのため、本章では、会話の全体的な構造について検討する。

### 4.2 研究課題

意見表明発話などの会話の局所に対する分析した先行研究では、日本語母語話者は「対人関係重視」の特徴、中国語母語話者は「自己重視」の特徴を持っていると報告されている。しかし、前述のように、言語表現で「対人関係重視」を示した発話は、その後の流れから顧みると暗示的に不同意の意図を伝える場合がある。そのため、発話自体の言語表現ばかりでなく、発話の会話の流れにおける位置づけを考える場合、「対人関係重視」、及び「自己重視」はどう理解されるのか。そのような行動に男女差が見られるのか。それらを明らかにすることを本章の目的とし、以下の研究課題を設ける。

課題：合意に至るまでの会話の全体像はいかなるものであるか。会話を全体的に捉える場合、「対人関係重視」と「自己重視」はどう理解されるのか。言語ごとに、また言語横断ごとに異同が存在するのか。

作業課題1：「意見交換」談話の全体的な構造に関して、パターン化できるのか。日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

作業課題2：「意見交換」談話において、どのような契機を經由して意見調整が始まるのか。日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

### 4.3 分析方法と対象

#### 4.3.1 会話の構成

南(1972)では、会話は幾つかの「談話」からなると指摘している。その後、ザトラウスキー(1993)らが、「談話」の下位単位として「話段」を設定して分析している。

「話段」について、佐久間(1987:132)では、文章の「文段」に当たる話し言葉の単位だと規定している。「文段」は、一般に、文章の内部の文集合（もしくは一文）が内容上のまとまりとして、相対的に他と区分される部分であると定義されている(市川 1978:126)。その定義にしたがい、ザトラウスキー(1993)では、「話段」を談話の内部の発話の



集合体(もしくは一発話)が内容上のまとまりをもったものとして、それぞれの参加者の「談話」の目的によって相対的に他と区分される部分であると述べている。その結果、勧誘の「談話」を「勧誘の話段」と「勧誘応答の話段」に区分し、「談話」の構造がこの2種類の話段を複数重ねて作り上げられるものとして捉えている。

「話段」の区分基準に関して、研究目的の他に、研究対象によって、特定の表現形式(寅丸, 2006)、話題(筒井, 2012; 河内, 2003)などを句切りの基準に添えている。

また、「談話」と「話段」の中間に「大話段」(寅丸, 2006; 河内, 2003 等)という単位が設定される場合がある。

このように、会話の構成要素として、「談話」と「文」の中間単位に「話段」があり、さらに「談話」と「話段」の中間単位として「大話段」が設定される場合がある。会話はこのような重層構造(佐久間, 1987: 102)によって構成されていることが判明している。

図 4-1 に示しているように上位単位は複数の下位単位の集合体である。

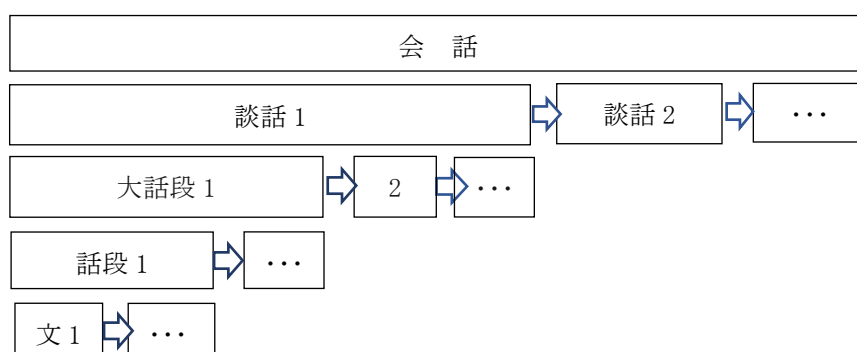


図 4-1 会話の重層構造のイメージ図

#### 4.3.2 本研究の会話の構成

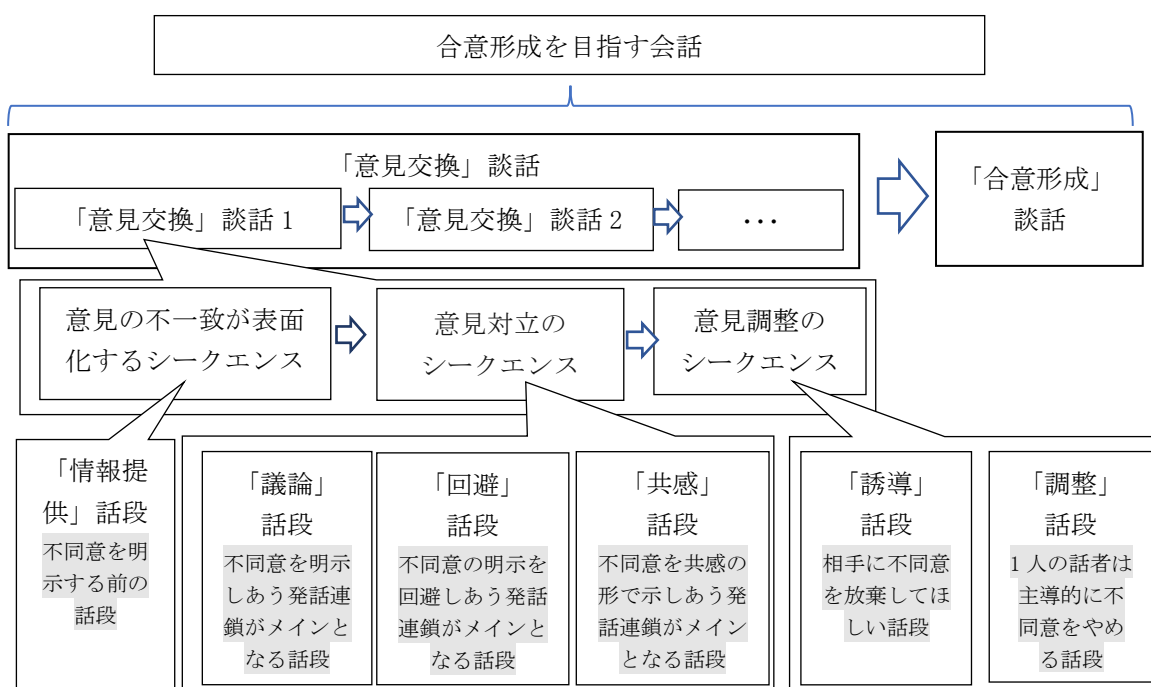


図 4-2 合意形成を目指す会話の構成と「不同意表明」との関係性

---

図 4-1 を参考にし、本研究が提案する会話の構成を図 4-2 に示した。その中で、本研究では「大話段」という用語の代わりに、それに相当する談話の単位として「シークエンス」を使用することにした。「シークエンス」は、大和(2009)の中で、会話が合意形成に向かって進行していく過程における区切りの単位として使われている。「話段」より、会話の進行を適切に示すことができると思われる。

#### 4.3.2.1 「談話」

合意形成を目指す会話の全体的な構造は、大まかに「意見交換談話」と「合意形成談話」に分けられる。「意見交換談話」は、話題によりさらに「談話 1」、「談話 2」などの小談話に区分することができる。区分できる理由は以下のようなものである。

本研究が実施した調査から得られたデータは、会話参加者 A と B が持ち寄った、それぞれ 3 つの選択肢（提案）の組み合わせの可能性は次の 4 通りである。同じ場合と異なる場合をそれぞれ「同」と「異」で表示する：

- 1) 3 同 0 異：A と B のそれぞれが提示した 3 案がすべて同じ
- 2) 2 同 1 異：A と B のそれぞれが提示した 3 案のうち 2 案が同じで、他の 1 案のみが異なる
- 3) 1 同 2 異：A と B のそれぞれが提示した 3 案のうち 1 案のみが同じで、他の 2 案が異なる
- 4) 0 同 3 異：A と B のそれぞれが提示した 3 案のすべてが異なる

この 4 通りの可能性のうち、1) は、すでに同一の 3 点に絞られ、協議によって合意を取り付ける必要性はないため、本研究ではそれを考察対象外とする。それ以外の会話パターンの場合、異なる提案に対して 1 つ 1 つ意見交換<sup>41</sup>をする必要があるため、「意見交換」談話はさらに「談話 1」、「談話 2」などの小談話に区分する。

##### 4.3.2.1.1 「意見交換」談話

ここでは、「意見交換」談話の特徴を述べる。特徴は 2 つあるが、まず第 1 の特徴は次のとおりである。「意見交換」談話は話題（提案）によってさらに「談話 1」・「談話 2」などに区分できるが、順番に 1 つの討論の結果が出た後に次の談話に移るのではない。会話例 4-1 のように、「服」という話題についての意見交換の談話では、同意という結果に至らず、話はそのまま次の話題に進んでいった。同意という結果にならない話題は、相手の同意を得られないのでそのまま立ち消えになる場合もあるが、後の流れで再び出される場合もある。

第 2 の特徴は次のようにまとめられる。話者 A の 1 つの提案と話者 B の 1 つの提案、話者 A あるいは話者 B の 2 つの提案をペアの形で同時に意見交換の対象とする場合もあるが、順番に提案 1 つずつに対して意見交換をする場合もある。ペアの場合、話題が 2 つであるが、同一の談話にする（会話例 4-2）。順番に提案 1 つずつに対して意見交換する場合、話題ごとに談話を区分する（会話例 4-1）。

会話例 4-1:

---

<sup>41</sup> 順番に提案 1 つずつに対して意見交換をするだけでなく、話者 A の 1 つの提案と話者 B の 1 つの提案をペアとして意見交換をする場合もある。

発話番号・話者・発話	発話機能	談話
20 JM01B(1秒) と何だろうな、あと、服かな	主張	話者Bの提案「服」に関する意見交換の談話
21 JM01A 服? h	意見保留	
22 JM01B 服 h	主張	
23 JM01A h h 服いらんくね? h h	否定	
24 JM01B 〇いるやろ服 h	主張・反論	
25 JM01A 〇いる? h	否定	
26 JM01B え、だって<ボロボロ>{<}、ん?	主張・反論	
27 JM01A <えっ>{>} 季節によって変わるくね?	否定	
28 JM01B まあ、そうだな h h。いやでも冬でもいるやん(うん)	受け入れ 主張・反論	
29 JM01A そうやな、冬やったらいるわ	肯定	
30 JM01B うん、h h h まあ、夏いらん<わけではないけどな h h>{<}	主張・反論	
31 JM01A <h h h h h h h h h h h h>{>} h h え、だって夏やったらさ h h h	否定	
32 JM01B h h 何? h h	確認	
33-1 JM01A h 別に h h、半袖半ズボンで=	談話表示	
34 JM01B=あれやん	否定	
33-2 JM01A 着<てる>{<}	主張・反論	
35 JM01B <いや>{>}でもニオイとかやばいやん、夏は	理由共感	
36 JM01A 〇確かに h	情報提供	
37 JM01B じゃあ、俺は、この消毒と(うん)服と、布団		
38-53 (省略)		話者Aの提案に関する意見交換の談話

会話例 4-2:

発話番号・話者・発話	発話機能	談話
40 JF010B この2つを、どうするかやけど:、<でも>{<}	談話進行	話者Bの提案「本」と話者Aの提案「文房具」に関する意見交換の談話
41 JF010A <でも>{>}本はありやと思ってん(うん)、なんか、本かえんぴつかどっちかにしようかなって<思って>{<}	肯定	
42 JF010B <でも>{>}えんぴつってさ(うん)、お絵かきせん子はせんくない?	否定	
43 JF010A まあね。	受け入れ	
44 JF010B まあする子(まあ)はするけど。まあ本も(そうそうそう)読まん子は読まんと思うけど。	否定 提案の和らげ	
45 JF010A なに、反論か、そうやな [v]	談話表示	
46 <3秒>		

#### 4.3.2.1.2 「合意形成」談話

最後の合意案が確定した後、通常、「合意形成」談話に向かうポーズや促し発話が見られる。それらを経由し、個々の談話に得られた結果を、会話者の総意としてまとめた形にして提示、同意・確認を得た上で結論を発するという発話の集合として会話を収束する。

会話例 4-3 において、最後の合意案が決まった(ターン 142-144)後、2 秒のポーズと討論時間の確認発話(ターン 148)により、会話収束の段階に向かって展開している。

会話例 4-3:

発話番号・話者・発話	発話機能	談話
142 JM01B やっぱ消毒液？	主張 (主張・反論) 意見保留 主張  同意(応答)	話者 B の 提案「衛生 用品」に関 する意見交 換の談話
143 JM01A 消毒液		
144 JM01B んん、病気なるからな、消毒液ないと		
145 <2 秒>		
146 JM01A そうやな、じゃあ、そうするか		
147 <2 秒>	談話進行 (確認) 注目表示  確認 (の要求) 確認応答+情報 要求 情報提供 注目表示 情報提供 注目表示 談話進行 談話進行 情報提供 談話表示 情報提供 意向の表明 共感 注目表示 談話進行 確認 談話進行	合意形成 談話
148 JM01B え、もう 10 分くらいしゃべったかなこれ		
149 JM01A うん、まあ		
150 <1 秒>		
151 JM01A おっけー？		
152 JM01B おっけーh、え、なんやったけ？		
153 JM01A 消毒<液>{<}</td>		
154 JM01B <消毒>{>}液、くいもん		
155 JM01A 水分		
156 JM01B 水分		
157 JM01A よし		
158 JM01B よし		
159 JM01A え、これコスト的にもそんなに		
160 JM01B そやな、まあ、いっぱい送れるし、食いも んと水は絶対いるな(うん)絶対		
161 JM01A 生きてけんからな		
162 JM01B そう		
163 JM01A よし		
164 JM01B 終わるか		
165 JM01A 終わろう		

#### 4.3.2.2 「シークエンス」

1 つの「意見交換」談話は一般的に、「不同意が明確化される前のシークエンス」・「意見対立のシークエンス」・「意見調整のシークエンス」によって構成される。「不同意が明確化される前のシークエンス」は、話題が提示されてから最初の不同意が表明されるまでの段階のことである。「意見対立のシークエンス」は、話者同士がお互いに不同意を表明しあう段階である。「意見調整のシークエンス」は 1 人の話者が相手の説得や誘導にしたがって妥協の姿勢を示し、相手の意見を受け入れる段階である。具体例については

会話例 4-4 に示した。

また、この 3 つのシークエンスは 1 つの談話において連続して現れるとは限らない。例えば、前述のように討論が同意という結果に至らないまま次の談話に入る場合があるため、「意見調整のシークエンス」なしの談話がある。また、話題が提示された後、「不同意が明確化される前のシークエンス」を超えて直接的に「意見対立のシークエンス」に入る場合もある。さらに、相手が明確に不同意を表明していないが不同意していることが感じられるので、反論せずに次の話題に入るという「不同意が明確化される前のシークエンス」のみで意見交換談話を構成する場合もある。

会話例 4-4:

	発話番号・話者・発話	発話機能	シークエンス
05	JM01A とりあえず俺テントにしよっかな	主張	
06	JM01B テントね	意見保留	不同意が明確
07-1	JM01A うん。ひとつ目。理由はね、災害だから (hhh)の家、家が<壊れてる>{<}かもしれないという(あー),	主張	化される前の シークエンス
08	JM01B <雑すぎる>{>}	情報提供	
07-2	JM01A 1)そしたら寝る場所がないから(あーあ)テン トはいるかなって、 2)でも災害の状況によっても変わるけどな	主張 主張の和らげ	
09	JM01B うーん(うん)、え、でもテント[ん]はいらんく ねって思うんだけど	否定	意見対立の シークエンス
10	JM01A いらん?	主張・反論	
11	JM01B え、俺的に。あの...、別にあれじゃん(うん) 体育館とかに集まるじゃん	否定	
12	JM01A うん、あ、体育館にか	意見保留	意見調整の
13	JM01B そう、それある(うん)。だからたぶん段ボー ルとかで仕切っとるから、別にいらんかな	否定	シークエンス
14	JM01A <そうやね>{<}	受けいれ	
15	JM01B <俺布団>{>} 布団がいると思うんだわ	情報提供	

#### 4.3.2.3 「話段」

「シークエンス」の下位単位の「話段」は以下のように設定した。「不同意が明確化される前のシークエンス」には「情報提供」話段、「意見対立のシークエンス」には「議論」話段・「回避」話段・「共感」話段、「意見調整のシークエンス」には「誘導」話段・「調整」話段を設けている。

本研究が設けている「話段」は、話者双方の発話の集合体である。「話段」を構成する話者同士間の発話がどのように関係づけられているかを明らかにするため、個々の「話段」の発話構成を述べておく。

##### 4.3.2.2.1 「情報提供」話段

会話例 4-4 のように、「不同意が明確化される前のシークエンス」では、話題の提出と、それに関する情報を充実させる提案側の発話がメインとなっている。相手はこの話段において実質の同意や不同意などの意見を出さずに、話題の情報をめぐる確認や、情報提供などを発する。これらの発話は情報の充実化に協力するが、不同意に必要な情報を獲得する

手段としても成り立つ。

#### 4.3.2.2.2 「議論」、「回避」、「共感」話段

図 4-2 が示しているように、「意見対立シーケンス」の構成要素には「議論」、「回避」、「共感」話段が見られる。「意見対立シーケンス」の構成要素として、この 3 つの話段は会話が次の段階に進むことができず、停滞状態にあることが共通している。

##### (1) 「議論」話段

会話例 4-4 において、「テント」という話題について、ターン 09 で話者 B は「要らない」と発し、明確に不同意を示した。その次に、話者 A は「いらん？」という詰問の口調で相手の意見を納得していないことを示した。これで意見対立の局面が形成された。相手が納得していないことについて、一般的に話者 B のように、「不同意の意見」を支持する「不同意の理由」を明示し(ターン 11)、相手を説得しようとする。このように、不同意の意見とそれを支持する理由による不同意の明示表明は、相手が現有する考えを変えさせようとする説得の働きかけを持っていると言える。したがって、「議論」話段を、「説得の働きかけがある不同意を明示的に表明しあう発話がメインとなる発話連鎖」と定義する。この定義から、「議論」話段のやりとりには、不同意を明示的に表明しあう発話以外の発話が多少混ざることがある。例えば、会話例 4-5 では、明示的な不同意表明発話の間に、<意見要求>(ターン 32)、<意見の不提示>などの発話(ターン 33)が混ざっている。しかし、これらの発話は話段の属性に関与しない。

会話例 4-5 :

発話番号・話者・発話	発話機能
31 JM05A (略)俺薬いらんと思うんだよな	否定
32 JM05B なんで :	意見保留(意見要求)
33 JM05A なんで、なんでだろうね (h h h) h h それを h h、なんだろう	意見保留(繰り返し)/ 困惑表明(意見の不提示)
34 JM05B 消毒液とかもあるのに、写真だけど	主張・反論
35 JM05A やー、僕はいらんあくとと思うんだよね>{<}	否定
36 JM05B <絆創膏とか>{>}、菌 はいっちゃう、菌	主張・反論

##### (2) 「回避」話段

「回避」話段は、「不同意の意図を潜在させる発話がメインとなる発話連鎖」と定義する。会話例 4-6 のように、ターン 66 までに、話者双方がお互いに態度表明を回避することにより、話者双方の提案のどちらかが合意案に向けて発展していくかは不明で、会話が意見対立の状態にとどまっている。

会話例 4-6<sup>42</sup>:

発話番号・話者・発話	発話機能
57 JM08A 薬はどっちがいいかねっていう話ね、うーん	談話進行
58 JM08B うん、微妙なとこだよね	困惑表明(意見の不提示)
59 JM08A そうなんだよ[v]、消毒と、###大事## [v](うん)そういうことか	注目表示+情報提供

<sup>42</sup> 会話例 4-7 は、話者 A の提案「薬」と話者 B の提案「衛生用品」がペアとなる談話の断片である。

60	JM08B そりゃあ：、「バファリン」って書いてある、 「バファリン」ってなんだっけ？	意見保留（確認）
61	JM08A 頭痛薬（h h h）h	情報提供
62	<2 秒>	困惑表明（沈黙）
63	JM08B うーんうーんうーん[リズム乗っている]、微妙 だね	困惑表明（意見の不提示）
64	JM08A そう[v]	困惑表明（意見の不提示）
65	<3 秒>	困惑表明（沈黙）
66	JM08A でも、み：、うん、水があれば予防ある程度で きるよね	否定

### (3) 「共感」話段

「共感」話段は、一見お互いに相手の提案に対して同意を明示しているが、不本意の気持ちが含まれていることにより、意見対立の状態が続く話段のことである。会話例 4-7 では、話者 A の提案「服」と話者 B の提案「食べ物」がペアの形で討論の話題となっている。「回避」話段（ターン 47-51）では、話者双方の意見の回避により、「服」と「食べ物」のいずれも合意案に向けて進んでいない。相手が先に決断を下すことを待っている状態で、話者 A は相手の提案を肯定した（ターン 52）。それに対する反応としては、話者 B も相手に対して肯定を示した（ターン 54）。しかしながら、話者双方とも発話の前に 3 秒以上の沈黙を有したり、発話の際に不確定表現の「か」を使用した。これらの言語表現の使用に不本意の気持ちが含意されているためか、どちらの話者も相手からの肯定を受け入れず、意見対立の状態が続いている。

#### 会話例 4-7:

発話番号・話者・発話	発話機能	話段
47 JM09A えー：、衣服、か、食べ物か。食べ物は、どうだろうか。	困惑表明（意見の不提示）	「回避」話段
48 <2 秒>	情報提供	
49 JM09A ちょ、難民のさ（うん）、その状況のイメージがさ（うん）、思ったより沸いてないからね	意見保留（繰り返し）	
50 JM09B で、難民…	困惑表明（沈黙）	「共感」話段
51 <3 秒>	肯定	
52 JM09A やっぱ食べ物か？	困惑表明（沈黙）	
53 <4 秒>	肯定	
54 JM09B 衣服か？	困惑表明（意見の不提示）	
55 JM09A 衣服か、食べ物かって感じやろ	肯定	
56 JM09B まあ、冬やったら、衣服かもしれないな（うん）寒いしな	困惑表明（沈黙）	ほかの話題についての話段
57 <3 秒>	困惑表明（意見の不提示）	
58 JM09A うーん	話題転換	
59 JM09B 布団は違うん？		

#### 4.3.2.2.3 「誘導」、「調整」話段

本調査では、意見の調整は誘導と一定の関係が認められた。ここでの「誘導」は進行役<sup>43</sup>が談話を合意へ持ち込もうとしてなされる発話のことである。例えば、「1同2異」会話パターンの場合、共通の提案がそのまま合意案になる前提で、残りの2つの合意案の決定に、進行役はまず相手の1つの提案を合意案として同意し、その後、自分の1つの提案が合意案として相手に同意を求めるといように誘導している。結果としては、誘導にしたがい、意見を調整する場合もあるが、誘導を無視して自分の考えを堅持する場合もある。どの結果においても進行役の誘導と関わるので、また、誘導行動は一連の発話によってなされる場合が多いため、このような発話の集合を「誘導」話段と考える。会話例4-8を例として説明すると次のようになる。

会話例4-8のやりとりは、話者Aの提案「布団」と「文房具」、話者Bの提案「本」と「おもちゃ」をめぐる展開したものである。「1同2異」の会話パターンとして、共通提案以外の2つの合意案はこの4つの提案の中から決まる。このような背景のもとで、話者Aは誘導行動を行っている。まず、ターン10で自分の2つの提案に対して1つ(「布団」)を取り下げ、もう1つ(「文房具」)を主張している。そして、相手の2つの提案を対比した結果、その1つ(「おもちゃ」)に肯定を示し、もう1つ(「本」)を批判した。このように、ターン10で合意案に関する話者Aの「1人につき1つの提案が合意案として決まる」という誘導の意志が見られた。しかし、この誘導は話者Bに理解されていないか、あるいは理解されたが納得できないためか、「本」に対する擁護がターン16まで続いている。話者Bの行為に対して、話者Aはまた明確に「本」を批判した(ターン17)上で、「おもちゃ」に肯定した(ターン19)。さらに、ほかの選択肢にも話題移行し、合意案として適するものがないという考えを伝えた(ターン19)。これらの一連の発話は、自分の提案「文房具」を合意案として同意してもらおうという誘導の行為だと理解される。

会話例4-8:

発話番号・話者・発話		発話機能
10	CM01A 1) 拿起..., 这个被子这个东西当时我没有考虑到那么多, 因为我觉得国家力量可能救助不够, 然后, 这个先..., 排除掉, 先排除这个。 (この布団、その時僕はあんまり考えずに選んだ。国(政府)からの支援が足りないと僕が思ったから。そして、これを…除いて。とりあえずこれを除いて。)	主張の撤回
	2) 其实为什么拿铅笔呢? 觉得他们应该适合画。 (なぜ鉛筆にしたのか? 彼らは絵を描いたほうが良いと思うから。)	主張
	3) 要说为什么不拿书...(なぜ本は要らないかというと…)	情報提供
	4) 这个玩具我也赞同啊。(このおもちゃは僕も賛成する。)	肯定
	5) 我觉得真的要给他们心理安慰的, 还是玩具比较好一点。书这种东西, <@>短时间内我只能说这个...	否定

<sup>43</sup> 進行役に関して、柏崎(1996)では談話の流れと方向性を決め、決定を促し、及び決定として収束させる言語行動を行う者のことだと規定されている。本研究では、「進行役」は特定のある会話参加者の役割分担ではない。意見交換を行う会話参加者2人の間に、以上のような言語行動を行う者は意見交換の役割から外し、会話の流れを操る役割に変更する。この会話参加者のこの場合の役割分担を、「進行役」と呼ぶ。



(僕は、彼らの心を本当に癒すのは、おもちゃのほうがいいと思う。本というものは、<@>短い時間で、私が言えるのはこれ…)	
11-16 (省略) <sup>44</sup>	
17 CM01A =但是，你要治愈啊，治愈性的，你没办法找到，那个，书啊。对不对？ (でも、癒しのためでしょ、あなたは癒しのための本だったら見つけれない、でしょ?)	否定
18 CM01B 嗯。(うん。)	注目表示
19 CM01A 1) 毛绒玩具可以，毛绒玩具确实可以。 (ふわふわの縫いぐるみはいい、ふわふわの縫いぐるみは確かにいい。)	肯定
2) 其他这个药这个东西，其他都不太符合了、现在。 (ほか、この薬とか、ほかのものはあんまりふさわしくない。現時点(から言う)と。)	情報提供

それに対し、誘導と関係ない意見調整もある。この意見調整は、話者双方の説得しあう結果として、1人が相手の説得の理由を認め、主体的に不同意の意見表明をやめることである。このような発話の集合を「調整」話段に位置づける。会話例 4-9 において、「意見対立シークエンス」から「意見調整シークエンス」に発展する過程では、誘導などの談話進行に関する発話が見られない。話者 A が「テント」を主張する意見をやめたのは、話者 B の「体育館に集める」という理由を承認したからである。

会話例 4-9 (会話例 4-4 の再掲) :

発話番号・話者・発話	発話機能	シークエンス
09 JM01B うーん(うん)、え、でもテント[^]はいらんくねって思うんだけど	否定	意見対立のシークエンス
10 JM01A いらん?	主張・反論	
11 JM01B え、俺的に。あの...、別にあれじゃん(うん)体育館とかに集まるじゃん	否定	
12 JM01A うん、あ、体育館にか	意見保留	意見調整のシークエンス
13 JM01B そう、それある(うん)。だからたぶん段ボールとかで仕切っとるから、別にいらんかな	否定	
14 JM01A <そうやね>{<}	受けいれ	

#### 4.4 「意見交換」談話の展開パターン

4.3.2 で述べたように「意見交換」談話は、一般的に「不同意が明確化される前のシークエンス」・「意見対立のシークエンス」・「意見調整のシークエンス」によって構成されている。談話の展開パターンと関係があるのは「意見対立のシークエンス」と「意見調整のシークエンス」である。また「意見対立のシークエンス」の下位単位としての 3 つの「話段」の中で、「回避」話段と「共感」話段より、「議論」話段は日中両言語のいずれ

<sup>44</sup> 省略された内容は、「本」に対する意見のやりとりである。話者 A の「本」に対する否定に対し、話者 B は「本」を擁護している。

においても、また、男女データのいずれにおいても必ず出現するものである。以上のことから、本研究で観察された「意見交換」談話の展開パターンは「議論→調整」型と「議論→誘導」型に分類できる。

#### 4.4.1 展開パターン1：「議論→調整」型

前述のように、会話はいくつかの談話によって構成される場合がある。会話がいくつかの談話によって構成されるかは、話題と関わる。1つの話題に関するやりとりを1つの談話とする。話題は意見交換の仕方によって決まるものである。例えば、「2同1異」会話パターンの場合、話者双方がそれぞれ1つの異なる提案を持っている。この2つの提案を1つずつ個別に取り上げて検討する場合、話題は2つとなり、会話も2つの談話によって構成される。一方、この2つの提案をペアの形で比較する場合、会話は1つの談話によって構成されることに見出す。そうして、「1同2異」、「0同3異」会話パターンの場合、会話を構成する談話の数は多くなる。

談話間の関係に基づき、「議論→調整」型展開パターンを、さらに「基本型」、「反復型」、「新話題型」に分けられる。

##### 4.4.1.1 基本型：「議論→調整」型

「基本形」は、図4-3のように話題ごとに、討論を経て合意案になるか却下されるかという結果になるパターンである。つまり、同一の話題は「議論→調整」の過程が1回のみであり、その後の会話の流れにおいて再び討論の対象として扱われないということである。

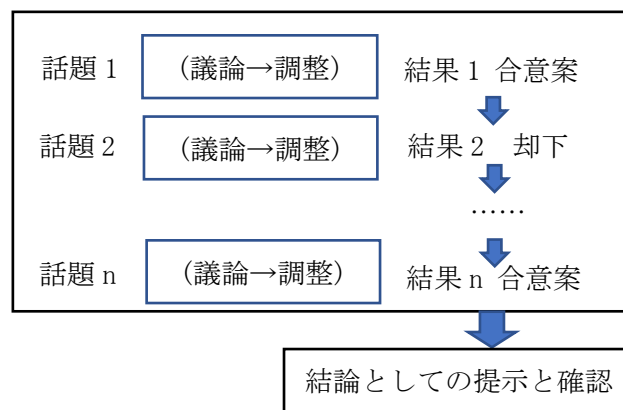


図4-3 「基本型」による会話の構造

図4-3を例えば「1同2異」の会話パターンの図式だとすると、「1同」としての共通提案がそのまま合意案になる前提があり、残りの2つの合意案が「2異」の4つの提案の中から決まる時点で、会話は自然に「合意形成」談話に入る。会話例4-10は「基本型」の一例である。

会話例4-10は3つの談話でなされた「意見交換」談話の断片である。この断片の中心的话题である「おもちゃ」に関する談話では、ターン50とターン52の否定と反論発言によって意見の対立局面が形成された。その局面の解消は、「おもちゃ」の提案者の話者B

が、「文房具があればおもちゃが要らない」<sup>45</sup>という相手の意見に共感を示し、提案を取り下げたためである(ターン56まで)。そのあとの流れにおいて、「おもちゃ」は再び会話に出現していない。また、話題が収束されるまでどの話者の誘導行動が見られず、お互いの説得の結果として、1人の話者が相手の説得の理由を認めたためである。

会話例 4-10:

発話番号・話者・発話	発話機能	談話
(略) 49 JM08B<ま>{>}、そうやね。まあ、ん...、こいつも俺は確定でいいと思うよ	肯定	「テント」に関する談話
50-1JM08A えっと、 51 JM08B h ## h 50-2JM08A これドラえもんはいらんやろ< h h h h h こ、これ、これあれば>{<}、あれば十分や(まあね→) 52 JM08B< h h h h h いやアラレちゃんよりは>{>} 53 JM08A 自分で書いて楽しみ 54 JM08B はい、一番、ね、多分、あの必要な年齢にとって(うん)楽しむもんね(うん)これね(そうそうそう) 55 JM08A 漫画も描ける 56 JM08B じゃあいいよ、こいつはなしにしといてやるよ [v]	否定 否定 主張・反論 情報提供 共感 情報提供 主張の撤回	「おもちゃ」に関する談話
57 JM08A 薬はどっちがいいかねっていう話ね、うーん(略) 114 JM08A 結局対処できるのは薬以外ないやん? 115 JM08B うん。まあ、寝て直せっていうわけにもいかんしな(うん)、h h h しょうがねーな(h h h) <しょうがねーな、しょうがねーな>{<}	談話進行 主張/同意 要求 同意	「薬」・「衛生用品」に関する談話

#### 4.4.1.2 反復型：「議論→調整→同一話題による議論→調整」型

反復型は基本型と比べ、前談話で討論された話題がその後の談話においてもまた意見交換の対象となる点が大きな違いである。つまり、同一の話題が少なくとも2つの異なる談話で討論されるパターンである。このパターンは2つの状況がある。1つ目は、前談話においてある話題に対する討論が意見調整まで発展せず、意見の対立のままで次の話題に入ったため、後の段階でもう1回討論をする場合である。2つ目は、ある話題が前談話において話者一方の意見調整によって収束し、あるいは収束に近づいていたが、後の流れの段階においてもう1回討論の対象となる場合である。

<sup>45</sup> ここでの「文房具」は話者2人ともに選ばれた共通提案のことである。文房具は「おもちゃ系」として、おもちゃが備えていない絵を描く機能も同時に備えているという理由で、話者Aはおもちゃに対して不同意を表明している。

本研究で焦点を当てる「意見交換」談話の反復型は後者のパターンである。なぜかという  
 うと、前者は、話題が前の段階で意見調整まで深く討論されなかったため、もう 1 回討論  
 されることはよくあることだからである。例えば、会話例 4-11 のように「薬」と「衛生用  
 品」はペアの形で「談話 1」のところに少し討論されたが、話題収束まで深く討論されて  
 いない。他の話題についての討論が終わり、もう 1 つの合意案は「薬」と「衛生用品」の  
 間に生じる必要があるため、「談話 4」のところにもう 1 回討論の対象となっている。

このような例は焦点を当てない。

会話例 4-11:

発話番号・話者・発話	発話機能	談話	
08 JM08A]]薬	主張	談話 1	
09 JM08B 薬? ああ、薬(うん)、薬	注目表示		
10 JM08A そうだからなんか、こっちと迷ったけど(あ)、 なんか、予防はできるけど多分、難民だからさ (へへえ)、通常と違う状態だと、たぶん、なん か、普通の予防以外でもなんかいろいろ症状出 てくる<と思う<{<}	否定(衛生用品) 主張(薬)		
11 JM08AB <ああ>{>}まあ、}そうやね	意見保留		
12 JM08A 1)頭痛とか、そんなんもやし(うん)、こっちの 方が汎用性高いかなと思って(うん)。 2)おまえは?	主張(薬)		
13-1JM08B 1)まあ、これは、えっと、 2)あの、クスリ渡されたところで(うん)、これ あの、こどもたちに何かを寄付するイベントだ から(うん)、まあ、あの、大人がいない可能性 が最悪無きに<しもあらざりしもと考えて> {<},	談話進行 談話表示		
14 JM08A <ああああああああああ>{>}	主張・反論(衛 生用品)		
13-2JM08B まあこれなら、誰でも、使えるし、まあ、やっ ぱ一番最初に重要なのはあの防止じゃない(う ん)、対処<じゃなくて予防だから>{<},	注目表示		
15 JM08A <うん—————>{>}	注目表示		
13-3JM08B 予防医学ってことで、これにした。	意見保留		
16 JM08A うん			
17 JM08B それは? (省略) 「テント」に関する話し合い、「テント」は合意 案の 1 つとして決めた。	談話管理		談話 2
(省略) 「おもちゃ」に関する話し合い、「おもちゃ」は合 意案にならないという結果になった。			談話 3
57 JM08A 薬はどっちがいいかねっていう話ね、うーん (省略)	談話進行		談話 4

本研究で取り上げる「意見交換」談話の反復型の構造は図 4-4 のようなものである(実線  
 の矢印は実際の流れ; 点線の矢印は可能性としての流れ)。図 4-4 を例えば「1 同 2 異」会  
 話パターンだとすると、2 つの合意案が話題 1 と話題 n の談話においてすでに決まったの

で、直接的に「合意形成」談話に発展すべきであるが、そのように発展せず、合意案として決まった話題がまた意見交換の対象となり、不同意の表明がなされている。しかし、話題 n+1 の談話が行なわれても討論の結果は変わらない。合意案になったのは変わらず結果 1 と結果 n である。

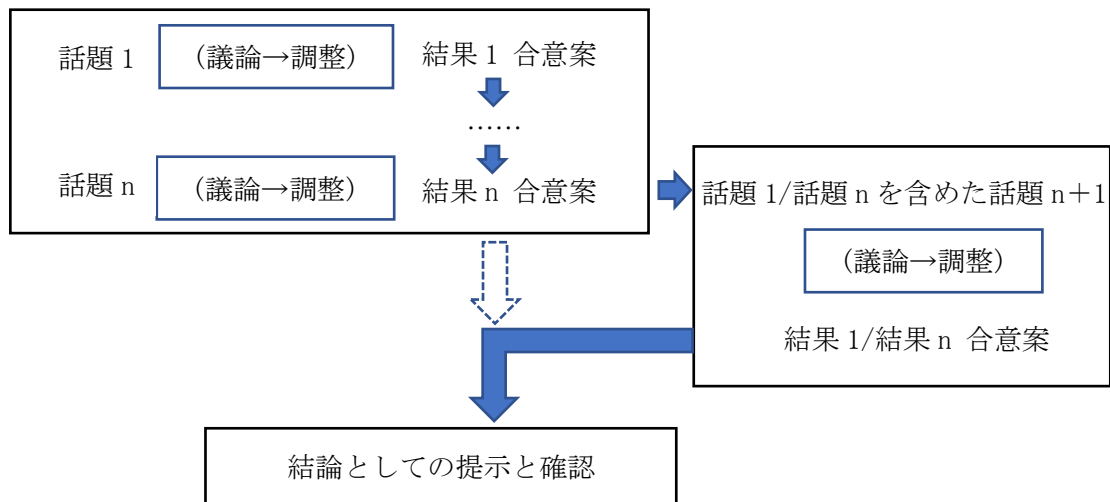


図 4-4 「反復型」による会話の構造

会話例 4-12(会話 JM04) は「反復型」の一例である。まず会話例 4-12 の流れを図 4-4 に基づいて図式化する(図 4-5)。

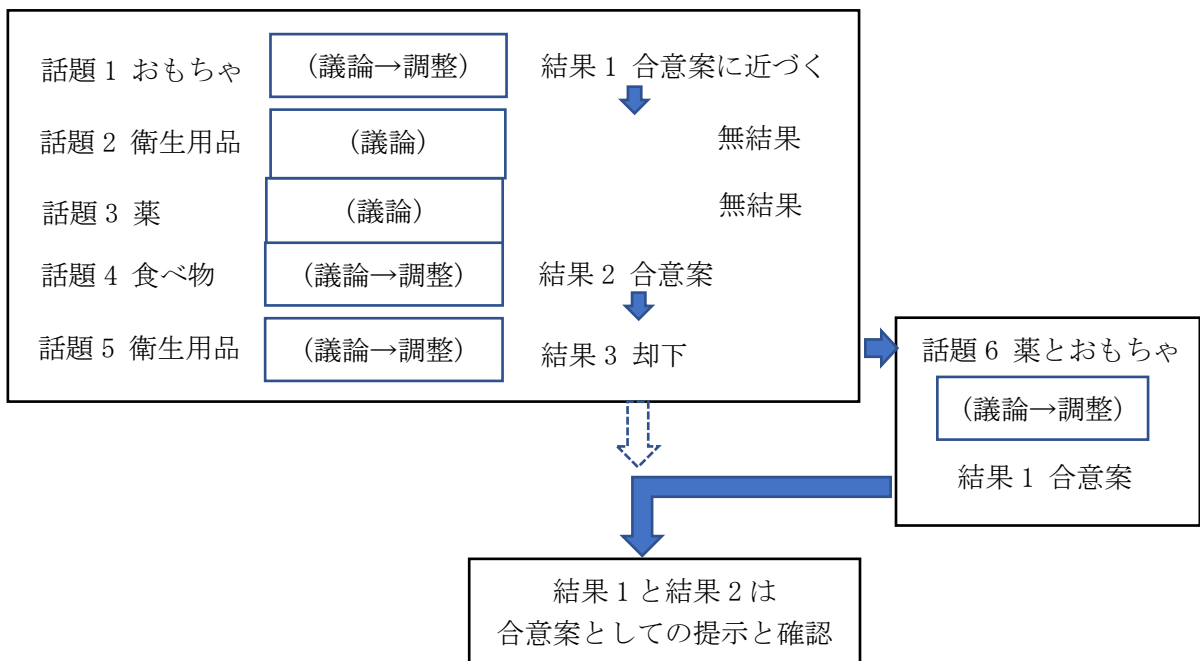


図 4-5 「反復型」としての会話例 4-12 の流れ

会話例 4-12 の流れから以下の 3 点が確認された。

1) 「1 同 2 異」の会話パターン(話者 A の案:薬と衛生用品 ; 話者 B の案:おもちゃと食べ物)として、2 つの合意案は討論を経由し生成される前提で、1 つ(食べ物)はすでに合意案

として決まり、もう 1 つ(おもちゃ)は相手の意見調整によって合意案に近づいているが、そのまま合意形成の段階に進んでいない。

2) 「おもちゃ」は談話 1 で合意案に近づいているが、話者同士の相互作用によって談話 6 でもう 1 回、結果が生成されていない「薬」と一緒に意見交換の対象とされた。

3) 談話 6 があってもなくても結論が同様である。

談話 6 に進む理由や動機は何だろうか。会話例 4-12 は「おもちゃ」に関する流れの断片である。それによると、「おもちゃ」が再び討論の話題になるには以下の経緯がある。

- ① 談話 1 で合意案に近づいている。少なくとも提案側 B は合意案となると思っている。そのため、「同意要求」を発し、相手の承認を待っている。
- ② 談話 4 まで、相手の意見調整によって、合意案にしようとするのは話者 B の 2 つの提案である。
- ③ こういう状況を意識した話者 B は、自分の提案「食べ物」が相手に認められた後、「おもちゃ」をまた討論の必要があるふりをして、ターン 43 を発話した。
- ④ 相手は自分の提案「薬」を主張するために、話者 B の発話に従い、会話を進行している(ターン 54 の発話 2))。

この過程において、「おもちゃ」に関して、合意案としてなされたと思っている提案側 B は<同意要求>(ターン 22)を発し、相手の肯定の反応を待っていた。しかし、相手の肯定をもらわなかった。そのため、「おもちゃ」がもう 1 回討論される際、全然相手に妥協せず、最後まで「おもちゃ」を堅持した。一方、相手の話者 A は「おもちゃ」が合意案としての理由を 2 回認めた(談話 1 のターン 21 と談話 3 のターン 36 の発話 3))が、自分の 1 つの提案が合意案になるように強引にそれについて不同意を表明している。このように、話者同士の相互行為によって同一の話題を反復に討論の対象にすることから、会話の全体的な流れにおける「自己主張」の堅持が窺えた。

会話例 4-12:

会話者 A の提案：水、薬、衛生用品

会話者 B の提案：水、食べ物、おもちゃ<sup>46</sup>

発話番号・話者・発話	発話機能	談話と話題
16-1JM04B で、俺が思ったのは、その、生活に必要、最低限必要なもの、で、プラス娯楽というか、	主張	談話 1 (おもちゃ)
17-1JM04A いや、<これは>{<},	否定	
16-2JM04B <###>{>}		
17-2JM04A さすがにおもちゃはいらんくない？おもちゃ要るんだったらまだ、薬のほうが良いような気がするんだよな		
18 JM04B え、ま、かも...、そう思うかもしれないと思うんだけど、子供たちって書いてあるからな	主張・反論	
=	意見保留	
19 JM04A =あ、そうか、子供たちか、それ忘れとったわ h h	主張	
20 JM04B 子供たちだから、ほらなんか(あ、なんか)、い		

<sup>46</sup> 下線が施された提案は合意案である。以下の会話例も同様。

<p>るんじゃねって思っ＝</p> <p>21 JM04A =あ、思った、子供たちやもんな(うん)</p> <p>22 JM04B 1) うん、 2) で</p> <p>23 &lt;1 秒&gt;</p> <p>24 JM04B あと：、</p>	<p>共感 注目表示 同意要求</p> <p>談話進行</p>	
<p>25-1JM04A 俺、</p> <p>26 JM04B そういうこと？</p> <p>25-2JM04A 衛生品＝</p> <p>27-30 (略)</p>	<p>確認 主張</p>	<p>談話 2 (衛生用品)</p>
<p>31 JM04B で、それは？</p> <p>32 JM04A これはh薬h h h</p> <p>33 JM04B 要らないh h h &lt;絶対いらぬh h &gt; {&lt;} 34 JM04A &lt;絶対いる、くすりh &gt; {&gt;} 要 るやろh h h</p> <p>35 JM04B 何の薬？</p> <p>36 JM04A 1) いや、例えば、腹痛なった時のくすりとか、 風邪になったときとか、そういうときの薬、 2) なんか要りそうでない↑ 3) いらそうじゃないってか、子供たちのイベ ントってこと忘れとったわ (まあまあ)、 4) あ、けど、水はなんか[[</p>	<p>談話進行 情報提供 否定 主張・反論</p> <p>情報要求 情報提供</p> <p>主張 主張の緩和/ 共感 話題転換</p>	<p>談話 3 (薬)</p>
<p>37-41 (略)</p> <p>42 JM04A &lt;けど&gt; {&gt;}、ぜ...、これ...は確定で</p>	<p>同意</p>	<p>談話 4 (食べ物)</p>
<p>43 JM04B じゃあ、これ3つでひとつ(そうそう)<sup>47</sup></p> <p>44 &lt;1 秒&gt;</p> <p>45 JM04B え、でも、もしそれだったら、え、これ歯ブラ シとかでしょ？</p> <p>46-53 (略)</p> <p>54 JM04A 1) じゃあ、まあこれは除外したとして、</p>	<p>談話進行 確認</p> <p>主張の撤回</p>	<p>談話 5 (衛生用品)</p>
<p>2) これとこれやな</p> <p>55 JM04B 待って待って、もう 4 分、いや、4 分しかたっ てない、まあ、いいか</p> <p>56-99 (略)</p> <p>100 JM04B 〇必要性で言ったらこっちなんだけど、子供 が喜ぶかって言ったらこっちなんだよなh、 絶対</p> <p>101 JM04A 子供、子供たちに何らかの寄付をするってい うイベントを行います[指示を読んでいる]</p> <p>102 JM04B そう、子供たちにとって言ってるんだよ</p> <p>103 JM04A あ、まあ限定しとるもんね</p> <p>104 JM04B うん、で、そっちかこっち&lt;っていう&gt; {&lt;} 105 JM04A &lt;そうだね&gt; {&gt;}、じゃあ、もう、子供たちだからまあ こっちにしちゃいましょうよ</p>	<p>談話進行 情報提供</p> <p>主張 情報提供</p> <p>主張 肯定</p> <p>肯定</p>	<p>談話 6 (薬と おもちゃ)</p>

<sup>47</sup> 「食べ物」が合意案として決定された後、2 番目の合意案は「おもちゃ」・「衛生用品」・「薬」から決める。

#### 4.4.1.3 新話題型：「議論→調整→新話題による議論→調整」型

「意見交換」談話の新話題型とは、話者同士が持っている現有の話題がすでに収束されたが、自分の提案が合意案にならない話者は新しい提案を出し、合意案になった相手の提案を潜在的に比較しながらまた意見交換を展開するということである。新提案を出した話者の行動には、対人関係の維持と「自己主張」の堅持の間に一定のバランスを取っていることが窺える。

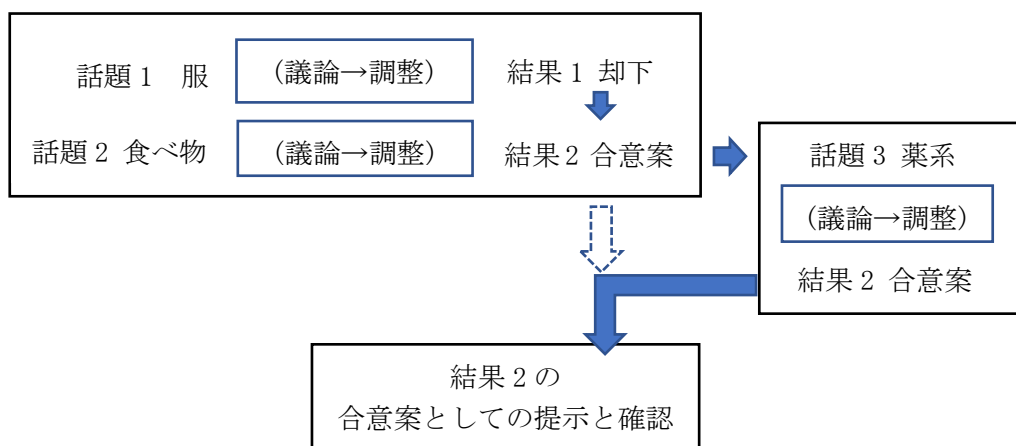


図 4-6 「新話題型」による会話の構造（会話例 4-13 の流れ）

会話例 4-13 では、現有の話題「服」と「食べ物」についての討論がターン 59 まで収束されている。しかし、それからは会話の収束の段階に発展していない。自分の提案が合意案にならない話者 A は、ほかの選択肢<sup>48</sup>を次々と出して、その中から「薬系」を主張している（ターン 67）。結果としては、この新提案は相手に認められず、この談話の前の原結果のとおり会話に収束された。

このように、新話題型による会話の構造の図式は反復型と同じである（図 4-6）。

会話例 4-13:

会話者 A の提案：水、テント、服

会話者 B の提案：水、テント、食べ物

発話番号・話者・発話	発話機能	話題
(省略)		
57 JM06B=えーっと、飲み物と食べ物	談話進行（意向の表明）	食べ物
58 JM06A こうかなって思っちゃう	肯定	
59 JM06B うーん、決まった？	談話進行	
60 JM06A まってまって、まだ、なんか、けどこれって、うーん、難民にこれ必要ないやろ	情報提供	ほかの選択肢
61-66 (省略)		

<sup>48</sup> 会話をする前に話者 2 人ともに選択されなかった写真のことである。



67	JM06A 1)テントあればさ、何とかなるから(うん)、この3枚除外やろ。 2)おもちゃもさ、難民のためのhhものではないもんな(うん)、 3)けど俺、このさ、この2つ結構いいんじゃないと思ってしまった、俺	情報提供 情報提供 主張	薬系
68	JM06B うーん、まあー、どうやろうな、でも、「キレイキレイ」とかも、ぶっちゃけ、お風呂入らんって考えたら(うん)、でも[[,	否定	
69	JM06A 要る 70-79 (省略)	主張・反論	
80	JM06B 使い方が、わからんと考えたら、消毒液もいいけど、でもな、やっぱ優先して送るべきっていうのがやっぱ、食べ物かな	否定 主張(食べ物)	
81	JM06A 衣食住か(うん) そやもんな、生き残るって考えたら衣食住だな(うん)、こうだな、こうだな	肯定	
82	JM06B よし、決まり	談話進行	

#### 4.4.2 展開パターン2:「議論→誘導」型

前節に述べた「調整」は、相手の説得を認め、主体的に不同意の意見表明をやめるという方法で話題を収束するものである。相手の説得に従った調整だと言える。それ以外に、意見の調整が誘導と関わる場合もある。「誘導」を行う第1の目的は、誘導側の利益(提案が合意案になる)が確保できるためである。それで相手とのバランスを保つことができるようになる。そのため、「1同2異」会話パターンの場合、相手の1つの提案をまず合意案として認め、その後、自分の1つの提案を合意案として相手に同意してもらうという形でまとめる。「2同1異」会話パターンの場合、なかなか勝負がつかない状況で、話者の1人が共通提案を1点外すことによって会話を主導している。これらの「誘導」は相手の反応によって、「誘導順応型」と「誘導反復型」に分けられる。

##### 4.4.2.1 誘導順応型:「議論→誘導→調整」型

「誘導順応型」が「誘導反復型」と大きく異なるのは、「誘導」行動が相手の協力によって2回以上行われたいという点である。図4-7のように、話者Aが、話者Bの1つの提案を合意案として認めてから、話題を自分の提案のほうに誘導し、もう1つの合意案は自分の2つの提案から選んでほしいという誘導が、相手の協力によって1回だけ行われている。したがって、「誘導順応型」としての「議論→誘導→調整」型は、お互いに異なる意見を示しあう意見対立の状況で、バランスの取れた結果が得られるような誘導側の誘導に、すぐに協力的な反応を行うことである。つまり、進行役の意向に従う意見調整のパターンだと言える。このようなパターンのやりとりは会話例4-14のようになる。

会話例4-14では、「談話1」のところに話者Aの提案「水」、「談話2」のところに話者Bの提案「おもちゃ」に対して意見交換をした。お互いに妥協しないことによって意見対立の状態がターン54にまで続いている。その状況で話者Aは明確に相手の提案「文房具」に同意した(ターン57の発話1))。そのあと討論の話題を整理するような発言をした(ターン57の発話2))：「薬と、文房具と、後1個かなって。」)。

この発話を「誘導」発話だと判断する根拠は、相手の反応と、相手の反応に対する反応である。ターン58で話者Bは「後1個だったら話者Aの2つの提案の中での1つではないか」と考えているため、「あと：、服かお茶？」と発した。それに対し、話者Aは「そうだね」と発し、受け入れた。その次にすぐ自分の提案の「服」と「水」について話題展開した。一方、会話の終わりまで話者Bのもう1つの提案は討論の対象にならず、自然に会話の流れの中で消失した。

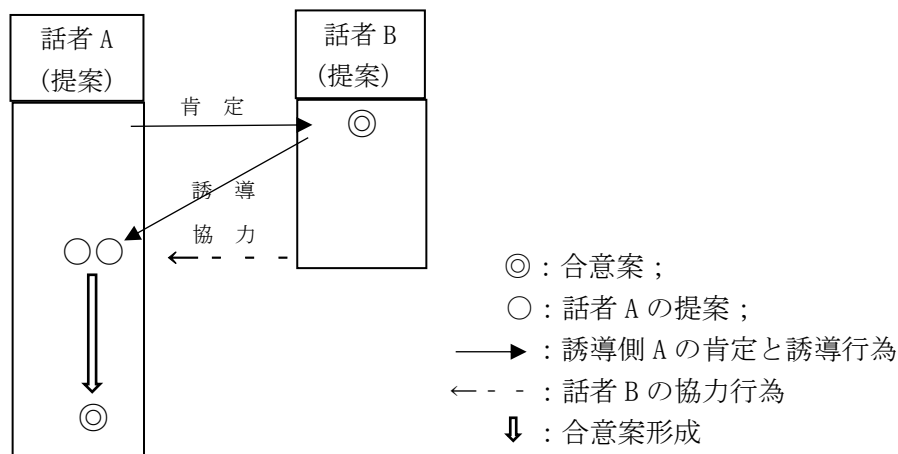


図 4-7 「1同2異」会話パターンを例とした「誘導順応型」

会話例 4-14:

会話者 A の提案：薬、水、服

会話者 B の提案：薬、おもちゃ、文房具

発話番号・話者・発話	発話機能	談話												
(省略)														
42 JF07B=え、でもお茶って持つよね↓	否定	談話 1 (水)												
43 JF07A 持つよね↑。うん (h h h)	意見保留													
44 JF07B 何でだろう。現地のほうがいいんかな。飲み物<だけ>{<}</td>           <td>否定</td>         </tr> <tr> <td>45 JF07A &lt;うーん&gt;{&gt;}うーんうーん、水、なんか水取れなくなるって</td> <td>主張・反論</td> <td></td> </tr> <tr> <td>46 JF07B 外国へ送るんだったら食べ物とか飲み物よりは(うん)ものの方が(うん)&lt;いい気がする&gt;{&lt;}&lt;/td&gt;           &lt;td&gt;否定/主張&lt;/td&gt;           &lt;td rowspan="5"&gt;談話 2 (玩具)&lt;/td&gt;         &lt;/tr&gt; <tr> <td>47 JF07A&lt;うんうんうんうん&gt;{&gt;}&lt;/td&gt;           &lt;td&gt;否定&lt;/td&gt;         &lt;/tr&gt; <tr> <td>48 JF07B &lt;えっ、h h h h h 絶対ないじゃん&gt;{&gt;} h h</td> <td>主張・反論</td> </tr> <tr> <td>49 JF07A ない。</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>50 JF07B ないよね h</td> <td>確認/主張</td> </tr> <tr> <td>51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感</td> <td>否定</td> <td></td> </tr> </td></tr></td></tr>	45 JF07A <うーん>{>}うーんうーん、水、なんか水取れなくなるって		主張・反論		46 JF07B 外国へ送るんだったら食べ物とか飲み物よりは(うん)ものの方が(うん)<いい気がする>{<}</td>           <td>否定/主張</td>           <td rowspan="5">談話 2 (玩具)</td>         </tr> <tr> <td>47 JF07A&lt;うんうんうんうん&gt;{&gt;}&lt;/td&gt;           &lt;td&gt;否定&lt;/td&gt;         &lt;/tr&gt; <tr> <td>48 JF07B &lt;えっ、h h h h h 絶対ないじゃん&gt;{&gt;} h h</td> <td>主張・反論</td> </tr> <tr> <td>49 JF07A ない。</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>50 JF07B ないよね h</td> <td>確認/主張</td> </tr> <tr> <td>51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感</td> <td>否定</td> <td></td> </tr> </td></tr>	47 JF07A<うんうんうんうん>{>}</td>           <td>否定</td>         </tr> <tr> <td>48 JF07B &lt;えっ、h h h h h 絶対ないじゃん&gt;{&gt;} h h</td> <td>主張・反論</td> </tr> <tr> <td>49 JF07A ない。</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>50 JF07B ないよね h</td> <td>確認/主張</td> </tr> <tr> <td>51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感</td> <td>否定</td> <td></td> </tr>	48 JF07B <えっ、h h h h h 絶対ないじゃん>{>} h h	主張・反論	49 JF07A ない。	情報提供	50 JF07B ないよね h	確認/主張	51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感	否定
45 JF07A <うーん>{>}うーんうーん、水、なんか水取れなくなるって	主張・反論													
46 JF07B 外国へ送るんだったら食べ物とか飲み物よりは(うん)ものの方が(うん)<いい気がする>{<}</td>           <td>否定/主張</td>           <td rowspan="5">談話 2 (玩具)</td>         </tr> <tr> <td>47 JF07A&lt;うんうんうんうん&gt;{&gt;}&lt;/td&gt;           &lt;td&gt;否定&lt;/td&gt;         &lt;/tr&gt; <tr> <td>48 JF07B &lt;えっ、h h h h h 絶対ないじゃん&gt;{&gt;} h h</td> <td>主張・反論</td> </tr> <tr> <td>49 JF07A ない。</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>50 JF07B ないよね h</td> <td>確認/主張</td> </tr> <tr> <td>51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感</td> <td>否定</td> <td></td> </tr> </td></tr>	47 JF07A<うんうんうんうん>{>}</td>           <td>否定</td>         </tr> <tr> <td>48 JF07B &lt;えっ、h h h h h 絶対ないじゃん&gt;{&gt;} h h</td> <td>主張・反論</td> </tr> <tr> <td>49 JF07A ない。</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>50 JF07B ないよね h</td> <td>確認/主張</td> </tr> <tr> <td>51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感</td> <td>否定</td> <td></td> </tr>	48 JF07B <えっ、h h h h h 絶対ないじゃん>{>} h h	主張・反論	49 JF07A ない。	情報提供	50 JF07B ないよね h	確認/主張	51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感	否定					
47 JF07A<うんうんうんうん>{>}</td>           <td>否定</td>         </tr> <tr> <td>48 JF07B &lt;えっ、h h h h h 絶対ないじゃん&gt;{&gt;} h h</td> <td>主張・反論</td> </tr> <tr> <td>49 JF07A ない。</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>50 JF07B ないよね h</td> <td>確認/主張</td> </tr> <tr> <td>51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感</td> <td>否定</td> <td></td> </tr>	48 JF07B <えっ、h h h h h 絶対ないじゃん>{>} h h	主張・反論	49 JF07A ない。	情報提供	50 JF07B ないよね h	確認/主張	51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感	否定						
48 JF07B <えっ、h h h h h 絶対ないじゃん>{>} h h	主張・反論													
49 JF07A ない。	情報提供													
50 JF07B ないよね h	確認/主張													
51 JF07A ないけど(うん)。難民、難民やったら元々そんな(うん)、あれだよ、おもちゃに恵まれてる感	否定													

52	JF07B そう、なんかな h h じがしない。	意見保留	
53	JF07A 違うかな	注目表示	談話 3 (話者 A の 2 つの提案)
54	JF07B 災害[v]	談話表示	
55	JF07A あと 1 個。	談話進行	
56	JF07B 何だっけ、これと、	確認	
57	JF07A 1) 文房具は要ると思う(うん)けど。 2) 薬と、文房具と、後 1 個かなって。	確認応答(肯定)	
58	JF07B あと :、服かお茶?	談話進行(誘導)	
59	JF07A 1) そうだね。 2) 服高いんよね (h h)、確かに、でも...	確認	
	(略)	確認応答 情報提供	

#### 4.4.2.2 誘導反復型：「議論→誘導→議論→誘導→調整」型

「誘導反復型」は相手の不協力によって誘導行為が何回も行われるパターンである(図 4-8)。図 4-8 のように、「1 同 2 異」会話パターンの場合、自分の 1 つの提案を合意案として認めてもらいたいときに誘導を 2 回以上行っている。結局、どちらの話者の提案が合意案になるのかは相手の反応(協力かどうか)と関わる。どの結果でも、この過程において、会話の全体的な流れにおける「自己主張」の堅持が窺えた。誘導側の何回もの誘導も、相手の不協力も自分自身の提案を合意案にさせるまでの「自己主張」の堅持である。このようなパターンのやりとりは 4.3.2.2.3 節に述べた会話例 4-8 を参照のこと。

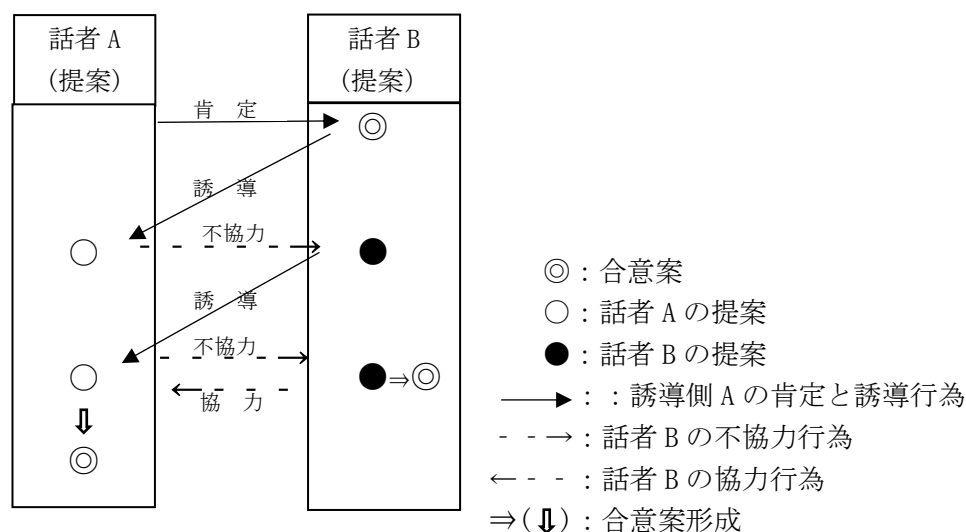


図 4-8 「1 同 2 異」会話パターンを例とした「誘導反復型」

#### 4.4.3 比較の結果と考察

##### 4.4.3.1 「自己主張」の堅持に関する日中母語話者間の異同

以上で述べたように、本研究では「意見交換」談話のパターンは 5 種類観察された。それらが日中両言語における表出状況は表 4-1 のようになる。表 4-1 では「反復型」と「新話題型」は同じ枠にまとめられた理由としては、1) この 2 つのパターンを図式化すると、

同様の構造が示されていること、2) この2つのパターンでは話題を牽引する特徴において共通性を持っており、これによって「基本型」と区別されるためである。

「話題牽引」を根拠とすると、表4-1の4種類のパターンはさらに2区分できる。「基本型」の展開では固定した話者が話題を牽引するのではなく、会話参加者の相互作用によって展開が図られていることが観察された。一方、そのほかの3つのパターンでは、局所的には会話参加者の相互作用によって展開されるものもあるが、固定した話者が話題を牽引し、それによる会話の全体的な構成がなされるのは大きな特徴である。

表4-1 「意見交換」談話の構造パターン (単位:組<sup>49</sup>)

「意見交換」談話のパターン		言語	日本語	中国語
「議論→調整」型	基本型		10 (47.62%)	11 (55.00%)
	反復型・新話題型		6 (28.57%)	1 (5.00%)
「議論→誘導」型	誘導順応型		5 (23.81%)	3 (15.00%)
	誘導反復型		0	5 (25.00%)
計			21 (100.00%)	20 (100.00%)

前述のように、話題の牽引に「自己主張」を堅持する特徴が窺えた。「自己主張」の堅持は話者自身の提案が合意案になるような欲求を満足しようとするために行われた行動である。この行動は、1つの合意案が相手の提案に決まったことを前提に行ったものである。そのため、話題の牽引は「対称性志向話題展開」(三牧, 2013: 197)だとすることができる。つまり、話題を牽引する方は意図的に3つの合意案が共通提案、相手の1つの提案と話者の1つの提案によってなされ、「互恵的選択」<sup>50</sup>の結果を期待している。また、三牧(2013)によれば、会話の主導権の指標となる話題管理のうちでも、話題導入は会話の方向を決定する重要な言語行動であるという。このように、話題を牽引する話者は、対人関係を考えた上で、自分の欲求を満足するための会話を主導する方である。このような話者

<sup>49</sup> 本研究に使ったデータは日中両言語それぞれ20組の会話データである。ここでは、日本語のデータの中で、同じ会話に2つのパターンが同時に観察された会話例が1つあったので、総計が21組になっている。

<sup>50</sup> 「2同1異」会話パターンの場合、合意形成の過程としては2つの共同的な選択がそのまま合意案になり、それぞれ主張している異なった1つの選択の中から最後の1点を決めるのは基本である。こういう基本パターンの結果としては、話者同士2人のどちらかの選択に決定されたとしても、競争性のある「一方的選択」となる。一方、話者AとBのどちらかが「一方的選択」を不満し、合意案とならない自分の選択を強く主張するために共同的な選択を1点外そうとする姿勢が見られた。こうして、元の2同1異のパターンから共同選択1点を外したあと、1同1異というちょうど合意案と同じような3つの選択が残っている。この過程に競争が見られるが、結果的には「互恵的選択」となる。

一方的選択: 共同選択2点+A(1)とB(0)/A(0)とB(1)

互恵的選択: 共同選択1点+A(1)とB(1)

同様に、「1同2異」会話パターンの場合、共同選択である1点はそのまま合意案となる前提で、話者同士2人のそれぞれ主張している異なった2点の選択から合意案を決定するとき、次のような可能性が出られる。

一方的選択: A(2)とB(0)/A(0)とB(2)

互恵的選択: A(1)とB(1)

は日中両言語のいずれにおいても半数ほど占めている(日本語では 52.1%、中国語では 45.00%)。この点は意見表明に関する日中両言語の共通性である。

ただし、日本語母語話者の「自己主張」の堅持には「間歇性」が観察された。この「間歇性」の表現としては、「議論→調整」パターンの中での「反復型」と「新話題型」のことである。相手の意見に共感や同意の姿勢を示したうえで、話題や会話が一旦収束されることができる。しかし、決まった結果、あるいは決まるであろう結果についてまた異議があり、自己主張を続ける。Watanabe(1993)では日本人話者は“multiple accounting argumentation strategy”を用い、あるときは反対の立場に賛同したりといった首尾一貫しない述べ方をする傾向があると述べられている。この傾向は話者自身の欲求の満足と相手との対人関係の維持と関係があるだろうと思われる。つまり、日本語母語話者は自身の欲求を押しつけて主張するのではなく、相手の意見に合わせて相手の反応を観察する。自身の欲求を相手に察してもらわない場合、また意見を述べる。これによって、話者自身の欲求の満足と相手との対人関係の維持をバランス的に保持することに努めている。それに対し、中国語母語話者は始終的に一つの立場に立って一貫して意見を述べる傾向がある。この傾向は特に「議論→誘導」パターンの中での「誘導反復型」が示されている。誘導側の何回もの誘導に対しても妥協せずに結局話者一方に妥協させるのは、ある話題の合意案になる適当の理由である。このことから、話者自身の欲求の満足と、相手との対人関係の重視の 2 者の関係に関して、中国語では、日本語のような優先、調和の関係ではなく、勝負と対立の関係である。

中国語では、話者自身の欲求の満足と相手との対人関係の重視の 2 者が、勝負と対立の関係であるということに証になるもう 1 つの表現としては、結果に対する文句や不満である。例えば、「誘導順応型」の場合、誘導側の意図に合わせた結果として 1 つの提案が合意案となり、もう 1 つの提案は却下されなければならない。却下された提案をめぐって、文句や不満を発することが見られた。つまり、話者自身の欲求が全部満足できない場合の文句は、勝つことに望ましい表現である。対人関係との戦いの結果、話者自身の欲求の満足は敗北となったと思われるため、文句や不満を発したのではないかと考えられる。それに対して、日本語母語話者は決定的に勝つ印象を与えることが極力避ける(木山, 2001)という特徴がある。この特徴は、大貫(2015)の研究結果にも現れている。大貫(2015)では、話者 2 人の異なるプランの間に最終的にどちらの一方を選択する調査を行った結果、日本語母語話者は自分のプランも相手のプランもどちらもいいと言って合意に至ると指摘している。

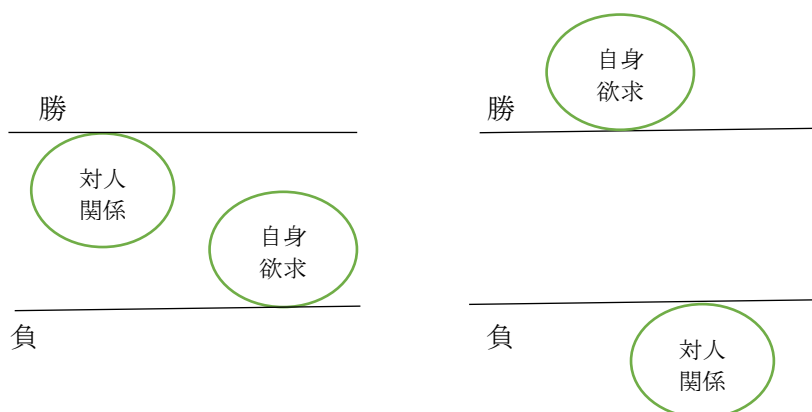


図 4-9 日中母語話者の友人に対する勝負意識 (左：日本；右：中国)

このように、話者自身の欲求の満足と相手との対人関係の維持の 2 点の関係は、図 4-9 のように示すことができると考えられる。日本語では合意案は、この 2 点のどちらが優先的に考えられることによって形成されても「勝」の領域に、優先的に考えられないほうが

「負」の領域に至らない。それに対する中国語では「勝」と「負」の領域の間に明確な境がある。

また、文句や不満を伝えることや一貫して「自己主張」を堅持することには、中国語母語話者の仲間意識が反映されている。リーチ(1987:210)によれば、丁寧さの不足が本質的に親密性の印になりうるという。そのため、友人同士の間安定した親密さが保証できれば、文句や不満、「自己主張」があからさまに伝えることができるだろう。一方、日本語母語話者は、「親しい仲にも礼儀あり」に伝えられたように、相手が親しい関係の友人でも中国語母語話者のように気楽に本気の気持ちを伝えるのではなく、相手と距離を置いて迂回的に考えを伝えている。相手と一定のを察するように立ち入りすぎないようにするといった内容によるまとまりを形成していると指摘している。こういう「気遣い」をする対人関係のあり方は、大平(1995)、土井(2008)では「優しい関係」と称されている。それに対し、気を遣うことを重んじない対人関係のあり方を「気楽な関係」と称することができるだろう。そのため、意見交換の場面では、日本語母語話者の友人同士の関係は「優しい関係」、中国語母語話者のほうが「気楽な関係」だと言える。このことから、中国語母語話者の友人への対人距離が日本語母語話者より近いことが観察される。

#### 4.4.3.2 「自己主張」の堅持に関するジェンダー上の特徴

表 4-2 に示したように、「自己主張」の堅持に関する話者同士の相互作用において、ジェンダー上の特徴が見られた。女性の会話では「自己主張」の堅持の一方性の特徴、男性の会話では、話者同士間の相互的な「自己主張」の堅持の特徴が見られた。

表 4-2 「意見交換」談話の構造パターンと話者別の内訳 (単位:組)

話者		JM	JF	CM	CF
「議論→調整」 型	基本型	5 (50.00%)	5 (45.45%)	6 (60.00%)	6 (60.00%)
	反復型・新話題型	4 (40.00%)	1 (9.10%)	0	1 (10.00%)
「議論→誘導」 型	誘導順応型	1 (10.00%)	5 (45.45%)	0	3 (30.00%)
	誘導反復型	0	0	4 (40.00%)	0
計		10 (100.00%)	11 (100.00%)	10 (100.00%)	10 (100.00%)

そのように判断した根拠としては、日中両言語のどちらにおいても、女性は男性より「誘導順応型」を、男性は女性より「反復型・新話題型」あるいは「誘導反復型」を多用していることである。「誘導順応型」では、誘導側の誘導に対して相手の話者はすぐ協力的な姿勢を示すため、「自己主張」の堅持は誘導側一方の行為として視することができる。一方、「反復型・新話題型」と「誘導反復型」では、同一の話題や新話題が導入された後の再討論も、誘導に逆らう姿勢での討論も、話者同士間の相互的な自己堅持の特徴が示されている。このように話題牽引の方による話者双方の欲求がバランス的に保つことが保証できれば(「互惠的選択」)、相手の話者の立場から見ると、女性是对立をなるべく避ける行動、男性は自分の「自立性」を誇示するような行動をとる傾向が見られた。この「自己主張」の堅持に関する男女の特徴は、Tannen(1990)の指摘と一致している。Tannen(1989)では、会話をする目的において男女には異なる特徴が表れている。女性にとっては相手との「つながり」を確認し、相手への「親しさ」を表現することにある。そのため、対立は

なるべく避ける。男性にとっては自分の「自立性」を誇示することにある。そのため、相手との違いを強調するように行動を取り、意見を主張すると述べている。

#### 4.5 意見調整のパターン

前節に述べたように、意見調整は話者同士のお互いの説得の結果、あるいはその中での1人の話者の誘導と関わる。意見調整の決定要因としてどちらも相手を納得させる有力な説得もあるが、相手を納得させない場合もある。相手を納得させられない場合、合意案として決めようとするときに強引な「決定促し」手段が見られる。会話例 4-15 では、話者 A の提案「水」はターン 94-100 の交渉を経て、合意案として納得されていない結果になった。それについて暫く考えた提案側の話者 A は「水にする？」(ターン 107)を発し、強引的に話者 B の同意を求めている。このような強引な「決定促し」は、<同意要求>発話や、「你从了我吧(私にしたがって)」のような命令口調の発話が多い。そのため、本研究に観察された「決定促し」は本質的には「自己主張」のことである。

会話例 4-15 :

発話番号・話者・発話	発話機能	談話
91 JM01A h h h h いや、でも、食べ物はあるやろ、でも 92 JM01B あ、食べ物な(うーん)、食べ物 93 JM01A 一時的に		話者 A の提案「食べ物」
94 JM01B 食べ物と、水? 95 JM01A うん 96 JM01B そうやな 97 JM01A え、でも、井戸使え:、使えへん?(h h h) h h h (そっか)え、でも、災害だから井戸使えんのかな↓ 98 JM01B ああああ、いや、わからん、いや、でも使えるでしょ、川とかありそうもん= 99 JM01A =使えるか 100 JM01B そしたら h h 101 JM01A h h h h この水要らんくね 102 JM01B あー 103 JM01A h h h じゃあ、食べ物だけってこと<h h h h h h h h h h h h>{<} 104 JM01B <飯だけ h h h 飯だけ送り続ける>{>} 105 JM01A h h h それやばい h h。 106 JM01B いやそれはな、でも 3 つ選ばないかんから →107 JM01A じゃ、食べ物と、水にする? 108 JM01B 1)水。 2)あと 1 個あと 1 個	確認 主張 肯定 主張の緩和 否定 意見保留 否定 主張の撤回 同意要求 同意 談話進行	話者 A の提案「水」

注: 「→」符号をつけた発話は「決定促し」発話である。

そのため、意見調整のパターンは、大きく、「(議論/誘導)→理由への承認」、「(議論/誘導)決定促し→同意」の 2 種類に分けられる。表 4-3 では、日中両言語とも 3 割程度の

合意案の決定に強引な「決定促し」の介入が見られた。また、日中両言語とも、男性より女性の会話で、「(議論/誘導)決定促し→同意」パターンが多く出現していることが分かった(表 4-4)。

表 4-3 意見調整パターン(単位：件)

	日本語	中国語
(議論/誘導)→理由への承認	24(68.57%)	20(62.50%)
(議論/誘導)決定促し→同意	11(31.43%)	12(37.50%)
計	35(100.00%)	32(100.00%)

表 4-4 意見調整パターンの話者別の内訳(単位：件)

	JM	JF	CM	CF
(議論/誘導)→理由への承認	12(75.00%)	12(63.16%)	12(75.00%)	8(50.00%)
(議論/誘導)決定促し→同意	4(25.00%)	7(36.84%)	4(25.00%)	8(50.00%)
計	16(100.00%)	19(100.00%)	16(100.00%)	16(100.00%)

また、強引な「決定促し」に対する反応は会話例 4-15 のように、すぐ「決定促し」の意見を受け入れるものもある(ターン 108)が、ためらいを示すポーズや確認、及び文句を伴うものもある。その中で、ためらいを伴いながら「決定促し」を受け入れるのは、男女の日中母語話者の会話のいずれにおいても観察された。文句は中国語母語話者の会話のみ観察された。会話例 4-16 では、話者 B の「还是把你的水给你淘汰掉吧(やっぱりあなたの(提案の)水を排除しよう。)」という促しに対し、話者 A は受け入れたが、その直後、「那你就渴死吧。(あなた、喉乾いて死んじゃうよ。)」を発し、自分の提案「水」は合意案として決まっていなかったことに対する文句や不満を示した(ターン 90 の発話 2))。さらに、中国語の男性の会話では「他妈的(くそ)」のような「罵り」の文句も観察された。儲(2019)において、意見表明の際に使われた「悪態/罵り」は親密さを表す「関係性志向」のストラテジーであると指摘している。この「関係性志向」のストラテジーは、日本語母語話者と比べ、中国語母語話者の男女とも有意に多く使われていると報告している。本節の結果から、中国語の男性の会話には「罵り」が観察されたが、女性の会話ではそこまで至らず、「文句」レベルに留まっている。しかし、中国人男女両方とも、このような不満を示す言い方を通じて相手と親密な関係を築いていると言えるだろう。それに対し、このような親密さの構築は日本人男女のどちらにおいても観察されていない。

このように、合意案に至るまでの過程だけでなく、合意案が決まった後の段階に至っても、中国語母語話者は友人への対人距離が日本語母語話者より近いということが見られた。

会話例 4-16 :

発話番号・話者・発話	発話機能
(略)	
87 CF03B 1) 还是把你的水给你淘汰掉吧。 (やっぱりあなたの水をなしにしよう。)	意向の決定
2) 你觉得呢? (あなたは どう思う?)	同意要求
88 CF03A 可以。(いいよ。)	同意



89 CF03B	可以吧？(いいよね？)	同意要求/確認 同意 文句/不満
90 CF03A	1) 嗯。(うん。)	
	2) 那你就渴死吧。 (あなた、喉乾いて死んじゃうよ。)	

#### 4.6 本章のまとめ

本章は、「意見交換」談話のパターンと、その構成要素の1つである「意見調整」のパターンに注目し、合意案の形成に至るまでの全体のプロセスと、合意案の形成の契機の2つの側面から合意に至るまでの会話の全体像を分析した。

まず、合意案の形成に至るまでの「意見交換」談話は、4つにパターン化できた。その中で、「議論→調整」パターンの中での「反復型」と「新話題型」、及び「議論→誘導」パターンでは、話題の牽引による「自己主張」の堅持の特徴が窺えた。この点において、日中両言語に共通点が見られた。日中両言語のどちらにおいてもほぼ半数の母語話者は、「自己主張」を堅持している。「自己主張」の堅持は話者自身の欲求を満足するための行動であるため、「自己重視」の行動とも言える。つまり、日本語でも半数ほどの話者は「自己重視」の行動をとっている。この傾向は会話の全体的な構造にわたって潜んでいるため、従来の会話の局所的な構造分析や言語表現に注目した研究によって観察されていなかった特徴が明らかになった。例えば、久米他(2000)、李・松崎(2009)、陳(2014)、趙(2018)などでは、「自己重視」の特徴は中国語母語話者に専属し、それに対する日本語母語話者は「対人関係重視」の特徴を持っていると指摘しているが、それを覆す結果だと言える。

次に、「自己主張」の堅持によるやりとりには、日中母語話者間の異なる勝負意識と対人距離の意識が反映されている。日本語母語話者は「間歇性」の「自己主張」の堅持によって、話者自身の欲求の満足と相手との対人関係の重視の2点を、相手の反応を察しながら優先したり調和したりする。この2点を優先したり調和したりした結果、どちらの話者の提案が合意案になるのかということにそれほど焦点が当たらなくなっている。それに対し、中国語母語話者は一貫して「自己主張」を堅持する。一旦結論は対人関係を優先的に考えることによって形成される場合、話者自身の欲求が満たされないため、「負」の心理があり、文句や不満などを表す。人同士の間で安定した親密さが確保されることが保証されれば、文句や不満、一貫した「自己主張」の堅持が示すことができると考えられる。このような安定した友人同士間の親密さは日本語母語話者の「親しい関係」に比べ、「気楽な関係」だと称することができる。そのため、友人への対人距離が「気楽な関係」のようがより近いと言えるだろう。

話者双方の欲求が満たされることを志向する話題の牽引と違い、「意見調整」段階の「決定促し」は相手の欲求を考慮しないものである。言い換えると、自分の欲求のみ考え、それが満たされるように強引な手段を使う。このような手段で自分の利益を守る話者が日中両言語のどちらにおいても3割程度ある。また、「自己主張」の堅持に観察された日中母語話者間の異なる勝負意識と対人距離の意識は、「決定促し」に対するやりとり(文句)にも同様の傾向が観察された。

以上、会話の全体的な構造における日中両言語の共通点と相違点が分かった。データ限定されていることによって、男女差が検出されていない。しかしながら、ジェンダー上の

傾向が見られたと考えられる。合意案の形成に至るまでのプロセスでは、話題牽引の方による話者双方の欲求のバランスを保つことが保証されれば(「互恵的選択」)、日中両言語のいずれにおいても、女性は話題牽引の方の意図にしたがって結論に向かう、という対立を避ける行動をとり、男性はそれに逆らう行動で、自分の「自立性」を誇示する傾向が見られた。一方、合意案の決定に、自分の欲求だけ考える強引な「決定促し」手段は、女性のほうがやや多く使われている。それに対し、男性は相手の意見を受け入れる行為で合意案を促す。

以上で述べた、会話の全体的な構造から分かったことを表 4-5 のようにまとめている。

表 4-5 会話の全体的な構造に関する分析の結果

分析の内容		「意見交換」談話の展開 パターン	「意見調整」のパターン
観察された行動		「自己主張」の堅持	強引な「決定促し」
日中両言語 の比較	共通の 特徴	両言語とも、半数の母語話者は対称性志向に基づいた「自己重視」の行動をとっている。	両言語とも、3割の母語話者は結論生成の段階において強引な「決定促し」手段で自分の利益を確保している。
	相違の 特徴	日本語母語話者より、中国語母語話者は勝負意識が強く、対人距離の意識が近い。	同左
ジェンダー上の特徴		話者自身の欲求が満足されることが保証されれば、女性は対立を避ける行動をとり、男性は自分の「自立性」を誇示する傾向。	自分の欲求だけ考える強引な「決定促し」手段は、女性のほうがやや多く使われている。

---

## 第5章 意見対立のシーケンスにおける不同意表明

### 5.1 はじめに

前章の会話の全体的な構造に対する分析により、日中両言語のどちらにおいてもほぼ半数の母語話者は、「自己主張」を堅持し、それによって相手に不同意を表明する傾向があることが分かった。この「自己重視」の特徴は会話の全体的な構造に潜んでいる。本章では、不同意表明に関する会話の局所的な構造において、日中両言語の間にはどのような特徴が見られるのかを分析する。

### 5.2 研究課題

課題：不同意表明に関してどのような対立の局面が形成されるのか。そこにはどのような話者双方の相互行為が見られるのか。言語ごとに、また言語横断ごとに異同が存在するのか。

具体的には次の2つの作業課題からなる：

作業課題1：「議論」話段はどのような発話によって構成されるのか。その発話構成に、日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

作業課題2：「回避」話段と「共感」話段はどのような発話によって構成されるのか。また、そこに現れる発話はどのような場合に不同意表明として認められるのか。それに関して日中両言語にそれぞれどのような特徴が見られるのか。そして、ジェンダーに差異が見られるのか。

### 5.3 分析方法

#### 5.3.1 分析の対象

本章では、意見対立シーケンスを構成する「議論」話段、「回避」話段と「共感」話段の発話構成について分析を行う。これらの話段の発話構成は、7種類の「意見交渉」発話のことを指す(表3-6)。ここでは、まず、これらの「意見交渉」と関わる発話を類型化する(表5-1)。類型化作業の根拠は木山(2001)の分類である。

木山(2001)では、合同食事会の場所を決める話し合いの発話を、「主題とする店は自分側か、相手側か」と、「話者の態度は肯定的か、否定的か」という2つの尺度を掛け合わせ、「説得」型と「共感」型分類している(表5-2)。それに基づき、表5-1における発話①、②を「説得型」に、発話③、④、⑤を「共感型」に分類することにした。一方、木山(2001)の「話者の態度は肯定的か、否定的か」と異なり、本研究では相手の提案や意見に対する問いかけ・確認・繰り返し、そして沈黙や笑いなどの肯定も否定も明確に表明しない発話(発話⑥、⑦)が観察された。このような発話は、不同意の表明を回避する役割として働いていると考えられ、「回避型」発話類型を追加した。

表 5-1 「意見交渉」発話の発話類型

発話種類	発話類型
①話者自身の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話	説得型
②相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を批判する発話	
③相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話	共感型
④話者自身の提案の優位性を批判する発話及び撤回するという意図を表す発話	
⑤話者自身の提案に対する相手からの批判を受け入れる発話	
⑥問いかけ、確認、繰り返し、話題転換といった話者双方のどちらの個人提案及び提案内容に関する意見に対して擁護とも批判とも表明しない発話	回避型
⑦沈黙と笑いも含め、意見を表明しにくいことを示した困惑の発話	

表 5-2 発話の分類(木山, 2001)

主題の店	話者の態度	肯定的	否定的
	自分が希望する店		説得型肯定
相手が希望する店		共感型肯定	説得型否定

木山(2001: 67)の「発話の分類名」による整理

### 5.3.2 分析の方法

分析にあたって、「隣接ペア」(Schegloff and Sacks, 1973)と「発話連鎖」(ザトラウスキー, 1993; 梶本, 2000)を用いて、意見対立を形成する会話の局所的な構造を明らかにする。

「隣接ペア」は、「質問—答え」のような、それを構成する第1発話と第2発話は隣接しているというのはあくまで「原則としている」である。しかし、質問に更なる質問が続き、2番目の質問への答えの後に最初の質問への答えがなされるという入れ子型の場合もある。入れ子型のペアは本研究では隣接ペアとして扱わない。会話例 5-1 のような、入れ子型のペアが隣接ペアともされる場合、「主張」に関する隣接ペアは2つ(「主張—意見保留」・「主張—否定」)ある。理解しやすいように、「主張—意見保留」のみ隣接ペアとする。「主張—否定」のようなペアは、何の発話目的などによって他発話や間を挿入する発話連鎖として取り扱う。

会話例 5-1 :

発話番号・話者・発話	発話機能
52-2 JF03B <本は>{>}本は集めやすそうだよ(うん)。 いつも何だっけ資源回収やってるし。	主張
54 JF03A やってるし。	意見保留
55 JF03B はこ、でも、運ぶの、こっちのほうが運ぶのがき ついでね。	主張の緩和
56 JF03A きついね。輸送費かかるね。	否定

## 5.4 結果

### 5.4.1 「議論」話段の不同意表明の特徴

「議論」話段は、不同意を明示し合う発話連鎖がメインとなる話段のことである。不同意の「明示的表明」は<否定>・<主張・反論>等の発話機能を有する発話が該当する。表 3-6 より、このような機能を持っている発話は、①話者自身の提案の優位性及び提案内容に関する意見を擁護する発話と、②相手の提案の優位性及び提案内容に関する意見を批判する発話である。このように、この 2 種類の発話は主な発話構成として、「議論」話段を構築している。その中で、以下のようないくつかの最小限の意見対立の局面が形成されている。

- 1) 相手の主張(提案)に対する否定(①→②)<sup>51</sup>
- 2) 1)の否定に対する反論((①→)②→①)
- 3) 1)の否定と対抗する否定((①→)②→②)
- 4) 相手の主張と対抗する主張(①→①)<sup>52</sup>

これらの最小限の意見の対立の次に、どのような話者同士の相互行為が出現するかを見ると、意見の対立を続ける連鎖と意見の対立を中止する連鎖がある。これらの連鎖構造を、否定側の話者と提案側の話者の別々の視点から見る。そこには日中両言語の間、及びジェンダーにどのような特徴が見られるのかを分析する。

#### 5.4.1.1 相手の主張(提案)に対する否定

相手の主張(提案)に対する否定行動(①→②)は、主に 1 つのターンのうちに集中的に行う「①→②②…」の有無と主張否定連続の状況「①→②→①→②→…」において日中両言語の違いが見られた。

##### 5.4.1.1.1 否定集中型

会話例 5-2 は、相手の提案に対する否定行動を 1 つターンのうちで集中的に行うことを示した例である。話者 A の提案「薬」(西洋の薬)に対し、話者 B は一気に 4 つの発話を発し、多角度から否定の態度を伝えた(ターン 15)。まず、山に住んでいる人々が風邪を引いたら、山に生えている漢方薬を掘って飲む習慣があるという理由を提供し、西洋の薬が要

<sup>51</sup> ここでの「①→②」には、最初に提出された提案とそれに対する否定が含まれない。最初に提出された提案(発話①)は、<情報共有>のために提出されたため、相手の否定に対する反論や相手の提案に対する対立の提出の意味を持っていない。また、ここでの「→」は、発話交替のことを指す。以下同様。

<sup>52</sup> このパターンは日中両言語のどちらのデータにも多く出現しないため、分析の対象外にする。

らないという態度を明確に伝えた(発話 1))。その次に、漢方薬は根本から病気を治療するものとして、漢方薬で治らない場合、西洋の薬も無理であるというような個人の主観的な観点で、2 種類の薬を対比しながら西洋の薬がよくないということを伝えた(発話 2))。その次の発話 3)で有効期限が短い代わりに、値段も高いという欠点から、発話 4) で結論のような発言で西洋の薬を寄付物資として適当ではないと不同意を表明している。

このような、相手の反応を考慮しなく、自分の言いたいことだけを中心とする不同意表明は日本語母語話者のデータでは見当たらない。中国語母語話者の男女のデータ(表 5-3)ではそれぞれ、CM では 202 ターンのうち 16(7.92%)、CF では 191 ターンのうち 6(3.14%)のターンが見られた。男女差が確認された( $\chi^2=4.244$ ,  $df=1$ ,  $p=.039$ )。相手の提案及びそれに関する意見をまとまった量で否定することによる不同意表明は、中国語母語話者の男性は女性に比べてより多く使用されることが分かった(図 5-1)。

会話例 5-2 :

発話番号・話者・発話	発話機能
14 CM02A: 就是, 生病的时候得吃药呀, 要不然。(略) (だから、病気の時には薬を飲まないといけない。) (略)	主張
15 CM02B: 1) 啊, 所以, 所以药品是有必要是有必要, 但是, 但是你要考虑到一点儿, 你现在, 就是包括你家, 或者是, 你的, 你的, 长辈, 老两辈的, 就是你爷爷奶奶他们那一辈, 他们就是, 他们就是知道针对某些疾病的话, 他们知道就是, 就是, 你要喝点什么药, 就就可以好了, 就没有必要说是, 喝你这上边这种药, 他们都是, 呀, 你是, 明天明天我去地里给你, 给你挖一点儿##挖挖一些蒲公英, 这都是最基本的那些中药, 都是完全可以, 完全可以根治一些普通的疾病。 (あ、だから、だから薬が必要でもあるんだけど、一つ考えておかなければならないことがある。あなたは今、おうち、あるいは、あなたの、あなたの目上の人、二世代之の、つまり、おばあさん、おじいさんの世代の人は、彼らは、彼らは何か病気にかかったら、なんとなくどんな薬で治せるか分かっている。ここに載せた薬を飲む必要はない。彼らは、あなたが(病気がかかった)翌日野に行って、タンポポなんかを掘ってきてくれる。タンポポなどはよく見られる漢方薬なので、普通の病気をちゃんと治すことができる。)	否定
2) 如果是一些大的疾病他只能去当地的医院。因为, 你正常喝药的时候, 你是治不了的, 它已经就是, 因为中医是从, 从根上去治这个问题的(哦), 所以我是没有选择这个中药并且, 没有选择这个药品。 (ひどい病気だったら地元の病院に行くしかない。薬だけでは治らないから。漢方は根本から病気を治療するもの(そう)。だから僕は、この漢方薬、この薬を選ばなかった。)	否定
3) 并且这个药品的话, 你要是普遍来说的话, 那个就是, 它有, 第 1 它有日期限制(嗯)。因为, 因为一般的山区的孩子他们生活艰苦, 他们的抵抗力一般是, 比较强的(啊)。所以他们一般情况下不生病, 但是药品的保质期只有 1 年 2 年。第 2 是, 药品, 部分药品, 它们的价格是普遍比较高的。所以你在捐赠的时候你如果, 假如你捐 1 盒药, 那 1 盒药有的有的一盒药只能吃 2 天, 只能	否定

<p>吃3天, 有的有的情况下只能吃1天, 他这一盒药就是一二十三十, 甚至上百。  (しかも、薬だったら、一般的に言うと、まず有効期限がある(うん)。田舎に生活している子供たちは、厳しい生活を送っているので、抵抗力が一般的に強い(うん)。だから普段は病気にかかりにくい。でも薬の有効期限は1年、2年しかない。そして、薬品、値段が割高のものが多。寄付の場合、もし1箱を寄付すると、1箱だと2、3日しか飲めなくて、さらに1日しか飲めないときもある。けど1箱は10元、20元、30元さらに100元のものもある。)</p> <p>4) 所以, 对药品的话, 他们就是, 完全可以就是, 就是, 治病的话, 完全可以就是, 自己家里可以解决了, 都那种, 中药就可以解决了。所以就没有必要再考虑这个, 就是, 药品。  (だから、薬だったら、彼らは、だから、完全にできる。だから、だから、治療は、家でできるから。つまり、漢方薬で対応できるから。だから、この種の薬はもう考える必要がない。この薬。)</p>	否定
--	----

表 5-3 1つのターンのうちに複数の発話②が内包される内訳(単位: ターン(比率))

	JM	JF	CM	CF
複数の発話②が含まれるターン	0	0	16 (7.92%)	6 (3.14%)
1つの発話②によるターン	108 (100.00%)	86 (100.00%)	186 (92.08%)	185 (96.86%)
発話②の総ターン数	108 (100.00%)	86 (100.00%)	202 (100.00%)	191 (100.00%)

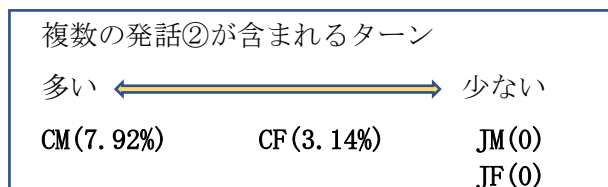


図 5-1 「否定集中型」に関する話者間の差

#### 5.4.1.1.2 主張否定連続型

杉本(2001)によれば、日本語の会話では相手の主張に対する最初の不同意が表明された後、「質問—応答」、「反論—納得」、「反論—確認」、「反論—反論」の連鎖が観察された。その中での「反論—反論」の連鎖が、ここでの分析対象である。つまり、相手の主張に対する最初の不同意が表明された後、その提案をめぐる提案側の擁護発話と否定側の再否定発話による不同意の連鎖(①→②→①→②→…)のことである。

表 5-4 に示したように、相手の主張に対する最初の不同意が表明された後、「①→②」のような不同意を明示的に表明しあう相互行為がまた続くのは、日本語の 1 割弱(8.89%、45 件のうち 4 件)に対し、中国語では 3 割(33.33%、111 件のうち 37 件)が観察された。その中で、2 回に続くのは、日本語では 3 件(6.67%)、中国語では 26 件(23.42%)があり、3.5 倍の差が見られた。さらに、3 回まで続くのは、日本語の 1 件(2.22%)に対し、中国語では 11 件(9.91%)があり、4 倍以上の差が見られた。2~3 回まで連続している否定行動を 1 回限

りの「①→②」行動と、2 区分にする場合、有意差が見られた ( $\chi^2=9.875$ ,  $df=1$ ,  $p=.002$ )。

この結果から、話者同士がお互いに 1 つの提案をめぐる異なる意見を次々に出すことにより、意見の対立を暫く持続する不同意表明行動は、中国語母語話者のほうが有意に多く行われることが分かった。一方、日本語母語話者は「①→②」連鎖を 1 回にとどまる行動が有意に多く行われている。

これに関して、男女差とジェンダー差のいずれも見られない (表 5-5)。しかし、同性同士の間にも有意差が見られた (JM と CM の間:  $\chi^2=5.066$ ,  $df=1$ ,  $p=.024$ ; JF と CF の間:  $\chi^2=5.046$ ,  $df=1$ ,  $p=.025$ )。この結果は男女分けずに比較した日中母語話者の結果と同じ傾向を示している (図 5-2)。

表 5-4 否定行動の連続の状況 (単位: 件 (頻度))

	日本語	中国語
1 回 (①→②)	41 (90.11%)	74 (66.67%)
2 回 (①→②→①→②)	3 (6.67%)	26 (23.42%)
3 回 (①→②→①→②→①→②)	1 (2.22%)	11 (9.91%)
計	45 (100.00%)	111 (100.00%)

表 5-5 否定行動の連続に関する話者別の内訳 (単位: 件 (頻度))

	JM	JF	CM	CF
1 回 (①→②)	24 (88.88%)	17 (94.44%)	36 (65.45%)	38 (67.86%)
2 回 (①→②→①→②)	2 (7.41%)	1 (5.56%)	13 (23.64%)	13 (23.21%)
3 回 (①→②→①→②→①→②)	1 (3.70%)	0	6 (10.91%)	5 (8.93%)
計	27 (100.00%)	18 (100.00%)	55 (100.00%)	56 (100.00%)

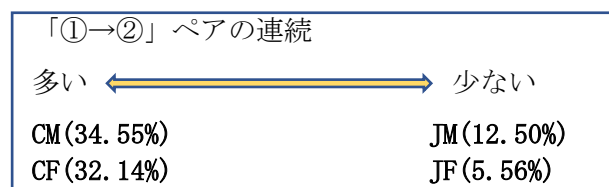


図 5-2 「主張否定連続型」に関する話者間の差

話者同士がお互いに 1 つの提案をめぐる異なる意見を連続的に出す不同意表明行動は、会話例 5-3 の通りである。会話例 5-3 では、提案「水」に関するやりとりが、「①→②」ペアで 3 回まで連続的に行われている。それに対し、会話例 5-4 において、提案「テント」に関する話者同士の異なる意見は連続的に出されていない。ターン 41 と 42 では「①→②」ペアが 1 回あったが、その後、ターン 43 と 44 の確認と応答発話を経てから、提案側は再び「テント」を擁護する発話①を出した。しかし、否定側はそれに対してすぐに明確に否定を表明していない。提案側のもう 1 回の主張に応じてやっと否定を表明した (ターン 47 と 48)。このような流れのように、日本語母語話者同士の意見交換では、明示的な不同意表明の間に、確認や確認応答、ためらいなどの明瞭ではない態度が挟む特徴が見られた。

また、このような否定を連続的に表明しない行動 (①→…→②) は、相手に示す配慮行動



として扱うこともできる。このような配慮行動は、相手の提案の直後に否定が直ちに出された「①→②」パターンと比べた結果、表 5-6 のように日本語ではほぼ半数ほど使われている。それに対し、中国語では 1 割弱使われている。この結果から、中国語母語話者は隣接ペアの形で相手の提案を直ちに否定する傾向が有意に多く、日本語母語話者は否定を遅

会話例 5-3 :

	発話番号・話者・発話	発話機能
23	CF01B 其实其他的東西中我覺得水也挺重要的。 (実は、他のものの中で、私は水も大事だと思う。)	主張・対比
24	CF01A 農村肯定不缺水吧。 (農村だったら、水不足のはありえないでしょ。)	否定
25	CF01B 但是他們的水，就是肯定水源不是，有些可能不是很好，或者有些就是被污染的。 (でも彼らの水は、きっと水源が良くないものとか、あるいは、汚染されているものとかがある。)	主張・反論
26	CF01A 不是啊，你不知道農村吧 hhh(hh)。∅就是他們那兒有井水 h。 (いや、あなたは農村のことはよくわからないでしょ。彼らのところには井戸水がある。)	否定
27	CF01B 我知道井水，就是，比如说我們那種農村就是井水也是，就是，已經被污染了。然後就是，然後就是政府又出錢弄的，就是，自來水，就是每家每戶裝了自來水管，就是井水已經喝不了。 (井戸水は私がわかるけど、例えば私の農村の井戸水はすでに汚染されていて、それから、政府に出資してもらって、家ごとに水道を取り付けた。井戸水はもう飲めなくなっている。)	主張・反論
28-1	CF01A 是吗↓ 我們那還可以，而且，就是那東西它是，就是被弄得好的，就是被東西給覆蓋住了，就掉東西進去，就還好。可能每個地方不一樣，你[,, (そうか。私の故郷はまだ大丈夫、井戸がよく管理されている、あの、蓋が付いているから、中にもものが入ることもない、まあまだ大丈夫。多分地域によって違うかもしれないけど、あなた[,,)	情報提供

会話例 5-4 :

	発話番号・話者・発話	発話機能
41	JF06A いや∅テント要るやろう↑< h h h > (h h h)	主張・反論
42	JF06B ∅それはもうさ、なんか、ある、あるものとして考えた h。	否定
43	JF06A あっ、そんなん？	意見保留/確認
44	JF06B うんうん。	確認応答
45	JF06A へえ、屋根ないと死ぬっと思って	主張・反論
46	JF06B うーん	意見保留
47	JF06A えっ、いやや、えっ、だって、屋根ほしくない？↑	確認/主張・反論
48	JF06B ほしい、え、絶対あるものやって、それは h h。	確認応答/否定

延する配慮のやり方で否定する傾向が有意に多いことが窺えた ( $p < .01$ )。

それに関する男女差は、表 5-7 のように、JM と JF の間に男女差が確認された ( $\chi^2=6.033$ ,  $df=1$ ,  $p=.014$ )。日本人女性は男性に比べ、より多い「遅れ」の否定行動で相手に配慮を示すことが分かった。一方、男性は直接に相手を否定する行動をより多く行っている。異言語間の話者間の差も確認された (CM と JM の間:  $p < .01$ ; CF と JM の間:  $p < .01$ )。図 5-3 に示している。

表 5-6 否定行動の出し方(単位：件 (頻度))

	日本語	中国語
①→②	50 (53.19%)	159 (92.98%)
①→…→②	44 (46.81%)	12 (7.02%)
計	94 (100.00%)	171 (100.00%)

表 5-7 否定行動の出し方に関する話者別の内訳(単位：件(頻度))

	JM	JF	CM	CF
①→②	32 (65.31%)	18 (40.00%)	80 (94.12%)	79 (91.86%)
①→…→②	17 (34.69)	27 (60.00%)	5 (5.88%)	7 (8.14%)
計	49 (100.00%)	45 (100.00%)	85 (100.00%)	86 (100.00%)

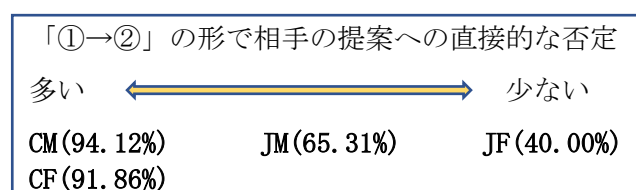


図 5-3 相手の提案を直ちに否定する行動に関する話者間の差

#### 5.4.1.2 否定に対する反応

##### 5.4.1.2.1 意見の対立に対する態度

否定側の否定に対し、提案側の話者は表 5-8 のように反応している。その中で、発話①を発することによる反論と、相手の提案に対して否定を返す反応は、意見の対立を際立たせる行動として、中国語母語話者に有意に多く行われている ( $p < .01$ )。一方、相手の提案に向かう肯定の反応(③)、否定の意見を受け入れる反応(⑤)、及び回避反応(⑥・⑦)は意見の対立を避ける行動としてまとめられ、日本語母語話者に有意に多く行われている ( $p < .01$ )。つまり、意見の対立を際立たせる行動、あるいは回避することに日本語母語話者は有意に意見の対立を避ける行動、中国語母語話者は有意に意見の対立を際立たせる行動をとる傾向が見られた。

それに関して、表 5-9 から、CM と CF の間に男女差が見られた ( $\chi^2=4.850$ ,  $df=1$ ,  $p=.028$ ) (表 5-9)。中国人女性は男性に比べて有意に多く意見の対立を際立たせる行動、男性の方が有意に多く意見の対立を避ける行動を行う傾向が見られた。そして、異言語間の話者間の差は図 5-4 に示されている。

表 5-8 否定に対する反応(単位：件(頻度))

意見の対立を際立たせる行動		日本語		中国語	
		件数	割合	件数	割合
意見の対立を際立たせる行動	②→①	53	35.00%	163	74.43%
	②→②				
意見の対立を避ける行動	②→③	98	65.00%	56	25.57%
	②→⑤				
	②→⑥				
	②→⑦				
計		151	100.00%	219	100.00%

表 5-9 否定に対する反応の話者別の内訳(単位：件(頻度))

意見の対立を際立たせる行動		JM	JF	CM	CF
		件数	割合	件数	割合
意見の対立を際立たせる行動	②→①	33	37.93%	77	68.14%
	②→②				
意見の対立を避ける行動	②→③	54	62.07%	36	31.86%
	②→⑤				
	②→⑥				
	②→⑦				
計		87	100.00%	113	100.00%

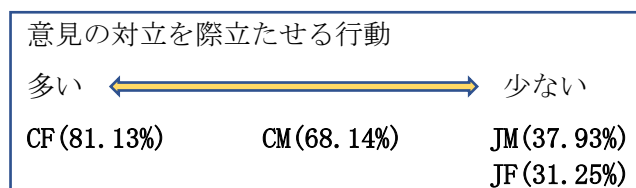


図 5-4 意見の対立を際立たせる行動に関する話者間の差

#### 5.4.1.2.2 意見対立の持続状況

表 5-8 から、否定に対する反応の中で、日中両言語のどちらにおいても最も多く出現したのは「②→①」ペアである。各談話（各話題に関するやりとり）において、話者同士間の意見の対立は最初に出現した「②→①」ペアによって明示化されることが多い。そこで、本節では露骨な意見対立の後、談話がどのように発展されるかを見てみる。

表 5-10 のように意見対立が表面化された後、その対立を発展し続ける説得型発話が発されるのは、日本語では 4 割弱(39 件のうち 15 件)が見られたのに対し、中国語では 8 割(95 件のうち 78 件)ほどである。一方、共感型と回避型発話によって意見の対立が中断されるのは、日本語の 6 割(39 件のうち 24 件)に対し、中国語では 2 割弱にとどまっている(95 件のうち 17 件)。そのため、意見の対立が表面化された後、話者同士間の対立が続くかどうかということにおいて日中両言語には異なる傾向が見られた ( $p < .01$ )。日本語母語話者はその対立を中断する行動が、中国語母語話者はそれを続ける行動が有意に多く行われていることが分かった。さらに、表 5-11 から、意見の対立を続ける行動の 7 割は話者 2 人共に行われていることが分かった(78 件のうち 54 件)。それに対し、日本語では話者 1 人が意見の対立を続けたとしても、話者双方とともに対立を続けるのは半数に至らない(15 件のうち 7 件)。

また、中国語では相手に対抗する姿勢で意見の対立を続ける行動「(②→①)→②→②」

は4分の1ほどある。これは日本語では1件しか見られないため、ほとんど行われていないことと考えることができる。

意見の対立を発展し続ける行動に関して、表5-12と表5-13に示したように、男女差とジェンダー差のどちらも見られない。

表5-10 「②→①」の後続発話(単位:件(頻度))

	日本語	中国語
(②→①)→説得型発話	15(38.46%)	78(82.11%)
(②→①)→共感型発話	6(15.38%)	0
(②→①)→回避型発話	18(46.15%)	17(17.89%)
計	39(100.00%)	95(100.00%)

表5-11 意見の対立を続ける行動の連鎖(単位:件(頻度))

		日本語	中国語
(②→①)→	②→①	6(40.00%)	34(43.59%)
	②→②	1(6.67%)	20(25.64%)
	②(①)→他	8(53.33%)	24(30.77%)
計		15(100.00%)	78(100.00%)

注: ②(①)の表記は、①である場合があるが、2~3例に過ぎなく、主流のものとして扱わない。

表5-12 「②→①」の後続発話の話者別の内訳(単位:件(頻度))

	JM	JF	CM	CF
(②→①)→説得型発話	10(43.48%)	5(31.25%)	34(75.56%)	44(88.00%)
(②→①)→共感型発話	3(13.04%)	3(18.75%)	0	0
(②→①)→回避型発話	10(43.48%)	8(50.00%)	11(24.44%)	6(12.00%)
計	23(100.00%)	16(100.00%)	45(100.00%)	50(100.00%)

表5-13 意見の対立を続ける行動の連鎖の話者別の内訳(単位:件(頻度))

		JM	JF	CM	CF
(②→①)→	②→①	5(50.00%)	1(20.00%)	15(44.12%)	19(43.18%)
	②→②	0	1(20.00%)	6(17.65%)	14(31.82%)
	②(①)→他	5(50.00%)	3(60.00%)	13(38.23%)	11(25.00%)
計		10(100.00%)	5(100.00%)	34(100.00%)	44(100.00%)

会話例5-5は、共感型発話による意見の対立を中断するやりとりである。「食べ物」に関しては、ターン23とターン24で相手の否定と提案側の擁護行動により、意見の対立局面が形成された。しかし、その局面が続かずに、相手の次の肯定発話(ターン25)によりすぐ中断された。それに、提案側の話者Aは「食べ物」を主張し続けたとしても、寄付する背景としての子供に重点を置き、またその背景に関連付けた「おもちゃ」を言及し、話題を転換した(ターン26)。その後の相手の提案「テント」の提出(ターン27)によって、話題が「おもちゃ」と「テント」の2択に転換され、「食べ物」に関する話は会話の終わりまで1回も出ないまま会話に埋もれた。このような流れにおいて、意見の対立を中断したのは否定側であるが、その行動に同調するためか、反論行動を行った話者(提案側の話者)も

次に自分の提案を強く主張し続けたいのが窺えた。このように、日本語母語話者は、話者2人とも意見の対立を続けたいことを目指していることが分かった。

会話例 5-5:

(話者 A の提案:薬、おもちゃ、食べ物；話者 B の提案：薬、テント、水)

発話番号・話者・発話		発話機能
23	JM03B <そうそう、なんか>{>}そう、なんかそのまま食べるのが、ないよね?(あー)でも、中国とか、あっちの方は違うのかな(あー)、食料ってとらえればいいのか、それとも、インスタント品ってとらえればいいのか	否定
24	JM03A でも、なんか、ちくわとかソーセージもあるから(そう)、まあ食べれんくはない	主張・反論
25	JM03B 食べれんくはないね	肯定
26	JM03A 1) つか、あ、俺はこれお菓子だと思ってて(あー)、俺結構子ども...、子供(うんうん)に送るってところ(そうやね)を重視したから。 2) その#ね(そう)、<玩具も>{<}	主張
27	JM03B 1) <退屈>{>}しちゃうからね(ん)、あの、なんだろう、命が確保される状態になったら(うん)、これだけじゃ子供はつらいhh(あー)、Eつらい正直h、(確かに)なんか楽しむものとかないと(そう)、本でも絵本でもいいし、おもちゃでもいいし、だから、 2) これはなんか、この、何だろう、最初の段階もう(うん)、とにかく E 死なせないためのh(あー)ものをちょいすかな、テントとかもそう(確かに)、かな↑、そう	肯定  主張

会話例 5-6:

(話者 A の提案「本」と「文房具」、話者 B の提案「衛生用品」に対する話し合い)

発話番号・話者・発話		発話機能
145	CF04B ]<吃饱饭后>{>} 就拿起书, 开始写字是吗?=( (災害のすぐ後に)本を捲って勉強を始めるのか。)	否定
146	CF04A =父母肯定是这样对孩子的。 ( (どのような環境でも) 親は絶対このように子供を要求するの。)	主張・反論
147	CF04B 我就不信。hhh(hhh) (私は信じない。)	否定
148	CF04A 0 但是你这个h也不现实啊。你说, 就拿地震来说, 地震以后是不是什么东西, 所有的水它肯定会震得很, 特别浑浊, 这个这个[[。 (でもあなたのこの提案も現実じゃないのよ。あの、地震を例として言うと、地震の後、水とかはとっても濁るでしょ、これこれ)	否定

それに対し、前述のように中国語では話者双方とも意見の対立を続ける行動「(②→①)→②→②」が特徴である。このような連鎖では一方の話者の態度の変化も窺えた。会話例

5-6 では、話者 A は相手の続きの否定(ターン 145)に対し、自分の提案を擁護する(ターン 146) 態度から相手の提案に向けて否定返し行動を行った(ターン 148)。趙(2019)では、このような相手の提案に向けて直接的に不同意を表明する行動は「攻撃的表明」、一方、相手の不同意に対して自分の提案を擁護する反論は「防御的表明」とされている。そのため、「②→①→②→②→…」発話連鎖には、相手の攻撃に対して始めは攻撃の意見を強く言わず、相手の反応によって態度が防御から攻撃に変化するという特徴が見られた。

#### 5.4.1.3 話者同士の相互の不同意表明による「議論」話段の構成

以上で述べた否定側の否定行動と、それに対する反応に関する連鎖を総合的に見ると、「議論」話段の構成には以下のパターンが明らかになった。「……」記号は発話①と②以外の発話のことである。

日本語：「①→……→②→①→……→②→①→②→……」

中国語：「①→②②②→①→②→①/②→……」

まず、図 5-5 から日本語母語話者は、全体的には意見の対立を持続的に発展しないように話者双方とも努めていることが分かった。話者一方が意見の対立を発展し続ける場合、もう一方は不同意表明をやめ、受け入れる態度や回避態度に変え、意見の対立を中断する。

具体的には以下のように行動している。

- A 「①→②」ペアを 2~3 回に繰り返すのは 1 割程度に過ぎない。
- B 否定行動の遅延「①→……→②」は、遅延しない「①→②」と半々に行われている。
- C 意見の対立を回避する行動「②→……」は、意見の対立を直面する「②→①/②」とそれぞれ 65%程度と 35%程度に表明されている。
- D 話者双方とも意見の対立を持続し続けないような行動「②→①→……→……」は、話者一方による意見の対立を続ける行動「②→①→②/①→……」と半々行われている。

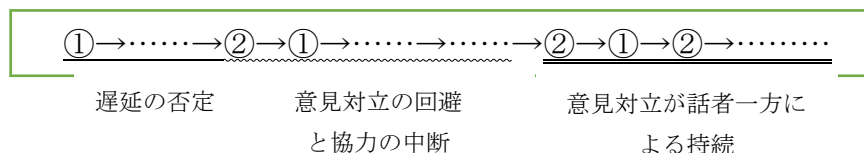
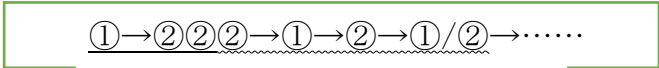


図 5-5 日本語の「議論」話段の構成特徴

それに対し、中国語母語話者の話者双方とも、全体的には意見の対立を持続的に発展する傾向が見られた(図 5-6)。具体的には以下のように行動している。

- A 日本語に比べ、「①→②」ペアを 2~3 回に繰り返すケースは 3 割以上回っている。
- B 遅延の否定行動「①→……→②」は 1 割弱しか見られないが、9 割以上の否定は提案の直後にすぐ行う(「①→②」)。
- C 意見の対立を回避する行動「②→……」は、意見の対立を直面する「②→①/②」とそれぞれ 25%程度と 75%程度に表明されている。
- D 話者双方ともに意見の対立を持続し続ける行動「②→①→②→①/②」は、話者一方による意見の対立を続ける行動「②→①→②/①→……」とそれぞれ 70%程度と 30%程度行われている。
- E 日本語母語話者には観察されない、1 つターンの中での集中的な否定行動「①→②②②」。



集中の否定 意見対立の直面と展開

図 5-6 中国語の「議論」話段の構成特徴

5.4.2 「回避」話段の不同意表明

5.4.2.1 「回避」話段と意見対立

以上で述べた「議論」話段は、不同意を明示し合う発話連鎖、つまり、発話①と②に関する連鎖がメインの構成となっている。しかし、上記の 2 つのパターンの「……」記号のところにおける発話は持続的に回避や共感を示す場合、メインの発話構成<sup>53</sup>が変わる。例えば、「①→……→②→①→……→②→①→②→……」パターン最初の「……」記号に、会話例 5-7 のような意見の回避を示す発話連鎖である場合、このパターンは全体的に 1 つの「議論」話段として取り扱われない。「①→……(会話例 5-7 の発話全体)」の部分において<困惑表明>機能の発話がメインの発話構成になるため、この部分を全体的な「議論」話段から分離し、「回避」話段として取り扱う。その続きの「②→①→……→②→①→②→……」部分はメインの発話構成が変わらない場合、また「議論」話段と見なす。

この場合の「回避」話段の発話が不同意表明として扱われる理由としては、話者同士が根本的に相手のそもそも持っていた異なる提案に対して、不同意を表明しているためである。そのため、会話例 5-7 の<困惑表明>機能の発話は、実際には相手の提案を認めていないことを示している。話者双方ともこのような行為を行うことによって、討論された 2 つの提案のいずれも合意案に向けて前進せず、意見対立の状態が維持されている。

会話例 5-7：(話者 A の提案：飲み物； 話者 B の提案：布団)

発話番号・話者・発話	発話機能
68 JF01A どの、状況ね(うんうん)、どうしようか	困惑表明
69 JF01B どっちだろう	困惑表明
70 <5 秒>	困惑表明 (沈黙)
71 JF01A 分からない(hhhhh)わからんな<hhhh>	困惑表明
72 JF01B どっちもどっちな気がするな	困惑表明
73 JF01A うん、どうしようか[v]	困惑表明
74 JF01B 子供っていうの<考えた時に> {<}	情報提供

5.4.2.2 「回避」話段の構成

このように、「回避」話段とは「不同意の意図を潜在させる発話(発話⑥と⑦)がメインの発話構成としてなされている」ということが分かった。この定義には、以下の 2 つのことが隠れている。1) 不同意の意図を潜在させる発話が話者双方交替に発される。2) 暫く持続する。この 2 つの条件を同時に満たす場合、「回避」話段として認められる。会話例 5-8 のように、意見保留と困惑表明(発話⑥と⑦)は話者一方だけに発される場合、このやりとりはこの話者の意見調整の過程だと見なし、意見対立の状態を維持する「回避」話

<sup>53</sup> 「メインの発話構成」というのは、その話段を構成する発話の半分以上が「説得型」、「共感型」あるいは「説得型」の中での同じ種類の発話のことを指す。

段として認めない。一方、会話例 5-9 では意見保留や困惑表明発話(ターン 32 と 33)が話者双方に交替に発されているが、この話段のメインの発話にならないため、「回避」話段として認めない。

会話例 5-8 :

発話番号・話者・発話	発話機能
47 JM01A え、でも、食べ物はいる...、<かな>{<}	主張
→48 JM01B <まあ>{>}、食べ物、そうやな、食べ物か	意見保留
49 JM01A 食べ物はいると思う	主張
→50 <2 秒>	困惑表明 (沈黙)
51 JM01B そうやな、時期、時期がわからんな、直後なんなかなこれ、(1 秒)直後だったら食べ物かな	肯定

会話例 5-9 :

発話番号・話者・発話	発話機能
31 JM05A 俺葉いらんと思うんだよな	否定
→32 JM05B なんで:	意見保留
→33 JM05A なんで、なんでだろうね (h h h) h h それを h h、なんだろう	意見保留/困惑表明
34 JM05B 消毒液とかもあるのに、写真だけど	主張・反論
35 JM05A やー、僕はいらんあ<と思うんだよね>{<}	否定
36 JM05B <絆創膏とか>{>}、菌はいつちゃう、菌	主張・反論

そのため、「回避」話段の構成は「⑥/⑦→⑥/⑦→⑥/⑦→-----」である。「-----」記号は発話①と②のことである。

上記の会話例 5-7 は、やりとりが滞っている際に話者同士がお互いに発された困惑表明発話(⑦)によって構成された「回避」話段である。そのほか、<意見保留(話題転換)>機能の意見保留発話⑥によって構成された「回避」話段が見られた(会話例 5-10)。このような話段は意見が滞っているときに話が今討論している話題と関連する話題に転換され、それについて暫く情報を共有するやりとりのことである。会話例 5-10 では「服」に対する討論の結果、提案側 A は相手の否定の意見を受け入れないので、ターン 35 で「なんか###」を発した。この発話のはっきり聞き取れないが、相手の沈黙の反応に対して発された<同意要求>機能がある「な」(ターン 37)から、それは「服」を主張する話であると判断できる。それに対する話者 B の連続の沈黙によって、「服」に対する討論は停滞していることになる。その際、話題がどちらの提案ではない「おもちゃ」への転換によって、「服」に関する意見の対立が話者双方に暫く放置されている(ターン 39-42)。しかし、「服」に対する意見の対立は解消しない。

こういう討論の話題から想起されたことに話題転換し、それについての情報交換のやりとりは、御園生他(2009)では「脱線」として規定されている。また、「脱線」は協調的な雰囲気を保つ働きがあると指摘している。表 5-14 が示したように、「脱線」は日中両言語のいずれにおいても、20 組のデータの中で 11 件が観察された。つまり、「脱線」による



協調的な雰囲気維持は、日中両言語のどちらでも同様の頻度が観察された。この結果は、中国語と比べ、日本語の会話では「脱線」による割り込み現象が多いと指摘した御園生他(2009)の結果と一致していない。

一方、意見を明確に出さない発話⑦の連続(「⑦→⑦→…」)による意見の対立は日本語では観察されたが、中国語では1件でも観察されていない。この種の意見の対立は、明確な不同意を示し合うことを避けたとしても、意見対立の状態が変わらないのが特徴である。

会話例 5-10 :

(話者 A の提案「服」に対するやりとり)

発話番号・話者・発話	発話機能	話段
32 JM09B 衣服なんか、最悪無くてもいいわ	否定	「議論」話段
33 JM09A うん、まあね h h h	意見保留	
34 JM09B 最悪裸でもいい (h h h)、最低限の生活だから <>	否定	
35 JM09A 1) <それ> <> それも思った。ん、そうやと思う 2) なんか ##### (んん)。	意見保留	
36 <1 秒>	主張	
37 JM09A な	困惑表明 (沈黙)	
38 <3 秒>	同意要求	
38 <3 秒>	困惑表明 (沈黙)	
39 JM09A おもちゃ...、おもちゃとか持ってってもな	話題転換	「回避」話段
40 JM09B おもちゃとか本とか鉛筆とかってこれ、なんか、子供が (そうそうそう)、なんか、楽しめるようなやつやから	情報提供	
41 JM09A そう、気持ちを紛らわせる (うん)、 <暮らしは##> <>	情報提供	
42 JM09B <それも大事> <> やけど、その前にまず...	談話進行	

表 5-14 「回避」話段の構成(単位: 件)

	発話⑦による「回避」話段	発話⑥による「回避」話段
JM	5	8
JF	8	3
CM	0	8
CF	0	3

#### 5.4.3 「共感」話段の不同意表明

日本語では、話者同士のお互いの「共感」による意見の対立も観察された。「共感」による意見の対立は、一般的に話者双方の1つずつの提案がペアの形で討論されることを条件としている。それらに対する討論がなかなか勝負につかないとき、一方の話者は唐突に相手の提案に対して否定や回避の態度をやめ、共感を示す。その次に、相手の話者も共感で返す。この場合の共感はその前の討論と全く関係なく、またそれを支持する理由等も提供されないため、話者同士に共感ではなく、むしろ不同意として認められている。そのため、その次に話者同士のお互いの明示的な不同意発話、あるいは不同意の意図を潜在させ

る発話が続く。この特徴から、「共感」話段は「議論」話段と「回避」話段の中に包摂されていることが分かる。

会話例 5-11 は、会話例 5-10 の続きである。総合的に見ると、ターン 51 まで話者 A の提案「服」と話者 B の提案「食べ物」のどちらも相手に認められず、意見の対立が持続している。この場合、話者 A は先に「食べ物」を肯定した（ターン 52）。それに対する反応としては、話者 B も相手に対して肯定を示した（ターン 54）。その次、話者 B は「まあ、冬やったら、衣服かもしれない」という肯定の理由を提供したが、「まあ」、「かもしれない」の使用によって納得していない気持ちが見られる。お互いの不本意の気持ちを感じた後、話者双方は協力的に会話を「共感」話段の前の「回避」話段に戻り、意見の対立を続けていく。このような話段は日本語の男女のデータのいずれにも 4 件見られた。

会話例 5-11:

(話者双方の提案「服」と「食べ物」がペアとして討論されるやりとり)

発話番号・話者・発話	発話機能	話段	
32-42 会話例 5-10 のやりとり			
43 JM09A うん、その前にやろ、最低限の生活ってやつやろ(うん)、##やなー	談話進行	「回避」話段	
44 <3 秒>	困惑表明(沈黙)		
45 JM09B うーん	困惑表明		
46 <1 秒>	困惑表明(沈黙)		
47 JM09A えー:、衣服、か、食べ物か。食べ物は、どうだろうか。	困惑表明		
48 <2 秒>	困惑表明(沈黙)		
49 JM09A ちょ、難民のさ(うん)、その状況のイメージがさ(うん)、思ったより沸いてないからね	情報提供		
50 JM09B で、難民…	意見保留		
51 <3 秒>	困惑表明(沈黙)		「共感」話段
52 JM09A やっぱ食べ物か?	肯定		
53 <4 秒>	困惑表明(沈黙)		
54 JM09B 衣服か?	肯定		
55 JM09A 衣服か、食べ物かって感じやろ	困惑表明		
56 JM09B まあ、冬やったら、衣服かもしれない(うん) 寒いしな	肯定		
57 <3 秒>	困惑表明(沈黙)		
58 JM09A うーん	困惑表明		
59 JM09B 布団は違うん?	話題転換	「回避」話段	
60 JM09A 布団ね、ふとん:、ふとんでもいいんじゃない? h h h h h (h h h h h) 俺の選んだ基準が(うん)、ここで選んだ基準消えるか消えないかだから(うんうん)、そ、ふとんでもいいんだよね、うん。	情報提供		

#### 5.4.4 意見対立のシークエンスの構造

以上で述べたように、意見対立シーケンスの構成は不同意を明示し合う「議論」話段と、協調的な雰囲気を保つ「回避」話段と「共感」話段があるということが分かった。中国語では、発話⑦の連続（「⑦→⑦→…」）による「回避」話段と、「共感」話段が観察されないため、日本語と異なる構造が形成されている。日中両言語の意見対立シーケンスの構造の違いを、それぞれ図 5-7 と図 5-8 に示した。

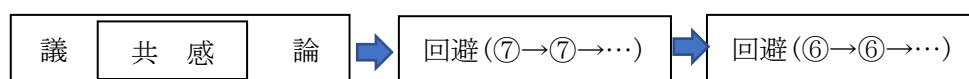


図 5-7 日本語の意見対立シーケンスの構造<sup>54</sup>



図 5-8 中国語の意見対立シーケンスの構造

## 5.5 本章のまとめと考察

### 5.5.1 意見対立をさせる行動に関する日中両言語の比較

本章では、意見対立のシーケンスを構成する「議論」話段、「回避」話段と「共感」話段の発話構成について分析を行い、日中両言語ではそれぞれどのような対立の局面が形成されるかを明らかにした。その結果、上記の図 5-7 と図 5-8 のようなパターンが確認された。

この構造には、日中両母語話者の異なる対人関係の意識が反映されている。対人関係を維持する面において、日本語母語話者は、1) 協調的な雰囲気を保つ「脱線」（発話⑥の連鎖）、2) 不同意を明示しあう「議論」の連鎖、あるいは不同意を回避しあうことによる意見対立の連鎖（「回避」の連鎖、）の中で、お互いに表明された共感、3) 意見の対立を連続させないような明示的な不同意表明（①→……→②→……）、といった多種の方法を使い、異なる意見の提出による緊張した雰囲気や人間関係の破壊を意識的に緩和することに重視する。それに対し、中国語母語話者は、相手と協調的な雰囲気の中で討論を進むこともあるが、日本語母語話者のように多種の方法に工夫するまでには至らない。日本語母語話者が使った方法の中では協調的な雰囲気を保つ「脱線」のみ使っている。一方、議論を展開する面において、中国語母語話者は明示的な不同意を連続的に表明しあうことによって、意見の対立を持続的に発展させ、対決や衝突に直面する。日本語母語話者は明示的な不同意を連続的に表明しないように工夫するが、共感や回避を示す発話の連鎖によって意見の対立を持続させる。

この結果から、まず中国語母語話者の対決や衝突に対する直面の特徴と、日本語母語話者の回避の特徴は、意見交換に注目した従来の日中対照研究（久米他，2000；陳，2014 等）の結果と一致している。以上の結果にはもう 1 点重要なことがある。日本語母語話者の対決や衝突を回避する行動は相手に妥協する行動ではなく、逆に自己主張の堅持という話者

<sup>54</sup> 会話例 5-11 のように、「共感」話段は「回避」話段に包摂される場合もある。

自身の目的を達成するためのやり方である。つまり、意見交換の方法や不同意の出し方には異なる特徴が見られたが、異なる行動による話者自身の目的の達成ということでは一致している。したがって、従来の研究(久米他, 2000; 陳, 2014; 郭, 2006; 李・松崎, 2009)に指摘された中国語母語話者は自己を中心にしたり自己を重視して討論を行い、日本語母語話者は他者を中心にしたり対人関係を重視して討論を行う特徴は、ここでも見られた。しかし、討論を通して実現しようとする目的には、日本語母語話者も「自己重視」をするために行動していると考えられる。そのため、日本語母語話者は「対人関係を維持しながらの自己重視」、中国語母語話者は「自己呈示の自己重視」の姿勢で討論に参加しているのだと言えるだろう。

日中母語話者の異なる意見表明行動は、社会的承認欲求(藤本, 2008; 小島, 2013 等)と一定の関係性があると考えられる。小島(2013)によると、個人が持つ社会的承認欲求には、「賞賛獲得欲求」と「拒否回避欲求」がある。「賞賛獲得欲求」の強さが肯定的な評価を得たことに対する満足感と関連するという。そのため、肯定的な評価を得るために、積極的に発言を行う自己呈示の傾向が生ずる。このような傾向にある会話者は、ほかのメンバーの目をあまり気にすることなく、自らの意見をはっきりと伝え、他者の発言を躊躇なく指摘する行動をとる(藤本, 2012)。中国語母語話者は意見対立のシークエンスにこのような傾向が見られた。他方、「拒否回避欲求」は、小島(2003)によると、他者からの否定的な評価を避けたいという欲求である。「拒否回避欲求」を持っている会話者は、自分に対する他者からの評価が一定水準を下回らないことを対人行動上の目標とする(小島, 2013: 84)。そのため、自分が提出した意見は相手を受け入れるかどうか気がなる。相手に拒否されるリスクを減少させるために、相手の行動を観察しながら意見を出したり、本気の意見を出さず、相手に察してもらおうとする。そう考えると、日本語母語話者の不同意表明は「拒否回避欲求」をもとにしたものであるということが出来る。また、小島(2013: 84)によると、「拒否回避欲求」をもとにした会話者は、他者からの高い評価が次の自分の行動を他者が評価する基準となって期待されることを予想し、期待外れの自分を予想してしまうことから羞恥の感情(特にテレ)を覚えるという。そのため、日本語母語話者は相手からの共感や肯定の意見に対し、受け入れるのではなく、共感で返すか、回避の意見で逃げるかといった行動をとっていると解釈される。

### 5.5.2 「議論」話段の不同意表明に関する話者間の比較

5.4.1 節で述べた明示的な不同意表明に関する話者間の相互行為から、日本語には「配慮的」・「間接的」、中国語には「競合的」・「攻撃的」・「直接的」な行動様式が観察できる。そして、これらの不同意表明に関する話者間の相互行為に男女差がある行動が確認された(表 5-15)。

表 5-15 が示した男女差がある話者間の相互行為を、図 5-1～図 5-4 を参考にし、順序付けることができた(図 5-9)。男女とも日本語母語話者は「配慮的」・「間接的」な行動様式、中国語母語話者は「競合的」・「攻撃的」な行動様式をとる状況で、中国人女性は男性に比べ、対決や衝突を直面する行動を有意に多く、中国人男性は女性に比べ、それを避ける行動を有意に多く行うため、CF は「競合的・攻撃的」行動様式を取る頻度が高いことを示している。一方、日本人男性は女性に比べ、相手の提案を隣接ペアで直ちに否定する行動が有意に多く、日本人女性は男性に比べ、否定行動を遅延する行動が有意に多く行うため、

JFは「配慮的・間接的」行動様式の使用頻度が高いことを示している。

表 5-15 不同意表明に関する話者同士の相互行為

不同意表明に関する 話者間の相互行為と行動様式		男女差		異言語間の同性同士 間の有意差	
		日本語	中国語	男性同士	女性同士
1. 集中的な否定	①→②②… (攻撃的)	△	○	○	○
2. 「①→②」の連続	①→②→①→② (競合的)	×	×	○	○
	①→② (直接的)	○	×	○	○
	①→…→② (間接的・配慮的)	○	×	○	○
3. 否定に対する反応	②→①/② (衝突直面的・競合的)	×	○	○	○
	②→共感・回避 (衝突回避的・配慮的)	×	○	○	○
	②→①→②→② (攻撃的)	△	×	△	×

注：「○」は有意差があること、「×」は有意差がないこと、「△」は有意差が検証できないことを指す。

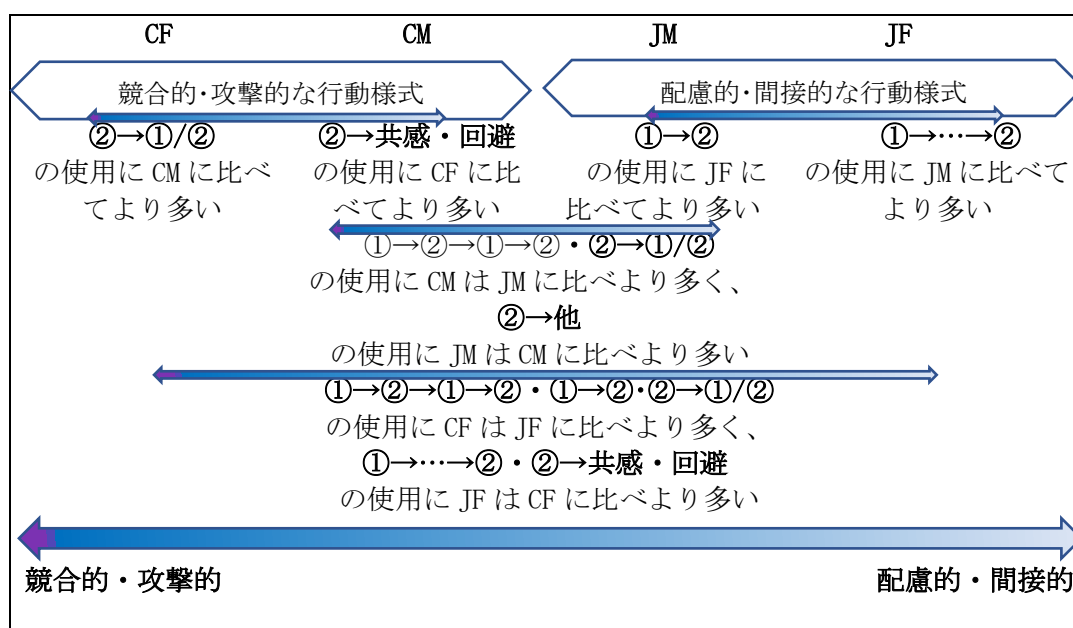


図 5-9 不同意表明の相互行為に見られた男女行動様式の差異

ジェンダーと言語使用に関する多くの先行研究を取り上げ、それらの研究に見られる類似点をまとめた宇佐美(2006)は、言語や文化が異なっても、男性に比べ、女性は「丁寧に、柔らかく、ポライトネス」のジェンダー・ステレオタイプであると指摘している。以上の分析より、不同意表明に関して、このような女性のジェンダー・ステレオタイプは日本人女性の行動に見られたが、中国人女性の行動には確認できなかった。それどころか、中国

---

人女性は競争意識が中国人男性よりさらに強いということが明らかになった。この結果は、中国の男性の会話スタイルは競争的であるが、女性の会話スタイルは協調的であると報告した馬(2012)と異なる。馬(2012)に指摘されたより協調的であるとされる中国人女性は30代・50代に集中している。本研究の調査対象は20代前半の大学生である。調査対象の年齢層は分析の結果に影響があるのかについて、年齢層を拡大した調査が必要となる。これを今後の課題として残す。

---

## 第6章 不同意表明と言語ストラテジー

### 6.1 はじめに

前章では、不同意表明に関する話者同士の相互行為が分かった。日本語では、明示的な不同意を連続的に出せずに、お互いに実施された回避や共感の態度で意見の対立を持続させる傾向が見られた。この意見の対立を持続させる回避や共感は、不同意の意図を非明示的に伝えるものとして話者同士に認識されている。中国語では明示的な不同意の交換による意見の対立が主な流れであるが、不同意の意図を非明示的に伝えるものもある。非明示的な不同意表明は、対人関係の考慮のためであると従来の先行研究で報告されている(関崎, 2010; 王, 2013; 趙 2018a 等)。それ以外は、前章で指摘した社会的承認欲求と関わる。本章では、1 人の話者の不同意表明発話の言語表現と発話連鎖における、対人関係の配慮と社会的承認欲求の具体像を明らかにする。

### 6.2 研究課題

#### 6.2.1 先行研究との関連

不同意表明に関する 1 人の話者の談話構成に対する分析はあまり多くないが、日韓対照研究の李(2001)、趙(2018a)が挙げられる。李(2001)では反対意見の提出に、日本語では「談話支持ストラテジー表現→理由節→提案節」の談話構成が観察された。この談話構成の中で、「見せかけの賛成」や「へりくだり表現」のような「談話支持ストラテジー表現」は良い対人関係を維持するための方略として、後続する発話は反対意見であるということを示す機能を持っている。つまり、反対意見の意図を潜在する非明示的な意見表明のものと見なすことができる。このように、日本語の会話では、非明示的な意見表明は明示的な意見の前に出されるという談話構造が見られた。李(2001)の結果と異なり、趙(2018a)によると、非明示的な不同意表明は常に明示的な不同意の意見の前に出るものだけでなく、その後ろに出るパターンもあるという。

また、談話構造ではなく、単に不同意表明の言語表現(表現形式と使用頻度)に注目した研究がある。関崎(2010)、王(2013)、趙(2018a)が挙げられる。その中で、王(2013)では不同意表明を「否定型」・「指摘型」・「発言要求型」・「共感期待型」・「回避型」の5つの方略の型に分類し、さらに「否定型」と「指摘型」を「明示的な方略」に、「発言要求型」、「共感期待型」と「回避型」を「暗示的な方略」に分類している。

#### 6.2.2 研究目的と課題

以上の先行研究の結果を踏まえ、本章は、明示的な不同意の前後に表明される非明示的な不同意にはどのような対人関係配慮が見られるのかということに関して、日中両言語間及びジェンダーにどのような異同点が存在するかを探ることを目的とし、以下の課題を設ける。

課題: 不同意表明はどのように表明されるのか。またその際、対人関係がどのように

構築、あるいは維持されるのか。その点において、言語ごとに、また言語横断的ごとに異同が存在するのか。

具体的には次の4つの作業課題からなる：

作業課題 1：不同意が明示、非明示的に表明される場合、どのような言語手段で表明されるのか。その際、対人関係がどのように構築と維持されるのか。

作業課題 2：非明示的な不同意は、明示的に表明される発話の前後において会話はどのように展開され、その際対人関係がどのように構築と維持されるのか。

作業課題 3：以上の2つの作業課題において、言語ごとに、またジェンダーに差異が存在するのか。

### 6.3 研究方法

#### 6.3.1 対人関係構築に関する理論的な枠組み

B&L(1987)のポライトネス理論によれば、人間には、他人に正しく評価されたい、認められたいという欲求である「ポジティブ・フェイス(positive face)」と、自分の行動や領域を侵害されたくないという欲求である「ネガティブ・フェイス(negative face)」という2種類のフェイスがある。そして、フェイスをなるべく脅かさないように配慮した言語行動を「ポライトネス」<sup>55</sup>と呼んでいる。しかしながら、実際のところ、人は人間関係維持以外のいろいろな目的を持って生きており、それらの目的のための言語行動を行いながら、同時に人間関係を維持すべくバランスを図ろうとする(山岡他、2010：76)。そのため、どうしてもフェイスを脅かす行為(FTA(face threatening act))となる場合、適切な「ポライトネス・ストラテジー」を選ぶことにより、円滑なコミュニケーションやよい人間関係を維持することを図る。ここでいう適切な「ポライトネス・ストラテジー」の選択には、図6-1のようなものがある。

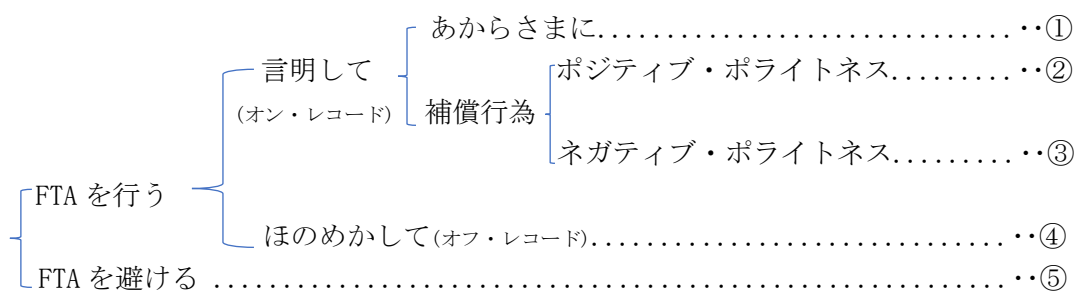


図 6-1 FTAに関する可能なポライトネス・ストラテジー

(ブラウン・レビンソン, 2011 : 89)に基づく)

まず、FTAを行わないか(⑤)、行うか(①/②/③/④)、FTAを行うとすれば、ほのめかしに行うか(④)、言明して行うか(①/②/③)、言明して行うとすれば、補償行為を伴いつつ行うか(②/③)、あからさまに行うか(①)、というものである。このように、FTAに関する言語行動として、⑤と①は両極端に位置し、その中間に FTA の度合いを軽減する④、

<sup>55</sup> 本研究ではそれを「対人配慮」の用語に換える。



③、②がある。②と③はそれぞれ、「ポジティブ・フェイス(positive face)」と「ネガティブ・フェイス(negative face)」を満たすストラテジーである。B&L(1987)ではそれぞれ15種類と10種類のストラテジーを挙げている。

### 6.3.2 分析の手順と方法

まず、不同意表明発話を抽出する。これは3.3節に述べた不同意表明の定義と範囲を根拠として作業する。そして、B&L(1987)の「ポライトネス・ストラテジー」の枠(図6-1)を参考にして、抽出された不同意表明発話を表現方法から分類する(図6-2)。B&L(1987)によると、「不同意」は、相手のポジティブ・フェイスを脅かす行為であるという。つまり、不同意は明示的に、あるいは非明示的に表明されたとしても、「FTAを行う」行動である。そのため、本研究では図6-1にある「FTAを避ける」ストラテジーとして使われる場合はないと捉える。

不同意表明発話の表現方法については3.3節に述べたように、「明示的表明」の表現方法には「直接の明示的表明」と「間接の明示的表明」がある。「直接の明示的表明」は不同意表明の意見と理由を出す際に言葉的に人間関係の維持を考えず、何の緩和策も伴わない「否定と否定応答」・「理由の断言的提示」のことを指す。「間接の明示的表明」は補償行為を伴いながら不同意を明示的に出すものである。ここでいう補償行為はB&L(1987)の「ポジティブ・ポライトネス」と「ネガティブ・ポライトネス」のストラテジーのことである。それに基づき、本研究ではさらに各3つの下位ストラテジーを分けられる。

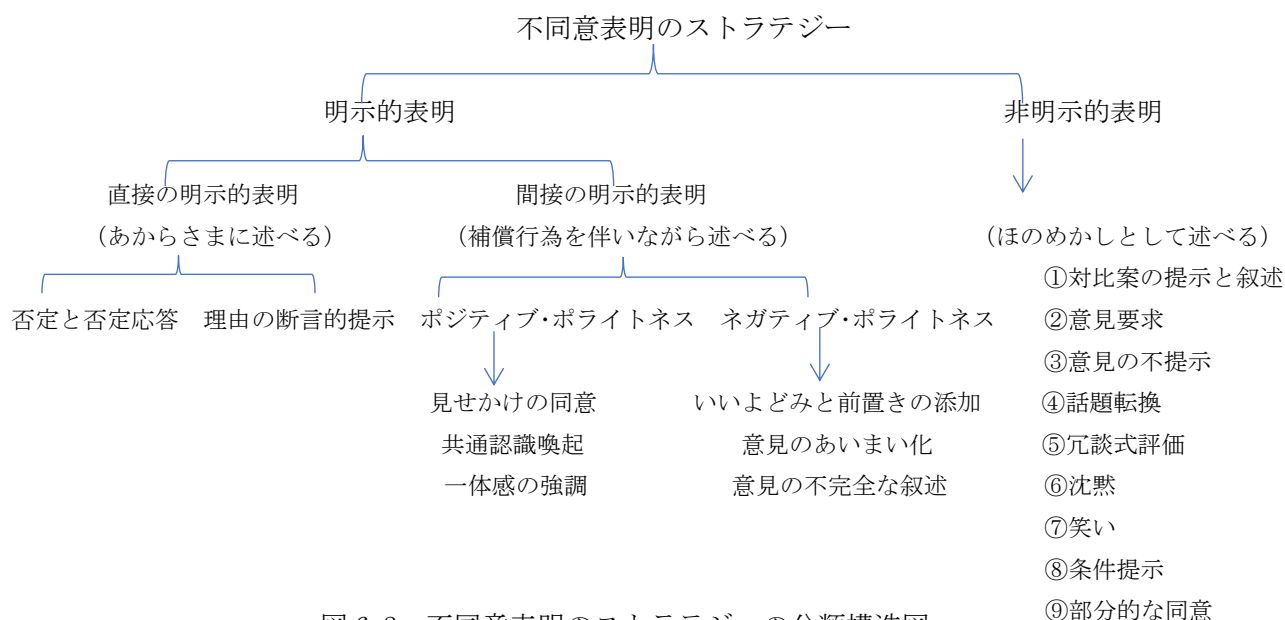


図6-2 不同意表明のストラテジーの分類構造図

図6-2に挙げた不同意表明のストラテジーはどのようなことであるか、どのような表現で表れるのかについて、表6-1にまとめて説明する。その上に例文を追加し、理解を深める(表6-2)。ただし、「非明示的表明」に分類したストラテジーはすでに3.3節で例を挙げて説明したため、それらに対する例の説明を略する。

表 6-1 不同意表明のストラテジー

ストラテジー		説明	ポライトネス理論との対応
明示的表明	直接の明示的表明 (あからさまに述べる)	否定と否定応答 何の緩和策もないマイナス評価や、「違う(那不对啊)」・「そうではない(不是/不应该是)」・「要らない(不需要/没必要)」、及び先行発話に使われた動詞の否定形、詰問のような疑問形などの言い方で、相手の先行発話の内容を否定・反対していることを明示的に表すことである。	あからさまに
	理由の断言的提示	相手の意見及び発話内容に対する異議がある場合、必要な情報や説明を提示したりすることによって根拠を提示する。ただし、この根拠を提示する発話はモダリティ表現(楊, 2015)から見ると断定的な語尾で不同意を表明している <sup>56</sup> 。	
明示的表明	間接の明示的表明 (補償行為を伴いながら述べる)	見せかけの同意 <sup>57</sup>	(共感・理解・協力)相手に贈与する／形だけの同意
		共通認識喚起	共通基盤を仮定する・喚起する・主張する
		一体感の強調	自分と相手の両者を行動に取り込む
		前置きといいよどみの添加	負荷を最小化する／慣用的な間接性に訴える

<sup>56</sup> 「じゃないか」/「(難道)不…?」のような否定疑問文も入っている。加藤(2009:200-201)によると、特に事実などに対する指摘の際に「じゃないか」が使われると、相手はそれに対する否定するには、否定するための材料や覚悟がないとおいそれと否定できなく、伴う負担や手間が大きいと、気配りや配慮を欠けているという。また、「～じゃん/やん」の文末について、早野(1996:91)に、～ジャンは上昇イントネーションを伴う場合、基本的には聞き手に念を押す表現であり、聞き手に確認をする表現であり、下降イントネーションを伴う場合は、相手に自分の意見を強要する意味か、強い確認の意味になると述べており、それを基準に、下降イントネーションを伴う「～じゃん/やん」をこの枠に分類した。

<sup>57</sup> 「見せかけの同意」の用語は、張(2019)を参考にしている。

<sup>58</sup> 蓮沼(1995)では「じゃないか」の確認的に用いられる3つの用法の中で「共通認識の喚起」が挙げられる。その概念を参考したうえで規定しているのである。

<sup>59</sup> 加藤(2009:213-214)によれば、「ていうか」・「なんか」・「まあ」のような目印を先に出すことは、断言を避けて配慮した言い方であるという。

		意見のあいまい化	「～と思う」「～気がする <sup>60</sup> 」・「～かな」・「～からね」・「たぶん」・「～みたい」・「～らしい」／「(我)感覚～」・「(我)觉得～」・「～吧」・「好像」などの確信のない言い方で、断言を回避する。	質問、あいまい化する
		意見の不完全叙述	「～が」「～けど」のような「言いさし」で断言を避け、不同意の意図を最後まで言い切れない。	言いさしでやめる、省略する <sup>61</sup>
非明示的表明	ほのめかしとして述べる	対比案の提示と叙述	相手の提案とそれに関する意見に対し、話者は自分の提案を出して相手の提案と併存させたり、対比させたりしながら相手の提案や意見を暗示的に反対する。また、対比案を提示する際に、対比案を選ぶ経緯や理由などを説明し、相手の理解や共感を誘おうとする。	(動機や条件を) 暗示する
		意見要求	相手の意見や相手の提案に関する未知の情報を求める発話である。イントネーションや発話の構成に一般的な疑問文と比べて見ると変化が見られる。そして、該話者の後続する発話で、相手が提供した情報のうえで、不同意の態度を伝える。	— <sup>62</sup>
		意見の不提示	相手が出された提案や意見を繰り返したり、あるいは「どうだろう」・「うーん」のように、言葉で自分の意見を明確に出さなかったりする発話のことである。	同語反復を用いる/あいまいに言う
		話題転換	先行発話の相手の提案や意見に対する応答として、話題を転換することである。また、相手の提案に対する討論が停滞になる場合、話題を転換することである。	—
		冗談式評価	相手の提案や意見に対する異議がある場合、その提案や意見ではなく、相手を対象にしてマイナス評価をする。	皮肉を言う
		沈黙	①不同意を出す直前の、不同意の意図を遅延するための「沈黙」、②言葉で明確な意見を出さない発話群の中での「沈黙」、③前後の発話ともに相手によって発された「説得型」発話であり、その間に挟まれた話者の「沈黙」のことを指す。	—
		笑い	①言いさし発話の後ろについてくる「笑い」と、②前後の発話ともに相手によって発され	—

<sup>60</sup> 加藤 (2009 : 199-200) によれば、「気がする」などは、断言しておらず、確証のない言い方として、相手の自由度を確保することができる。

<sup>61</sup> B&L (1987) において、「言いさしでやめる、省略する」というストラテジーは「ほのめかし」に分類しておいたが、ここでの言いさしは「～が」「～けど」のような言い方のことを指す。こういった言いさしで不同意の意図が確実に伝わったことが聞き手の反応から分かる。しかし、「これ(相手の提案)……」のような言いさしで、同意か不同意かといった態度の表明があいまいにする場合、「ほのめかし」の「意見の不提示」に分類している。

<sup>62</sup> 「—」の符号は、B&L (1987) の「ポライトネス・ストラテジー」に対応できなく、筆者がデータに合わせて追加したストラテジーである。

			た「説得型」発話であり、その間に挟まれた話者の「笑い」のことを指す。	
		条件提示	会話が停滞する時に出された、自分の提案が相手の提案より合意案としてふさわしい情報のことである。	話の水を向ける
		部分的な同意	相手の提案及びそれに関する意見を全体的に受け入れるのではなく、一部分の内容を受け入れることによって、同意の印象を薄める。	—

表 6-2 「明示的表明」のストラテジーの説明例<sup>63</sup>

ストラテジー		会話例				説明
		会話	発話 番号	話者	発話	
あから さまに 述べる	否定と否定応答	CM01	40  41	CM01B  CM01A	包括, 这个, 我感觉, 不应该让他们φ再去 h, 呃, 去, 学习这些。(これも含めて、これ、僕は彼らに これらを使っ勉強させるのは、しないほうがいいと 思う。) <u>这个不一定要学习啊, 拿铅笔。(これは勉強だけに 使うものじゃない。鉛筆で。)</u>	先行発話の相手からの否定に対し、 「必ずしも+先行発話に使われた動詞 +とは限らない」の形で、不同意を表明した。言語の使用に相手との対人関係の維持を考えていない。
	理由の断言的提示	JM01	30  31 32-1  33 32-2	JM01A  JM01B JM01A  JM01B JM01A	< h h h h h h h h h h > {>} h h えっ、だって夏 やったらさ h h h h h 何? h h 1) h 別に h h、 <u>2) 半袖半ズボンで</u> あれやん <u>着&lt;てる&gt;{&lt;</u>	発話 32 で、相手の要求に応じて、不同意の理由を述べた。これによりほのめかしにした発話 30 の不同意の態度を明確に伝えた。
ポジテ ィブ・ポ ライト ネスで 補償し ながら 述べる	見せかけの同意	CM01	4-2	CM01B	<u>这个被子, 我也想过, 想要送这个, 被褥什么的,</u> <u>但是</u> 灾区第一时间派过去的, 就应该是食物, 帐篷, 睡的东西。 <u>(この布団、僕も考えたことがある、これを寄付す ること、布団なんか、でも、災害があった直後に寄 付するのは、食べ物、テントそして寝具べきだ。)</u>	相手の提案である「布団」に対し、 「私も考えたが、でも…(布団に対する指摘)」の言い方で不同意を表明している。
	共通認識喚起	JM01	117	JM01B	えっ、テントいる？	相手に否定された提案「テント」を擁護する際に「ね」を使い、難民の国に体育館が避難場所として使わないということを喚起することにより、不同意を表明している。
			118 119	JM01A	<2秒> てか、 <u>難民って体育館で寝んのじゃね</u> (h h h) h h h	
120	JM01B	マジ？				

<sup>63</sup> 太字と下線で示した発話は、説明の対象である。

			121	JM01A	え、だって、なくね？	
	一体感の強調	CF04	13	CF04A	<p>嗯，我主要觉得这个还是因为...<u>我们</u>没有那么多资金来买那么多药品  (うん、主な原因は…、<u>我々</u>にはそんなにたくさんの薬を買うお金がないと私は思う。)</p>	「我々」を使い共通の立場を強調しながら不同意を表明している。
ネガティブ・ポライトネスで補償しながら述べる	前置きといいよどみの添加	JF05	64 65	JF05A JF05B	<p>服はね、大事よ。寒さしのげるし  そうね、それは大事よ。でも<u>なんか</u>さ、よくさ(うん)、その災害とか遭って(うんうんうん)、<u>なんか</u>、毛布ばかり送られてきてほんとうに要らんみたいな話あって(確かに)、だから、<u>まあ</u>、服の代わりってかさ、かければいいやん。</p>	「なんか」・「みたい」・「まあ」のような言い淀みは、異なる意見がこれから出すという合図として使われ、断言を避ける。
	意見のあいまい化	CF04	13	CF04A	<p>嗯，我主要觉得这个还是因为...我们没有那么多资金来买那么多药品。  (うん、主な原因は…、我々にはそんなにたくさんの薬を買うお金がないと<u>私は思う</u>。)<sup>64</sup></p>	「～かな」/「～と思う」のような確証のない言い方で断言を避け、相手のそれに対する応答の自由度を確保できる。
	意見の不完全叙述	CM01	10	CM01A	<p>还是玩具比较好一点。<u>书这种东西，&lt;@&gt;，短时间内、我只能说这个…</u>  (おもちゃのほうがいい。<u>本というものは、&lt;@&gt;短い時間で、私言えるのはこれ…</u></p>	相手の提案「本」を話者自分自身の提案である「おもちゃ」に対比しながら、「本」に対する否定の態度を表明しようとするが、最後まで言い切れない。しかし、「舌打ち」の使用から、不同意の意図が分かった。

<sup>64</sup> この発話のように、1つの発話に複数のストラテジーが併存される場合がある。この発話には「共同体の申し出」と「意見のあいまい化」の2種類のストラテジーが観察された。

## 6.4 全体的な表明傾向の比較

### 6.4.1 発話数

不同意表明の発話数は表 6-3 に示している。JM は 507 回、JF は 509 回、それぞれの会話の総発話数に占める割合は 48.15% と 42.41% となり、CM は 631 回、CF は 628 回、それぞれの会話の総発話数に占める割合は 71.38% と 69.70% となる。この結果から、日中両言語のどちらにおいても男女差が見られず、また、男女とも中国語母語話者は日本語母語話者より不同意を有意に多く表明する傾向が見られた ( $p < .01$ )。

表 6-3 不同意表明の発話数 (頻度)

	JM	JF	CM	CF
不同意表明発話	507 (48.15%)	509 (42.41%)	631 (71.38%)	628 (69.70%)
不同意表明以外の発話	546 (51.85%)	697 (57.79%)	253 (28.62%)	273 (30.30%)
会話の総発話数	1053 (100.00%)	1206 (100.00%)	884 (100.00%)	901 (100.00%)

### 6.4.2 「明示的表明」と「非明示的表明」の使用状況の比較

不同意の「明示的表明」と「非明示的表明」に関して、図 6-3 に示したように、日本語ではそれぞれ 45% 程度と 54% 程度、中国語ではそれぞれ 63% 程度と 36% 程度が表明されている。この結果から親しい友人との意見交換の場合、日本語母語話者は有意に多くの異なる意見を明示しない言い方で表明する、中国語母語話者は有意に多くの明示的な言い方で表明することを好む傾向が分かった ( $p < .01$ )。これは日中両言語の不同意を対象に考察を行った王 (2013) ・楊 (2009) などの主張と一致している。

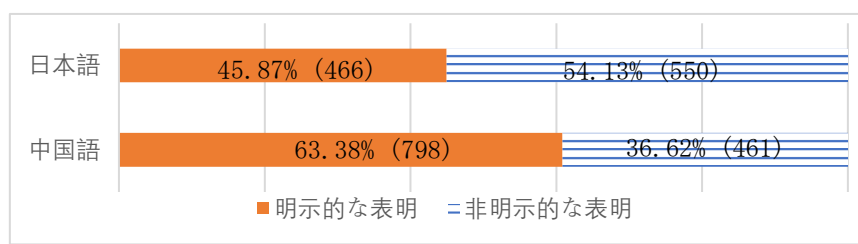


図 6-3 不同意の明示か非明示かの表明状況に関する言語間の比較 (頻度 (発話数))

このような階層面でのジェンダーの比較に関して、図 6-4 に示したように、日中両言語のどちらにおいても男女差が見られない。男女とも、日本語では「明示的表明」を 5 割弱、「非明示的表明」を 5 割強、中国語では「明示的表明」を 6 割強、「非明示的表明」を 4 割弱が使用されている。このような傾向は男女を分けない母語話者間の比較と同様のパターンとなった。

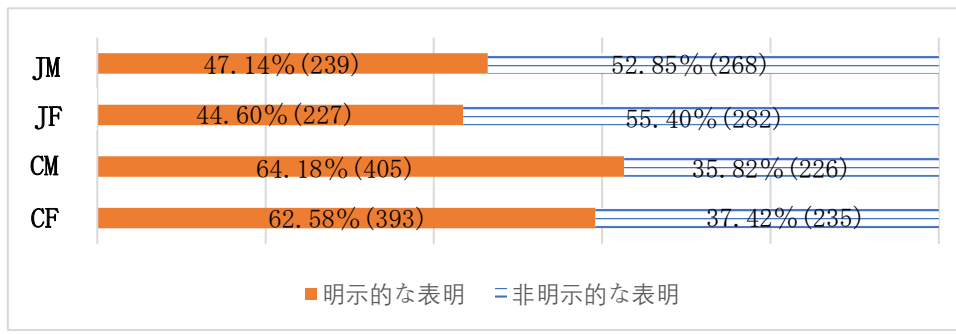


図 6-4 明示か非明示かの表明状況に関する話者間の比較(頻度(発話数))

### 6.4.3 「明示的表明」——あからさまに述べるか補償行為を使って述べるか

「明示的表明」の中での「あからさまに述べる」と「補償行為を伴いながら述べる」の使用頻度から日中両言語の使用傾向が分かった(図 6-5・図 6-6)。日本語では「あからさまに述べる」の 3 割未満の使用に対し、「補償行為を伴いながら述べる」の使用は 7 割を超えている。それに対し、中国語では「あからさまに述べる」の使用は 6 割弱、「補償行為を伴いながら述べる」は 4 割程度に留まっている。この結果から、異なる意見が明示的に提出される際に、日本語母語話者は補償行為で相手のフェイスを配慮しながら提出する傾向が、中国語母語話者はフェイスの配慮より意見のストレートに提出することがより多く重視する傾向が見られた( $p < .01$ )。

それに関する男女差は図 6-7 に示したように、日中両言語のどちらにおいても男女差が見られない。話者間の同性ごとの比較に男女ともに有意差が見られ、その違いは言語間の比較の結果と同じ傾向を示している( $p < .01$ )。

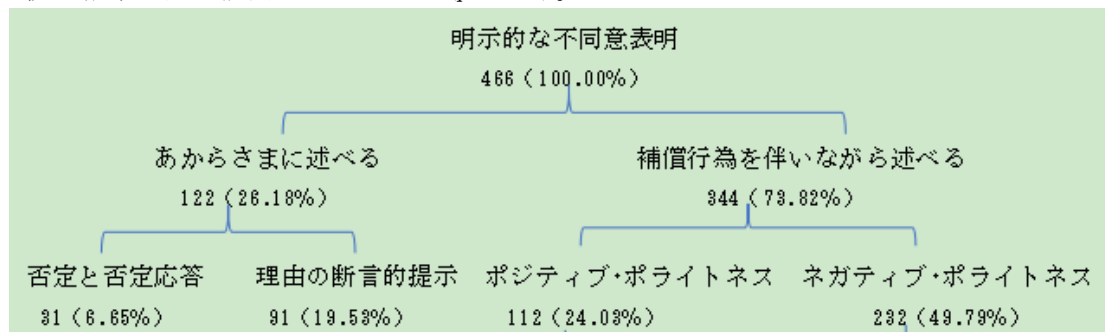


図 6-5 日本語の「明示的表明」の下位ストラテジーの使用(発話数(頻度))

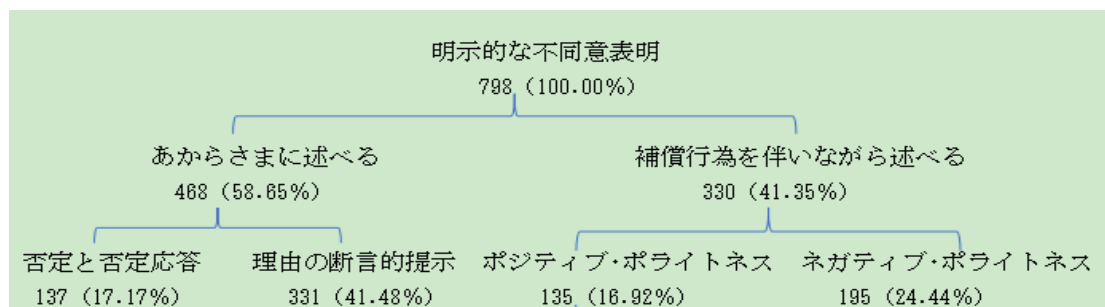


図 6-6 中国語の「明示的表明」の下位ストラテジーの使用(発話数(頻度))



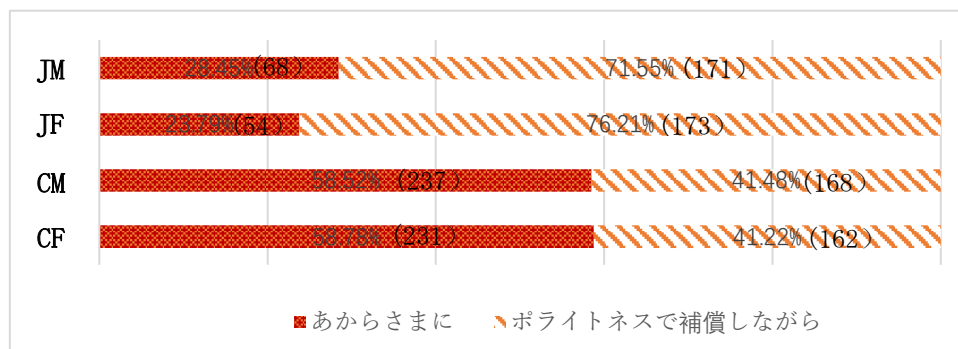


図 6-7 「明示的表明」のストラテジーに関する話者間の比較(頻度(発話数))

## 6.5 「明示的表明」のストラテジーの使用実態の比較

### 6.5.1 「あからさまに述べる」のストラテジー

「あからさまに述べる」の枠に、「否定と否定応答」と「理由の断言的提示」がある。図 6-5 と図 6-6 のように、日本語ではそれぞれ 31 回と 91 回、中国語ではそれぞれ 137 回と 331 回が使われ、有意差が見られない。日中両母語話者ともあからさまに不同意を表明する際に、「理由の断言的提示」がより多く使われていることが分かった。そして、それに関する男女の使用状況は図 6-8 に示した。JM と JF の間のみ男女差が見られた( $\chi^2=3.908$ ,  $df=1$ ,  $p=.048$ )。

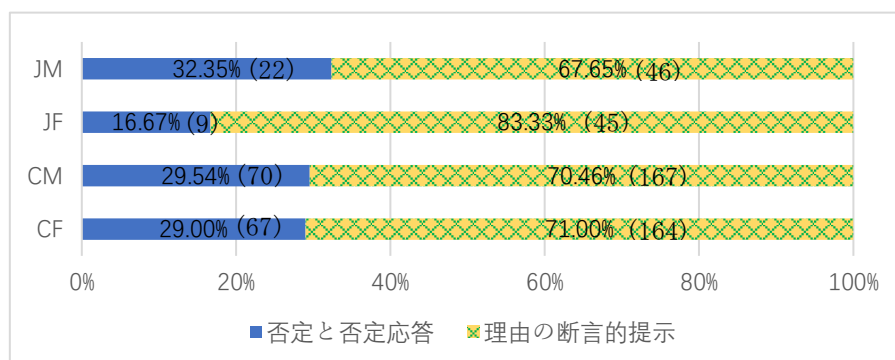


図 6-8 「あからさまに述べる」のストラテジーの話者別の使用実態(頻度(発話数))

あからさまに不同意を表明することは B&L (1987) によると、何も緩和策も講じずに FTA を行う言語行動であるという。FTA をあからさまに行うことができる場面について、トマス (1998) は B&L (1987) の挙げたカテゴリーを整理した(表 6-4)。また、B&L (1987) の示したカテゴリーのどこにも当てはまらないものが多いとトマス (1998) が指摘している。表 6-4 に挙げたカテゴリーの中で本調査に適用するのは、FTA の度合いが小さいと判断する場合だと考えられる。したがって、親しい友人関係の話者同士による意見交換会話では、一定量のあからさまな不同意を許容する。一方、本調査の意見交換会話は話者同士の間から勝ち負けを決めるものなので、話者自身の目的が達成できるように相手に対して FTA を

あからさまに行う可能性がある。こういう場合の FTA をあからさまに行う行動には攻撃性が見られる。その中で、相手の提案に対する「要らない」、相手の意見に対する「違う」・「そうじゃなくて」のような言い方及び相手の応答を要求しない詰問でストレートに不同意の態度を示す行為のほうが、理由や根拠を述べながらあからさまに不同意を示す行為より、攻撃性がさらに強いと考えられる。その観点から、日本語母語話者の男性は女性に比べ、有意に攻撃性が強い言い方を多用している。このような違いは中国語母語話者の男女に差が見られない。ジェンダーという観点から意見衝突を調査する研究の中で、男性同士の会話はより支配的で攻撃的な言葉遣いをするということを指摘する研究が多くなされている (Goodwin, 1980; Coates, 1988)。しかし、以上の結果からそれらの研究に指摘された特徴は、日本語は当てはまっているが、中国語は当てはまらない。

表 6-4 B&L (1987) に示した FTA をあからさまに行う可能の場合

何らかの緊急事態や、大きな時間的制約 (国際電話をかけるなど)、回線制約 (野戦電話で話すなど) などの外的制約がある場合。  
FTA 全体の重さがとても小さいと判断する場合、例えば、母は自分の子供に対する日常の依頼など。  
FTA が聞き手の利益になるとみなされる場合。  
力関係の差が非常に大きい場合。

トマス (1998 : 186) による整理

### 6.5.2 「補償行為を伴いながら述べる」のストラテジー

前節で補償行為 (ポジティブ・ポライトネスとネガティブ・ポライトネス) を伴う不同意表明は日本語での利用が中国語に比べて有意に多いということを確認した。それは何の緩和策もない「あからさまに述べる」ストラテジーと対比して考察した結果である。本節では、補償行為を伴う不同意表明は対人関係上の配慮行動として、全体的な不同意表明発話から抜き出し、単独に考えるとどのような結果になるのかを見てみる。

表 6-5 に示したように、ポジティブ・ポライトネスとネガティブ・ポライトネスの利用に日中両言語間に有意差が見られた ( $\chi^2=5.059$ ,  $df=1$ ,  $p=.024$ )。日本語母語話者は中国語母語話者に比べ有意に多くのネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを、中国語母語話者は有意に多くのポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを利用して相手のフェイスを配慮する傾向が見られた。この傾向は多くの先行研究にも報告されている (王, 2013; 楊, 2009 等)。しかし、日本語では 1 例も使われない「一体感の強調」を除く場合、ポジティブあるいはネガティブ・ポライトネス・ストラテジーの使用に、両言語の間に有意差が確認できない。つまり、本研究の場合、中国語母語話者が有意にポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを多用するという結果になる必要な要素は、「一体感の強調」だけと言える。

自分と相手の両者を行動に取り込むことは、B&L(1987)によるとポジティブ・ポライトネス・ストラテジーである。しかし、このような行動は個々の言語文化の中で表現の仕方が異なる。藤井(2010)などの研究によると、日本語母語話者は意見を表明する際には、自称詞や対称詞が指示対象へと推移するという特徴がある。このように自己と他者が融合す

るように自分たちを位置づけ、その結果として自他不分離ないし自他合一とも言えるように融合的に進められる。その代わりに、一人称の代名詞を使う言語の場合、このような融合の状態をわざと破壊する意図が見られる。たとえば、陳(2014)は、中国語の場合には一人一人が独自に考えを提示していく陳述文が中心となって展開されることを指摘している。そのため、相手や他者のことに言及する場合には、常に二人称詞を使う。しかしながら、二人称詞の代わりに意図的に一人称の複数形を使うことによって、相手や他者との一体感を訴えたり、あるいは人に自分の暖かい心を伝える効果をもたらすこととなる。例えば、会話例 6-1 において話者 A が相手の提案「薬」に反対する際、二人称詞を使うのは普通である。しかし、ここでは「你(あなた)」を使わずに「我们(われわれ・私たち)」を使用している。それによってどのような意図を表したいのかをここで吟味しておこう。

表 6-5 「明示的表明」の補償行為の使用状況(単位:回(頻度))

		日本語		中国語	
ポジティブ・ポライトネス	見せかけの同意	112 (32.56%)	33 (9.59%)	135 (40.91%)	29 (8.79%)
	共通認識喚起		79 (22.97%)		63 (19.09%)
	一体感の強調		0		43 (13.03%)
ネガティブ・ポライトネス	言いよどみと前置きの添加	232 (67.44%)	89 (25.87%)	195 (59.09%)	61 (18.48%)
	意見のあいまい化		83 (24.13%)		96 (29.09%)
	意見の不完全叙述		60 (17.44%)		38 (11.52%)
計		344 (100.00%)		330 (100.00%)	

会話例 6-1

14	CF04A (不同意側)	<p>嗯，我主要觉得这个还是因为…<u>我们</u>没有那么多资金来买那么多药品</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">你</p> <p>(うん、主な原因は…、<u>私たち</u>にはそんなにたくさんの薬を買うお金がないと私は思う。)</p>
15	CF04B (反論側)	<p>我觉得买都多少都是<u>我们</u>的心意呀</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">我</p> <p>(多く買っても少なく買っても<u>私たち</u>の気持ちが伝わるもんだ)</p>

この会話例においてお金がかかるという理由で相手の提案に反対する際、お金が足りないのは相手だけでなく、話者自身も多くのお金を出せないという連帯感を示していると考えられる。このような言い方は B&L(1987)に指摘された、相手のポジティブ・フェイスへの侵害をポジティブ・ポライトネス・ストラテジーで補償しながら行うものと言える。このようなストラテジーは日本語の言語習慣には存在しないので、ここでは「一体感の強調」と名付けることにする。また、このストラテジーは相手に押し付けをするニュアンスがあ

るため、会話例 6-2 のように、強調した連帯感が相手に無視されることもある。

会話例 6-2 :

62	CF03B (不同意側)	我觉得水这些东西还是，国家会提供的。 <u>我们</u> 抬不起水啊。 (飲み物なんかは、政府が提供してくれると思う。 <u>私たち</u> が水を買う能力がないから。)
63	CF03A (反論側)	∅ 抬不起 ↑ hhhhh (hh) (水を買う能力がないって ↑)

「ポジティブ・ポライトネス」と「ネガティブ・ポライトネス」の利用に関して、日本語では男女差が見られない(表 6-6)。表 6-7 から、中国語母語話者の男性は女性に比べて有意に多くの「ポジティブ・ポライトネス・ストラテジー」を、女性は男性に比べて有意に多くの「ネガティブ・ポライトネス・ストラテジー」を利用することが見られた ( $\chi^2=7.555$ ,  $df=1$ ,  $p=.006$ )。また、図 6-9 に示したように、話者間の比較として CF は日本語母語話者の男女とも有意差が見られなく、CM だけ異なる振る舞いをしている傾向が見られた。男女を分けない母語話者間の比較に得られた結果は、中国語母語話者が有意に多くポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを利用する傾向がある。しかし、男女別々で見ると、有意に多くポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを利用するのは CM のみである。CF は日本語母語話者の男女と同じような振る舞いをしている。このような男女を分けない言語間の比較の結果から脱し、比較された相手の言語と同じ傾向がある現象を「逸脱」とする。

表 6-6 「明示的表明」の配慮ストラテジーの話者別の内訳 (日本語)

		JM		JF	
ポジティブ・ポライトネス	見せかけの同意	57 (33.33%)	17 (9.94%)	55 (31.79%)	16 (9.25%)
	共通認識喚起		40 (23.39%)		39 (22.54%)
	一体感の強調		0		0
ネガティブ・ポライトネス	言いよどみと前置きの添加	114 (66.67%)	43 (25.15%)	118 (68.21%)	46 (26.59%)
	意見のあいまい化		38 (22.22%)		45 (26.01%)
	意見の不完全叙述		33 (19.30%)		27 (15.61%)
計			171 (100.00%)		173 (100.00%)

表 6-7 「明示的表明」の配慮ストラテジーの話者別の内訳 (中国語)

		CM		CF	
ポジティブ・ポライトネス	見せかけの同意	81 (48.21%)	22 (13.09%)	54 (33.33%)	7 (4.32%)
	共通認識喚起		45 (26.79%)		18 (11.11%)
	一体感の強調		14 (8.33%)		29 (17.90%)
ネガティブ・ポライトネス	言いよどみと前置きの添加	87 (51.79%)	33 (19.64%)	108 (66.67%)	28 (17.28%)
	意見のあいまい化		37 (22.02%)		59 (36.42%)
	意見の不完全叙述		17 (10.12%)		21 (12.96%)
計			168 (100.00%)		162 (100.00%)

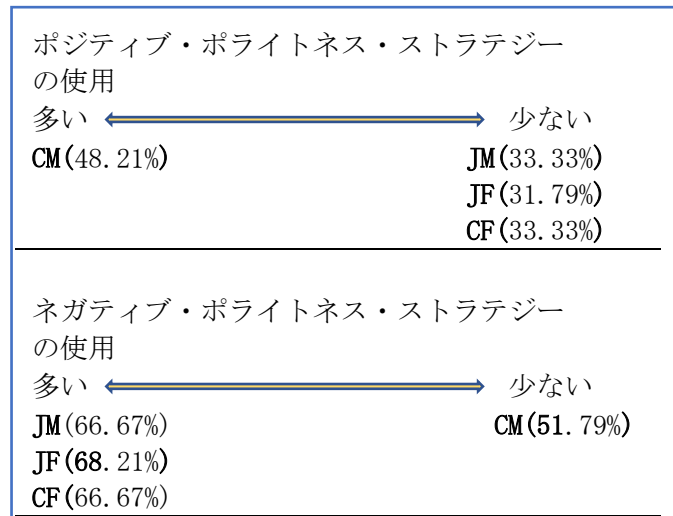


図 6-9 補償行為の使用に関する話者間の差

また、補償行為の下位ストラテジーの使用においてポジティブ・ポライトネスの下位の3つのストラテジーの使用に、JM と JF の間に有意差が見られないが、CM と CF の間に有意差が見られた ( $\chi^2(2)=19.961, p<.01$  Cramer's  $V=0.385$ )。表 6-8 に示したように、CM は CF に比べて有意に多くの「見せかけの同意」と「共通認識喚起」、CF は CM に比べてより多くの「一体感の強調」を使って、不同意が明示的に伝わる際に相手のフェイスを軽減している。一方、ネガティブ・ポライトネスの下位の3つのストラテジーの使用に日中両言語とも男女差が見られない。

表 6-8 CM と CF のポジティブ・ストラテジーの残差分析の結果

	CM	CF
見せかけの同意	22 ▲ *	7 ▼ *
共通認識喚起	45 ▲ *	18 ▼ *
一体感の強調	14 ▼ **	29 ▲ **

▲有意に多い、▼有意に少ない

\* $p<.05$  \*\* $p<.01$

### 6.5.3 小括

6.5.1 節と 6.5.2 節の分析の結果をまとめて見ると、以下の4点がまとめられる。

1) 日本語では、配慮行動の補償行為の使いに男女差が見られないが、何の緩和策も講じない FTA を行う言語行動に有意差が見られた。JM は JF に比べてより多くの攻撃性が高い「否定と否定応答」を使って異なる意見を表明していることが分かった。

2) 中国語では、何の緩和策も講じない FTA を行う言語行動に有意差が見られなく、配慮行動の補償行為の使いに男女差が見られた。CM は CF に比べ、より多くのポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを使い、CF は CM に比べ、より多くのネガティブ・ポライトネス・

ストラテジーを使い、相手のフェイスを配慮しながら明示的に不同意を表明している。

3)CMはCFに比べ、より多くのポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを使い相手のフェイスを配慮するのは「見せかけの同意」と「共通認識喚起」を多用することを指す。CFはCMに比べ、より多くのネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを使って相手のフェイスを配慮するのに、特にどのストラテジーが多用されるのが見られない。3つのネガティブ・ポライトネス・ストラテジーの総合使用の結果である。

## 6.6 「非明示的表明」のストラテジーの使用実態の比較

### 6.6.1 「ストラテジーの型」の使用実態

#### 6.6.1.1 言語間の比較

「非明示的表明」に分類された9種類のストラテジー（図6-2）を「単位方略」<sup>65</sup>を利用して分析を行った王(2013)・趙(2018a)を参考に、「ストラテジーの型」をカテゴリーに分ける。自分の提案を擁護することにより、暗示的に相手に出された提案やそれに関する意見を否定する「対比案の提示と叙述」を「情報提供型」に、相手に未知の情報を与えるよう求める「意見要求」を「発言要求型」に、明確に意見を出せない「意見の不提示」・「話題転換」・「沈黙」と「笑い」を「意見保留型」に、意見が滞る時に話者の提案が合意案になる利点を示す「条件提示」と同意できる範囲を提示し、その範囲を超えない条件で相手の提案を同意する「部分的な同意」を「条件型」に、相手に対する皮肉によって相手の意見を暗示的に否定する「冗談式評価」を「冗談型」にカテゴリー分けする。これらの「ストラテジーの型」の使用状況は表6-9に示している。

表6-9 「非明示的表明」のストラテジーの使用実態(単位:回(頻度))

ストラテジー		日本語		中国語	
		回数	割合	回数	割合
情報提供型	対比案の提示と叙述	202 (36.73%)	202 (36.73%)	199 (43.17%)	199 (43.17%)
意見保留型	意見の不提示	250 (45.45%)	137 (24.91%)	156 (33.83%)	53 (11.50%)
	話題転換		14 (2.55%)		23 (4.99%)
	沈黙		59 (10.73%)		55 (11.93%)
	笑い		40 (7.27%)		25 (5.42%)
発言要求型	意見要求	37 (6.73%)	37 (6.73%)	73 (15.84%)	73 (15.84%)
条件型	条件提示	61 (11.09%)	21 (3.82%)	11 (2.39%)	8 (1.74%)
	部分的な同意		40 (7.27%)		3 (0.65%)
冗談型	冗談式評価	0	0	22 (4.77%)	22 (4.77%)
計		550	(100.00%)	461	(100.00%)

まず、表6-9に示した5つの「ストラテジーの型」の使用の共通点は日中両言語とも使

<sup>65</sup> 国立国語研究所(1994)では、「単位方略」をあるタスクを遂行するために必要なストラテジーの行動様式を類型化したものであると規定している。

用頻度が上位 2 位となるのが「情報提供型」と「意見保留型」であり、それらの発話数は合わせて非明示的な不同意表明の総発話数の 8 割程度を占めていることである。ただし、1 位と 2 位に位置するストラテジーが異なる。日本語では「意見保留型」が 1 位、中国語は反対に「情報提供型」が 1 位となっており、有意差が見られた ( $\chi^2(4)=83.099, p<.01, \text{Cramer's } V = 0.287$ )。

残りの 3 つの「ストラテジーの型」の使用は合わせて非明示的な不同意表明の総発話数の 2 割程度を占めている。その中で、日本語では「条件型」(11.09%)が最も多く使われ、その次は「発言要求型」(6.73%)であり、「冗談型」は全く使われていない。中国語では「発言要求型」(15.84%)が最も多く使われ、その次は「冗談型」(4.77%)であり、「条件型」は 2.39%の使用頻度に過ぎない。それらの使用にも日中両言語の間に有意差が見られた ( $\chi^2(4)=83.099, p<.01, \text{Cramer's } V = 0.287$ ) (表 6-10)。

表 6-10 「非明示的表明」のストラテジーの残差分析の結果(言語間の比較)

	日本語	中国語
情報提供型	202 ▽ *	199 ▲ *
意見保留型	250 ▲ **	156 ▽ **
発言要求型	37 ▽ **	73 ▲ **
条件型	61 ▲ **	11 ▽ **
冗談型	0 ▽ **	22 ▲ **

▲有意に多い、▽有意に少ない \* $p<.05$  \*\* $p<.01$

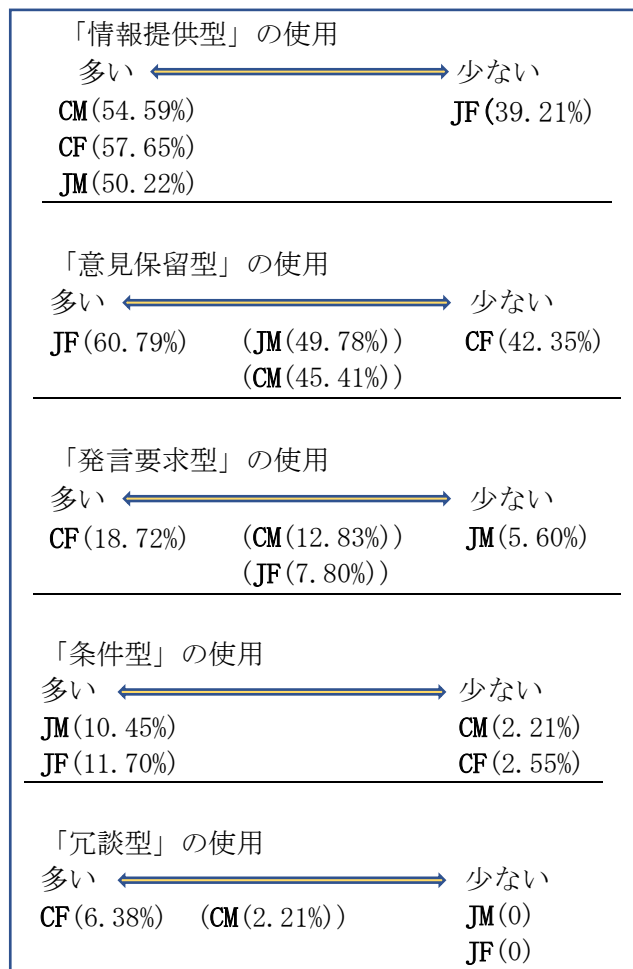
#### 6.6.1.2 話者間の比較

表 6-11 に示したように、各ストラテジーの型によって日中両言語の使用比率は有意に行っていた ( $\chi^2(12)=100.551, p<.01, \text{Cramer's } V = 0.182$ )。具体的な使用比率上の差異は図 6-10 に示している。

表 6-11 「非明示的表明」のストラテジーの残差分析の結果(話者間の比較)

	JM	JF	CM	CF
情報提供型	113	89 ▽ **	101	98
意見保留型	112	138 ▲ **	84	72 ▽ **
発言要求型	15 ▽ **	22	29	44 ▲ **
条件型	28 ▲ *	33 ▲ **	5 ▽ **	6 ▽ **
冗談型	0 ▽ **	0 ▽ **	7	15 ▲ **

▲有意に多い、▽有意に少ない \* $p<.05$  \*\* $p<.01$



注：括弧された話者は両端の話者との間に有意差が見られない。

図 6-10 「非明示的表明」の型の使用に関する話者間の差

そのため、前述の言語間の比較の結果と関連させて、「ストラテジーの型」に関する話者間の使用状況に以下の3点が確認できた。

1) 「情報提供型」の使用に日中両言語の間に有意差が確認されたが、男女別に見ると、JFのみはそれ以外の話者と有意差が見られた。JMは中国語母語話者の男女とも同じような振る舞いをしている。

2) 「意見提供型」の使用に日中両言語の間に有意差が確認されたが、男女別に見ると、女性は言語間の特徴を典型的に表わしている。

3) 他の3つの型の使用に、有意差の検出によって男女とも日本語母語話者は「条件型」を有意に多用する傾向になる。「冗談型」は日本語母語話者の男女とも全く使用されていないので、男女とも中国語母話者は「冗談型」を多用することが言えるだろう。

### 6.6.2 「明示的表明」の前後に遂行される非明示的なストラテジー

不同意の非明示的な表明は対人関係や場面に留意して行うための間接的な発話行為である。間接的な発話行為は明示的な不同意表明の前後に行う場合、どのような働きがあるの



か。

### 6.6.2.1 言語間の比較

表 6-12 に示したように、「明示的表明」の前後に行う非明示的なストラテジーの中で、日中両言語とも使われたのは「対比案の提示と叙述」、「意見要求」、「意見の不提示」、「沈黙」、「笑い」の5つである。

「明示的表明」の前に使われたストラテジーの中で、「意見要求」、「意見の不提示」と「笑い」に有意差が検出された ( $\chi^2(4)=20.133, p<.01$  Cramer's  $V = 0.436$ ) (表 6-13)。日本語では「意見の不提示」と「笑い」は、中国語では「意見要求」が有意に多く不同意を明示する前に遂行されていることが分かった。また、日中両言語のどちらにおいても非明示的なストラテジーの遂行頻度の上位 3 位を占めた「沈黙」は、有意差が検出されていないので、日中両言語ともに多く使われていることが分かった。

他方、一方の言語だけに出現したストラテジーの中で、「条件提示」と「部分的な同意」は、中国語において全く使われていない。「明示的表明」の前に遂行されたこれらの非明示的なストラテジーは、同意できないことの予告と暗示、明確な異なる意見の遅延といった働きが基本であるが、そこにはほかの働きも見られる。例えば、会話例 6-3 に示した「条件提示」(ターン 50)には、相対的に客観的な理由を提示することにより、相手の提案が合意案になれないことを前もって相手に心構えさせる機能がある。それと同時に、提示された条件は話者の提案が合意案になるための有利なものであるため、話者のポジティブ・フェイスを相手に察してもらい働きも兼ねている。会話例 6-4 に示した「意見要求」(ターン 22)は、意見陳述のチャンスをあげるにより相手に関与し、相手のポジティブ・フェイスを満足する働きとしても果たしている。

表 6-12 「明示的表明」の前後に遂行される非明示的なストラテジーの回数と頻度

非明示的なストラテジー		明示的な不同意表明前		明示的な不同意表明後	
		日本語	中国語	日本語	中国語
日中両言語とも出現したストラテジー	対比案の提示と叙述	2 (4.26%)	11 (16.67%)	22 (32.35%)	36 (49.32%)
	意見要求	8 (17.02%)	27 (40.91%)	2 (2.94%)	7 (9.59%)
	意見の不提示	15 (31.91%)	8 (12.12%)	16 (23.53%)	9 (12.33%)
	沈黙	8 (17.02%)	18 (27.27%)	8 (11.76%)	4 (5.48%)
	笑い	7 (14.89%)	2 (3.03%)	10 (14.71%)	6 (8.22%)
一方の言語だけに出現したストラテジー	話題転換	0	0	0	8 (10.96%)
	条件提示	4 (8.51%)	0	1 (1.47%)	0
	部分的な同意	3 (6.38%)	0	9 (13.23%)	0
	冗談式評価	0	0	0	3 (4.11%)
計		47 (100.00%)	66 (100.00%)	68 (100.00%)	73 (100.00%)

注:太線に囲まれたのは、有意差が見られたストラテジーの使用頻度である。

#### 会話例 6-3 : <条件提示→明示的表明>

50 JM07A 選択した理由について、被災地の人達に寄付するものの

値段[指示を読んでいる]、<値段も考えなきゃ>{<} →条件提示

51 JM07B<値段、値段か>{>}

52 JM07A< TENT って結構する>{<}よね →明示的表明

会話例 6-4 : <意見要求→明示的表明>

- 22 CF10B 你为什么挑这个? 文具  
(なぜこれを選ばなければならないの? 文房具) →意見要求
- 23 CF10A 我觉得, 我觉得, <咳>他们在那边肯定那种书, 那些各种文具用品肯定都坏了。那, 到时候买去, 他们至少能建立那种临时的那种教室的时候, 也可以拿这些当做文具学习啊(嗯)  
(私は、私は、<咳>あそこには、本とか文房具とかきつと使えなくなると  
思って。えっと、使う時に買わなければならない。せめて  
一時的な教室を建てる時に、これらを勉強用の文房具とし  
て使える(うん)。) →情報提供
- 24 CF10B 但是我觉得, 我本来也想选文具, 我觉得文具的话, 第一它就是  
耗费的那种, 时间比较快。  
(でも私は、私も文房具にしようと考えたが、文房具についてわたしは、  
第一、それは消耗品なので、すぐ使い終わると思って。)
- 明示的表明

表 6-13 「明示的表明」の前の非明示的なストラテジーの残差分析の結果  
(言語間の比較)

	日本語	中国語
対比案の提示と叙述	2	11
意見要求	8 ▽ *	27 ▲ *
意見の不提示	15 ▲ **	8 ▽ **
沈黙	8	18
笑い	7 ▲ *	2 ▽ *

▲有意に多い、▽有意に少ない

\*p<.05 \*\*p<.01

そして、不同意が明示的に表明された後に日本語では「対比案の提示と叙述」(32.35%)、「意見の不提示」(23.53%)、「沈黙」(11.76%)は、中国語では「対比案の提示と叙述」(49.32%)、「意見の不提示」(12.33%)、「話題転換」(10.96%)は非明示的なストラテジーの遂行頻度の上位3位に占めている。その中で、「対比案の提示と叙述」に関して日中両言語の間に有意差が見られた ( $\chi^2(4) = 10.329, p < .05$  Cramer's  $V = 0.293$ ) (表 6-14)。また、「部分的な同意」<sup>66</sup>は中国語では全く使われていない。これらの非明示的なストラテジーが不同意による相手のフェイスへの FTA を緩和する方略として働いているのは基本である。そのうえ、「対比案の提示と叙述」は話題を話者自身の提案のほうに導き、話者自身のポジティブ・フェイスを自分で満足する<sup>67</sup>働きが見られた(会話例 6-5 のターン 27)。それに対し、会話例 6-6 に示した「部分的な同意」(ターン 35)は条件に限定する同意であるが、相手のフェイスをある程度に満足していると言える。つまり、中国語母語話

<sup>66</sup> 「条件提示」も中国語では見られないが、日本語の会話にも1例しか出現していないため、日本語母語話者が多く使われているということは言えない。そのため、ここでは、それを分析の対象外にした。

<sup>67</sup> Bayraktaroğlu(1991)ではフェイス侵害行為の逆方向であるフェイス満足行為も存在すると指摘している。「フェイスを増幅させる行動 (face-boosting acts, FBA)」を提案した。

者はあからさまに相手のフェイスを侵害した後、話者自身のポジティブ・フェイスを自分で満足する行動によって、相手のフェイスに対して 2 次侵害を行っている。それに対し、日本語母語話者はあからさまに相手のフェイスを侵害した後、「部分的な同意」で相手のポジティブ・フェイスをある程度に満足させている。

表 6-14 「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの残差分析の結果  
(言語間の比較)

	日本語	中国語
対比案の提示と叙述	22 ▽ *	36 ▲ *
意見要求	2	7
意見の不提示	16	9
沈黙	8	4
笑い	10	6

▲有意に多い、▽有意に少ない \*p<.05

会話例 6-5 : <明示的表明→対比案の提示と叙述>

- 25 CF09B0 不都可以吗 h。你说你运点书过去，哪有空看，灾区连电都没有。  
(これらのどれでもいいじゃないか h。けど、本を送る場合、読む余裕があるのかな？被災地は電気でさえないから。) →明示的表明
- 26 CF09A 呃：：：(えっと：：：) →意見の不提示
- 27 CF09B 我觉得还是，∅住的比较重要[>] (私はやっぱり住むところが大事だと思ってん。) →対比案の提示と叙述

会話例 6-6 : <明示的表明→部分的な同意>

- 33 JF04A 夏は要らん。 →明示的表明
- 34 JF04B 夏要らんやんってなるもんね。 →受け入れ
- 35 JF04A 服っ、このいまからの時期やったら、まあ要るわ。 →部分的な同意

以上で述べた、明示的な不同意表明の前後に遂行された非明示的なストラテジーの働きを、表 6-15 のようにまとめている。

表 6-15 「明示的表明」の前後に遂行される非明示的なストラテジーの働き

	明示的表明の前	明示的表明の後
基本	同意できないことの予告と暗示、明確な異なる意見の遅延の働き、つまり、相手のフェイスへの FTA を軽減する働き (すべてのストラテジーに適用)	相手のフェイスへの FTA を緩和する働き (すべてのストラテジーに適用)
その上	相手のポジティブ・フェイスを満足する働き (意見要求)	話者自身のポジティブ・フェイスを自分で満足する働き (対比案の提示と叙述)
	話者のポジティブ・フェイスを相手に察してもらうことを示唆される働き (条件提示)・(意見の不提示)	相手のポジティブ・フェイスをある程度満足する働き (部分的な同意)

### 6.6.2.2 話者間の比較

「明示的表明」の前に遂行される非明示的なストラテジー（表 6-16）に関して、男女差が見られない。

表 6-16 「明示的表明」の前の非明示的なストラテジーの話者別の内訳（回（頻度））

非明示的なストラテジー		JM	JF	CM	CF
日中両言語とも に出現した ストラテジー	対比案の提示 と叙述	2(7.41%)	0	6(16.22%)	5(17.24%)
	意見要求	4(14.81%)	4(20.00%)	12(32.43%)	15(51.72%)
	意見の不提示	5(18.52%)	10(50.00%)	2(5.41%)	6(20.69%)
	沈黙	6(22.22%)	2(10.00%)	15(40.54%)	3(10.34%)
	笑い	5(18.52%)	2(10.00%)	2(5.41%)	0
一方の言語だけ に出現した ストラテジー	話題転換	0	0	0	0
	条件提示	2(7.41%)	2(10.00%)	0	0
	部分的な同意	3(11.11%)	0	0	0
	冗談式評価	0	0	0	0
計		27(100.00%)	20(100.00%)	37(100.00%)	29(100.00%)

表 6-17 「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの話者別の内訳（回（頻度））

非明示的なストラテジー		JM	JF	CM	CF
日中両言語とも に出現したスト ラテジー	対比案の提示 と叙述	17(48.57%)	5(15.15%)	15(48.39%)	21(50.00%)
	意見要求	1(2.86%)	1(3.03%)	5(16.13%)	2(4.76%)
	意見の不提示	4(11.43%)	12(36.36%)	4(12.90%)	5(11.90%)
	沈黙	4(11.43%)	4(12.12%)	2(6.45%)	2(4.76%)
	笑い	2(5.71%)	8(24.24%)	1(3.23%)	5(11.90%)
一方の言語だけ に出現したスト ラテジー	話題転換	0	0	4(12.90%)	4(9.52%)
	条件提示	1(2.86%)	0	0	0
	部分的な同意	6(17.14%)	3(9.09%)	0	0
	冗談式評価	0	0	0	3(7.14%)
計		35(100.00%)	33(100.00%)	31(100.00%)	42(100.00%)

注:太線に囲まれたのは、男女差が見られたストラテジーの使用頻度である。

表 6-18 「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの残差分析の結果(話者間の比較)

	JF	JM	CM	CF
対比案の提示と叙 述	5 ▽ **	17 ns	15 ns	21 ns
意見要求	1	1	5	2
意見の不提示	12 ▲ *	4 ns	4 ns	5 ns
沈黙	4	4	2	2
笑い	8 ▲ *	2 ns	1 ns	5 ns

▲有意に多い、▽有意に少ない

\*p<.05 \*\*p<.01

明示的な不同意が表明の後に遂行される非明示的なストラテジー(表 6-17) は、「対比案の提示と叙述」、「意見の不提示」、「笑い」に関して、JF の使用比率はほかのグループの話者と有意に異なっていた( $\chi^2(12)=29.613, p<.01, \text{Cramer's } V = 0.287$ ) (表 6-18)<sup>68</sup>。その結果を、図 6-11 のようにまとめた。

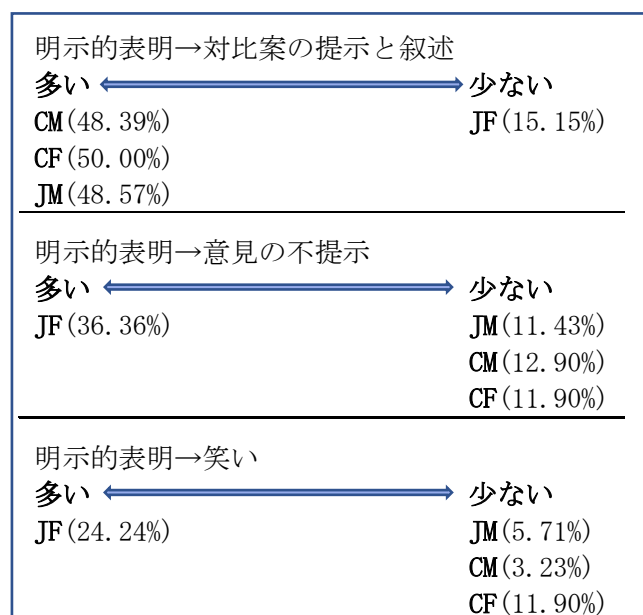


図 6-11 「明示的表明」の後の非明示的なストラテジーの話者間の比較

## 6.7 本章のまとめと考察

本章では、不同意を示す明示的と非明示的なストラテジーの使用実態についての分析を通し、不同意表明行動に関する対人関係上の特徴を明らかにした。

### 6.7.1 言語間の比較

#### 6.7.1.1 不同意表明と対人関係の考慮

不同意表明は相手のポジティブ・フェイスを侵害する FTA 行為として、表明自体にはコミュニケーション主体は自覚的に対人関係への配慮を凝らす必要がある。B&L (1987) によれば、ほのめかしで意図を伝えるという手段は、言明して述べる手段より FTA の度合いが小さい。言明して述べる手段の中で、補償行為を伴いながら述べるストラテジーはあからさまに述べるストラテジーより FTA の度合いが小さい。それらについての分析の結果、日本語母語話者は、友人に対する不同意を表明する際に、ほのめかしで意図を伝える手段(「非明示的表明」)は 54%程度で、言明して述べる手段(「明示的表明」)とはほぼ半分ずつ利用している。中国語母語話者は言明して述べる手段(「明示的表明」)は 63%程度で、「非明示的表明」に比べてより多く利用されている。また、「明示的表明」の下位ストラ

<sup>68</sup> この結果は、期待値 5 未満のセルが全セルの 20%を超えているため、Fisher の正確確率検定を行う必要がある。

テジーの中で、日本語母語話者は補償行為、特にネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを伴いながら不同意を表明するのがより多く、中国語母語話者はあからさまに述べること、特に断定する表現形式で不同意の理由を述べるのがより多い。これらの結果から、日本語母語話者は不同意表明の相手が友人であっても、できるだけFTAの度合いの小さいストラテジーを優先的に利用することが分かった。また、不同意を明示的に示す際に、相手と一定の距離を保ちながら、できるだけ相手及び相手の考えを邪魔しないような言い方を工夫し、相手のフェイスへの傷つけを軽減する行動をとる。それに対し、中国語母語話者友人に対して不同意を表明する際に、FTAの度合いが考慮すべき第1の要素ではないようである。フォローアップ・インタビューの結果<sup>69</sup>によると、友人だからあからさまに言うことができるという仲間意識があることが分かった。リーチ(1987:210)に指摘されたように、丁寧さの不足は本質的に親密性の印になりうる。そのため、FTAの度合いの大きい言語表現で不同意を表明することは、相手と親密さを有することを示す行為として捉えることができるだろう。

同じくFTAの度合いが小さい「非明示的表明」で不同意の意図を出す場合でも、日中両母語話者の異なる仲間意識が現れた。「非明示的表明」のストラテジーの中で、日本語母語話者が有意に多く利用した「意見保留型」と「条件型」のストラテジーには、明確な意見を出さない手段で、不同意の態度を示しながら会話の展開を促すことができる「有効な意見」<sup>70</sup>が相手から先に出すということを持つ行動や、自分の提案が合意案になる有意な条件を提示することによって、不同意の意図を相手に察してもらう行動が見られる。つまり、相手と距離を置いて不同意を相手の反応を待つ行動に潜んでいる。それに対し、中国語母語話者が有意に多く利用する「情報提供型」と「冗談型」のストラテジーには、話者自身の提案を積極的に述べることによって遠回しに不同意を表明すると同時に、自己の主張を明示的に提出する行動や、「心里阴暗啊你(あんたは心暗いね)」のような皮肉を下すことにより不同意している意図を相手に察してもらう行動が見られる。中山(1995)・林(2010)に指摘されたように、相手と親密さを有することであるため皮肉のような言い方ができる。

#### 6.7.1.2 不同意表明と話者自身のフェイスの考慮

B&L(1987)の「ポライトネス」とは、会話の場において表現・伝達される、主として相手のフェイスを侵害することに対する軽減的・補償的な言語配慮のことであると滝浦(2008)に指摘されている。しかし、Bayraktaroğlu(1991)・Meier(1995)などの多くの研究が指摘しているように、フェイスという概念は話し手と聞き手の双方に適応されるはずのものである。また、Bayraktaroğlu(1991)ではフェイス侵害行為の逆方向であるフェイス満足行為も存在し、「フェイスを増幅させる行動(face-boosting acts, FBA)」を提案した。

<sup>69</sup> 断定の言い方が多く取られる理由について、中国語母語話者を対象とし、フォローアップ・インタビューをした。1)「是朋友嘛，所以不需要太客气的措辞。」(友人同士関係だから、遠慮過ぎることばをとる必要がない。)・「太客气了感觉就不像朋友关系了。」(気を使いすぎたら、逆に友達関係らしくない)、2)「感觉」・「觉得」这样的用词也用，只不过据理力争的时候不添加主观行为的用词更显得有说服力。」(「～気がする」のような断定を避けることばを使う時もあるが、相手と言い争う時、そのような個人の主観の考えを示すことばを使わないと説得力がアップする。)といった答えをもらった。

<sup>70</sup> ここでの「有効な意見」とは、会話の展開を促すことができる、同意または不同意の態度を示す意見のことである。

---

本章で言う「配慮行動」は、相手のフェイスへの FTA の軽減と補償行動だけでなく、話者自身のフェイスへの FBA 行動も包含されている。

相手のフェイスへの配慮は、「明示的表明」の場合、相手への FTA 行為の度合いを軽減するポジティブ・ポライトネス・ストラテジーとネガティブ・ポライトネス・ストラテジーのことである。その結果、日本語母語話者は中国語母語話者に比べて有意に多くのネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを、中国語母語話者は有意に多くのポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを利用する傾向が見られる。

「非明示的表明」はそもそも相手への FTA 行為の度合いを軽減する配慮行動である。しかし、それは、明示的な不同意表明の前後に行われる場合、同時に話者自身のフェイスに対する配慮(FBA 行動)も見られる。

明示的な不同意表明発話の前に、日本語では「意見の不提示」と「条件提示」、中国語では「意見要求」が多く使われている。「意見要求」は非明示的な不同意表明として、相手のフェイスへの FTA の度合いを軽減する働きがあるが、字義そのものから見ると、相手に向けるフェイス満足行動である。それと異なり、「意見の不提示」と「条件提示」は相手のフェイスへの FTA の度合いを軽減するほか、話者自身のポジティブ・フェイスを相手に察してもらうということを望む働きとして示唆されている。そして、明示的な不同意表明発話の後に日本語では「部分的な同意」、中国語では「対比案の提示と叙述」は多く使われている。「部分的な同意」は直接的に相手のポジティブ・フェイスを満足することによって相手のフェイスへの FTA を緩和する。それに対し、「対比案の提示と叙述」は、間接的に不同意の意図を伝えることに相手のフェイスへの FTA を緩和する。それと同時に、話題を話者自身のほうに誘導することにより、話者自身のポジティブ・フェイスを自分で満足する働きがある。話者自身のフェイスを満たす働きがある「条件提示」・「意見の不提示」と「対比案の提示と叙述」を比べて見ると、「条件提示」と「意見の不提示」は話者自身のフェイスを満たすための間接的な手法、「対比案の提示と叙述」は直接的な手法だと区別することができる。

### 6.7.2 話者間の比較——「逸脱」行動

JM・JF・CM・CF の 4 つのグループの話者を同時に見て得られた結果は、以上の言語間の比較の結果とどのような関係があるのかについて、以下の 3 つの行動が見られた。

- 1) 言語間の比較と同じ傾向を示す行動
- 2) 「逸脱」行動
- 3) ジェンダー差がある行動

「言語間の比較と同じ傾向を示す行動」とは、男女を合わせたデータと全体を比較した結果(男女一体の結果)が、男女を分けて一つひとつ比較して得られた結果と同じ傾向が見られたということである。例えば、前節で述べた「条件型」と「冗談型」の使用に、日本語母語話者は「条件型」を、中国語母語話者は「冗談型」を好む傾向が見られた。男女を分けて見ると、男女ともに日本語母語話者は「条件型」、中国語母語話者は「冗談型」を好む傾向が見られた。図で示すと以下の通りである(図 6-12)。

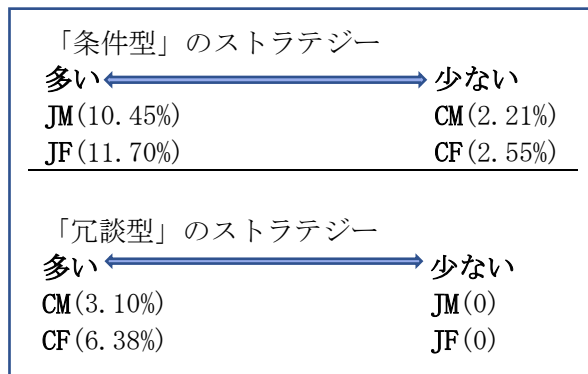


図 6-12 「言語間の比較と同じ傾向を示す行動」の例

それに対し、「逸脱」行動とは、男女分けて一つひとつ比較して得られた結果は言語間の比較の結果(男女一体の結果)から脱し、比較された相手の言語の男女と同様の振る舞いをしていることを指す。つまり、比較された言語間の中で 1 つの言語には男女差が見られたが、もう 1 つの言語に男女差が見られないということである。男女差がある言語の男性あるいは女性は、比較された相手の言語の男女に有意差が見られないということである。このような行動は中国人の女性の行動にも見られたが(図 6-9)、日本人の男性は多く行われている(図 6-10 と図 6-11)。図 6-9(図 6-13)を例にして説明すると、男女一体の言語間の比較をし、中国語母語話者が有意に多くポジティブ・ポライトネス・ストラテジー、日本語母語話者が有意に多くネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを利用する結果が得られた。しかし、男女別々に見ると、有意に多くポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを利用するのは CM のみである。CF は日本語母語話者の男女と同じような振る舞いをしている。

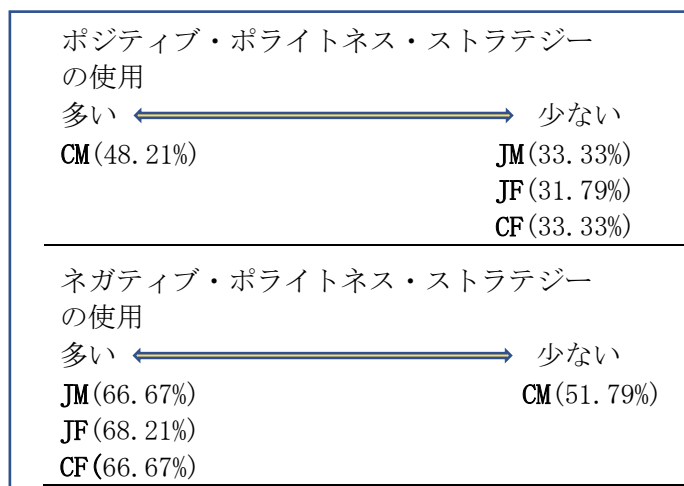


図 6-13 「逸脱」行動の例(図 6-9 の再掲)

また、図 6-10 と図 6-11 から、「対比案の提示と叙述」において中国語が日本語に比べてより多く遂行される傾向にあるが、JM は自分の言語の傾向から脱し、中国語母語話者の男女と同様の振る舞いをしている。この点は、中国語母語話者の「自己主張」や「自己中心」の行動様式は日本語母語話者の男性の行動にも窺えた。また、「意見保留」による配



---

慮行動においても、JM は中国語母語話者の男女と同様の振る舞いをしている。

最後に、「ジェンダー差がある行動」とは、同性別の日中両母語話者は異なる性別同士の行動と区別した行動上の共通性のことである。しかし、このような行動は不同意のストラテジーの使用に見られない。

---

## 第7章 不同意表明に伴う手の動きと視線行動

### 7.1 はじめに

コミュニケーション行動においては、言語行動だけでなく、人々は非言語行動によっても情報伝達をしている。特に、対面コミュニケーションにおいて非言語行動は情報伝達の上で重要な働きをしているのである。本章では、不同意表明発話と共に表出される手の動き<sup>71</sup>と視線を取り出して、それらが不同意態度の伝達と会話の進行にどのように関わっているのかを考察する。

### 7.2 研究課題

態度表明(同意や不同意)発話に伴う非言語行動に注目した研究は杉浦(2011)、細馬(2009)が挙げられる。これらの研究によると、身体動作(手のジェスチャー)は言葉による伝達された同意や不同意の態度に「強調」の役割があるという。その中で、同意表明に伴う身体動作を分析した杉浦(2011)では、言語形式上の同意表明はミニマムに抑えるが、身体動作や表情などの非言語的特性を有機的に組み合わせることによって進行中の評価活動への関り合いの強さを最大限に高めることで「強い同意」を達成することが明らかになった。また、細馬(2009)では非優先的な応答<sup>72</sup>と明確な不同意表明発話が同様のジェスチャーを伴って発される場合、明確な不同意表明発話に伴う動作は速度が速く、きっぱりしている特徴があると報告している。一方、対人的態度の表出機能は視線行動にも見られると Kendon(1967)、Argyle & Cook(1976)などの研究結果から分かった。Argyle & Cook(1976)では特定の語句を強調したり、発話を説得的にしたりするときに、聞き手の方に視線を向けると指摘している。また、これらの研究から視線行動は相手の反応を確かめたり、会話の流れを調整するなどの会話の進行と関わる機能を持っていることが分かった。

本章は、不同意表明に伴う非言語行動の中での手の動きと視線行動に焦点を当てて分析を行う。不同意の態度を強調する際にどのような手の動作と視線配布が見られるのか。また、会話の進行にどのような視線行動が見られるのか。これらの非言語行動に、日中両言語またジェンダーに異同点が存在するのかを探ることを目的とし、以下の課題を設ける。

課題：不同意表明に伴う手のジェスチャーと視線行動は不同意の態度の伝達、及び会話の展開にどのように係わっているのか。その点において言語ごとに、また言語横断的に異同が存在するのか。

具体的には次の3つの課題に分けられる：

作業課題 1：不同意表明に伴う手の動きにはどのような表出特徴が見られるか。また、

---

<sup>71</sup> 「手の動き」という用語に関して、片桐(1998)・高木(2005)を参考に、「身ぶり」は広く、手、首、足などを利用した動きを表しているため、特に手を動かすことによって表現する身ぶりは「手の動き」と規定する。

<sup>72</sup> 遅延や引き延ばしを伴う応答で不同意を示す発話のことである。

その表出に日中両言語の間及びジェンダーに違いがあるのか。  
 作業課題 2：不同意表明に伴う視線行動にはどのようなタイプが見られるのか、そして、それらはどのような影響要素によって表出されるのか。また、その表出に日中両言語の間及びジェンダーに違いがあるのか。  
 作業課題 3：手の動きと視線行動との間にどのような関係があるのか。また、それは日中両言語の間及びジェンダーに違いがあるのか。

## 7.3 研究方法

### 7.3.1 不同意表明発話

本章の考察対象である手の動きと視線行動は不同意表明発話に伴うものであるため、まず、不同意表明発話を会話から抽出する作業が必要である。不同意表明発話は第 3 章(3.3 節)に述べた不同意表明の定義と分類に基づいて抽出するが、不同意表明の含意を持った非言語行為の「沈黙」と「笑い」が抽出の対象外である。視線の考察に、眼鏡を掛けた話者の視線に対して正確に把握できない場合がある。また、どの種の発話でも発話ごとに手の動きを伴う話者もいる。このような話者の動作は個人の癖に基づいて表出される可能性が大きいと思われる。そのため、この 2 つの場合のデータを省き、結局日中両言語の男女ともそれぞれ 9 組のデータは分析の対象とされている。抽出された不同意表明発話の数は表 7-1 に示した。

表 7-1 不同意表明発話の発話数 (比率)

	JM	JF	CM	CF
明示的表明	169 (55.23%)	138 (48.42%)	311 (76.23%)	172 (62.09%)
非明示的表明	137 (44.77%)	147 (51.58%)	97 (23.77%)	105 (37.91%)
計	306 (100.00%)	285 (100.00%)	408 (100.00%)	277 (100.00%)

### 7.3.2 手の動きの検出方法

#### 7.3.2.1 検出方法

手の動きは、「ジェスチャー単位」(Gesture Unit: GU)を用いてジェスチャーを検出する。GU とは、ジェスチャーを表現しない区間によって前後を区切られた手・腕・指の動作のまとまりのことを指す(坊農, 2008:42)。GU を用いて分析した細馬(2008)は、一つのジェスチャー単位は、「準備 Preparation」・「ストローク Stroke」・「ホールド Hold」・「復帰 Retract」といった一連の動作からなると述べている(p. 391)。これを基に本研究では、「指す」・「叩く」・「動かす」の 3 つの動作が検出された(表 7-2)。

#### 7.3.2.2 表出機能

手の動きに限定せずにより広い範囲の身ぶりに重点を置いて考察した東山・ローラフォード(2016)では、身ぶりには人間としての共通部分もあるが、それぞれの文化圏で言語に

表 7-2 手の動きの説明

種類	定義	動作の記法
指す (pointing/putting)	指や手、あるいは手に持っている道具(写真)を使い、対象物(写真・机)のほうに向け(pointing)、または対象物(写真)の上に軽く下ろし、その状態を暫くホールドする(putting)。	<u>文字</u>
叩く (touching/tapping/shaking)	指や手、あるいは手に持っている道具(写真)を使い、対象物(写真)あるいは対象物の周りの机の上で音が出るように一回打ったり(touching)、繰り返して打ったりする(tapping)。または対象物に向け、空中で2~3回上下にかなり速く振る(shaking)。	<u>文字</u>
動かす (lifting/moving)	相手の注意を喚起するために、机に置かれている対象物(写真)をわざと手にとって持ち上げる(lifting)。または、机に置いたままであるが、対象物(写真)の位置を討論の領域から周辺に押す(moving)。	<u>文字</u>

表 7-3 意見表明発話に伴う手の動きの表出機能

表出機能	特徴	手の動き		
		指す	叩く	動かす
態度の表明	意見表明発話に伴い、反対・主張・同意・共感など感情を示す。発話の題述部や発話の全体に伴って産出されることもあり、さらに複数の発話にまたがることもある。	○ (pointing/ putting)	○ (touching/ tapping/ shaking)	○ (lifting/ moving)
話題管理補助	話題開始、転換、収束などの発話に伴い、討論の流れや道筋を示す。	○ (pointing)	○ (touching)	○ (moving)
発話対象提示	「こ・そ・あ」といった指示語が発される際に、あるいは、言葉で何について話しているのかを表していない文脈で発話の対象物に対する動作。	○ (pointing/ putting)	—	—
発話対象内容の確認	対象物の内容を示す発話に伴い、対象物を提示しながら内容を確認する。	—	○ (touching)	○ (lifting)

注：「○」はその機能があり、「—」はその機能を持っていないという意味を示す。

趙(2019:21)

伴う身振りは様々であり、さらに、地域差、年齢差、男女差、状況差、個人差も存在すると指摘している。そのため、趙(2019)は、調査協力者の手前に置いた対象物(写真)またはその周辺の空間に対する動作に限定して考察した。手の動きがどのような発話・発語に伴って表出され、また、動作の表出時間の長さや動作の強さが判断基準<sup>73</sup>となされている。表 7-3 のように、不同意表明発話を含む意見表明発話全体に観察された手の動きの表出機能をまとめた。ここでは、趙(2019)の判断基準について補足の説明を追加する。特に、「態度の表明」機能であると判断した手の動きは、動作の表出時間の長さ、スピードと強

<sup>73</sup> 動作の強さに対する判断は、筆者を含めた3名による総合判定である。筆者のほかの2名は、それぞれ日本語・中国語を母語とする言語研究者である。

さが主な判断基準となっている。「態度の表明」機能を示す動作は、まず、主張・反対・同意・共感などの感情を示す発話文と伴うものである。そのような発話文の題述部や発話の全体にわたって産出されることが多い。さらに複数の発話にまたがることもある。これらの場合に伴った、3秒以上の連続動作（「putting」・「tapping/ shaking」・「lifting/moving」）と、2秒以内の素早いスピードで表出された「pointing」動作、及び対象物と周りの机の上で明瞭に音が出る「touching」動作を「態度の表明」機能に規定する。

表 7-3 の手の動きの表出機能に関する例文を以下に示す。

「pointing」の表出機能：

例 7-1：

発話文番号	話者	発話	説明
38	JF01A	=そう、hh(hhh)、なんか、ね、子供にだけ、お茶つてのも(うん)、確かに今思えば(hhh)。なんか、 <u>まだでも暖かさやったら 服で代用はできるなって&lt;思った&gt;{&lt;}</u>	相手の提案を反対するこの発話文において、pointing 動作は 2 回行われた。1 回目は「まだでも暖かさやったら」を言う時に、話題の相手の提案(写真)に向けて pointing をし、2 回目はその後の発話「服で代用はできるなって思った」を言う同時に、代替できる「服」(共通提案)のほうにも pointing をした。それによって、1 回目の動作は<話題管理補助>機能を、2 回目の動作は<態度の表明>機能にする。

例 7-2：

発話文番号	話者	発話	説明
28-2	CF8A	与其把, <u>与其捐这些</u> , 不如把这些钱捐到其他地方(啊)。而且这种东西<当地政府应该>{<}[ (こちら、これらを寄付するより、お金を他のものに使ったほうがいい。これらは<当地の政府は>{<}[ ( )	相手の提案に反対するこの発話文において、相手の提案が言及される時点で、pointing 動作も同時に行われた。ここでは、強い話者の態度の表明は見られず、その上、相手の提案は指示語で表されるため、ここでの pointing 動作を<発話対象提示>機能にする。

「touching」の表出機能：

例 7-3：

発話文番号	話者	発話	説明
74-1	JF01B	h、でも、お茶だったらさ <u>重いじゃん</u> ↑(そうだよ) <なんか運ぶときに結構>{<}、	相手の提案に反対するこの発話文において、相手の提案の欠点を指摘する際に、touching 動作が同時に行われた。音がする touching 動作に、言葉で指摘された点を注意してくださいという意味が包含されていると考えられるため、<態度の表明>機能にする。

「tapping」の表出機能：

例 7-4:

発話文番号	話者	発話	説明
69	CF03A	<是水>{>}，那是水。 [<水>{>}、それは水だよ。]	
70	CF03B	哪有，你看 90%的 <u>都是饮料</u> ，好不好？ [違う、ほら見て、90%は <u>甘い飲み物</u> だよ、でしょ？]	相手の提案の欠点を指摘する際に、tapping 動作が同時に行われた。ここで表出された tapping 動作は例 7-3 の touching 動作と同様に、言葉で指摘された点を強調する意味が包含されている。また、touching より連続の音がする tapping はさらに態度が強い。この意味で<態度の表明>機能にする。同時に、<発話対象内容の確認>機能もあるが、発話対象内容の確認も不同意の意見表明のためである。

「moving」の表出機能:

例 7-5:

発話文番号	話者	発話	説明
74	JF02B	<あり>{>}そう、でも、おんなじ体勢とか(うん)、多分布団ないと	
75	JF02A	しんどいよね(うん)。∅ <u>新しい素材を(hhh)持ってきてしまった[h]h</u>	相手の意見を反対するこの発話文において、言葉で不同意の意見が見られず、反対に相手の発話を共話の形で補充した上に、笑いながら「新しい素材を持ってきてしまった」という態度の表明と関連のない発話を発した。不同意は非言語行動によって表明されている。つまり、態度の表明と関連がない「新しい素材を持ってきてしまった」という発話を発する際に、相手の提案をおろされた。そのため、ここでの moving 動作を<態度の表明>機能にする。

例 7-6:

発話文番号	話者	発話	説明
28-2	CF09B	灾区嘛，那孩子们... 肯定需要的，∅ <u>不是书[h]hh(hh)</u> [被災地なので、子供たちが...、必要なものは、きっと∅ <u>本じゃない[h]hh(hh)</u> ]	相手の提案「本」を反対するこの発話において、「必要なものは本ではない」という不同意表明の言葉とともに、「本」が載せた写真を捨てるように遠くまで「moving」した。そのため、ここでの moving 動作は<態度の表明>機能にする。

## 7.3.2.3 不同意表明発話に伴った手の動きの表出機能

以上の例文に示したように、言葉で不同意の意図を明示すると同時に手の動作も表出される場合もあるが、不同意は言葉で明示されなくても不同意の意図を手の動作から分かる

場合もある。言葉で不同意の意図を明示すると同時に表出された手の動きは、発話によって伝わった態度を強調する役割、言葉で不同意を明示しない場合に表出された手の動きは、非明示化した発話の真意を正確に理解するための、不同意の態度を明示化する役割を果たしている。つまり、表 7-3 の「態度の表明」機能を有する手の動きは明示的な不同意表明に伴って連動して表出される場合の「態度の強調」機能、非明示的な不同意表明発話と伴って表出される場合には、その発話の意図が手の動きで補足される「態度の補助」機能がある（表 7-4）。そして、手の動きと不同意表明発話の関係を、「態度の強調」機能の場合だとすると「態度の表明・言語対応」行為、「態度の補助」機能の場合だとすると「態度の表明・言語非対応」行為とする。

表 7-4 不同意表明に伴う手の動きの機能

	不同意表明発話	明示的表明	非明示的表明
動作			
手の動き		態度の強調	態度の補助

### 7.3.3 視線の検出方法

視線の動きを、任(2002)における視線 ON と視線 OFF に関する視線行動タイプの分類に基づく検出する。任(2002)では、視線行動をターンの中で行われるものとして取り扱い、表 7-3 における番号 1~6 までの 6 種類のタイプのほか、視線の変化が 3 回以上起こるタイプである「視線の揺らぎ」と、何も言わずに顔自体を横に向けてしまうタイプである「横向き」も含め、8 種類のタイプに分類した。本調査は、「沈黙」と「笑い」を除外した発話文を単位として考察を行うため、何も言わずに顔自体を横に向けてしまうタイプ「横向き」が出現していない。また、1つの発話文の中で視線は 3 回以上起こるタイプ「視線の揺ら

表 7-5 視線行動タイプの分類

番号	視線行動タイプ	定義
1	視線 ON→ON	話が始まって終わるまでずっと相手の視線を凝視する。
2	視線 OFF→OFF	話が始まって終わるまでずっと相手の視線を逸らす。
3	視線 ON→OFF	話が始める時は相手を見るが、話の途中で相手から視線を逸らし、そのまま話を終える。
4	視線 OFF→ON	話を始める時は相手を見ないが、話の途中で相手を見始め、そのまま話を終える。
5	視線 ON→OFF→ON	話を始める時は相手を見るが、話の途中で相手から視線を逸らす。そして、逸らしていた視線を再び相手に向け、そのまま話を終える。
6	視線 OFF→ON→OFF	話を始める時は相手を見ないが、話の途中で相手を見る。それから相手から視線を逸らし、そのまま話を終える。
7★	視線 OFF→揺らぎ→OFF	視線の変化が 1 つの発話文の中で 3 回以上起こり、その首尾における視線とも OFF である。
8★	視線 OFF→揺らぎ→ON	視線の変化が 1 つの発話文の中で 3 回以上起こり、その首尾における視線はそれぞれ OFF と ON である。

注：★が付いた視線行動は筆者が追加したもの。

任(2002:183-184)による整理

ぎ」について、その首尾における視線行動に重点を置き、「視線 OFF→揺らぎ→OFF」と「視線 OFF→揺らぎ→ON」に分類した。この点は任(2002)と違い、詳細は表 7-5 の通りである。

## 7.4 手の動きに関する結果と考察

### 7.4.1 手の動きの全体的な表出状況

#### 7.4.1.1 手の動きがある不同意表明発話

手の動きがある不同意表明行為の発話<sup>74</sup>は表 7-6 に示した。全体として、手の動きを伴う不同意表明行為の発話は、日本語が 239 件、中国語が 318 件であり、それぞれは不同意表明総発話数の 40.37%と 46.42%を占め、有意差が見られた ( $\chi^2=4.729$ ,  $df=1$ ,  $p=.030$ )。その中で、手の動きがある明示的な不同意行為の発話は日本語に 132 件、中国語に 223 件あり、それぞれは明示的な不同意表明発話数の 42.86%と 46.17%を占め、有意差が見られない。他方、手の動きがある非明示的な不同意行為の発話は日本語に 107 件、中国語に 95 件あり、それぞれは非明示的な不同意表明発話数の 37.68%と 47.03%を占め、有意差が見られた ( $\chi^2=4.252$ ,  $df=1$ ,  $p=.039$ )。

表 7-6 手の動きがある不同意表明行為の発話 (単位: 件 (頻度))

言語と発話種類		手の動き	手の動きがある 不同意表明発話	手の動きがない 不同意表明発話	計
日本語	明示		132 (42.86%)	176 (57.14%)	308 (100.00%)
	非明示		107 (37.68%)	177 (62.32%)	284 (100.00%)
	計		239 (40.37%)	353 (59.63%)	592 (100.00%)
中国語	明示		223 (46.17%)	260 (53.83%)	483 (100.00%)
	非明示		95 (47.03%)	107 (52.97%)	202 (100.00%)
	計		318 (46.42%)	367 (53.58%)	685 (100.00%)

手の動きがある不同意表明行為の発話に関して、ジェンダー差が見られた。

表 7-7 が示しているように、手の動きがある不同意表明行為の発話に関して JM に 47.88%、JF に 32.28%、CM に 51.96%、CF に 38.27% の表出頻度で、日中両言語のどちらにおいても男性は女性に比べ、不同意を表明する際に連動して手の動きをも同時に表出される行為がより多く行われている ( $p < .01$ )。また、明示的な不同意表明行為も同様の傾向が見られた。JM に 52.94%、JF に 30.43%、CM に 51.45%、CF に 36.63% の表出頻度で日中両言語のどちらにおいても、男性は女性に比べ、言語による伝達された不同意の気持ちの上、さらにそれを強調する働きがある非言語を多用することが分かった (JM と JF の間:  $p < .01$ ; CM と CF の間:  $\chi^2=9.786$ ,  $df=1$ ,  $p=.002$ )。一方、非明示的な不同意表明行為に関して、同言語内の男女差が見られない。

また、以上で述べた項目のいずれにおいても JM と CM、及び JF と CF の間に有意差が見ら

<sup>74</sup> 「手の動きを伴う不同意表明行為の発話」とは、不同意が表明される際に伴われた手の動きは「態度の表明」機能を有する手の動きことを指す。それに対し、「手の動きがない不同意表明行為の発話」は、不同意が表明される際に手の動きを伴わないことと、「態度の表明」機能以外の機能を有する手の動きを伴うことである。



れない。これらの結果を図 7-1 のようにまとめられる。

表 7-7 話者別の手の動きを伴う不同意表明行為の発話（単位：件（頻度））

話者と発話種類	手の動き	手の動きがある 不同意表明発話	手の動きがない 不同意表明発話	計
	JM	明示	90 (52.94%)	80 (47.06%)
非明示		57 (41.61%)	80 (58.39%)	137 (100.00%)
計		147 (47.88%)	160 (52.12%)	307 (100.00%)
JF	明示	42 (30.43%)	96 (69.57%)	138 (100.00%)
	非明示	50 (34.01%)	97 (65.99%)	147 (100.00%)
	計	92 (32.28%)	193 (67.72%)	285 (100.00%)
CM	明示	160 (51.45%)	151 (48.55%)	311 (100.00%)
	非明示	52 (53.61%)	45 (46.39%)	97 (100.00%)
	計	212 (51.96%)	196 (48.04%)	408 (100.00%)
CF	明示	63 (36.63%)	109 (63.37%)	172 (100.00%)
	非明示	43 (40.95%)	62 (59.05%)	105 (100.00%)
	計	106 (38.27%)	171 (61.73%)	277 (100.00%)

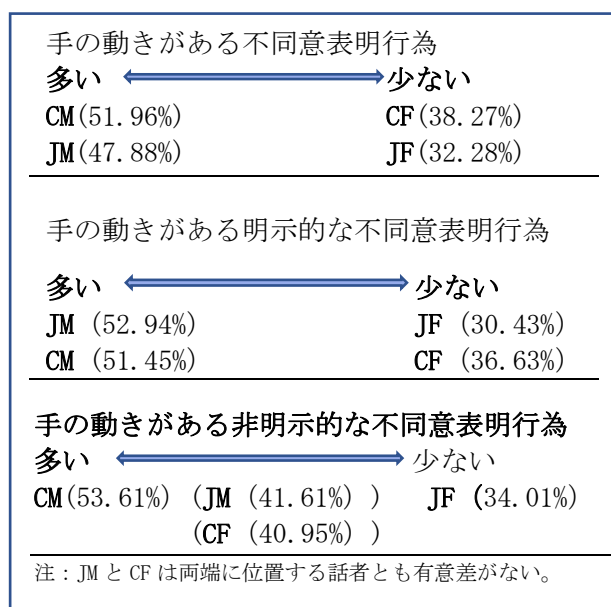


図 7-1 手の動きがある不同意表明行為に関する話者間の差

#### 7.4.1.2 発話との対応関係

次に、不同意表明発話が手の動きの表出との関係は表 7-8 に示した。1つの発話に1つの動作しかない「1対1」の表出は「1対多」（1対2、1対3、1対4）に比べて、日本語は204件と35件、中国語は250件と68件あり、有意差が見られた ( $\chi^2=4.122$ ,  $df=1$ ,  $p=.043$ )。中国語と比べ、日本語では1つの発話に1つの動作しか表出されていないことが有意に多く、一方、中国語のほうが1つの発話に2つ以上の複数の動作が表出されるのは有意に多いということが分かった。



共同構築」(藤井, 2018)をしてから、一見すると、「新しい素材を持ってきてしまった」という不同意と関わらない情報を伝達した(ターン 75 の発話 2))。しかし、その発話に言及された新しい素材である話題(「布団」)に関する実質的なやり取りはそこまでで終了となった。話者 A の「共感」で「布団」が合意案になるはずであるが、そこで話が終わる理由は何だろうか考えると話者 A の不同意ではないかと想像できる。つまり、「新しい素材を持ってきてしまった」の発話には、不同意の意図が潜んでいる。言語の面では、この発話本体から話者 A の不同意が見られない。しかし、第 5 章に述べたように、日本語母語話者は意見表明の行動に「拒否回避欲求」傾向がある。相手の拒否を回避しようとする表現の 1 つは、自分の提案が相手に反対される場合、続いて提案を主張しないことである。そのため、発話 75 の反応「どうかな」(ターン 76)から、ターン 75 は潜在化された不同意の意図があると判断できる。この判断の正確性は非言語の使用で証明が得られた。ターン 75 が発される同時に、「布団」の写真を話者の手前に引く動作が伴われている(図 7-3)。この話題を討論の領域<sup>75</sup>から下げる動作には話者の不同意を示している。そのため、中国語母語話者に比べ、日本語母語話者のほうが有意に多く言語で相手の面子を保つが、非言語で発話の真意を表すという傾向があると言える。

表 7-10 手の動きの機能別表出(単位:回(頻度))

言語	機能	態度の強調	態度の補助	計
日本語		155 (55.16%)	126 (44.84%)	281 (100.00%)
中国語		304 (74.51%)	104 (25.49%)	408 (100.00%)

会話例 7-7 :

発話・話者・発話内容		発話機能
74	JF02B <あり>{>}そう, でも, おんなじ体勢とか(うん), 多分布団ないと	主張
→75	JF02A 1) しんどいよね(うん) 2) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◇新しい&lt;素材を(hhh)持ってきてしまった&lt;hh&gt;</span>	共感 情報提供
76	JF02B どうかなー	



図 7-3 会話例 7-7 の「態度の補助」機能の実例

<sup>75</sup>何の提案について討論を行う場合、その提案を示した写真は、話者同士の間には置いているのは一般である。例えば、図 7-3 の矢印が開始するところのあたり。

#### 7.4.2.2 話者間の比較

不同意表明の機能別表出に関する話者間の比較を、表 7-11 に示した。

「態度の強調」機能の表出頻度は、JM では 60.34%、JF では 46.08%、CM では 78.23%、CF では 67.15% となり、同一言語内での男女差が見られた (JM と JF の間： $\chi^2=5.339$ ,  $df=1$ ,  $p=.021$ ；CM と CF の間： $\chi^2=5.877$ ,  $df=1$ ,  $p=.015$ )。また、異文化間の同性別の比較に男女同士とも有意差が見られた (JM と CM の間： $p < .01$ ；JF と CF の間： $\chi^2=10.672$ ,  $df=1$ ,  $p=.001$ )。そこからジェンダー差が分かった。日中両言語のどちらにおいても、男性は女性に比べ、「態度の強調」機能の表出による「態度の表明・言語対応」行為が有意に多く、女性は男性に比べ、「態度の補助」機能による「態度の表明・言語非対応」行為が有意に多く行われている (図 7-4)。図 7-4 に示したように、CM の会話で「態度の表明・言語対応」行為が一番より多く、JF の会話で「態度の表明・言語非対応」行為が一番より多く行われることが分かった。

表 7-11 話者別の手の動きの機能別表出 (単位：回 (頻度))

	態度の強調	態度の補助	計
JM	108 (60.34%)	71 (39.66%)	179 (100.00%)
JF	47 (46.08%)	55 (53.92%)	102 (100.00%)
CM	212 (78.23%)	59 (21.77%)	271 (100.00%)
CF	92 (67.15%)	45 (32.85%)	137 (100.00%)

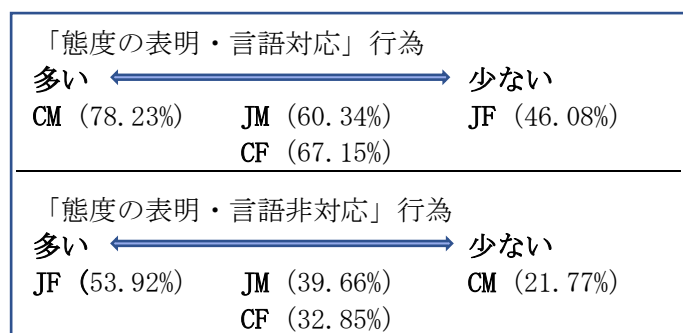


図 7-4 機能別表出による不同意表明行為の話者間の差

#### 7.4.3 種類別表出

##### 7.4.3.1 言語間の比較

本研究で観察された「指す」、「叩く」と「動かす」動作は、趙 (2019:24) ではさらに 2 区分されている。

「叩く」は音が出るように速い拍子で相手に働きかけ、話者自分のしたいことを言葉で打ち明けると同時にその気持ちの強さを表すことが見られるとザトラウスキー (2006) にも指摘されている<sup>76</sup>。「動かす」は、動作の対象物である写真を手で持ち上

<sup>76</sup> ザトラウスキー (2006) に指摘された「叩く」動作は本研究の「tapping」と「shaking」を指す。本研究において「叩く」動作に「touching」も含まれている。力を入れて明瞭に音が出るように一回打つ「touching」も同じく話者の気持ちを強く表す働きがあると考えられる。

げて強く振ったり、あるいは机に置いた写真を捨てるように強く押ししたりするなどの特徴が見られるため、「叩く」と同様に、同意ではない気持ちを強く表している判断できる。一方、「指す」の場合、発話の対象物のほうを指示したり、また、その対象物の上に手を下ろしたりすることによって、相手の注意を指示対象へと導きながら不同意の気持ちを伝えるが、対象物に音がしないため、気持ちの強さの表出度は「叩く」と「動かす」より弱い。

趙(2019:24)

この議論に基づくと、気持ちの強さの伝達に「指す」動作はほかの2種類の動作より弱いということが分かる。そのため、表7-12に示した、「指す」動作は日本語で35.59%(281のうち100回)、中国語で27.45%(408回のうち112回)の頻度で、ほかの2種類の動作は、日本語で64.41%(281のうち181回)、中国語で72.55%(408回のうち296回)の頻度で有意差が見られた( $\chi^2=5.171$ ,  $df=1$ ,  $p=.023$ )。この結果から、不同意を表明する際に、日本語母語話者は中国語母語話者に比べて「指す」動作が、中国語母語話者は激しい動作の「叩く」と「動かす」動作が有意に多く連動して表出されることが分かった。この傾向は明示的な不同意表明にも適用される。表7-13から、日本語母語話者は中国語母語話者に比べ、明示的に不同意を表明する際に、「指す」動作が有意に多く連動して使われることも見られた。それに対し、この場合の中国語母語話者は激しい動作を好む傾向である。また、表7-14では、中国語母語話者は、非明示的に不同意を表明する際に、「動かす」動作が有意に多く連動して使われる傾向が見られた。

以上の結果から、日本語母語話者は言語で明示的に相手のフェイスを侵害するが、それに伴う手の動きが優しい。それに対し、中国語母語話者は言語で明示的に相手のフェイスを侵害する上で、激しい動作を重ねて強く不同意の態度を伝えている。他方、相手のフェイスへの侵害は言語の側面では明示ではないが、「動かす」動作でその態度をはっきりと伝えている。この場合に使われる「動かす」動作は、相手の提案を示した写真を討論の領域から机の周辺に強く押し捨てる動作が多い。

表7-12 種類別の手の動きの使用状況(単位:回(頻度))

	日本語	中国語
指す	100(35.59%)	112(27.45%)
叩く	119(42.35%)	188(46.08%)
動かす	62(22.06%)	108(26.47%)
計	281(100.00%)	408(100.00%)

表7-13 「明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果(言語間の比較)

	日本語	中国語
指す	60 ▲ *	88 ▽ *
叩く	60	143
動かす	35	73

▲有意に多い、▽有意に少ない \* $p<.05$

#### 7.4.3.2 話者間の比較

手の動きの表出に関する話者間の比較結果は表7-15、表7-16と表7-17のように示している。まず、「指す」動作の使用に、特に言語の側面では不同意を非明示的に表明する際

の「指す」動作の使用が、JF はほかのグループの話者に比べて有意に多く使われていることが分かった。具体的な使用比率上の差異は図 7-5 に示している。そのため、JF の「指す」動作の使用傾向は、前節に述べた日本語母語話者の傾向と一致している。一方、態度を強く伝達するための「叩く」動作は、JF は他のグループの話者に比べて有意に少なく、特に不同意を明示的に表明する際に少なく随伴されていることが見られた(図 7-6)。それに対し、CF は相手の提案を示した写真を強く推し捨てる動作で不同意の態度を強調するのが有意により多い(図 7-7)。

表 7-14 「非明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果(言語間の比較)

	日本語	中国語
指す	40	24
叩く	59	45
動かす	27 ▽ *	35▲ *

▲有意に多い、▽有意に少ない

\*p<.05

以上のように、手の動きの表出に女性同士の間の違いが目立つということが窺えた。

表 7-15 手の動きの使用回数と残差分析の結果(話者間の比較)

	JM	JF	CM	CF
指す	57 ns	43 ▲ **	80 ns	32 ▽ *
叩く	86 ns	33 ▽ **	126 ns	62 ns
動かす	36 +	26 ns	65 ns	43 ▲ *

▲有意に多い、▽有意に少ない

+p<.10 \*p<.05 \*\*p<.01

表 7-16 「明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果(話者間の比較)

	JM	JF	CM	CF
指す	40	20	65	23
叩く	48 ns	12 ▽ **	99 ns	44 ns
動かす	20	15	48	25

▽有意に少ない \*\*p<.01

表 7-17 「非明示的表明」に伴う手の動きの使用回数と残差分析の結果(話者間の比較)

	JM	JF	CM	CF
指す	17 ns	23 ▲ **	15 ns	9 ns
叩く	38	21	27	18
動かす	16 ns	11 ns	17 ns	18 ▲ *

▲有意に多い \*p<.05 \*\*p<.01

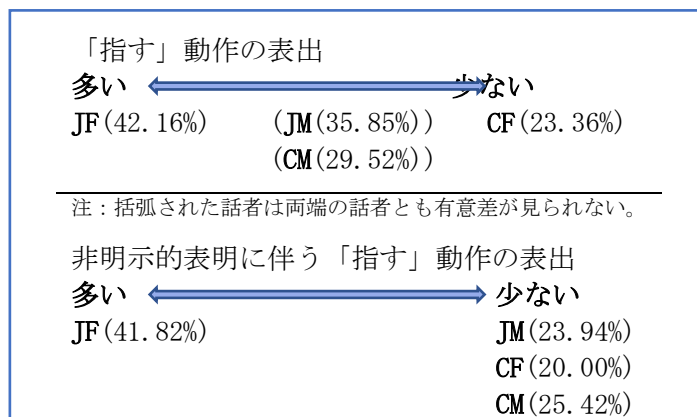


図 7-5 「指す」動作の表出に関する話者間の差

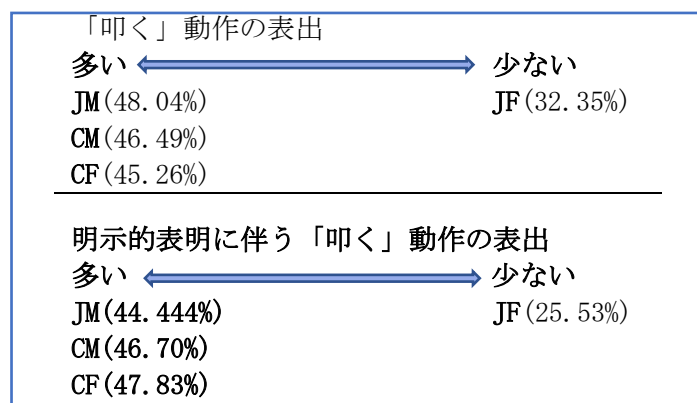


図 7-6 「叩く」動作の表出に関する話者間の差

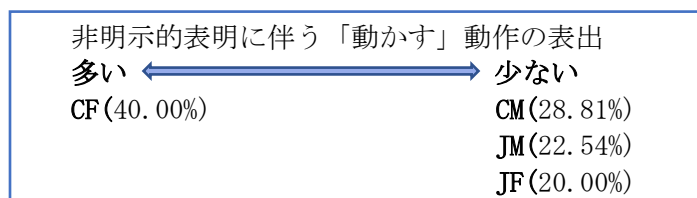


図 7-7 「動かす」動作の表出に関する話者間の差

#### 7.4.4 空間別表出

##### 7.4.4.1 発話領域と動作の表出空間

###### 7.4.4.1.1 不同意表明の発話領域

3.3.2.2 節では、不同意表明の発話内容から、不同意表明の発話領域を「話者の主張領域」、「相手に関わる主張領域」、「相手接近領域」に分けている(表 3-10 を参考)。「話者領域」の発話とは自分の提案に対する意見陳述により相手の考えを結果的に否定する発話のことである。「相手領域」の発話と「相手接近領域」の発話はそれぞれ、相手の提案とそれに関する意見に向けて攻撃的に不同意を表明する発話と、攻撃性が弱い不同意表明発話のことである。

#### 7.4.4.1.2 手の動きの表出空間

身ぶりを行う人の前にある空間について、McNeill(1992)はそこを「ジェスチャーの空間」(gesture space)であると規定した。対面コミュニケーションを行う人間は誰でも、他のコミュニケーション参加者との間に相互に維持しようとする自分の空間がある(ブァーガス, 1987)。本研究は、主に対象物の写真に対する動作(机に対する動作も含まれる)に限定し、考察するために、図 7-8 のように身ぶりの空間を「話者空間」と「相手空間」に分けることにした。

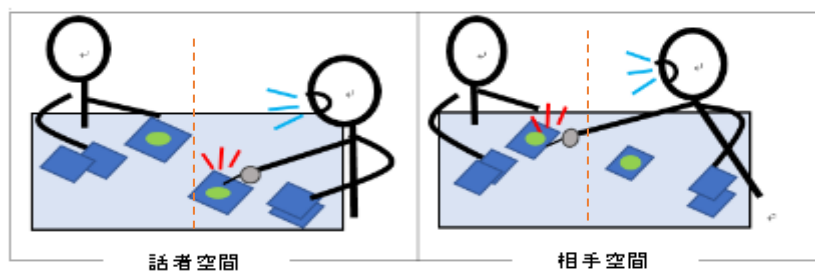


図 7-8 手の動きの表出空間

#### 7.4.4.1.3 発話領域と動作の表出空間の関連

「話者領域」の発話に伴う動作が全部「話者空間」で産出されるのと違い、「相手領域」の発話と「相手接近領域」の発話に伴う動作は、「話者空間」と「相手空間」の両方にも産出される。そのため、特に「相手領域」の発話に伴う「相手空間」で産出された動作は、相手の領域を侵害する行為だと見なすことができる。

#### 7.4.4.2 言語間の比較

表 7-18 に示したように、「相手領域」の発話に伴った動作は、「相手空間」と「話者空間」のどちらで表出されるのかに関して有意差が見られた ( $\chi^2=7.390$ ,  $df=1$ ,  $p=.007$ )。中国語母語話者は相手の領域を犯す言葉と共に、手の動作をも「相手空間」に侵入して表出し、「強い不同意」を伝える傾向がある。一方、日本語母語話者は言葉には相手の領域を侵害しても、動作には相手の領域に踏み込む動作を控える特徴が窺えた。Hall(1966)では、対人的距離空間を、親密距離(intimate distance)、固体距離(personal space)、社会距離(social distance)などに分類している。これらの対人距離はコミュニケーションによってふさわしい対人距離が存在していることを示唆した。その中で、親密距離は身体が触れ合うことの出来るくらいの距離である 45cm 以内とされ、固体距離は自分の縄張りに相当する距離帯であり、45cm から 120cm であるとされる。また、Hall は、ごく親しい人以外が親密距離を侵したりすると、警戒心や不安感が生じることになると報告している。図 7-8 に示したように、手の動きを「相手空間」で産出しようとする場合、身体を前傾し、相手との対人距離を縮小する。しかし、領域が侵害された方は相手の侵入に対する警戒心や不安感が観察されていない。そのため、親密さを有することが背景にあるため、相手の領域を侵入することを気遣う必要がないと言えるだろう。このことから、日中とも調査協力者が親しい友人同士であっても、中国語母語話者の方が相手との関係がもっと近くて親しいと見なすことができる。

また、手の動きの種類別を見ると、表 7-19 に示したように「指す」動作は日中両言語と



もに「相手空間」を侵害するときに多く使われている。相手の提案とそれに関する意見に向けて攻撃的に否定する場合、「指す」動作は中国語では100.00%、日本語では73.91%の頻度で「相手空間」で表出されたためである。それ以外では、中国語のほうには、「動かす」動作も「相手空間」を侵害するときに多く使われている(89.74%の頻度)。他方、日中両言語とも、「叩く」動作はより多く「話者空間」で表出されている。日本語では7割以上、中国語でも半数以上見られる。しかし、「話者空間」での「叩く」動作は、日本語では相手の提案と同じ内容の対象物(写真)を自分の手前に置き、それに対する1回打つ動作が多い。それに対し、中国語では「話者空間」の机を連続的に打つ動作が多い。この結果から、「相手空間」に侵入した「動かす」動作だけでなく、「話者空間」での「叩く」動作も「強い不同意」を伝えていると考えられる。

表 7-18 手の動きの空間別の表出状況(単位：回(頻度))

	日本語	中国語
相手空間	51 (53.68%)	127 (70.17%)
話者空間	44 (46.32%)	54 (29.83%)
計	95 (100.00%)	181 (100.00%)

表 7-19 手の動きの種類別と空間別の対応表出状況(単位：回(頻度))

	日本語			中国語		
	相手空間	話者空間	計	相手空間	話者空間	計
指す	34 (73.91%)	12 (26.09%)	46 (100.00%)	54 (100.00%)	0	54 (100.00%)
叩く	10 (27.78%)	26 (72.33%)	36 (100.00%)	38 (43.18%)	50 (56.82%)	88 (100.00%)
動かす	7 (53.85%)	6 (46.15%)	13 (100.00%)	35 (89.74%)	4 (10.26%)	39 (100.00%)

#### 7.4.4.3 話者間の比較

表 7-20 手の動きの空間別の表出回数と残差分析の結果

	JM	JF	CM	CF
相手空間	37	14 ▽ **	83	44
話者空間	24	20 ▲ **	39	15

▲有意に多い、▽有意に少ない \*\*p<.01

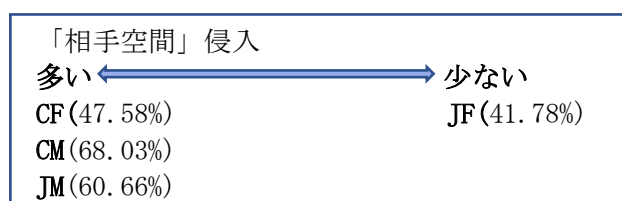


図 7-9 「相手空間」侵入に関する話者間の比較

---

「相手空間」に侵害する手の動きについて、JF の使用比率はほかのグループの話者と有意に異なっていた ( $\chi^2(3) = 11.751, p < .01, \text{Cramer's } V = 0.206$ ) (表 7-20)。具体的な使用比率上の差異は図 7-9 に示している。

#### 7.4.5 考察—「自己志向」と「他者志向」

手の動きに関して、本節は男性同士の会話についても分析を行った。言語間の比較に女性同士の会話のみに対して分析を行った趙(2019)と一致する結果が得られた。趙(2019)は、手の動きから分かった日・中母語話者のそれぞれの特徴を「自己志向」と「他者志向」の欲求<sup>77</sup>の角度から考察した。その考察を本節の分析結果にも適用される。

日本語母語話者は相手に対する働きかけが弱い「指す」動作を多用し、明示的に不同意を表明する発話の場合は、不同意の気持ちを強調する手の動きの使用を控え、さらに、非言語行動をできるだけ話者の領域内に抑えるといった特徴が窺えた。つまり、非言語的には「他者志向」を目指す対人的な配慮行動を採用していることがわかる。それに対し、中国語母語話者は、相手に対する働きかけがより強い「叩く」と「動かす」動作を多用し、明示的に不同意を表明する発話の場合、さらに不同意の気持ちを強調する手の動きの使用を加え、また、相手空間に侵入して動作をするといった特徴が明らかになった。このことから、中国語母語話者は自分の気持ちの伝達を重視する「自己志向」の特徴をもつこと明らかになった。

趙(2019: 27)

### 7.5 視線に関する結果と考察

#### 7.5.1 視線行動の表出状況

日本語では 591 件、中国語では 685 件の不同意表明発話が抽出された。発話に伴う視線行動は表 7-21 のように分布している。日本語では、8 タイプの中で、「OFF→OFF」タイプの表出頻度は過半数(53.81%)になっている。他の 7 タイプの中で、「OFF→ON」と「OFF→ON→OFF」タイプが上位 2 位として、それぞれの表出頻度は 19.12%と 12.01%である。それに対し、中国語は日本語のような両極分化の状況にならず、上位 3 位は「OFF→OFF」(35.62%)、「OFF→ON」(25.69%)、「ON→ON」(17.08%)によってなされている。これより、視線行動の表出における日中両言語の異同点が見られた。共通点としては以下の 2 点が確認された。第 1 に、「OFF→OFF」タイプの視線行動が両言語のどちらにおいても 1 番多く行われている。第 2 に、表出頻度の上位 3 位となる視線行動は合わせて全体的な視線行動の 8 割前後を占めている(日本語では 84.94%、中国語では 78.39%)。相違点としては、第 1 に、日中両言語それぞれの表出頻度が上位 3 位の視線行動によって日本語の使用比率は中国語

---

<sup>77</sup> 河(2012)によれば、社会における自己と他者との関係は共存的・依存的であるがゆえ、相互行為における言語または非言語行動の内的要因の心理的欲求は、「自己志向」と「他者志向」の 2 つの欲求を併せ持つことになるという。すなわち、自己の領域を求め、心理的に自己に対する配慮を優先する自己志向と他者との肯定的な関係を求め、心理的に他者との調和を重視する他者志向を持つという 2 つの方向がある。

の使用比率と有意に異なっていた( $\chi^2(3) = 85.679, p < .01$  Cramer's  $V = 0.278$ ) (表 7-22)。日本語は中国語に比べ、「OFF→OFF」と「OFF→ON→OFF」タイプが有意に多く、中国語は日本語に比べ、「OFF→ON」と「ON→ON」タイプが有意に多く表出されることが分かった。第 2 に、全体のタイプの発話末の視線行動は日本語のほうが「OFF」、中国語のほうが「ON」が多い(表 7-23)。

表 7-21 不同意表明発話における視線行動のタイプの表出状況(単位：件(頻度))

	ON→ON	OFF→OFF	ON→OFF	OFF→ON	ON→OFF →ON	OFF→ON →OFF	OFF→揺 らぎ→ OFF	OFF→揺 らぎ→ ON	計
日本語	29 (4.91%)	318 (53.81%)	5 (0.85%)	113 (19.12%)	8 (1.35%)	71 (12.01%)	20 (3.38%)	27 (4.57%)	591 (100.00%)
中国語	117 (17.08%)	244 (35.62%)	7 (1.02%)	176 (25.69%)	35 (5.11%)	37 (5.40%)	9 (1.31%)	60 (8.76%)	685 (100.00%)

表 7-22 日・中言語それぞれ上位 3 位の視線行動に関する残差分析の結果

	日本語	中国語
ON→ON	29 ▽ **	117 ▲ **
OFF→OFF	318 ▲ **	244 ▽ **
OFF→ON	113 ▽ **	176 ▲ **
OFF→ON→OFF	71 ▲ **	37 ▽ **

▲有意に多い、▽有意に少ない

\*\* $p < .01$

表 7-23 不同意表明発話の発話終了時の視線行動(単位：件(頻度))

	日本語	中国語
ON	177(29.95%)	388(56.64%)
OFF	414(70.05%)	297(43.36%)
計	591(100.00%)	685(100.00%)

視線行動に関する代表的な研究として、Kendon(1967, 1981)、Duncan(1974)、Argyle & Cook(1976)は、視線が話者交替と密接な関連があると報告している。つまり、話が終了する時点で、発話権を聞き手に渡す合図として聞き手に視線を向ける。これによって会話がスムーズに進行することが保証できる。日本語母語話者の視線行動について分析した深澤(1999)、榎本・伝(2011)、井上ら(2014)等でも、発話末の視線が話者交替を引き起こす影響因子として、自分の発話が終了するときには相手に視線を向けることが多いと指摘している。しかし、表 7-23 に示したように、不同意表明発話に伴う視線行動は発話が終了する時点で、日本語では 7 割ほどが相手に向いていないことが観察できた。その結果からは、話者交替以外に他の要素が影響している可能性があるといえるだろう。

そこで、この問題意識に基づき、視線行動に影響する要素を検討ことにした。

## 7.5.2 視線行動の影響要素

### 7.5.2.1 話者交替の観点の視線行動

#### 7.5.2.1.1 発話終了時の視線「ON」の要因

話者交替の観点から見ると、発話が終わるあるいは終わろうとする時点で相手に視線を向けることは、1) どの話者に発話を向けているかを明確にする機能、2) 自分の発話に対する相手の反応を確かめる機能、がある。この2種類の機能は Kendon(1967)ではそれぞれ「調整機能(regulatory function)」と「モニター機能(monitors function)」として捉えている。本研究では2者間の対話が分析の対象であるため、この2つの発話末の視線行動の機能を1つに統合することができ、「モニター機能」にする。

不同意表明発話に伴う視線行動の中で、「モニター機能」を有する視線行動はいつも<確認>や<意見要求>機能の発話、または「笑い」に伴われる場合が多い。例えば、会話例7-8において、話者Aは自分の提案「布団」を擁護することにより不同意を表明する際に、発話末に「じゃない↑」という確認の発話を発した。それに伴う視線は「寝るときさ、背中痛い」という理由を述べる際の「OFF」から相手に向ける「ON」に転換した。同様に、例7-9における中国語母語話者も、不同意の気持ちを「反語文」<sup>78</sup>の形で発話を終了するときに、視線行動をわざと「ON」に転換した。これについて、「共通認識喚起」<sup>79</sup>のストラテジーの不同意表明発話を例にして、発話末の視線行動を量的に把握する。表7-24のように、「共通認識喚起」ストラテジーの発話末に伴われる視線行動は日中両言語のどちらにおいても66%程度が「ON」であるという結果が得られた。つまり、<確認>機能の不同意表明発話の末に伴う視線行動を代表として分析の結果、話者交替の合図としての視線行動には、日中両言語の間に差が見られない。

会話例7-8：(視線 OFF：波線、視線 ON：網掛け)

発話・話者・発話内容	発話機能
→78 JF06A え、 <u>でもさ、寝るときさ、背中痛いの</u> いやじゃない↑	主張・反論
79 JF06B h h なんて一周回ってそれなん< h h h h h h >{<}	否定

会話例7-9：(視線 OFF：波線、視線 ON：網掛け)

発話・話者・発話内容	発話機能
→12 CM07B <但是>{>}你 <u>饿了没有精神，你整天困的话</u> 你怎么能学习呢?	主張・反論
( <u>でも あなたが お腹がすくと元気がなく、眠かったら どうやって勉強するの?</u> )	
13-1 CM07A 古人，古人云，画饼充饥，那不是吗。画饼充饥[[, (昔は、絵にかいた餅で飢えを凌ぐという話がある。それでいいよ。絵にかいた餅で飢えを凌ごうとすること[[,、)	否定

<sup>78</sup> 中国語では、反語文とは、言いたいことをあえて反対の形(特に否定形)で示し、言いたいことを強調する文のことである。「难道～吗?(まさか～ではあるまいな?)」「怎么能～(どうして～か?)」「不是/没～吗?(～じゃないの?)」などがある。

<sup>79</sup> 第6章にポジティブ・ストラテジーに分類した「共通認識喚起」は相手が自分と同じ認識を持つことを促すための<確認>機能を有する不同意表明発話である。確認するための文末表現としては「～よね」・「～ね」・「～でしょ」/「～吧?」「～, 是吧?」「～, 对吧?」がある。

表 7-24 「共通認識喚起」 ストラテジーの発話末の視線行動(単位：件(頻度))

	ON	OFF	計
日本語	37 (66.07%)	19 (33.93%)	56 (100.00%)
中国語	28 (66.67%)	14 (33.33%)	42 (100.00%)

#### 7.5.2.1.2 発話終了時の視線「OFF」の影響要素

話者交替の合図として、発話が終了するときには相手に視線を向けることが日中両言語とも多いことが分かった。その反対に、発話が終了するときには話者交替の合図を相手に与えない状況が何かあるのか。本調査では、「帰属節の省略による話者の主動の発話中断」と「相手の動作への注目」の2つの状況が観察された。

##### (1) 「帰属節の省略による話者の主動の発話中断」

「帰属節の省略」については、任(2002)では断り発話を例として説明した。「いやいや、私ちょっと今日約束があるんで」のような断り発話では、理由節のみで見られたが、「だめです」のような帰属節が省かれていた。断りの強い気持ちを避けようとするため、発話を最後まで言い切らず、その発話に伴う視線も「OFF」になる傾向があると指摘している。不同意表明の場合、「言いさし」で不同意の意図を最後まで言い切らない発話もある。第6章ではそれを「意見の不完全叙述」ストラテジーとして捉えている。「意見の不完全叙述」ストラテジーを例として、そのような発話の発話末の視線行動はどうだろうかを見てみると、表 7-25 の結果となった。日本語では8割ほど、中国語でも7割近くは発話末の視線行動が「OFF」であることが分かった。つまり、言語上の工夫と共に、視線行動も強い不同意を避ける手段として日中両言語とも多く使われていることが確認できた。

表 7-25 「意見の不完全叙述」 ストラテジーの発話末の視線行動  
(単位：件(頻度))

	OFF	ON	計
日本語	41 (80.39%)	10 (19.61%)	51 (100.00%)
中国語	22 (66.67%)	11 (33.33%)	33 (100.00%)

例えば、会話例 7-10 では話者 A の提案「薬」に対する不同意表明をする際に、「薬寄付ってね」だけで不同意の意図を提示したが、「あまりない」という帰属節を省いた(ターン 125 の発話 4))。この「言いさし」文に伴う視線行動は始終的に「OFF」である。

#### 会話例 7-10：(視線 OFF：波線)

発話・話者・発話内容	発話機能
124 JF04A Øイベントやったら服やわ<h>	肯定(話者 B の提案)
125 JF04B 1) そっか。今よん、読んで思った。 2) 寄付するイベントね。「各自必要だと思うものを 3 種類選んでください」[指示を読んでいる](hh)、か、 3) じゃ、これかな。	注目表示 情報提供
→ 4) <u>薬寄付ってね</u> =	意向の表明
126 JF04A =あんまねえ。	否定(話者 A の提案) 受け入れ

## (2) 「相手の動作への注目」

話者交替をしようとするとき、相手は発話の準備のため、話題となる対象物(写真)を持ち上げるような目立つ動作をする場合がある。そのため、「相手の動作への注目」とは、現時点の話者は相手の動作に目を奪われ、その動作が作用した対象物を見ながら発話を終了することである。会話例 7-11 のような、「対不对(よね)」などの確認をするための形式で発話を終わる場合、前述の「話者交替の合図」の影響で、視線は「ON」である率が高いが、この例文において「OFF」である。その影響要素としては、話者交替をしようとするときの「相手の動作への注目」だと考えられる。例 7-11 では、話者 A の不同意表明発話の後半に、相手は「食べ物」を載せた写真を持ち上げる動作を始めた。ほとんど同時に、話者 A は相手の動作に目を奪われ、発話の最後まで視線を相手の動作に注視している。

しかし、この影響要素による発話は日本語では 3 件、中国語では 7 件に過ぎなく、重要な影響因子ではないと言える。

### 例 7-11 : (視線 OFF : 波線)

発話・話者・発話内容	発話機能
→84 CM07A 吃的, 哎↓: : , 吃的不一定 要吃那个对不对? (食べ物、うん: :、必ずしもあのようなものを 食べなくてもいいよね?) 視線を相手の動作に注視	否定
85 CM07B 它只是..., 其中一部分, 它只是列了一部分, 其他没有列。 (これはただ…、一部だけ挙げているの、ほかなのは挙げて いない。)	主張・反論

#### 7.5.2.2 発話志向の観点の視線行動

前節に述べたように、話者交替の観点からの分析では、発話終了時の視線「ON」の要因に対する分析も、「OFF」の影響要素に対する分析も、日中両言語の間に差がないあるいは差が大きくないことが分かった。そのため、表 7-21 の結果となる可能性が高い影響要素はほかにまた何かあるということが窺えた。

##### 7.5.2.2.1 発話志向

視線行動を話者交替の観点から捉える場合、視線の対象は話者だけに限定されている。しかし、本研究の調査では視線行動に影響がある目に見える対象は話者 2 人だけでなく、提案を載せた写真(ロールプレーカード)にも視線を向ける場合がよくある。そこで、本節では、対象物をも視線行動の影響要素として、「発話志向」の観点から視線行動を捉えてみる。「発話志向」を、坊農(2008)の「叙述的視点」と「相互行為的視点」<sup>80</sup>に基づき、「表現主体の話者が聞き手あるいは対象のどちらかに志向して発話をする」と規定する。また、Kendon(1967)では視線の機能は前節に述べた話者交替と関わる「モニター機能」と

<sup>80</sup> 坊農(2008:62)では、「叙述的視点」とは、話し手が認知した対象や対象世界を言語表現や非言語表現にして述べる、つまり、認知したことを言語や非言語的手段で表現する視座。「相互行為的視点」とは、叙述的視点でプランされた言語・非言語的手段による表現を聞き手に円滑に理解させるために、調整し伝達する視点であると述べている。

「調整機能」のほか、「感情表出機能(expressive function)」があると報告している。「感情表出機能」とは、感情表出を中心とする対人的態度の表出する機能であるという。

これらをもとに、「発話志向」を「叙述志向」、「相互行為志向」と「感情表出志向」に分類する。また、表 7-26 に示したように、「発話志向」は不同意表明発話に伴う手の動きと視線行動に基づいた総合的な判断である。その中で、「叙述志向」は、意見そのものを述べることに重点を置いたため、発話の対象の写真に手の動きがあるか否かによって 2 区分されているが、視線は始終に意見陳述の対象に向いていることが観察された。「相互行為の志向」と「感情表出志向」は、ともに不同意の態度の伝達と理解に重点を置いたものであるが、視線が相手に向けられている際に手の動きが伴われるかどうかによって区分されている。その中で、「相互行為の志向」は話者交替の観点の「話者交替の合図」と同じことである。

表 7-26 「発話志向」の分類基準

	手の動き	視線の向き	視線行動
叙述志向	あり	対象物	OFF→OFF
	なし	ジェスチャー空間 あるいは対象物	OFF→OFF
相互行為志向	なし (視線「ON」しているとき)	聞き手	OFF→ON
感情表出志向	あり (視線「ON」しているとき)	聞き手	OFF→ON
	関係なく	聞き手	ON→ON

#### 7.5.2.2 「OFF→OFF」タイプ形成が可能となる要素

表 7-26 から、発話の全体にわたって視線が全く相手に向いていない「OFF→OFF」行動は、「叙述志向」が要因であることが分かった。また、意見の陳述に重点を置いたとき、意見を載せた写真に対して手の動きがあるかどうかによって視線配布の対象が変わる。手の動きが伴われる場合、視線はその対象物に配布される。手の動きが伴わない場合、視線は対象物に配布される場合もあるが、話者と相手の間の空間で視線を交替するケースが多い。このような場合の視線配布の対象を「ジェスチャー空間」と呼ぶ。この 2 つの視線配布の状況を「叙述志向の対象物に視線配布」と「叙述志向のジェスチャー空間への視線配布」に命名して分析すると、日本語では「叙述志向のジェスチャー空間への視線配布」が、中国語では「叙述志向の対象物に視線配布」が有意に多いという傾向が見られた( $\chi^2 = 10.914$ ,  $df = 1$ ,  $p = .001$ ) (表 7-27)。

「叙述志向の対象物に視線配布」は先に述べたように、不同意の態度を強調したり、補助する手の動きがあるので、話者の視線も対応してその対象物に配布するのである。この場合の視線行動は話者の態度の伝達や対人関係の維持に特に意味がないものとして捉えることができる。一方、「叙述志向のジェスチャー空間への視線配布」では視線を奪う手の動作が見られない。そのため、発話が終了するときに相手に向けるのが一般であるが、なぜ相手に向けないのか。断り発話に伴った視線行動を分析した任(2002:190)では、日本人にとって断ること自体は思いやり、気配りに反することになるため、自然に申し訳ない気

持ちが働いて相手の顔を見られなくなると述べている。この特徴は言い難いことを述べる不同意表明場面でも同様に浮き彫りになるのではないかと考えられる。つまり、中国語母語話者に比べ、日本語母語話者は不同意表明を思いやり行動だと思うのが有意に高い。

これらのことから、「OFF→OFF」タイプが形成される要素には、「手の動きと対応するための視線配布」と、「思いやり行動による視線回避」の2つの可能性が高いことが分かった。「思いやり行動による視線回避」は視線「OFF→OFF」タイプの影響可能な「文化的価値観要素」(渡辺, 1985)として捉えられる。

表 7-27 「叙述志向」の視線配布(単位:件(頻度))

	日本語	中国語
叙述志向の対象物に視線配布	131 (42.39%)	129 (56.83%)
叙述志向のジェスチャー空間への視線配布	178 (57.61%)	98 (43.17%)
計	309 (100.00%)	227 (100.00%)

#### 7.5.2.2.3 「OFF→ON」・「ON→ON」タイプ形成が可能となる要素

表 7-26 から、発話が終了する時に、あるいは発話の始めから終わりまで相手に視線を向ける「OFF→ON」と「ON→ON」行動は、「相互行為志向」と「感情表出志向」が要因であることが分かった。その中で、「相互行為の志向」は、発話が終了する時に相手を見て発話権を渡そうとする話し手の行為に対し、聞き手はその合図を受け入れて発話を開始するということである。つまり、話者交替の観点の「話者交替の合図」と同じことである。「話者交替の合図」に対する分析(7.5.2.1.1 節)から、発話終了の相手に向ける(「OFF/ ON→ON」)行動に日中両言語の間に差が見られない結果になった。

そのため、表 7-23 の「OFF→ON」・「ON→ON」視線行動が中国語母語話者は有意に多く行われる原因は「感情表出志向」と関わることが分かった。「OFF→ON」タイプの「感情表出志向」の視線配布には手の動きをしながら相手を見るのが特徴である。表 7-28 に示したように、発話終了の近くに視線を「ON」に転換する時、手の動きがまだ続いているのは日本語では 162 件のうち 31 件、中国語では 203 件のうち 74 件があり、有意差が見られた( $p < .01$ )。つまり、日本語母語話者に比べ、中国語母語話者は不同意の態度を視線と手の動きの両方の関連から明示する傾向がある。

表 7-28 「感情表出志向」の「OFF→ON」タイプ(単位:件(頻度))

	日本語	中国語
手の動きがある「OFF→ON」行動	31 (19.14%)	74 (36.45%)
手の動きがある「OFF→OFF」行動	131 (80.86%)	129 (63.66%)
計	162 (100.00%)	203 (100.00%)

また、相手を見ることが多いことについて、飯塚(2004:72)では、視線量が多いときに、強気で自信があり、堂々としているという印象が持たれていると述べている。日韓の断り行動を考察した任(2002)では韓国人は日本人より視線の量が多いと指摘している。また、理由を重んじる韓国人は相手の意に添えない理由を述べながら相手をよく見るのは、自分の本当の気持ちを分かってもらいたいと願う心理が働いているためであると述べている(p. 190)。韓国人の強気を表すための心理は中国語母語話者の不同意表明行動にも適用すると



考えられる。フォローアップ・インタビューの結果には、「是朋友嘛，所以不需要太客气的措辞。(友人同士関係だから、遠慮し過ぎることばをとる必要がない。)」のような回答が得られた。この回答から、中国人の若者友人同士間の遠慮しすぎない仲間意識が分かった。そのため、視線行動においても、日本人のような申し訳ない気持ちが働いて相手の顔を見られなくなるのと違い、理由を重んじる韓国人と近く、不同意の理由を重視する中国人も自信をもって堂々として理由を述べると同時に、視線も堂々として相手に向けるのではないかと考えられる。視線行動に関して、中国人が韓国人と同じように行動していると判断できたのは、日本人、中国人、韓国人を対象として考察した多くの対照研究(金, 2003 ; Choi et al., 2021 等)では、中国人と韓国人は日本人と違う特徴を持っていると指摘しているためである。堂々として理由を述べる行動は「ON→ON」タイプの影響可能な「文化的価値観要素」として捉えられる。

#### 7.5.2.2.4 「OFF→ON→OFF」タイプ形成の可能な要素

発話の途中に相手に向ける視線行動も発話末の視線「ON」と同じく、「相互行為志向」と「感情表出志向」の働きによる行動表現である。

##### (1) 「相互行為志向」の「OFF→ON→OFF」行動

「相互行為志向」による発話途中の視線「ON」は、話者交替の合図を先立ってするモニターと話を継続できるかについてのモニター機能である。その中で、話者交替の合図に先立ってする表現としては引用助詞「と」の使用が挙げられる。詹(2014)などに指摘されたように、「と思う」と言う前に発話の情報伝達が実質上に完了していた。そのため、発話終了の時に視線を避ける傾向がある日本語母語話者は、引用内容の発話の末に視線を「ON」にして、引用助詞からはまた「OFF」に転換する傾向が見られた。例えば例 7-12 の a と b の発話のように、「っていう精神である」・「って感じる」の引用助詞「って」は視線転換のきっかけである。引用文型を含め、c のような発話も「命題」と「モダリティ」の 2 部分によって構成されている。このような発話が全体的に 1 つの発話として捉えられる場合、発話末の視線は「OFF」であるが、実際には話者交替の合図を命題そのものの発話が終わる時点で相手に与えた。

その他、例 7-13 のような倒置法で表現した発話も判断の結果を発する際に視線を「OFF」から「ON」に暫く転換し、話者交替の合図を与えたり相手の反応を確認する。その後には補充した理由を述べる時にまた視線を回避した。

#### 例 7-12 : 命題+モダリティの発話例 (視線 OFF : 波線、視線 ON: 網掛け)

- a 19 JM06A そうなんだよな、でも、飲み物で何とかなる んじゃね っていう精神でおる。
- b 80 JF07A <飲み物>{>}やったらまだ あれかな <って感じ>{<}
- c 73 JM02A でも、「バファリン」とか 小さい子飲めないから ね h h h

#### 例 7-13 : 倒置法の発話例 (視線 OFF : 波線、視線 ON: 網掛け)

- a 34 JM09B 最悪裸でも いい (h h h) 、最低限の生活だ<から>{<}

---

b 78 JF07A だってさ、普通に、国によっ、国によって(うん)あるのかな と思った、  
食べ物やったら

---

そして、話を継続できるかについてのモニターの表現としては、「言い換え」、「不同意の予告」が見られた。例7-14は「言い換え」がある発話例である。発話の途中、適当な言葉を考え出せないときに、「就是(なんていうの/つまり)」のようなメタ言語表現<sup>81</sup>を口に出した<sup>82</sup>。この言葉が発されると同時に視線も「OFF」から「ON」に転換し、また、その言葉の終わりの時点で視線はまた「OFF」に戻した。それに対し、日本語では「というか(っていうか)」・「なに」・「なんていうの」のような何かを言うべきかという適当な言葉を考えるマーカーが発されると同時に同じく視線の変化が見られた。

例7-14：言い換えの発話例(視線 OFF：波線、視線 ON：網掛け)

---

28 CF09A 嗯、住的... 有没有什么具体我想, 就是, 比如说怎么送去怎么弄啊  
什么的。  
(うん、住むところ... なにかあるのか、なんていうの、例えばどのように運送  
したらいいとか)

---

「不同意の予告」は、例7-15に示したように、「たら」のような条件表現や、「とか」のような列挙表現などで条件を限定することにより、これからその条件について反対あるいは反論の態度を表明することを予告することである。その際の視線は「OFF」から「ON」に暫く転換し、相手の反応を確認する特徴が見られた。また、発話例 d のような、特に「たら(…的話)」のような明確な条件表現がない条件文である場合、発話の間に視線を「ON」に暫く転換するケースもある。

例7-15：不同意の予告(視線 OFF：波線、視線 ON：網掛け)

---

a 107 JF04A えっ、あのさ(hhh)1 だけど、その、何っていう、暖かさで 考えたらさ(う  
ん)、やったら 毛布でよくないって思わん?

---

b 09 CF05B 要是你没有那个经济基础的 话, 你怎么能, 对吧。  
(もしあなたは経済基盤がなかったら、あなたはどうかやって、だろう)

---

c 10 JM02B 1) ぼく、じゃあ、近いところから(うん)、まあ、比較するのが(うん)、こ  
の消毒か(うん)薬でか(そうやね)で考えたというときに、俺は薬を取  
ったんだけど(うん)  
2) それは、なんか、消毒は、まあ 予防：とか(うん)、そういう(そうや  
ね) 観点だけ(そうそう)

---

---

<sup>81</sup> 李(2020)によると、メタ言語表現とは、表現主体が、自分や他者(相手/第三者)がそれまでに行った、いま行っている、これから行おうとするコミュニケーションに言及する言語表現である。

<sup>82</sup> 「就是(なんていうの)」というメタ言語は中国語の会話でよく見られるが、面白いことに、「ON→OFF→ON」タイプの発話途中に「就是(なんていうの)」が発されると共に視線は「ON」から「OFF」に転換し、「OFF→ON→OFF」タイプの発話途中に発される場合に視線は「OFF」から「ON」に転換する。つまり、こういうメタ言語は発されると共に視線行動は変えるということが分かった。

d 43-1 CM07A 我告诉你, 要是, 呃, 你运输的当, 过程当中, 运输时间太长了, 过期了怎么办?  
 (1 つ分かってほしいが、もし、うん、運送の途中、運送に時間が  
 かかりすぎ (たら)、賞味期限が過ぎたらどうする?)

(2) 「感情表出志向」の「OFF→ON→OFF」行動

Argyle & Cook (1976) に指摘されたように、話者は特定の語句を強調したり、発話を説得的にしたりするとき、聞き手のほうに見続ける。そのため、「感情表出志向」の発話途中に視線「ON」になる特徴としては、強調したい箇所の長さに応じて一瞥で止まる場合もあるし、長く見続ける場合もある。さらに手の動きが伴う場合もある。その場合、手の動きが視線配布の前から始まることもあるし、視線配布が始まってからもまだ継続する場合もある。つまり、不同意の意見のどの部分を強調したいか、どの内容が相手に受け入れてほしいか、話者の意志によって決まったものであるため、「相互行為志向」の視線配布のような規則的な文法的な特徴がない。このような無秩序な視線行動の影響要素を「話者にとっての発話重点」にする。例えば、例 7-16 の a の場合、不同意の気持ちの度合いを強調するので、「絶対」を発しようとするときから相手を見て、発話が終了になると視線も相手から離れた。それに対し、例 7-16 の b の場合、不同意の理由や根拠は話者の強調の対象となるため、「小さい子供飲めないから」の発話文全体において、視線が「ON」の状態を保たれている。

例 7-16 : (視線 OFF : 波線、視線 ON : 網掛け)

a 64 CF03B 捐, 捐水 绝, 绝对 很 low  
 (水を寄付するのは、絶対 ありえない)

b 73 JM02A でも、「バファリン」とか 小さい子供飲めないから ね h h h

以上で述べた「OFF→ON→OFF」視線行動の影響要素は、表 7-29 のように分布している。これらの要素によって日中両言語の使用比率は有意に異なっていた ( $\chi^2(3) = 20.298$ ,  $p < .01$ , Cramer's  $V = 0.440$ )。そこから、全体的な視線行動の中で、「OFF→ON→OFF」タイプが日本語母語話者に有意に多く表出される原因が分かった。それは「話者交替の合図の先だつて」と「不同意の予告のモニター」の有意に多く行われることと関わっている。

表 7-29 「OFF→ON→OFF」タイプの影響要素と残差分析の結果

	相互行為志向			感情表出志向	計
	話者交替の合図 の先だつて	話を継続するモニター		話者にとっての 発話重点	
		言い換えの モニター	不同意の予告 のモニター		
日本語	20 ▲ **	10 +	22 ▲ *	16 ▽ **	68
中国語	2 ▽ **	11 +	4 ▽ *	20 ▲ **	37

▲有意に多い、▽有意に少ない  
 +p<.10 \*p<.05 \*\*p<.01

### 7.5.2.3 小括

以上の分析を通し、視線行動に対する比較の結果と形成可能の原因が分かった。結果と理由を対照しながら以下のようにまとめることができる。

- 1) 結果 1: 「OFF→OFF」タイプの視線行動が両言語のどちらにおいても一番多く行われている。

理由：視線行動に影響がある目に見える対象は、話者 2 人以外、提案を載せた写真（ロールプレーのカード）がある。写真あるいは写真周辺の空間を見ながら不同意の意見を出すのは日中両言語とも一番多い。

- 2) 結果 2: 中国語に比べ、日本語では「OFF→OFF」と「OFF→ON→OFF」タイプの視線行動が有意に多く行われている。

理由：中国語母語話者に比べ、日本語母語話者は不同意表明を思いやり行動だと見なすのが有意に多いため、発話全体及び発話末での視線は相手を回避している（「文化的価値観要素」）。それに対し、中国語母語話者の「OFF→OFF」タイプは不同意の態度を強調したり、不同意の意図を補助したりする手の動きの動作対象に配布するためである。態度の伝達と対人関係の維持に特に意味がない。一方、日本語母語話者は発話末で相手を回避しているが、発話の途中で相手の反応を確かめるモニター行為が有意に多く行われている。その中で、話者交替の合図に先立ってするモニターと、話を継続できるかという不同意の予告モニターが有意に多く使われている。

- 3) 結果 3: 日本語に比べ、中国語では「OFF→ON」と「ON→ON」タイプの視線行動が有意に多く行われている。

理由：日本語母語話者に比べ、中国語母語話者は不同意の態度を視線と手の動きの両方の関連から明示する行動を有意に多く行う。また、「文化的価値観要素」の影響も大きい。つまり、不同意表明は堂々とした行動だと見なす場合、視線も堂々と相手に向ける。「OFF→ON→OFF」タイプの発話の途中の視線「ON」も、不同意の態度の強調や、相手を説得するために表出されたものである。

### 7.5.3 視線行動の表出に関する話者間の比較

表 7-30 に示したように、「ON→ON」、「OFF→OFF」、「OFF→ON」、「OFF→ON→OFF」の 4 つのタイプの表出によって、日中両言語の使用比率が有意に異なっていた ( $\chi^2(9) = 103.142, p < .01, \text{Cramer's } V = 0.176$ )。その中で、「ON→ON」と「OFF→OFF」タイプの視

表 7-30 話者間の視線行動タイプの分布と残差分析の結果

	ON→ON	OFF→OFF	OFF→ON	OFF→ON→OFF
JM	12 ▽ **	159 ▲ **	50 ▽ **	49 ▲ **
JF	17 ▽ **	159 ▲ **	63 ns	22 ns
CM	62 ▲ **	147 ▽ **	104 ▲ *	22 ▽ *
CF	55 ▲ **	97 ▽ **	72 ns	15 ▽ *

▲有意に多い、▽有意に少ない \* $p < .05$  \*\* $p < .01$

線行動は、男女別見ると、男女を一体にした言語間の比較の結果と同じ傾向を示している。男女とも、日本語母語話者は「OFF→OFF」、中国語母語話者は「ON→ON」タイプを有意に多く表出している。「OFF→ON→OFF」タイプに、JM と JF の間に男女差が見られ、JF は中国語母語話者の男女と同じような振る舞いをしている。この結果になる影響要素を分析した結果、どの具体的な使用比率上の差異は図 7-10 に示した。

「ON→ON」タイプ	
多い ←	→ 少ない
CM (18.51%)	JM (4.44%)
CF (22.01%)	JF (6.51%)
「OFF→OFF」タイプ	
多い ←	→ 少ない
JM (58.89%)	CM (43.88%)
JF (60.92%)	CF (40.59%)
「OFF→ON」タイプ	
多い ←	→ 少ない
CM (31.04%)	JM (18.52%)
CF (30.13%)	(JF) (24.14%)
注：括弧された話者は両端の話者とも有意差が見られない。	
「OFF→ON→OFF」タイプ	
多い ←	→ 少ない
JM (20.68%)	JF (8.42%)
	CM (6.57%)
	CF (6.27%)

図 7-10 有意差がある視線行動タイプの話者間の比較

## 7.6 手の動きと視線行動

ブロズナハン (1988 : 216) では、持続した視線や凝視は他人に対する特別な感心、挑戦、無礼を示す場合があるとしている。持続した視線は本研究において厳密には「ON→ON」タイプである。7.5.2.2.3 節に述べたように、視線と手の動きの両方を使って感情を表明することは「ON→ON」タイプの形成要因の一つである。そのため、発話の際に相手を一貫して見続ける場合、手の動きが伴うかどうか、また、どの発話に作用しているのか、といった要素を総合的に見ると、挑戦を示す行動だと客観的に捉えることができると思われる。

一般に、対象物に対して動作をするときに、視線もその対象物や対象物の周辺に向ける。しかし、動作をする時点で動作した対象物(対象物の周辺)ではなく、相手を見続ける場合、相手に強い態度を伝達し、挑戦的態度があると考えられる。さらに、その場合の不同意表明発話が「明示的表明」である場合、話者が伝えようとする気持ちがさらに強くなる。そのため、発話、動作、視線を結びつけると、「強い不同意」の達成が見られる。

表 7-31 と 7-32 に示したように、動作をする時点で、相手を見ながら不同意を表明する行為は、日本語では 13 件、中国語では 60 件があった。それぞれが手の動きがある不同意表明行為発話(表 7-6)を占める割合は 5.46%と 18.87%であり、有意差が見られた ( $p < .01$ )。その中で、最も強い挑戦を示す行為は、つまり、発話が明示的な不同意表明、手の動きが激しい「叩く」と「動かす」、そして、手の動作をする時点での視線は「ON」であるとい

う 3 つの条件に満たすのは、日本語では 5 件、中国語では 47 件あり、有意差も見られた ( $\chi^2=8.289$ ,  $df=1$ ,  $p=.004$ )。この結果から、中国語母語話者は日本語母語話者に比べ、挑戦を示す不同意表明行為を有意に多く行うことが分かった。

そして、それに関する男女差は表 7-33 のように、JM と JF の会話ではそれぞれ 10 件と 3 件に過ぎなく、手の動きがある不同意表明行為発話(表 7-8)の 6.85%と 3.26%を占め、有意差が見られない。さらに、その中での最も挑戦を示す不同意表明行為(JM は 3 件、JF は 2 件)にも有意差が見られない。一方、CM と CF の会話ではそれぞれ 37 件と 23 件あり、手の動きがある不同意表明行為発話(表 7-8)の 17.45%と 21.70%を占め、有意差がない。しかし、その中での最も挑戦を示す不同意表明行為に関して、CM に 33 件、CF に 14 件あり、挑戦を示す不同意表明行為の 89.19%と 60.87%を占め、有意差が確認された ( $\chi^2=6.702$ ,  $df=1$ ,  $p=.010$ )。

表 7-31 日本語における挑戦を示す不同意表明行為(単位：件)

視線が「ON」である動作 不同意表明発話	指す	叩く	動かす	計
非明示的な表明	1	3	0	13
明示的な表明	4	5	0	

注：太線で囲まれたのは最も強い挑戦を示す不同意表明行為のことである。

表 7-32 中国語における挑戦を示す不同意表明行為(単位：件)

視線が「ON」である動作 不同意表明発話	指す	叩く	動かす	計
非明示的な表明	0	8	4	60
明示的な表明	1	45	2	

注：同上

表 7-33 挑戦を示す不同意表明行為の話者別の内訳(単位：件)

話者による視線が「ON」である動作 不同意表明発話	JM			JF			CM			CF		
	指す	叩く	動かす	指す	叩く	動かす	指す	叩く	動かす	指す	叩く	動かす
非明示的な表明	1	3	0	0	0	0	0	2	2	0	6	2
明示的な表明	3	3	0	1	2	0	0	31	2	1	14	0
計	10			3			37			23		

注：同上

さらに、表 7-33 に、異文化間の話者間の比較に挑戦を示す不同意表明行為は男女同士の間とも有意差が見られ(CM と JM の間： $\chi^2=8.523$ ,  $df=1$ ,  $p=.004$ ；CF と JF の間： $p<.01$ )、また、その中での最も強い挑戦を示す行為は、CM と JM の間に有意差が見られた ( $p<.01$ ) が、JF は中国語母語話者男女とも有意差が見られないといったことが明らかになった。しかし、JF の結果はデータが少なすぎるため、確実と言えない。

異文化間の話者間の比較に関する詳細は図 7-11 に示している。

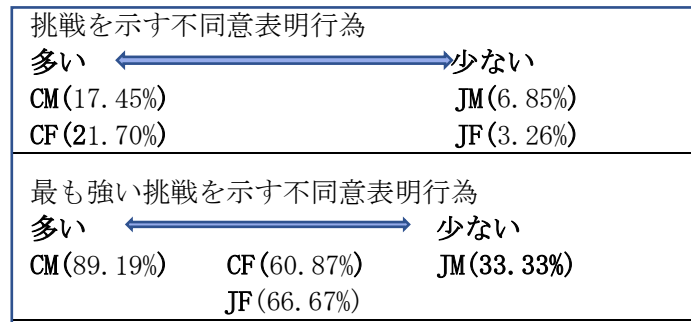


図 7-11 挑戦を示す不同意表明行為の話者間の比較

## 7.7 本章のまとめ

本章では、不同意表明に伴う非言語行動の手の動きと視線について考察を行った。この2種類の非言語行動に対する考察の理由としては、言語で表明した不同意の態度に対する理解を深めることができるためである。考察を通し、以下のことが明らかになった。

### 7.7.1 手の動きに関して

#### 1) 機能別表出

本研究に出した手の動きは、不同意の態度を強調したり、不同意の意図を補助したりする役割があるものである。それについての分析の結果、中国語の方には、明確な態度を示す言語と並行して表出された「態度の強調」機能の手の動き、日本語のほうが言語で不同意の態度をあいまいにするが、非言語でそれを補足する「態度の補助」機能の手の動きがより多く行われる傾向が窺えた。

#### 2) 種類別表出

3種類の手の動きの中で、「指す」動作の表出に有意差が見られ、日本語では有意に多く使われていることが分かった。特に、明示的な不同意表明発話と連動して表出されるケースが有意に多い。それに対応して、中国語のほうには音が明瞭に出る動作(「叩く」と「動かす」の合計)、特に、明示的な不同意表明発話と連動する率が有意に高い。一方、不同意が非明示的に表明される場合に、中国語では「動かす」動作がより多く連動して表出されている。この結果から、日本語母語話者は言語で明示的に相手のフェイスを侵害する場合でも、伴う手の動きが「pointing」と「putting」のような優しい「指す」動作である。それに対し、中国語母語話者は言語で明示的に相手のフェイスを侵害する上に、激しい動作を重ねて強く不同意の態度を伝えている。他方、相手のフェイスへの侵害は言語の側面では明示的ではないときも、「動かす」動作でその態度をはっきりと伝える傾向が見られた。

#### 3) 空間別表出

不同意表明発話には、相手の提案とそれに関する意見に向けて攻撃的に不同意を表明する発話と、自分の提案を述べることによる、結果的には不同意を表明する非攻撃的な発話に分けられる。非攻撃的な発話に伴う手の動きは「話者空間」のみで行われるのと違い、攻撃的な不同意表明発話に伴う手の動きは「相手空間」と「話者空間」の両方で行われ

---

る。それに関して、中国語母語話者は相手の領域を犯す言葉と共に、手の動作をも「相手空間」に侵入して表出し、「強い不同意」を伝える傾向で、一方、日本語母語話者は言語では相手の領域を侵害しても、動作には相手の領域に踏み込む動作を控える傾向が窺えた。また、手の動きの種類別を見ると、中国語母語話者は「強い不同意」を、特に相手の空間に置いた相手の提案を示した写真をわざと手にとって強く振ったり、あるいはそれを机の周辺に投げ捨てる動作で表している。この動作の産出には、相手との心理的対人距離が安定していることが前提とされていることが分かる。縮小しようとするもので、中国語母語話者の友人同士間の親密さが見てとれる。

#### 4) 「他者志向」と「自己志向」

以上をまとめると、日本語母語話者は相手に対する働きかけが弱い「指す」動作を多用し、明示的に不同意を表明する発話の場合は不同意の気持ちを強調する手の動きの使用を控え、さらに、非言語行動をできるだけ話者の領域内に抑えるといった特徴が窺えた。つまり、非言語的には「他者志向」を目指す対人的な配慮行動を採用していることがわかる。それに対し、中国語母語話者は相手に対する働きかけがより強い「叩く」と「動かす」動作を多用し、明示的に不同意を表明する発話の場合、さらに不同意の気持ちを強調する手の動きの使用を加え、また相手空間に侵入して動作をするといった特徴が明らかになった。このことから、中国語母語話者は自分の気持ちの伝達を重視する「自己志向」の特徴をもつこと明らかになった。この「他者志向」あるいは「自己志向」を目指す対人関係の維持には、友人同士間の親密さが異なることが分かった。

#### 5) 話者間の比較

話者間の差について、以下の3点が明らかになった。

5-1) 手の動きの全体的な表出にジェンダー差が見られた。日中両言語のどちらにおいても、男性は女性に比べ、不同意を表明する際に連動して手の動きをも同時に表出されることがより多い。また、特に明示的に不同意を表明する際に男性は女性に比べ、言語の上に非言語を重ねて不同意の気持ちを強調する。

5-2) 手の動きの種類別表出に関して、女性は母語話者一般の特徴を代表に表しているが、男性は自言自语から「逸脱」している。「指す」動作がより多く、特に「態度の表明・言語非対応」行為の「指す」動作がより多く表出される日本語母語話者の特徴は、JFが代表に表している。それに対し、JMは自言自语の特徴から「逸脱」し、中国語母語話者の男女とも同じように振る舞いをし、「指す」動作の代わりに「叩く」動作を有意多く表出している。他方、「態度の表明・言語非対応」行為の「動かす」動作が有意に多く連動して使われる中国語母語話者の特徴は、CFが典型的に表している。この場合のCMは自言自语の特徴から「逸脱」し、日本語母語話者の男女とも同じように「動かす」動作を控えている。

5-3) また、相手の領域に踏み込むことを控える日本語母語話者の特徴もJFが典型的に表している。JMは中国語母語話者と同様に相手の領域を犯す言葉とともに、手の動作を「相手空間」に侵入して表出することが有意に多い。それによって「強い不同意」を伝えている。

### 7.7.2 視線行動に関して

#### 1) 視線行動の全体的な表出状況



本調査の分類した8タイプの中で、まず、「OFF→OFF」タイプは最も多く表出されることは日中両言語の共通点である。しかし、その表出頻度に日本語では全体の半数以上を占めるのに対し、中国語では3割程度にとどまり、有意差が見られた。表出頻度に日本語のほうが有意に多いのは「OFF→OFF」以外、「OFF→ON→OFF」があり、中国語のほうが有意に多いのは「OFF→ON」と「ON→ON」がある。

## 2) 視線行動の影響要素

以上の有意差が見られた4つのタイプの形成に、可能となる要素について話者交替の観点と発話志向の視点から分析を行った。得られた結果と理由を対照しながら以下のようにまとめることができる。

2-1) 結果 1: 「OFF→OFF」タイプの視線行動が両言語のどちらにおいても一番多く行われている。

理由: 視線行動に影響がある目に見える対象は、話者2人以外、提案を載せた写真(ロールプレアのカード)がある。写真あるいは写真周辺の空間を見ながら不同意の意見を出すことが日中両言語とも一番多い。

2-2) 結果 2: 中国語に比べ、日本語では「OFF→OFF」と「OFF→ON→OFF」タイプの視線行動が有意に多く行われている。

理由: 中国語母語話者に比べ、日本語母語話者は不同意表明を思いやり行動だと見なすことが有意に多いため、発話全体及び発話末での視線は相手を回避している(「文化的価値観要素」)。一方、発話末で相手を回避しているが、発話の途中で相手の反応を確かめるモニターが有意に多く使われている。その中で、話者交替の合図に先立ってするモニターと、話を継続できるかという不同意の予告モニターは有意に多く使われている。

2-3) 結果 3: 日本語に比べ、中国語では「OFF→ON」と「ON→ON」タイプの視線行動が有意に多く行われている。

理由: 日本語母語話者に比べ、中国語母語話者は不同意の態度を視線と手の動きの両方の関連から強く示す行動を有意に多く行う。また、「文化的価値観要素」の影響も大きい。つまり、不同意表明は堂々とした行動だと見なす場合、視線も堂々として相手に向けている。「OFF→ON→OFF」タイプのような、発話の途中で視線が「ON」になる場合も、日本語のモニター機能が有意に多く使われるのと違い、中国語では不同意の態度の強調や、相手を説得するために表出されたものである。

## 3) 話者間の比較

まず、「ON→ON」と「OFF→OFF」タイプの表出に男女一体の言語間の比較と同様の傾向を示している。つまり、男女とも、中国語母語話者は「ON→ON」タイプをより多く、日本語母語話者は「OFF→OFF」タイプをより多く表出している。また、「OFF→ON→OFF」タイプの表出に「逸脱」行動が見られた。JFは男女一体の日本語母語話者の「OFF→ON→OFF」タイプをより多く表出する特徴と反対に、中国語母語話者の男女と同様の振る舞いをしていく。

### 7.7.3 手の動きと視線行動

不同意表明に伴う動作が産出される時点で動作した対象物(対象物の周辺)ではなく、相

---

手を見続ける場合、相手に強い態度を伝達し、挑戦の気配がある。さらに、その場合の不同意表明発話が「明示的表明」である場合、話者が伝えようとする気持ちがさらに強くなると考えられる。それについての分析の結果、中国語母語話者は日本語母語話者に比べ、より多くの挑戦を示す不同意表明行為を行うことが明らかになった。

それに関する話者間の比較に、まず、挑戦を示す不同意表明行為は男女とも中国語母語話者は日本語母語話者に比べてより多く行うことが分かった。また、最も強い挑戦を示す不同意表明行為に関して、中国語母語話者の男性は有意に多く行うことが分かった。

---

## 第8章 結論と今後の課題

本研究の目的は、言語ごとに、また言語横断的に、日本語と中国語の合意形成を目指す会話の不同意表明の諸相を究明することにあつた。その目的を達成するために、第4章から7章にかけて課題を設定し、分析を実施した。分析を通じて具体的に明らかになったのは、会話の全体像、話者同士の相互行為による不同意表明の仕方、不同意表明の言語表現、さらにそれに伴う手のジェスチャーと視線行動との関連性である。本章では、章ごとの分析により明らかになったことを総合的にまとめたうえで、考察を行う。そして、本研究の意義と今後の課題を述べる。

### 8.1 結果と総合的考察

本研究は、1)合意形成を目指す会話の全体像、2)そのような会話における話者同士の相互行為としての不同意表明の仕方、3)不同意表明の言語表現の構造、4)それに伴う手のジェスチャーと視線行動との関連性という4つの研究課題の分析を通し、顕著な日中両言語間の特徴、各言語内での顕著な男女差、そして言語間の顕著なジェンダー差が明らかになった。

#### 8.1.1 日中両言語において顕著な差が見られる行動

##### 8.1.1.1 従来の研究結果と一致する結果が得られたことについて

上述した4つの研究課題に対する分析の結果、日中両母語話者間の異なる行動様式が確認できた。これらの異なる行動様式は、「意見表明」に限らず、「依頼」、「断り」、「誘い」、「褒め」などの言語行動に対する従来の研究の結果と合致するところがある。これらの行動の言語表現では、日本語母語話者は「間接的言い方」や「ネガティブ・ポライトネス」を好む特徴、中国語母語話者は「直接的な言い方」や「ポジティブ・ポライトネス」を好む特徴であるという結果が得られている(楊, 2009; 王, 2013; 陳, 2014; 楊, 2015; 趙, 2012; 黄, 2015, 2016; 高, 2020等)。また、特に意見表明行動と断り行動の談話展開では、日本語母語話者は「協調的・一時競合型」のスタイル、中国語母語話者は「攻撃的・競合型」のスタイルという特徴が提出されている(陳, 2014; 高, 2020)。これらの特徴は、本研究の【課題2】と【課題3】の分析結果からも確認できた。それらを含め、会話の全体的な構造(【課題1】)と不同意表明に伴う非言語行動(【課題4】)も、日中両言語間の異なる仲間意識や対人関係が反映されていることが認められた。

日本語母語話者は、大平(1995)と土井(2008)が指摘しているように、他者と心理的距離を置きながら、相手を傷つけないように「気遣い」をする「優しい関係」の仲間意識を前提にしている。他方、逆に、丁寧さの不足が本質的に親密性の印になりうるとリーチ(1987)が指摘しているように、中国語母語話者は相手との距離を縮めたり親密さを表したりした「気楽な関係」の仲間意識を背景にしている。そのため、個人間の距離の遠近という点から、会話参加者同士の関係が同じく親しい友人関係であっても中国語のほうが日本語よりもっと近いことが窺えた。その違いは大平(1995)に指摘された「ウォームな関係」と「ホットの関係」の違いに対応しているように思われる。大平(1995)によると、日本語母語話者同士の親しい関係は互いの気持ちに立ち入らぬよう細心の注意を払いながら空疎

---

な言葉を交わし滑らかな関係を維持する「ウォームな関係」にあたり、中国語母語話者は、互いの気持ちが一つとなり、一体感が得られるような関係を保つ「ホットな関係」だと言える。また、日中両母語話者間の異なる仲間意識は、勝負に対する認識、社会的承認欲求（「賞賛獲得欲求」・「拒否回避欲求」）と一定の関係性がある。

次に、不同意表明の諸行動に表現された距離感と親密さについて課題ごとに説明する（表 8-1）。

まず、合意に至るまでの会話の全体的な構造（【課題 1】）において、日中両言語とも「自己主張」の堅持が観察された。しかし、日本語母語話者の「自己主張」の堅持には首尾一貫しない態度の伝達という特徴がある。つまり、自身の欲求を一方向的に押しつけて主張するのではなく、相手の反応を観察しながら相手の意見に合わせ、自分の主張を通そうとする。自身の欲求が相手に察してもらえない場合、再び意見を述べる。このような話者自身の欲求の満足と相手との対人関係重視の維持を、バランスをはかりながら保持しようとする行動は、距離感を保つ意識の表現である。それに対し、中国語母語話者は終始一つの立場に立って一貫して自分の意見を述べる。話者自身の欲求の満足と、相手との対人関係の重視の 2 者の関係は勝負と対立の関係だと思われ、話者自身の欲求が満たされなかった場合、勝利者側の相手に対して苦情のような文句を表明する。このような丁寧さが欠如するように見える行動の背景には、親密性を基にした対人意識がありうる。

話者双方の相互行為による意見の対立（【課題 2】）において、日中両母語話者の異なる社会的承認欲求が観察された。「拒否回避欲求」を持っている会話者は、自分に対する他者からの評価が一定水準を下回らないことを対人行動上の目標としている（小島，2013：84）。そのため、この欲求が特徴となる日本語母語話者は、相手に拒否されるリスクを減少させるために、相手の行動を観察しながら意見を表明したり、または明確な意見を言わずに、相手に察してもらおうとする。さらに、相手からの肯定や共感に対しても、受け入れずに、共感で返答するかあるいは回避する意見で応じる行動をしている。それに対して、「賞賛獲得欲求」が特徴となる中国語母語話者は、肯定的な評価を得るために、積極的に発言を行う「自己呈示」の傾向がある。このような傾向にある会話者は、ほかのメンバーの目をあまり気にすることなく、自らの意見を明確に伝え、他者の発言の問題点を躊躇なく指摘する行動をとる（藤本，2012）。このような行動をとる話者間の関係は【課題 1】に述べたように親密性の証である。

不同意表明の仕方（【課題 3】）においても、日本語母語話者は、できるだけ FTA の度合いの低いストラテジーを優先的に用いる不同意表明の仕方をしている。また、明示的に不同意を表明する際に、ネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを一番多く使い、相手のフェイスへの侵害を補償する。非明示的に不同意を表明する際には、「意見保留型」のストラテジーを用いて相手の反応を待つ行動に不同意を潜めている。これらの不同意表明の仕方は相手との対人関係を絶えず気にし、そこに距離感を置いていることの証である。それに対し、中国語母語話者は相手との親密さに信頼を置いているため、FTA の度合いの大きいストラテジーや、「心里阴暗啊你（あんたは心暗いね）」のような皮肉で不同意の意図を表明する表現ができる。

最後に、非言語行動（【課題 4】）においても、中国語母語話者の行動には友人同士の親密さが認められた。例えば、言語で明示的に相手のフェイスを侵害した上に、激しい動作を重ねて「強い不同意」を伝える行動や、相手の領域を犯す言葉と共に、手の動作も「相手空間」に侵入して表出する行動、さらに、手の動きを行う時点で、視線を相手に向

ける行動などには、中国語母語話者の友人間の親密さが見てとれる。それに対し、日本語母語話者は相手の領域への侵害を控える動作と、視線を相手に向ける際にも相手の反応を確かめるモニター機能を有意に多く使っていた。

表 8-1 不同意表明の諸行動に表現された距離感と親密さ

課題 / 分析項目	日本語母語話者の距離感	中国語母語話者の親密さ
【課題 1】 会話の全体的な構造	話者自身の欲求の満足と相手との対人関係の維持のバランスを保持するための、首尾一貫しない「自己主張」の堅持。	話者自身の欲求が満足できない場合の、勝利者側の相手に対する文句の表明。
【課題 2】 話者同士の相互行為による不同意表明の仕方	「拒否回避欲求」に起因する意見の回避と不本意ながらの共感。	「賞賛獲得欲求」に起因する積極的な「自己呈示」。
【課題 3】 不同意表明の言語表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FTA の度合いの低いストラテジーを優先。</li> <li>・不同意が明示的に表明される場合、ネガティブ・ポライトネス・ストラテジーを好む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FTA の度合いの大きいストラテジーを多用。</li> <li>・不同意が明示的に表明される場合、ポジティブ・ポライトネス・ストラテジーを好む。</li> </ul>
【課題 4】 不同意表明に伴う手のジェスチャーと視線行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不同意が明示的に出される場合、「態度の強調」機能の激しい動作を控える。</li> <li>・相手の領域に踏み込む動作を控える。</li> <li>・態度を強調する視線を控える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不同意が明示的に出される場合、「態度の強調」機能の激しい動作を重ねる。</li> <li>・相手の領域に踏み込む動作を多用する。</li> <li>・態度を強調する視線を多用する。</li> </ul>

#### 8. 1. 1. 2 従来の研究結果と異なる結果が得られたことについて

河(2012)によれば、社会における自己というものは他者との関係が共存的・依存的であるがゆえ、相互行為における言語または非言語行動の内的要因としての心理的欲求は、「自己志向」と「他者志向」の 2 つの欲求を併せ持つことになるという。すなわち、ある言語行動をとる話者は、発話自体に、自己の領域を求め、心理的に自己に対する配慮を優先するか、あるいは、他者との肯定的な関係を求め、心理的に他者との調和を重視するかという 2 つの方向がある。そのため、ある行動の言語や非言語表現に注目した研究では、日本語母語話者は「他者志向/聞き手優先」、中国語母語話者は「自己志向/話し手優先」を行動の基準とすると指摘されている(松村, 2010; 趙, 2019; 王, 2020)。表 8-1 における不同意表明の言語と非言語表現(【課題 3】と【課題 4】)もそのように結論付けても問題がない。

しかし、「他者志向/聞き手優先」に分類される言語表現を使ったとしても、日本語母語話者はその発話を「他者志向」を行動の基準として発したと言えるのだろうか。意見対立のシークエンスの談話展開(【課題 2】)では、日本語のほうは、「(議論→共感→議論)→回避(⑦→⑦→…/⑥→⑥→…)」の対立の局面が観察された。明確な意見を表出しない困惑表明発話⑦は、発話自体が意識的に人間関係を破壊しないような「他者志向」を目指すものではある。しかし、話者双方ともにそのような一連の行為を行うことにより、討論された提案のどちらも合意案に向けて前進せず、意見の対立が続くことになる。言い換えれば、話者双方ともに自分の提案が合意案になるように相手と対峙している。そのため、このような行為は本質的には「自己志向」が行動の基準となっていると言える。また、

---

会話の全体的な構造（【課題 1】）においても、日本語では「自己主張」の堅持が窺えた。「自己主張」の堅持は話者自身の欲求を満足するための行動であるため、「自己志向」を行動の基準とした「自己重視」の行動である。中国語と同じく、日本語でも半数ほどの話者は「自己重視」の行動をとっている。

そのため、言語・非言語表現の表面上の特徴だけを見ると、日中両母語話者は、話者同士の距離意識による好まれる言語・非言語表現が異なる。日本語母語話者は対人関係維持を優先する「他者志向」の言語・非言語表現、中国語母語話者は意思伝達を優先する「自己志向」の言語・非言語表現を好む傾向が明らかになった。この結果は、言語表現に注目した先行研究の結果と一致している。しかしながら、談話全体において言語表現を位置づけると、「自己志向」を行動の基準とする「他者志向」の言語表現が存在することが分かった。このような言語表現は本質的には話者自身の目的の達成のためになされるものである。日本語母語話者はこの結果から、高(2020)などに指摘された、日本語母語話者の「察しあい」を好む「他者志向優先」の特徴は、本研究では観察されなかった。「察しあい」行動は、相手への配慮というより、話者自身の目的の達成の手段として行われている。そのため、合意形成を目指して、日本語母語話者は「関係維持を優先する自己志向」、中国語母語話者は「自己呈示を優先する自己志向」の姿勢で討論に参加していると言えるだろう。この結果は、言語表現だけに注目した従来の研究では観察されなかった特徴である。

## 8.1.2 顕著な男女差が見られる行動

### 8.1.2.1 男女差が見られる行動

日本語では、JM（男性日本語母語話者）が JF（女性日本語母語話者）に比べてより多く行う行動は以下のようなものである。

- a 相手の提案に対する遅延しない否定行動「①→②」。
- b 「否定と否定応答」の言い方で相手のフェイスを直接的に侵害する不同意表明行動。
- c 自分の提案とそれにかかわる背景を述べること（「対比案の提示と叙述」）によって相手のフェイスを間接的に侵害する不同意表明行動。
- d 「明示的表明→対比案の提示と叙述」のような明示的な不同意表明の後に遂行される相手のフェイスへの侵害を緩和する配慮行動。同時に話者自分のフェイスを満たすための直接的な行動としても機能する。
- e 明示的な不同意表明発話に伴う手の動き、つまり「態度の表明・言語対応」行為。
- f 激しい動作「叩く」の表出、及び明示的な不同意表明に伴う「叩く」動作。
- g 「相手空間」侵入した手の動き

JF が JM に比べてより多く行う行動は以下のとおりである。

- A 「相手の提案に対する遅延する否定行動「①→…→②」。
- B 「明示的表明→意見の不提示」のような明示的な不同意表明の後に遂行される相手のフェイスへの侵害を緩和する配慮行動。
- C 「明示的表明→笑い」のような明示的な不同意表明の後に遂行される笑いによる相手のフェイスへの侵害を緩和する配慮行動。
- D 非明示的な不同意表明発話に伴う手の動き、つまり「態度の表明・言語非対応」行動。
- E 優しい「指す」動作による「態度の表明・言語非対応」行動。

以上のように、不同意表明のための言語・非言語の諸行動に、日本語話者の男性同士は女性同士に比べて有意に攻撃性がある行動(a, b, e, f, g)と、相手に対する配慮行動を行うと同時に「自己主張」を明確に伝える行動(c, d)が、女性同士は有意に衝突を回避する行動(A, D, E)と、相手のフェイスへの侵害を緩和する配慮行動(B, C)がより多く行われることが分かった。このことから、友人同士の心理的距離に関して、日本語話者の男性は女性より近く、女性は男性より遠いと言えるだろう。

他方、中国語では、CM（男性中国語母語話者）がCF（女性中国語母語話者）に比べてより多く行う行動は以下のとおりである。

- a 1つターンのうちにまとまった量で相手を説得する行動。
- b 「②→共感・回避」のような相手の否定に対して、意見の対立を避ける行動。
- c 相手に好意を示すポジティブ・ポライトネス・ストラテジーで相手へのフェイス侵害行動を補償する配慮行動。
- d 明示的な不同意表明発話に伴う手の動き、つまり「態度の表明・言語対応」行為。
- e 最も強い挑戦を示す不同意表明行動。

CFがCMに比べてより多く行う行動は以下のとおりである。

- A 「②→①/②」のような相手の否定に対して、意見の対立を際立たせる行動。
- B 相手と距離を置くネガティブ・ポライトネス・ストラテジーで相手へのフェイス侵害行動を補償する配慮行動。
- C 非明示的な不同意表明発話に伴う手の動き、つまり「態度の表明・言語非対応」行動。
- D 「動かす」動作による「態度の表明・言語非対応」行動。

以上のように、不同意表明のための言語・非言語の諸行動の中で、男女ともに攻撃性と競争性がある行動が観察された(a, d, e, A, D)。一方、中国語話者の男性の会話に、共感や好意を示す配慮行動も同時に見られた(b, c)。このことから、ある程度、中国語話

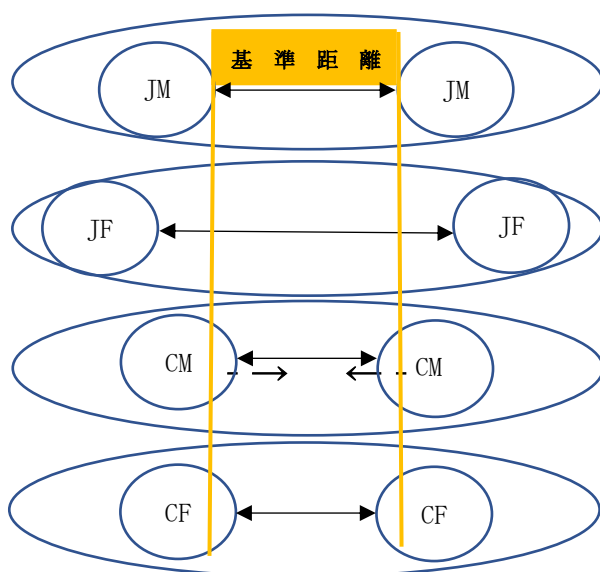


図 8-1 話者同士の意見表明行動の対人距離

者の男性同士は女性同士と同じように、一定の心理的距離を保ちながらコミュニケーションをするが、時々その距離を縮めようとする意識も見られた。つまり、中国話者の男性は友人同士の距離をダイナミックに変更する特徴が窺えた。

以上のまとめとして、日中両言語の男女それぞれの不同意表明行動に関する心理的対人距離を図で示すと、男性日本語話者間の対人距離を基準とする場合、図 8-2 のようになる。

### 8.1.2.2 「逸脱」行動

「逸脱」行動とは、同言語の異性と有意差が見られたが、比較された相手の言語の男女とも有意差が見られなく、同様の振る舞いをしている行動である。以上の男女差が検出される行動の中で、「逸脱」行動がいくつか観察された。表 8-2 に示したように、「逸脱」行動は JM の行動に多く観察された。

表 8-2 「逸脱」行動

行い方 話者	「逸脱」行動	説明
JM	明示的な不同意表明の後に遂行される「対比案の提示と叙述」	意見表明に関する中国語母語話者の「自己主張」や「自己中心」の特徴は JM の行動にも窺えた。
JM	明示的な不同意表明の後に遂行される「意見の不提示」	不同意の繰り返しや追加をやめる配慮行動は、JF が日本語母語話者の代表として典型的に行っているが、JM は中国語母語話者と同様に多く行っていない。
JM	「態度の強調」機能の「指す」動作の表出	日本語母語話者一般の特徴として JF が典型的に行っている。JM は中国語母語話者と同様に「指す」動作の代わりに激しい動作(「叩く」)を有意多く表出する。
JM	「相手空間」に侵入した手の動き	相手の領域に踏み込むことを控える行動は JF が代表として典型的に行っている。JM は中国語母語話者と同様に「相手空間」に侵入した動作で友人との親密な関係を構築する。
CF	ポジティブ・ポライトネス・ストラテジー	好意や親密さを示す補償行為は中国語母語話者一般に多用するという結果であったが、実際には CM が代表として典型的に行っている。CF は日本語母語話者と同様に相手と距離を置くネガティブ・ポライトネスを多用する

### 8.1.3 顕著なジェンダー差が見られる行動

不同意表明のための言語と非言語の諸行動の中で、日中両言語とも、男性同士の会話は女性同士の会話と有意に区別される行動が少なく、手の動きを伴う不同意表明行動にのみ差が観察された。日中両言語とも、手の動きを伴う不同意表明行動は、男性が女性に比べて有意に多い(図 7-1)。また、日中両言語とも、「態度の表明・言語対応」行為、つま



り、言葉で不同意の意図を明示的に伝えると同時に手の動きで発話によって伝える態度を補強する行動が、男性は女性に比べて有意に多い(図 7-4)。

このように、ジェンダー差が見られる行動はわずかである。不同意表明行動において、ジェンダー差より、日中両言語間の差異のほうが際立っていることが分かった。その原因は以下の2点にまとめられる。

#### 1) コミュニケーション・スタイルの文化による影響

「コミュニケーション・スタイル」はある特定の地域や集団の文化の中で言語が使用され、理解される方法である(Clancy, 1986:213)ため、「コミュニケーション・スタイル」は文化に依存すると言えるだろう。

不同意表明に関するコミュニケーション・スタイルの場合、日本語母語話者では「拒否回避欲求」を基準とするコミュニケーション・スタイルが、中国語母語話者では「賞賛獲得欲求」を基準とするコミュニケーション・スタイルが観察された。「拒否回避欲求」は、高い評価基準が次の自分の行動を他者が評価する基準となっていると予想し、期待外れの自分の行動を予想してしまうことから羞恥の感情と関わる(小島, 2013)ため、「拒否回避欲求」の行動基準は「恥」の意識と関わる事が分かる。言語表現に表れる「恥」の意識は「恥の文化」<sup>83</sup>からの影響があるのだろう。それに対し、「賞賛獲得欲求」の強さは、肯定的な評価を得ることに対する満足感と関連している(小島, 2013)。中国社会を「名の文化」と特徴づける孫(2001:180)によれば、「名」は「面子」のことであり、また沖・姜他(2018:85)によれば「面子」は事を実現させる能力評価のこととされる。つまり、中国人の言語行動の背後にある満足感を獲得しようとする欲求には、「名」の意識が潜在していると推測される。こういうコミュニケーション・スタイルへの文化による影響は、不同意の意見表明にも見られる。相手と異なる意見で競い合い、勝った場合には自分の面子(ポジティブ・フェイス)が認められるという「名」の意識が背後にあり、中国語母語話者の男女とも自分の提案が合意案になるために積極的に言い争うことになるかと推測される。それに対して日本母語話者は、「恥を知る人」は、裏を返せば「名誉を重んじる人」の意味になるように、自分のポジティブ・フェイスが他者に認められることよりも、むしろ否定されることを恐れ、あらかじめ自分で保護することを重んじる意識が背後にあり、中国語母語話者のように異なる意見をあからさまに表明しようとはしないと推量される。

もちろん、対人コミュニケーションの場合、「恥」と「名」に対する日中で共通した理解と認識もある可能性もあるが、日中文化それぞれの文化類型は親しい友人間関係においても、そのコミュニケーション・スタイルにマクロ的に影響を与えていると言えるだろう。

#### 2) 女性の役割分担の変化

日韓のジェンダー差の要因を究明した張(2016:243)では、社会的な動物である人間にとって社会的に期待されるジェンダー役割が、それぞれの個人のふるまいに大きな影響を及ぼすと指摘している。日中両社会のジェンダーの役割について、周(2020)は、辞書と新聞記事に記述された男女を表現する言葉の分析に加え、日中両言語の対照研究とそれぞれ

<sup>83</sup>1946年に出版された『The Chrysanthemum and the Sword - Patterns of Japanese Culture』(『菊と刀』)は、西洋の「罪の文化」と対照しながら日本文化を「恥の文化」と結論付けた。

---

の言語で行われてきた研究をも概観した結果、現代でも日中両社会とも「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割分担に関するジェンダー・ステレオタイプが見られるが、男女を表現する言葉について、ジェンダーによる固定的な役割分担の揺れも見られたと論じている。例えば、近年中国社会でよく使われてきた「女漢子」（男並みに強い女）という表現に社会に進出し、社会の中で自立する女性や、体力のある、困難に屈しない「漢子」（男）の特質も備える女性のイメージがある。そのため、男性に比べ、従来から中国社会に要求された「丁寧に、柔らかく、ポライトに」という女性のジェンダー・ステレオタイプにかなり変化が生じ、それゆえ、中国の男女の言語行動に大きな差が見られなくなっているのではないかと考えられる。日本社会でも、「丁寧に、柔らかく、ポライトに」は女性のジェンダー・ステレオタイプとして認められてきている（井出，1982；宇佐美，2006；Okamoto・Shibamoto，2008）。しかし、本研究の考察の結果から、女性日本語話者は、女性中国語話者のようにほとんどの言語行動を男性中国語話者と同じように行うのではなく、女性日本語話者は男性日本語話者よりも「丁寧に」に話す傾向が依然として見られた。つまり、日中のいずれの社会においても男性が暗黙のうちに標準とされている（周，2020）が、中国では、女性は男性と対等に扱われていないという社会の認識から、男性に対抗できるような言語行動を行うことに中国の女性はその意識がさらに明確であることが窺える。

## 8.2 本研究の意義

上述のように、日中それぞれの文化に影響を受けたコミュニケーション・スタイルは、同じ文化内の話者同士では伝達規則について深く考えなくても適切に行えることが多いが、異文化間のコミュニケーションの場合では、相手が自分と異なるコミュニケーション・スタイルに基づいて行動することに一定の認識がないと、異文化間のコミュニケーション・ギャップが生じやすい。そのため、文化的背景の異なる話者間のインタラクションの文化による影響を明らかにするために、言語行動に対する対照分析が多くなってきた。しかし、日中両言語の意見表明会話を取り上げた対照研究の中で、会話の流れに並行する「二重」の言語行動（会話の全体的な構造と局所的な構造における不同意表明）、不同意の言語行動に伴う非言語行動の役割、さらにジェンダーの視点も入れて考察した研究はこれまでなかった。これらの課題の解明により、異なる意見の表明に関する日中両言語の母語話者それぞれの特徴と傾向を総合的に把握することができたので、異文化コミュニケーションの場合の異文化理解へ基礎を提供した意義を強調したい。

また、異文化の理解に、異なる文化に属する母語話者一般の特徴は男女別々見ると、男性あるいは女性に典型的に見られる特徴である可能性もあることも分かった。ある言語の母語話者の男性あるいは情勢が、比較された別の言語の男女と同様の振る舞いをする可能性が存在する。そのため、本研究の結果は、言語・非言語行動に関する対照分析に、参考できる新たな分析視点を提供したと言えるだろう。

また、本研究の結果は、中国語母語話者を対象とした日本語教育、あるいは日本語母語話者を対象とした中国語教育という応用言語学分野へと活かすことが可能である。堀田（2017:95）に指摘されたように、目標言語でコミュニケーションを成功させるためには、音韻、文法、語彙などの言語能力だけでなく、状況や対人関係などに応じて言語を適切に使用することができる「語用論的能力」も合わせて習得する必要がある。したがって、教

育現場において、意見表明に関する母語話者それぞれの特徴だけでなく、ジェンダーに見られた差異も含めた語用論的能力の指導が期待される。

### 8.3 今後の課題

本研究は、意見表明に関して、意見表明発話による議論の進め方と、意見表明発話と併存した談話管理の発話による談話展開と合意案の形成から談話の全体的な構造を、特に不同意表明に焦点を当てるものであった。ここでは、談話の局所的な言語・非言語行動を、日中という異なる言語間で比較し、そこにジェンダーという要因がどのように関わっているのかについて論じてきた。しかしながら、次のような点を問題として残した。

#### 1) 共感表明

多くの先行研究において指摘されてきたように、英語や中国語のような明確に情報伝達を行う「対話する言語文化」と異なり、日本語は会話参加者の相互関係を中心として「共に語る言語文化」である(水谷, 1993; 井出, 2014; 藤井, 2018 等)。しかし、その点について本研究は深く考察していない。つまり、共感表明の言語形式、及びその言語行動に伴う手の動きと視線行動については本研究では立ち入った議論をしていない。日本語の談話の全体的な構造については、「説得型」発話を基盤に、「説得型」に対する反応として「説得型→共感型」をとるという特徴が明らかになった。本研究では、共感表明について「A 相手と共に意見構築」・「B 相手の発話を促進する先取り」・「C 簡潔な応答や相手の発話の繰り返し」といった具体的な言語表現(表 8-3)が見られた。用例中、下線を施した発話が共感表明である。

表 8-3 共感表明の内訳

共感表明	説明	用例
A 相手と共に意見の構築	先行発話の擁護意見などに応じて新たな情報を提供し、相手と共に相手の個人提案を擁護する。	18-2 JF05B そうしかもなんかその、やっぱ災害遭って、どっかでみんなでおってとかなって、なんか、やっぱ病気とかもさ= 20 JF05A =確かに風邪とかもね↑(そう)、 うっとりやすくなるし。
B 相手の発話を促進する先取り	相手が伝えようとする意図を予測し、相手の発話が完全に終わらないうちにその部分を補充する形で共感を示す。	14-2 JM02B えんぴつ、まあ、お絵描き(んん)というか、そういうのを選んで、まあ、なぜかって言ったら、まあ、暇つぶしとか(うん)創造性とか、子供がやっぱりすごい、疲れちゃうと、その、避難所全体的な、その[[, 16 JM02A]]hh 雰囲気か(そう)、悪くなる hh。<確かに>{<}。 14-3JM02B<つかれちゃう>{>}から、まあ、子供がどういう感じであるかってのは結構大事だし(そうやね)、やっぱ、なんか、いろんな事していくうえでも、子供がなんかそこらへん走り回っているよりも、<遊んどってもらって>{<}
C 簡潔な応答や相手の発話の繰り返し	「確かに」・「そうやな」・「それはあるな」のような言い方や、先行発話の一部分を繰り返すことで相手に共感や理解を示す。	59 JF04B 保険にもなるねなんか、冬は暖かそう。 60 JF04A <u>そうそうそう、ふゆ、冬やったらね。</u>

注：下線の発話は共感表明である。

---

その共感表明が出現する位置が、**a** 先行発話の途中で割り込む、先行発話と重なる、**b** 話者交替のタイミング<sup>84</sup>になる、というパターンが見られた。これらの共感表明の言語表現に関する日中会話における使用、それらに伴う手の動きと視線行動、さらにジェンダーにどのような特徴が見られるかのを究明することを課題の1つとする。

### 2) 調査方法のジェスチャーに対する制約

本研究の調査方法として、着席した会話参加者が手前の机に並べておいた写真(討論の話題)について意見交換会話をを行う。したがって、非言語行動は机に並べておいた写真を対象として表出されることになる。そのため、本研究は考察した不同意表明の言語行動に伴う非言語行動は、基本的に「手」の動作に限定される。しかしながら、コミュニケーションにおいて、後傾姿勢や腕組み、足組みなどはお互いの間に障壁を設ける意味を持つ場合があり、相手に対する拒否感の表れとなるということもあると指摘されている(高木, 2005)。そのため、会話参加者の動作に制限がある机と話題内容を提示する写真を設置せずに、椅子だけを用意し、また、椅子の置き方は調査に参加する話者同士に任せるという調査方法を採用することで、制約の少ない、より自由な非言語行動が現れる可能性がある。そのような調査も今後の課題の1つとする。

### 3) 調査協力者の制約

本研究では20代前半の大学生の親しい友人同士の会話について調査を行った。そのため、調査の結果は20代前半の大学生の行動には妥当するものと言えるだろう。しかしながら、他の年齢層の日中母語話者に関しては、友人同士の対人関係と同様の仲間意識や振る舞いをするとは限らない。例えば、本研究の結果の1つとして、意見表明に関する言語・非言語行動の中で、多くの行動に中国語話者間に男女差が見られなかった。女性中国語話者は男性話者と同様に競争的かつ攻撃的な行動様式をとるというこの結果は、馬(2012)の調査結果と異なっている。馬(2012)は中国の男性の会話スタイルは競争的であるが、女性の会話スタイルは協動的であると報告している。しかし、馬(2012)ではより協動的であるとされる中国人女性は30代・50代に集中している。それに対して、本研究の中国人女性は20代前半の大学生である。もちろん、馬(2012)の調査結果との違いが見られたのは調査対象の違いばかりでなく、話題、調査方法、分析方法などと関わる。ただし、「男女平等」という教育を受けた中国人女性は、特に「一人っ子政策」の時代に成長してきた20代前半の女性は、女性が相対的に低い社会的地位(孫, 2010)に置かれた馬(2012)の調査対象となる30代<sup>85</sup>と50代の女性と異なる意識や行動基準で行動するのは理解できる。しかしながら、調査対象者以外の要素はすべて統一されたとしても、同様に「一人っ子政策」の時代に成長してきた30代の女性は、本調査の対象である20代前半の女性と、同じコミュニケーション・スタイルを持つとは言い難いだろう。社会に進出したり、もしくは婚姻生活を営む30代の女性は、20代前半の女子大学生にない生活履歴を持ち、対人関係の意識や行動様式も異なっている可能性が高い。そのため、年齢層を拡大した調査が、本研究の結果を検証するために必要となる。

---

<sup>84</sup> Sacks, Schegloff & Jefferson (1974)によると、話者交替のシステムは会話のやり取りにおいて「一度に一人が話す」のがルールである。

<sup>85</sup> 馬(2012)の調査対象である30代は、本研究の調査を実施したおよそ10年後の現在では40代になっている。

---

## 謝 辞

本研究を遂行し、論文にまとめるに当たり、様々な方々から多大なご指導とご協力を頂きました。ここに感謝の意を表します。

主任指導教員の西嶋義憲先生には 7 年もの長きにわたり、終始温かいご指導と力強い励ましをいただきました。研究生の身分で最初に社会言語学に接した頃、この分野に疎い私に、この分野に関する知識について、理論や調査方法など 1 つ 1 つ、ご多忙中にもかかわらず、時間をかけて教えてくださいました。特に、出産と育児で情緒がとても不安定な最近 2~3 年間、育児しながらの論文執筆が大変なことをよく理解して支援していただきました。個人指導の日時を間違ったことや、子供の風邪などで急遽、個人指導をキャンセルせざるをなくなる時もよくありました。そのような時、先生から、私を責めようとしないう「承知しました。後日にしましょう」という淡々とした内容のメールをいただきました。更に、週末に、息子の昼寝の時間を利用した論文指導をしてくださるときもありました。そのような積み重ねにより、私が安心して少しずつ論文の執筆を進めることができました。予備審査が通ったという結果をご報告してくださる時、先生は私本人より嬉しかったように見えました。私にとってお父さんのような存在です。このような先生なので、「苦しいから博士論文の執筆を諦めようかな」というような考えは一度も起きませんでした。本当にありがとうございました。

副指導委員としてご指導をいただきました高山知明先生ならびに大江元貴先生、論文審査をお引き受けくださいました山本洋先生と加納希美先生、外部審査委員の日本大学文理学部教授井上優先生に心より感謝を申し上げます。各先生方からのさまざまな、そして幅広い視点からのご指摘、及び貴重なご意見を提供していただいたおかげで本研究を仕上げることができました。とくに山本洋先生には、本研究で用いた統計手法について何度も深夜の時間帯に Skype を通してご丁寧に指導していただきました。それでも私が理解できない場合もありました。その時には、先生ご自身もご多忙で大変な時期であったにもかかわらず面談のお時間を割いていただきました。心よりお礼申し上げます。

また、元副指導教員であった加藤和夫先生と深澤のぞみ先生には様々な面で長くお世話になりました。心より感謝を申し上げます。加藤先生の推薦があつて、西嶋義憲先生に出会うことができました。また、データ分類の妥当性や研究の方向性などもご指導いただきました。深澤のぞみ先生は、本論文に関する理論の枠組みから、論文構成、さらに細かい文章表現にわたって貴重なご意見と丁寧なご指導をくださいました。旅行中であっても、原稿に手書きで訂正したものを画像で送っていただいたこともあります。また、研究に行き詰った時、常に温かく見守っていただき、「もうすこしだね！頑張ってください。」、「大変だったと思いますし、子育てもしながら、よくやりましたね！」のような励ましのおかげで、本研究を必ず完成させるという気持ちを維持することができました。生活の面でも大変お世話になりました。育児と論文の執筆を両立することの難しさについて涙を流しながら相談したこともあります。今この段落を書いている私は、先生の笑顔や励ましの言葉を思い出して、思わず涙があふれてきています。本当にありがとうございました。

本研究の実施過程において、西嶋ゼミの皆さんに大変お世話になりました。大先輩で、福岡大学人文学部准教授の尹秀美さん、同じく先輩で、インドネシア教育大学に復職したハヤティ・ノフィアさん、そして金沢大学客員研究員の崔チョンアさんには、ご多忙中に

---

もかかわらず、Zoomでこの研究に関する発表を聞いていただき、貴重なご意見をいただきました。さらに、友人の高岡法科大学准教授の屈莉さんには、中国語データの日本語訳の仕方などについていろいろと助言をいただきました。皆さんに厚くお礼申し上げます。皆さんと共に研究の道を歩めて、本当に良かったと思っております。

最後になりましたが、この7年間見守ってくれた家族に対して感謝申し上げます。特に義理の母は、私の出産と育児のために中国から来日し、日本語が全然分からないにもかかわらず、3年間ずっとそばに居てくれました。慣れない日本での生活であっても、私に安心して論文を書くことができるよう、いかなる協力も惜しまず、育児と家事を手伝ってくれています。時々、育児の考え方の違いにより口喧嘩したこともありますが、それでもそばを離れず見守ってくれています。感謝の気持ちでいっぱいです。また、中国から応援してくれている夫の徐文輝、そして私にまわりつきながらも、心を癒してくれる息子の存在は特に大きいです。ありがたいと思っています。

---

## 参考文献

- アンディニ, プトリ プラタミ ルスタンディ(2021)「日本語とインドネシア語の非対話場面における不満談話の対照研究—評価のモダリティ「なければならぬ」/“harus”の使用に着目して—」金沢大学大学院人間社会環境研究科『人間社会環境研究科紀要』(42), pp. 15-29.
- 飯塚雄一(2004)「視線量の多少が印象形成に伸ばす影響」『島根県立看護短期大学紀要』(10), pp. 69-76.
- 李吉鎔(2001)「日・韓両言語における反対意見表明行動の対照研究：談話構造とスキーマを中心として」『阪大日本語研究』(13), 大阪大学, pp. 19-32.
- 李吉鎔(2003)「韓・日両言語の反対表明行動の対照研究：場の改まり度による表現形式の使い分けを中心に」『阪大日本語研究』(15), 大阪大学, pp. 67-88.
- 生田少子(1997)「ポライトネス理論」『言語』26(6), pp. 66-71.
- 池田裕・池田智子(1995)「日本語学習者の非言語行動の縦断的観察—視線・うなずきを中心として—」Proceedings of the JALT 1995 Conference.
- 石井敏・久米昭元他(2013)『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション—多文化共生と平和構築に向けて』, 有斐閣.
- 李善雅(2001)「議論の場における言語行動—日本語母語話者と韓国人学習者の相違—」『日本語教育』(111), pp. 36-45.
- 市川孝(1978)『国語教育のための文章論概説』教育出版.
- 井出祥子(1982)「言語と性別上の差異」『言語』(11-10), pp. 40-48.
- 井出祥子・植野貴志子(2012)「場の理論で考える配慮言語行動」三宅和子・野田尚史(編)『「配慮」はどのように示されるか』, pp. 29-50. ひつじ書房.
- 井出祥子(2014)「解放的語用論とミスター・オー・コーパスの意義—文化・インターアクション・言語の解明のために—」井出祥子・藤井洋子(編)『解放的語用論への挑戦—文化・インターアクション・言語』, pp. 1-31. くろしお出版.
- 伊藤哲司(1991)「対人相互作用場面におけるユニット的ノンバーバル行動の特性」『実験社会心理学研究』31(2), pp. 85-93.
- 井上逸兵(1996)「異文化間のミスコミュニケーションとポライトネスモデル」『人文科学論集』信州大学 文化コミュニケーション学科編(30), pp. 13-31.
- 井上昂治他(2014)「多人数会話における視線情報を用いた話者区間検出」『情報処理学会研究報告』(1), pp. 1-6.
- 井上優(2015)「対照研究について考えておくべきこと」『一橋日本語教育研究』(3), pp. 1-12.
- 猪崎保子(2000)「接触場面における「依頼」のストラテジー：日本人とフランス人日本語学習者の場合」『世界の日本語教育』10, pp. 129-145.
- 任ケン樹(2002)「断りとアイ・コンタクト」『言葉と文化』(3), 名古屋大学大学院国際言語文化研究科, pp. 181-199.
- ヴァーガス, マジョリー・F(1987) 石丸正(訳)『非言語コミュニケーション』, 新潮選書.
- 宇佐美まゆみ(2006)「ジェンダーとポライトネス—女性より男性よりポライトネスなの

- 
- か?——」『日本語とジェンダー』, pp. 21-37.
- 宇佐美まゆみ(2008)「ポライトネス理論研究のフロンティア—ポライトネス理論研究の課題とディスコース・ポライトネス—」『社会言語科学』11(1), pp. 4-22.
- 宇佐美まゆみ(2011)「基本的な文字化の原則」(Basic Transcription System for Japanese. :BTSJ). <http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btj2011.pdf>.
- 宇佐美まゆみ(2015)「『総合的会話分析』の趣旨と方法—量的分析と質的分析の必然的融合—」『日本語教育』(162), pp. 34-49.
- 榎本美香(2008)「会話・対話・談話研究のための分析単位: ターン構成単位(TCU)」『人工知能学会誌』23(2), pp. 265-270.
- 榎本美香・伝康晴(2011)「話し手の視線の向け先は次話者になるか」『社会言語学』14(1), pp. 97-109.
- 王欣(2020)『中国語と日本語の褒めの言語行動の対照研究—談話展開の観点から—』, 九州大学博士論文.
- 王萌(2013)『日本人と中国人の不同意表明—ポライトネスの観点から—』, 花書院.
- 大塚淳子(2003)「日本人大学生のグループ討論における結論生成と進行役の役割」『日本語・日本文化』(29), pp. 147-159.
- 大貫広子(2015)「合意形成における日本人とアメリカ人のインタアクション比較」, 2015年度第18回日本語用論学会口頭発表.
- 大平健(1995)『やさしさの精神病理』, 岩波新書.
- 小笠恵美子(2002)「討論場面における日本人の会話パターン分析—大学生の小グループによる討論場面で—」『お茶の水女子大学人文科学紀要』(55), pp. 145-154.
- 岡田努(2012)「現代青年の友人関係に関する新たな尺度の作成: 傷つけ合うことを回避する傾向を中心として」『金沢大学人間科学系研究紀要』(4), pp. 19-33.
- 岡本能里子(1990)「電話による会話終結の研究」『日本語教育』(72), pp. 145-159.
- 沖裕子・姜 錫祐・趙華敏・西尾純二(2018)「依頼談話の発送と表現—異文化接触問題の解決をめざした日韓中対照談話論—」『社会言語科学』21(1), pp. 80-95.
- 生越直樹(2012)「「配慮」の示し方—日本と韓国の言語行動の比較から—」三宅和子・野田尚史(編)『「配慮」はどのように示されるか』, pp. 171-187. ひつじ書房.
- 小野寺典子(1992)「エスノメソドロジーにおける電話会話の研究と日本語データへの応用」『日本語学』11(9), pp. 26-39.
- 賈琦(2008)「小集団討論場面における話者交替の日中対照研究」『世界の日本語教育』(18), pp. 73-94.
- 郭碧蘭(2006)「日台の会話スタイルの比較研究—母語話者のグループ討論を通して—」『明海日本語』(10), pp. 37-49.
- 柏崎雅世(1996)「インフォーマルな「と」相談における談話運営の発話」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』(22), pp. 15-31.
- 柏崎雅世・足立さゆり・福岡理恵子(1997)「インフォーマルな「と」相談における提案の分析」『日本語教育』(92), 日本語教育学会, pp. 60-71.
- 梶原綾乃(2003)「留学生と日本人との交流促進を目的としたコミュニケーション教育の実践」『日本語教育』(117), pp. 93-102.
- 片桐恭弘(1998)「マルチモーダル対話の分析」『日本語学』(17), pp. 22-31.
- 加藤重広(2001)「照応現象としてみた接続—「しかし」の用法を中心に—」『富山大学人



- 文学部紀要』(34), pp. 47-78.
- 加藤重広(2009)『その言い方が人を怒らせる—ことばの危機管理術—』筑摩書房.
- 加納陸人・梅曉蓮(2003)「日中両国語におけるコミュニケーション・ギャップについての考察:断り表現を中心に」文教大学大学院言語文化研究科附属言語文化研究所『言語と文化』(15), pp. 19-41.
- 川上恭子(1993)「話し合いの具体的分析—共感と反発—」『日本語学』(12), pp. 47-57.
- 河内彩香(2003)「日本語の雑談の談話における話題展開機能と型」『早稲田大学日本語教育研究』(3), pp. 41-55.
- 河原達也・林宗一郎・高梨克也(2013)「ポスター会話における聴衆のマルチモーダルな振る舞いに基づく興味・理解度の推定」『情報処理学会研究報告. SLP, 音声言語情報処理』(12), pp. 1-5.
- 木村昌紀・毛新華(2013)「日本人と中国人の親密なコミュニケーションは何が違うのか?—未知関係と友人関係を対象にした検討—」『感情心理学研究』(21), p. 9.
- 木山幸子(2005)「日本語の雑談における不同意の様相:会話教育への示唆」『言語情報学研究報告6 自然会話分析と会話教育—統合的モジュール作成への模索—』東京外国語大学, pp. 165-182.
- 木山三佳(2001)「話し合い場面での日本語学習者と母語話者の談話の比較—意見の述べ方にみるコミュニケーション原理の違い—」『山村女子短期大学紀要』(13), pp. 63-77.
- 金桂英(2012)「話し合いにおける「不同意コミュニケーション」に関する考察—日本語母語話者同士の談話資料を基にして—」『待遇コミュニケーション研究』(9), pp. 65-79.
- 金桂英(2015)「話し合いでの「不同意コミュニケーション」における「配慮」の様相—接触場面での物事を決める話し合いの分析から—」『待遇コミュニケーション研究』(12), pp. 35-51.
- 金文学(2003)『日本人・中国人・韓国人—新東洋三国比較文化論—』白帝社.
- 熊谷智子(1997)「はたらきかけのやりとりとしての会話—特徴の束という形でみた『発話機能』—」.茂呂雄二(編).『対話と知—談話の認知科学入門—』.新曜社, pp. 21-46.
- 熊谷智子(2016)「会話分析と談話分析」加藤重広・滝浦真人編『語用論研究法ガイドブック』pp. 239-260, ひつじ書房.
- 久米昭元・徳井厚子・徐一平(2000)「コミュニケーション様式の日米中比較研究—小集団討論の質的分析を通して—」研究代表者井上和子『先端的言語理論の構築とその多角的な実証(4-B)』平成8年度 COE 形成基礎研究費研究成果報告 4, pp. 625-672.
- 倉田芳弥・楊虹(2010)「討論における中国人学習者と日本語母語話者の不同意表明の仕方:構成要素の観点から」『言語文化と日本語教育』(39),お茶の水大学第 39 回日本言語文化学会研究会研究発表要旨, pp. 158-161.
- 倉田芳弥・楊虹・佐々木泰子(2007)「日本人学生による討論の分析—進行役に着目して—」『社会言語科学会第 19 回大会発表論文集』, pp. 160-170.
- 黄明淑(2015)「「誘い」談話の「承諾」場面の終結部における日中両言語行動の比較—負担度が異なる 2 場面から—」『言語文化と日本語教育』48/49 合併号, pp. 22-31.
- 黄明淑(2016)「「誘い」談話における再勧誘の言語行動の特徴—中国語母語話者と日本語母語話者の比較—」『日本語教育』(164), pp. 64-78.
- 国立国語研究所(1960)『話しことばの文型(1)—対話資料による研究—』国立国語研究所

- 
- 報告 18, 秀英出版.
- 国立国語研究所(1987)『談話行動の諸相』国立国語研究所報告(92), 三省堂.
- 国立国語研究所(1994)「『談話機能一覧表』について」『日本語教育映像教材中級編関連教材 伝えあうことば4 機能一覧表』, 大蔵省印刷局.
- 小島弥生・太田恵子・菅原健介(2003). 賞賛獲得欲求・賞賛回避欲求尺度作成の試み 性格心理 学研究(11), pp. 86-98.
- 小島弥生(2013)「相手と状況がほめ言葉の受けとめ方に与える影響」『埼玉学園大学紀要』人間学部篇(13), pp. 83-96.
- 小松奈々(2016)『接触場面の意見交換会話における日本語中級非母語話者の会話参加の様相—インターアクション能力養成のための会話指導に向けて—』, 御茶ノ水女性大学大学院人間文化創成科学研究科博士論文.
- 高揚(2020)『依頼に対する「断り」の言語行動に関する日中対照研究: 「配慮」の示し方の観点から』, 筑波大学博士論文.
- 佐久間まゆみ(1987)「文段認定の一基準(I)—提題方言の総括—」筑波大学文芸・言語学系紀要『文藝言語研究言語編』(11), 筑波大学文芸・言語学系, pp. 89-135.
- ザトラウスキー, ポリー(1986a)「談話の分析と授業法(I): 勧誘表現を中心に」『日本語学』5(11), pp. 27-41.
- ザトラウスキー, ポリー(1986b)「談話の分析と授業法(II): 勧誘表現を中心に」『日本語学』5(12), pp. 99-108.
- ザトラウスキー, ポリー(1987)「談話の分析と授業法(III): 勧誘表現を中心に」『日本語学』6(1), pp. 78-87.
- ザトラウスキー, ポリー(1993)『日本語の談話の構造分析—勧誘のストラテジーの考察—』, くろしお出版社.
- ザトラウスキー, ポリー(2000)「共同発話における参加者の立場と言語・非言語行動の関連について」『日本語科学』(7) 国立国語研究所, pp. 44-69.
- ザトラウスキー, ポリー(2002)「日米におけるアニメーションのストーリーの語り方と非言語行動の相違」水谷修・李徳奉(編)『総合的日本語教育を求めて』国書刊行会, pp. 187-201.
- ザトラウスキー, ポリー(2006)「20代の女性の談話における指示的な身振りと拍子的な身振りの手の形と機能」『表現研究』(84), pp. 67-77.
- ザトラウスキー, ポリー(2012)「日米の実際の談話に見られる人を指す身振りと配慮との関係」三宅和子・野田尚史(編)『「配慮」はどのように示されるか』, ひつじ書房, pp. 235-256.
- 施 暉(2017)「出会った時のあいさつ言語行動に伴う非言語行動: 日中対照研究」『広島国際研究』(23), 広島市立大学国際学部, pp. 107-119.
- 清水崇文(2009)『中間言語語用論概論—第二言語学習者の語用論的能力の使用・習得・教育』, スリーエーネットワーク.
- 張允娥(2016)『友人同士の自由会話におけるポライトネス・ストラテジー: 同性間の会話から見る日韓差とジェンダー』, 大阪大学博士論文.
- 張允娥(2017)「日韓同性間の会話における不同意・否定的評価の相互行為—ジェンダーとポライトネスの観点から見る対立と冗談—」『阪大日本語研究』(29), pp. 101-128.
- 周密(2020)「日中対照研究におけるジェンダー・ステレオタイプの変遷—男女を表す表現

- と男女の言語使用に着目して」中国四国教育学会『教育学研究ジャーナル』(25), pp. 45-53.
- 鄭在恩(2009)「日韓の勧誘ストラテジーについて」『言葉と文化』(10), pp. 113-132.
- 鄭在恩(2010)「日韓母語話者と韓国人日本語学習者における再勧誘の「切り出し」の分析—躊躇の受け止め方と関連付けて—」『言語文化学会論集』(35), pp. 3-22.
- 白井香織(2009)「不同意の間接的発話行為に関する異文化比較研究—日本語とアメリカ英語の場合—」『千葉商科大学紀要』47(1), pp. 87-101.
- 末田美香子(2000)「初対面場面における不同意表明と調整のストラテジー」『日本語教育論集:日本語教育長期専門研究報告』(16), pp. 23-47.
- 杉浦秀行(2011)「「強い同意」はどのように認識可能となるか—日常会話における同意ターンのマルチモーダル分析—」『社会言語科学』14(1), pp. 20-32.
- 杉戸清樹(1987)「発話のうけつぎ」国立国語研究所『国立国語研究所報告 92 談話行動の諸相—座談資料の分析—』三省堂, pp. 68-106.
- 杉戸清樹(1989)「ことばの相槌と身ぶりの相槌」『日本語教育』(67), pp. 48-59.
- 杉本明子(2001)「職場における相互理解の談話構造」『男性のことば・職場編』ひつじ書房, pp. 179-206.
- 梶本総子(2000)「人間関係からみた課題解決の会話の連鎖構造」『世界の日本語教育』10, pp. 221-239.
- 梶本総子(2004)「提案に対する反対の伝え方:親しい友人同士の会話データをもとにして」『日本語学』23(10), pp. 22-33.
- 鈴木香子(2002)「ラジオの医療相談の談話の構造分析」『早稲田大学日本語教育研究』(1), pp. 117-130.
- 鈴木香子(2007)『機能文型に基づく相談の談話の構造分析』,早稲田大学大学院日本語教育研究科博士論文.
- 角康之・矢野正治・西田豊明(2011)「マルチモーダルデータに基づいた多人数会話の構造理解」『社会言語学』14(1), pp. 82-96.
- 関崎博紀(2010)「言語社会心理学的アプローチに基づく会話の分析—日本人大学生同士の会話における否定的評価の対象の分析を例をとって—」『日本語教育研究への招待』くろしお出版. pp. 213-228.
- 詹 柯(2014)「日中両言語における不同意会話の構造」『比較日本文化学研究』(7), 広島大学大学院文学研究科, pp. 23-47.
- 孫勝強(2001)「中国人と日本人の文化的異質性」『長崎国際大学論叢』(1), pp. 179-183.
- 高木幸子(2005)「コミュニケーションにおける表情及び身体動作の役割」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』(51), pp. 25-36.
- 高橋千代枝(2016)「日本語の発話行為「助言」の談話構造に関する一考察:母語話者ロールプレイの会話分析から」日本語プロフィシエンシー研究(4), pp. 75-95.
- 滝浦真人(2008)『ポライトネス入門』研究社.
- 谷智子(2010)「ディスコースレベルのポライトネスからみる親しい友人同士の会話—見解の不一致に注目して—」『大阪大学言語文化学』(19), pp. 69-82.
- 趙丹楠(2021)「依頼発話行為に関する日中対照研究:意味公式から見る依頼負担度の影響を中心に」大東文化大学大学院外国語学研究科『外国語学研究』(23), pp. 57-64.
- 趙東玲(2018a)「日中会話の不同意表明に見られる「配慮」の伝え方の分析」金沢大学大

- 学院人間社会環境研究科『人間社会環境研究科紀要』(35), pp. 33-48.
- 趙東玲(2018b)「「身振り」に男女差はあるのか?—中国語母語話者の不同意表明を例にして—」『社会言語科学会第42回研究大会予稿集』, pp. 121-124.
- 趙東玲(2019)「不同意表明に伴う手の動きの日中比較—機能分析のための枠組みの提案—」金沢大学大学院人間社会環境研究科『人間社会環境研究科紀要』38, pp. 15-29.
- 張麗(2009)「話者交替に見られる中国人と日本人の「自己主張」のスタイル—小集団ディスカッションを通して—」『大正大学研究紀要』(95), pp. 100-116.
- 儲葉明(2019)「否定的評価に見る規範意識と対人関係: ポライトネス理論からの日中対照分析」『語用論研究』(21), pp. 57-77.
- 陳一吟(2013)『日本語におけるジェンダー表現—大学生の使用実態及び意識を中心に—』, 花書院.
- 陳東(2014)『日本語母語話者と中国語母語話者の意見を述べる会話の対照分析—合意に至るまでの会話を中心に—』金沢大学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修士論文. 未公開.
- 筒井佐代(2012)『雑談の構造分析』, くろしお出版.
- 土井隆義(2008)『友だち地獄—「空気を読む」世代のサバイバル』, 筑摩書房.
- トマス, ジェニー(1998) 浅羽亮一(監修)、田中典子ほか(訳)『語用論入門—話し手と聞き手の相互交渉が生み出す意味—』, 研究社 (Jenny Thomas(1995) *Meaning in Interaction: an Introduction to Pragmatics*, Longman London and New York) .
- 寅丸真澄(2006)「日本語の討論の談話における「意見表明」の構造分析」早稲田大学日本語教育研究, pp. 23-35.
- 中井陽子(2003)「話題開始部で用いられる質問表現: 日本語母語話者同士及び母語話者/非母語話者による会話をもとに」『早稲田大学日本語教育研究』(2), pp. 37-54.
- 中井陽子(2017)「誘いの会話の構造展開における駆け引きの分析—日本語母語話者同士の断りのロールプレイとフォローアップ・インタビューをもとに—」『東京外国語大学論集』(95), pp. 105-126.
- 中田智子(1991)「発話分析の観点—多角的な特徴記述のために—」国立国語研究所報告103『研究報告集12』, 秀英出版.
- 中山昌子(1995)「親しさと冗談・からかいの表現」『日本語と日本語教育—阪田雪子先生古稀記念論文集』三省堂, pp. 163-187.
- 永野賢(1958)『学校文法概説』, 朝倉書店.
- 日米会話学院編(1996)『日本語でビジネス会話 中級編』 凡人社.
- 法文恵・Afia Akhter Lip・中野有紀子(2011)「合意形成会話における非言語行動の文化比較—文花適応的な会話エージェントの実現を目指して—」『情報処理学会第73回全国大会講演論文集』(1), pp. 591-592.
- 橋内武(1985)「「もしもし」から用件に入るまで」『言語生活』(407), pp. 34-42.
- 河正一(2012)「相互作用における言語行動—自他志向と言語行動の動機付けにおける社会的要因—」『日本アジア研究』(9), pp. 45-61.
- 蓮沼昭子(1995)「対話における確認行為—「だろう」「じゃないか」「よね」の確認用法—」仁田義雄編『複文の研究 下』, pp. 389-417. 東京: くろしお出版.
- 早川治子(1995)「日本人の笑いの談話機能」『言語と文化』(7). 文教大学, pp. 99-110.
- 早川治子(1996)「日本人の笑いの談話機能-2-」『言語と文化』(9). 文教大学, pp. 97-109.

- 
- 早川治子(2002)「自然言語データの相互的視点による「笑い」の分析」『男性のことば・職場編』ひつじ書房, pp. 149-165.
- 林四郎(1973)「表現行動のモデル」『国語学』(92), pp. 62-75.
- ハヤティ, ノフィア(2016)「「断り」談話における視線行動の分析—日本語母語話者とスダ語母語話者の比較—」金沢大学人間社会学域経済学類『論文集』, pp. 201-204.
- ハヤティ, ノフィア(2020)『依頼に対する断りのやり取りの研究—日本語母語話者とインドネシア人スダ語母語話者の比較—』, 金沢大学博士論文.
- 早野慎吾(1996)『首都圏の言語生態(地域語の生態シリーズ関東篇)』東京: おうふう.
- 東山安子・ローラフォード(2016)『日米ボディートーク—身ぶり・表情・しぐさの辞典—』, 三省堂.
- 深澤のぞみ(1999)『日本語の会話における割り込み発話に関する研究—日本語母語話者と日本語学習者の言語行動と非言語行動の観察から—』, 金沢大学博士論文.
- 藤井洋子(2010)「日本語の親族呼称・人称詞に見る自己と他者の位置づけ: 相互行為の「場」における文化的自己観の考察」『日本女子大学紀要』, pp. 73-86.
- 藤井洋子(2018)「「個を基体とする言語行動」と「場を基体とする言語行動」—英語・中国語・日本語・韓国語・タイ語の比較より—」『社会言語科学』21(1), pp. 129-145.
- 藤本学(2008)「会話者のコミュニケーション参与スタイルを指し示す COMPASS」『社会心理学研究』(23), pp. 290-297.
- 藤本学(2012)「コミュニケーション参与スタイルに注目した小集団会話における発話行動生起プロセス」『実験社会心理学研究』51(2), pp. 79-90.
- ブラウン・レビンソン(2011) 田中典子(監訳)『ポライトネス: 言語使用における、ある普遍現象』 研究社.
- 古本裕子(1993)「発話に伴う視線行動の研究—日本語母語話者の場合—」名古屋大学大学院文学研究科修士論文.
- ブロズナハン, リージャー(1988) 岡田妙・斎藤紀代子(訳)『しぐさの比較文化ジャスチャーの日英比較』, 大修館書店.
- 坊農真弓(2008)『日本語会話における言語・非言語表現の動的構造に関する研究』, ひつじ書房.
- 星野祐子(2010)「課題解決型の話し合い活動における協働的な発話連鎖: 聞き手の積極的な参与に着目して」大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキル育成」活動報告書, pp. 192-198.
- 細馬宏通(2008)「非言語コミュニケーション研究のための分析単位—ジェスチャー単位—」『人工知能学会誌』23(3), pp. 390-396.
- 細馬宏通(2009)「話者交替を超えるジェスチャーの時間構造—隣接ペアの場合—」『認知科学』16(1), pp. 91-102.
- 堀田智子(2014)『中国人日本語学習者の「不同意」行為—中間言語語用論の観点から—』, 東北大学国際文化研究科博士論文.
- 堀田智子(2017)「中国人日本語学習者の「不同意」行為—ストラテジー使用における語用論的転移の可能性—」『国際文化研究』(23), 東北大学国際文化学会, pp. 95-106.
- 前田奈穂・横山ひとみ・藤原健・大坊郁夫(2011)「会話行動が関係開始スキル評価に与える影響—発話内容とハンド・ジェスチャーを用いたマルチ・チャネル・アプローチによ

- る検討一」『社会言語科学』14(1), pp.177-187.
- 松村瑞子(2010)「聞き手志向の日本語ポライトネス」『東アジア日本語・日本文化論究』(11), pp.51-65.
- 松村瑞子(2018)「日本語のジェンダーと(イン)ポライトネス:ステレオタイプの見方を再生産していないか」『言語科学』53,九州大学大学院言語文化研究院, pp.55-64.
- 水谷信子(1993)「共話」から「対話」へ」『日本学』12(4), pp.4-10.
- 御園生陽子・程田彩・Anekpongpan Watcharin 他(2009)「討論の結論に至るまでの過程—日中談話の対照研究—」『小出記念日本語教育研究会論文集』(17), pp.35-51.
- 南不二男(1972)「日常会話の構造—とくにその単位について—」『言語』(1-2), pp.28-35.
- 南不二男(1979)「言語行動研究の問題点」『講座言語 3 言語と行動』大修館書店, pp.3-30.
- 南不二男(1983)「談話の単位」『日本語教育指導参考書 11 談話の研究と教育 I』国立国語研究所, pp.91-112.
- 三牧陽子(2013)『ポライトネスの談話分析—初対面のコミュニケーションの姿としくみ—』,くろしお出版.
- 三宅和子(2011)『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』,ひつじ書房.
- 宮崎幸江(2009)「ポライトネス・ストラテジーとしての聞き手のうなずき」『上智短期大学紀要』29, pp.55-72.
- ミルズ・サラ(2006)熊谷滋子訳『言語学とジェンダー論への問い—丁寧さとはなにか—』明石書店(Mills, S.(2003) Gender and politeness. Cambridge: Cambridge University Press.)
- 村田和代(1997)「同意・不同意表現にみられるていねいさ(politeness)」奈良女子大学『人間文化研究科年報』(13), pp.37-48.
- 森山卓郎(1990)「「断り」の方略—対人関係調整とコミュニケーション—」『言語』19(8), pp.59-66.
- リーチ(1987)池上嘉彦・河上誓作(訳)『語用論』,紀伊国屋書店(Leech, G. N.(1983) *Principles of pragmatics*. Longman, London)
- 李斎芳・松崎寛(2009)「交渉場面における日本人と中国人の言語行動—母語場面と接触場面の量的分析を中心に—」『広島大学日本語教育研究』(19) 広島大学大学院教育学研究科, pp.55-62.
- 李善子(2002)「中国語と日本語における談話の構造分析:依頼を中心に」九州大学大学院比較社会文化研究科『比較社会文化研究』(12), pp.101-107.
- 李婷(2020)「メタ言語表現とコミュニケーションのメタ認知との関係—待遇コミュニケーション論の観点から—」『待遇コミュニケーション研究』(17), pp.85-101.
- 林始恩(2010)「親和的關係における否定的評価」—日・韓の話者の話し方とFTA補償行為に注目して—」『筑波応用言語学研究』(17), 筑波大学, pp.99-109.
- 林始恩(2015)『親和的關係における否定的評価の研究—日韓母語話者の言語行動の比較—』,筑波大学博士論文.
- 劉潔・大橋眞(2009)「「世間」に関する一考察——日本と中国における「世間」と「世間」から見る恥の文化を中心に——」『言語文化研究』(17),徳島大学, pp.83-102.
- 安井永子・高梨克也・杉浦秀行(2018)「相互行為における指差しの多様性—会話分析の視

- 
- 点から一」『社会言語科学第42回大会予稿集』, pp. 246-255.
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹(2010)『コミュニケーションと配慮表現』, 明治書院.
- 山路奈保子(2005)「<相手を評価する発話>についての一考察—日本語の「ほめ」と「けなし」をめぐって—」九州大学比較社会文化学府『比較社会文化研究』(17), pp. 109-115.
- 大和祐子(2009)「意見の一致を目指す会話における意見交渉の過程—意見が異なる者同士「歩み寄り」の始まりを中心に—」『言葉と文化』(10) 名古屋大学, pp. 59-75.
- 柳慧政(2012)『依頼談話の日韓対照研究: 談話の構造・ストラテジーの観点から』 笠間書院.
- 楊虹(2006)「課題達成型討論に見られる参加者間のやり取り」『人間文化創成科学論叢』(9) お茶の水大学, pp. 277-289.
- 楊虹(2015)「話し合いにおける不同意表明発話のモダリティ—中日接触場面と中国語・日本語母語場面の比較から—」『鹿児島県立短期大学地域研究所研究年報』(46), pp. 87-102.
- 楊昉(2009)「意見の不一致における類型と調整ストラテジー—中国語母語場面と日中接触場面の事例分析—」『多文化接触場面の言語行動と言語管理』千葉大学人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書(218), pp. 65-85.
- 米井美恵(1997)「日本語の「反対意見を表明する発話」にみられる特徴—「相手への配慮」という視点から—」『葛野』1, 京都外国語大学日本語学科研究会, pp. 57-66.
- 若野恵(1998)「可決・否決のストラテジー—大学生の話し合い場面の会話分析—」『日本語と日本文学』(26), 筑波大学国語国文学会, pp. 23-38.
- 渡辺吉熔(1985)「会話分析にみる日韓コミュニケーション・ギャップ」『言語・文化コミュニケーション』12, 慶応義塾大学紀要(1), pp. 132-175.
- 馬継紅(2012)《会話风格的性別模式研究—以电视媒体会话为例》, 四川大学出版社.
- 孫汝建(2010)《汉语的性別歧視与性別差异》, 华中科技大学出版社.
- Argyle, M. and Cook, M. (1976) *Gaze and Mutual Gaze*, Cambridge: Cambridge University Press.
- Austin, J.L.(1962) *How to Do Things with Words*, New York: Oxford University Press (邦訳: 坂本百大訳(1978)『言語と行為』大修館書店)
- Bayraktaroğlu, Arin (1991). Politeness and Interactional Imbalance. *International Journal of the Sociology of Language*, 92, pp. 5-34.
- Beattie, G. (1983) *Talk: An Analysis of Speech and Non-Verbal Behaviour in Conversation*, London: Open University Press.
- Birdshistell, R.L. (1970) *Kinesics and Context: Essay on Body Motion Communication*. Philadelphia: University of Pennsylvania Press.
- Brown Penelope and Levinson Stephen C. (1987) *Politeness: Some universals in language usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Choi, J., Y. Nishijima, S. Yoon, and D. Zhao (2019): Gender Differences in Hand Gestures in Disagreement: A Contrastive Analysis of Chinese, Korean, and Japanese. Paper read at the 16th International Pragmatics Conference, Hong Kong.
- Choi, J., Y. Nishijima, S. Yoon Sumi, and D. Zhao (2021). Cultural Differences in Disagreement: A

- 
- Contrastive Analysis of Japanese, Chinese, and Korean. In: T. Mammadova (ed.) *Cultural Diversity in Cross-cultural Settings: A Global Approach*. Newcastle upon Tyne: Cambridge Scholars Publishing. pp.89-114.
- Clancy, P. (1986) The acquisition of communicative style in Japanese. In Scheffelin, B. and Ochs, E. (eds.) *Language socialization across cultures*. Cambridge: Cambridge University Press. pp. 213-250.
- Coates, J. (1988) Gossip revisited: Language in all-female groups. In Coates, J. and Cameron, D.(eds.) *women in their speech communities*. London: Longman. pp.94-122.
- Cohen, A. D. (1996) Investigating the production of speech act sets. In S.M. Gass & J. Neu (Eds.), *Speech acts across cultures: Challenges to communication in a second language*, pp. 21-43. Berlin: Mouton de Gruyter.
- Davis, M. (1979) The state of the art: past and present trends in body movement research. In A. Wolfgang (Ed.), *Nonverbal Behavior: Applications and Cultural Implications*. New York: Harper & Row, Publishers.
- Duncan, S. (1974) On the structure of speaker-auditor interaction during speaking turns, *Language in Society*, 2. pp. 161-180.
- Goodwin, M.H. (1980) Directive-response speech sequences in girl's and boy's task activities. In McConnell-Ginet, S. & Borker, R. & Furman, N. (eds.) *Women and language in literature and society*. Praeger. pp.157-173.
- Goodwin, C.(1981) *Conversational organization: Interaction between speakers and bearers*. New York: Academic Press.
- Goodwin, C. (2009) Embodied Hearers and Speakers Constructing Talk and Action in Interaction. 『認知科学』 16(1), pp. 51-64.
- Hall, E.T.(1963) *The Silent Language*. New York: Doubleday. 国広正雄・長井善見ら訳 (1966) 『沈黙のことば』 南雲堂.
- Hall, E.T. (1966) *The Hidden Dimension*. New York: Doubleday & McClure Company.
- Heath, Christian (1986) *Body movement and speech in medical interaction*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Jokinen, K., Harada, K., Nishida, M. and Yamamoto, S. (2010) Turn-alignment using eye-gaze and speech in conversational interaction., pp. 26-30.
- Kasper, G. (2000) Data collection in pragmatics research, In H. Spenser-Oatey(Ed.), *Culturally speaking: Managing rapport through talk across cultures*, pp.316-341. London: Continuum.
- Kawahara, T., Iwatate, T. and Takanashi, K. (2012) Prediction of turn-taking by combining prosodic and eye-eye information in poster conversations, *Proc. INTERSPEECH*, pp. 727-730.
- Kendon, A. (1967) Some Functions of Gaze—Direction in Social Interaction, *Acta Psychologica* 26, pp. 22-63.
- Kendon, A. (1970) Movement coordination in social interaction: some example described. *Acta Psychologica* 32, pp. 101-125.
- Kendon, A. (1980) Gesticulation and speech: Two aspects of the process of utterance. In M.R.Key(Ed.), *The relation between verbal and nonverbal communication*, pp. 201-227. The Hague: Mouton.



- 
- Kendon, A. (1981) Geography of gesture. *Semiotica* 37 (1/2), pp. 129-163.
- Kendon, A. (1990) *Conducting interaction Patterns of behavior in focused encounters. Studies in International Sociolinguistics* 7. Cambridge, U.K.: Cambridge University Press.
- Kendon, A. (2004) *Gesture: Visible Action as Utterance*. Cambridge, U.K.: Cambridge University Press.
- Levinson, S.C. (1983) *Pragmatics*, Cambridge: Cambridge University Press. (安井稔・奥田夏子訳 (1990) 『英語語用論』 研究社出版)
- Lizkowski, U., Brown, P. (2012) A prelinguistic gestural universal of human communication. *Cognitive Science*, 36, pp. 698-713.
- McNeill, D. (1992). *Hand and mind: What gestures reveal about thought*. Chicago: Chicago University Press.
- Meier, A. J. (1995) Passages of politeness. *Journal of Pragmatics*, 24: pp. 381-392.
- Okamoto, S., & Shibamoto S, J (2008) Constructing Linguistic Femininity in Contemporary Japan: Scholarly and Popular Representations, *Gender and Language* 2(1) , pp. 87-112.
- Patterson, M. L. (1983). *Nonverbal Behavior: A Functional Perspective*. New York: Springer-Verlag New York.
- Pilkington, J. (1998) Don't try and make out that I'm nice! The different strategies women and men use when gossiping. In Coates, J. (ed.) *Language and gender: A reader*. Blackwell, pp. 254-269.
- Pomerantz, A. & Fehr, B.J., (2011). "Conversation analysis: An approach to the analysis of social interaction," in T.A. van Dijk (Ed.), *Discourse Studies: A multidisciplinary introduction* pp. 165-190. London: Sage Publications.
- Sacks, H., Schegloff, E.A. & Jefferson, G. (1974) A simplest systematics for the organization of turntaking for conversation. *Language*, 50(4), pp. 696-735.
- Schegloff, E. and H. Sacks. (1973) Opening up Closings. *Semiotica* 7-4, pp. 289-327. Schegloff, E. A. (1984) On some gesture's relation to talk . In J.M. Atkinson and E.J. Heritage (Eds.), *Structures of Social Action: Studies in Conversation Analysis*, pp. 266-296. Cambridge: Cambridge University Press.
- Searle, J. R. (1969) *Speech acts*, Cambridge: Cambridge University Press (邦訳 : 坂本百大・土屋俊訳 (1986) 『言語と行為』 勁草書房) Tannen, Deborah (1990) *You Just Don't Understand: Women and Men in Conversation.*, New York: William Morrow.
- Watanabe, S. (1993) "Cultural Differences in Framing: American and Japanese Group Discussions." Tannen, D., *Framing in Discourses*. New York: Oxford University Press.

## 付録

### 〈付録①〉 調査説明・同意書と調査のフェイスシート

#### 調査説明

現在、博士論文執筆のために、自然会話の録音・録画データを収集しています。研究の目的や実施内容などをご理解いただき、本研究にご参加いただける場合は、同意書にご署名をお願いいたします。

##### 1. 調査の目的・意義

この調査は、日本語と中国語における言語行動の異同を明らかにすることを目的として、実施いたします。調査の結果は、日本語教育に応用し、異文化間の円滑なコミュニケーションの指導に役立てることができると思っております。

##### 2. 調査方法

調査する内容は、同性ごとの親しい友人同士 2 人の自由会話です。同級生、同じゼミ、同じ研究室、同じサークル（部活）に属する友人同士でもいいし、少なくとも週に 3 回以上顔合わせる友人同士がペアになって会話をさせていただきます。会話している場面を録画・録音し、得られたデータは文字化して分析いたします。

##### 3. 個人情報の保護

調査にあたり、以下の 4 点をお約束いたします。

1) 会話の話題が個人のプライベートと関係ない意見交換会話であるため、調査協力者の身体的、心理的または社会的危害の可能性は含んでおりません。

2) 今回調査させていただく会話データは、主に博士論文の執筆に使用したいと思っております。絶対に研究の目的以外に使わないことを約束いたします。

3) 個人情報を保証するため、調査協力者の名前は研究データから取り除き、符号に置き換えて管理いたします。録画の画面を使う場合、顔を見えないように電子処理いたします。

4) 調査の途中で参加を辞めることもできます。参加拒否、あるいは途中離脱になっても、何ら不利益を被ることはありません。調査の途中で辞退・不適となった個人の情報・データについては、速やかに廃棄いたします。

ご不明な点は、いつでもお問い合わせください。

調査実施者：趙東玲（金沢大学人間社会環境研究科・博士後期課程）

連絡先：E-mail：ysxfde5@gmail.com（電話番号：090-8261-3561）

\*\*\*\*\*

#### 同意書

私は、「日本語と中国語における言語行動に関する研究」について以上の事項に関する説明を受けました。研究の目的と方法などを十分に理解し、研究に参加いたします。

参加者（署名）\_\_\_\_\_

20 年 月 日

---

日本人の被験者

被験者番号：

### 調査協力者の個人情報

氏名 :  
性別 :  
年齢 :  
大学 :  
所属と学年 :  
出身地 :  
外国語を学んだ経験、語種 :  
留学した経験、国名、期間 :  
連絡先（メールアドレス） :  
（電話番号）（自由） :

ご協力ありがとうございます

---

中国人の被験者

被験者番号：

### 调查协力者个人情报

姓名 :  
性别 :  
年龄 :  
大学 :  
专业、年级 :  
出生地 :  
学习外语的期间、语种 :  
有无留学经验及国名 :  
联系方式（邮箱） :  
（电话号码） :

谢谢您给予本次调查的支持

## <付録②> 会話資料

### 日本人男性会話資料

#### JM01

- 01 JM01A どれにしよう。(2秒)<とりあえず>{<}  
02 JM01B <##>{>} 災害の時期によってさ(うん)、あれ  
だよな、どんくらい直後なのか  
03 JM01A 場所によっても(そうそうそう)、変わると思う  
04 JM01B うーん  
05 JM01A とりあえず俺テントにしよっかな  
06 JM01B テントね  
07-1JM01A うん。ひとつ目。理由はね、災害だから(hhh)の家、家が<壊れてる>{<}かも  
しれないというh(あー),  
08 JM01B <雑すぎる>{>}  
07-2JM01A そしたら寝る場所がないから(あーあ)テントはいるかなって、でも災害の状況  
によっても変わるけどな  
09 JM01B うーん(うん)、え、でもテント[△]はいらんくねって思うんだけど  
10 JM01A いらん?  
11 JM01B え、俺的に。あの...、別にあれじゃん(うん)体育館とかに集まるじゃん  
12 JM01A うん、あ、体育館にか  
13 JM01B そう、それある(うん)。だからたぶん段ボールとかで仕切つとるから、別にい  
らんかな  
14 JM01A<そやね>{<}  
15 JM01B<俺布団>{>} 布団がいると思うんだわ  
16 JM01A 布団いるな  
17 JM01B 布団(うん)。布団と、俺がいるのは布団と(1秒)この消毒のやつと  
18 JM01A 消毒  
19 JM01B(1秒)と何だろうな、あと、服かな  
20 JM01A 服? h  
21 JM01B 服 h  
22 JM01A h h 服いらんくね? h h  
23 JM01B いるやろ服 h  
24 JM01A いる? h  
25 JM01B え、だって<ボロボロ>{<}、ん?  
26 JM01A <えっ>{>} 季節によって変わるくね?  
27 JM01B まあ、そうだな h h。いやでも冬でもいるやん(うん)  
28 JM01A そうやな、冬やったらいるわ  
29 JM01B うん、h h h まあ、夏いらん<わけではないけどな h h>{<}  
30 JM01A <h h h h h h h h h>{>} h h えっ、だっ  
て夏やったらさ h h h  
31 JM01B h h 何? h h

- 32 JM01A h別に h h、半袖半ズボンで
- 33 JM01B あれやん
- 34 JM01A 着<てる>{<}>
- 35 JM01B <いや>{>}でもニオイとかやばいやん、夏は
- 36 JM01A 確かに h
- 37 JM01B じゃあ、俺は、この消毒と(うん)服と、布団
- 38 JM01A 布団↑(うん)、やっぱそう考えると俺テントいらんわ (h h h h h h) h h h h  
h h、布団と(うん)、やっぱ水分いるくね?お茶と↑、あと食べ物やな
- 39 JM01B あ、なるほどね(うん)
- 40 JM01A まあさ、水がなくなかったら生きていくことができないし、災害だから断水さ  
れている<かもしれないし>{<}>
- 41 JM01B <あーそうか>{>}、あーそれあるな
- 42 JM01A え、でも近くの川がきれいやったら <h h h h h h別に>{<}>
- 43 JM01B そう <h h h h h h そうなん>{>}だよな、  
そう、場所によるな
- 44 JM01A h お茶要らん h。
- 45 <2 秒>
- 46 JM01B うーん。
- 47 JM01A え、でも、食べ物はいる...、<かな>{<}>
- 48 JM01B <まあ>{>}、食べ物、そうやな、食べ物か
- 49 JM01A 食べ物はいると思う
- 50 <2 秒>
- 51 JM01B そうやな、時期、時期がわからんな、直後なんかなこれ、(1 秒)直後だったら食  
べ物かな
- 52 JM01A うん
- 53 <1 秒>
- 54 JM01B なんだろ、え、でも、子供だから、難民の子供たちだからあげるの(うん)、そ  
の、弱いやん、抵抗が(うん)、抗体とかが、だからとりあえず消毒で(消毒)、  
そう、二次災害を防ぐっていう
- 55 JM01A なるほど
- 56 JM01B 俺の意識としては
- 57 JM01A 消毒ね、たしかに<消毒>{<}>
- 58 JM01B <そう>{>}、だから俺の目標として(うん)、テーマとして、  
清潔にする、子供たちを h h (h h h)、子供たちを清潔にするっていうのが  
俺の目的
- 59 JM01A え、難民だからさ川とかも(ああ)あれやな、あれ
- 60 JM01B そう、どんぐらいの難民かに<よるな>{<}>
- 61 JM01A <そう>{>}、そうやな
- 62 JM01B 布団↑、難民ってきくと(まあ)、よく、アフリカのさ(うん)、ちっちゃい黒人  
の子どもたちとかを想像しちゃうからさ、それ(h h)のそれで考えとる、俺<  
h >(h h)。どうしたらいいんやろ。
- 63 <2 秒>

- 
- 64 JM01B で、布団は要るな、<とりあえず>{<}。
- 65 JM01A <布団は>{>} 要るね。
- 66 JM01B 布団
- 67 <1 秒>
- 68 JM01A あ、でも、難民の人らって布団持ってる？ h
- 69 JM01B< h h わからん h h >{<}
- 70 JM01A< h h h h h h h h >{>}、〇え、でももってなくね h
- 71 JM01B ああ、まあ、そうか、えっ、アフリカ？
- 72 JM01A たぶん持っていないと思う
- 73 JM01B アフリカの難民 (うん) 布団いらん？
- 74 JM01A 布団 h 持っていないと思うよ h (h h h)
- 75 JM01B そっかー
- 76 JM01A たしか俺藁かなんかやったと思う
- 77 JM01B〇まじか h (んん) 、ハイジかよ
- 78 JM01A だから、(1 秒)布団いらん可能性も出てくる
- 79 JM01B ああ、布団要らんか、日本人じゃねえのか
- 80 <1 秒>
- 81 JM01A なんか動物の、毛の上で(h h h)< h h h > (マジ)寝れば、
- 82 JM01B ってなってくると服いらんくね、じゃあ
- 83 JM01A うん、そうやな、いやまず、難民ってさあったかいところ、にいるイメージがあるんやけど、
- 84 JM01B あーそういうこと？あー h h h h (h h h h h) h 難民って、難民でもいろいろあるから h
- 85 JM01A そう
- 86 <1 秒>
- 87 JM01A 俺はじゃあ h ヤバイってことで消毒液 h
- 88 JM01B とりあえず、そう、病気とかになるやん(うん)。消毒液を、えっ、でもさ、その、アフリカ設定やったらさ(うん)そもそもその消毒液とか使っとらんくない？
- 89 JM01A そうやな、そしたら〇これも要らん h =
- 90 JM01B =そうそう、あ、普通〇に h なんも要らん  
くない↑
- 91 JM01A h h h h いや、でも、食べ物はいるやろ、でも
- 92 JM01B あ、食べ物な(うーん)、食べ物
- 93 JM01A 一時的に
- 94 JM01B 食べ物と、水？
- 95 JM01A うん
- 96 JM01B そうやな
- 97 JM01A え、でも、井戸使え：、使えへん？(h h h) h h h (そっか)え、でも、災害だから井戸使えんのかな↓
- 98 JM01B ああああ、いや、わからん、いや、でも使えるでしょ、川とかありそうもん＝
- 99 JM01A =使





- 
- 139 JM01A =あーある、うっすいやつ
- 140 JM01B うっすいやつ。え、なにがいいんやろな。うっすい、薄い布団送る？いっぱい  
(h h h h h)。
- 141 JM01A 〇え、でもこれさ、布団って濡れたら終わりじゃね？ h h h (h h h)
- 142 JM01B やっぱ消毒液？
- 143 JM01A 消毒液
- 144 JM01B んん、病気なるからな、消毒液ないと
- 145 <2 秒>
- 146 JM01A そうやな、じゃあ、そうするか
- 147 <2 秒>
- 148 JM01B え、もう 10 分くらいしゃべったかなこれ
- 149 JM01A うん、まあ
- 150 <1 秒>
- 151 JM01A おっけー？
- 152 JM01B おっけー h、え、なんやったけ？
- 153 JM01A 消毒<液>{<}  
154 JM01B <消毒>{>}液、くいもん
- 155 JM01A 水分
- 156 JM01B 水分
- 157 JM01A よし
- 158 JM01B よし
- 159 JM01A え、これコスト的にもそんなに
- 160 JM01B そやな、まあ、いっぱい送れるし、食いものと水は絶対いるな(うん)絶対
- 161 JM01A 生きてけんからな
- 162 JM01B そう
- 163 JM01A よし
- 164 JM01B 終わるか
- 165 JM01A 終わろう

## JM02

- 01 JM02A じゃあ、いいよ俺は決め、た。
- 02 JM02B おお、俺も決めた。
- 03 JM02A オッケー
- 04 JM02B 出して、はい。(3 秒)あつ
- 05 JM02A ああ、これ、本はいっしょ、えーつとですね、まず[[, ,
- 06 JM02B]]どうぞ
- 07 JM02A まあ、これは衛生面として(そう)、大事じゃないですか(だね)、まず、予防の面としてね↑(うん)、うーん、なんか食べ物は結構たぶんどうせ、なんかみんなくれるから(うん)いらななとおもって(うん)、食べ物は省いた、結果。で、薬も迷ったけど、くすりは、(3 秒)薬、(2 秒)薬、よいかはこっちの方が数いるんじゃないかっていう(うーん、なるほど)多くあったほうが良い。で、ふ

とんこれはもう、だって段ボールの中で寝てるんじゃないっていう想定の下での布団(はい)快適。まあ本は、まあ、暇つぶしてか、勉強もしたいしね(うん)。

08 JM02B はい

09 JM02A 以上3点の理由から(なるほど)、この3点を選びました。

10 JM02B ぼく、じゃあ、近いところから(うん)、まあ、比較するのが(うん)、この消毒か(うん)薬でか(そうやね)で考えたというときに、俺は薬を取ったんだけど(うん)、それは、なんか、消毒は、まあ予防とか(うん)、そういう(そうやね)観点だけど(そうそうそう)、薬はなっちゃった後の(そうやね)、で、ま、結構不衛生な状態だと思うから、もちろん衛星には気を使うっていう必要もあるかもしれないけど(うん)、だけど、え、やっぱりなんかいろんなところに菌とかなんか(うん)、その原因となるものはあるわけで、それを...、すべてこれだけで防げるかっていうとそう(まあ、そうね)言うわけじゃなくて(うん)、これ考えたら、なるのを防ぐっていうよりも、なってからのフォロー(なるほど)が必要だと思ったので、薬を選びました。

11 JM02A なるほどh。

12 JM02B はい、で、まあ、本は、まあ一緒なんで、いいね、なんかその、ちゃんと、勉強とかも(うん)、長い間そういうところで過ごすんだったら、まあ＝

13 JM02A ＝そう、時間あるしね

14-1 JM02B うん。で、まあ、もう一個を選ぶときに、たしかにふとんとかテントとか(うん)基本的な、せい...、服とか生活をするためのものにしたほうが良いような気もしたんだけど、まあ、それは、だれでも思いつくし(うん)、まあ、最低限あってほしいなっていう感じで(すでにね)どれだけあるかはこの状況ではわからないから、まあ、そう考えて、この、なんか、おもちゃというか[[、

15 JM02A]]えんぴつ？

14-2 JM02B えんぴつ、まあ、お絵描き(んん)というか、そういうのを選んで、まあ、なぜかって言ったら、まあ、暇つぶしとか(うん)創造性とか、子供がやっぱりすごい、疲れちゃうと、その、避難所全体的な、その[[、

16 JM02A]]hh 雰囲気か(そう)、悪くなるhh。<確かに>{<}。

14-3 JM02B <つかれちゃう>{>}から、まあ、子供がどういう感じにいるかってのは結構大事だし(そうやね)、やっぱ、なんか、いろんな事していくうえでも、子供がなんかそこらへん走り回っているよりも、<遊んどってもらって>{<}

17 JM02A <あー大人しくしてもらわんと>{>}確かに。

18 JM02B そういう感じの方がかなって思ったんで、決めました

19 JM02A え、じゃあ、なぜ、おもちゃじゃなくて、こっちを選んだ？

20 JM02B え、だっておもちゃは、飽きに来るし、なんか(うん)、遊べる(ああ)用途が限られてくるけど(確かに)、まあ、こっちは自分の創作活動(うん)だから、まあ、ほんま飽きに来にくいし(確かに)、こどもによって遊び方があるし、どっちかっていうとなんか、頭使うから(うん)、ためになるかなっておもったから、だから、こっちを選びました。

21 JM02A うーん。

- 
- 22 <2 秒>
- 23 JM02A いや[[, ,
- 24 JM02B]]もう、これは決定でいい？
- 25 JM02A そう、分類したときに、その、暇な時間を使うから、使うものって言ったら、これとさ(うん)、これとさ、おもちゃじゃん、だからそん中から一つでいいかなって思って(あ、なるほど)、これを選んだからね。
- 26 JM02B ああ、なるほどなるほど。
- 27 <1 秒>
- 28 JM02B うーん。
- 29 JM02A 確かに [v]、布団とか意外にあるからな、動画とか映像とか見ても
- 30 JM02B そうか(h) h
- 31 JM02A あ、でも布団というよりはテントのほうが良いのかな、だってさ、プライベートが守られるから
- 32 JM02B うん、え、布団か、テントで選ぶだったら？
- 33 JM02A テントか
- 34 JM02B うん、え...、ま...、その(h h h)、各点で選ぶのには、賛同(そうやね)。これとこれが似たような(そうそうそう)ためのもの、だから、そういう感じで選ぶとしたら、たしかに、これとこれを両方行くっていうのは(うん)なんかちょっとなっているのは賛同できるから、じゃあ、なんか、ふとんとかテント系で考えるとして=
- 35 JM02A =えーテントかな、なんか変えていいのかな=
- 36 JM02B =それか服か
- 37 JM02A いやー服はなんかもう、みんな持ってるからいいかな(そっか)、だったら結構なんかプライベートがないじゃん
- 38 JM02B でも、こどもだよ
- 39 JM02A あ、そうか、子供に〇寄付するんかh、要らんな、ただ秘密基地みたいになるだけか
- 40 JM02B うん、まあ、そこには親もいるんだろうけど(うん)
- 41 JM02A そっか、子どもだったらふとんはな、正直な
- 42 JM02B 要るんじゃない↑
- 43 JM02A 服か [v]
- 44 JM02B 温かいものを、温かくて衛生的な
- 45 JM02A うーん
- 46 JM02B どれにしよう
- 47 JM02A 服か:、h h 変えていいんかね h h
- 48 JM02B いいんじゃない
- 49 JM02A そっか、服にしようかな
- 50 <3 秒>
- 51 JM02A 服か、(1 秒)これはまあいいんだけど [v]
- 52 <4 秒>
- 53 JM02A 変えます[カメラに向けて]。
- 54 JM02B はい(h)、〇服でh

- 55 JM02A<〇服でh>{<}  
56 JM02B<〇服でh>{>}  
57 JM02A h h いい?服でh h  
58 JM02B〇俺はいいよ h  
59 JM02A〇えっ、マジh  
60 JM02B はい  
61 JM02A じゃあ服で  
62 JM02B もう1個は<#####>{<}。  
63 JM02A <薬かこれか>{>}ってのこと↑、結構時間ない [v]  
64 JM02B 俺はまあ、結構、結構は、な(うん)、あの[[, ,  
65 JM02A]]自信を<もって>{<}?  
66 JM02B <勝手>{>} 自信をもって  
67 JM02A 論破された感あったわ<hhhhh>(hhhhh)〇じゃあ、論破したいな、なんだろう  
な、まあ、たしかに、限られてるからねこれh、おなか痛いてか、違うな、な  
んていうのこれ、手洗いか、接触感染にたいするものだからね  
68 <1秒>  
69 JM02A でも歯ブラシとかほしくない?  
70 JM02B まあ、欲しいよ、<h h そりゃ、何だっけほしいよh h>{<}  
71 JM02A <h h h h h h h h h h h h h h h h h h>{>}h h h、そうだな。  
確かに。  
72 JM02B 日本の保育園に寄付しますってなったら、こっちな、こっちなほうが良いけ  
ど(良いけど)、その、元が不衛生な(うん)、不衛生極まりない場所に、あげ  
ますよって言った場合、やっぱり、予防よりも(うーん)、アフターフォロー  
73 JM02A でも、「バファリン」とか小さい子飲めないからねh h h  
74 JM02B 「バファリン」飲め...、半分にして<飲めるよ>{<}  
75 JM02A <そんなん>{>}、知らんけど  
76 <1秒>  
77 JM02A<まあ>{<}  
78 JM02B<風邪>{>}薬あんま何があるか見て<ないけど>{<}  
79 JM02A <なんか論破>{>}された感あるからな  
80 JM02B じゃあ、<1秒>論破したということで  
81 JM02A いやいや、そうやな、じゃあ、薬でいきましょう  
82 JM02B わかりました、決定<###>{<}  
83 JM02A <薬で>{>}。まあ9分経ちましたけど  
84 JM02B でいいかな、呼んでくる。ん?  
85 JM02A だいじょうぶかなh h h<h h h h h h>{<}、h h おわりですh h。いいんじや  
ない↑  
86 JM02B <h 終わりましたh>{>}

### JM03

- 01 JM03A じゃあ、せーのでそれだけよけるか、せーの、はい
- 02 JM03B あ、割れた
- 03 JM03A えっ、
- 04 JM03B すげー割れた
- 05 JM03A あーでも、まず一緒なのは薬か
- 06 JM03B 薬やねー、薬はやっぱあったほうが良いんじゃないかなっていう(うん)なんか、  
まあ、これは具体例だとして(うん)必要やん、やっぱ体調も崩しやすくなる  
だろうし(うん)災害で栄養不足とかで(うんうん)、だから、なんだろ、だから、  
くすりって言っても、なんか、栄養剤みたいな
- 07-1JM03A あ、栄養剤[[, ,
- 08 JM03B]]その
- 07-2JM03A サプリとか
- 09 JM03B のも、薬として考えれば、なんかそういう風に(うんうん)なんか病気になった  
ときのあとに使うものと(うん)、その予防のために(うん)使うものも薬として  
とらえれば(うんうん)、大事なんじゃないかと
- 10 JM03A まあ、これは、あの、俺はもう、風邪ひいちゃったときに(うん)薬がないんじ  
ゃね(うん)、我慢しろとは言えないし(そう)、一番大事(大事)なんじゃない  
かなと、まあ、でも実はこれ、俺は3番目に<最後に h h >{<}
- 11 JM03B <あ、ほんと>{>}、なんか子供って  
いう視点はあん...、あんまり入れなかった(あーそう)かもしれない、 $\emptyset$ なんか  
h h 自分がそうなったときに助かるものっていう視点で考えたかもしれない  
(あー、そうか)ちょっとね、視点的に、や、別に、でも、子供の視点、
- 12 JM03A はい、まあ、薬は一つ(そうやね)入れよう。えーそっか、テント
- 13 JM03B うん、テントは迷った、避難所が(うん)確保されてるかないか、あればいらな  
いけど(あー)、それこそなんか避難所とかも作れない場所↑(んん)に、起き  
ちゃったときに
- 14 JM03A(1秒)雨?
- 15 JM03B そうそう
- 16 JM03A 雨も<しのげない>{<}みたいな
- 17 JM03B <とりあえずね>{>}、 そうそう
- 18 JM03A あーそれはあるかな～
- 19 JM03B で、あとは、これも迷ったんやけど(うん)、ただ、災害のときってなんか、水  
ってさ(うん)確保される?水、なんか、断水とか結構あるやん(あー)日本だ  
と地震とか(あー)、水のなんか、補給(うん)なんか、タンカーになんか、タ  
ンカーじゃないど、トラック(うん)みたいなやつにいっぱい水積んできてさ  
(うん)それのお湯を沸かすときの電気とかがさ(あー)、必要だからさ、なん  
か[[
- 20 JM03A]]あ、そっか、<これ全部お湯が必要なんか>{<}
- 21 JM03B <む...、む...、そう、難しいん>{>}じゃないかって思っ  
て作るのが、そう。だから、こっちを選んだ、その(あ:::)、栄養は取れんかもしれ  
んけど、とりあえず飲み物だったら物資として届けたらすぐに飲めるから(あ  
あ)って思っ

- 22 JM03A たしかにここにあるやつ、 $\emptyset$ 全部h なんか加工しないと<使えない、お湯>{<}  
とか、あつためたりとか。
- 23 JM03B <そうそう、なんか>  
{>} そう、なんかそのまま食えるのが、ないよね?  
(あー)でも、中国とか、あっちの方は違うのかな(あー)、食料ってとらえれ  
ばいいのかな、それとも、インスタント品ってとらえればいいのかな
- 24 JM03A でも、なんか、ちくわとかソーセージもあるから(そう)、まあ食べれんくは  
ない
- 25 JM03B 食べれんくはないね
- 26 JM03A っつか、あ、俺はこれお菓子だと思って(あー)、俺結構子ども...、子供(うん  
うん)に送るってところ(そうやね)を重視したから。その#ね(そう)、  
<玩具も>{<}
- 27 JM03B <退屈>{>}しちゃうからね(んん)、あの、なんだろ、命が確保される状態に  
なったら(うん)、これだけじゃ子供はつらいh h(あー)、 $\emptyset$ つらい正直h、  
(確かに)なんか楽しむものとかないと(そう)、本でも絵本でもいいし、  
おもちゃでもいいし、だから、これはなんか、この、何だろう、最初の段階  
もう(うん)、とにかく $\emptyset$ 死なせないためのh(あー)ものをちょいすかな、テン  
トとかもそう(確かに)、かな↑、そう
- 28 JM03A 死んだら元も子もない(そう)っていう観点に立ってばh h h =
- 29 JM03B =そうそうそう、  
だからこ...、これを、ここら辺(うん)を割り込ませるかどうかっていうのは、  
<悩んだ>{<}
- 30 JM03A <本と>{>}おもちゃ?
- 31-1JM03B そうそう、本、本か、おもちゃでもどっちでもいいんだけど、子供を退屈させ  
ないためのものが(うーん)、っていうのを迷ったから、まあなんかそれを一個  
入れてもいいんじゃないかと普通に思う。テント [v] =
- 32 JM03A =そうだね=
- 31-2JM03B =薬[音  
低]、どっちが必要だと思う?これとこれだったら
- 33 JM03A テントかお茶?
- 34 JM03B うん、テントと飲み物、うん
- 35 JM03A どっちかだったら、本当はないと困るのはやっぱお茶かな(あー)、飲み物=  
36 JM03B =だ  
よね。
- 37 <4秒>
- 38 JM03A h h h、で、まあ、
- 39 JM03B それが俺<ちょっと>{<}
- 40 JM03B <食事かー>{>}
- 41 JM03A うーん、(1秒)写真は寄付するものだもんね、うーん
- 42 JM03B そう、なんか、これ、薬飲むのも断水してたら無理や=  
43 JM03A =<あ、確かに>{<} h  
h h

- 44 JM03B <と違って>{>}  
 飲み物必要やなって、それを飲むための、まあ、h h お茶を飲むのあんまよくないけど(あー)、そう、でも、飲まないよりはましかなって思って(確かに)、そうだから、ここはセットかなって俺は、これを選ぶならこれも選ばなきゃいダメや=
- 45 JM03A = h、<そういう流れに<{<}>
- 46 JM03B <そういうふうに>{>}、そういう流れになった(あー)俺は、そう
- 47-1JM03A 俺は逆に、逆についていうか、まあ同じように(うん)、これを入れたから(うん)、あ、この、歯磨き h とか(h h)、<入れなきゃな一ってなったけど>{<}、
- 48 JM03B <h h h h なるほど、なるほど h h>{>}</p>
</div>

47-2JM03A これは、まあね、本当に必要(うん)なものじゃないなあとと思って

49 <2 秒>

50 JM03A そっかー

51 JM03B そうなんすよねー

52 JM03A 確かにね、災害の時に一番、あ...、ないといかんのは水だっていうしね、なんかトイレ流すにしても(そうそう)お茶で h h 流すかは知らんけど

53 JM03B ほんと、断水と電力なくなったらどうやって生きていくんだろう h

54 JM03A h h それね。<h h h h h h h h>{<}>

55 JM03B <h h h どうすんやろ<{<}>、どうやって生きていくんやろ h

56 JM03A 火とまあ川<の水になってしまう>{<} h h、h h

57 JM03B <火と川、川の水>{>} h h h そ、その水嫌だよ (h h h)、その浅野川の水、絶対 h h h

58 JM03A 確かに、じゃあ、まあ、ここはもうちょっと入れよう(うん)、水と、薬、あと一つは、でもやっぱ子供っていう<のが関係してないと>{<}>

59 JM03B <そう、やっぱ娯楽が>{>}必要だよ、絶対、どれが一番喜ぶかな、飽きないもの(うーん)、一番飽きないもの、(1 秒)無限に作り出せるとしたらこれだけだね h h <h h h h h h>{<} h h

60 JM03A <h h h h h h>{>} わくわくさんみたいな

61 JM03B h h そう、そうそう h h h 無限に作り出せるとしたらこれになるよね h h (あー)、毎回違うバリエーション (あー) が楽しめるっていうのはあるけど=

62 JM03A =対象  
 が、でも、幅広いからね=

63 JM03B =ね、子供

64 <1 秒>

65 JM03A うーん、でもやっぱ、こども用としてはおもちゃを、お...、推したいかな、おもちゃ(おもちゃね)

66 JM03B 一番、た...、うれしいよね、子供、多分、なんだろう、なんかさ(うん)、これ、なんかなんだろう、これってさ、好きな子は好きだけどさ(うん)、嫌いな子はなんかある、あれだよ(うん)、

211

- 67 JM03A お絵描き<嫌いな>{<}  
68 JM03B <こういう>{>}本とかもなんかそう(んん)、なん...、これが一番直感で喜べるhh<ところはあるよねたぶん>{<}、目に見えてhhh  
69 JM03A <hhhhhhhhhhhh>{>} まあ、  
ちょっと低いけどね対象は  
70-1JM03B あー、まあ確かに=  
71 JM03A =<でも>{<}  
70-2JM03B <でも>{>}おもちゃだっていくらでもあるやん  
72 JM03A そうやねーたしかに、まあ、災害の悲しみっていうか、寂しさ(うん)を紛らわせるかもしれないというのものもある  
73 JM03B おもちゃ、まあそうだね。うちの年代だったらなんだろう、カードゲームとかの方がうれしいんじゃないか  
74 JM03A トランプ?  
75 JM03B そうそう、トランプ、トランプが来たらもう無限に遊ぶよ=  
76 JM03A =hh、hhまあね  
(そう)、まあ、俺ら子供じゃねえけどなhhh  
77-1JM03B うん?hhまあまあまあhh、<∅童心、童心h>{<}、  
78 JM03A <まあ、この三つかな>{>}  
77-2JM03B 童心に帰って(hhh)考えることも必要、これはね、そう、これは避難所行けばあると思うし(うん)、避難所があれば、そう、うん。まあ、テント[v]、テント持ち運べへんな、だいたい。  
79 JM03A 持ち運ぶ?  
80 JM03B そう、これたぶん移動式テントでしょ?こういう小屋やから(うんうん)、持ち運ぶってのは大変か、そうやな[v]  
81 JM03A 送るってこと?  
82 JM03B あ、いや、違う、その人たちが受け取る↑って、結構聞く、なんか、分からなくて、なんか山登りするときのさ(おお)、でっかいカバンに入ってるんでしょう?  
83 JM03A 確かにね  
84 JM03B まあ、あったらあったで困るか  
85 JM03A うーん、まあー  
86 JM03B 服とかもさ(うん)どうなんだろう、実際...  
87 <1秒>  
88 JM03A<服か>{<}  
89 JM03B<なんか>{>}送られてきたらさ(うん)、全然シャワーとかお風呂入れなくてずっと同じ服で汚いみたいな感じで(あー)、送られてきて、人のがさ、知らない人のが送られてきて、あ、でもその時になったら着れるのか、ありがたく思っ、いや俺古着きれない人なんやって  
90 JM03Ahhそうなんや(そう)<hhhhhhhhhhhh>{<}  
91 JM03B <どうでもいい話だけどhhめっちゃ>{>}、そう、古着買えない人だから、昨日、その、HARDOFF行ったんやけど(うん)、古着とか見えて、[息を吸う]なんか、ひと、人が使ってたんだよね<とか思っちゃって>



- {<}
- 92 JM03A <へえー、思った?>
- {>}
- 93 JM03B んん、なんか思っ...ちゃうんだよね
- 94 JM03A えーそっかー<###>{<}
- 95 JM03B <アウター>{>}とかだったらいいんだけどね全然
- 96 JM03A あっ、肌着?えっ、<Tシャツ>{<}?
- 97 JM03B <肌着とか>{>} Tシャツが一番いやだね
- 98 JM03A え、なんか、このシャツは、俺は中に着てるけど
- 99 JM03B え、それはやだ、2枚目から
- 100 JM03A ん?いや、この、このこの(あー)グレーの
- 101 JM03B それやったらまあ、行けるかな(h h h)、それは多分いとこのお古とかもら  
ってるから(あー)、それだったら行けるけど、まあ
- 102 JM03A まあね、でも、うん、そうやね
- 103 JM03B 探るのがだるいんかな、それ関係ない話 h =
- 104 JM03A =古着の話? h h h
- 105 JM03B h h そうやな、それは関係ない話ですね h h (h h h) えーっとそうやなでも、  
服、まあ、服、サイズ、こどもの服、や、こどもの服ってそんなないからな、  
でもまあ、着替えは最悪(うーん)、これにこれいれちゃったらもう、もう、  
それこそ、たい、退屈やん h h h、それこそ生きていく<だけやんね>  
{<}
- 106 JM03A <あー>{>}、結  
構ね。やっぱ子供っていう、一応<書いてあるからね>{<}
- 107 JM03B <そうそうそうそう>{>}それはしん  
どい、俺もしんどい、服だったらまあ、まあ、我慢(うん)、我慢できるっち  
ゃ我慢(h h h)できる。そう、ベビー用品だったら別だけどね、おむつと  
か
- 108 JM03A ベビー用品?あー
- 109 JM03B そう、おむつとかだったらまた別だけど、赤ちゃんとかがいる場合は(あー、  
そうだね)それは、また、別もん
- 110 JM03A じゃあこれを選んだ基準としては、もう、生きるために(そう)必要な2つと  
(そう)、あと、まあ、娯楽のための一つ(そう)って感じかな=
- 111 JM03B =そうだね、  
で、何ていう、俺は、これを、これがまあ(うん)、これはなんか、これは要  
らん、娯楽が必要っていう理由でこれを下げたっていう理由と(うん)こたろ  
う、あと2つなんだったっけ
- 112 JM03A 俺は、<これとこれと>{<}、 お菓子だね
- 113 JM03B <これとこれと>{>}、ああ、じゅあ、 それぞれひとつず  
つ下げたってだけやね<うちらは>{<}
- 114 JM03A <そうやね>{>}
- 115 JM03B なるほどね、それは、水とかが h h 無かったら食えないかもしれないね h h =
- 116 JM03A =まあね、水とどっちかってどこあったしね

- 
- 117 JM03B そうだね、そう。  
118 JM03A うーん  
119 JM03B って理由かな、あとは、ん、そうだね、あとはこれとこれはこっちのほうが良い(うん) っていう選択肢で、まあ、これとかは最悪、なくてもって話(うん) かなー(うん)だよな?ーあー、  
120 JM03A よし  
121 JM03B どうなんだろ  
122 JM03A まあ、いいんじゃない、<h h h h>{<}  
123 JM03B <ほかの>{>}、ほかの人たちが気になるな(あー) これ結構普通にいい感じに考えてきた(んん)、と思うんだけどどうなんやろ  
124 JM03A まあ、取捨選択した(うん) よし、時間もそろそろやし、趙さーん  
125 JM03B あ、でもこれ...、これって全部述べた後で終わったほうが良いのかな?  
126 JM03A(1秒) え、一応述べたことない?  
127 JM03B あ、言ったか(うん)、まあまあ、言ったかな  
128 JM03A 値段?  
129 JM03B ん?  
130 JM03A 寄付するものの値段か。ま、〇いいんじゃないかな h h h  
131 JM03B h h h

#### JM04

- 01 JM04A えっ、全く違う<やん>{<}  
02 JM04B <全然>{>}違う  
03 JM04A へえー  
04 JM04B ちょっと邪魔なもの省こう=  
05 JM04A =そうだね、、え、ぜんぜんちゃうやん  
06 JM04B いや、俺絶対この食糧来ると思った  
07 JM04A いや、俺...、あ、そっか食料いるね、<忘れとったわ>{<}  
08 JM04B <まあまあまあ>{>}これでいい  
09 JM04A いや...  
10 JM04B まあ、あ、なるほどね  
11 JM04A なんかありそうだよな  
12 JM04B まあ、でも、俺が、なんか、最低限、まあここの、同じで、5種類だよ、まとめると  
13 JM04A けど、薬品ってなんか要りそうな気がするんよな(あー)、なんか、食料あるでしょ?、絶対、<イベントだぜ>{<}、イベントでしょ↓  
14 JM04B <そうだよな>{>} でも、難民でしょ?  
15 JM04A 難民なんだよねー  
16-1JM04B で、俺が思ったのは、その、生活に必要な、最低限必要なもの、で、プラス娯楽というか、  
17-1JM04A いや、<これは>{<}、

- 
- 16-2JM04B <###>{>}
- 17-2JM04A さすがにおもちゃはいらんくない？おもちゃ要るんだったらまだ、薬のほうが良いような気がするんだよな
- 18 JM04B え、ま、かも...、そう思うかもしれないとは思うんだけど、子供たちって書いてあるからな＝
- 19 JM04A ＝あ、そうか、子供たちか、それ忘れとったわh h
- 20 JM04B 子供たちだから、ほらなんか(あ、なんか)、いるんじゃねって思っ＝
- 21 JM04A ＝あ、  
思った、子供たちやもんな(うん)
- 22 JM04B で
- 23 <1秒>
- 24 JM04B あと：，
- 25-1JM04A 俺，
- 26 JM04B そういうこと？
- 25-2JM04A 衛生品＝
- 27 JM04B ＝衛生品ね、正直最悪無くても生きてけるよねって思ったh h h
- 28 JM04A いや、けど、衛生大事よ
- 29 JM04B まあまあまあ
- 30 JM04A まあ大事やから一応入れておこうと思ったけど
- 31 JM04B で、それは？
- 32 JM04A これはh薬h h h
- 33 JM04B 要らないh h h<絶対いらぬh h>{<}  
<絶対いる、くすりh>{>}要るやろh h h
- 34 JM04A
- 35 JM04B 何の薬？
- 36 JM04A いや、例えば、腹痛なつた時のくすりとか、風邪になつたときとか、そういうときの薬、なんか要りそうでない↑いりそうじゃないってか、子供たちのイベントってこと忘れとったわ(まあまあ)、あ、けど、水はなんか[[
- 37 JM04B]]これは絶対＝
- 38 JM04A ＝要る？
- 39 JM04B 要る
- 40 JM04A 要るやつ決めよう、要るやつ、これとこれいるやろ？
- 41 JM04B うん、食べ物はまず絶対いる、<食べ物>{<}  
<けど>{>}、ぜ...、これ...は確定で
- 42 JM04A
- 43 JM04B じゃあ、これ3つでひとつ(そうそう)
- 44 <1秒>
- 45 JM04B え、でも、もしそれだったら、え、これ歯ブラシとかでしょ？
- 46-1JM04A 歯ブラシ？え、歯ブラシ<要らん>{<}なあ、
- 47 JM04B <正直...>{>}
- 46-2JM04A けど、キレイキレイ大事じゃない？いらぬか？
- 48-1JM04B 手、大事だけどさ、ほら[[，
- 49 JM04A]]あつ、み...
- 48-2JM04B 他の国の人とかってさ

- 50 JM04A 汚いって？
- 51 JM04B 汚いというか、使わない国とかもあるよ、だから泥で歯を磨くっていうのもある
- 52 JM04A あっ、そういうの、聞いたことないけど
- 53 JM04B あるよ h h h (h h h)
- 54 JM04A じゃあ、まあこれは除外したとして、これとこれやな
- 55 JM04B 待って待って、もう4分、いや、4分しかたってない、まあ、いいか
- 56 JM04A これかこれのどっちかやね
- 57 JM04B まあ、でも、<薬##><>
- 58 JM04A <薬>>大事やろ
- 59-1JM04B 確かに、まあ大事、だけど、まあ大事やね、正直これはいらんと思う、<要らないと思う><>けど、
- 60 JM04A < h h 要らない h >>
- 59-2JM04B ただ、子供たちって書いてあるから
- 61 JM04A そうなん<だよな><>
- 62 JM04B <てか>>、本当はさ、これとこれが絶対被ると思ったんだよね(うん)、それで、ふくか...、服かこっちで迷って(h h h)こっち来るなって思っ、こっちにした h < h h ><>
- 63 JM04A < h h >> h h そしたら、全く違ったっていうね＝
- 64 JM04B ＝そしたら全く違っ、〇一緒じゃんって思ったもん h h 最初の h
- 65 JM04A 俺なん...、俺見たとき、えっ、普通そっちやろって思っ
- 66 JM04B マジかって思っ、へえでも、これはいらん枠だった、正直
- 67 JM04A 要らない枠だった？
- 68 JM04B うん
- 69 JM04A これ食料だよな？(うん) 冷凍でしょ？
- 70 JM04B えっ、でも、保存食は保存(あーそっか)できるから
- 71 JM04A 理由を
- 72 JM04B こんなんいらんな、これも、意味わからん＝
- 73 JM04A ＝意味わからん、けど、あ、あるしね
- 74 JM04B あ正直服は、まあ(まあ)、要る(要る)これはさっきの、これ、これは本、まあ、勉強しなくてもいい(h h h) h h これはまあ、でも、これとこれって似てる、<と思う><>。
- 75 JM04A <似てる>>よね(うん)、おもちゃすぐ飽きそうなんだよね(たしかに)、まあ、いま、それはいいとして、こっちかこっちかなんだよな
- 76 JM04B ちょっとした時間を
- 77 JM04A やばいな、はよ決めないと
- 78 JM04B いや、まだ5分もある
- 79 JM04A 5分もあるの？理由も考えなきゃいけないし、理由は、これは簡単だよな(うん)、こっちは＝
- 80 JM04B ＝要る、生命<の維持><>

- 81 JM04A <生命の>{>}維持。こっちだよね→
- 82 JM04B 薬でしょ
- 83 JM04A 薬なんか...
- 84 JM04B 要る？でも要るのかな
- 85 JM04A なんかいりそうな気がするな、なんか、ハンターハンターみとったら、これい  
るような気がしてきた＝
- 86-1JM04B =そうだよ、だめだよ、でも、こどもが[[,,
- 87 JM04A]]怪我したときとか？
- 86-2JM04B お菓子だとおもって[[,,
- 88 JM04A]]いや<いや>{<}</p></div>

- 
- 112 JM04B 本能的に必要なだし＝
- 113 JM04A ＝本能的に必要なだから（そう）、子供たちにだから、え、子供たちにあげるものだから、大人たちにあげるっていったらんやん（うん）、という考えたら、のだからh、い...、お...、ワンちゃん洋服でもいいんじゃないって思ったんだけど、h h まあh h
- 114 JM04B h h でも、あれじゃね、3つ選んでh h、<って考えとるから>{<}、もう除外してもいいんじゃない？
- 115 JM04A <そうそうそうなんだよね>{>}  
だからもう、これだな
- 116 JM04B そうそう、そうだね
- 117-1JM04A こ...、ま、理由は、
- 118 JM04B まあそうなかんじ
- 117-2JM04A 生命維持と、<子供たちに>{<}
- 119 JM04B <子供たちに>{>}喜ぶやね
- 120 JM04A そう、子供たちに何を寄付するかって言ったから、おもちゃを寄付したっていうことに（うん）、しましたっていいかな？、もうちょっと話そう
- 121 JM04B 話すことあるかな？
- 122 JM04A あるやろ
- 123 <2秒>
- 124 JM04B これおーいお茶
- 125 JM04A お水入るんかね
- 126 JM04B あー確かに
- 127 JM04A これ飲料水って書いてない？
- 128 JM04B こっちしか書いてない
- 129 JM04A あ、片っぽなんや、俺のどこ全部書いてない
- 130 JM04B 俺のどこ全部書いてあって
- 131 JM04A 飲み物
- 132 JM04B ちょっとしたジュースみたいな？
- 133 JM04A 感じなんか
- 134 JM04B まあ、でも、お茶でも
- 135 JM04A まあいいやh h
- 136 JM04B 食いもんも大事
- 137 JM04A 食いもんあるしね
- 138 JM04B まあ、これでほら、日本のアニメ使ってるし、日本のこと好きになるかもしれんよ
- 140 JM04A あ、それはいい（h h）と思うけど。これ...もう。h h
- 141 JM04B もうよくない？呼ば
- 142 JM04A 呼んでこよー、何分？
- 141 JM04B まあ、約8分話したし、ちょっと止めるわ
- 142 JM04A じゃあ呼んでくるわ
- 143 JM04B うん。

---

JM05

- 01 JM05B よっしゃ、じゃあ出そう
- 02 JM05A はい
- 03 JM05B じゃあ、一枚ずつ？
- 04 JM05A 一枚目、はい
- 05 JM05B はい
- 06 JM05A なに、服？
- 07 JM05B 二枚目、はい
- 08 JM05A くすり
- 09 JM05B 三枚目、はい
- 10 JM05A なるほど
- 11 JM05B h h h h h
- 12 JM05A ここから何を話せばいいんだっけ
- 13 JM05B ここから、あれだよ、選んだ理由と、それは違うよっていうのを
- 14 JM05A じゃあ、とりあえず、選んだ理由、聞きましょう
- 15 JM05B やっぱ、あの一葉って大事やん h (薬) うん h、薬って大事やん？
- 16 JM05A 大...、大事、ど、どういう風に h ?
- 17-1JM05B で、ねえ、大事やん？ (h h h) けがとか (はい) したりとか風邪とかになったら、ずっと外にいるわけだし、外っていうか避難所にいるわけやし (はい) 体力もきついやろうし、(はい) なるべく風邪とかかからんように、かかっても早く治るように薬はいるかなと (はい)、あと、飲み物はいるよね(そうっすね)、h h h 飲み物は人間は水分ぜったいいるからね(ですね)、あと、あの、ずっと同じものを着てると衛生的にもよくないからちょっと洋服を、送ってあげよっかなっていう＝
- 18 JM05A =なるほど
- 17-2JM05B はい
- 19-1JM05A じゃあ、ぼくは、えっと、まあ、おんなじ水と服。まあ、水はやっぱ水分大事だよって(大事よね)、で、服は、うん、ま、衛生的にもね、気を付けたほうが良いし(うん)、あと、服ってやぶ、やぶ、破いてなんか[[[,
- 20 JM05B]]包帯とか
- 19-2JM05A 包帯とかにもできるし[[[,
- 21 JM05B]]いいっすね
- 19-3JM05A 便利かなって。で、あと、ここですね (h h h) h h h ぼくは、これは、やっぱ、飯食わないとやってけないんでね
- 22 JM05B まあ、飯大事っすよね
- 23 JM05A 食べ物です。
- 24 JM05B じゃあ、もう、こことここは決まりでいいかな？ h h
- 25 JM05A そうですね h h (h h) ここは<大事>{<}</p></div>
<div data-bbox="481 910 513 924" data-label="Page-Footer"><p>219</p></div>

- 29 JM05A そういうこと？必ずしも3種類決定せんなだめねんろ？（うん）、なるほど
- 30 JM05B ここ、どっち選ぶんかっていう
- 31 JM05A 話し合いに対する要求ですが、例えば生活必需品、寄付するものの値段[指示を  
読んでいる]、これ今やったし、いいよね？あー、どっちか？俺薬いらないと  
思うんだ よな
- 32 JM05B なんで：
- 33 JM05A なんで、なんでだろうね（h h h）h hそれをh h、なんだろう
- 34 JM05B 消毒液とかもあるのに、写真だけど
- 35 JM05A やー、僕はいらぬあ<と思うんだよね>{<}</p><div data-bbox="137 283 752 299" data-label="Text"><p>36 JM05B <絆創膏とか>{>}、 菌はいつちゃう、菌</p></div><div data-bbox="137 302 457 318" data-label="Text"><p>37-1JM05A 優先順位的に(うん)、僕は[[</p></div><div data-bbox="137 320 307 336" data-label="Text"><p>38 JM05B]]食べ物？</p></div><div data-bbox="137 338 280 354" data-label="Text"><p>37-2JM05A 食べ物</p></div><div data-bbox="137 356 422 373" data-label="Text"><p>39 JM05B じゃあ、食べ物でいいや</p></div><div data-bbox="137 375 719 392" data-label="Text"><p>40 JM05A いや、待って待って（h h h）h h h折れるな折れるなh h h</p></div><div data-bbox="137 394 667 410" data-label="Text"><p>41 JM05B 俺も食べ物大事だと思ふよ、食べ物か薬で迷ってたから</p></div><div data-bbox="137 412 630 429" data-label="Text"><p>42 JM05A それかなんかこういうのかなって、これ何だろう？</p></div><div data-bbox="137 431 294 447" data-label="Text"><p>43 JM05B テント↑</p></div><div data-bbox="137 449 350 466" data-label="Text"><p>44 JM05A テントみたいな</p></div><div data-bbox="137 468 856 502" data-label="Text"><p>45 JM05B みんな、野ざらしみたいな？（そう）、体育館では寝れない？h h<h h>  
{<}</p></div><div data-bbox="137 505 848 540" data-label="Text"><p>46 JM05A <たい>{>}、  
体育館あるんやったら（h h）いいけど、ない場合を考えて（あー、そう）</p></div><div data-bbox="137 542 243 558" data-label="Text"><p>47 <2秒></p></div><div data-bbox="137 560 846 577" data-label="Text"><p>48 JM05A だってー、なんで薬、うーん、否定する理由もあんまりないよな気もするんだ</p></div><div data-bbox="137 579 481 595" data-label="Text"><p>49 JM05B 食べ物も大事だと僕は思います。</p></div><div data-bbox="137 598 299 614" data-label="Text"><p>50 JM05A 大事よね</p></div><div data-bbox="137 616 420 633" data-label="Text"><p>51 JM05B 薬も大事だ<けど>{<}</p></div><div data-bbox="137 635 859 688" data-label="Text"><p>52 JM05A <でも>{>}、正直水はあったら（うん）こっちいるかなってのは  
あるけど、どうなんだろう、(1秒)今何分だろ？（h h h）h hあ、そっちは  
気にしない。うーん、薬か</p></div><div data-bbox="137 690 722 707" data-label="Text"><p>53 JM05B 薬はいいとおもいますが、でも食べ物だって大事ですよね→</p></div><div data-bbox="137 709 859 762" data-label="Text"><p>54 JM05A 薬ってなんか、絶対にいるってわけではなくない？（まあまあまあ）なんか、  
ここぞって時(そうっすね)、ダメージ負ったとき、こっち毎回できるだけ摂取  
しなきゃやっぱ死んじやうし、<###>{<}</p></div><div data-bbox="137 765 858 799" data-label="Text"><p>55 JM05B <あれ>{>}、食べ物は一切ないっていう状況を  
考えての、食べ物？</p></div><div data-bbox="137 802 367 818" data-label="Text"><p>56 JM05A そうそうそうそう</p></div><div data-bbox="137 820 859 892" data-label="Text"><p>57 JM05B なら、h食べ物でいいんじゃないですか？h h僕はそう、そういう状況なら食  
べ物だと思いますよ、だけど（まあ）、ある程度のその、やっぱ、蓄えとか  
あるじゃないですか？(はい)、その避難所にも(うん)、その薬とかもあると  
思うんですけど(うん)、あ、その状況だったらどっちかというと、ま、飯よ</p></div></div><div data-bbox="482 910 513 924" data-label="Page-Footer"><p>220</p></div>





- 
- 92 JM05A それぞれ選択して# # # [指示を読んでいる]、うんうんうん (うんうん)、  
それで撮るとるかわかんけど[話題以外の話]
- 93 JM05B(カメラに向かってピース)あれ撮ってる
- 94 JM05A あんまふざけたことしとったらあかん (h h h)
- 95 JM05B でも、まじめな話やったらこれやな
- 96 JM05A そうっすね
- 97 JM05B 僕は多分ね、これやと思んっす、一応なんか (うん)、君は (うん) ちょっと  
手元を見てて、薬を選んでなかったから h h
- 98 JM05A 〇そう、薬はなんか、俺の中では優先順位が低い h
- 99 JM05B だからわざと取ったみたいなところあるんやけど
- 100 JM05A うん、ありがとう (うん) h h
- 101 JM05B 〇だってさ、見たときここ2つ一緒やったやん (そうや) h h h (h h h)
- 102 JM05A いやだって俺んち、一人暮らししとつても薬高いしさ
- 103 JM05B あれじゃん、値段とかも、いいんじゃない?
- 104-1JM05A 寄付する値段とかも高いしな、そんな薬ばかりいっぱい寄付しとったら  
(ね)、こっち、こっちがやばいよ[[[,
- 105 JM05B]]やっぱこっちくよな>}  
104-2JM05A <寄付>寄付する#が
- 106 JM05B よし、終わったよ
- 107 <2秒>
- 108 JM05A10 分程度だからまだ話合わないんだめよ
- 109 JM05B(1秒)えっと、俺の決断能力が早かったという
- 110 JM05A そうやね、意気投合しとつた (h h h) もんね、服大事やしな(うん)なんやろ  
うね、こいつはいらん(うん)これなに、おもちゃ?(うん)クリスマスプレ  
ゼントみたい
- 111 JM05B あれかい、あれ、子供たちの遊び道具みたいな(ね)
- 112 JM05A これもそうなんかな
- 113 JM05B なるほどな
- 114 JM05A うーん↓
- 115 JM05B なんかよく被災地に本送るとかあるよね
- 116 JM05A あるね
- 117 JM05B ニュースでよく見るね、文房具とか。あ、被災したの子供たちに文房具のプレ  
ゼントをとか
- 118 JM05A あるね (ね)、そしたら一理あるのかもしれん (h h h) えー、でも、子供た  
ちだけじゃない? 需要あるの
- 119 JM05B 子供たちって大切よ
- 120 JM05A 未来ある＝
- 121 JM05B ＝その子供たちが勉強できんって未来の大きな損失やで
- 122 JM05A 今は災害やから、生き残るのが大事やね(そうやね)、だと思っただけどな、確  
かに災害で配ってる (h h h) おもちゃは知らんけど、文房具と本は配って  
るね(配ってる)。薬はみたことない (ない)。これも、こいつらは見たこと  
ない

- 123 JM05B 布団はあるね h h
- 124 JM05A 布団ある？
- 125 JM05B うん、よく毛布のプレゼントとか(ほーん)、秋とか冬とか災害あった時に
- 126 JM05A でも、毛布とかってなんか、その、避難所とかにさ、よく置いてない？
- 127 JM05B おいてあるけど、人数が人数よ
- 128 JM05A なるほどね、ぎゅんぎゅんなんやね(うん)
- 129 JM05B どういう規模の災害か詳しく書いてないから(うん)、ちょっとわかんないけど
- 130 JM05A テント、テントは[[
- 131 JM05B]]へえ
- 132 JM05A ええ、<なんだ？>{<}>
- 133 JM05B <へいへい>{>}へい、よう、見たらすごいことが分かった(うん)、  
難民の子供たちに
- 134 JM05A <ほー>{<}(<ほー>{>})
- 135 JM05A でも、俺は生き残ってほしいから＝
- 136 JM05B ＝生き残ってほしい？(うん)
- 137 JM05A ちょっと、論点ずれとったね
- 138 JM05B うん、論点ずれとった h h h これさっき子供たちにしか
- 139 JM05A ほんとやな。へえっ、でも俺は、まあ、法科大生やからって理由は付けたくないけど、俺はやっぱ生き残ることが大事＝
- 140 JM05B ＝勉強よりもな、ペン、ペンよりも、やっぱ命が大事やん
- 141 JM05A そう、まず命やろ
- 142 JM05B そうですね
- 143 JM05A まあ、大事やろうけどね、こっちも。
- 144 <3秒>
- 145 JM05A 僕たち結構、とんだ勘違いしとったかもしれん(うん)
- 146 JM05B もうやっぱ、見んといかんね、プリントは
- 147 JM05A なんか、何種類かばっか見とった、(1秒)いやでも、俺、だれに対してもこれや、(うーん)、この3つで勝負<しよう>{<}>
- 148 JM05B <俺も>{>}、この3つでいいと思う、  
やっぱね、洋服ってね(うん)、臭いしね、洗わんとね
- 149 JM05A いやー、でも、洋服、高かったりするからな
- 150 JM05B り、リユースショップとか
- 151 JM05A そうやね
- 152 JM05B 大体ね、そういうのやるのってそういう店ばっかだからね(うん)、あの、なんかボランティアみたい(うん)、よくボックスおいてあるやん
- 153 JM05A 文房具、俺らは文房具欲しくないし、
- 154 JM05B 俺らはいらん
- 155 JM05A 俺らがもらってうれしいものだもん
- 156 JM05B 俺が、この子供だったときは(うん)、文房具クリスマスプレゼントにももらったときはもう絶望したもん

- 
- 157 JM05A ああ、俺も。本もたった時は< h そうだった h >{<}  
158 JM05B <絶望した>{>}俺は、「ミッケ」「ミッケ」も  
らったん、クリスマスの時(うん)、俺はそのとき DS のカセットが<欲しかった  
だから h h h h h >{<}  
159 JM05A < h h h h  
h h h h h h >{>} ああ、懐かしいな、ほんと、俺もショックやった。  
160 JM05B なん、なんで本なん?  
161-1JM05A そう、あの包み紙あるやん、  
162 JM05B ん、あ、そうそうそう h h h  
161-2JM05A それがもう、本なんよ h h h  
163 JM05B でも親のたて、こう、もう(うん)、目の前におるからさ(うん)、ちょっと  
喜ばんとさ(うん)、かわいそうやん  
164 JM05A まあ、ワンちゃんあるかもと思って、開いてみる、開けてみるやん、やっぱ本  
だった h h h  
165 JM05B つぎ、サンタさんに(うん)任せる(うんうん)、俺サンタさんに任せた結果、  
ドラえもんのドンジャラ h h  
166-1JM05A あー、悪くないじゃん、でも[[  
167 JM05B]]違う、違う  
166-2JM05A 小っちゃい頃には欲しくないか  
168 JM05B いや、ドンジャラって(あ)、多で遊べるゲームなんよ(そうやね)、俺一人  
っ子やし(h h) h h  
169 JM05A あんま、友達と遊ばんかったんやh(うんうん)、要らんね  
170 JM05B 要らんを買って、お父さんに遊んでって言っても遊んでくれなかったし  
171 JM05A なるほど  
172 JM05B ドンジャラなんか選ぶなよ、h h 飽きたわh  
173 JM05A h もういいんじゃない? 12分経つとるh  
174 JM05B h h h よっしゃ  
175 JM05A 終わりましたよ  
176 JM05B 終わりましたよ。ごちそうさまでした。  
177 JM05A おいっす

## JM06

- 01 JM06A まずは何や、何選んだか(はい)、俺はこの3枚  
02 JM06B なに、これ?  
03 JM06A まあ、テント、飲み物(うん)、服  
04 JM06B おおー、俺、食べ物 h h、ちょっと考えたよ、服は、考えたけど(うん)、な  
んやろ、別に、着替えんでも生きていける  
05 JM06A まあそうだけど、裸でも生き残れるけど、あれやん[[  
06 JM06B]]えっ、  
07 JM06A ん?  
08 JM06B はだ、裸の前提なん?

- 09 JM06A いや、わからんけど、とりあえず、なんか向こうの人も服持ってるけど（うん）、その、難民っていう設定やからさ（うん）、なんやろ、どっかに逃げ込んだ時に、逃げ込んだ先が寒かったとして、で、それで着こんだりすることもできるし、なんか服やったら布団代わりにもなるから（うん）、それやったら服でいいんじゃないかねーって思った（うん）、っていう時点で俺は服（うん）で、まあ、飲み物は飲みもんやからな
- 10 JM06B おなかすかん？
- 11 JM06A それな
- 12 JM06B から俺はもう、食べ物、あの、レトルトやったらまた違うけど、なんか、お湯とか例えばなかったら（うん）作れんがいね、
- 13 JM06A まあ、作れんね
- 14 JM06B それ考えたけど、まあ食べ物やろ？
- 15 JM06A 食べ物やね＝
- 16 JM06B ＝食べ物やったら、食べ物一択だと思ふ
- 17 JM06A それなんだよね、食べ物強いけどな、食べ物まじで強いんだよな
- 18 JM06B ま、一番の地獄って空腹やん（まあ）
- 19 JM06A そうなんだよな、でも、飲み物で何とかなるんじゃないかねっていう精神でおる（うん：）
- 21 <1秒>
- 22 JM06B h h 何とかなるかな h h ?
- 23 JM06A そう、何も、あーんでもやっぱ食べ物欲しいなやっぱ
- 24 JM06B まず、衣食住っていう視点で考えたよね
- 25 JM06A 俺これ衣食住なんだよな h
- 26 JM06B うーん、しょく...、食じゃないよ h
- 27 JM06A 食 h h ではないけどな h
- 28 JM06B 衣住よ h h h
- 29 JM06A い、いいんだなもう（うん）、けど飲み物、水さえあれば1週間何とか生き伸びれるから、それまで、配給待ちかなって、寒さってどうにもならんくねって思ったんだけど、寒さとかそういう<##>{<}
- 30 JM06B <うん、テント>{>}
- 31 JM06A テント、何とかなるかな、何とかなるかな
- 32 JM06B うーん、まあ
- 33 JM06A テントは必要最低限必要やからな
- 34 JM06B うーん、テントとじゃあ飲み物はもう確定っていいって？
- 35 JM06A まあそうやね
- 36 JM06B 一緒になったから（そうね）
- 37 JM06A これは、まあまあ、絶対必要最低限必要だからな（うん）、テント持ち運べるしな
- 38 JM06B そう
- 39 JM06A 移動できるから便利だし
- 40 JM06B 住めるし
- 41 JM06A けど俺、クスリ、も結構いいんじゃないかねって思ったけどね

- 42 JM06B あ、これ薬か(んん)よく見とらんかった。うーん
- 43 JM06A そっか、これ値段とかも考えなきゃいかん
- 44 JM06B うーん
- 45 JM06A 値段で考えると服って重いな
- 46 JM06B たしかに、でも、売るわけじゃないやん
- 47 JM06A いやいや、これ送るんやろ(あ、そっか) 寄付するときに[[
- 48 JM06B]]ああ、しにくいとか？
- 49-1JM06A そそそ、<なんか>{<}、
- 50 JM06B <そういうこと>{>} [v]
- 49-2JM06A かさばるし、お金もかかるし(確かに)、そう考えたらレトルトって安い(やすい)、んー、レトルトってか食物、野菜、安いやん(うん)、うーん、やばい、  
　　そうやな、そういう、値段の点で考えたら服って間違いかもしれんな
- 51 JM06B うん、たしかに、しかもなんか、なんていうの、一人分の服が、まず洋服、ズボンなんか(そっか) いろいろかかるやろ
- 52 JM06A 全部上下の服も、全部合わせて一式だもんな
- 53 JM06B 多くの人を助けるって
- 54 JM06A しかも、これサイズとかもあるもんな(うん)、うーん、食べ物のほうが良いな、やべえな、自分の意見だけど、食べ物の方が良いと思うわ(h h h)
- 55 JM06B じゃあ、こうする？
- 56 JM06A そっちのほうがいいんじゃない？
- 57 JM06B =えーっと、飲み物と食べ物
- 58 JM06A こうかなって思っちゃう
- 59 JM06B うーん、決まった？
- 60 JM06A まってまて、まだ、なんか、、けどこれって、うーん、難民にこれ必要ないやろ
- 61 JM06B うーん、これこれこれはいらんと思う
- 62 JM06A これもいらんしな
- 63 JM06B いやでも、俺もちょっと考えたよ、テントかける布団でも(うん)、寒さ、寒さってか住が、確保されるわけね
- 64 JM06A そうやね、そうやけど、あれやん、お布団って邪魔やん h h
- 65-1JM06B まあ、<まあ、そうやね>{<}、
- 66 JM06A <持ち運べんやんという>{>}
- 65-2JM06B まあ、それ、テントがいいかなと思った。
- 67 JM06A テントあればさ、何とかなるから(うん)、この3枚除外やろ。おもちゃもさ、難民のための h h ものではないもんな(うん)、けど俺、このさ、この2つ結構いいんじゃないと思ってしまった、俺
- 68 JM06B うーん、まあー、どうやろうな、でも、「キレイキレイ」とかも、ぶっちゃけ、お風呂入らんって考えたら(うん)、でも[[,
- 69 JM06A 要る
- 70 JM06B 手はでも、なんでいう、川とか(うん)、で洗えるし(まあまあまあ、確かにな)うーん
- 71 JM06A しょくものさ、食べ物にさ、菌が入った時にさ、内面はどうしようもないから

さ、こういう薬系って大事じゃねって思ったんだけどさ、(1 秒) <大事じゃね? > {<}

72 JM06B <そんな>

{>}, そんな、ばい菌はいる?

73 JM06A だって結構やばくね? なんか、難民でさ(うん)、何もさ、何も持たんときたわけやん(うん)、で、なんかさ、移動するにもさ、野山とか駆け回るとかあるとしたら擦り傷とかできるわけやん

74-1JM06B うーん、擦り傷、(1 秒) まあ、でも、死に直結せんやん[[, ,

75 JM06A いや、わからんよ=

74-2JM06B =結構重傷やったとしても(うん)、薬を送るってなったらそれは、なんていう、使える、使える人がおるって、なんていうの、その、専門的な(うん)、医者とか、そういう使い方がわかる人がおるっていう前提やん

76 JM06A あーそうか h h、せやな、日本から送るってさ日本の製品やもんな(うん)、じゃあそれはダメだな

77 <3 秒>

78 JM06B <から> {<}

79 JM06A <そう> {>}、現地のを送らな↓、薬とかは現地のほうが良いもんな(うん)、だめだな

80 JM06B 使い方が、わからんと考えたら、消毒液もいいけど、でもな、やっぱ優先して送るべきっていうのがやっぱ、食べ物かな

81 JM06A 衣食住か(うん) そやもんな、生き残るって考えたら衣食住だな(うん)、こうだな、こうだな

82 JM06B よし、決まり

83 JM06A 食住さえあれば、人間生きていけるよ(うん)、決まったな。呼ぶか

84 JM06B なんてよぶん? おーいおーい

85 JM06A いや、呼びに行ったらええやろ

86 JM06B 終わりました。

87 JM06A そうそうそう。

## JM07

01 JM07B じゃあ決まった。これは一緒?

02 JM07A うん、ん?、h 違うわ h

03 JM07B あ、これも一緒だわ

04 JM07A これ一緒だね

05 JM07B あ、これとこれ一緒(おっけー)、これだけ違うな、あ、まあ、わかるよ、それは、確かに、そうだよ

06 JM07A うーん、この理由は

07 JM07B この理由はそれぞれ行こうか。俺は(うん)、ま、人の h 体は h (h) 大体水でできているから(うん)、ま、食べ物、ってか、まず絶対に必要なのは水(うーん)かなっていうので、水=





- 29-2JM07A そういう時に食べれる。
- 31 あ、これね？
- 32 JM07A あと、たまにはおいしいもん食ってほしいからって (h h h h h) h h h h h 日本  
のインスタント食品は(あー)なかなかクオリティ高いから
- 33 JM07B あーなるほどね、<やっぱ##...>{<}、外国に一送るっていう前提なんだ
- 34 JM07A <たまに####>{>}
- 35 JM07A あー、んん(うーん)、難民の子供[指示を読んでいる]、あ、そっか
- 36 JM07B 俺は普通に、日本でも考え...、考えるんだから＝
- 37 JM07A =∅東日本大<震災>{<}h
- 38 JM07B <東>{>}日本大  
震災
- 39-1JM07A h h h h h、俺どうしてもh h中東のh h<h h h h h h h h hイメージがあっ  
たh h>{<}
- 40 JM07B <(h h あー、分かる分かる。分かる  
けど>{>}
- 39-2JM07A ポートピープルみたいな(うん)
- 41 JM07B でもなんか中東とかで言ったら、冷機凍、もし、電子レンジとかがない場合に  
(あー∅確かにh h h)、お湯とか沸かすのがない場合にこれ送っても、意味な  
いなと思って＝
- 42 JM07A =h h hほんとだ
- 43 JM07B そう。これとかさ、生で食べられないじゃん(うん)、ま、解凍、自然解凍し  
たら行けるかもしれないけど。
- 44 JM07A ほんとだ。
- 45 JM07B 「一平」ちゃんも、ソースとかも、パスタなきゃ生きていけないしっていう(う  
ーんh h)<h っていうので>{<}
- 46 JM07A<h 確かに>{>}、h hこれ、そうだなh h(ん)
- 47 JM07B そう。なんか、日本とか、俺は日本でずっと想定してたけど、日本みたいにそ  
ういうのがあるところだったらいいけど、それこそ(うーん)中東とかだと、  
かなって思って、そう...(確かに)、いや、食べ物はもちろん大事なんだけど  
(うんうん)、じゃないと役に立つのはこっちかなって(そうだね)
- 48 JM07A ええ、じゃあこれかな？
- 49 JM07B これ？あ、良くね？∅結論h
- 50 JM07A 選択した理由について、被災地の人達に寄付するものの値段[指示を読んでいる  
る]、<値段も考えなきゃ>{<}
- 51 JM07B <値段、値段か>{>}
- 52 JM07A <テントって結構する>{<}よね
- 53 JM07B <これはいいですよね>{>} うん、するよね。結構するね、確かに。  
そうか、そうだね、確かに。うーん、値段か
- 54 JM07A でもこっから選べないんだよね？
- 55 JM07B 何が？
- 56 JM07A こっから選ばないといけないんだよね？
- 57 JM07B うん



- 94 JM07B うんうんうん、大事だ(うん)、いろんな用途あるし、いろんな用途っていうか
- 95 <2秒>
- 96 JM07B ここはない。(h h h)、h h つて、元気づけるって(h h h)、ことかな、h h h、たぶん。
- 97 <1秒>
- 98 JM07B まっ、ここは決まりだけど、これをどうするかだな
- 99 JM07A うん、食べられなきゃ、<どうしようもないし>{<}  
100 JM07B <まあまあまあ>{>}, そうなんだよね  
101 JM07A そうなんだよね(まあね)
- 102 <2秒>
- 103 JM07B で、難民を中東と置いたら、絶対これは送るべきではない気がする(うん)、やっぱ、この、電子レンジとかないともね(うん)
- 104 JM07A 考えが浅かったわ(h h h h h) h h h h h
- 105 JM07B けど、なんか、もう、なんかそのう、水とかある状態で、あ、でも、そうか
- 106 <3秒>
- 107 JM07B でも、電気とかそういう沸かす...、(1秒)なに、あの、装具とか(うん)、ある状態だったら、絶対も食べ物もあると思うんだよねh、そんな気しん?
- 108 JM07A h h h
- 109 JM07B h h h 災害が起きて、そしたらもう、これもいらないけどね、もはや
- 110 JM07A 一番最初に寄付されるのってやっぱ食べ物と飲み物だよな? やっぱ(うん)
- 111 JM07B まあね、だって、絶対なきゃ生きていけないし(うん)。  
112 <2秒>
- 113 JM07B 雨のなかでもね、生きては行けるもんね(うん)、ふつうに、不快ではあるけど(うん)
- 114 <1秒>
- 115 JM07B こんなんあくても生活してる人いるし、多分(h h h)、アフリカの<人>{<}  
116 JM07A <手>{>}  
洗わんひともいるしなh =
- 117 JM07B =うん、いるし、全然。  
118 <1秒>
- 119 JM07B って考えるとこれいらんかもね
- 120 JM07A うーん、消去法だったしね、(うーん)
- 121 JM07B うん、まあね、そうだね。うーん、(1秒)まあ、これがあってもいいかもって思うけど
- 122 JM07A カップラーメンだったらお湯だけで(うん)
- 123 JM07B 電子レンジは要らない(要らないね)、コンポタージュも電子レンジはいらん  
124 <2秒>
- 125 JM07A でん、<電子レンジ>{<}を使わないやつを送ればいい話だよな?(そうだね)
- 126 JM07B <お湯があれば>{>}  
127 JM07A 簡単に食べられるもの=







- 
- ベビースターみたいに。頑張っていけると思うんだけど、無理かな
- 218 <3秒>
- 219 JM07B 確かに無理かな
- 220 JM07A おもちゃとか本を選ぶ人がいるのかな？
- 221 JM07B いるのかもしれないね
- 222 JM07A 生きる希望みたいな
- 223 JM07B 生きる希望みたいにね、いやいやいやh## [v]
- 224 JM07A でも、避難が長い間続くようだったら(そうだね)勉強とかもせんといかんだろ  
うけどね
- 225 JM07B ああ、そんな1年2年単位？(うん) (h h h h h) h h h h h 1年2年単位  
か
- 226 JM07A 一時的かな、これは
- 227 JM07B それでも、結局食料が1番必要じゃん＝
- 228 JM07A =まあね、そっか(うん)
- 229 JM07B 死ぬもん、長期的になればなるほど。これだな。これで決まりだ。
- 230 <2秒>
- 231 JM07B まだかな(h h h h h) h h h h h、いまだどれくらい？
- 232 JM07A 18分、(あれ?)見ちゃった、だめかな、趙さーん
- 233 JM07B 呼んでくださいって言った？違ったかな、分からない[呼びのため席を離れた]

## JM08

- 01 JM08B まあ、これは満場一致でいいか(うん)理由は？
- 02 JM08A うーんと、まあ、娯楽だよ
- 03 JM08B ああ、そうやね
- 04-1JM08A そう、娯楽かつ、その、ね、文字とか読めない子にも(あ)、遊べる(うん)し  
[, ,
- 05 JM08B]]まあ、そうね
- 04-2JM08A 何でもできる
- 06 JM08B そうね(うん)
- 07 JM08B じゃあ[[
- 08 JM08A]]薬
- 09 JM08B 薬？ああ、薬(うん)、薬
- 10 JM08A そうだからなんか、こっちと迷ったけど(あ)、なんか、予防はできるけど多分、  
難民だからさ(へへえ)、通常と違う状態だと、たぶん、なんか、普通の予防  
以外でもなんかいろいろ症状出てくる<と思う<{<
- 11 JM08AB <ああ>{>}まあ、}そうやね
- 12 JM08A 頭痛とか、そんなんもやし(うん)、こっちの方が汎用性高いかなと思って(う  
ん)。おまえは？
- 13-1JM08B まあ、これは、えっと、あの、クスリ渡されたところで(うん)、これあの、こ  
どもたちに何かを寄付するイベントだから(うん)、まあ、あの、大人がいない

- 可能性が最悪無きにくしもあらざりしもと考えて>{<},
- 14 JM08A <ああああああああああ>{>}
- 13-2JM08B まあこれなら、誰でも、使えるし、まあ、やっぱ一番最初に重要なのはあの防  
止じゃない(うん)、対処<じゃなくて予防だから>{<},
- 15 JM08A <うん—————>{>}
- 13-3JM08B 予防医学ってことで、これにした。
- 16 JM08A うん。
- 17 JM08B それは？
- 18 JM08A これはえっと、まあ、こども、いや、親とかちょっといたらってか仮定したら、  
こう、ね、授乳とかの時とか(ああ)、とか、よく、プライベート空間って  
ないと、ね、ずっと体育館とかでも仕切りがないと(あー)キツいって、防  
災のあれでもいっとったし(ああ)プライベート空間が必要かなって思っ  
てる。
- 19 JM08B 意外としっかりした理由があったh h(まあ)h h hこれはh h hあのう、俺  
は結構あのう、完全に娯楽重視(h h そう)で考えてたの。本はちょっとあれ  
だけど(うん)、うん、あの一、たぶん、こういう難民の子供たちに何かを寄  
付するイベントを(うん)できるような状況なら(うん)、おそらく、あの、寄  
付する側が入れる状況なわけだし(うんうん、あー)きつこういう、必要な、  
必需品とか無いといけないものとかはそろっているだろうという予測の下、  
(うん)子供たちが使えて(うん)、かつ、まあ、一番ためになるものは何だろ  
うなって考えたら、これになった(ね、そう)でもね、過程が違うよね
- 20 JM08A 災害などに巻き込まれた難、難民、うん、そう、ん...、東日本大震災を予想する  
のか(あ)、シリアの難民の予想するのかでちょっと変わってくるよなh
- 21-1JM08B うーん、まあ...、そうやな、でも...、あー<シリアの方は...、災害...>{<}, 戦  
争だよな、
- 22 JM08A <h h h h 災害じゃないか>{>}
- 21-2JM08B 質が違うよね。
- 23 JM08A うん。
- 24 JM08B たぶん、これ難民、避難、<避難してる人って>{<} うん、そういうニュー  
ンスだろうね(うん)
- 25 JM08A <避難民くらいの>{>}
- 26 JM08B うん、
- 27 <3秒>
- 28 JM08B いいんじゃない一回仮定すればいいんじゃない？あのう、シチュエーションを
- 29 JM08A まあね、だとしたら####、地震的なあれ、
- 30 JM08B 地震的なあれ(そう)、発生じゃない、このイベントは何日後？どの程度の復  
興が終わっているころ？復興じゃねーや、色々な<対策が>{<}
- 31 JM08A <まあこう>{>}いう風にな  
るってことは、まあ、少なくとも三日後くらいとかじゃない？
- 32 JM08B まあ::、そうやな
- 33 JM08A そんなすぐにはできんでしょ、さすがに(うんんん)、もう被害は落ち着いて(あ  
ん)、落ち着いたけど、もう帰れないみたいなぶっ壊れとってる(はいはいは



- 
- い)、ぐらいじやない、事象は終わって(うーん)、その後みたいな
- 34 JM08B あるじゃ、装備とかはまだしっかり整っていない...状況?(うん) こういうのはあるだろうね多分、さすがに(うん)
- 35 JM08A 一気に送って腐らせてもあれやし
- 36 JM08B そやね、よくあるやつね(そうそうそう)
- 37 JM08A 食べ物だけ送るなみたいな(h h h)ほんとにあるらしい
- 38 JM08B 素晴らしい(そやな)、素晴らしい慈愛精神だな、
- 39 JM08A いやいやh h h h (h h h)
- 40 JM08B まあでも、これはね(うん)、なかなかね、あの...[[
- 41 JM08A ]]秀逸やろ
- 42 JM08B そう
- 43 JM08A ん
- 44 JM08B あの、悔しいけどね、<秀逸な>{<}
- 45 JM08A <###>{>}なまともなね
- 46 JM08B 結構あのね、ニュースとかの情報に基づいてるの感じだね(そうそうそう)、良かったですね
- 47 <2秒>
- 48 JM08A これ確定<で>{<}
- 49 JM08B <ま>{>}、そやね。まあ、ん...、こいつも俺は確定でいいと思うよ
- 50-1JM08A えっと、
- 51 JM08B h ## h
- 50-2JM08A これドラえもんはいらんやろ<h h h h hこ、これ、これあれば>{<}、あれば十分や(まあね→)
- 52 JM08B <h h h h hいやアラレちゃんよりは>{>}
- 53 JM08A 自分で書いて楽しみ
- 54 JM08B はい、一番、ね、多分、あの必要な年齢にとって(うん)楽しむもんね(うん)これね(そうそうそう)
- 55 JM08A 漫画も描ける
- 56 JM08B じゃあいいよ、こいつはなしにしといてやるよ[v]
- 57 JM08A 薬はどっちがいいかねっていう話ね、うーん
- 58 JM08B うん、微妙なことだよ
- 59 JM08A そうなんだよ[v]、消毒と、###大事##[v](うん)そういうことか
- 60 JM08B そりゃあ:、「バファリン」って書いてある、「バファリン」ってなんだっけ?
- 61 JM08A 頭痛薬(h h h) h
- 62 <2秒>
- 63 JM08B うーんうーんうーん[リズム乗っている]、微妙だね
- 64 JM08A そう[v]
- 65 <3秒>
- 66 JM08A でも、み:、うん、水があれば予防ある程度できるよね
- 67-1JM08B まあね、手洗って、うがいすればいいからね(そう)、まあでも水は[[,,
- 68 JM08A]]あるか?

- 
- 67-2JM08B あるん...、まあ、たぶんしっかりはないけど、ある程度はあるやろ（そうだな [v] ）、
- 69 <3 秒>
- 70 JM08B ってなるとこっちな。でもこっちつかっ（うーん：）まあ、あれか、さすがに親がいる想定の方があれか、だったら(2 秒)どんな内容か [v]
- 71 <3 秒>
- 72 JM08A アルコールティッシュとかの方が汎用性高いよね
- 73 JM08B そやね
- 74-1JM08A 手洗うと水をどうしても使うから(うん)、拭ける系の[[, ,
- 75 JM08B]]これ...?
- 74-2JM08A ま、それたぶんアルコールティッシュ(そやね)を含むみたいな考えだろうね、どうせ(うん)
- 76 JM08B これも多分あれだわ、普通の風邪薬とかも(うん)
- 77 JM08A うーん
- 78 JM08B 子供って結構クスリダメな人いない?
- 79 JM08A あー、ダメって、そりゃ苦手なのかアウトなのかどっちの意味?
- 80 JM08B え、両方。
- 81 JM08A おお、<アオ>{<}、アウトってある?
- 82 JM08B <まあ>{>} あると思われ[スピードダウン]、あのなんか、対象年齢かかっている(あー：)やつとかさ、まあ、それは選ばばいいんだろうけど(うんうんうんうん)、こどもにくすりはねなんかね、こういう無造作に配るイベントだとね、怖いわ
- 83 JM08A うーん
- 84 <13 秒>
- 85 JM08B なんか、なんか/いいか、いいか [v] [リズムに乗っている]
- 86 JM08A ん?
- 87 JM08B いや、論、論破しちゃったかな<h h h>
- 88 JM08A いや、論破、(h h h) h h Ø反論していいなら、別にh。対象年齢が低い薬だけを送ればいい(まあね)、そう(うん)
- 89 <2 秒>
- 90 JM08A オール、五歳以下くらいの薬を送れば(h h h そやね)誰が対象だろうと(そやね) ##ちゃんいるし、大人がゼロなわけはなからう
- 91 JM08B まあね
- 92 <1 秒>
- 93 JM08A うーん :: :: ::、どっちでも、うーん :: [v]
- 94 JM08B まあ、方向性は同じだよ
- 95 JM08A そうそう、だから、どっちでもいいっちゃいいんだけど
- 96 JM08B まあね
- 97 JM08A うーん ::
- 98 JM08B ま、最悪じゃんけんで決めるか [v]
- 99 <8 秒>
- 100 JM08B こういうのはいつきたら、絶対こっちだったよ、俺



- (うん)、テント(テント)、で、まあ、避難して来とるから、そんな贅沢は言わんし、言えんから、最低限の生活ができる、この食べ物と飲み物、と、テント、これがあれば最低限の生活ができるやろうから(まあね)、その場をしのげるんじゃないかっていうので、この3個を選びました(はい)。
- 07 JM09A と飲み物。飲み物は(うん)、人が最低限(うん)生きていくうえで必要なもの(うん)、は飲みもの。食べ物は(うん)、選ばなかったんだけど(うん)、食べ物...、は、あえて(あえて)、選びませんでした(h h h)、で、まあ、その理由はあとから言うわ(うん)。で、とりあえずテント(うん)、と、その食べ物じゃなくて、衣服(うん)、なんやけど、その飲み物も迷ったんだけど(うん)、飲み物、食べ物って消えるもんだから(あ)、一過性：の支援になるかなって思って(うん)、で、飲み物あれば、最悪食べ物もそんななくともそこらへんに、なんか、なってるなってる木の実ちぎって(あ)食べば(うん)、食べ物そんなに食べなくても、生きていけるかなって思って(うん)、ってそう考えたときになんか消えないものを、継続的に使えるものを選んだら(うん)、このテントと、衣服になったかな(なるほど)うん、そう
- 08 JM09B そういうことね[v]
- 09 JM09A 食べ物でもよかったんだけど(うん)、[息を吸う]違うなって思って、んで、あ、違うか、「キレイキレイ」も迷ったけどh h h < h h h h h > {<}  
10 JM09B <∅キレイキレイ? h > {>}  
11 JM09A うん、「キレイキレイ」、迷ったんだよ  
12 JM09B キレイキレイ要るか? h  
13 JM09A h h h 「キレイキレイ」も迷ったんだよ、病気：になったらそれこそ終わりやから  
14-1 JM09B まあ、でも、そうやけど、「キレイキレイ」で防げる病気とか[[  
15 JM09A]]確かに、まあねh h  
14-2 JM09B 風邪くらいやから、そんな大したことなさそう、それならなんか薬のほうが良いし  
16 JM09A 消毒、消毒したほうがいいのかなと(h h)  
17 JM09B でもこの中写真見ると、なんか、カップ麺とか、お湯入れて、お湯入れてスープとか、すごい、保存、保存食というか(うん)消費期限がすごい長そうだから、  
18 JM09A うん、その食べ物を獲される、与える、てか、寄付するにしても(うん)、まあ、なんかな、量的な問題：(ま)がちょっと、難民、災害に巻き込まれた(うん)ってことは、そんな狭い範囲の災害はないから(うん)、結構広い、あの、大勢の人がいるっていう想定すると(うん)、食べ物をバンっていっぱい持ってっても(ん)すぐになくなって(あ一)、またいっぱい、バンって持って行かないきゃいかん(そう)のじゃないかなって(そういうことね)、で、まあ、飲み物も一緒なんだけど、そう考えたら(うん)、h h、って感じかな。まあ、これとこれは確定なんでしょ？  
19 JM09B そうやね、テントそうやね。  
20 JM09A なんか確定でしょ？飲み物とテント一応確定しよう  
21 JM09B 衣服か食料？

- 
- 22 JM09A ん、かなあ：
- 23 JM09B そやね [v]
- 24 JM09A 災害時の必需品と寄付するものの値段[指示を確認している]
- 25 <2秒>
- 26 JM09B 継続的に使えるか
- 27 JM09A うん、ちょっと難しいんだよな、なんか、こういうのって世界経済論で「正木先生」が言ってた気がするんだよな<{<} h h h h h h
- 28 JM09B < h h h >{>} やりそやな(ん)
- 29 JM09A h h 確か言っとった気がするんだけどな、でも、どうなんだろうな、覚えてないわ
- 30 JM09B やっべい
- 31 JM09A どうしよう、衣服か [v]
- 32 JM09B 衣服なんか、最悪無くてもいいわ
- 33 JM09A うん、まあねh h h
- 34 JM09B 最悪裸でもいい (h h h) 、最低限の生活だ<から>{<}
- 35 JM09A <それ>{<}それも思った。ん、そうやと思う、なんか##### (んん)。
- 36 <1秒>
- 37 JM09A な
- 38 <3秒>
- 39 JM09A おもちゃ...、おもちゃとか持ってってもな
- 40 JM09B おもちゃとか本とか鉛筆とかってこれ、なんか、子供が(そうそうそう)、なんか、楽しめるようなやつやから
- 41 JM09A そう、気持ちを紛らわせる(うん)、<暮らしは##>{<}
- 42 JM09B <それも大事>{>}やけど、その前にまず...
- 43 JM09A うん、その前にやろ、最低限の生活ってやつやろ(うん)、##やなー
- 44 <3秒>
- 45 JM09B うーん
- 46 <1秒>
- 47 JM09A えー、衣服、か、食べ物か。食べ物は、どうだろうか。
- 48 <2秒>
- 49 JM09A ちょ、難民のさ(うん)、その状況のイメージがさ(うん)、思ったより沸いてないからね
- 50 JM09B で、難民...
- 51 <3秒>
- 52 JM09A やっぱ食べ物か？
- 53 <4秒>
- 54 JM09B 衣服か？
- 55 JM09A 衣服か、食べ物かって感じやろ
- 56 JM09B まあ、冬やったら、衣服かもしれんな(うん)寒いしな
- 57 <3秒>

- 
- 58 JM09A うーん
- 59 JM09B 布団は違うん？
- 60 JM09A 布団ね、ふとん：、ふとんでもいいんじゃない？ h h h h h (h h h h h) 俺の選んだ基準が(うん)、ここで選んだ基準消えるか消えないかだから(うんうん)、そ、ふとんでもいいんだよね、うん。
- 61 <2秒>
- 62 JM09A なくなったら終わりだから(そうやね)、って、思ったけど、けど、衣服が必要かどうか(うん)微妙なんで
- 63 JM09B 期間がわかればね、もうちょっとなんかあれかもしれないけど(あ、確かに)、一週間とかだったら全然(うん)、ね、ご飯でいいと思うし、すごい長期になるんやったら衣服とかなんだけど
- 64 JM09A やっぱ食べもんかな(そうやね)、一番...、日本で災害が起きて(うん)、で、最初に送られるもの(うん)を考えると(うん)、飲み物、食べ物か。飲み物、一番最初に(うん)避難場所に行かされるやん-(うん)、避難場所、これ(うん)、これ避難場所やん(うん)、で、次に送られるものって(うん)飲み水とか？水が止まっとったら水(うん)を送る(うん)、送るやん-(うん)、で、やったら次に食べ物送るんか
- 65 JM09B なるほどね、多分
- 66 JM09A 食べ物か
- 67 JM09B 逆に自分が何を欲しいかって考えるのは
- 68 JM09A うん、まあ確かに
- 69 JM09B 自分がその難民だったら何が欲しいか
- 70 JM09A 何が欲しい [v]
- 71 <6秒>
- 72 JM09A 食べ物かな＝
- 73 JM09B ＝食べ物 h 水とテント
- 74 JM09A 食べ物かな h (うん)食べ物にしますか h h h
- 75 JM09B なんか、みんなこういう、これ選びそうやな
- 76 JM09A うん、これ、こうなりそうな気がするんだよね(うん)、ん、ここのさ、ここのら辺がさ、選ばれない確率高いよな(そう)、実際に、これここのら辺が### #これも微妙やな
- 77 JM09B なんか分けれ、分けれそうだよな、なんか
- 78 JM09A 薬は万が一のために必要だ(うん)、でも水ねーと薬飲めないから (h h h) h h h h
- 79 JM09B そもそもね
- 80 JM09A 別に飲むものじゃない、飲み物だけじゃねーけど
- 81 <3秒>
- 82 JM09B これが優先順位だとこんな感じか、こっちが優先順位高くて、こっちがそうでもない
- 83 JM09A ここのら辺が、必需的なもので、こっちが生活の
- 84 JM09B そう、できればって感じ
- 85 JM09A うん、豊かにできる感じか

- 
- 86 JM09B そう  
87 JM09A って感じか、って感じかな  
88 JM09B そうやね  
89 JM09A はい、以上 h h h h h  
90 JM09B 以上  
91 JM09A 以上  
92 JM09B 終わります  
93 JM09A はい。9分50秒  
94 JM09B 呼んでくる  
95 JM09A お願いします。

### JM10

- 01 JM10A ほぼ一緒やんけ  
02 JM10B2 つ被っちゃったよ、まあいいか、え、もうこれは話しあう必要ないんか  
03 JM10A え、一応話し合ったほうが良いんじゃない？  
04 JM10B 一応話しあうか、じゃあ、決まったほうから行くか  
05 JM10A うん。これはいらんやん、まず、より[[  
06 JM10B]]あ、そっち、そっちの話？  
07 JM10A 最低限生きていくうえではいらんし  
08 JM10B これはいらんね  
09 JM10A そう。で、ここも(うん)、他の人がする(あー)これ、食べ物とか飲み物は(あ  
あ)  
10 JM10B や、これもね、俺は最低限はいらんと思うね、別に  
11 JM10A そうなんや [v]、これ最悪、服で拭けばいいから、こうやって、んで、これは  
いらん  
12 JM10B へ、これはね、俺、多分水は##でもくれへん？  
13 JM10A ふうん  
14 JM10B たぶんね。で、そう、俺も他の人が持て来ると思ったし、で、これさ、食料っ  
て考えればいいんかもしれんけど、なんか[[  
15 JM10A]]いや、お菓子じゃね？どっちかっていうと、そう(あー)、嗜好品じゃね？食  
料っていうより、(確かに)食料とかだったらカンパンとかじゃないって  
16 JM10B しかもこれさ、このまま食べんじゃん、チンするか(うん)、お湯入れるかで、  
結構手間かかるやん、イベント。  
17 JM10A ね、水も要るしな  
18 JM10B そう、だったら、多分これ...あんまり適さんなと思って(うん)、他のそういうカ  
ンパンとかもいいなと思ったのが  
19 JM10A さっき選んだのってなんだ？これか  
20 JM10B うん。でも、これは...  
21 JM10A これは決定やろ  
22 JM10B これは別に話さんでいいの？  
23 JM10A 話す？これはもう他ので代替不可能だから

- 
- 24 JM10B そうやね、<これ>{<}[[
- 25 JM10A ]]<おなか>{>}痛いのはこれでしか治せんから＝
- 26 JM10B ＝それは俺も同意
- 27 JM10A なるほど。で、服は、さっきの色々使える、歯磨くのも使えるし＝
- 28 JM10B ＝そうなんや  
ってな、服って意外とまじ、あって困らんからな、普通に毛布としても使えるやろ(そうそう)んで、これは決まりやろ
- 29 JM10A で、毛布として使えるならこれいらんくね？
- 30 JM10B いやあ、それが、あの、日本、ま、日本だと考えて、俺は(うん)、災害(うん)、で、体育館とかって(うん)、めっちゃめっちゃ足りてないんだってこういうの、あの災害とか起きたときに(うん)で、なんか、まずそもそも、服はそのために使っとるっていう時点で足りてないし、なんか段ボールとかで寝とるんやって(うーん)、やから、そもそも毛布っていうもので、硬いしき下(うん)、だから、そもそも、まあ一定数の毛布っていうのは必要かなって思って俺は毛布にした。日本に限ったら、体育館を避難に使うから、これは俺いらんと思っ  
て。
- 31 JM10A いや、これは、その、雨風をしのぐようではなくて、プライベート分けるっていう意味
- 32 JM10B あー、なるほどね。これでも分けれん？
- 33 JM10A なんか、Twitterの写真ねんけど、日本はこういう布団の上でみんなバーツて感じ(あー)、で、インドネシアかな、はその避難が起きたときには、やっぱこんな完全にキャンプみたいなので(あー)、仕切って生活するみたいなの、やっぱ周りで見られるっていう、そ、そのストレス環境に置かれることが非常にまずいと思って、みんな気が参ってるから、気が参ってる人を見て自分も気が参るみたいなの(あー)、マイナスな方の相乗効果があるんだって、
- 34 JM10B いや、それこそ、いや...、ちょ...、いいけ？
- 35 JM10A いいよ
- 36 JM10B ん、Twitterで見たんだけど、なんか段ボールとかを仕切りに使うんやって(うん)、なんか、建築家の人が(うん)それを考え、編み出したらしくて、その、で、今までは仕切りがなかったんだって日本、そういうのを作って(うん)、段ボールでできるようになったから、なんやろ、これやったらさ、せっかくさ、体育館という広いスペースなんに、このもうキャンプのこのギユと乗った、ここでもしかもなんかできんから、その、個人のスペースは確保されるけど、めっちゃめっちゃもう、狭い、かがんで着替えるしかないみたいな、だから  
[[
- 38 JM10A]]このテントってそんなに小っちゃいやつなの？
- 39 JM10B え、結構、小っちゃいぞこれたぶん
- 40 JM10A え、テント入ったことある？
- 41 JM10B ある。
- 42 JM10A 結構でかくね？
- 43 JM10B えっh h小っちゃくね？hデカいのもあるんかじゃん
- 44 JM10A どういうテント想像するかにもよるね、その小っちゃいテント(あー)だったら、





- 
- 75 JM10B h h h ダミー? (h) h h h
- 76 JM10A これはダミーで、この後の会話をどうするかみたいなのが研究対象かもしれないよ
- 77 JM10B や、ま、どうでもいいけど、この写真、あれだよな
- 78 JM10A ん?
- 79 JM10B フジロックのやつだよな
- 80 JM10A そうなの?
- 81 JM10B たぶん
- 82 JM10A ま、奥になんか見えるしな(そうだね)、え、フジロックってこんな感じなん?
- 83 JM10B そうやよ、めちゃくちゃキャンプするねんて、張るんやってテント
- 84 JM10A 寝るん?
- 85 JM10B うん
- 86 JM10A うるせーんに?
- 87 JM10B え、夜はやらんのじゃね?
- 88 <2秒>
- 89 JM10B うん、3日間とかやるし、めちゃめちゃ寒いらしいよ、10月くらいやけど(へー)新潟だったかな
- 90 JM10A うわー、中国語書いてある
- 91 JM10B h h h え、書いてないよ、この
- 92 JM10A ん?
- 93 JM10B こっち、読んでみて読んでみて
- 94 JM10A 俺ね、中国語の発音うまいらしいよ、「趙さん」[調査者]に言われたけど
- 95 JM10B h h h h h やったことあるん?
- 96 JM10A いや、ま、その、「趙さん」の中国語読みはどんななの?みたいな(あー)俺が発音したら、うまいって言われた。
- 97 JM10B お世辞じゃん。
- 98 <3秒>
- 99 JM10B え、あ、マジだよな、えっ、ああいうテント行ったことある?なんか震災とかで
- 100 JM10A ないよ
- 101 JM10B え、キツくない?体育館で過ごすって
- 102 JM10A いや、俺は床でも大丈夫だけど
- 103 JM10B あー、いややでもさ、1か月とかやぜ
- 104 JM10A 体操マットがあるやろ
- 105 JM10B すくねえやろ h h h h (h)、体操マットあるけど確かに。
- 106 <11秒>
- 107 JM10A 毛布とキャンプはどっちがいいんやろうなー
- 108 JM10B なんか、区切り...、でいくならば他の区切り方あるわ(ああ)っていう、その布とかでもいいし、バーって
- 109 <9秒>
- 110 JM10B # # # ? [周りの空間を気になっている A への質問]
- 111 JM10A # # # 「その答え」

- 
- 112 <5 秒>  
113 JM10A 中国の爽健美茶なんか薬みたいやな  
114 JM10B どれ？  
115 JM10A その、「カイサイ」とか書いてあるやつやろ？「カイサイ」  
116 JM10B え、これ爽健美茶なん？  
117 JM10A 爽健美茶だよ  
118 <4 秒> [2 人とも写真を確認している]  
119 JM10A うん  
120 <4 秒>  
121 JM10B なんか、すげーな  
122 <2 秒>  
123 JM10A 柿の種の多さよ、柿の種じゃねーか  
124 JM10B え、これさ、もし中国群の方だったらさ、これ選んどったかもしれんこのまま  
食えるんだって、これに関しては。の食えるのかな h ?  
125 JM10A いや、食えんやろ、この、うえの、こっちはカップやろ、こっちはそのまま  
126 JM10B えっ h h h h h 写真違うんやけど h h h  
127 JM10A えっ、ホンマやん  
128 JM10B めちゃくちゃこれとか食えるやん、その乾パンみたいなもんやろ  
129 JM10A クッキーやん  
130 JM10B そう  
131 JM10A ビビって書いてあるし  
132 <4 秒>  
133 JM10B 写真ちげーやん、ちょっと  
134 JM10A じゃあ他のも、違う可能性あるな  
135 JM10B いや、でもこれ一緒でしょ、これは？これもいっしょやん  
136 JM10A これも一緒  
137 JM10B ま、この辺はざっくりしたもんやしな(うん)、薬も、別に  
138 JM10A 一緒や。こわ。もう出る。  
139 JM10B 出ちゃう？  
140 JM10A 出る。聞いてこよっか？  
141 JM10B うん。おつかれっした。  
142 JM10A 10 分ってどうやって図ってるんです [席を離れた]

## 日本人女性会話資料

### JF01

- 01 JF01A <hh 似てない↑結構似てる> {<}  
02 JF01B <hhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhh> {>} これらは同じ  
03 JF01A ほんとだね  
04 JF01B これだけ違う  
05 JF01A 本当だ

- 06 JF01B だからこれも一緒にして
- 07 JF01A 組み合わせして
- 08 JF01B 違うこれ
- 09 JF01A ほな何で必要だと思ったかだよね。
- 10 JF01B うん
- 11 <3秒>
- 12 JF01A なんか、まず、この、これ？(うん)、選んだのは(咳)、なんか、暇<h>  
(hhh)やることとかさ(うん)多分なくて(うんうん)、ひまだし、で、なんか色  
鉛筆のセット買ったら、一本ずつ(うん)、なんか、たくさんの人が、たくさん  
の子供が、一斉に(うーん)、加われる(うんうんうん)、その遊びに、だし  
なんか、逆に大人も、童心に返って遊べる(うーん)かな、と思った。って感  
じ(そうね)。似たような感じ
- 13 JF01B うん、子供、子供が、えっ、子供にあげる(うんうんうん)、だから、まあ、お  
絵かき(うんうん)、できれば
- 14 JF01A 忘れた。もう関係ないわ<hhh>(hhh)
- 15 JF01B でも一緒に親もね(うんうんうん)、絵描いて<楽しめる>{>}かな↑
- 16 JF01A <そっか>{>} 親もね。  
あつたけどなんか、おもちゃ、なんか、えっ、お絵かきの方が(うんうん)、  
何でかね？
- 17-1JF01B おもちゃは何か[,,
- 18 JF01A]]なんか
- 17-2JF01B 興味持つ子は＝
- 19 JF01A ＝うんうん、持つけど(うん)、好み(うん)によるけどね
- 20 JF01B なんか、絵を描くほうが、子供のなに？
- 21 JF01A 発育によさそう<hhh>{<}
- 22 JF01B <うんうん>{>}うん。
- 23 JF01A これは？
- 24 JF01B これはもう、<服>{<}は要る(うん)でしょう、っていう
- 25 JF01A <服>{>} 確かに
- 26 JF01B 寒いかもしれ(うん)ないし
- 27 JF01A あとなんか、調達、しやすそう(うんうん)、たぶん、ユニクロ(うーん)とか(そ  
うやね)、募集かけて、古着とか(うん)きつとできそう。やっぱり<hhh>
- 28 JF01B いや、なんか、さむ...、寒かったらどうしようか気になる<hhhhh>(hhhhh)
- 29 JF01A 確かに
- 30 JF01B なんか(うんうんうん)、風邪引いたりしても(うん)だめやし(うん、そうだ  
ね)、うん、どのぐらいの(うんうんうん)、なに、被害の程度があるのか分か  
んから(そうだね)。
- 31-1JF01A なんか[マナ]は、hhh これがさ、子供にとってゆっとしてでも、大人に  
<お茶は与えられてないのかとかh>{<},
- 32 JF01B<うーんうーんうーんうーん>{>}
- 31-2JF01A なんか、思ったけど、まあ、水分は<h>、<不可欠やのなあってh>{<},
- 33 JF01B <うーんうーん>{>}

- 34 JF01A いうので出した。
- 35 JF01B そうだよね[スピード早]。
- 36 JF01A そうだよって何？
- 37 JF01B どのくらいの(そうね)、なに、被害があるのか＝
- 38 JF01A =そう<hh>(hhh)、なんか、  
か、ね、子供にだけ、お茶つてのも(うん)、確かに今思えば(hhh)、なんか、  
まだでも暖かさやったら服で代用はできるなって<思った><{<}  
39 JF01B <ああ><{>}、そうか(う  
ん)、なるほどね、確かに [v] 。
- 40 JF01A どうなんだろうね<h>
- 41 JF01B 確かに [v]、(1秒)うん
- 42 JF01A どうねんろうね
- 43 JF01B うん、なんか、せめて、寝る時ぐらいは<hhhhhhhhhh><{<}  
44 JF01A <ああ、確かにね><{>}、ちょっと  
のびのびと
- 45 JF01B そう、っていう、イメージ
- 46 JF01A お茶とかもらっとんのかな<h>
- 47 JF01B ね
- 48 JF01A それが<hhhhh><{<}、わからん。
- 49 JF01B <そう><{>}、なんか(うん)、どういうもんなんやろ？
- 50 JF01A そうだね
- 51 JF01B 水害とかやったら(うん、うんうん)、もうカチャカチャやから、自分濡れてしま  
まって(寒いね)、だめやけど、地震とかなら、まだなんか使えるものが(うん  
うんうん)、なに、回収すれば(うーん)、そのまま使えるなーと思ったけど、  
なんか＝
- 52 JF01A =分からんもんね<hhhhhhhhhh><{<}  
53 JF01B<そう。そうなん><{>}です。
- 54 JF01A どうしようか？
- 55 JF01B うん：、でもこれはもう
- 56 JF01A これは決まった<でしょう><{<}↑
- 57 JF01B <そうやね><{>}  
58 JF01A どれにする
- 59 JF01B どっち<かな><{<}  
60 JF01A <お茶><{>}がもうもらえとるとい(そうそうそう)ていで
- 61 JF01B こっちもね、なんか、寝るところはあるんです↑っていう、ただ食品がないん  
です↑っていう、状態かもしれないし＝
- 62 JF01A =そう、どうなんやろうね
- 63 JF01B 災害に巻き込まれた難民[スピード遅]の子供達やから
- 64 JF01A 難民ってね、なんか、親しみがわかんよね(うん)、そうね、どうねんろうね。  
なんか、食料とかも足りんとか聞くからなあ<という心配もある><{<}  
65 JF01B <うん:::、心配が><{>}あるね(そう)  
食べれてないの＝



- 
- 19 JF02A うん、かなあ。私は(うん)、(1秒)もう遊びたいってなる<ストレス絶対たまるし>{<}  
20 JF02B<そうやね、ストレスたまる>{>}  
21 JF02A なんか、東日本大震災ときに(うんうん)、音楽プレイヤーあったのめっちゃ役に立ったみたいなこと(うん)、ニュースでやっと思ったし、絶対なんか娯楽ほしいやろうな<思っ>{<}。  
22 JF02B<なるほど>{>}ね。  
23 JF02A でもそのさっき言っと思ったけど、あのう、子供の年齢の分からんやん<h>(あー)、こっ、でもこっちやったら、文房具やったら、絵：描けるし、なんか字とかも書けるし(うん)、と思っ、なん<となく>{<}  
24 JF02B <なる>{>} ほどね  
25 JF02A 本は、まあどういふあれかにもよるけどね、それこそ  
26 JF02B なるほどね [v]  
27 JF02A だから、これ、おもちゃか迷った、ここは(うん)  
28 JF02B まあでもどの年齢もいけるってなれば、おもちゃ...、遊ぶってならば、この2つかも(うん)、おもちゃってなんか、小っちゃい子は使えなそう  
29 JF02A うん：、そうやな、めっちゃ小さい子とかやったら(そうそうそう)、確かに。めっちゃちっちゃい子とかどうするんかね。  
30 JF02B ね。  
31 JF02A これは一個決まりやろう？  
32 JF02B うん  
33 JF02A ああでも「キレイキレイ」は分かるなあ<hhh>(hhh)。○「キレイキレイ」<h>。  
あー、難しいね  
34 JF02B うん  
35 JF02A でもなくていけるっていったら、何か、(2秒)ここから2個  
36 JF02B うん [v]、うん [v]、まあでも  
37 JF02A じゃ、この2つから(うん)、どっちか切るとしたらどっち？  
38 JF02B(ああ)どっちやろうなあ。こっちじゃない？なんかこっちのほうが幅広そう(確かに)、うん、なんか、文字読めん世代も(そうやね)、自分で遊ぶってなったら、こっちかな↑(うん)って思う。  
39 JF02A みんなで遊べるってね(そうそうそう)、なんていうん、年齢関係なく(うん)、じゃあこっちか。  
40 JF02B なんか圧倒的こっちじゃない？  
41 JF02A うん<hhh>  
42 JF02B 衛生面が(うん)確実に  
43 JF02A 衛生面は気になるね↑(うん)、確かに。  
44 JF02B なんか特に、避難とかしとる時に、何ていうん？、体育館とかやと、余計普段そんなにきれいじゃないから(うん)、気になりそう  
45 JF02A こうかなあ。でも服って、気になるんやよね。  
46 JF02B うーん、でも [v]、どうかな  
47 JF02A どうかな。  
48 JF02B なんか、1、2着あれば(うん)、正直、いけそう(まあまあまあ)、なんか、1個

- 着として1個洗えば、なんとかなる。寄付するというかっていう(うん)。
- 49 <5秒>
- 50 JF02B 消耗品ないよね、テント以外に
- 51 JF02A あっ、そうそうそう
- 52 JF02B おもちゃとテント以外に(うん)
- 53 JF02A 服か [v]、服、うん、でも子供やったら、ね、おもらした場合とかあるよね(うん)、枚数がほしい(ま、確かに)、どうかな。ちょっと服が気になるはじめとるんです>{<}
- 54 JF02B <hhhhhhhh>{>}服 [v]
- 55 <2秒>
- 56 JF02A でも1、2着(うん↑)、まあ、うーん、2着あれば、何とかなる(うん)。ね(うんうん)。ってなったら、外れるのかな。
- 57 JF02B そんなにたくさんは要らん(うん)、なんか、今までの災害のときとかも、服が足りんとかなく<ない>{<}?
- 58 JF02A <うーん>{>}、あんまりなかった。水が足りん(うん)、とか
- 59 JF02B なんか、衛生的にどうとかみたい(うん)
- 60 JF02A なんか、食料、水、やっぱその辺やったよな(うん)、後は娯楽(うん)って感じ(うん)やなかった?
- 61 <1秒>
- 62 JF02A やっぱそう<やね>{<}。
- 63 JF02B <そう>{>}やね。(1秒)き...、基本的にそんな感じな気がする [v]
- 64 JF02A おもちゃは?<hhhhh>
- 65 JF02B おもちゃは↑、おもちゃっていうより私、布団のほうが気になった。
- 66 JF02A ああ、布団はね
- 67-1 JF02B なんか[,,
- 68 JF02A]]確かに
- 67-2 JF02B 体育館に休むとかに(うん)、なるなら、布団で寝たほうがいいかなとは思ったけど。
- 69 JF02A ねえ、なんやったっけ、なんっていうんやったっけ、(hhh)あのう<hhh>、あのう、今日ニュースに出とった。
- 70 JF02B なに?
- 71 JF02A あれあれ、なんとか、「びょう」Øみたいってやつ<h>、あのう(うん)、エコノミー
- 72 JF02B あ、エコノミー症候<群>{<}、
- 73 JF02A <症候>{>}群(うん)、は関係ないが?、<あれ>{<} [,,
- 74 JF02B <あり>{>}そう、でも、おんなじ体勢とか(うん)、多分布団ないと↓
- 75 JF02A しんどいよね(うん)。Ø新しい<素材を(hhh)持ってきてしまった<hh>



- 
- 76 JF02B どうかなー
- 77 JF02A うーん、布団、気になるね。テントは、どういう状況かにもよるけど(うん)、  
まあ、あんまり、(1秒)いらんかな(うん)。
- 78-1JF02B 避難するって言ったら、あれな気がする、<###>{<},
- 79 JF02A <体育館>{>}
- 78-2JF02B 建物の感じするから(うん：、そうやね)、要らんかなって思う。
- 80 JF02A まあ、そうやね。
- 81 <5秒>
- 82 JF02B でも布団とかもあんまり聞かんよね
- 83 JF02A うん、聞かん
- 84 JF02B 実際毛布あったり(うん)、する気がする、から [v]
- 85 JF02A そうやね、毛布って意外と(うん)供給される(そうそう)イメージ。
- 86 JF02B なんなら体育館とか絶対マットもあるしね。
- 87 JF02A うん、〇そうやね<h>。マットあるね。
- 88 JF02B 有効活用すれば。
- 89 JF02A そうやね。じゃ、こうか。
- 90 JF02B うーん。この3枚な気がする。
- 91 JF02A どのぐらいになった？10分間？
- 92 JF02B うん
- 93 JF02A あ、9分42分経つとる(hhh)、もうそんなもんや。
- 94 JF02B うん。
- 95 JF02A いや、こっちや(hhh)オーケー？
- 96 JF02B うん
- 97 JF02A じゃ、この3つにしよう。
- 98 JF02B うん。

### JF03

- 01 JF03A お願いします<hhh>。
- 02 JF03B お願いします<hhh>(hhh)。じゃ、「くるみ」[Bさん]何にした？
- 03 JF03A 私やっぱり災害に巻き込まれた子たちやから、衣食住(うん)ちゃんと整えてあげたいなあと思って(うん)、服と、テントと、この
- 04 JF03B 食べ物
- 05 JF03A 食べ物、の3つにした。「はな」[Aさん]は？
- 06 JF03B うち(うん)、なんか寄付するイベントだから(うん)、なんていうん、公式じゃないし(あ、そうね)、逆になんか、もう貰ってるだろうから(うんうん)、ちょっと余裕、少し生活に、なに、最低限を満たされたって考えて(うんうんうん)、本と(うん)、本と、おもちゃと、服
- 07 JF03A うんうん、とりあえず、服置いといて<h>
- 08 JF03B うんうん、置いとこ
- 09 JF03A 服置いといて、他のふたつやね(うん)。そう、本とかおもちゃも悩んだよねー。なんか、気が紛れる物ないと(うん)、ね↑、なんかどんどん気持ち暗くなったりそうだし(うん)
- 10-1 JF03B なんか、どん...、どんな...[[
- 11 JF03A]]<状況>{<}
- 10-2 JF03B<巻き込まれた>{>}。そう、状況が分からないから(うんうんうん)、あれだけど、ああああ
- 12 JF03A うちらで決めちゃっていいんじゃないね？<h>
- 13 JF03B あ、そういうこと(そうそうそう)、条件決める？
- 14 JF03A うん。どうしようかなー
- 15 JF03B じゃ、災害起きたて？(←災害がおきたばかりという意味)
- 16 JF03A 起きたて：か、<「はな」の>{<}
- 17 JF03B<起きたて>{>}
- 18 JF03A 「はな」が考えたのはちがうよね、結構(そうそうそう)、結構もう、寄付もらってる状況だから(うん)、どっちでもいいな。
- 19 JF03B どっちでもいいね
- 20 JF03A けど、でも、なんか「はな」が言ってること聞いて、そうだな、そうだなと思ったから、だって個人的なイベントだよ(うん)、だから公的な支援も済んで、だから整っている状態っていうからでも全然いいと思う。そしたら私ちょっと変えようかな(hhh)<hhh>。うん、本と、おもちゃ選んだんだよね。
- 21 JF03B ん、なんか、多分さ(うんうん) 災害起こってなんか、最初らへんは皆募金とかするじゃん(うんうんうん)、でも時間だったら、なんか、メディアも取り上げんくなってさ(うんうん)、なんか、忘れられるっていうか、まだ：、復興終わってないけど(あああ)、興味関心が向かない→
- 22 JF03A 分かる。
- 23 JF03B<いや>{<}
- 24 JF03A<熊本>{>}も今そうだよ(うん)。<ほとんど>{<},
- 25 JF03B <まだ全然>{>}
- 26 JF03A まだ続いている＝

- 
- 27 JF03B =らしいね(そうそうそう)。広島も多分、やばい。
- 28 JF03A やばい。
- 29 JF03B どこもやばい。
- 30 JF03A うん。つって条件変えるんだったら、私多分、これと(うん)、おもちゃにする。
- 31 JF03B うん、鉛筆と？
- 32 JF03A そうそう。お絵書きね
- 33 JF03B お絵書きか
- 34 JF03A 結構みんな楽しそうにやるんだよね h h h (あ、そっか)。うん、小ちゃい子も、それなりの子も
- 35 JF03B たしかになあ。なん...、応用きくしなあ(うん)、何でも
- 36 JF03A 本も幅広いもんね。絵本から(うん)学術書まで(ねー)<hhh>
- 37 JF03B 多分、まあ、寄付:(うん)なら、ジャンル偏るってことないやろうしな
- 38 JF03A うんうんうん、満遍なくね、やるだろうし(うん)、おもちゃと服は決定でよくって(うーん)
- 39-1JF03A なんか、各系統[,,
- 40-1JF03B]]えっと,
- 39-2JF03A 一長一短
- 40-2JF03B 値段 [八]、へえー、これ寄付するとしたら買うよね。
- 41 JF03A 買うね。
- 42 JF03B こっちだったら、多分集めるよね。
- 43 JF03A 集めるね。こっちもまあ頑張れば[[
- 44 JF03B]]まあ、買う→
- 45 JF03A 買う<か>{<}
- 46 JF03B<買う>{>}か
- 47 JF03A あの、昔子供がいたくらい人↑(だよ)、うん、うちん家も山ほどあるわ、要らん鉛筆、要らんクレヨン(h h h) h h の要らん折り紙 h h
- 48 JF03B あっ、そうか、こっちも集めれるのか。
- 49 JF03A そうそうそう。
- 50 JF03B うん:::、あ:::
- 51 JF03A 意外と眠ってる。でもどっちのほうが集めるのが簡単かじゃない？どっちのほうが多く集めて多く送れるかみたいな
- 52-1JF03B うん:、
- 53 JF03A 本は<結構集める>{<}
- 52-2JF03B <本は>{>} 本は集めやすそうだよ(うん)。いつも何だっけ資源回収やってるし。
- 54 JF03A やってるし。
- 55 JF03B はこ、でも、運ぶの、こっちのほうに運ぶのがきついよね。
- 56 JF03A きついね。輸送費かかるね。
- 57 JF03B だよ(うん)。それで言ったら、
- 58 JF03A こっちのほうに手軽↑
- 59 JF03B 手軽:かな

- 
- 60 JF03A うん。どうだろう↑、そうね↑  
61 JF03B 紙もな、裏紙でいいしな  
62 JF03A チラシでいいし(hhh) <hhh>  
63 JF03B らしいね<h>  
64 JF03A そう思ったら、結構だね。なんか新聞とかもさ、遊び道具にできるじゃん、剣とか。  
65 JF03B チャンバラ? <hhh> {<}  
66 JF03A <hhh> {>}チャンバラ、そうそうそう<hhh>。そう思ったら、ちょっと本を破こうって気持ちにはならんけど  
67 JF03B まあ確かに  
68 JF03A こいつらだったら、「ぎゃっ」って  
69 JF03B 何でもできるな(うん)。いうて  
70 JF03A で、これで勉強する子とかもおるかもしれないし、勉強って思ったらこっちなんだよね。  
71 JF03B そうねえ：↑。どうかね。  
72 <2秒>  
73 JF03B うん：：  
74 JF03A 郵送費的にはこっち。  
75 JF03B うん。  
76 JF03A うん。  
77 <1秒>  
78 JF03A 年齢にもよるね、若干ね、その子たちの(うん、そうね)、とりあえず満遍なく要るって思ってるけど(そっ、ああ)  
79 <1秒>  
80 JF03B まあでも、うん：：、まあ、勉強する子らってある程度、あああ(hhh)、我慢できるっていうたら、あれやけどなあ、でも我慢、我慢させても良くないか。  
81 JF03A うん  
82-1 JF03B ちっちゃい子は我慢利かんって言うか[[  
83 JF03A]]利かんね  
82-2 JF03B あ、きつついな：とか泣き出しそうな感じやから：  
84 JF03A うん。こっちは対象年齢は狭いよね、低い。  
85 JF03B うん、そう。  
86 JF03A こっちのほうが3歳ぐらいから十何歳(うん)? <十八歳ぐらいまでいける> {<}  
87 JF03B <高校生ぜんぜんいい> {>}よね(うん)  
88 JF03A3 から18、3から9,10、やね?そしたらこっちやな(うん)。幅広く。だってちっちゃい子向けのはこっちがあるし(うんうん)。  
89 JF03B ああ、なるほどね。こっちを小っちゃい子用に渡して、こっちはあとまあ上の子でも使えるようになって(そうそう)分けるか。  
90 JF03A こっちは全年齢対象で、こっちはできる限り小っちゃい子みたいな。  
91 JF03B うんうんうん  
92 JF03A で、頭とれてもめきっと楽しく遊んでるよ<hhh> (hh)

- 
- 93 JF03B 〇そっ、そう↑、そうか<h>
- 94 JF03A そう。〇多分<h>
- 95 JF03B 付け替えてるもんな、〇胴体同士<h>(うん)。
- 96 JF03A そうしたら、おもちゃと(おもちゃと)、服と(服)、本(本)
- 97 JF03B 一応他の選択肢も切る、なんかも早く終わってしまった。
- 98 JF03A だよね<hh>。結構衛生用品も悩んだ。
- 99 JF03B あ、分かる。足りてなさそう。
- 100 JF03A そう、足りてなさそう、ほんとうに思った思った。
- 101 JF03B えっ、公民館なんてそんな設備整ってるわけじゃないしね<ないしね>{<}  
102 JF03A <ないし>{>}。でも  
なんかこの説明書とかをちゃんと読んで利用できるのかっていうところまで  
考えて、[息を吸う]インストラクターが何人必要だ?みたいな<h>。
- 103 JF03B ああああ、ね↑
- 104 JF03A みたいなのでちょっと[[  
105 JF03B]]指導者も絶対すくないよな(うん)
- 106 JF03A これだったらまだ送るだけでもなんとか(うん)なんかなー、って(うん)感じな  
んだけど。間違えてこれ飲んだらやばいじゃん↑
- 107 JF03B やばい<h>
- 108 JF03A やばいじゃん↑<h>
- 109 JF03B やばい
- 110 JF03A ここ、複合しちゃいけないのとかさ(うん)、塗り薬飲んちゃったりさ(ああ、  
ね)、怖いなあって思って。
- 111 <1秒>
- 112 JF03A 水はあるかなと思ってた(うん)。だから除外して(うん)。で、食べ物はコンロ  
あるのかなと思いつながら<hhh>
- 113 JF03B そうなんよな(そう)、食べ物な冷食はもう確実にちよつともっ(うんうん)、つ  
かえないし
- 114 JF03A うん、うん、せいぜいお湯はあるかなあとと思ったら、かつ、からさ、カップめ  
んとかはいいなって思ったんだけど(うん)、魚肉ソーセージって、そんな日  
持ち〇しないよね<h>。
- 115 JF03B しー、〇まあ、写真は<h>
- 116 JF03A まあまあまあ(まあまあ)、こういう系ね、こういう<系>{<}。  
117 JF03B <も>{>}、もたんよな。
- 118 JF03A うん、そうそう。意外ともたなさそうなのかなと思ったら外して。まあベッド、  
布団はね、いいかなって<h>。
- 119 JF03B うん、うーんって感じ
- 120 JF03A そんなたくさん持って行けないだろうし(うん)、一部の人以上でこの上でねてる  
けどみたいなのって、ほら、ね。
- 121 JF03B ね
- 122 JF03A 争いが起こる
- 123 JF03B そう。
- 124 <1秒>

- 
- 125 JF03A かな？
- 126 JF03B そんならいかな→
- 127 JF03A テントはどうして外した？
- 128 JF03B 全然考えてすらなかった
- 129 JF03A あっ、<なるほどね>{<}。
- 130 JF03B <なんか>{>}、 なんだろう。テント、あ、そっか、建物が壊れてないって言う:::、ちょっと
- 131 JF03A 前提があったんだね。
- 132 JF03B そう。
- 133 JF03A なるほどね。
- 134 JF03B ああ、でもなあ、雨で流れるくらいだしなあ。どうなんだろう、避難場所がもうできてるっていう(うんうん)前提で考えてたから。
- 135 JF03A なんか、私、みんな草原みたいところで、こう「はあ」「はあ」〔擬態語〕ってやってるな<hhh>(hhh)、っていう前提だから(ああ)、多分そこで結構、最初選んだ3つ(分かる)が違ったけど。条件合わせたらまあ結構似てるかも。
- 136 JF03B そうね
- 137 JF03A うん。
- 138 <1秒>
- 139 この3つやな。
- 140 JF03B だよな
- 141 JF03A オーケー、10分かな
- 142 JF03B10分かな、10分経ってない<h>
- 143 JF03A10分経ってないかな
- 144 JF03B ちょっと分かんない
- 145 JF03A 経ってない気もすんな
- 146 JF03B うん
- 147 JF03A うん：どうしようかな、もしこっちの前提に合わせるとしたら何：選ぶ？草原の中に震える人々<hhh>(hhh)、ってかなんだろう、難民の避難したて
- 148 JF03B 避難したてん(うん)ときやったら、くすり [v]、こう、こう、こう
- 149 JF03A ああ、結構似てる。水選んだ？
- 150 JF03B 水。水、は、食べ物より絶対水でしょうっていう感じ。後水、水は飲むだけじゃなくて、消毒っていうか。
- 151 JF03A ああ、そっかそっか。
- 152 JF03B 多分寒かったら、湯たんぽとか(うんうん)、になるかな(うん)って思った。
- 153 JF03A なるほどね。
- 154 JF03B 食用以外にも要るとは思うし(そうやね)、ふろ、風呂も入れんやんだから、せめて頭洗うとか(うんうん)。
- 155 JF03A そっか、衛生的にも、大切よね。
- 156 JF03B うん。
- 157 JF03A そう思ったら[[
- 158 JF03B]]あっ、子供、子供か

- 
- 159 JF03A そうねん。これ子供ねん。  
160 JF03B 子供か  
161 JF03A そう。これ子供ねん。  
162 JF03B 「選択した理由について述べてください」 [指示を読んでいる] うん、うん  
↓、あああああ、子供か→  
163 JF03A 子供なんだよ。  
164 JF03B 子供 [v]、子供：：  
165 JF03A 災害したての子供に何を送る？  
166 JF03B 布団  
167 JF03A 布団送ろう。ね。  
168 JF03B 布団、多分、ね、災害だから、っていう、っていう、理解できる子供、小っちゃい子だったら多分、へえ、寒いみたいな(うん)。寝らなくて多分ひたすら泣くとか(うんうん)、<そう思う>{<}[[  
169 JF03A]]<そしたら>{>}、大人も疲弊するしね。  
170 JF03B うん。寒いなら、布団だなあ。  
171 JF03A 布団  
172 JF03B 布団、布団  
173 JF03A テント<hhh>  
174 JF03B 布団、テン、布団とテント、布団、<###>{<}  
175 JF03A <テント>{>}要らんか  
176 JF03B 簡易、<簡易布団>{<}[[  
177 JF03A ]]<布団とテント>{>}、とっちか。  
178 JF03B 掛布団(掛布団)、毛布、それやったら、こうやな。  
179 JF03A そうやな。  
180 JF03B で、うん、で、おもちゃか。  
181 JF03A で、おもちゃやな。<食べ物は？>{<}  
182 JF03B <それなら>{>}、  
183 JF03A なんとかなる。  
184 JF03B 家にしのげる屋根がある(うん)、休める布団がある(うん)。泣かないためのおもちゃが<ある>{<}。  
185 JF03A<ある>{>}  
186 JF03B で、  
187 JF03A 何とかかなりそう<h>。  
188 JF03B 何とかかなりそう。  
189 JF03A ぐずらなさそう。  
190 JF03B ぐずらないためについて感じ(うん)。  
191 JF03A そしたらこれよね。  
192 JF03B うん。うん。  
193 JF03A よし。  
194 JF03B よし。  
195 JF03A 終わりました。  
196 JF03B おわ...<hhhh>(hhhh)

---

## JF04

- 01 JF04A はい。
- 02 JF04B 決まった？
- 03 JF04A おー。
- 04 JF04B (選択した写真を並べながら) hhhh、一緒。
- 05 JF04A 一緒？ほんと↑
- 06 JF04B あっ、最後だけ違う。
- 07 JF04A 服か。
- 08 JF04B うん。にした。迷ったよ、それで。
- 09 JF04A ね。私も迷ったよ。服と、あの、何っていう、「キレイキレイ」で迷った。
- 10 JF04B ああ...
- 11 JF04A いや、別に、ね-
- 12 JF04B あっそうか、「キレイキレイ」とその薬って違うんや、写真が。一緒になんか混ざった。
- 13 JF04A 本当に？
- 14 JF04B うん。
- 15 JF04A や、まあ：
- 16 JF04B 本当やね。まずこれはね。
- 17 JF04A そう。ここはもう絶対やわ(うん)。
- 18 JF04B いいじゃない。食やもんね(うん)。
- 19 JF04A これも。ね。ここやな。
- 20 <1秒>
- 21 JF04B そう。なんか、なんやろう。
- 22 <1秒>
- 23 JF04B はあ[嘆く]、どうやろうな。
- 24 JF04A え、むずい。何で迷った？
- 25 JF04B 私は、これかこれで迷った。
- 26 JF04A あああ。そうやよね。
- 27 JF04B そう：でもなんやろう、でもなんか、いろいろなんか言っというて、一番想像しやすいのって日本やんか(うん)。なんか被害に巻き込まれて(うん)、映像とか見れるから(うん)。って、考えたときに、薬って送る人おらんよなって思ってしまったん(おおお)。服のほうを送られとるイメージあるかなと思って
- 28 JF04A まあ確かに。下着とかね。
- 29-1 JF04B そう。
- 30 JF04A <いるよね> {<}
- 29-2 JF04B <しかもなんか> {>}、なんやろう。別に着んくてもあればあったかいかなあみたいな(まあまあまあ)って思ってたけど。
- 31 JF04A それもまた時期に変わってくる(hhhh)。ね(hhh)。
- 32 JF04B 夏は要らんやん。
- 33 JF04A 夏は要らん。



- 
- 34 JF04B 夏要らんやんってなるもんね。
- 35 JF04A 服っ、このいまからの時期やったら、まあ要るわ。
- 36 JF04B まあそうやね(うん)。そうやね。えっ、これやったよね、「えいさ」[名前]。  
あれ、これだっけ。
- 37 JF04A うん、薬。
- 38 JF04B こっちか。
- 39 JF04A そう。そう、服か、薬か、これで迷って(うんうんうん)。まあ潔癖の人は要る  
かなのみたいな感じだけど<hhh>
- 40 JF04B あ、なるほどね。でもこれは結構大事やけどね。
- 41 JF04A まあ我慢できるっちゃできるしね。
- 42 JF04B うん：
- 43 JF04A だって左右書いてあるもん違うもん<hh>
- 44 JF04B あっ、本当ね↑<hhh>(そう)、本当やわ。
- 45 JF04A やろう↑
- 46 JF04B 普通にどっちも見とったうち。確かに。
- 47 <2秒>
- 48 JF04A うーん、まあ我慢できるだろう。
- 49 JF04B 薬か。何で薬選んだ？逆に。服より薬になった理由。
- 50 JF04A まあ命に関わるかなって感じ。
- 51 JF04B あ、やっぱり、そっか。
- 52 <1秒>
- 53 JF04B えっと、なんか、これって例えばなんか、災害に巻き込まれてすごい苦しい思  
いしとって、なんかいつ病気になるか分からんからっていう保険みたいな  
感じな気がするんやん>{<}。
- 54 JF04A <ああ：：：>{>}、 そうね。
- 55 JF04B これはどうやろうな。まあ時期によるんやよね。
- 56 JF04A そうやね。
- 57 JF04B 外国とかのさ、難民って基本アジアとかやったら暖かい国やん(うん)、ってな  
ったら服着ていない子が山ほどおるやん(そうそう)。ってなったら要らんか  
なと思ってけど、服のメリットって何やろう。暖かい、清潔↑、服着たら清  
潔なわけでもないしな(うん)。
- 58 <3秒>
- 59 JF04B 保険にもなるねなんか、冬は暖かそう。
- 60 JF04A そうそうそう、ふゆ、冬やったらね。
- 61 JF04B 要るね
- 62 JF04A 要る。あったかそうやもん。
- 63-1 JF04B<hhh>確かに、揃えられた服も[[
- 64 JF04A そうやね
- 63-2 JF04B あったかい感じのもの揃えたね。
- 65 <2秒>
- 66 JF04B 布団：じゃない、なんか、仮設住宅とかさ(hhhhh)
- 67 JF04A そうやよね。日本やったらさ、絶対考えられるやん。

- 
- 68 JF04B そう。
- 69 JF04A テントなんて要らんし。
- 70 JF04B これがある、想像できんもんだって
- 71 JF04A ん、確かにね。
- 72 JF04B 教育はなんか子供やね
- 73 JF04A うん、暇つぶして感じやろう。
- 74 JF04B なんかやよね。危ない時に勉強しなさいなんて言えんわ<hhh>
- 75 JF04A ね。おもちゃもいるよね
- 76 JF04B そうやね。やっぱこれか。どうしよう。寄付。
- 77 JF04A 寄付か。
- 78 <2秒>
- 79 JF04B 難しいなあ。
- 80 <2秒>
- 81 JF04A 薬でしょう↑これに関わらずってことやろう。
- 82 JF04B うん。
- 83 <2秒>
- 84 JF04B 薬が言いたいんやね。
- 85 JF04A ね。私なんか「Walking dead」って見とるんやって(うん)、なんか、「ゾンビ」の、海外ドラマねんけど
- 86 JF04B あっ、そうなんや<hhh>。
- 87 JF04A ハマっとるんやけど(ん)。なんかそこでできたのはあれねん、(1秒)喘息も  
ちな人がおって
- 88 JF04B ああ、なるほどなるほど。
- 89 JF04A っていうのは、ふと、ふと思った。
- 90 JF04B あ、なるほど、なんかその発作みたいな感じ?
- 91 JF04A そうそうそう。
- 92 JF04B 起きるときにみたいな感じか。
- 93 JF04A そう。
- 94 JF04B そうやね。
- 95 JF04A 持病もちとか=
- 96 JF04B =ね、おるよね(うん)。そっか→<hhh>
- 97 JF04A これなんか頭痛薬とか書いてあるけど。「ばふありん」とかやろう↑
- 98 JF04B そうやね、胃腸薬とかね。
- 99 JF04A ね、それで考えて選らんだかもしれないけど。なんか薬で考えたら。
- 100 JF04B でも、なんかあったら安心できるよね、<飲まなくても>{<}  
101 JF04A<うん、まあまあまあ>{>}なんかあった時な、服もそれとおんなじ事言える  
よね。
- 102 JF04B 確かにね、言えるね。
- 103 <2秒>
- 104 JF04B はあ[感嘆詞]、何じゃろか。
- 105 <4秒>
- 106 JF04B 服か↓、それとも [v] <hh>

- 107 JF04A えっ、あのさ(hhh)1 だけど、その、何っていう、暖かさで考えたらさ(うん)、やったら毛布でよくないって思わん？
- 108 JF04B あああ、なるほど、なんかうち、その毛布でも分かるげんけど、多分これって切れるし(ああ)、そうそうそう、いろんな用途に使えるかなあと思ってた(うん)。
- 109 JF04A 肌着とか入っとるんやったらちょっと考えるな、ここんなかに。
- 110 JF04B あ、そういうことか(うん)、そっかな、どうやろう、何やろうな<hhh>。
- 111 JF04A<hhh>むずいな
- 112 JF04B ね。何が一番求められるか。(2秒)えー、分からんな。なんか、一つ思ったのが(うん)その企業で考えた時に(うん)、なんか、その：、「ユニクロ」とか(ああ)、そう、貧しい国に服を送りたいからいらない服募集中みたいなやつも見てんて
- 113 JF04A あるよね。
- 114 JF04B そうそうそう。だからそれは別に長袖半袖関わらず、あったっていうことは、それ...なんか、ね↑あるかなーと思ってるけど<h>
- 115 JF04A あーわかるなあ、確かに。
- 116 JF04B そうそうそう。どうやろうか。まあ究極を言ったらどっちも送りたいんやけど<hh>
- 117 JF04A ね。そうやよね。
- 118 JF04B ね。
- 119 JF04B ああ、何が一番、いいのかな。
- 120 JF04A 値段、値段か。寄付やろう↑
- 121 JF04B そうやね。コストの面もあったね。寄付というイベントを行います[指示を読んでいる]。
- 122 JF04A イベントか。<じゃ>{<}[[
- 123 JF04B]]<イベント>{>}か<hhh>(hh)
- 124 JF04A∅イベントやったら服やわ<h>
- 125 JF04B そっか。今よん、読んで思った。寄付するイベントね？「各自必要だと思うものを3種類選んでください」[指示を読んでいる](hh)、か、じゃ、これかな。薬寄付ってね=
- 126 JF04A =あんまねえ。
- 127 <1秒>
- 128 JF04B ね。
- 129 JF04A へたなもんあげれんしね。
- 130 JF04B 遣い差しあげて逆にいいみたいになりそうや<hhh>{<}
- 131 JF04A <そう>{>}、じゃ服かな。
- 132 JF04B これかな。じゃあ[[
- 133 JF04A]]手軽やしね。自分要らんくなったらね。
- 134 JF04B 要らんやつはありそうやしね。
- 135 JF04A これやな。
- 136 JF04B これでいいんですかね<hhh>。これでもう(うん)、10分経ったかな。
- 137 JF04A 経ったね。

138 JF04B オッケー、じゃあ呼んできます。

139 JF04A はい。

### JF05

01 JF05A 選んだ？

02 JF05B うん。選んだ。

03 JF05A 全く違うじゃん。<hhhhh> (hhhhh)

04 JF05B じゃ、先にどうぞ。

05 JF05A とりあえず(うん)、あの、前提として子供たちに何かを寄付するやし(うんうんうん)、寄付しやすさっていう事考えたら(うんうん)、服とか、子供着(うん) やんくなったやつとか(うん)、本も読まなくなったとかやったら寄付しやすい(うんうん)、まあねなんか、他のも、まああれば便利やけど(うんうん)、子供向けじゃなくても、普通に(うん)寄付してみたいで(うん)いいのかな、って思ってこの3つ、子供が使いそうな

06 JF05B あああ。<文房具>{<}

07 JF05A <文房具>{>}、うん、文房具と、本と、服

08 JF05B うん：。

09 JF05A そう。

10 JF05B まあ確かに。

11-1JF05A そう、おもちゃ別にさ、災害の時に要るか要らんかって<言われたらさなんか>{<},

12 JF05B<まあそうよね>{>}。

11-2JF05A そこまで、まあ、絵本そうかもしれないけど。(hhh)<hhh>

13 JF05B<hh 変えますか、今 hh>{<}

14 JF05A<hhhhhhhhhhhhhhhh>{>} まあまあまあ<h>、服は(うん)、  
<って思って>{<} それは別に。

15 JF05B<うん、確かに>{>}。

16-1JF05A 親やったら自分の服要る(うんうんうん)。子供向けに→

17 JF05B<そうやね>{<}。

16-2JF05A<えっと>{>}、って考えた時に、いや、子供服いいんじゃないかな↑(うんうんうん)、みたいな。「エミ」[Bさん]は？

18-1JF05B 私は、あのう、これ何？薬品<hh> [v]、薬とか(うんうん)、と、食事と(うん)、飲み物で、なんか、結構、まあ、多分被害、災害に遭って(うんうん)きた子やし、なんかもしかしたら怪我とかしとるかもしれないなあみたいな(うん)、まああってもいいかなみたいな、

19 JF05A 確かに [v]

18-2JF05B そうしかもなんかその、やっぱ災害遭って、どっかでみんなでおってとかなって、なんか、やっぱ病気とかもさ＝

20 JF05A =確かに風邪とかもね↑(そう)、うつりやすくなるし。

21 JF05B そうそう。だからなんかそういうのを予防する、た、とか、まあ、起こってか

- ら、さらに悪化させないようにみたい何で薬とかいいかなと思って(うん)、後はまあ、生きるために必要なご飯と(うんうん)、飲み物(うんうん)、なんかこれって、なんか、最低限、生きるために必要なもんやから
- 22 JF05A 確かに
- 23 JF05B そう、やし、なんか、うん：、おもちゃもなんかそうさっき言ったみたいに、まあ要らんかなみたい(うんうん)、まあ人が周りに多分おるし(うん)、それで寂しくないから、絵本とかも、まあ寄付のしやすさはあるけど(うーん)、でもなんか、実際に要るかって言われたら、もしかしてなんか(うーん)、なくても生きてるもの↑
- 24 JF05A まあそうやね。
- 25 JF05B そう。
- 26 JF05A なんか、その対象が子供向けやから(うんうんうん)、っていうのを考えるとどうなんやろうなって、だって別に(ああ)、薬とかその別に、親っていうかその(うんうん)地区に寄付して親が取りに行くかも(うんうんうん)、子供に寄付するかなって考えた時には(ああ)、子供向けのほうがいいのか。
- 27-1JF05B 確かに、確かにね。子供は喜びそう<では>{<}ある、
- 28 JF05A <そう>{>}。
- 27-2JF05B この、この3つら辺は。
- 29 JF05A そうそう、なんか別に、まあ、本、本は確かになんかあれと思ってきたけど<hh>
- 30 JF05B うーん、ちょっと、うーん↓
- 31 JF05A だけど、なんか勉強とかしてく上ではこういう文房具とか辺りは(うんうんうん)、その災害に巻き込まれて勉強できんってなかでも(うん)、まあ暇やし、暇か分からんけど(hhh)<hhh>
- 32 JF05B<hhh>確かに暇そうかもね。
- 33 JF05A そうそうそう。一種のなんか娯楽として、本当に何もすることないよりは(うんうんうん)、まあ、<こういう>{<}[[
- 34 JF05B ]]<たしかに>{>}、暇つぶしになるもの。
- 35-1JF05A 暇つぶし。まあ、おもちゃあっても、みたいなのしかできんけど
- 36 JF05B うんうんうん、確かにね。
- 35-2JF05A 本、これやったら結構使えるし
- 37 JF05B うんうんうん
- 38 JF05A なんか自分らも、なんか、ノート5冊セットみたいな(うんうんうん)、買って、5冊使いきった事ありますか？
- 39 JF05B ある。
- 40 JF05A あっ、うちはない<hhhhhh まあ中高の時はさ、中学の時はあるけど>{<}その大学とか入って5冊セット買ったのにさ
- 41 JF05B <hhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhh、うん、hhhhhhhhhhhhhh>{>}  
まあ大学で使わんな。＝
- 42 JF05A ＝そうそう。しかも使い切ってへんやつとかいっぱいあるし(確かに)もったいないなみたい(うん)、そういうとあってもう(うん)、あっ、別に要らんし、あまっとるやつやったら

- (うんうん)、で、寄付しやすいかなかって思う>{<}。
- 43 JF05B <確かにね>{>}、  
それはあるな。
- 45 JF05A うちらでは考えた時にはそうだけど。こっちとかは結構無理があるよね。
- 46 JF05B まあね。
- 47 JF05A うん。着れなくなったなあとか。
- 48 JF05B 着れなくなった、服、うーん
- 49-1JF05A そうそう、なんか、ここ食品とか(うん)、飲み物、消耗品(うんうん)になるから(うんうん)、それはわざわざ買って(うんうんうん)子供に向けて寄付しよう...って、
- 50 JF05B うーん、思<わん?>{<}  
49-2JF05A <考え>{>} る:かー(ああ)。それともセットあるから、けど使っていないみたいな(うんうんうん)なに、遊休資産っていうかな=  
=遊休資産<hhh>(hhh)、  
51 JF05B カッコつけて言うത്?
- 52 JF05A そうそうそう。
- 53 JF05B あああ、<そっか>{<}。
- 54 JF05A <そういう>{>}のあるんやったらそっちのほうが、気軽に寄付しやすい。
- 55 JF05B うーん、なるほどね。
- 56 JF05A と、考えました。
- 57 JF05B まあ、確かに(うん)、寄付のしやすさは(うんうん)めっちゃ分かる(うんうん)。なんか、多分災害...あって(うん)、でもさ、災害ってきなんかずっとこう、何年間もさ、きっと、災害遭った場所におけるわけじゃないやん(そうね)、なんかある程度経ったら(うんうん)、他の場所行って、家族と住めてみたいな、一時的なときやから、逆にそういうので消耗品がいいんかなみたいな(ああ:)。一時的なものを乗り越えるためのものとして、飲み物とか食べ物とかっていうのは。
- 58 JF05A うん、確かに。
- 59 JF05B とも思う。
- 60 JF05A うんうん。確かにちょっと経ったらって思うと、本とかは<要らん>{<}かもしれんよね。  
61 JF05B <そうやな>{>}ち  
よっと邪魔なるんかなみたいな、<こう>{<}[[  
62 JF05A ]]<けど>{>}服は何着あってもいい...かな  
って(うん)、お風呂は入れんときも服変えるだけ結構<気分も変わると>  
{<}  
63 JF05B <まあね、それは>  
{>}めっちゃ分かるわ。
- 64 JF05A 服はね、大事よ。寒さしのげるし
- 65 JF05B そうね。それは大事よ [v]、でもなんかさ、よくさ(うん)、その災害とか遭って(うんうんうん)、なんか、毛布ばかり送られてきてほんとうに要らん







- 118 JF05B<確かに>{>}、確かに
- 117-2JF05A 日中外に置いといてみたいな
- 119 JF05B だよな。へへっ、<自然解凍↑hhhhhh>{<}  
120 JF05A <自然解凍↑hhhhhh>{>}  
121 JF05B へへっ、へっ、確かにね。
- 122 JF05A どんなんやろ...、あっ、ガスコンロ持ってる人おるとかなんかな。
- 123 JF05B たぶんそういうのも(うん)なんか持ってくれるんやない↑<####の人が>{<}  
124 JF05A <持ってくれるかな>{>}。けど、ちょっと離されて、ちょっと、なに、集落みたいなのかやったら？
- 124 JF05B 確かに、まあ多分[[  
125 JF05A]]交通手段が<ありませんみたい>{<}  
126 JF05B <h h h h h>{>}h hなんかあるよねh h。なんか炊き出しとかはさ(うん)、多分鍋とか使うやん(うん)、でそうやってね↑はいはいはいつてやっとするわけやから多分ガスとかはあると思う。
- 127 JF05A うん：、なんか子供たち多分そういう炊き出しとかあるんやったらこういうのより、お菓子のほうがほし(確かに)そう(確かに)
- 128 JF05B でも親としたらお菓子を食べさせたくない
- 129 JF05A お菓子はね。健康的にね。
- 130 JF05B でもhhまあ災害時はそんなこと言ってられんよな<h h h h h>{<}  
131 JF05A <h h h 考えて>{>}、レトルトも結構健康的にそう良くないやん<h h h h h h>{<}  
132 JF05B <良くないな>{>}  
133 JF05A h h そうそう h h。  
134 JF05B ちょっとよくないな。確かにな。それらはね(うん)。子供向けってなっとなるしな(そう)。鉛筆、ってか  
135 JF05A そう。子供にとって考えた時に(そう)、確かにな。  
136 JF05B そうしよう↑  
137 JF05A うん。  
138 JF05B じゃ、服と、と薬品  
139 JF05A 薬品<と>{<}、  
140 JF05B<と>{>}、文房具  
141 JF05A うん。  
142 JF05B O K。  
143 JF05A やっぱね、辛い思いはしたくないし、子供も。  
144 JF05B そうやな。そうやね。なんか家族とさ、離れ離れとかなっとうかもしれんし。  
145 JF05A この...「泣きそう表情」h h h h h h  
146 JF05B h h h h h h、こんな感想h h h  
147 JF05A # # #  
148 JF05B じゃ、これで。はい。  
149 JF05A はい。

## JF06

- 01 JF06A 決まった？
- 02 JF06B うん。
- 03 JF06A めっちゃ迷ってる。
- 04 JF06B めっちゃ迷った。
- 05 JF06A これと(うん)、これと(うん)、うん：、これかな。
- 06 JF06B 全然違う-
- 07 JF06A これ一緒やん。
- 08 JF06B うん。
- 09 JF06A じゃこれね、決定。
- 10 JF06B うーん↑
- 11 JF06A なんかさ、飲み物要るかな、要らん？
- 12 JF06B 子供たちに。
- 13 JF06A そうなんよね。これ：そっか、そうやね。h 確かにh
- 14 JF06B そうなやって<h h h h h h h h h h h h h 子供たち>{<}
- 15 JF06A <h h h h h h h h h h h h h 自分>{>} h h、自分がh hほしい  
h h
- 16 JF06B h h、子供たち↑
- 17 JF06A あ、そっか↓
- 18 JF06B うん。
- 19 JF06A そっか、子供たちか↓
- 20 JF06B うん。
- 21 <1 秒>
- 22 JF06B これは一旦あげるか。
- 23 JF06A うん。これは[[
- 24 JF06B]]美味しいご飯が必要=
- 25 JF06A =美味しいご飯は、まあ皆要るよね(うん)。え、なんか  
さ、自分的にさ、自分じゃん↑まあ自分じゃん、やっぱ(h h h) h h。自分  
目線て考えてしまった。めっちゃう。っだから、えっ、だからこういうの用  
意してあるんやもんね。
- 26 JF06B そうや。
- 27 JF06A じゃ[[
- 28 JF06B 玩具系を一個あげたいん>{<}やって。
- 29 JF06A <一個>{>} うん、あげたい。食べ物(うん)必  
要やね、絶対 [v]、お腹空いとったら可哀想やしね(うん)。これと、あと、  
玩具系？↑(うーん)。
- 30 JF06B なんか、おもちゃか鉛筆。
- 31 JF06A うーん：、本か→ [v]
- 32 JF06B 本もありやな
- 33 JF06A ありやね。

- 
- 34 <2 秒>
- 35 JF06B うーん :
- 36 <2 秒>
- 37 JF06A 本かな。
- 38 JF06B じゃ本にしよう。
- 39 JF06A まあ、災害に遭つとる間も教養高めるっていうことで(h h h)。後もう一個  
は? どうする?
- 40 JF06B テントのなんかh h h
- 41 JF06A いやのテント要るやろう↑<h h h>(h h h)
- 42 JF06Bのそれはもうさ、なんか、ある、あるものとして考えたh。
- 43 JF06A あっ、そんなん?
- 44 JF06B うんうん。
- 45 JF06A へえ、屋根ないと死ぬっと思って
- 46 JF06B うーん
- 47 JF06A えっ、いやや、えっ、だって、屋根ほしくない? ↑
- 48 JF06B ほしい、え、絶対あるものやって、それはh h。
- 49 JF06A あるかな。避難所で、避難所っていうふうに考えればいいんかな=
- 50 JF06B =避難所
- 51 JF06A 避難所に、まあまあ、じゃテントはあるものとして考えて(うん)。水。えっ、  
水なくならん? 災害に遭ったら。
- 52 JF06B そうなん。
- 53 JF06A 水がなくならん?
- 54 JF06B うーん
- 55 JF06A 飲み物ほしくない?
- 56 JF06B ほしい?
- 57 JF06A ね、食べ物と共に飲み物がほしくない? ↑
- 58 JF06B じゃあそうしよう(h h h)h h 飲食って大事やよね。
- 59-1JF06A うん。飲食ってなんか、たべ...、衣食住やったら(うん)、着るものも必要やけ  
ど、<なんか>{<},
- 60 JF06B<そう、着る物>{>}
- 59-2JF06A 季節によるよね。
- 61 JF06B あ、確かに。冬やったら、その[[
- 62 JF06A]]そうそうそう。これはめっちゃほしかったんやって。
- 63 JF06B あ、あああ、そう、これも思ったんけどね。子供っていうところがね。
- 64 <1 秒>
- 65 JF06A 子供 [v]
- 66 JF06B 子供っぽいやつ。
- 67 JF06A そうだよ(うん)。子供っていうを最初に考えてなかったぜうち(h h h)h  
h h<自分、自分ほしいもの>{<}をめっちゃ考えとった。
- 68 JF06B <h h h h h h h h>{>}。 うん、どうしよう↓  
飲みものか服やな。
- 69 <1 秒>





- 
- 07 JF07B 玩具選んだ？
- 08 JF07Aのおもちゃ、おもちゃだってさ、必要じゃなくねって思っ<た h>{<}  
09 JF07B < h h h h > {>} いや災害  
害だったら、心がすさんでる<気がする h h>{<}  
10-1JF07A < h h h h h h > {>} h 心がすさん(うん)で  
る。いや、だから、うちはもう必要(うん)最低限のものって考えて(うんう  
ん)、薬を、うん(うんうん)、薬が必要やし(うん、必要)、お茶も。まあ確かに他の(うん)団体の人が寄付してくれるとかあるかもしれないけど、うん、  
なに、もらえる量も絶対決まってく<る>{<} って考えたら、  
11 JF07B < ああそうか > {>}  
10-2JF07A 何か必要なかなと思ったし、服もね。  
12 JF07B そうだね h。  
13 JF07A うん。これ、これなに、これ？  
14-1JF07B えっと、  
15 JF07A 文房具か  
14-2JF07B 文房具 (うん)。でも子供が遊べるようなもの、かな↓  
16 JF07A そういうことなんだね。  
17 JF07B そういうこと h h (h h h)、あと手軽に買えるし(うーん)、値段的にも、寄付  
するものとしては、いいかなって。  
18 JF07A あ、そっか。値段そうやね。値段も考えたらどうなんだろう。  
19 JF07B 服とか高そう。子供服とか。  
20 JF07A それは思った。  
21 JF07B うん。  
22 JF07A ここから3つ選ばなきゃいけないんだよね。  
23 JF07B ああ、そっか。  
24 < 2 秒 >  
25 JF07A とりあえず薬は  
26 JF07B うん。これと？これと？  
27 JF07A これ、3つ  
28 JF07B 薬は[[  
29 JF07A]]確かに(うん)なんか寄付しているとか、そういうイメージはある(うん、そ  
う)かもしれない意外に(h h)。どうなんだろう [v]、確かに服高いからな  
あ。  
30 JF07B なんか古着とか集めるとかだったら(ああ)、いいけど(ああ)。  
31 JF07A うん、文房具要る気がしてきた。  
32 JF07B 文房具、うん、文房具は要る。  
33 JF07A うん。  
34 < 1 秒 >  
35 JF07A なんだろうね。お、お茶って寄付って意味じゃなくない？  
36 JF07B うん。h h どこでも買えるから(h h h h)。h h いやでも、災害時は買えない  
か h。  
37 JF07A そう(うん)、そう(h h)。災害、って難民の子供たち、んん::::



- 71 JF07A < h h h h h h h h 難民でしょう ↑ > {>} < 難民 > {<}
- 72 JF07B < 難民 > {>} か。災害に巻き込まれただから、最初はそれほど、あのうものに、困ってないん h じゃないか h。
- 73 JF07A あ、そういう感じ？
- 74-1 JF07B h、でも、お茶だったらさ重いじゃん？(そうだよ) < なんか運ぶときに結構 > {<},
- 75 JF07A < そうかそうかそうか > {>}
- 74-2 JF07B あの、時間とお金がかかりそう。
- 76 JF07A うーん、そうだよ(うん)。難しい：、そやね。うん：、そう、なんか、食料関係が要るんかなと思って、こっちかこっちやったら(うん)こっちかなと思っただけや
- 77 JF07B 〇なんで h
- 78 JF07A いや、h h h h (h h h) なんとなく。だってさ、普通に、国によっ、国によっ(うん)あるんかなと思っただけや。食べ物やったら。
- 79 JF07B うん、< 〇確かに h > {<}
- 80 JF07A < 飲み物 > {>} やったらまだあれかななくて、感じ > {<}
- 81 JF07B < ああ、そういう ↑ > {>}  
うん、抵抗感がない。
- 82 JF07A そうそう。
- 83 JF07B ああ
- 84 < 3 秒 >
- 85 JF07A さて < h h h > {<}, 〇どうする h =
- 86 JF07B < え： : > {>}
- 87 JF07B = だろう。
- 88 JF07A 服でもないかな、あーでも、古着案があるで h h h (h h h)、そういうね ↑、それも否めない。お茶は重いし
- 89 JF07B うん、古着のほうがまだ軽いよね。
- 90 JF07A うん。古着かな(うん)、お茶重いからさ。と、おもちゃ、おもちゃ、玩具高い、高くないか
- 91 JF07B これも、あの、〇集める h (h h h h h)、いらなくなった玩具を、
- 92 JF07A うん： : :
- 93 JF07B 普通に買ったなら高いけど。
- 94 JF07A まあ、そうね [v]。そっか、子供たちだもんね(うん)。でもイメージは絶対こっち。なんか多そうなイメージ。寄付してる。
- 95 JF07B ああ、そうなん？
- 96 JF07A 私はね ↑ 色鉛筆、なに、文房具とか、玩具(うん)とか多いイメージ。服ってあんまりない気がするかな =
- 97 JF07B = 確かに。ないものが送ったほうがいいよね。
- 98 JF07A そうなんだ h h h (h h h)。皆送らないものを送ったいい気もするけど(うん)
- 99 JF07B とりあえず







- はい、子供という感じあげるんやったらさ（うん）、なんか、子供向けの物
- 47 JF08A ま、確かに、子供達にだもんね
- 48 JF08B うん、なんか＝
- 49 JF08A =確かにな
- 50 JF08B 大人はもう足りとりげんろみたいな
- 51 JF08A 〇うける h h
- 52 JF08B h h 別に、分からんけどね>{<} h h
- 53 JF08A <どうということ?>{>}
- 54 JF08B 子供なんか、子供優先感。
- 55 JF08A え、むずくね?
- 56 JF08B んー
- 57 JF08A え、でも、ま、アフリカだったら、テント要りそう、でも、日本だと、<テントいらんくね?>{<}
- 58 JF08B < h h  
h h >{>} h テント要らん、h テントは要らん、確かに
- 59 JF08A えっ、アフリカとかだったら、野生動物みたいなおるやん、たぶん
- 60 JF08B いや、殺される、え、でも、テントじゃ、殺される
- 61 JF08A だめか h h h (h h h)、多少よ
- 62 JF08B あ、多少ね、雨とかもね
- 63 JF08A そうそうそう、雨風[[
- 64 JF08B]]どことか書いてないもんね↓
- 65 JF08A でも、難民だもんね、難民[[
- 66 JF08B]]難民ってアフリカ感ない? (h h) h h
- 67 JF08A え、日本だったら、難民という、え、
- 68 JF08B 避難民?
- 69 JF08A 避難民?
- 70 JF08B ひ、え、難民? え?
- 71 JF08A テントは、ま、必要、雨風、でも、雨防げんのか、でも、ま、ないよりまし?
- 72 JF08B でも、ひつ…、部屋がね、あれば要らんもんね、部屋ないんかな、え、でも、災害等に巻き込まれたやろう? <だから、災害>{<} [[
- 73 JF08A ]]<でも、難民>{>}、難民って、あれやろう↑
- 74 JF08B アフリカ?
- 75 JF08A 違 h h h h
- 76 JF08B h h h どういうこと?
- 77 JF08A 難民は、もう（うん）家とかないでしょう、ひなん、避難所とかないでしょう、たぶん
- 78 JF08B あ、そうなの?(うん)あ、そういう意味、難民
- 79 JF08A え、違うの?
- 80 JF08B じゃ、やばいやん、家要るんやん
- 81 JF08A テントいる、h h 急遽、<急遽>{<}
- 82 JF08B <急遽>{>} h h h テント要る、やばい、このルール無視しとる、うちら







- 185 JF08A 違うやろう。普通に寄付するイベントやから
- 186 JF08B うん、え、こっちの方が安いがん？あぁ、古着やからということ？
- 187 JF08A いや、古着っていうか、だってきなんか、何ていう、なんか、その辺のさ歩いて  
いる人さ、寄付してくださいみたいな（うん）くださいみたいな言ったら  
さ、絶対要らない服もってるやん、きっとくれるよ。まあ、まあ適当に言っ  
たけど。
- 188 JF08B 確かに。くれそう、くれそう。
- 189 JF08A くれそうじゃない、子育て終わった人とかさ
- 190 JF08B くれそう。もうこの服着ないのよみたいな
- 191 JF08A そうそうそうそう
- 192 JF08B くれそう。(1秒)ええ、これかなあ、
- 193 JF08A え、でも、こ、こっちはこっちは見る限りさ、なんかなんか、系統違くない？
- 194 JF08B 歯ブラシやんな、これ
- 195 JF08A でもこれめっちゃ必要だと思う、歯ブラシとかさ、こういう系はマジで必要や  
と思うよ。生活していくにあたって。だってさ、1週間歯磨きくしなかった  
ら死ぬくね↑>{<}
- 196 JF08B <ええー、無理無理無  
理死ぬ死ぬ死ぬ{>}
- 197 JF08A 死ぬっしょ。
- 198 JF08B 確かに
- 199 JF08A 死ぬんだって、マジ
- 200 JF08B h h h 経験者<みたいな h h h h >{<}あ、確かに、それはきついわ。
- 201 JF08A < h h h h h h h h h >{>} きついで  
しょう
- 202 JF08B あ、そっか。えっ、1週間歯磨けんのと、1週間ご飯食べるのってこと？
- 203 JF08A 何の話？(h h h) h h h 何？なんで急に<ご飯がでてきたの？>{<}
- 204 JF08B <ご飯ご飯>{>} ご飯大事かなって。  
<ご飯大事じゃない、ご飯大事じゃない>{<}
- 205 JF08A <ここにきてご飯入れたいの？>{>} ご飯他のところやくれるんやって=  
206 JF08B =あっ、  
そっか、そっか、他のところが<くれる>{<}
- 207 JF08A <他のところ>{>} がくれるから、ご飯は。
- 208 JF08B 見たら、ほしくなってしまう
- 209 JF08A h h h ほしくなってしまう< h h h h h >{<}
- 210 JF08B < h h h h h >{>} ええ、薬ももう詰めたっけ？
- 211 JF08A うん、詰めたんじゃね？(うん)。やって、この、消毒液とかもこっちと一緒にや  
からもう、かわらんしな。
- 212 JF08B あ、こっちや、本当やん、こっちまなっまな、こう、入っとる(うん)、これも  
いらんわもう
- 213 JF08A テントも
- 214 JF08B 布団は？
- 215 JF08A いや、布団な、要る？

- 216 JF08B 折り紙あるから大丈夫か。h
- 217 JF08A h 全て折り紙で解決しようとするやん、服も全部
- 218 JF08B 折り紙そんな、折り紙、じゅう、まあ、重要重要、子供にとってね。折り紙は重要や。
- 219 JF08A え、でも、よ…、よく言うやん、災害の時に子供のメンタルケアが大事ですねって
- 220 JF08B そうなん？
- 221 JF08A そう
- 222 JF08B へえ：
- 223 JF08A なんかも、そう、ね、大事な人失ったりとか、して(うん)、何も遊ぶものもないし、子供心が育たない。
- 224 JF08B え、確かに。なんかさ、おも…、思ったのは、本とかやったら読んであげんなん人が必要やん(確かに)、おらんかったら、悲しすぎんって思って、やめた。
- 225 JF08A それやめよう。
- 226 JF08B 確かにh h h (h h h)、じゃあ、折り紙やな
- 227 JF08A 折り紙はもう決定、動かないよ。2人一致してんだから。
- 228 JF08B そうだね。ええ、なんか、寒さを考えてしまうやっぱ、あの、雪国出身やから
- =
- 229 JF08A =まあでもな、アフリカやったらさ
- 230 JF08B あ、そっか、アフリカやったら服要らんわ。葉っぱやもん。
- 231 JF08A や、どこでも必須なのはこれじゃない？
- 232 JF08B 確かに、歯磨きは要るな、確かに
- 233 JF08A これだな
- 234 JF08B 決まりましたね。決まった。
- 235 JF08A 決まったよね。
- 236 JF08B 決まった。

## JF09

- 01 JF09B0 何で<こんなに>{<}<h>
- 02 JF09A <∅あら>{>}h、へえっ
- 03 JF09B 性格違いすぎん？h
- 04 JF09A ほんと。全然違うぜ
- 05 JF09B 性格違いすぎん？
- 06 JF09A 理由。じゃ、ジャンケンばい、じゃ先言っいい？先のほうが楽しいやつ(h h h)、まずね(うん)、サバイバルに大事なものh h h
- 07 JF09B はいはいはい。サバイバルなんかなくないh h h (h h h)、災害でしょう↑
- 08 JF09A サバイバル、まあでもさい、災害に巻き込まれたとして、もう何も持ってない、あっ、ちょっとサバイバルと同じ状況やんってなるやん(うんうんうん)、で、サバイバルで大事なものが、水の確保と(うん)、生活？↑寝床の確保と、火の確保(うん)、が、と、あとなんだっけ、うん、えっと、なんかあったん







- 
- なあって思ったけど、でもこっちもこっちで、それは大切だなあって思うから→
- 67 JF09B うん：：、
- 68 <3秒>
- 69 JF09B どっちもいるよね。
- 70 JF09A どっちもいるんよ↑<どっちもいるんよ、4つにしたい>{<}  
71 JF09B <h h h h h h h h h h>{>} うん：それね  
<絶、絶対>{<}[[
- 72 JF09A]]<4つでって>{>}これだって絶対h h気持ちの支えになるやんね、これは。  
あ、毎日歯がすっきりしてるなあみたいな
- 73 JF09B うん：：、
- 74 JF09A うん：
- 75 JF09B どうやろう？
- 76 <8秒>
- 77 JF09A うん：：、
- 78 JF09B 子供たちよね
- 79 JF09A うん、そっか。子供たち
- 80 <3秒>
- 81 JF09B めっちゃ迷うね、これ
- 82 JF09A そうやね(h h h)、やばいね。
- 83 JF09B なんかどっちも必要すぎて(うんうん)、要らん理由わからんっていうh h h
- 84 JF09A いや、一番なりそうじゃない？
- 85 JF09B うん：
- 86 <3秒>
- 87 JF09A うん：
- 88 <7秒>
- 89 JF09B 迷うね。
- 90 JF09A でも怪我してなかったら要らんよな、って思わへん？
- 91 JF09B まあ：
- 92 JF09A 災害だと[[
- 93 JF09B]]災害だったら怪我するんじゃない、普通に
- 94 JF09A するかな
- 95 JF09B 分からんけど [v]
- 96 JF09A そっか、なんか、でも：
- 97 JF09B なんか、それなりに、物理的な傷害っていうのはうけそうな(そうなん)感じは  
する
- 98 JF09A うん：
- 99 <9秒>
- 100 JF09B 体調面で考えたら、こっち。やけど(うん)、健康やった場合h h h (h h h)
- 101-1JF09A 確かに確かに、体調面[[, ,
- 102-1JF09B]]うん、なんか、
- 101-2JF09A なんかこっち

- 102-2JF09B 普通に薬とかなかったら(うん)、なんか、そういう、なに、風邪とか引いて、  
 そういふなんか、寒いとことかにやられて(うん)、なんか体調はさらに  
 悪くなって(うんうん)風邪こじらせて、死ぬみたいな(うん) まあよくな  
 いし、薬...(1秒)必要だよな。
- 103 JF09A うん：、命考えるならこっちかな(うん：) と思う。けど…
- 104 <2秒>
- 105 JF09A これは、へっ
- 106 JF09B うん？
- 107 JF09A なんだ？
- 108 JF09B これってさ、この寄付するタイミングのやつその医療機関全く関係ないって  
 いう状況が
- 109 JF09A]] ああ、<そやな>{<}  
 110-1JF09B <赤十字>{>}ってさ(うん)、こーいうの、
- 111 JF09A やるね？
- 110-2JF09B 寄付したりするじゃんか。
- 112 <2秒>
- 113-1JF09A 何か寄付するイベントを行います[指示を読む](1秒) 寄付、国もなんかある程  
 度かかわるとる、やろうな、きっとでも、でもへっ(うん：)、難民、赤十字、  
 うん、(2秒)赤十字おったら要らんなくっていう気もするし>{<},
- 114 JF09B <h h h h h h h h>{>}
- 113-2JF09A でもおらんかったらまいこ的には必要じゃない↑<と思うし>{<}
- 115 JF09B <うーーん>{>}確かに必  
 要では…、うん、
- 116 JF09A でも、なに、赤十字おったら要らんから
- 117 JF09B h h h 赤十字 h h h
- 118 JF09A 赤十字どっち h h (h h h)
- 119 <5秒>
- 120 JF09B 赤十字、<確かに h>{<}
- 121 JF09A <h h h h>{>}赤十字 h
- 122 <3秒>
- 123 JF09A な、災害の程度によるけどね(うん：)、巻き込まれた子達の
- 124 JF09B ねえ(うん)、どんな災害にあうか。
- 125 <8秒>
- 126 JF09A これでも体育館ある感じやん↑(うん)多分体育館がある状態で考えん？
- 127 JF09B そうやね、体育館で(そう)<過ごすとして>{<}
- 128 JF09A <そうそうそう>{>}、はい、体育館を<設定しま  
 す>{<}
- 129 JF09B<体育館で>{>}、体育館で、お茶、お茶飲むやろう↑<h h h h h>{<}
- 130 JF09A <そうそうそう>{>}。水大  
 事じゃん↑。で、体育館だから布団も
- 131 JF09B うん、<布団もひいて>{<}寝てください。
- 132 JF09A <大事じゃん↑>{>} 体育館で出来る…、あつ、うん

- 
- ↑ってじゃなんだ。
- 133 JF09B ここにこれあるんじゃない？ ↑ h h h h
- 134 JF09A どれ？
- 135 JF09B 学校学校、廃校になっても(ああ、確かに)、「キレイキレイ」みたいな手洗う石鹸、とか、歯みが(うんうん)、歯ブラシみたいなのないんかな(うん)、
- 136 <2秒>
- 137 JF09B これは風呂には入れんのかな
- 138 JF09A ああ、たしか…、はい…
- 139 JF09B そうというのは
- 140 JF09A 水道管とか壊れてたら入れんよな
- 141 JF09B そうや、水道止まるとる(うん)ガスも止まるし。
- 142 <3秒>
- 143 JF09B それは何の薬？
- 144 JF09A 「ガーゼ」と「シップ」とえっと、消毒液、と[[
- 145 JF09B]]薬、普通に
- 146 JF09A 薬↑(うん)「」「」風邪に漢方薬、薬[[
- 147 JF09B]]身体は壊れたら元も子もないし、こっちじゃない？ ↑時間大丈夫？
- 148 JF09A ほんとやね h h (h h)
- 149 JF09B あああ
- 150 JF09B # # #
- 151 JF09A h h h h h (h h) こっちな気がするなあ
- 152 <1秒>
- 153 JF09A こっちな気がするなあ
- 154 JF09B こっちにしよう ↑いい？
- 155 JF09A うーん
- 156 JF09B さあ、どうするんかな
- 157 <2秒>
- 158 JF09A 体育館設定で、
- 159 JF09B0 体育館設定 h
- 160 JF09A 体育館設定
- 161 JF09B 布団と、飲み物と(うん)、薬 h
- 162 JF09A うんうん
- 163 JF09B これやったら普通に最低限生きてくる気がするね
- 164 JF09A ね、生きて、いけるよ。
- 165 JF09B うんうん
- 166 JF09A でも、本も迷ってる。
- 167 JF09B 本？
- 168 JF09A サバイバル必要だよな、本って思って h h h
- 169 JF09B h h h なるほどね h h
- 170 JF09A 知識要るやんみたいね
- 171 JF09B なるほどね。昆虫とかかいてあるけど h h
- 172 JF09A 食べれる昆虫

- 
- 173 JF09B なるほどね (h h h) h h h  
174 JF09A 終わるか？  
175 JF09B 終わるか↑  
176 JF09A 声かけてくださいって言ってなかった？終わったら。  
177 JF09B 終わったら？  
178 JF09A うん  
179 JF09B じゃ呼んでくるわ。

## JF10

- 01 JF010B まあこの3つかな  
02 JF010A なるほどね  
03 JF010B この3つっていてもちゃんとやってたほうがいいよね、ちゃんと  
04 JF010A うん：  
05 JF010B まず  
06 JF010A まあカメラあるし見えとるんじゃない？(Bさんが写真をカメラに映っている  
ことを見て) h h えら h h h h h  
07 JF010B 衛生用品  
08 JF010A はい、衛生用品  
09 JF010B っていうのは、これだって消毒液ってことやろ？  
10 JF010A うん。  
11 JF010B なんかインフルエンザとかはやりそうやん？  
12 JF010A 確かに。(h h h) 確かに。  
13-1 JF010B なんか意外となさそうやない？消毒液とかって。(うん：) なんか救急セットと  
かはありそう(うん)やけど。こういう手洗いセッ、衛生用品はない気がする  
[[  
14 JF010A ]] なんか：  
13-2 JF010B あんまり  
15 JF010A 勝手な想像やけど(うん)、石鹸とか(うん) こういう手洗う系の(うん) せん...、  
なんていうん？、ハンドソープ的な↑のあったとしても、水なくねって思っ  
て。(あ：↑) なんか結局、洗うっていう習慣ないんじゃないかねって思っ  
て。いや、  
◇どんな難民かにもよるよ< h それはもう> {<}  
16 JF010B < h h h h h h > {>} でも水ないんやったらそもそもこ、こ、こ(確かに)、  
こいつらって(そうそうそう) なってこん？  
17 JF010A やし、そうそう、まあ、飲みもんとかあるんやったら、手洗う水もあるっちゃ  
あるよね。  
18 JF010B (カメラの状況について) なんです？  
19 JF010A (カメラの状況について) なんです？(h h h h) なんです？  
20 JF010B まあおいとこ、おいとこ。そうね、確かにそれはあるけど子供って免疫(確か  
に確かに) 力低いし、なんかバーって広がったら広がりそうやから  
21 JF010A うんうんうんうん  
22 JF010B まあ、これかな。と、あとはまあ本(うん)、寄付するイベントっていったら本。







- 88 JF010A そう。
- 89 JF010B これとか。やっぱ極限状態やからこそ、(うん)こういう風な、まあ、(そう)文化的なもの? 〇文化的かどうかはしらんけどh =
- 90 JF010A =そう、子供たちがちょっとでも楽し  
いな(そうね)って思えるものがない(そうね)っていう。
- 91 JF010B セやね。
- 92 JF010A それはある。
- 93 JF010B すごい人みたい。
- 94 JF010A うわいい人: ↑ (やかましいわ)って自分で言う(やかましいわ) h h h h h。
- 95 JF010B まあでもどうなんやろ。この救急、え、これなに?(え)薬品?
- 96 JF010A なんか子供っていったらたぶん普通に小学生、でかなくても中学生くらいやろ?
- 97 JF010B うん。だってその災害でもし大怪我した子ってもう絶対病院とか救急室には  
(そう) こばれとるやん? =
- 98 JF010A =だって自分じゃもうどうしようもないから。
- 99 JF010B いやでも、これ胃腸薬とかあるわ
- 100 JF010A h 大人かい? (h h)
- 101 <1 秒>
- 102 JF010B 要らんな、これ要らんわ。ある、多分、あるってか多分、なんか、<なんか  
ある>{<}
- 103 JF010A <子供に  
##>{>}気がする h h
- 104 JF010B うん。テントも要らんやろ
- 105 JF010A うん
- 106 JF010B そう、子供っていうことが(そう)、キーポイントですかね
- 107 JF010A そうですね。はい。h h なんかさ h (うん) 〇会議室さ、結構、なじめなさ、  
内容なんか h h (本当)、なじめにしゃべってしまうって
- 108 JF010B 自分、なんか、まじめにしゃべっちゃった。h h h
- 109 JF010A h h h h h 余った? 時間
- 110 JF010B 絶対 10 分経ってるやろ
- 111 JF010A 絶対 10 分経ってるよね
- 112 JF010B 呼んでもいいかな
- 113 JF010A はい

## 中国人男性会話資料

CM01	発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*		CM01A	怎么样? 行, 我们共同地都选了衣服(嗯), 不是...

2	*	CM01B	就是,我感觉,因为第一时间。我,先说我的。
3	*	CM01A	啊,<说吧><{>
4-1	/	CM01B	<第一时间><{>,他们是,呃,已经受灾了,他们重创的不只是他们的经济上的,更重要是心灵上的。而且,就是,<唾舌>心灵上的需要一些东西去藉慰,不只是那些,你说我过去,什么,抚,呃,安慰他呀,和他说话,他需要自己一个比较安静的环境,去,<唾舌>去自我自我地那种,跳出来那个,呃,忧郁,忧郁的心理吧。所以这些书,还有这个,它,我感觉,不应该是这些玩具,应该是那些,毛绒的,比较[[,
5	*	CM01A	]]就是睡觉的时候可以(对对对)可以,躺在床上玩。
4-2	*	CM01B	就那种,我可以,对它诉说一些,或者是(啊),它就是我的一个感情的藉慰。然后,再说你这两样。第一,呃,这个被子,我也想过,想要送这个,被褥什么的,但是灾区第一时间派过去的,就应该是食物,帐篷,睡的东西。
6	*	CM01A	啊,这样就可以[[。
7	*	CM01B	]]对不对?食物,帐篷和睡的东西,包括,这个,我感觉,不应该让他们φ再去[h],呃,去,学习这些。
8	*	CM01A	这个不一定要学习啊,拿铅笔。
9	*	CM01B	嗯,你来。
10	*	CM01A	拿起...,这个被子这个东西当时我没有考虑到那么多,因为我觉得国家力量可能救助不够,然后,这个先...,排除掉,先排除这个。其实为什么拿铅笔呢?觉得他们应该适合画。要说为什么不拿书。这个玩具我也赞同啊。我觉得真的要给他们心理安慰的,还是玩具比较好一点。书这种东西,<@>短时间内我只能说这个...
11	*	CM01B	不一定。我感觉,如果让我送的话,我会选择一些,就是,呃,童话类的,不是这种童话,是比较轻松的童话,不是这种什么鲁滨逊啊,是那种,皮皮鲁那种,比较谈谐的,就[[,
12	*	CM01A	]]我觉得应该送,轻松治愈型的吧。这些书之类的东西[[,
13-1	/	CM01B	]]对,就是轻松治愈的吧。就那种,皮皮鲁,就是那种[[,
14	*	CM01A	]]让...,让他们...
13-2	*	CM01B	那些,探险的。<然后从中找到一些力量><{>[[。
15	*	CM01A	]]<#####><{>#####什么,什么东西?《同行九月天》↑
16	*	CM01B	不是。但是,你送那些,就是纯漫画那种,我感觉,不太合适。=
17	*	CM01A	=但是,你要治愈啊,治愈性的,你没办法找到,那个,书啊。对不对?
18	*	CM01B	嗯。
19	*	CM01A	毛绒玩具可以,毛绒玩具确实可以。其他这个药这个东西,其他都不太符合了现在。
20	*	CM01B	因为第一时间支援过去的就应该是帐篷,被子,书还有药品。<1秒>对吧。
21		<2秒>	
22	*	CM01B	咋们过去只是一种,帮他们脱离,给他们一些帮助,精神上的帮助,对吧。
23	*	CM01A	哎哟↓精神上的帮助不是一天两天能建立起来的,你要是这样帮助的话,应该,就是,你应该闹腾,你应该在那呆上两三年,真正地陪他们在一起,那才能真正的帮助,你φ指望[^]送两本书,

			你送完...。我要送的东西,你要么长时间可以保存这东西,要么一瞬间让他们得到急需的东西。你,这个毛绒玩具可以一直陪伴他们一两年是没有问题的。但是你…、
24		<2秒>	CM1A は自分の領域の机を叩く
25	*	CM01B	不是,如果你设身处...,你就是,呃,换成当事人想一想,如果,给你,如果在我面前,摆了一套,摆了一套:铅笔,油画,和一套,书籍。
26		<1秒>	
27	*	CM01A	你不要这样。是,铅笔是让他们用在正常的教学中,就是以后,只要灾区有那种援建之后,他们有正常的教学之后,让,老师用彩笔画一下他们的东西,它,就,也算一种情绪的宣,宣泄,那种情绪。<但...>{<}。
28	*	CM01B	<但是>{>},但是你的画画,画画不是,普遍性的。
29	*	CM01A	就随便让他们乱涂乱画,不一定说非要那种专业的。但是如果看漫画你难道能说今天我没有看漫画,然后你能给我讲解一下漫画是什么意思吗。=
30	*	CM01B	=但是书的种类你会有很多种啊。
31	*	CM01A	你要援助多少书啊?
32	*	CM01B	不一定要援助多<少>{<}[[。
33	*	CM01A	]]<你>{>},你如果要限定书目了,像,如果限定书目了,你怎么选?
34	*	CM01B	呃,2/3对1/3,就是,轻松一点的2/3,比较:就是,不算晦涩难懂的吧,比较那些:正规一点的就三分之二,三分之一。
35		<1秒>	
36	*	CM01A	φ三分之一[v],[质疑语气]
37	*	CM01B	φ就[^],如果...,画画这种东西并不是对所有人来讲的。
38-1	/	CM01A	我知道并不是对<所有人来讲的>{<}[[, ,
39-1	/	CM01B	]]<比如说>{>}, ,
38-2	*	CM01A	但是我觉得他拥有到这种东西会更好。
39-2	*	CM01B	就比如说我小时候,我小时候就不喜欢画画。<因为...>{<}[[。
40	*	CM01A	]]<我也>{>}不喜欢。=
41	*	CM01B	=对呀
42	*	CM01A	φ现在我也不喜欢[h]。
43	*	CM01B	我感觉画画,就是喜欢画画,我愿意拿画画去倾泻这个东西的时候,只是极个别人。
44	*	CM01A	哎哟↓,拿书这个东西尽量...。但是你要说班委做一个决定的话那你觉得书便宜吗。经费问题难道不应该考虑到吗。你到时候,交班费的时候,你说一套书几十块φ怎么能承担得起[^]。
45	*	CM01B	<咂舌>哎呀→
46	*	CM01A	我:们只是来,从,从这些东西中,φ选择我们三个最合适的东西[h]。你虽然觉得这种东西挺重要,但是如果说买正版书的话你接受得了吗,这种东西。
47	*	CM01B	<叹气>。
48	*	CM01A	我们代表的不是一个人,现在是班委决定。我们只能拿实际,有用。
49		<1秒>	

50	*	CM01A	这个东西你说他可以没有。对吧。它确实可以没有。但是它的范围,我们大学生可以承受的起。而且他们募捐东西我们也可以承受的起。铅笔我们买多一点,然后这,这两个都是短期用品,然后这两个保证它们长期的供应。你至于这个书籍我们实在是负担不起。你算算,书很贵,你想想一本书,正版的,多少钱? <2 v>如果,我们要做的就是募捐了。如果班费不够我们还得再交,你如果你想想,成本一增大,这个工,这个工作会容易做下去吗? 而我们的目的是说服所有人。然后我们选了这三样东西,φ是有目的的[<]。
51		<4 秒>	
52-1	/	CM01B	嗯,可以,这个经济方面确实[[,,
53	*	CM01A	]]我们...
52-2	*	CM01B	这个东西太贵了。没办法,我φ平常买书也要,下血本[h]。<hh>
54	*	CM01A	φ对吧[h]↑
55	*	CM01B	这个确实是太贵了。
56	*	CM01A	特别是漫画,特别是彩印漫画。以前还是黑白色的,一彩印之后整个成本就完全增多。你要是铅笔的话,你知道一套书1 9的成本能卖多少铅笔吗。
57		<2 秒>	
58	*	CM01A	这没办法,你身份是大学生没办法,而且你又是为全班同学做决定,我们没办法。如果是我,我们俩,我们俩,有个千万百万,那直接捐个什么,学校,直接过去就行了,对吧。成个义务教育的老师那不就行了吗。
59	*	CM01B	<吸气 1 秒><吐气 1 秒>
60	*	CM01A	毛绒玩具可以选,小的大的,尽量都可以接受。
61	*	CM01B	好吧,就这三个吧。(hh)。这三个我可以接受。
62	*	CM01A	啊,其他的:
63		<4 秒>	
64	*	CM01A	呃,这个已经细化了,这个不用细化了。衣服这个:衣服这个:
65	*	CM01B	就可以,拿旧衣服充数嘛。φ旧衣服[^],不一定要买新的。我感觉<这个>{<}[[。
66	*	CM01A	]<二手>{>},二手衣服吗?
67	*	CM01B	对。
68	*	CM01A	目标群体呢? 目标群体要多大的?
69		<4 秒>	
70	*	CM01A	你考虑的你的目标群体到底是,像 6 至 10 岁啦,或者 15,6 岁左右啊。我们肯定不能给年龄特别大的,也不能给年纪特备小的。我们的受众群体,要么是小学,就是 4,5,6 六年级,就这样大致要一个范围。或者看身高,一米 4 几啊一米 5 几,呃,就,就那种,比较小朋友那种。包括这个玩玩具啊,玩具你不可能买那种大的玩偶。而见你,我们送玩具要做到规:划,就是基本上每一个种类,大小都差不太多,可爱程度也差不太多。你如果。就买一只大的娃娃的话,其他都特别小的话,就非常,救,救灾区,你就是送到了,我觉得他们拿到反而感觉到不开心。
71		<3 秒>	

72	*	CM01B	<吸一口气>我感觉,这个的话,不应该,对那种,<咂舌>小学生开放。就因为,第1,如果对小学开放的话,你现场,找出:就算旧衣服也不好找。如果去直接,去买的话就更贵了。(啊)。对吧。然后咱们可以偏重一些青壮年,就是咱们这个年纪,<这个年纪>{<}[[,,
73	*	CM01A	]]<哦,对对对>{>}。我觉得也可以捐一些废旧的鞋,不用的衣服之类的东西。=
74-1	/	CM01B	=对呀。<这个年龄阶段>{<}[[,,
75	*	CM01A	]]<我们有啊>{>}。
74-2	*	CM01B	应该是青壮年(对),这些衣服,咱们的衣服其实,一些老年人现穿也可以的(也可以),然后小孩的话就,接受不了。
76	*	CM01A	小孩的话接受不了这种颜色(啊)。<他们应该要上学>{<}。
77	*	CM01B	<这两个...>{>},这两个东西给他们已经够了,完全。(笑)
78	*	CM01A	这个具体情况我觉得要,要真的向其他同学说明情况之后,然后再根据实际的,就列一个清单,然后各种款项,加起来总共多少,然后平均下来每个人多少钱。就每人,需要交多少班费,把经济最大化嘛。如果这个东西实在,弄不起来就算了,衣服这种东西。
79		<2秒>	
80	*	CM01B	我感觉衣服是,最好搞起来的。
81	*	CM01A	衣服这... (对)衣服<是最好搞起来的>{<}? 我觉得铅笔【重音】是最好搞起来的。
82	*	CM01B	<衣服是最好搞起来的>{>}。对,就这个东西,这个东西:买得太多了就太贵了。
83	*	CM01A	这个<笑>,只能:
84	*	CM01B	这个只...,还好吧,我感觉班费,如果这两个分担的话,还是可以的。
85	*	CM01A	可以。
86	*	CM01B	可以的。=
87	*	CM01A	=这个,这个,几乎不用花钱,这个花不了多少钱。我们把所有搬费主要花费在这个点上,我觉得,还是可以接受的(嗯)。可以接受的。其他东西我觉得没有太必要的。
88	*	CM01B	就这三个呗。
89	*	CM01A	嗯。

CM02			
発話文番号	発話文終了	話者	発話内容
1	*	CM02A	你选好了没? 唉呀妈呀。
2	*	CM02B	我,挑这三张。
3	*	CM02A	咱俩就一张不一样。
4	*	CM02B	挑第1张,挑第1张是因为,衣服嘛,是他们最基本的那个,生活问题,所以是衣服是主要原因,主要跳的,第1个原因。然后第2张的话,我选的是书籍,因为是,书籍是精神的食粮,所以,就是,对于山区的那些孩子他们最基本是受教育问题,也就是文化程

			度比较低,他们想要,呃,想要,就是,真正地,就是从山区走出来,必须要有一定知识积累,所以我选的是书籍。第3个我选的是文具。因为,如果,是只有书籍的话,他们只能,只能自己就是去看,去了解,他们没法创新,因为,文具的话就是可以让他们更好的来,解释,或者学习这些知识,所以我选择这这3张。
5		<3秒>	
6	*	CM02A	呃,我的这个第1张是那个...,书嘛,因为书籍是人类进步的阶梯嘛,从小开始看书那肯定是对长知识是有好处的,特别是对于贫困山区的孩子,呃,长见识是非常有必要的。所以说,看书,是必不可少的。然后,呃,衣服嘛,呃,就是,贫困山区的孩子也都比较穷,也买不起,就是,比较防寒或者什么的衣服,所以衣服肯定也是必不可少的。这个衣,这个是药品,呃,在那个贫困山区的话受教育,文化程度比较低,所以,当地的医疗水平肯定不是特别高,因此就是,呃,药品也是很有必要的了。
7		<2秒>	
8	*	CM02B	咱俩现在意见,这两张统一。
9	*	CM02A	对。
10	*	CM02B	对吧。这两个一致,这两个统一,咱们就不管了。现在就说最后一个。其实,我知道你说,选药品的那个原因,因为我下一个,就是,如果选4张的话,我就选择跟你一样,药品。但是现在具体情况来说,我不选药品,是因为,是因为山区的孩子们,他们从小到大的生活,一直都是那种健康的生活,所以他们就是,对于,对于一些疾病,他们就是,自,自己就是有一些抵抗力的,所以吧,这些药品的话,就是对他们来说基本上就是,因为山区的孩子基本上家家都会,就是,老话传承啊,就是就是哪些病该怎么治啊,都是基本上是有那种,老话说的中医的方面,所以他们就是,一些病,有的,就是可以采一些草药啊,来医治就可以了,所以至于这些药品的话我倒感觉它是,不是很主要的。所以我就选择了文具。
11		<2秒>	
12	*	CM02A	啊: ,但是这个药品,我感觉也是很有必要的。
13		<2秒>	
14	*	CM02A	就是,生病的时候得吃药呀,要不然。虽,虽然说他那个可能身体,山区的孩子可能身体会比较好一些吧,但是他还是会遇到一些疾病,就是,可能他自身的防御系统是无法就是,完全靠自身来解决的,所以说我觉得还是,药品还是有必要的。
15	*	CM02B	对啊,所以,所以药品是有必要是有必要,但是,但是你要考虑到一点儿,你现在,就是包括你家,或者是,你的,你的,长辈,老两辈的,就是你爷爷奶奶他们那一辈,他们就是,他们就是知道针对某些疾病的话,他们知道就是,就是,你要喝点什么药,就就可以好了,就没有必要说是,喝你这上边这种药,他们都是,呀,你是,明天明天我去地里给你,给你挖一点儿##挖挖一些蒲公英,这都是最基本的那些中药,都是完全可以,完全可以根治一些普通的疾病。如果是一些大的疾病他只能去当地的医院。因为,你正常喝药的时候,你是治不了的,它已经就是,因为中医是从,从根上去治这个问题的(哦),所以我是没有选择这个中药并且,没有选择这个药品。并且这个药品的话,你要是普遍来说的

			话,那个就是,它有,第1它有日期限制(嗯)。因为,因为一般的山区的孩子他们生活艰苦,他们的抵抗力一般是,比较强的(啊)。所以他们一般情况下不生病,但是药品的保质期只有1年2年。第2是,药品,部分药品,它们的价格是普遍比较高的。所以你在捐赠的时候你如果,假如你捐1盒药,那1盒药有的有的一盒药只能吃2天,只能吃3天,有的有的情况下只能吃1天,他这一盒药就是一二十三十,甚至上百,所以,对药品的话,他们就是,完全可以就是,就是,治病的话,完全可以就是,自己家里可以解决了,都那种,中药就可以解决了。所以就没有必要再考虑这个,就是,药品,所以我我认为文具是比较好的。
16	*	CM02A	啊,你你的意思是说,就是这个药因为是,有限的,再加上它的一些时间的原因,就是,所以说,就是(对),不太现实(对)啊<音长>。
17		<2秒>	
18	*	CM02B	所以我认为这个是比较好的。文具是比较好的。
19		<1秒>	
20	*	CM02A	文具:↑
21	*	CM02B	对。
22		<2秒>	
23	*	CM02A	这个药品吧,我感觉就是,呃,它虽说,虽说是这样。但是山区的孩子们感觉也是,不怎么缺那个文具的,我感觉。虽然说他们家庭情况有点儿不好,但是,但是他们就是,文具应该是不会太缺的,对吧。
24	*	CM02B	是:,也不是。因为,因为文具这这方面,你说,普普通通,你随便一天用个一次,或者是一个月,一个星期也就用那一次,文具的使用就是那样。但是,像###,你1天要用1支笔,你这样,你弄下来。关键是,关键是你现在主要是主张学习,主张,你要长知识,但这些知识的方面来源,你怎么样记?你是,全需要文具,来,来给你扩充,发展,长知识的。所以文具和书籍,是,两两者是,需要搭配着用的。你要只看书的话,你能记住吗?让你看1本书,你能记住啊?你还要,是要用文具来划重点啊之类的,所以。但是你这个药品的话,第1,就是我说的,它,有日期限制,第2,它的价格是比较,昂贵的,对于我们,现阶段的我们来说,它已经有好的方法,就是我们就没有必要再,就是,就是,毕竟我们现在也是大学生嘛,我们也负担,就是,这方面的话就是,大量进药的也是不太现实,如果[[。
25	*	CM02A	]]我倒是没有怎么考虑到。
26		<2秒>	
27	*	CM02B	所以就是,因为,因为他们毕竟在山区嘛。山区背靠山么。都说靠山吃山嘛,所以他们基本上的药品就,就,比如山上的那种野三七啊,野地英啊,野野蒲公英啊,这些都是,完全一个清热解毒,特别好的一种药物。因为基本上的病啊,都是由,由那个身体里面那个发热上火引起的。所以我感觉这个是:,可以放在之后考虑的。所以之前的话我就感觉是这三样。
28		<3秒>	
29	*	CM02B	你,怎么感觉的?
30	*	CM02A	我感觉吧:<吸气>,你这么一说感觉就是,呃,这个药品可能也

			不是,就是,感觉那么的,呃,就是,缺。
31	*	CM02B	好的。
32		<4 秒>	
33	*	CM02B	那,那我们就: 选择这..., 先选这三个- =
34	*	CM02A	=捐给他们。
35		<3 秒>	
36	*	CM02A	好。
37	*	CM02B	好的。结束。

CM03			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM03A	好了?
2	*	CM03B	行,说这些就行
3	*	CM03A	山区呢,因为: 。你先说吧。你先说说。<笑>
4	*	CM03B	我觉得山区嘛,先弄个,个玩具嘛,是不是个(嗯),是不是个(嗯)。山区的小孩是不是太孤单了(嗯),给他个玩具是不是做个伴(嗯),多好。这卷笔刀你说,山区也也是不是,天天没个笔写字,给他们个笔,橡皮,写写字(嗯)。还有就山区捐点儿衣服,是不是,别冻着。
5	*	CM03A	那,是,对,衣服,我感觉咱俩想到..., ,
6	*	CM03B	<想到一块儿去了,是不是>{<}<}
7	*	CM03A	<共同的点上去了>{<}<}
8	*	CM03B	]]捐点儿衣服挺实用的是不是。
9	*	CM03A	对,挺实用的。所以咱确定的是: =
10	*	CM03B	=确定。衣服。
11	*	CM03A	嗯,确定衣服。=
12	*	CM03B	=对。
13	*	CM03A	但是我感觉呢,因为是山区医疗水平是有限的(啊),然后我感觉是,呃,毕竟什么小,小感冒啥的,我感觉药品还是比较重要的。因为是,身体是革命的本钱吗,毕竟是身体好,然后才能有,有其他的东,对,干别的事儿,所以说我感觉是,先捐药品。然后你说的那个,捐玩具呢,我不太赞同。(笑)。因为是(笑),因为那个,是贫困山区的儿童吗,我感觉最重要的是,而且是心灵上的,那个,慰藉嘛。我感觉还是,书嘛。书把他们那个,思想啥的,那个,最起码让他们找,在书中找到一种乐趣,然后脱离他们的孤单。
14	*	CM03B	是,有些小孩也不爱看书,是不是(笑)。买点玩具,是不是。
15	*	CM03A	我我感觉是,这..., 玩具呢,主要是从表面上的。
16	*	CM03B	你这药也多余,你这药。
17	*	CM03A	药为什么多余呢?
18	*	CM03B	这大山上啥没有,是不是,采药<笑着说>。
19	*	CM03A	大山上采药,你去采个药我看看。
20	*	CM03B	你不知道那山区就有儿童天天上山采药。



21	*	CM03A	你说的是哪个地区呢?
22	*	CM03B	哪个地区, (那) 你管他是[[, ,
23	*	CM03A	]]那, ,
24	*	CM03B	<哪个地区, 反正是山区>{<} [[。
25	*	CM03A	]]<那, 如, 如果你往>{>}, 往新疆西藏那边儿捐的话, 那边有, 有..., 那边是, 啥↑
26	*	CM03B	<沙漠啊>{<}
27	*	CM03A	<捐, 上>{>}, 上哪去采药啊↑(笑)。啊↑你要综合考虑各个啥, 你怎么, <要克服地理条件>{<}, ,
28	*	CM03B	嗯, 我这是##那, 往##里捐>{>}。
29	*	CM03A	你要综, 综合考虑所有因素进去。所以说我觉得呢, 药品还是比较重要的。<因为现在>{<}
30	*	CM03B	说的也是>{>}。
31	*	CM03A	对, 所以说我感觉是, 这个第2件。第3件物品的话, 我感觉是, 药, 药品(呃)。对, 所以是。你感觉呢?
32	*	CM03B	我感觉也可以(对)。听了你... 也可以, 这药品。
33-1	/	CM03A	我感觉, 我毕竟说了嘛。因为, 第1个, 药品嘛。药品因为是, 毕竟是我, 那个, 山区那个医疗水平有限[[, ,
34	*	CM03B	]]<贫困落后是不是? >{<}。
33-2	/	CM03A	<所以我感觉>{>}, 对, 所以说我感觉, ,
35	*	CM03B	<带着药>{<}?
33-3	*	CM03A	<提供一些>{>}必要药品是, 可以的(嗯)。所, 所以我感觉咱俩第, <第2件物品, 先药品吧, 行吧>{<}。
36	*	CM03B	行行, 通通过了, 通过了>{>}。
37	*	CM03A	<行>{<}。
38	*	CM03B	<嗯, 药>{>}。
39	*	CM03A	行, 然后第3件呢, 就是从, 咱这两个里面找。一个是心心灵上的, 一个是从那个物质上啊, 而且是平常让他们有个, 一个玩偶陪伴。但是我感觉, 心灵上的慰藉比那个物质上的慰藉, 那个, 更重要。你感觉呢?
40	*	CM03B	我感觉, 铅笔也挺重要的。
41	*	CM03A	啊, 提供一定, 必要的文具。因为这两个其实, 相对来说[[。
42	*	CM03B	]]有铅笔才能写字, 是不是。这个书倒无所谓。先, 先写字, 是不是。这书[[, ,
43	*	CM03A	]]但是我感觉书, ,
44	*	CM03B	书以后再说, 是不是[[。
45	*	CM03A	]]这个...
46	*	CM03B	先有了笔, 啥啥事都能干, 是不是↑
47-1	/	CM03A	这个写字, 我跟你说[[, ,
48	*	CM03B	]]啊, 你这光看书, 你不会写字, 你这, 干嘛。<是不是>{<}。
47-2	*	CM03A	< 我 感觉>{>}, 我感觉是, 写字都可以从, 因为是, 他们这些文化资源上, 他们是有限的, 而且毕, 毕竟这些东西是没有的, 你比如他写啥的, 他可以在地上啥的, 都可以练。然后我感觉呢, 还是书

			才是可以能够慰藉心灵的,然后从,从那个,长远的角度上,我感觉书也是可以往下循环的,毕竟是,这,这一年级看,看完,然后下一年级也可以继续看,,
49	*	CM03B	就是: <循环利用>{<}</td>
50	*	CM03A	<它可以是>{>}循环利用的。因为,包括这笔啊,铅笔呀,都是消耗品,然后呢,在当,当地呢,可,可以在地上写写画画都可以达到一定的效果,所以我感觉呢,还是捐一些书是比较,从长远利益上看,来看的话,是比较好的。
51	*	CM03B	啊,那通过吧,我感觉也挺好的。=
52	*	CM03A	=那行。=
53	*	CM03B	=你这么一说,我就,茅塞顿开。
54	*	CM03A	是吧↑
55	*	CM03B	啊
56	*	CM03A	所以我感觉捐,捐的三样,咱俩一致认为是,衣服,药品,还有书籍(啊),对吗?
57	*	CM03B	嗯。
58	*	CM03A	行,我们三个,我们两个就确定确定捐这三样物品了,可以吗?
59	*	CM03B	可以啊
60	*	CM03A	行
61	*	CM03B	<#####>{<}</td>
62	*	CM03A	行。
63	*	CM03B	行。

CM04			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM04A	我选好了。
2	*	CM04B	你选的啥?
3	*	CM04A	药,被褥和衣服。
4	*	CM04B	哎? 哦,还有衣服呢,我都没看见,这选三个太难了。我觉得都,都需要。
5	*	CM04A	先以基础为标准,基础选择(呃)。所以我就没选书。
6	*	CM04B	有道理,我也是这么想的,有道理(呵呵呵)。可是感觉就三样东西,三样东西对基本的也不够呀。
7	*	CM04A	先是吃穿住行,吃穿住行。
8	*	CM04B	他们不需要行。他们只需要住就可以了。<笑>
9	*	CM04A	对(笑)。吃,穿,然后就是药呗。
10	*	CM04B	这样,你那个...。你的那个是被子,我的这是帐篷[[。
11	*	CM04A	]]我刚才想我刚才就是想其实灾区到底是什么类型的灾区。你就好比如果说是,嗯,地震啊啥的帐篷就需要。然后,假如说是其他的,呃,干旱,或者是其他的话,住的地方不一定非要帐篷。所以我就没有选。本来想确定一下灾区的具体内容,什么

			样的灾区。所以我就确定了一项。
12	*	CM04B	##也有可能。但是我觉得这个被子 啊, 帐篷应该国家都会就是...
13	*	CM04A	啊- 国家会有。这个是要咱们现在作为班级代表讨论, 还要负责, 如何让班里同学, 就是同意捐赠这个东西。
14	*	CM04B	嗯, 对, 我觉得一般家里边不会有这种东西<笑着说>。
15	*	CM04A	对对对对。一般, 一般家庭, 除了那些, 呃, 叫啥, 驴友(对), 才会有, 才会经常备着这种东西。
16	*	CM04B	她说在这里面, 这六种里面再选择三种。首先就把共同的拿出来。<这个选出去>{<}</td>
17	*	CM04A	<这个也是>{>}共同的。衣服。
18	*	CM04B	衣服, 对。<还有就是>{<}...
19	*	CM04A	<我觉得>{>}比较【重音】必要的应该是药, 应该要有。药跟衣服。穿。感觉没个东西吃呢。
20		<4 秒>	
20	*	CM04B	呃, 我觉得还是要书。
21		<两人笑>	
22	*	CM04A	为啥? <笑着说>
23	*	CM04B	精神 [^] 食粮。灾区的, <孩子>{<} [[。
24	*	CM04A	]]<那你>{>}不得先解决, 吃... 吃住啊, 什么的。<穿啊>{<}</td>
25	*	CM04B	<就像老师>{>}说的, 这, 这个, 国家会发嘛。这个这个就不用我们考虑。我们就考虑这种, 这种<笑着说>, 书国家忽略的问题, 考虑进去。所以 [[。
26	*	CM04A	]]你是: , 考虑国家会忽略你有的东西吧? 咱们可以收集到的, 书。
27	*	CM04B	啥?
28	*	CM04A	我说, 我说, 咱可以收集到, 书[^]。
29	*	CM04B	对呀, 而且方便, 而且这个本来, 国家不可能考虑到这个层面。<笑>。
30-1	/	CM04A	但是衣服国家会考虑到啊。而且这种东西 [[, ,
31	*	CM04B	]]衣服...
30-2	*	CM04A	国家, 衣服从国家开始也是(对啊), 收集的。=
32	*	CM04B	=这个就不需要了呀, 这个和帐篷<就不需要了呀>{<}</td>
33	*	CM04A	<这个毙掉>{>}。但是, 吃也要啊。咱没考虑吃呀。
34	*	CM04B	吃, 国家肯定也有 呀。而且, 这... 这都什么, 垃圾食品(笑)。而且不怎么健康, 你说是不是? 他们需要的是纯净水和, 馒头, 面, 这样的东西。这种零食要不要都可以呀。虽然也, 也有好东西。
35	*	CM04A	你是, 这个, ,
36	*	CM04B	<你觉得怎么样>{<}</td>
37	*	CM04A	<觉得可能会发>{>}。我觉得还可以。
38	*	CM04B	对啊。
39	*	CM04A	先先, 先得确定这俩。(对)。再确定确定, 这个。
40	*	CM04B	这两不都已经确定了嘛。
41	*	CM04A	然后不是说最后要确定一个吗?
42	*	CM04B	咱们φ三种[^]。我的三种和你的三种里边这六个里, 里边一

			共, 选出来三种。
43	*	CM04A	哦【音长】, 那最后这个还得再争辩争辩<笑>。
44	*	CM04B	哪个呀? 这个... 我就觉得应该拿, 书。
45		<1 秒>	
46	*	CM04B	文具【疑问语气】- 你说嘛, 灾区的人学都没处上(笑), 要笔干嘛? <两人都笑>。
47		<3 秒>	
48-1	/	CM04B	我觉得<就这>{<} [[,
49	*	CM04A	]]<我觉得>{>} 就这三种了。
48-2	*	CM04B	对, 就这三种了。这就是, 我们, 选出, 对他们来说最好的, 东西。=
50	*	CM04A	=那是按...。你按国家说的话, 药肯定也是会发的。
51	*	CM04B	那肯定没有这么全面啊, 这啥都有。(笑)。对不对? 这这肯定会紧缺。但这种东西它就是统一的。每个人都一样。一人一套, <大家>{<}。
52	*	CM04A	<衣服>{>} 倒是不难弄, 倒是: , 好收集。班里的那些, 啊, 衣服跟书, 都很好收集。就是不要的书啊, 一些: 寓言。就是<##>{<}。
53	*	CM04B	<药也>{>}, 药也可以买呀↑
54	*	CM04A	药, 药是可以买的。药肯定是需要买的, 不可能用你用的呀。
55	*	CM04B	对呀。
56	*	CM04A	然后衣服跟书的话基本上都是, 呃[[。
57	*	CM04B	]]其实也可以用。比如说药呢, 你家里可以喝剩下的, 对不对。没有过期的, 这可以用啊。##就可以...
58	*	CM04A	对。
59	*	CM04B	这个是日本的 [v] 。
60	*	CM04A	都是日本的呀。
61	*	CM04B	左边的是日本的右边的是中国, 你没有发现。唉↑这个也是。左边的是日本的右边的是中国。
62	*	CM04A	真的呀。
63	*	CM04B	我看看日本人都吃什么零食 (笑)。
64	*	CM04A	呃【音长】<思考>。
65		<2 秒>	
66	*	CM04B	[UFO]是<什么>{<}东西啊?
67	*	CM04A	<没啦>{>}。嗯?
68	*	CM04B	日本人饮料只喝茶吗, 太单调了吧。<两人都笑>
69	*	CM04A	我刚开始以为是油呢。
70	*	CM04B	都是茶哎。中国和日本在吃的方面, 在吃喝方面差距比较大。
71	*	CM04A	都吃得很单调。咱们这边花样太多了。
72	*	CM04B	嗯。
73		<3 秒>	
74	*	CM04B	好, 那咱们就, 选出来了呗。
75	*	CM04A	选出三个来了, 还有啥? 没了吧?
76	*	CM04B	没了呀。好像就这样。我觉得在这里边选, 就这三种。
77	*	CM04A	嗯。
78		<2 秒>	

79	*	CM04B	可能是他们最需要的东西。
80	*	CM04A	对。哄孩子用的呗↑
81	*	CM04B	呵。

CM05			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM05A	选完了,你选完了吗?
2	*	CM05B	咱们三个要选出来,三个,咱们,咱们两个重合的。
3	*	CM05A	哦,这这两个重合,
4	*	CM05B	咱们两个PK。
5	*	CM05A	你为什么选这个?
6	*	CM05B	因为,帐篷,帐篷,国家肯定会给:发<放物资的>{< }。
7	*	CM05A	<那是不够的>{>}。
8	*	CM05B	那,那就[[。
9	*	CM05A	]]肯定没有地方住啊。
10	*	CM05B	那不能饿着吧。
11	*	CM05A	你那是啥,你那个全部是零食啊。
12	*	CM05B	那,那他没有主食啊,主食去了也馊了呢。(写真を叩く)是不是。帐篷的话国家肯定会发放物资捐赠的。
13		<1秒>	
14	*	CM05B	帐篷肯定[[。
15	*	CM05A	]]那也不能是你那个零食。
16	*	CM05B	那这是唯一的吃的了。
17	*	CM05A	啥玩意儿,唯一的吃的呀。
18	*	CM05B	要不换这个吧,咱俩一对一平了。(笑)
19	*	CM05A	这还能中奖啊<笑着说>。
20	*	CM05B	肯定帐篷,我感觉帐篷[[。
21	*	CM05A	]]这个肯定得要啊。
22	*	CM05B	对,药品是。药品是,<药品是急需的>{< }。
23	*	CM05A	<这两个肯定得要啊>{>}。
24-1	/	CM05B	然后: [[, ,
25	*	CM05A	]]那你咋不说这个也发呢?`
24-2	/	CM05B	这个...,<咂舌>这个,这个,我就要这个(笑)。然后,帐篷,帐篷应该国家会出资捐赠的。然后就是,一是食品。然后水的话,吃的话应该不充足,水的话应该是可以...,<吸气>水应该是没问题的。<然后是##>{< }[[, ,
26	*	CM05A	]]<水万一要是>{>},都不够呢?
24-3	*	CM05B	#####。
27	*	CM05A	吃的啥的,也吃米也吃面啥的,<只吃这哪行啊>{< }。
28	*	CM05B	<那这是>{>} 唯一一个吃的了,只能选这个。
29	*	CM05A	这肯定有的呀,有的呀。上网,上网,你没看那个汶川地震啊? 都有人捐啊

30		<8>	
31	*	CM05B	你不能给人饿死了呀。然后这衣服就不需要了。然后,书,也不需要了[[。
32	*	CM05A	]]这个没啥用。
33-1	/	CM05B	活下来再说吧。然后[[,,
34	*	CM05A	]]这个,无所谓。
33-2	*	CM05B	洗漱用品:,差不多得了。学习就更不用说了。玩具也###。然后,水的话,水的话肯定有了。
35		<1 秒>	
36	*	CM05A	也不一定。
37-1	/	CM05B	如果灾区的话,就是可能是[[,,
38	*	CM05A	]]水也没有啊。
37-2	*	CM05B	可能食物补充多。水的话,怎么着,还是:,不至于渴死啊。
39		<1 秒>	
40	*	CM05A	那吃的这个 这个肯定多余。
41	*	CM05B	水肯定有。然后就是,药品咱们得选(嗯)。然后这些床上用品啊,这些得选。
42		<2 秒>	
43	*	CM05B	是吧?
44	*	CM05A	其实我感觉应该,要一样的就好了。
45	*	CM05B	主要是药品必须得有吧。然后这个也得有。不是:
46	*	CM05A	其实我感觉,这个,玩具蛮不需要的。
47	*	CM05B	哪个是不需要的?
48	*	CM05A	这个是不需要的,这个也不需要。
49	*	CM05B	玩具是不需要的。
50	*	CM05A	然后这个,其实都挺什么的。
51	*	CM05B	衣服的话呢,<相相对有穿>{<}&#x27E9;。
52	*	CM05A	<这这这>{&#x27E9;},这还有消毒液呢。
53		<2 秒>	
54-1	/	CM05B	消啥毒啊? 都,都[[,,
55	*	CM05A	]] 受灾了不就是病毒啥的吗。
54-2	*	CM05B	都,都不知道住哪儿咧,还消毒哪。你都给人家住帐篷,还给人家消毒?
56	*	CM05A	那,那该消毒也得消毒啊。那不是有瘟疫啥的。
57		<2 秒>	
58	*	CM05B	反正药品是必须的。然后就是这个,我感觉这个应该也是很重要的。
59	*	CM05A	<唾舌>这么说,这个也挺重要的。
60	*	CM05B	唉↓,不能没衣服穿。不是,每个人跑,跑的时候都要穿,穿一身衣服吧,就将就穿呗。活下来是第1的,那这个就[[。
61	*	CM05A	]]这是啥。[沙琪玛],[沙琪玛],啥玩意啊 -
62	*	CM05B	你跟我的不一样,我的是[好吃点儿]<笑>。
63	*	CM05A	这都没用。
64	*	CM05B	他只是食...,那只只是食物,食物。你说如果人受灾了,那那都不可能[[。
65	*	CM05A	]]那都送呗<笑>。

66	*	CM05B	不是,不是已经受灾了,你说,不可能是有那个设备去煮饭了啥的吧,这不可能有了吧。他们肯定[[。
67	*	CM05A	]]有火就行。
68	*	CM05B	有火怎样。在哪儿煮呢?
69	*	CM05A	有个小铁锅就行,<笑>。
70	*	CM05B	不是...
71	*	CM05A	哎↓ 没有地方住会怎么样?
72		<1 秒>	
73	*	CM05B	帐篷,挤挤呗。国家肯定会发帐篷的。=
74-1	/	CM05A	=那你这个,肯定也发呀 [[, ,
75	*	CM05B	]]<肯定得发>{<>}。
74-2	*	CM05A	<只是问题的多少>{>}。
		CM05B	啥不发啊,啥都得发。我还是觉得吃的,吃的比,吃的比较重要一点儿。你可以拿一条被子铺一半盖一半就睡了。那你吃的不能没有。
76	*	CM05A	那你下雨怎么办?
77	*	CM05B	下雨: , 下下<笑着说>。<两人都笑>。我哪知道下雨怎么办。
78		<2 秒>	
79	*	CM05B	呃,那,那就不[[。
80	*	CM05A	]]不是,吃的,你有没有想过这个问题。我爷,我爷爷告诉我,他还吃过野菜呢。
81	*	CM05B	啊,打仗还吃树根呢。那不一样。
82	*	CM05A	#####。
83	*	CM05B	你不用这样啊,那那那人还睡草地呢。
84	*	CM05A	你住个草地,我看一下。
85	*	CM05B	反正打仗,呃,红军长征好几,好几十万人,住哪儿啊?
86	*	CM05A	那人家吃啥呀?
87	*	CM05B	吃树根啊。
88	*	CM05A	那不就得了。
89	*	CM05B	那人,那人家还盖个被睡来着? 哎<叹气>↓
90	*	CM05A	就是统一决定?
91	*	CM05B	嗯。
92	*	CM05A	那就这两个怎么办? 石头剪刀布,要不。
93	*	CM05B	幼稚。不不不,我还是,我<还是>{<>} [[。
94	*	CM05A	]]<我>{>},我就这个。
95	*	CM05B	你说你是熬夜一宿不睡舒服呢,还是饿着肚子吃不上饭舒服呢?
96		<2 秒>	
97	*	CM05B	你要是熬一宿不睡<你>{<>} [[。
98	*	CM05A	]]<唉↑你>{>},你有没有想过,咱们周六日的时候有的时候不去吃饭。<笑>。
99	*	CM05B	你是懒。那不是...。你如果如果,你你特别累,你盖个被子就睡着了吧,躺地上就睡着了。然后你特别饿,怎,怎么办?
100	*	CM05A	睡,睡着也就不饿了。
101	*	CM05B	特别饿得睡不着呢?

102	*	CM05A	没有睡着就不饿了。
103		<1 秒>	
104	*	CM05B	我就喜欢吃的。
105		<2 秒>	
106	*	CM05B	他这个这个代表啥意思 [v] 。
107	*	CM05A	那关键是, 那睡的也得睡呀。
108	*	CM05B	其实帐篷的话...
109		<2 秒>	
110	*	CM05A	你想啥啊, 要万一, 咱就说个万一, 下个雨, 那这些就全都淋了。
111	*	<5 秒>	
112	*	CM05A	这都有 [v], 都各有各的用途。
113	*	CM05B	我反正觉得药品是必须的。被子也是必须的呀。
114	*	CM05A	是啊。啥不是必须的啊?
115	*	CM05B	啥, ϕ书[^]不是。
116	*	CM05A	嗯, 书不是。
117	*	CM05B	这个吃的吧。吃的呢, 吃的还是重要。=
118	*	CM05A	=不是刚才我也想选吃的, 不过想想都是零食没啥用。
119		<3 秒>	
120	*	CM05B	那你说人家吃啥呀?
121	*	CM05A	那肯定要吃吃饭呀, 肯定不是零食[[。
122	*	CM05B	]]哪有饭啊?
123	*	CM05A	不, 不是说, 咱就弄, 弄一火车的零食, 100 个人, 就算 100 个人吃, 吃这几天也就没有了. 这零食吃不饱怎么办 ?
124-1	/	CM05B	吃点就得了[[, ,
125	*	CM05A	]]唉- 你..., ,
124-2	*	CM05B	这保质期多啊。
126	*	CM05A	你你就说这泡面, 你得吃几桶能吃饱?
127	*	CM05B	我...
128		<1 秒>	
129	*	CM05A	我一个人能吃三桶(笑)。你记得我以前在宿舍 买馒头, ### 一次吃三袋<笑着说>。
130	*	CM05B	你也是灾区过来的, 一个人吃三袋<笑着说>。
131		<1 秒>	
132	*	CM05A	没啥用。=
133	*	CM05B	=就是, 呃【音长】。
134		<5 秒>	
135-1	/	CM05B	但是, 受灾区的话好像, <咂舌><吃的住的><{}>, ,
136	*	CM05A	<你看这><{}>, 你看就就那些新闻上放的受灾[[。
135-2	*	CM05B	]]你听我说, 衣, 食, <住><{}>。
137	*	CM05A	<住><{}>, 行。
138	*	CM05B	行不用了。衣食住, 你同意吧?
139	*	CM05A	啊。
140	*	CM05B	就是衣食住呀。
141	*	CM05A	对呀, 那那三个。关键是你这个得有, 这个得有。



142		<1 秒>	
143	*	CM05B	对呀,药是肯定得有的了。但问题是...
144	*	CM05A	那药是肯定得有的。必须得有的。
145		<6 秒>	
146	*	CM05B	这个不只是零食,只是代表了一个食物。
147	*	CM05A	不可能啊。那你说这代表啥?
148	*	CM05B	这个这个是水呀
149	*	CM05A	那这是什么?
150	*	CM05B	哎<叹气>
151	*	CM05A	这是油。
152	*	CM05B	这你说画俩馒头好看吗?。你...
153-1	/	CM05A	如果它要是大米和面的话 我肯定就选了,然后就把这药[[,,
154	*	CM05B	]]那你,他妈的,要画俩馒头吗?合适吗?
153-2	*	CM05A	那我就把这个排除了。
155	*	CM05B	那药是不是也没####?那不要吃的了,要帐篷。那就,药品,帐篷,还有被子。
156	*	CM05A	对,肯定[^]的呀。
157	*	CM05B	不行,我再想想。
158	*	CM05A	再想啥呀?
159	*	CM05B	水不用。
160	*	CM05A	这个,这些,都没啥用的了。
161	*	CM05B	哎<叹气>,
162		<5 秒>	
163	*	CM05A	其实我感觉可以这样捐啊,因为晚上睡觉可以盖衣服嘛。
164		<2 秒>	
165	*	CM05A	白天还能穿。多实惠啊,是不是啊?
166	*	CM05B	哪儿实惠,又不是被子。
167	*	CM05A	都,都灾区你还管那么多呀。
168		<10 秒>	
169-1	/	CM05B	行吧,衣,食[[,,
170	*	CM05A	]]住。
169-2	*	CM05B	食,他妈的,药是食。
171	*	CM05A	<住>{<}&#x27E9;。
172	*	CM05B	<住>{<}&#x27E9;。可以啊。
173	*	CM05A	就就这样吧。
174	*	CM05B	那就衣服药品,还有,帐篷。有地儿住,也有衣服穿,也保暖,还有药品,然后他们吃了呢。
175	*	CM05A	如果饿了就吃点这个吧。
176	*	CM05B	吃点儿...<笑>,吃饱了就吃死了。
177	*	CM05A	不是,如果饿了你知道吧,他们能抓点儿鱼。
178	*	CM05B	人家受灾了还去抓鱼(嗯)。不建设家园抓鱼去?跟你小的时候闲着没事干河里摸鱼?那就捐衣服还有帐篷。那他们,那就吃喝的吧。
179	*	CM05A	那就是后来再议了。
180	*	CM05B	吃喝,呃【音长】。
181	*	CM05A	吃,吃啥都行啊,到那个时候。

182	*	<5 秒>	
183	*	CM05B	行,那咱们决定了。就是衣服药品跟,帐篷。
184	*	CM05A	对呀【音愉悦】。
185	*	CM05B	可以。
186	*	CM05A	够了吧。
187	*	CM05B	够了。

CM06			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM06A	就这三个吧。
2	*	CM06B	我选的是,这三张,你看一下。
3	*	CM06A	我可能跟你选的三张完全不一样。
4	*	CM06B	哦,统一下意见就行。看一下。
5	*	CM06A	<大笑>
6	*	CM06B	呃,你的是...
7	*	CM06A	铅笔(铅笔),画画的(嗯),书籍(书籍),以及洗漱用品。
8	*	CM06B	啊,一个,有一个相同的。
9	*	CM06A	对。
10	*	CM06B	书籍。然后我的是,药品和,帐篷。因为(嗯),你先说,为啥是画笔。
11	*	CM06A	首先我跟你讲啊(嗯),天灾(啊),灾难,就像上次的什么,512的什么汶川大地震啊,还有之类的,一些天灾人祸,都是由政府来。咱们如果,到咱们捐,捐这些的时间点的时候,政府已经把像这种,解决,住的问题,解决,这个:,叫什么,疾病的问题,应该把这些问题都处理好了。一个是住的一个是,还有什么,呃,生活的一些很多基本,用品,基本东西,一般政府都能给解决了。而缺乏的是什么呢?缺乏的是,一种精神上的,关怀。所以说就应该,怎么说呢,在那个,<咋舌>天灾之后,对吧,人们都,比较,心里比较,阴暗的心里,怎么说呢,<咋舌>对吧,亲人去世了,可能,他们也没有人陪伴他们,可能心里面就觉得孤单,觉得寂寞,觉得...。这时候,看看书是一个很好的选择,我觉得这个应该保留下来。
12-1	/	CM06B	书,是可以保留的。呃[[, ,
13	*	CM06A	]]其次呢?
12-2	/	CM06B	随时可以看一下,然后(呃),<咋舌>帐篷的话有些可能政府他: [[, ,
14	*	CM06A	]]对这个。
12-3	*	CM06B	在支援。有些可能达不到,所以我们可以<捐一些><{}>。
15	*	CM06A	<这个><{}>,不可能达不到,肯定当地政府肯定能达到。这个我认为,咱们,以咱们自己的力量,去买这个,帐篷的话,就算,怎么说,还不如把这同样的钱用在其他地方(啊↑)。这些,这些东西,我觉得政府是可以提供的。药就[[。
16	*	CM06B	]]药品呢?
17	*	CM06A	药品的话你捐什么药呢?也不知道捐什么<药><{}>。

18	*	CM06B	<就是>{>} 一些, 感冒的, 感冒之类的。然后就是预防感冒的, 御寒啊, 风风寒。
19	*	CM06A	毕竟, 咱们也没有太多的这种医学上面的, 这种知识, 也不知道选什么药。<也不知道>{<} [[, ,
20-1	/	CM06B	] <大概就根>{>}, <根据自己平时>{<}, ,
21	*	CM06A	<对, 根据大概的>{>}。
20-2	*	CM06B	自己感冒的。
22	*	CM06A	对, 我知道。怎么说呢, 你毕竟没有这方面的, 你不知道他们大概, 你只能说一个大概。你, 你把同样的钱放在你大概知道的一些东西上面, 肯定会有很多浪费。你还不不如把这些钱用到, <呃舌>怎么说, 呃, 在大部分利, 呃, 能利用的到的地方 (嗯)。有些药可能你买了, 人们都, 其实没什么病, 可能, 当地的条件可能, 对吧, 可能会得一些病可能不会得一些病, 你都不知道买什么药。所以我觉得, 这个地方, 这个东西 (指帐篷) 肯定是当地去救援的人也好, 去那个, 啊, 实地..., 政府救援也好, 都是那些人, 就根据当地的状况<解决>{<}。
23	*	CM06B	<这个>{>} 就是, 啊, 赈赈灾那些, 就, 肯定就没必要。
24	*	CM06A	对。
25	*	CM06B	呃, <这个, 这个的话>{<} , ,
26	*	CM06A	<而且咱们经济能力>{>} 达不到那个层次。
27	*	CM06B	这个的话, 那些, 贫困山区肯定也需要, 这些。
28-1	/	CM06A	但需要的话, 这个, 毕竟咱不是学医学方面的, 如果弄这个 (啊), 可能会造成, 造成那个不必要的浪费 [[, ,
29-1	/	CM06B	]] 或者, ,
28-2	*	CM06A	与其把, 与其捐这些, 不如把这些钱捐到其他地方 (啊)。而且这种东西<当地政府应该>{<} [[。
29-2	*	CM06B	] <比如这种洗漱用品>{>} 可以。
30-1	/	CM06A	洗漱用品, 因为当时的话, 因为这个并不算, 我我选这个理由是因为我觉得, 呃, 这个并不算什么生活的必需品。所以说可能。大家没有把关, 关, 关系, 没有把那个, 注意力放在这个上面, 可能会, 应该是, 肯定是有需要的 (啊)。但是: , 可能也不是那种特别必要。啊, 但是我觉得应该有, 毕竟怎么说呢, 呃, 卫生好 (保持卫生), 人们也比较比较那个, ###, 比较活得不能说, 对吧, 呃, 怎么说呢 [[, ,
31-1	/	CM06B	]] 就是让, ,
30-2	*	CM06A	没有没有偏离社会。
31-2	*	CM06B	就是让让保持一些, <健康。身, 身体上的健康>{<}。
32	*	CM06A	<对, 一个是健康。对, 对对对>{>}, 一个是健康, 一个是精神上的一个, <呃舌>, 呃 【音长】, 没有偏离社会, 这..., 这个方面。
33	*	CM06B	那统一つひとつ下的话就是: , 这个。
34-1	/	CM06A	这个的话, 画笔我觉得 [[, ,
35	*	CM06B	]] 画笔。
34-2	*	CM06A	像一些, 像一些低龄儿童 (啊), 他可能一些书他, <呃舌>。

36	*	CM06B	读不懂。
37	*	CM06A	对。
38	*	CM06B	读不懂然后就可以...
39	*	CM06A	对,可以把他们想的,把他们的精神,精神方面的阴暗的也好,一些不太好地方,抒发出来,怎么抒发呢?
40	*	CM06B	就通过,<自己画,画出来>{<}
41-1	/	CM06A	<通通过这个画笔>{>}。我觉得,而且这个是,(传递##),便宜,经济,实惠。也不用,对,比比起其他地方[[, ,
42	*	CM06B	]]那这两个就,,
41-2	*	CM06A	更需要我们去...
43	*	CM06B	排除,然后就这个。呃,洗漱用品还可以考虑一下,这个可以有。
44	*	CM06A	嗯,还有我们的书。
45	*	CM06B	对。
46	*	CM06A	决定几个? 那那咱们再再排一个,排一个<笑着说>[[。
47	*	CM06B	]]经济实惠的话就,就是这个。然后这个的话,自己,平时一些:看过的书(嗯)啊,<就可以捐出去>{<}。
48	*	CM06A	<我觉得这个可以>{>}再排一下。我觉得这个在前面。
49	*	CM06B	对,这个。
50	*	CM06A	呃【音长】,卫生的话:
51	*	CM06B	这个的话 可要可不要。
52	*	CM06A	对,我觉得,排序,应该就是这么一个排序。
53	*	CM06B	对。
54	*	CM06A	因为,书的话其实,<咋舌>怎么说呢,可能不太符合当地的,不太符合那个...
55	*	CM06B	比如我们看过的(对),别人,不一定看得懂,是吧?
56	*	CM06A	对,一つひとつ是看不懂,一个可能,并,并不能,真正的能解除那个,心里的那个,抑郁也好,心里的那个不快也好(对)。大体上应该是这个排名。
57	*	CM06B	那
58	*	CM06A	好,咱们也没有意见了吧,是吧?
59	*	CM06B	对,还要选择一个。
60	*	CM06A	呃,正在看,其他的,你还要对什么有疑问? 饮料吗? <饮料这个我觉得>{<}。
61-1	/	CM06B	<我觉得可以:>{>} 买点水。<有些缺水>{<}, ,
62-1	/	CM06A	<水的话>{>}, ,
61-2	*	CM06B	的地方的话。
62-2	*	CM06A	水,水跟食物 跟住处,这些是生活最基本的东西,肯定会有提供的。虽然说是矿泉水,这个是饮料,但是这种,<这种,这种情况>{<}。
63	*	CM06B	<但是,山区山区>{>}那些荒芜的地带。
64	*	CM06A	她说的是灾区。
65	*	CM06B	可以是,不是自由发挥嘛。
66	*	CM06A	她说灾民,灾民。山区的话,就不一定画这个了,是吧,按,按灾民的情况来说的话,是<这么个情况>{<}。

67	*	CM06B	<那解决温饱呢? >{>}
68	*	CM06A	要是,要是换成山区的话,咱们再找,再找一次。
69	*	CM06B	对。
70	*	CM06A	要是,要是山区的话,要是捐给那些贫困[^](啊)的地区的人们。
71	*	CM06B	贫困的话。
72	*	CM06A	那这样的话我想一想。
73		<2 秒>	
74	*	CM06A	嗯,但是我觉得,这个东西应该。咱们先挑。
75		<5 秒>	
76	*	CM06A	大概是这个样子。
77		<4 秒>	
78	*	CM06A	我挑这三个。
79	*	<3 秒>	
80	*	CM06A	好了,时间到了<笑>。
81	*	CM06B	这个比较,这个和这个差不多吧,这样。
82	*	CM06A	呃,差不多。
83	*	CM06B	这样差不多。呃,然后这个还是,有必要的。
84	*	CM06A	这个的话,我觉得如果是,贫困地区的话(啊),其实铅笔也应该有。
85	*	CM06B	铅笔,我看一些纪录片上他,都很少,是吧。然后这个洗漱用品,还是...。像玩具的话,呃,其实山区的朋友,他他有自己玩儿的方法(哦【音长】<认同>),有自己的方式,直接玩啊,<就是>{<}
86-1	/	CM06A	<对>{>},,
87-1	/	CM06B	那个,,
86-2	*	CM06A	你说的有道理。
87-2	*	CM06B	对他们来说太奢侈,我们也买不起,或者说太奢侈对他们来说。
88	*	CM06A	你说的很有道理。
89	*	CM06B	然后解决温饱这个问题,还是有必要的。=
90	*	CM06A	=对,衣服,衣服跟被子,其实是差不多的。
91	*	CM06B	对。
92	*	CM06A	衣服,被子,这边的话可能也不太需要。
93	*	CM06B	被子可以。
94	*	CM06A	被子的话都会有分的。
95-1	/	CM06B	被子可以可以要的。这个,呃,穿的还是...,他们,<咋舌>呃,太单薄,穿得太单薄,冬天太太冷,都冻冻,手都冻僵了(对),到处都是冻疮。然后铅笔这个,他们,很节约的,很,就是看一些纪录片,他们用的铅笔啊(哦【音长】<认同>),很,,
96	*	CM06A	对,对,对。
95-2	*	CM06B	就是用的那些很短很短的一节,一节。
97	*	CM06A	对对,有了笔有了纸才能发挥自己的想象空间嘛(对),才能有自己的创造力,<才能有这个>{<}
98	*	CM06B	<然后这个>{>},洗漱用品呢,就是保持身体(健康)干净,然后保持健康吧,就这样。
99	*	CM06A	我大体没意见。

100	*	CM06B	好。
101	*	CM06A	就这样。
102	*	CM06B	然后呢？
103	*	CM06A	这是一次愉快的谈话，你说是吗？
104	*	CM06B	是的。

CM07			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM07A	选好了，就三样，就拿三样就行了。
2	*	CM07B	对，拿这三样吧。
3	*	CM07A	快点摊牌，摊牌。
4	*	CM07B	你说，你说呀
5	*	CM07A	既然是要，给贫困山区的儿童的话，我感觉就是这三样。比较合适一点。
6	*	CM07B	哼<笑着说>，我感觉是这三样比较合适一点。看我们有相同的没有，这个是相同的。
7	*	CM07A	嗯，肯定有相同的。
8	*	CM07B	那这个就不用说了，是吧。这两个是相同的（嗯）。那我们就讨论一下吃的跟这个学习用品。对吧？你先说你的观点吧。
9	*	CM07A	对我来说呢，贫困山区呢，这些儿童的话，主要是怎样，既然他们现在贫困，那以后是，他们肯定是会奔着不贫困的方向，去发展（对）。所以说他们一开始，刚开始吧，肯定从，对吧，最基本的开始。首先要有笔，有笔才能学习好，对吧。=
10	*	CM07B	=但是不吃好，怎么能写好呢。
11	*	CM07A	所以说，革，身体是革命的本钱。但是呢，啊，你要掌握知识才能改变命运，<对吧>{<}。
12	*	CM07B	但是>{>}你饿了没有精神，你整天困的话，你怎么能学习呢。
13-1	/	CM07A	古人，古人云，画饼充饥，那不是吗。画饼充饥[[，，
14	*	CM07B	]]你不能整天画饼充饥吧，对吧？
13-2	*	CM07A	人，人要有毅力，才能改变命运，懂吗？<笑着说>
15	*	CM07B	毅力，毅力也不能整天，毅力，耐力，一瞬，一瞬间的，对吧。
16	*	CM07A	那你光吃饱了，不学习也不行啊。没有劳动的工具也不行啊，对吧。
17	*	CM07B	但是你肚子饿，你也学不下去呀。
18	*	CM07A	肚子饿可以饮一口水(hhh)。哎，主要是，最基本的，最基础的，最开始的東西，才行，比如说[[。
19	*	CM07B	]]那应该是，衣食住行，对吧？
20	*	CM07A	贫困山区的孩子，怎样说，虽然说吃了东西也要，但是呢，他们，最主要的理想，不是放在吃上面，而是放在学习上面，对不对？
21	*	CM07B	你看这，这两个。
22	*	CM07A	这两个的话，你看，这两个的话，有，这些是<药品>{<}。
23	*	CM07B	<这个>{>}是药品，这些是书籍，对吧。

24	*	CM07A	书籍肯定是要的。=
25	*	CM07B	=你既然有书籍了,你为什么还要这个笔呢=
26	*	CM07A	=有书籍,你就算,你能倒背如流,还是把全部的思路已经都背好,但是,你得运用,运用的话,你得用笔啊,有笔啊。=
27	*	CM07B	=可以说啊。
28	*	CM07A	可以说,光说不练,不行啊,对不对?
29	*	CM07B	笔是用来练,练字的,对吗。
3	*	CM07A	你看,练字都还,中国的书法博大精深,对不对,刚开始[[。
31	*	CM07B	]]书,书法,你能,你能,走出贫困山区吗?
32	*	CM07A	而且你看,当今社,当今社会,用键盘的人也比较多了(对啊)。所以说,小孩子,小孩子,刚开始都玩电脑,<玩手机>{<}。
33	*	CM07B	<但是>{>},你,你可以在地上写字啊。
34	*	CM07A	地上写字,那,你得,对这个笔有一定的印象,<有一定的运用的基础啊>{<}。
35	*	CM07B	<那你看,看照片不就好了吗>{>}。
36	*	CM07A	看照片,光看不练,也不行啊。
37	*	CM07B	那你,没有吃的,怎么练?
38-1	/	CM07A	吃的,可以吃点其他的,不光光[[,,
39	*	CM07B	]]他们能吃的好。
38-2	*	CM07A	他能有吃的就行了。他不一定要吃,<那那些东西>{<}。
40	*	CM07B	<那他可以用>{>},用,用其他东西来写,对吧。
41	*	CM07A	你看那[[。
42	*	CM07B	]]羽毛以前也是能用来写字的。
43-1	/	CM07A	我告诉你,要是,呃,你运输的当,当,过程当中,运输时间太长了,过期了怎么办?能吃吗?你看<我这个>{<}[[,,
44	*	CM07B	]]<空运啊>{>}。
43-2	*	CM07A	就算,就算我,运,运输太久,它还是那支笔。
45	*	CM07B	但是这可以空运啊。
46	*	CM07A	空运?
47	*	CM07B	保质期。你...,你能运两三个月吗?<笑>。一年吗?
48	*	CM07A	那他也不可能啊,<你看吧>{<},,
49	*	CM07B	<对吧>{>}?
50	*	CM07A	你要是...,呃,既然说...,运吃的话,<咋舌><你还不如运这个>{<}。
51	*	CM07B	<我们可以都要>{>}。这俩都有(嗯)。这俩,这四个...,这两个之间,死掉一个。
52	*	CM07A	这俩,死掉一个?
53	*	CM07B	嗯。
54	*	CM07A	那肯定...,那...,<1秒>,每一样都有每一样的重要性对不对,你看啊,书籍肯定是要,对吧? =
55	*	CM07B	=书籍不有老师吗,你可以把药品补上。书,书籍先,到时候咱们

			<##>{<}
56	*	CM07A	你看>{>}, 要是生病的话, 我感觉, 那就舍弃这个。
57	*	CM07B	为啥舍弃这个?
58	*	CM07A	因为, 你看, 就算生病,
59	*	CM07B	哎↓<叹气>
60	*	CM07A	农村的孩子出来的, <咋舌>。
61	*	CM07B	农村孩子出来, <就不生病吗>{<}?
62	*	CM07A	<就算>{>}, 就算生病也, 也不急着吃药。要让他们身体产, 产生, 抵抗力。然后这样, 这样的话以后就不容易生病的话...
63	*	CM07B	我的天, 那最不合理了。那书籍...
64	*	CM07A	书籍, 书籍, 从一开始就得, 用到了。
65	*	CM07B	为什么?
66	*	CM07A	<书籍>{<}。
67	*	CM07B	<书籍>{>}, 平常从小, 从小 4, 5 岁之前, 是不是不学习?
68	*	CM07A	4, 5 岁前[[。
69	*	CM07B	]]是不是容易生病?
70	*	CM07A	哎↓没有, 你看古人, 伤伤仲永, 以前[伤仲永], 现在是[仲永], <对吧>{<}?
71	*	CM07B	现在>{>}, 现在的孩子还经常生病。何况贫, 贫困山区呢? <对不对>{<}?
72	*	CM07A	<唉↑>{>}, 现在生活物质好了。什么...。现在药的话, 你看山区的孩子, 山区大把都中草药, 是不是(笑)? 用得着<这种###>{<}。
73	*	CM07B	<中草药你>{>}<笑着说>, 以为中草药是遍地都有的, 对吧。
74	*	CM07A	肯定的, 山区, 只要有山就有山药。<笑>。
75	*	CM07B	山药也不一定都治, 治所有的病啊, 是不是。只能, 平时喝点, 抵抗, 是吧?
76	*	CM07A	这种东西就不用了, 这个。要么就要这个, 这个书籍。书籍的话你看, 书籍, <咋舌>是人类进步的阶梯对不对, 对: 吧 <sub>1</sub> =
77	*	CM07B	=书籍书籍有(啊), 书籍有(啊)。笔, 你看笔也有对吧?
78	*	CM07A	笔肯定要有啦。
79	*	CM07B	对, 笔, 肯定要有。那食, 食品呢?
80	*	CM07A	笔肯定要有啦。
81	*	CM07B	嗯, 对, 笔肯定要有。食品呢? <笑着说>
82	*	CM07A	吃的?
83	*	CM07B	对, 吃的。
84	*	CM07A	吃的, 哎↓: , 吃的不一定要吃那个对不对?
85	*	CM07B	它只是..., 其中一部分, 它只是列了一部分, 其他没有列。
86	*	CM07A	其他的↑, 那, 那, 只能看照片上面的, 那不可能以偏概全。<笑>= <sub>1</sub>
87	*	CM07B	=这只是【音快】, 代, 代表食品。你, 只是代表..., 难道你只用铅笔吗?



88	*	CM07A	那,你看啊,我铅笔,小学生肯定得是用铅笔铅了,难道你现在让他用毛笔,用<钢笔吗>{<}?
89	*	CM07B	<初中>{>},初中你也只用铅笔吗?
90	*	CM07A	现在问题是,我们讨论的问题是,关于贫困,山区,的小学生的嘛。<笑>
91	*	CM07B	谁给你说是贫困山区的小学生,贫困地区的人们,对不对?
92	*	CM07A	贫困地区的小学生,所以得用这个的。
93	*	CM07B	那你,那你得让他见识见识,那个,什么叫...,钢笔吧。
94	*	CM07A	钢笔呀~
95	*	CM07B	他有吗?没有吧。
96	*	CM07A	没有,那肯定...,那,他们开始学习的,肯定,得用铅笔啊,对不对?是吧?
97	*	CM07B	那那这个呢?
98	*	CM07A	这个,小孩子吃太多零食不太好[^]。
99	*	CM07B	这只是代表食品,谁给你说这是零食呢。
100	*	CM07A	那食品也不用吃太多了,这种东西。
101	*	CM07B	那药吃太多现,现实吗?
102	*	CM07A	药是以防万一的。
103	*	CM07B	一...,这这,食品不吃饭吗?
104	*	CM07A	食品,食品,也不能当饭吃啊,对吧?
105	*	CM07B	那这个也不能当饭吃啊?
106	*	CM07A	这个的话...,哎↓,小孩子身体是生命的本钱,开始要,对身体好一点。但是如果你吃这个多的话,那你能用到这个,那你不吃这个的话,<那你就用>{<}[[。
107	*	CM07B	<这个,这个>{>}你不吃的话,你怎么有力气拿出笔来写字来读书呢?是不是,是不是,就这关系。
108	*	CM07A	那你...,全中国那么多米饭,不一定要吃零食吗,我问你。
109	*	CM07B	谁说这是零食了<笑着说>。(笑)。你纠结照片上的这些,干吗?
110	*	CM07A	照片上明明就是零食,好不好<笑着说>。你看,好吃点就多吃点[[。
111	*	CM07B	]]那小学生能读懂这几个字,这几本书吗,你跟我说。
112	*	CM07A	那小学生,小学生,肯定老师教,肯定会的。<对吧>{<}?
113	*	CM07B	<他们>{>},他们能读懂,他们那么大点儿。这么多书,你让他能读懂吗?你都不一定能读懂,我跟你讲
114	*	CM07A	谁说读不懂。小学生,开始,刚开始学,肯定对书也好奇的啦,对不对。人家[仲永],那些,不说小学,他们2,3岁就开始看书了,对不对。
115	*	CM07B	小学生他能看这个?他看懂[鲁滨逊漂流记]啊?
116	*	CM07A	对,肯定能。
117	*	CM07B	你给我狡辩照片上的问题。
118	*	CM07A	照片上,你看肯定,书籍肯定有小学生[[。
119	*	CM07B	]]那,那我们就这样不就行了吗(啊)。达成共识不就好了嘛。
120	*	CM07A	这样吗?

121	*	CM07B	啊。可以不？
122	*	CM07A	那你为了要这个, 不要这个吗<笑着说>。
123	*	CM07B	可以。这个, 不要了, 这俩这俩我都不不要了。
124	*	CM07A	啊, 行。
125	*	CM07B	行吧? 那就这样这样就行了吗。
126	*	CM07A	啊。那就选这这三。
127	*	CM07B	对, 三个就行。
128	*	CM07A	行, 可以。
129	*	CM07B	可以吧 ?
130	*	CM07A	那行。
131	*	CM07B	那就, 这, 这两张, 减掉。
132	*	CM07A	啊。那其他的都不要了, 其他的。
133	*	CM07B	对, 我们选出了三个就行了。
134	*	CM07A	那行。

CM08	発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
	1	*	CM08B	我看你都选的啥。
	2	*	CM08A	啊。
	3	*	CM08B	都不一样。这个。
	4	*	CM08A	这个也不一样啊。
	5	*	CM08B	全都不一样。
	6	*	CM08A	说吧, 为啥衣服?
	7	*	CM08B	衣服, 我感觉的话, 他们灾区, 发生自然灾害的时候, 应该是没有时间和机会 (对), 来拿更多衣服, 应该只是他们身上穿的衣服。
	8	*	CM08A	但从, 另外一个角度来说的话, 政府应该会给这个东西。
	9	*	CM08B	啊, 政府他首先, 应该是安置工作, 就是他, 所以我们都没有选就是被褥和那个帐篷 (啊), 还有食品方面应该是有保证的 (啊), 但是衣服他这个应该##, 因为他用的是救灾物资, 衣服这个应该属于, 日常用品。
	10	*	CM08A	不算救灾物资?
	11	*	CM08B	不算吧?
	12	*	CM08A	不算↑
	13		<3 秒>	
	14	*	CM08B	衣服跟..., 那你选了画笔。
	15	*	CM08A	嗯?
	16	*	CM08B	画笔。
	17	*	CM08A	哈哈, 我觉得是应该提供一点儿娱乐给孩子吧。
	18	*	CM08B	提供娱乐 (啊), 那我们都有这样的想法, 我选了一个玩具。
	19	*	CM08A	但我觉得从玩具来讲的话, 感觉有点那个啥 (嗯), 不算救, 怎么说, 呃【音长】<思考>
	20	*	CM08B	嗯, 没必要?
	21	*	CM08A	呃, 我觉得应该没必要。不好保存吧。

22	*	CM08B	不好保存↑
23	*	CM08A	啊。还#。
24	*	CM08B	我觉得玩具好一点儿。因为,玩具毕竟代表了小孩子,的梦想,和...。如果你给他一个玩具,我感觉他就是对明天生活有更好的憧憬。
25		<2 秒>	
26	*	CM08A	那不就<应该是书>{<}[[
27	*	CM08B	<小孩子爱玩>{>}。
28	*	CM08A	选书嘛, 讲童话故事啥的。
29	*	CM08B	嗯。
30	*	CM08A	哈哈<笑>
31	*	CM08B	那你要考虑到有些孩子不喜欢看书。玩具应该是大部分孩子都比较喜欢的(嗯)。其实,我开始,都是想选画笔(嗯)。哎↓,但是考虑到,当时灾后的生活,肯定是经历了很大的那种,心灵上的冲击,他不一定很想去画画(哦【音长】)。不,他万一里面出了一个什么(哦↑),生与死的界限(笑)。我觉得这个东西应该是,,
32		<3 秒>	
33	*	CM08B	放飞自我吧。
34	*	CM08A	放飞自我↑
35		<3 秒>	
36	*	CM08B	我是觉得玩具能够带,带来很久的快乐,玩具。
37	*	CM08A	确实。小时候我也喜欢玩玩具,<笑>。
38	*	CM08B	对,所以说,我觉得,对小孩子来说可能,玩具,会比画画和,读书,更在意一点儿吧。真的。怎么说,他们更需要玩具去安,安慰一下他(嗯)。好吧。你觉得呢?
39	*	CM08A	选玩具吧。
40	*	CM08B	那先拿一个玩具出来吧。
41	*	CM08A	嗯。衣服↑
42	*	CM08B	哎↓,先别说衣服,先说这个吧(笑)。说说你的:
43	*	CM08A	啊?
44	*	CM08B	洗漱用品。
45	*	CM08A	啊。洗漱用品。政府,我觉得政府应该提供那个消毒液之类的(啊)。就是日常牙膏牙刷它肯定不会提供,是吧?感觉...,那个啥。
46		<2 秒>	
47	*	CM08B	我们现在要不要百度一下【音小】。
48	*	CM08A	嗯?
49	*	CM08B	百度一下<笑着说>。(笑)。
50	*	CM08A	政府提供就像你这样说,就是啥,就是被子啊。=
51	*	CM08B	=最基本的民生保障(啊)。就说让他们吃,喝,还有住的地方就行了。
52	*	CM08A	啊,所以我觉得应该,带这个,过去。牙刷牙膏这类的洗漱<用品>{<}。
53	*	CM08B	<那你>{>}这么说,衣服的话,呃【音长】<2 秒>,再说一下为什么要带这个,牙膏牙刷洗漱用品。
54	*	CM08A	个人卫生,####。

55	*	CM08B	个人卫生↑
56	*	CM08A	啊。如果政府提供的话, <呃舌><咋说呢>{<}。
57	*	CM08B	<接下来>{>}, 对, 其实我觉得, <呃舌>你选这个消毒液也是挺重要。因为, 他发生一些自然灾害好像会伴随次生灾害, 次生灾害就是那些什么, 细菌啊, 其他的<那些问题>{<}。
58	*	CM08A	<疾病之类>{>}的哈。
59	*	CM08B	疾病之类的。所以说, 确实..., 这个, 个人卫生方面消毒方面还是挺重要的。
60	*	CM08A	政府只能, 相对大面积的消毒。
61	*	CM08B	<呃舌>我为什么没选。我觉得你这两个都还行。但我选了个药品就是...
62		<1 秒>	
63	*	CM08A	药品↑(嗯), 为什么?
64	*	CM08B	没有, 我是, 我是这么想的。因为考虑到就是, 我们只是说以团体为捐赠, 不可能长期地进行下去嘛(嗯), 所以说, 我们, 短期制, 可能 2, 2 到 3 次##, 所以说给他们的东西是一定要... (嗯), 就是感觉, 不怎么有用但是需要的时候一定能用得上。因为, 他长时间, 政府方面是有保障的。我们给的就是, 这种, 就是, 他需要的时候能够有的这种东西。这药品-, 哎↓, 说实话, 政府不知道提不提供, 他是可能会提供这种消毒的, 消毒液啥的。
65	*	CM08A	消毒液。最起码感觉就是那种大面积消毒(嗯)。比如说我们上..., 教室里消毒的时候用。
66	*	CM08B	对。
67	*	CM08A	啊。
68	*	CM08B	行。那把这个也拿出来。这是, 个人卫生品, 是吧?
69	*	CM08A	啊。洗洁精啊, 个人卫生用品。对。
70	*	CM08B	那剩下这 4 张。你选择书是想, 丰富孩子的精神世界, 是不是? <笑着说>(笑)。安抚他们幼小的心灵。
71	*	CM08A	我觉得听童话故事挺好的。反正我小的时候就喜欢听, 童话故事。<笑>。
72	*	CM08B	你自己看吧。听?
73	*	CM08A	看书的话, 基本是不会看童话故事吧。小儿书我都不会看, ,
74	*	CM08B	哦↓
75	*	CM08A	小时候<笑着说>。
76	*	CM08B	你太悲惨了。
77		<3 秒>	hhhhh (hhhhh)
78		<2 秒>	
79	*	CM08B	<吸气>为什么我感觉, 我们的童年好像不一哎【音长】。(笑)。
80	*	CM08A	喜欢啥?
81	*	CM08B	我小的时候就看小说, 还有, [哆啦 A 梦]这种(嗯), [哆啦 A 梦]漫画, 还有我还特别喜欢看, [奥特曼]。<笑>。
82		<2 秒>	
83	*	CM08A	药品。衣服。画笔。书: 籍↑
84	*	CM08B	感觉我们捐给他们的东西是, 能帮到他们, 他们以后并能用上的。

85	*	CM08A	嗯嗯。
86		<2 秒>	
87	*	CM08A	衣服。画笔。
88	*	CM08B	政府安置这一块,解决了日常的话。小孩子玩玩具。
89	*	CM08A	嗯,温饱问题应该是解决了。
90	*	CM08B	温饱问题解决了。
91	*	CM08A	嗯。
92		<5 秒>	
93	*	CM08B	玩具也可以,解决一下,心灵建设。
94	*	CM08A	我觉得,就是你选的这个药。
95	*	CM08B	啥?
96-1	/	CM08A	药品。就是说感冒,感冒那个啥[[,,
97	*	CM08B	]]他就是,嗯,就是为了以防,以防万一,就是他需要的时候能够及时用到(啊)。
96-2	*	CM08A	能够...
98	*	CM08B	对吧?哎↓,我又有点想选衣服了,怎么办?
99	*	CM08A	<笑>,自己决定。
100	*	CM08B	哇,<咋舌>你帮我选一个吧。
101	*	CM08A	衣服?为啥衣服?衣服你没解释过。
102	*	CM08B	我想选衣服是因为,他们每天,不可能就,待在帐篷里吧,就要跑出去玩吧(啊)。也不是说跑出去玩,到,到处走一走嘛,小孩子嘛(嗯)。选衣服的话,让他<哑舌>穿得稍微干净一点儿,是不是给这个灾后的,那个营区带来不一样的生机啊(笑)。即使我们发生了灾害,但是,依然得到了外界的帮助,让我们重新找到,<咋舌>哎↓,不能说重新找到吧,重新拥有像家一样的感觉,可以穿着,干净的衣服(啊)。然后每天可以把自己,整理干净。
103	*	CM08A	所以你这两个都...<笑>。
104	*	CM08B	很难选。是吧?
105		<3 秒>	
106	*	CM08A	药品【音小】。
107	*	CM08B	如果是要我选的话,呃【音长】,<哑舌>还是选药品吧(嗯)。<哑舌>毕竟了生病感觉也不好受,所以还是...(笑),那,那就选药品吧。就这三。
108	*	CM08A	就这三个?
109	*	CM08B	嗯,好。

CM09			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM09A	你选完了?
2	*	CM09B	啊,对,我选了这三个。
3	*	CM09A	<嗤笑>,选得差不多啊哈。不就,<就一个不一样的>{<>}。
4	*	CM09B	<就一个不一样的>{<>}。
5		<4 秒>	

6	*	CM09B	呃...
7	*	CM09A	那你说说是看书好还是画画好?
8		<3 秒>	
9	*	CM09B	这不一定是画画,也可以写写字啊。
10	*	CM09A	写字啊? 灾区那受受伤儿童,那要是,<咋舌>要是身体有损伤呢,他都,写不了字啊。
11	*	CM09B	你的意思还看不了书呢。
12	*	CM09A	看不了书最起码,可以,有人帮他读啊。
13		<2 秒>	
14	*	CM09A	对不对?
15	*	CM09B	那你说政府不是会发书的嘛。
16	*	CM09A	啊?
17	*	CM09B	政府不会发书的吗? <笑>。
18	*	CM09A	会发书啊,但是(对啊),发什么书不一定啊。
19		<2 秒>	
20	*	CM09B	那,他不一定这些纸啊笔啊什么的够啊。
21	*	CM09A	他为什么会不够呢。他要是写不了字。对吗。他不需要有人,给他讲故事嘛。睡前故事,能让他更好地入睡,让他忘记,忘记,让他忘记那些伤痛,对吧?
22	*	CM09B	忘记伤痛拿这个呀。<笑>
23	*	CM09A	那,有...,有的,他,他不喜欢喜欢玩儿呢。他就喜欢学习(笑),对吧? 像我,像我就看书啊。画画你说,到时候...,都写,都画不了。对吗? 在他:非常疼痛的时候你不能让他去画画是吧?(笑)。你得,想一些比较有趣的故事。对吧? 转移,转移他的注意力。
24	*	CM09B	画画不也行嘛。想象力呀。
25	*	CM09A	那他要,画不了呢。对吗?
26	*	CM09B	行吧行吧。
27	*	CM09A	<笑>
28		<2 秒>	
29	*	CM09A	来反驳我呀。
30		<2 秒>	
31	*	CM09B	好吧好吧,你说的对呀。<两人都笑>
32	*	CM09A	那我想问,你,你,你为什么会选择这两个?
33	*	CM09B	吃得供上啊,<笑>。这是娱乐设施啊,对吧?
34	*	CM09A	那不对啊。你,没仔细看,你看这图片上吃的都是什么。
35	*	CM09B	小零食啊。那政府发放那些粮食什么的他吃不够回家可以补点儿。<笑>
36	*	CM09A	嗯。
37		<1 秒>	
38	*	CM09A	有道理哈。我,我觉得...,<咋舌>。<笑>。
39	*	CM09B	那些小孩不一定爱吃政府发的什么的,对不对<笑着说>? <小零食>{<}
40	*	CM09A	<吃不惯>{>}
41	*	CM09B	对,啊。

42	*	CM09A	那这个玩具呢,你为什么选玩具?
43	*	CM09B	玩具扔回去干嘛?
44	*	CM09A	嗯?
45	*	CM09B	为什么把玩具扔回去?
46	*	CM09A	不是,我说你,为啥当初把玩具也选出来了?
47	*	CM09B	小孩嘛,儿童,他得玩儿啊,玩不够,呃...,〈笑〉,这个怎么说呢?
48	*	CM09A	那你,除了这三个,最纠结的上一个是什么? 总会,总会有[[。
49	*	CM09B	]]药啊。
50	*	CM09A	药。
51	*	CM09B	肯定是药啊。〈笑〉。你别告诉我你又跟我选的一样。
52	*	CM09A	那倒没有。我最纠结的上一个是:,洗漱的。(笑)。真的。因为... 灾区嘛。那你[[。
53	*	CM09B	]]灾区那里有水啊。
54	*	CM09A	是有水啊,可是,他发的那些,洗漱的东西,并不适合小孩的体质,有的。
55	*	CM09B	体质↑
56			<3 秒>
57	*	CM09B	盆大一点照样可以洗啊。
58	*	CM09A	2 岁到 15 岁,你不可能,不能用那种,那种,刺激性过大的洗漱用品吧,对吗? 就像[[。
59	*	CM09B	]]他既然给小孩应该有给小孩专门的呀,最起码。
60	*	CM09A	那不对啊 [v]。这个不一定,能过日子不就完了吗。
61	*	CM09B	〈笑〉。那能过日子,照样能过啊。怎么就不能过了呢。〈笑〉
62	*	CM09A	哎↓〈叹气〉。反正会损害他的身体健康,用不好的东西。
63	*	CM09B	那大,大人比小孩儿好哪去了?
64	*	CM09A	大人,强啊。那些刚出生的婴儿呢,对吗?
65	*	CM09B	啊?
66	*	CM09A	呵呵。哎↓〈叹气〉。
67			<2 秒>
68	*	CM09A	反正我选了,你要选吗? 这三对吧?
69	*	CM09B	选不选都这三。
70			<两人笑>
71	*	CM09A	这些我觉得更注重,精神治疗。
72	*	CM09B	药品的话,政府应该会发够的。〈笑〉。
73	*	CM09A	药?
74	*	CM09B	嗯。
75	*	CM09A	是。我...,我一开始想到这个,所以,把它排了。其实最开始这饮料我想选了。=
76	*	CM09B	=我一开始想的,吃的喝的,药。〈笑〉
77	*	CM09A	那喝的呢,你怎么把喝的排了?
78	*	CM09B	喝的:,一看上面都是饮料,他们应该水就行。
79			<3 秒>
80	*	CM09A	<那些被子啊>{<}
81	*	CM09B	<饮料给小孩儿>{>}喝也不好。

82		<3 秒>	
83	*	CM09A	得分什么饮料对吧？
84		<1 秒>	
85	*	CM09A	那比如果汁啦, 对吧。被子, 帐篷。我也是想选被子的。帐篷肯定不用。衣服, 唉↓。
86		<22 秒>	
87	*	CM09A	唉↓ 不行, 咱俩这样太统一了, 不好。<真讨厌>{<}。
88	*	CM09B	<我怎么感觉>{>}衣服也挺重要的。<笑>
89	*	CM09A	衣服啊↑, 能保暖不就完了吗。穿..., 电视上演的那些, 灾区儿童穿那种军大衣哎。穿, 穿得漂亮有什么用。
90	*	CM09B	那灾区那个头发白的那个, 你记得吗？
91	*	CM09A	什么头发白的？
92	*	CM09B	那个, 顶着大雪, 过来的一个小孩儿。衣服不一定够啊, 对他们, 不一定保暖。<笑>。
93	*	CM09A	那你选啊？<笑>
94	*	CM09B	那, 关键别的不知道刨哪个了。
95	*	CM09A	是啊。政府他要发吃的话不一定发到零食。他只是..., 煮煮粥, 放点儿鸡蛋, 对吧？发发那啥。
96	*	CM09B	能吃饱就行（对）, 小孩不一定乐意。
97		<8 秒>	
98	*	CM09A	基本必需品政府都会发的。水, 药, 吃的。但是零食就不一定了。衣服, 被子。被子肯定不用。画画？画画就更不用了。画什么画, 读读书就好了。
99		<4 秒>	
100	*	CM09B	那差不多了吧。
101		<2 秒>	
102	*	CM09A	<咋舌>玩具↑, 玩具说是..., 对。我觉得差不多了。
103		<3 秒>	
104	*	CM09B	帐篷, 政府发, 衣服, 政府发, 药也发, 这些...
105		<3 秒>	
106	*	CM09A	就这样吧。
107	*	CM09B	行。
108	*	CM09A	那就这样呗？就这三了呗？
109	*	CM09B	嗯。



CM10			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
1	*	CM10B	我选,这三个。
2	*	CM10A	动作
3	*	CM10B	我个人认为如果是灾区的话,那么,一般灾区的话,一般情况下,食物,食物,灾区,食物是第1,第1个,应该是第1个需要的吧。第2个就是药品。药品,如果,一般发生发生了灾难的话,药品都是必不可少的。其次就是帐篷,呃,帐,帐篷会提供一个良好的居所。你认为呢?
4	*	CM10A	我认为,药品,关于药品,你选药品,我是赞同的。但是,相对,相对于食物,我觉得水是更重要一点。因为,<咂舌>不管怎么说,水是生命之源,而且食物的话,其实获取食物的方法多种多样。但水,水的话,就,一旦缺水的话,那是非常致命的问题。然后,关于帐篷的问题,我觉得,既然是灾区的话,灾区嘛,说明,就是,<咋舌>人应该不会少,如果帐篷的话它数量,我感觉不会,那,就,<咂舌>需要的帐篷太多了,太多,而且怎么说,花销特别大。所,所以,我觉得选,选衣物的话比较合适。而且只要衣物足够的话,怎么说呢,<咂舌>他就,可以,抱团取暖嘛,然后,晚,晚上的时候,可以一群人围在一起烧一堆火,然后加一点衣服,睡在火堆旁边就可以,安稳的度过一夜,我就觉得。
5	*	CM10B	但是关于食物这一点,我和你看法不一样。你想,你想一下,现在大多数的人对于食物的获取,在野外生存或者在城市里生存,都不是特别,特别擅长,对吧?水的话,到处都有水,就算喝一点脏的也没什么关系,至少,也不,<咋舌>也不能这么说,也就是,水的获,获取渠道要多一点。但是食物的话,食物的话应该是,没那么容易获取的。
6	*	CM10A	这点我不认同。食物的话,当,当初红军,就是长征的时候什么没吃过。但水呢?对不对?水是一个很严峻的问题。
7		<2秒>	
8	*	CM10B	但是有一点,问题是现在,我们知道那个食物的获取渠道吗?大熟,大多数人都没有,在怎么说呢,也就是,除了粮食之外的获取渠道一般知道都特别少,对吧?
9	*	CM10A	知道[贝爷]吗?
10	*	CM10B	[贝爷],那是站在顶端的那个,这个不一样好吗。
11	*	CM10A	不是,其实真的,你看,其实在外面,只要,只要你肯下手的话,什么,什么,<咋舌>什么东西都基本都能抓到一点,对不对?短时间的的话,而且人短时间也饿不死,对不对。水的话三天,缺水的话三天就...,是吧。但食物的话可以饿一周呢。这点你总得认同吧。=
12	*	CM10B	=啊,这点我认同。让我想一想。
13	*	CM10A	你还,你还有帐篷的问题,可以说。<笑>。
14	*	CM10B	帐篷我觉得(笑),呃,你要看情况。但是衣服,可能会好一点,这点我...,没有考虑周到。
15	*	CM10A	帐篷确实花销太大了。而且需,需要运输东西比较多。你想过吗,它,交通运输方面又是一个难题(呃)。呃,而且灾区的话,有可能交通也不是那么方便,说不定还得靠人力

			带进去呢。
16	*	CM10B	你想的灾区是什么样子的？我第一想的是地震。地震然后房子没了，然后房子一般（啊），地震比较严重的时候，就是房子，所以我想，想到的是帐篷。=
17	*	CM10A	=我考虑过，但是你没有想过，地震的话，有可能，就是像公路啊什么的已经，彻底毁掉了。你帐篷怎么方便运进去呢？人力一擦一擦搬吗？
18	*	CM10B	那，帐篷可以折叠的好吗？
19	*	CM10A	是，折叠。你，你人力能搬多少帐篷。你觉得把帐篷换成等值的衣物，哪个对晚上御寒更好一点？在最短的时间让，灾区的人民，过上，<咂舌>相对舒适一点的。=
20	*	CM10B	=药品是我们两个，选择一样的，对吧？
21	*	CM10A	啊，这个是。
22	*	CM10B	嗯。
23		<3 秒>	
24	*	CM10B	我承认衣服应该会好一些。不过，如果不是地震的话，如果是，呃，水灾什么什么的。
25	*	CM10A	水灾那，相对来说，需要，更需要衣服啊。要帐篷的话，水灾[[。
26	*	CM10B	]]我说是之类的，还有其他的灾难，好吗？
27	*	CM10A	好好好。
28		<4 秒>	
29	*	CM10B	食物。如，如果说，<@>灾区一般，灾，受，受灾的人是比较多的，对吧？
30	*	CM10A	对啊。
31	*	CM10B	你喝水...
32-1	/	CM10A	人对水的需求量，一天得喝多少水，你有想过吗？你一天不吃饭都没问题，你，你连续饿上，渴上一天，你会觉得，<咂舌>跟，怎么说呢[[，，
33	*	CM10B	]]那，，
32-2	*	CM10A	死了一样。
35	*	CM10B	那你饿上一天呢？
36	*	CM10A	饿上一天没问题啊，只要有水啊。
37		<1 秒>	
38	*	CM10A	是吧，其实其实，只要有水的话，哪怕饿上一两天问题其实并不大，对不对？
39	*	CM10B	饿上一两天是没问题。
40	*	CM10A	那不就得了。
41	*	CM10B	但是食物还是不能缺少呀。
42	*	CM10A	是，哪怕你在野外抓只老鼠啊什么的，不，不也能吃一点吗。<1 秒>但你水呢？万一[[。
43	*	CM10B	]]水，我们获取的渠道有很多啊。
44	*	CM10A	你在，呵呵<笑>，你在野外，张大嘴巴呼吸，等着水，滴到你嘴里嘛。还是[[。
45	*	CM10B	]]但这不一定是野外，好吧。
46		<1 秒>	
47	*	CM10A	<咋舌>你，你想怎么说？
48	*	CM10B	我觉得食物更重要一些。水的话获取挺多的。
49	*	CM10A	怎么获取？

50-1	/	CM10B	比如说[[, ,
51	*	CM10A	]]自来水吗?
50-2	*	CM10B	比...肯定不是自来水。比如说旁边有什么湖啊,河啊,什么之类的。=
52	*	CM10A	=那万一没有呢?
53	*	CM10B	万一【音慢】没有呢。那食物更加不能缺少的呀。
54-1	/	CM10A	那..., 那没水不就死定了吗[[, ,
55	*	CM10B	]]你...
54-2	*	CM10A	吃东西就噎死了, 你有没有想过。
56	*	CM10B	你, 吃东西的话...
57	*	CM10A	而且你看他, 他这里面都是什么东西, 都是什么食品。
58	*	CM10B	这..., 指..., 指的只是食物好吗。如果要光看图的话, <###>{<}
59	*	CM10A	<就, 就算>{>}, 指的食物吧, 食物。那, 那你没水怎么办?
60		<1 秒>	
61	*	CM10B	我还是觉得获取渠道比较多。
62	*	CM10A	不是, 渠道多是一回事, 你怎么获取呢?
63		<1 秒>	
64	*	CM10B	<你说>{<}
65	*	CM10A	<你说>{>}, 你把渠道说出来, 你随, 你随便说一两个。
66	*	CM10B	湖泊, 呵呵<笑>。(笑)。
67	*	CM10A	旁边没, 没湖泊, 河水之类的你怎么办。你就在那, 吃着东西等着被噎死吧。
68	*	CM10B	也不一定啊。
69		<2 秒>	
70	*	CM10A	没有水是死的最快的。
71	*	CM10B	但是我觉得一般情况下有, 是有水, 到处都是有水的呀。
72	*	CM10A	那是你觉得, 只是你生活的地方水比较多, 你有没有想过缺水的地方啊。
73	*	CM10B	听[###]<同学的名字>说沙漠的地方肯定要...
74	*	CM10A	那, 那不是, <咂舌>是吧?
75	*	CM10B	但是, 像我们中国嘛(嗯), 大多数南方的, 到处都有水, 对吧。(笑)。这个也必须承认是吧。(笑)。
76	*	CM10A	不是, 照你那么说, 那有水就有食物啊, 水里面有鱼啊什么的, 那也不缺食物啊。
77		<1 秒>	
78	*	CM10A	水里面鱼啊螃蟹啊什么的, 不都能吃吗。
79		<1 秒>	
80	*	CM10B	<吸一口气>好像, 这逻辑, 好像是对的呀。(笑)
81		<3 秒>	
82	*	CM10B	<咋舌>帐篷排除。选衣服对吧?
83	*	CM10A	对啊。
84	*	CM10B	<吸一口气>
85	*	CM10A	我觉得水是没问题的。我第一个选出来的我觉得就是水。
86	*	CM10B	我第一个选出来的是药品。
87	*	CM10A	<咋舌>你在外面, 就算在外面, 也不一定就特, 特, 特别是多病多灾的那种, 但水是一定要的。
88	*	CM10B	但我不知道这个药品光是指的这个? 还是...

89-1	/	CM10A	不, <应该是>{<} , ,
90	*	CM10B	<你如果>{>}...
89-2	*	CM10A	泛指。
91	*	CM10B	泛指的话, 肯定是, 比如说灾难什么的, 负伤人员都肯定是对), 有的(对), 肯定是需要药品的, 对吧? 其次是食物, 食物和水。我们把衣服放在第3位对吧?
92	*	CM10A	啊。
93	*	CM10B	嗯。
94		<7秒>	
95	*	CM10A	其实我觉得水应该放在第1位。
96		<3秒>	
97	*	CM10A	最重要的是确保有水。
98		<10秒>	
99	*	CM10B	<叹气>, 现在..., 好吧, 现在我承认水的重要性。我, 我想到一点就是, 呃, 很多水嘛, 一般情况下像牛奶什么的, 可以榨汁的, 可以替代一下食物。
100	*	CM10A	呃, 也行。
101	*	CM10B	比如说八宝[[。
102	*	CM10A	]]比如说营养快线, 呵呵呵<笑>。
103	*	CM10B	像##什么的, 是可以靠那个。好吧。我, 我承认水, 水要多一点。那选这三个吧。
104	*	CM10A	对, 就这三个。
105	*	CM10B	好, 恭喜你胜利了。
106	*	CM10A	全胜。

### 中国人女性会话资料

CF01	発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
	01	*	CF01A	我选了这三样<hhh>。
	02	*	CF01B	我选的是书。
	03	*	CF01A	我也选的书。那是笔吗?
	04	*	CF01B	笔, 和衣服。
	05	*	CF01A	啊, 那这这个就可以直接通过了吧?
	06	*	CF01B	嗯, 是。
	07	*	CF01A	∅衣服<h>, 就是觉得...
	08	*	CF01B	衣服我是觉得, 衣服既然我们作为学生, 然后肯定这方面, 是我们捐赠, 然后我们现在还是在校学生可能, 就是, 不能花那么多钱出来, 然后衣服, 是我们每个人可能, 都多多少少有不用了或者是什么, 然后作为学生捐赠出去, 这样的话比较(嗯), 方便。
	09	*	CF01A	其实我选择两样就是, 首先就是温饱肯定很重要嘛(嗯), 穿, 要吃得饱穿得暖, 所以这两样我就选了。然后要是他们, 那, 就是, 得到的那种信息, 比较少, 所以要给他

			们一些书让他们...。所以这是我三, 选择∅这三样的原因 <h>。那你选笔的话, 那, 不是, 就是农村的话不是有, 自己的墨∅可以自己弄吗<h>。<hhh> (hh)。
10	*	CF01B	我觉得不一定。我觉得们学习还是挺重要的。
11	*	CF01A	对啊↑, <学习>{<} [[
12-1	/	CF01B	]]<吃的>{>} 话我觉得可能会有就是, 政府在这方面就是, 比如说那些低保呀什么的, 然后如果是在山区的话他们, 就是, 肯定自己家里会, 有, 就是, 有农作物。我觉得吃这些, 他们应该不用[[, ,
13	*	CF01A	]]不是。
12-2	*	CF01B	而且还会有政府提供。
14	*	CF01A	政府提供其实, 肯定没有很多。而且就是像很多农村现在不是有那种留守儿童嘛, 就是爷爷奶奶, 而且有的好多就是他们的那个子女比较多嘛, 就像, 现在的话就是, 那个爷爷奶奶生下的那个子女比较多, 然后他们的小孩就比较多。然后就是∅爷爷奶奶<h>带了, 带了他们的孙子跟孙女的那种, 好几个, 然后可能两个人就是, 种的农作物也不是很多那种。
15		<2 秒>	
16	*	CF01B	那还有其他的。就没有比较需要的吗?
17	*	CF01A	我觉得, 其实我一开始想<药品> {<} <h>对
18	*	CF01B	<药品> {>} <h> 其实也很重要。
19	*	CF01A	嗯, 但是相对来说
20	*	CF01B	但是考虑到我们, 毕竟还是, 学生, 可能, 就是, 药品再一个也是比较贵。
21		<2 秒>	
22	*	CF01A	因为这个, 其实现在看来这个吃的, 如果真的是这个上面的这些东西的话, 我觉得∅是完全没有必要的。<hhh> (hhh)。如果, 如果只是这个上面的话, 我觉得可以把吃的换成药品。就是, 就是可以买一些简单的那感冒药就是。
23	*	CF01B	其实其他的东西中我觉得水也挺重要的。
24	*	CF01A	农村肯定不缺水吧。
25	*	CF01B	但是他们的水, 就是肯定水源不是, 有些可能不是很好, 或者有些就是被污染的。
26	*	CF01A	不是啊, 你不知道农村吧<hhh> (hh)。∅就是他们那儿有井水<h>。
27	*	CF01B	我知道井水, 就是, 比如说我们那种农村就是井水也是, 就是, 已经被污染了。然后就是, 然后就是政府又出钱弄的, 就是, 自来水, 就是每家每户装了自来水管, 就是井水已经喝不了。
28-1	/	CF01A	是吗↓ 我们那还可以, 而且, 就是那东西它是, 就是被弄得好好的, 就是被东西给覆盖住了, 就不会掉东西进去, 就还好。可能每个地方不一样, 你[[, ,
29	*	CF01B	]]##。
28-2	*		也可以先∅调查一下他们那<h>。
30	*	CF01B	嗯行, 那我们先了解一下他们的情况 (嗯)。反正就, 现在定的就是书和 (书和) 衣服 (衣服)。这些大家都很方便, 准备。而且应该准备的也能, 尽可能的多一些

			(嗯)。然后,就是,你,你刚才说的,食物。
31	*	CF01A	食物的话我觉得如果是这个上面的话就可以不用了。一开始我没有考虑到他这上面这些东西都是,〈咋舌〉都是这些。
32	*	CF01B	我觉得食物的话,应该是,米或者面那些(嗯)。〈如果是那些〉{<} [[
33	*	CF01A	]]〈如果是那些〉{>} , 是可以的。这些就是你看,就是上面那些,看起来就是,我们平常,平常所所说那些垃圾食品。就应该不用,就。
34	*	CF01B	但是我觉得他如,它们如果,就是,那里的孩子如果是要学习的话,也挺重要的。因为他们有可能,那边交通不是很方便,他们就,就是出去一趟∅不容易<h>,就可能没有那么多文具。
35		<2 秒>	
36	*	CF01A	呃,那,我觉得∅药品也很重要<hhh>。
37		<1 秒>	
38	*	CF01B	那是定药品还是,文具呢?
39	*	CF01A	我觉得还是,保,保证最基本的生活吧。就是如果生病了没有药的话还怎么去学习呀。
40	*	CF01B	呃,那行。
41	*	CF01A	而且就是学习,学习用的就是,有了书,我们就是,这一个种类的有书就行了。就是其他的,就像笔的话我们可以选择下一次或者,就是用其他的方法,给他们,捐捐赠过去。
42	*	CF01B	行。
43	*	CF01A	那就选这三样吧。
44	*	CF01B	那就选这三个吧。
45	*	CF01A	嗯。那书的话我们就是找同学,还有他们周围的人去,就是捐。
46	*	CF01B	就是捐书就行(啊),衣服其实我们也可以捐自己的,我是说不用,不穿的或者是怎么样(啊),然后我们也可以联系一下就是我们学校的,那个,青协(嗯)
47	*	CF01A	就想他们去,##。
48	*	CF01B	嗯,行。
49	*	CF01A	药品的话我们就,可能肯定不能,就是说让别人捐赠啊,就<h>,就得[[。
50	*	CF01B	]]我们还是出去采购。然后就可能我们要先问一下,就是,大家的捐献意向,比如说就是,让他们自愿捐嘛。看到最后看有多少钱,我们就买一些,生活必须的药品。
51	*	CF01A	还有一种不是可以拉赞助嘛。就是,就是我们帮,像他们之前的浦发银行,我们帮他宣传信用卡,让他赞助我们,我觉得那个钱可能会就是,稍微,多一些,那样子的话。
52	*	CF01B	也行。那我们就一方面是拉赞助,然后一方面是号召班里的人就是捐钱什么的(嗯)。然后这样我们看能凑到多少钱,然后再定就是买多少药品送过去。
53	*	CF01A	就买药的话,就,可能买一些基本的什么感冒药就行了,是不是?
54	*	CF01B	嗯,感冒的消炎的就差不多(嗯)。那就定这三样吧(嗯)。
63	*	CF01A	行,那就这样。

64	*	CF01B	嗯。
----	---	-------	----

CF02			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF02A	我选了
02	*	CF02B	看你选的什么？帐篷？
03	*	CF02A	书（书），还有，饮料（饮料）。
04	*	CF02B	我选的，衣服，还有药品，书。书（书）是共同的。
05	*	CF02A	嗯，那先选一个书。
06	*	CF02B	对，书拿一个。因为我觉得，毕竟，就是儿童阶段的话还是要多读书。
07	*	CF02A	嗯，我也觉得，丰富一下（对）。
08	*	CF02B	这事儿很重要。
09	*	CF02A	自己的那个，身心（嗯）。
10	*	CF02B	然后是，你，看你的的是什么？
11	*	CF02A	帐篷。
12	*	CF02B	帐篷，你觉得为啥啊？
13-1	/	CF02A	我觉得贫困地区的话一般不都是，在中国嘛（啊），西南地区，环境比较恶劣一点的地方。〈但是〉{<} [[, ,
14	*	CF02B	]]〈住所〉{>}。你说。
13-2	*	CF02A	但是他们，自然环境特别好（嗯）。所以我觉得，平时出去娱乐一下呀什么的（嗯），接触一下大自然。可是，要有老师带领着（啊，对对对），所以我觉得有个帐篷的话。就比较，方便（嗯）。而且他们那也较缺少吧。帐篷的话应该比较少。因为我们，平常是在淘宝上买啊，或者是在大型的超市啊（嗯），那他那里的话就可能没有（是）。可能需要帐篷。
15-1	/	CF02B	呃，我觉得药品（药）。药品怎么说呢，哎呀，就是，你想想如果得过病什么的，呃，如果缺乏的话（嗯），你想贫困地区它，药这东西比较贵嘛，然后，呃，你想要是有的话，家里家里必备一些药，有的话，如果家里孩子有的感冒之类的话[[, ,
16	*	CF02A	]]就是感冒发烧啊。
15-2	*	CF02B	对对，他都能有药。否则的话万一就是，没有及时治疗，留下点儿后遗症[[。
17	*	CF02A	]]特别是小孩儿，其实（对）特别容易感冒。〈长身体的时候〉{<}。
18	*	CF02B	容易感冒〉{>}。〈对，特别
19	*	CF02A	我弟就特容易感冒，什么的。长个。=
20-1	/	CF02B	=对尤其是贫困地区[[, ,
21	*	CF02A	]]特别##。
20-2	*	CF02B	不好好注意身体的话（嗯），就容易生病（嗯）。这是一个药。然后衣服的话其实我觉得，就是：。书是最重要的，然后是药品；然后是衣服。
22		<1 秒>	
23	*	CF02A	呃，衣服：[[。

24	*	CF02B	]]但是现在就是,你想现在,呃,时代发展成这样了(对),缺衣服吗?
25	*	CF02A	我觉得:现在捐赠的衣服,很多时候都捐得比较<多>{<}。
26	*	CF02B	<比较多>{>},对。
27	*	CF02A	<然后我本来想>[[。
28	*	CF02B	]]<政府会不会>{>}也有捐赠?
29	*	CF02A	呃,政府,政府捐助的,我觉得,一般的有做那些公益活动的(嗯),一些明星,我看他们捐的,都,都是书包呀,笔呀(对,对对),这些,然后还有一些,就是衣服呀,就是他们经常会用的那些(啊),所以我就觉得,<吸一口气>
30	*	CF02B	这些东西捐的比较多?
31	*	CF02A	嗯,我们可以选择一些,他们,比较特殊一点的,或者是:他们也比较需要的。
32	*	CF02B	嗯,行。那衣服咱们先不那啥(嗯)。你还有一个
33-1	/	CF02A	饮料-其实我选饮料没有想太多(啊)。就是觉得,补充营养,我看到有牛奶的时候就想[[,
34	*	CF02B	]]哦,牛奶,牛奶牛奶很重要,对。
33-2	*	CF02A	因为有,有像牛奶啊什么的(嗯),奶粉啊这些应该比较贵吧(嗯,对),我觉得比较贵(对对对),而且就中国的话,你要是专门那些奶粉的话,单一的奶粉的话,有个人就不习惯去喝(是),我觉得一些营养性的饮料的话(嗯),应该比较容易接受(嗯)。然后,上学的话,平时带又比较方便(对)。
35	*	CF02B	对对对,补充营养。
36-1	/	CF02A	嗯,你像如果捐水果呀零食这个东西[[,
37	*	CF02B	]]这就容易,<唾舌>它,它有一个时间期限。=
36-2	*	CF02A	=有个时间期限,是。我就觉得,饮料还是比较好的。<吸气>所以我们只,只能留下三个。
38	*	CF02B	留下三个?
39	*	CF02A	嗯。六个当中留下三个,就,除掉一个。
40	*	CF02B	除掉一个就可以了。就这四个除掉一个。
41	*	CF02A	书我们暂时是要(也对),然后我觉得药,<药也比较必要>{<}。
42	*	CF02B	<药药也比较必要>{>},这两个。
43	*	CF02A	这两个的话:
44			<1秒>
45	*	CF02B	这个是...,这也是饮料啊?
46	*	CF02A	这是,日本的,这边是中国的(嗯),对。
47	*	CF02B	但是我觉得饮料中,<唾舌>就是含添加剂太多了,又对身体不好(hh)<hhh>。φ喝白开水还是比较好[h]<hhh>。
48	*	CF02A	喝矿泉水(对),喝他们山泉的泉水(对对)。<hhh>(hhh)。那万一,万一是那些,
49	*	CF02B	嗯?
50	*	CF02A	地区或者是西北新疆地区。=
51	*	CF02B	=哦我们那边地区确实缺水,你想,我是西北地区的(嗯),缺水。
52	*	CF02A	那你们一般怎么办?



53-1	/	CF02B	但是, 饮料还是不建议喝。老师们都不建议喝(嗯)。缺水的话, 哎呀, 毕竟我在城市里面也没有太大的感觉到。如果去那些乡下的话可能会感觉到[[, ,
54	*	CF02A	<哦, 如果是中国的话> {<}。
53-2	*	CF02B	<感觉就缺水呀> {>} 什么的。
55	*	CF02A	中国还好(嗯), 中国还好(嗯), 因为, 好像非洲那些地方就不一样。
56	*	CF02B	咱们这边还有南水北调工程呢, 对吧(对对), 毕竟还能供给一些(嗯)。
57	*	CF02A	那就, 那就选, 帐篷。
58	*	CF02B	行吧, 我觉得帐篷挺好。那就这三个。书, 药, 帐篷(对)。帐篷比较适合他们那边儿。
59	*	CF02A	嗯, 因为夏天吧[[。
60	*	CF02B	]]我觉得他们那边儿的孩子比较, 就是, 可能老师比较喜欢领着, 出去, <接触大自然> {<}。
61	*	CF02A	春游啊什么的> {>}。<以前##> {<}。
62	*	CF02B	<对对对> {>}。以前在漫画上老看到嘛。<hh>
63	*	CF02A	我觉得以前, 我特, 我特别向往(嗯)
64	*	CF02B	对, 特别喜欢什么, 那个春季夏, 就是春季春游↑
65	*	CF02A	郊, 秋天踏个青啊啥的。
66	*	CF02B	而且你经常能看到啥的(对), 外国老有那种活动(嗯), 中, 中国就<没有> {<}。
67	*	CF02A	像> {>} 我家, 像我家住在那个山里面嘛(嗯), 我一个人就玩的, <没劲> {<} , ,
68	*	CF02B	没意思> {>}。
60	*	CF02A	嗯。然后而且还特别害怕(嗯), 我爸妈不让我去(嗯), 不让我到山里面去(嗯), 但是其实我小时候特别爱去(嗯)。我特别, 老是一个人拿着棍子就去(哇)<hhh>。我们那有野猪的。
70	*	CF02B	好厉害啊<hhh>。
71	*	CF02A	真的有野猪。
72	*	CF02B	他伤人吗?
73-1	/	CF02A	肯定会伤人吧(哦)。就包括我们家的玉米都被粪坏了。(hhh)。特别可怕。然后我觉得, 如果有帐篷的话, 毕竟是老师带领(嗯), 比较安全(嗯), 而且留守儿童也比较多(嗯), 大家聚在(对对对)一起, 多交流(嗯), 然后跟老师一起多多, 呃呃, 互相分享一下事情[[, ,
74	*	CF02B	]]<多学习> {<}。
73-2	*	CF02A	<多看一点儿东西呀> {>}。对。我觉得, <1秒>, 就是[[, ,
75	*	CF02B	]]<非常好> {<}。
76-1	*	CF02A	<也不会觉得> {>} 那么苦了(哦)。对, 就觉得生活也[[, ,
77	*	CF02B	]]非常<有乐趣> {<}。
76-2	*	CF02A	<丰富> {>} (啊)。对, 总感觉<hh>。

78	*	CF02B	好,那这样吧。
79	*	CF02A	嗯。

CF03			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF03A	你选好了吗? 可以了吗?
02	*	CF03B	可以了。
03	*	CF03A	对比,这个一样的,这个有啊。你这么喜欢读书?
04	*	CF03B	不是啊。这个,因为我觉得这个吃的,就有的垃圾食品我觉得少吃比较好。
05	*	CF03A	没有啊,它的...,它的φ重点[^]是于灾区之后的食物,并不是它是垃圾食品啊。
06	*	CF03B	它是受,受...,它不是捐赠吗?
07	*	CF03A	对啊,<捐赠食物啊> {<}
08	*	CF03B	<它不是那个> {>} 食物啊。
09	*	CF03A	那你没吃的你怎么活呀?
10	*	CF03B	这个,政府国家肯定会给的呀,肯定不会 饿死啊。我觉得是精神上的重建会比较重要一些。<咂舌>对吧?
11	*	CF03A	哎↓,活都活不下去了为什么,为什么要精神<重建呢> {<}。
12	*	CF03B	< 咂 舌 > {>} 就是因为,就是因为精神上受到了很大的创伤啊。就是一般灾后都会有,有心里重建的。因为它会<咂舌>,受到很多的心灵上的伤害,就是精神上,比身体上会更加那什么。=
13	*	CF03A	=你受灾区之后的第 1 个反应 <####> {<}。
14	*	CF03B	< 当 然是吃了> {>}。φ对,没错[<],所以国家会,先给这个 呀。所以这个吃的应该不用我们操心。
15	*	CF03A	那你,国家难道不是捐赠吗?
16	*	CF03B	<咂舌>国家是,但是我们不是以我们一个小群体的名义去 嘛。又不是我们是国家让的。而且你看都是什么泡面什 什么的
17	*	CF03A	没有,人家只是,一个,意思而已,好吗。并不是说人家只 是泡面。=
18	*	CF03B	=知道。反,反正我是觉得国家吃的,人家什么,其他什么 公司什么,都会给捐的。其实我觉得这个药品是...<咂 舌>[.]。
19	*	CF03A	]那,可是照你这么说,那这个也是啊-
20	*	CF03B	什么这个也是?药物。
21	*	CF03A	这个也算是-,国家会出资的呀。那照你这么说那还都不 用捐了。
22	*	CF03B	<hhh>那都不用捐了嘛。不是啊。我觉得这个,这个药 物,这个,这个时间...,时间比较长,然后它这个,<咂舌>, 怎么说呢,我俩都是这样选的。你是怎么想的?你为什么 会,药物?

23	*	CF03A	受灾当然是, 必需品啊。
24	*	CF03B	她说受灾? 我以为是捐给儿童呢。
25	*	CF03A	受灾, 群众。
26	*	CF03B	我一直以为是给, 就是什么山区的人, 不是吗? <hhhhh>, ϕ我听错了吗[hhh]。
27	*	CF03A	是ϕ受灾区[<]。
28	*	CF03B	受灾区啊?
29	*	CF03A	所以呢, 咱俩, 平衡一下。咱俩[[。
30	*	CF03B	]]反正你这个饮料肯定是不可以的。
31	*	CF03A	为什么?
32	*	CF03B	不是, 不是, 你给什么饮料啊。=
33	*	CF03A	=喝的啊。
34	*	CF03B	ha<咋舌>。
35	*	CF03A	你看, 除了药, 就是吃的要不ϕ就是喝的[h]。
36	*	CF03B	这个我觉得不太靠谱。你要, 你要照顾里面有孩子那些对吧。其实这些东西对他们来说就, 你给我们就吃。但是, 像, 像这种<它会有精神> {<} [[。
37	*	CF03A	]]<那意思是> {>} , 那意思是我给你你就饿死了吗?
38	*	CF03B	那国家会给嘛。我的意思是说, 可以给一些, 国家有, <哑舌>可能想不到的。因为我觉得药物, 呃, 还有什么水啊什么什么国家肯定是第一时间肯定..., 保证他们的那个那个。对吧? 肯定要满足的。=
39	*	CF03A	=那你为什么不选这些呢?
40	*	CF03B	衣服啊, 衣服我觉得<吸一口气>, 衣服受受灾, <哑舌>, 衣服我们买不起啊, 太贵了啊。
41	*	CF03A	<h>ϕ衣服买不起, 太贵了↑[h]
42	*	CF03B	对呀。这个书这些买得起啊, 衣服很贵啊, 给人一件, 这么多你怎么买, 你是买, 质量好的, 还是买质量不好的。
43	*	CF03A	当然是..., 适合的呀。
44	*	CF03B	对呀。所以钱[[
45	*	CF03A	]]为什么要?
46	*	CF03B	我们的钱不够啊。不可能啊。你要买多少套啊? 对吧? 买 10 件, 肯定不够分吧。你要买 100 件, 怎么出钱? 对吧。就像这这些量比较多然后价格比较实惠。<咋舌>还有像玩具我也觉得, 不, 不太靠谱, <###> {<} [[
47	*	CF03A	]]<玩具我觉得> {>} 不靠谱。
48-1	/	CF03B	对, 因为玩具, <也挺挺...> {<} [[, ,
49	*	CF03A	]]<压根就不靠谱> {>} 。
48-2	/	CF03B	挺贵的。然后这个, 帐篷啥的更不靠谱。所以我觉得还是<哑舌>。反正我觉得书还是, 有必要的。就是它可以在他[[, ,
50	*	CF03A	]]那你...
48-3	*	CF03B	生病的时候, 它可以有一个缓解。对它可以看嘛, 它是一个辅助。他不可能边, 边边掉着眼泪, 水, 然后边, 边边吃火腿肠吧。就就我的意思是说, 它可以在<哑舌>, 精神世界要, 对应。<哑舌>你觉得怎么样? 因为我觉书本吧, 都还是##, 就。要不然我让一步, 就吃的是不可少。我, 我不要这个了。对

51	*	CF03A	这不要了？
52	*	CF03B	对对对对。
53	*	CF03A	好。
54	*	CF03B	有书就算了。然后就这个，然后就就书。你觉得书怎么样？
55	*	CF03A	这个？
56	*	CF03B	对。
57	*	CF03A	然后嘞？再选一个。
58	*	CF03B	就三个了呀。就这三个吧。
59	*	CF03A	哦，ok。
60	*	CF03B	这是一个，一个药，一个食物，一个[[。
61	*	CF03A	]]拜托，这是前期这是后期。
62	*	CF03B	对啊，这两个是前期嘛，这个是后期嘛。对吧。我觉得水这些东西还是，国家会提供的。我们抬不起水啊。
63	*	CF03A	φ抬不起[h]。〈hhh〉(hh)。
64	*	CF03B	捐，捐水绝，绝对很low。那就这三个吧。对，一个药一个吃的一个书。同意吗？我还以为我们会选三个一样的。
65-1	/	CF03A	没有啊，我是想过要选，这些书啊，〈这些药啊，但是〉{<} [[,，
66-1	/	CF03B	]]〈我本来也是想选择吃的〉{>}，，
65-2	*	CF03A	〈但是我觉得〉{<} [[。
66-2	*	CF03B	]]〈因为我觉得吃的国家都会〉{>}，给啊，因为它是很大量的，集中的，就是我们只能给，给一部分。（那那）那还不如就，书可以传嘛，你看完了还可以给他。但东西就不可以啊。所以我就没选。这饮料这个，我就，更没想。
67	*	CF03A	没有啊。
68	*	CF03B	因为我觉得饮料是一种比较，〈哑舌〉他们不是很需要这种东西。那时候最需要〈应该是矿泉水〉{<}。
69	*	CF03A	〈是水〉{>}，那是水。
70	*	CF03B	哪有，你看90%的都是饮料好不好？所以，可能是照片误导了我。照片误导了我。如果是纯净水的话我可能会选。
71	*	CF03A	Yeah、h h
72	*	CF03B	照片误导了我。如果是纯净水的话我可能会选。
73			<2秒>
74	*	CF03B	对啊，其实药[[。
75	*	CF03A	]]如果这个是主食的话你是不是还会选？
76	*	CF03B	我肯定会选，主食啊[[,，
77	*	CF03A	]]天啊。
78	*	CF03B	主食会选。
79	*	CF03A	难道这不应该是，根据这两个引申出来的含义吗？他只是代表那种，那种物质啊。那一种。不是[[。
80	*	CF03B	]]那我觉得那就这样吧。那就把药给淘汰好了。
81	*	CF03A	不行啊。你说，我我坚决不同意的淘汰，那个药。
82-1	*	CF03B	那不就行了。那你这两个肯定要淘汰〈一个啊。书肯定〉{<} [[,，
83	*	CF03A	]]〈好啦好啦。那那就〉{>}

82-2		CF03B	我觉得精神世界肯定是要, 对应, 这个肯定不能删掉。这个是药物嘛, 这这这个是什么? <吸一口气>这个是活下去的那啥。就是精神上的支柱。对吧? 不一样。
84	*	<1 秒>	
85	*	CF03B	就要这三个。
86	*	CF03A	好了, 就这三个吧
87	*	CF03B	还是把你的水给你淘汰掉吧。你觉得呢?
88	*	CF03A	可以。
89	*	CF03B	可以吧?
90	*	CF03A	嗯, 那你就渴死吧。
91	*	CF03B	我怎么可能渴死掉。国家肯定会给我。<hhh>。就这样吧, 我觉得价格上都挺适合的。=
92	*	CF03A	=那跟价格不价格的什么关系?
93	*	CF03B	当然有关系了。像药那些贵的你能买得起吗? 肯定不可能。我们只能, 只能提供一些比较什么, 什么创可贴, 什么, 海..., 那个什么东西, 棉, 棉签啊, 什么什么东西。对呀, 那些很基本的东西。那些贵的我们怎么可能提供的起呀。对吧。
94	*	CF03A	不是啊, 重点是, 人家那些贵的也不需要啊。
95	*	CF03B	什么不需要。那是因为我们, 人家也需, 国家会给啊。什么不需要。
96-1	*	CF03A	地震不都是[[, ,
97	*	CF03B	]]地震压的那些不用<药啊? >{<
96-2	*	CF03A	<不都是> {>} 创伤嘛。
98	*	CF03B	止痛啊。
99	*	CF03A	受灾区的, 一些止血。
100	*	CF03B	用药量特别大呀。所以只能是[[
101	*	CF03A	]]重点是用药量大。
102-1	/	CF03B	对呀。但是我们买[[, ,
103	*	CF03A	]]那就这三样吧。
102-2	*	CF03B	我们买创可贴可以买好多。<hhhhh>
104	*	CF03A	<叹气>↓ 无耻, 好了, 三样, 决定了。
105	*	CF03B	同意了吗?
106	*	CF03A	同意。
107	*	CF03B	好, 合作愉快

CF04			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF04A	我选好了。咱俩这个一样啊, 这个就不用讨论了。
02	*	CF04B	行, 这, 然后, 这, 这三个, 这四个。
03	*	CF04A	对。主要, 主要我认为这个书吧, 就是我们也, 会买那种书, 所以我们可以捐赠啊, 就是这些书啊。=
04	*	CF04B	=是考虑到经费(经费)的问题是吗?
05	*	CF04A	对, 还有还有这个铅笔, 主要就是经费。铅, 铅笔这些就是在那边, 呃, 怎么说呢也属于这种比较那个啥, 也是经费方面的。还有这个东西在那边比较实用。我是觉得 [[
06	*	CF04B	]]可是我觉得这个更实用啊。

07	*	CF04A	哎↓ 不是你<这个> {<} [[, ,
08	*	CF04B	]]<这个> {>} 是经费的问题,可是我觉得,它可能,它可能会需要到,药,药品。
09	*	CF04A	可是,药品的话这也属于这就是国家会[[。
10	*	CF04B	]]国家应该不会提供的,国家只会提供吃的,呃,被品,就是,比如说被子什么的。
11	*	CF04A	但是我们也提供不了。贵。这这很贵的。
12-1	/	CF04B	不会啊,这是普通的药啊,就是[[, ,
13	*	CF04A	]]没有,你去你去那个药店买[[
12-2	*	CF04B	]]感冒消炎啊,常备的药品。
14	*	CF04A	嗯,我主要觉得这个还是因为...我们没有那么多资金来买那么多药品,因为你要买的话肯定要买很多,而不是买一点点,对吧?
15	*	CF04B	我觉得买多少都是我们的心意呀[[。
16	*	CF04A	]]可是你现在[[
17	*	CF04B	]]这个这个<音快>,本来就可以捐赠(嗯),就不用买新的。然后这都是捐赠,都不用,一分钱都,都不用花的吗?
18	*	CF04A	对啊,不是。不是啊,这书吧,我们我们可以选,我们可以自己选,就是说,我们知道选什么书是他们需要的。
19-1	/	CF04B	我觉得他们,目前[[, ,
20-1	/	CF04A	]]<但是但是> {<} , ,
19-2	*	CF04B	<可能不需要呢> {>} 。
20-2	*	CF04A	这个药[[。
21	*	CF04B	]]因为他们刚经历完灾难你让他们看书(笑),是不是有点儿为难人<笑着说>?
22-1	/	CF04A	但是,药品的话还是说,你如果捐的话你要考虑一定的数量嘛,你总不能圈一点点。但是如果是大批的话你肯定,很贵。对吧? 你有[[, ,
23	*	CF04B	]]我们, ,
22-2	*	CF04A	你有那多经费来买吗?
24	*	CF04B	我们不会捐赠很大批的呀。我们尽我们自己所能就好了,能帮助多少是多少啊。可是你捐的这种,我觉得起码要等,一两年之后才会弄到吧。难道,人家刚,经历完什么,地震什么的,就要,拿起来看书吗↑ (笑)反正我觉得,如果是我的话我是不会的。
25	*	CF04A	那你选这个的理由是什么?
26-1	/	CF04B	实用啊。他们肯,肯定会生病啊,经历过灾难之后[[, ,
27	*	CF04A	]]不是。
26-2	*	CF04B	如果国家的备品什么的没有及时到达的话,他们很可能会感冒。感冒药。它们有可能会,因为喝水少啊什么的上火,什么的。所以,我觉得基本的药是是比较需要的。=
28	*	CF04A	=我觉得药品国家应该是会提供的吧。
29-1	/	CF04B	不会的, ,
30-1	/	CF04A	<不,它: 在: > {<} , ,
29-2	*	CF04B	<救急灾难没有> {>} 。
30-2	*	CF04A	在在灾区,它肯定会有那个什么,会有,救援人员,他肯定会有那个什么,在这个救援方面,肯定会有备用药品什么的。
31	*	CF04B	人家救的一般是那种,就是被地震,砸伤的那种。你得了个小感冒,你好意思去跟人家挤吗

32	*	CF04A	那你有没有看你这个是什么少儿的, 那你有没有考虑到成年人?
33	*	CF04B	当然是, 我们就是捐赠给孩子的呀, 你忘了。
34	*	CF04A	是吗?
35	*	CF04B	对呀。
36	*	CF04A	好吧。可是我觉得这个也很不实用啊。
37	*	CF04B	洗漱用品不实用吗↑他们不刷牙洗脸的吗?
38	*	CF04A	那也不一定是, 地...震吧?
39	*	CF04B	唉↓, 也许是火灾呢。不对, 火灾不算灾难。
40	*	CF04A	还不算灾难?
41	*	CF04B	那也..., 也可能是地震啊。
42-1	/	CF04A	那也不一定是对吧。你你买洗洗漱用品<就是家家> {<} [[, ,
43	*	CF04B	]]<还有什么> {>} ?
42-2	*	CF04A	<家家都有> {<} [[, ,
44	*	CF04B	]]<还有什么> {>} ?
45-1	/	CF04A	像, 像什么, 你看什么, 天灾. 是吧↑<人家肯定> {<} [[, ,
46	*	CF04B	]]<比如呢> {>} ?
45-2	*	CF04A	肯定什么干旱啊, 洪涝啊, 对吧- 然后, 人家就肯定会备着有的是吧↑也不一定用得着对吧。
47	*	CF04B	反正我觉得我这个是...
48	*	CF04A	你你说你是以, 你是以地震来说那个需要这个药品是吧, 其他的灾难也可以说这个是备用的。但是, 如果, 如果它是那个什么呢, 干旱呢? 你[[。
49	*	CF04B	]]如果是干旱的话我觉得不需要紧急物资。
50	*	CF04A	哪儿不能, 哪儿不需要了。
51	*	CF04B	需要紧急物资就需要这个, 这个就是紧急物资。
52	*	CF04A	它都没水了, 他刷∅什么牙, 他还吃不吃饭 h。
53	*	CF04B	吃饭不是有国家提供嘛[[
54	*	CF04A	]]那你觉得[[。
55	*	CF04B	]]反正我觉得这个, 这个很重要, 同意吗?
56	*	CF04A	这个我不同意。那个我勉强同意。
57	*	CF04B	好啦, 同意。
58	*	CF04A	这个我不同意。假如你看, 你看如果它是, 它是干旱啊, 或是洪涝啊, 是不是还得继续读书, 他是不是继续写字 (<笑>), 而且[[。
59	*	CF04B	]]你真是太逗了。你为什么会想别人, 别人灾难过后给别人捐书和捐笔呢<笑着说>。
60	*	CF04A	主要是因为[[。
61	*	CF04B	]]但如果给你你会开心吗? <笑着说>
62	*	CF04A	我不开心<笑>, 但是没有办法, 国家就是, 就是这样干的。(笑)
63	*	CF04B	哎, 你好好玩儿啊<笑着说>。
64	*	CF04A	不, 大家捐都捐赠那个, 这个书啊, 还有这些是我们能够提供出来的。
65	*	CF04B	还是经费的问题是吧?
66	*	CF04A	嗯。这这, 就是<这个> {<} [[。
67	*	CF04B	]]<这个> {>} 这个便宜, 是吧?
68	*	CF04A	对啊。

69	*	CF04B	这也不便宜, 这个便宜。=
70	*	CF04A	=这个便宜呀。
71		<1 秒>	
72	*	CF04A	<这个便宜呀> {<} [[。
73	*	CF04B	]]<所以嘛> {>} , 我们, 我们现在就只能选一个了 (啊)。你先自己选一个然后咱们再辩论吧。
74-1	/	CF04A	我们[[, ,
75	*	CF04B	]]<你想想, 想想> {<}
74-2	*	CF04A	<我们还有一个, 一个问题> {>} [[。
76	*	CF04B	]]<不是, 你先想一想> {<} 。
77	*	CF04A	]]<咱们是咱们是哪个> {>} , 哪个年, 年龄段的孩子?
78	*	CF04B	你管人家那。
79	*	CF04A	<笑着说>如果是小孩子我们要捐赠的是这个。大孩子我们要捐赠[[。
80	*	CF04B	]]大孩子可以捐赠钢笔嘛。
81	*	CF04A	这有钢笔吗?
82	*	CF04B	哎呀, 可以有, 扩展吧。
83	*	<2 秒>	
84	*	CF04A	可是我们可以, 我们可以[[。
85	*	CF04B	]]选出来了吗? 你可以啥?
86	*	CF04A	捐赠。
87	*	CF04B	啥?
88	*	CF04A	我们可以, 捐赠哪些... (啊) 钢笔。<两人都笑>。对吧? 对吧? 你说人家干旱的时候你总不能给人家牙刷。饭都吃不, 他都没有水吃饭, 你还给他牙刷刷牙吗。
89	*	CF04B	可是我觉得大多数的灾难需要啊。
90-1	/	CF04A	不会啊。如果, 除了, 地震这些把东西都, 全部都[[, ,
91	*	CF04B	]]<可是大部分都需要啊> {<}
90-2	*	CF04A	<埋藏了> {>} 。哪种?
92	*	CF04B	洪水 (嗯), 地震 (嗯), 呃<音长>, 还有, 台风↑
93	*	<5 秒>	
94	*	CF04A	台风也算吗?
95	*	CF04B	不然呢。它算什么?
96	*	CF04A	但是它也不一定把房子给, 吹塌了呀。
97	*	CF04B	没吹塌我们为什么要救它。
98	*	CF04A	但是, 洪水的话, 它也不一定把那个..., 什么吧, 它有可能只是[[。
99	*	CF04B	]]咱们可不可以回到点儿上[[
100	*	CF04A	]]对啊<笑着说>
101	*	CF04B	不要讨论人家<房子塌不塌> {<} 。
102	*	CF04A	<我, 我, 我支持这个> {>} 。文具用品是咱们, 是咱们, 就是我们来做嘛, 然后我们来做, 从各方面来考虑的话, 我们经费呀, 还有我们能所能够做的, 这个比较靠谱。像这种你总不能, 只是一小瓶, 你到底分给谁, 是吧?
103	*	CF04B	啊↑ 牙刷也很便宜呀。
104	*	CF04A	你就, 你就只买牙刷, 那你...还要买铅笔什么的。
105	*	CF04B	那当然不一样了呀。<牙刷是刷牙的> {<} [[, ,
106	*	CF04A	]]<有什么不一样的> {>} <音快>。
107	*	CF04B	铅笔是写字的。



108	*	CF04A	是啊。=
109		CF04B	=唉,你这人。
110	*	CF04A	你说人家那些,什么,凿壁通风啊,都在学习啊。你这,总不能那个什么就不学了对吧?(笑)是吧?
111		CF04B	我真的没有见过你这种人<笑着说>。<两人都笑>。在人家遭受灾难的时候给人家捐赠笔。
112	*	CF04A	唉,以后我从事教育。那个什么,天将降大任于斯人也。<笑>
113	*	<6秒>	
114	*	CF04A	看看我<自言自语>。
115	*	<4秒>	
116	*	CF04A	再说一个经历了那么大灾难的人,他有心思收拾自己,刷得...,刷得香香的吗。没有吧?你见过谁经历,经历了大难以后,第1反应就是先把自己收拾干净。=
117	*	CF04B	=可是我觉得第2反应就应该想起来了吧。
118	*	CF04A	但是家长肯定会,不管有多那个,那个什么,孩子肯定会让他读书的,肯定会监督孩子读书,绝对不会放过他们的,你要相信我。
119	*	CF04B	哎呀~我觉得你是,遭受过苦难的人。
120	*	CF04A	遭受过读书的苦难。
121	*	CF04B	哎~<2秒>心里阴暗啊你。<笑>
122	*	CF04A	唉↑咋嘞,你这个,谁有心情刷牙呀,你看家都没有了,他一反应[[
123	*	CF04B	]]还要读书啊?
124	*	CF04A	唉↑可是,大人肯定要监督孩子读书啊。你见过哪家父母因为经历过天灾,然后孩子就不读书,就随他去了,肯定是押着读的。
125	*	CF04B	我又没有说不读书啊。我肯定这些,不是急需的东西。
126	*	CF04A	这个也不是急需的呀,<第一个>{<}[[。
127	*	CF04B	]]<当然是了>{>}。
128	*	CF04A	咋是了↑你,刚经历过灾难是不是,<你现在>{<}[[
129	*	CF04B	]]<##>{>}你自己吗?
130	*	CF04A	你...,你...,你自己[[。
131	*	CF04B	]]万一吃进去脏东西呢?
132	*	CF04A	还有心情考虑那个吗。家都没有了<肯定就##>{<}[[。
133	*	CF04B	]]<这至于大考虑嘛>{>} - 他吃进脏东西他是不是就生病了?
134-1	/	CF04A	但是有的人他就不考虑,很...,<大部分大部分...,你见过吗?>{<}[[, ,
135	*	CF04B	]]<他不用考虑啊,他生病还用考虑嘛>{>}。
134-2	*	CF04A	你见过灾区的吗?
136	*	CF04B	你...,搞得好像你见过一样。
137	*	CF04A	我在电视里见过,看着那些人[[
138	*	CF04B	]]唉↑谁没有看过电视啊,你...
139	*	CF04A	你见过谁第一反映经过天灾以后,需要的是这些<洗漱用品>{<}[[。

140-1	/	CF04B	]]<我见到的> {>} [[, ,
141	*	CF04A	]]而且<你经历了> {<} [[。
140-2	*	CF04B	]] <我看到的是> {>} 吃饭喝水的, 然后国家有捐赠那个。就是, 会投放物资就是, 什么被子啊, 矿泉水啊, 还有各种什么面包啊<之类的> {<} [[。
142	*	CF04A	]]<但是...> {>} 但是你, 你说的, 你说的地震啊, 首先它地震以后, 它的水是从哪来。水资源是不是很紧急。这个情况下他是, 他还有..., 他还能用仅有的水<来刷牙吗> {<} [[。
143	*	CF04B	]]<来来> {>} 你解释解释你的, 你不要驳, 驳论我的, 来来。
144	*	CF04A	啊啊↑, 我解释我的呀。那肯定<父母> {<} [[, ,
145	*	CF04B	]]<吃饱饭后> {>} 就拿起书, 开始写字是吗? =
146	*	CF04A	=父母肯定是这样对孩子的。
147	*	CF04B	我就不信。<两人都笑>
148	*	CF04A	<笑着说>但是你这个也不现实啊。你说, 就拿地震来说, 地震以后是不是什么东西, 所有的水它肯定会震得很, 特别浑浊, 这个这个[[。
149	*	CF04B	]]震[^]得特别浑浊。是什么鬼?
150	*	CF04A	它不浑浊吗。难道你你的地震山摇之后, 你那些水还是清澈的还可以喝还可以用? 那那就是, 水资源都是一个问题, 你这个时候你要考虑吃饭问题。谁有那么多水资源给你来洗漱, 给你来打理自己。肯定是要先熬过那段时间以后, 它才会, 才会有心情, 还有还有这个条件来让你洗漱对不对?
151	*	CF04B	所以, 当时就有心情去写字吗?
152	*	CF04A	吃饱了以后, 再, 过几天, 父母肯定就, 孩子肯定就要学习了。
153	*	CF04B	开什么玩笑。
154	*	CF04A	那不然你要等那个, 家长, 你觉得家长会让孩子...
155	*	CF04B	你就是强行读书。 (<笑>)
156	*	CF04A	咱们国家制度就是这样, 强行读书啊。
157	*	CF04B	没有吧。
158	*	CF04A	没有吧↑, 那补课是咋回事啊? 补课, 还有还有什么[[。
159	*	CF04B	]]这个呢?
160	*	CF04A	呃↑ 你要拿个理由说, 说服我。你看你经历洪涝以后也是你的[[。
161	*	CF04B	]]你是不是每天起床第一件事是刷牙?
162	*	CF04A	但是, 但是我没有经历过灾难呀, <所以有些> {<} [[。
163	*	CF04B	]]<你经历过> {>} 灾难之后, 就是, 先吃饭不刷牙吗?
164	*	CF04A	你有水资源吗? 我想问你。你经历灾难以后那些水能饮用吗。肯定是得别人来提供。你见过那些山区的, 就是他们经历过地震以后, 那些水是怎么来的。你见过吗? 就是, 就是[[。
165	*	CF04B	]]有山泉水。
166	*	CF04A	地震以后你还喝山泉水, 你嫌那个水[[。
167	*	CF04B	]]不喝啊, 刷牙。

168	*	CF04A	那种颜色的水你喝,你见过人家那个,你看河河水的话就是,在那流的时候它都是浑浊的。那个经过,那个摇晃,剧烈震动之后那个水,它还是清澈的吗。你还刷得下去吗?假如给你一杯水里面放了土,你还能够...,若无其事的把,继续刷牙?
169	*	CF04B	你也可以用它来洗脸啊。
170	*	<3 秒>	
171	*	CF04B	呃↑
172	*	CF04A	呃↓
173	*	CF04B	呃↓
174	*	CF04A	哼哼,没有经过任何加工的水,你就,你就给他那个啥。
175	*	CF04B	古时候的水不都没有经,经过任,任何加工吗。
176	*	CF04A	但是灾区的时候,最,最容易发生疾。病对吧?这时候你不是说了,要把自己清理干净,是为了预防什么什么疾病之类的。
177	*	CF04B	也为了自己的干净。
178	*	CF04A	那你现在,你现在,使用的那些,那个水里边肯定带有很多那个...,没有没有经过处理的水,原生态的,肯定带有很多细菌啊什么的[[。
179	*	CF04B	]]洗脸。
180		CF04A	到时候万一万一你脸受受伤了,万一你洗干净了,你的伤口就开始<吸一口气>
181	*	CF04B	我为什么要洗伤口呢?
182	*	CF04A	你不说洗脸吗。
183	*	CF04B	我必须脸上有伤才能洗吗。=
184	*	CF04A	=那你[[。
185	*	CF04B	]]我可以绕过啊。
186	*	<3 秒>	<hhh>(hhh)
187	*	CF04B	<你知不知在讨论的什么[音长]>{<}。
188	*	CF04A	<我我,我不赞同>{>}<笑着说>。我不赞同,反正水资源是个大问题
189	*	CF04B	所以解决的水资源就可以拿它了是吗?
190	*	CF04A	不行。你是不是牙膏和牙刷得配套的?<2 秒>。你总不能给人家牙刷然后不给人家牙膏,这是,还有必要刷牙吗。<笑>
191	*	CF04B	我们可以只捐赠其中的一样呀。捐赠香皂。或者是什么,呃【音长】,一个是杀菌皂或者是什么,杀菌消毒的,什么洗手液啊,或者是一个香皂啊什么的。
192	*	CF04A	我觉得那个时候大家心里,心里是不会想着,要去: [[。
193	*	CF04B	]]我觉得更不会想着写字。你闭嘴。
194	*	CF04A	但是,但是父母肯定会让孩子写的。
195	*	CF04B	我觉得,如果是我妈妈的话不会那么恶毒的。
196	*	CF04A	这不叫恶毒,其实是天下父母都是希望孩子好好学习。这很常态。在中国<很常态>{<}。
197	*	CF04B	你这是>{>}狡辩好不好。我真的觉得[[。
198	*	CF04A	]]我没有。
199	*	CF04B	你没有?<笑>
200	*	CF04A	没有。

201	*	CF04B	问问自己的良心。<###> {<>}
202	*	CF04A	<良心还在> {>} , 没有。我们不管发生什么事情, 即使是, 反正在, 在我们, 就是在那个偏远山区不管什么事情, 首先孩子要读书要写字, 不管你[[。
203	*	CF04B	]]可是为什么放假了你就不写?
204	*	CF04A	那我放假回去了呀↑
205	*	CF04B	连放假的你都不写[[, ,
206	*	CF04A	]]<那是因为我大了呀> {<>} , ,
207	*	CF04B	<你还想着> {>} 【音慢】 灾难之后要写吗。
208	*	CF04A	那是因为我长大了呀。
209	*	CF04B	你弟弟放假写吗?
210	*	CF04A	写啊。为什么不写。
211	*	CF04B	瞎说。
212	*	CF04A	我们, 我们小的时候, 你说的灾区, 其实在那那种偏远的地方, 就是所有像我们这年龄段的孩子, 不是我们这, 就是比我们小一点的。他们在, 在我们那边, 就是读书, 他们说唯一的出路, 所以孩子是不能不读书的。而这种发生灾难的, 一般就发生在那种地方吧? 你见过大城市有发生这样的吗? 很少吧。所以灾区是不是应[[。
213	*	CF04B	]]可是我说的不是不读书(嗯), 现在我们捐赠的是紧急物资(嗯)。我觉得这个, 它..., 首先它根本就不属于这个范畴。
214	*	CF04A	但是我..., 那, 如果是这样的话, 我觉得这个可以。你可以找一些治愈, 治愈他们心里, 一些, 向上<阳光的书籍给他们看> {<>} [[。
215	*	CF04B	]]<我觉得还是, 我觉得还是> {>} 身体健康排在前面。
216	*	CF04A	但是你刚经历了大难以后, 你有[[, ,
217	*	CF04B	]]就要看书?
218	*	CF04A	你你<有心情那什么> {<>} [[。
219	*	CF04B	]] <就要看书治愈心灵> {>} ?
220	*	CF04A	对啊<笑>。你可以看, 挑一些, 那些, 积极向上啊, 还有阳光的一些, <开解他们的一些> {<>} [[。
221	*	CF04B	] <所以你反悔了是吗> {>} ? (<笑>)。所以你要捐赠这个啦?
222	*	<3秒>	
223	*	CF04A	对。既然不要有这个, 那我就捐这个。但是, 我觉得 [[。
224	*	CF04B	]]你不要一会儿又反悔。(<笑>)。<你先选好> {<>} 。
225	*	CF04A	<不反悔> {>} 。就这个。
226	*	CF04B	哦, 选这个啦。接下来
227	*	CF04A	捐赠那些: 治愈心灵的书籍。
228	*	CF04B	治愈心灵的书籍 [√] 。
229	*	CF04A	对啊, 在在这种[[。
230	*	CF04B	]]可是我觉得它也不属于紧急物资。它属于一个奢侈品。
231	*	CF04A	怎么就奢侈了?
232	*	CF04B	读书本来就是一件奢侈的事情。

233	*	CF04A	可是我用,每个[[。
234	*	CF04B	]]它才是最基本的。
235	*	CF04A	谁说它才是:最基本的。我们我们是不是很多,很多学生都是买的这种书?都是买有课外书啊,什么的。〈我们可以把这些书捐赠出去〉{<}。
236	*	CF04B	〈没有啊。你买了吗〉{>}?
237	*	CF04A	啊?我有啊。
238	*	CF04B	〈你买,你买〉{<},,
239	*	CF04A	〈我有,我有〉{>}。
240	*	CF04B	你,你买了什么?你告诉我。
241	*	CF04A	我没有买,但是我有啊。
242	*	CF04B	你有什么?
243	*	CF04A	虽然我不属于那种爱读书的人,但是[[。
244		CF04B	]] 〈你有什么〉{<}?
245	*	CF04A	〈基本很多人都有〉{>}。
246	*	CF04B	你有什么?【音重】
247	*	CF04A	课外书籍啊。
248	*	CF04B	比如呢?
249	*	CF04A	比如:忘记名字了。
250	*	CF04B	诶呦,我就知道你没有,行了你。
251	*	CF04A	行了。但是我不同意你[[。
252	*	CF04B	]]你都活了20几岁了你都不看。人家刚刚,刚刚经历完灾难就要看。
253	*	CF04A	但是你可以[[。
254	*	CF04B	]]知道什么叫己所不欲勿施于人。
255	*		〈2秒〉
256	*	CF04A	在,在灾难的时候,不应该来一些心灵鸡汤吗?让他们〈和####一样啊〉{<}[[。
257	*	CF04B	]]〈难道你经历完灾难之后〉{>},我应该给你这个吗?
258	*	CF04A	你可以给我念啊。=
259		CF04B	=我是不是应该给你这个?
260	*	CF04A	你给我这个〈我也没有〉{<}[[,,
261	*	CF04B	]] 〈你是不是很想##〉{>}?
262	*	CF04A	没有啊,我没有心情去刷牙,我没有心情去洗漱啊。我刚经历过灾难,首先我吃饭,我的温饱问题,压在我身上。我现在,还有心情去...,去刷牙吗?还有如果〈没有水资源〉{<}[[。
263	*	CF04B	]]〈然后你就有〉{>}心情去净化心灵?是不是很奢侈?
264	*	CF04A	是[^]很奢侈,但是,〈我觉得你那个〉{<}[[。
265	*	CF04B	]]〈是很奢侈你还选它〉{>}?
266	*	CF04A	嗯。
267	*	CF04B	来,咱们再讲一下经费问题。
268	*	CF04A	来啊。
269	*	CF04B	一本书我觉得起码是二三十加了吧?
270			〈1秒〉
271	*	CF04A	嗯。
272	*	CF04B	一块香皂,五块钱。

			全家都可以用。〈2秒〉但是一本书,不可能:,全家人一起看吧?
273		〈2秒〉	
274	*	CF04B	全家都可以用。
275		〈2秒〉	
276	*	CF04B	但是一本书,不可能:,全家人一起看吧?
277	*	CF04A	可以传阅啊。
278	*	CF04B	可以传阅是吧?意思就是说一个人看完另外一个人看。是不是?
279	*	CF04A	可以大家一起看。
280	*	CF04B	大家一起看看的下吗?你要买这么大的书吗?
281	*	CF04A	我不买那么大的书【音快】,我就买[[。
282	*	CF04B	]]这么大的书,是吧?
283	*	CF04A	嗯。
284	*	CF04B	有限是不是?可以几个人一起看?我觉得可以两个人一起看吧(嗯)。可是两个人看完之后(嗯),才能[[,,
285	*	CF04A	]]可是,,
286	*	CF04B	传阅给下两个人是不是?
287	*	CF04A	可是这个书可以一直看呀。你这香皂总有用完的时候。对吧?
288	*	CF04B	唉↑,你要这么说的话,书还有看破的时候呢〈笑着说〉。
289	*	CF04A	书...
290	*	CF04B	而且我觉得它[[。
291	*	CF04A	]]它的保质期比较长。
292	*	CF04B	而且,而且,经费的话,这个药品,呃,药品的话...
293		〈3秒〉	
294	*	CF04A	消炎药,消炎药是12块吧?我们那边消炎药(嗯)。你们那边是是多少? [√]
295		〈4秒〉	
296	*	CF04B	我们买消炎加感冒药。就算是,最便宜的,算成:30。最便宜。我觉得都买不到。30,然后买10个的话就300块钱。然后我们班就按30人算,300块钱,每个人每个人10块了吧。如果买书的话,你不可能买一本吧。买几本?十本吗?
297	*	CF04A	但是如果像你说的[[。
298	*	CF04B	]]在20到30中间取中间数25,10本的话是250。对,这个数字不太好〈两人都笑〉。按30,按30一本算,买十本是300块钱,我们一个人是20块钱。可是我们买10块儿香皂的话,可以拿这个钱,我们...可以买20块香皂,就是,才100块钱。
299		〈2秒〉	
300	*	CF04B	对不对?
301	*	CF04A	对。
302	*	CF04B	我们可不可以买这个?
303	*	CF04A	可以。
304	*	CF04B	同意了吗?
305	*	CF04A	同意了。
306	*	CF04B	好的。
307	*	CF04A	哇,简直。

308	*	CF04B	(笑)哦,所以衣服是我们自己捐赠(嗯),我们班里自己捐赠。然后这个是,决定买香皂,杀菌消毒的。呃,药品的话是买消炎感冒的。对吧?
309-1	/	CF04A	但是我觉得消炎这,这个药,应该国家会有提供。反正在紧急的情况下,肯定会带有哪些[[,,
310	*	CF04B	]]我觉得应该是:
309-2	*	CF04A	预防,<预防疾病的什么的。应该是有预备考虑>{<}。
311	*	CF04B	<对,但是,我觉得咱们不用考虑那么细>{>},可能是,先紧着,那些重伤:
312	*	CF04A	外伤,你说的是外伤(对)。但是如果在经历大灾难的时候,它肯定会在预防方面会有一些物资。
313	*	CF04B	啊,是啊。可是跟我们没有关系。我们是治,我们是消炎和治感冒的。
314	*	CF04A	嗯。讨论结束。
315	*	CF04B	好的。

CF05			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF05B	我选这三个。
02	*	CF05A	我也觉得是这三个。
03	*	CF05B	第一,第一,我们把第一个挑,把这两个挑出来。
04	*	CF05A	你你也挑衣服和笔,是吧?
05	*	CF05B	对,就这个不一样。你为啥不挑,药?
06	*	CF05A	因为我觉得,玩具就,小孩子们都挺喜欢玩具的,就...<hhh>(hh)。
07	*	CF05B	可是我觉得你这个,我觉得这个药应该会更好点,因为药万一人家生病了你离不开。药,最主要的应该是,吃药最好了我觉得。应该,人家也有玩具,万一つひとつ生病了人身体都没有了,那你还怎么好,怎么玩呢。
08	*	CF05A	可是我觉得,玩具能够发挥,就小孩子,想象能力啥的。
09	*	CF05B	要是你没有那个经济基础的话,(##),你怎么能,对吧。这两个是确定了哈,然后我们就在这两个中选一个。投票吧↑
10	*	CF05A	就药和这个,吧?
11	*	CF05B	对。这是玩的。这个是,主要的,我觉得,嗯。
12	*	CF05A	我觉得这个也挺好的呀。
13	*	CF05B	那两个... (hh)<h>。
14	*	CF05A	φ对呀[h]。
15	*	CF05B	可是我觉得,万一这里,万一那里没有##[[
16	*	CF05A	]]不是山区吗? 对吧。
17-1	/	CF05B	对呀,山区万一[[,,
18	*	CF05A	]]山区,肯,肯定身体挺好的(hh)。锻炼啥的,对吧(hh),走个山路啥的。
17-2	*	CF05B	万一有疾病怎么办?
19-1	/	CF05A	疾病[[,,
20-1	/	CF05B	万一他们[[,,
19-2	*	CF05A	]]疾疾

20-2	*	CF05B	山区里面的, 那个啥, 医务室不是很少, 很难治病, 万一就是如果, 就他那个医务室比较远, 山区什么的, 没有条件去治疗, 还有那个东西, 应该是药。
21	*	CF05A	嗯, 好像是。
22	*	CF05B	φ是吧[h]? <hh>。
23	*	CF05A	是[h]
24	*	CF05B	φ那要不, 抛弃这一个 [h], 要药。要不然, 你你[[。
25	*	CF05A	]]玩具好像也...
26	*	CF05B	我觉得要是, 如果是玩具的话, 应该是他们条件差不多的, 就这些, 这些东西, 药什么的物资这些东西很好的话的基础上, 就可以捐(才可以), 捐书, 捐药, (捐玩具呀) 捐玩具啥的呀。
27	*	CF05A	嗯, 我也这么觉得。
28	*	CF05B	是吧? 要不然[[。
29	*	CF05A	]]那就, 挑三个, 是吧?
30	*	CF05B	对, 三个。那就这两个不是共同[[。
31	*	CF05A	]]那这个不要了。
32	*	CF05B	这个不要了, 那就挑出来挑出三个是吧?
33	*	CF05A	嗯, 其他的应该, 书啥的, 肯定是看不怎么看得懂。
34	*	CF05B	呃↑ <hhhhhh>
35	*	CF05A	φ是吧[h]?
36	*	CF05B	你这句话是错的。我觉得要是, 要是书的话, 其实我也可以选书。
37	*	CF05A	选书的话怎么能看得懂, 对吧, 又不是漫画啥的, 这些全是。哦, 也可以捐漫画书。
38	*	CF05B	是吧↑ 那个, 那个电视上演的, 都是, 电视电视上演的, 那个山区。我觉得这两个应该是同步的, 这两个是同步的。
39	*	CF05A	对。但是我觉得, 这些: , 看和动手的话, 动手, 比较, 比较重要。这个笔更好。是吧?
40	*	CF05B	笔更好?
41	*	CF05A	嗯。
42	*	CF05B	再说那有老师可以让那老师讲(对), 那就笔吧(对)。衣服可以保暖(嗯), 衣服是实在的(对)。然后, 那就剩这个药了哈。药就, 就这个药吧。(嗯)。没有其他的了吧?
43	*	CF05A	没了, 应该没了, 没了。
44	*	CF05B	哦了, 达成一致了, 合作就是这么愉快 <hhhhh>(hhhhhh) 。
45		CF05A	我们还需要干嘛?
46	*	CF05B	万一, 日本那边不是多很多地震嘛。帐篷是不是也是比较必须的?
47	*	CF05A	可是不是只能挑三个吗?
48	*	CF05B	哎呀, 我觉得要是, 要不, 退一个。
49	*	CF05A	你退哪个?
50	*	CF05B	把衣服给退了? 把帐篷买了。不行, 万一人家(可是, 可是), 山区的话, 山区的话[[。
51	*	CF05A	]]应该, 暖和还是挺重要的吧?
52	*	CF05B	我也觉得, (##) 到时候山区不好搭帐篷, 怎么办。
53	*	CF05A	对。
54		CF05B	行, 那就着吧, 三个选出来了。



55		CF05A	嗯。
----	--	-------	----

CF06	発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
	01	*	CF06B	选好了吗?
	02	*	CF06A	选好了。选了这三张。
	03	*	CF06B	你选了什么?
	04	*	CF06A	选的, 书, 衣服, 还有...
	05	*	CF06B	这饮料?
	06	*	CF06A	还有油。
	07	*	CF06B	那是饮料, 宝贝。那是茶。
	08	*	CF06A	那那饮料, 就是饮料(嗯), 对。
	09	*	CF06B	我选的是药品, 书, 还有笔。笔, 纸笔嘛, 就是工(嗯), 就是那个文具。
	10	*	CF06A	学习用具是吧。
	11	*	CF06B	对对对。那你先说吧。你先说你的理由。还是我先说?
	12	*	CF06A	你说, 不是...
	13	*	CF06B	那咱们有一样的吗?
	14	*	CF06A	一人说完三个, 还是一人一个? 理由。
	15	*	CF06B	呃, 就一人说三个吧。咱们有一样的吗?
	16	*	CF06A	有一样的啊, 书嘛。
	17	*	CF06B	就书是一样的。(嗯), 那你先说吧, 你先说你的三个理由。
	18	*	CF06A	先说, 先说, 这个, 书吧。从教育方面。是, 那些... 是地震吧? 地震? 还是什么? 没错。
	19	*	CF06B	嗯嗯, 反正是给, 贫困山区。
	20	*	CF06A	对, 他们最需要的是应该读书吧。从基础开始。完了之后这个衣服是生活[[。
	21	*	CF06B	]]是地震吗?
	22	*	CF06A	我也不知道, 应该是<hh>。然后这个, 这个衣服。<唾舌>这衣服是, 物质上的保障吧, 是吧- 对。(1秒) 然后这个, 水。φ我还以为是油呢[v], φ真是[h]。
	23	*	CF06B	肯定是水, 对不对?
	24	*	CF06A	其实这个跟这个, 这个跟这个, 是差不多的。吃的喝的都一样。
	25	*	CF06B	就是生活: 所必需的。(hh)
	26	*	CF06A	饮食嘛。饮食生活和读书方面[[。
	27	*	CF06B	]]你先说的是喝的, 是吧? 还是书啊?
	28	*	CF06A	一起说的。
	29	*	CF06B	哦。
	30	*	CF06A	<h>就是从衣食住行方面。然后衣服物质上面的, 为了保暖的。然后这个是饮食方面。然后这个书是教育方面。
	31	*	CF06B	说完了?
	32	*	CF06A	嗯
	33	*	CF06B	轮到我了是吧。<咳>我选的是药品, 书和文具。先说药品, 我觉得, 他们会很需要药品因为有人会生病。然后他

			们那应该是很缺乏,很缺乏这种医疗的,设备啊设施还有药品,可能会可能会因为一些小病就会,呃,因为没有这些药品会..., <咋舌>引发一些大病从而,从而..., 从而...φ是吧↑[^][[。
34	*	CF06A	]]怎样?
35	*	CF06B	从而导致身体不好嘛。有这些药品的话他们可以,就是一些小病就可以自理嘛就可以,通过喝药就能治好了。然后,我还选择了书。我觉得他们应该是需要看书吧,因为缺乏书。因为看书的话可以,是吧↑ 可以,增加知识。那我选择了书我肯定就要选择文具。因为,呃,看书之后肯定要做一些标记或者是练习,或者是怎么着,肯定是需要文具,我觉得那文具和书应该是很缺的。然后就是药品。我之所以没选这些,像你所说的那些衣服啊,还有,水什么的,是因为我觉得,这些,生活所必须的,应该,他们那应该都会有吧↑=
36-1	/	CF06A	=没有。 <咱> {<} [[, ,
37-1	/	CF06B	]] <最多就是> {>} , ,
36-2	*	CF06A	咱们还经常有捐衣服呢。
37-2	*	CF06B	最多就是可能没有咱们那么: : , 就是,咱们这这么好看,应该是。衣服。水应该有吧。 我觉得这个没有那么好看。我觉得,呃,必须的应该是药品和教育吧。不应该是 <好看> {<} [[。
38-1	/	CF06A	]] <药品> {>} 也没有啊。φ人家总不该总生病吧。人家不可能总在生病[h][[ , ,
39-1	/	CF06B	]]φ就是[√], ,
38-2	*	CF06A	经常生病。
39-2	*	CF06B	以防万一嘛,就是。
40		<1 秒>	
41	*	CF06B	这是 <我的> {<} [[。
42	*	CF06A	]] <呃,从...> {>} , 成本上来说,看哪个花钱最少啊?
43	*	CF06B	应该: : , 呃: : , 文具,我的文具应该花钱不多。而且书本的话咱们是捐赠嘛,可以大家一起募捐。所以,呃,书应该是不用花钱。药品应该是要花钱。我这应该是药品花钱最多,然后书不用花钱,然后文具可能是,呃,大家捐一些也可以买一些新的这些都可以,反正文具本身成本就不是很高。你呢?
44	*	CF06A	衣服是捐的,应该都是大家[[。
45	*	CF06B	]]应该就不花钱。
46	*	CF06A	不花钱, <书也是捐> {<} 。
47	*	CF06B	<书也是捐> {>} 。
48	*	CF06A	然后这个: [[
49	*	CF06B	]]这个需要花钱。
50	*	CF06A	这个需要花钱。
51	*	CF06B	对,这些水的话,需要花钱。
52	*	CF06A	这些是饮料,饮料是[[。
53	*	CF06B	]]也有水,是吧。
54	*	CF06A	也有水,人家那边肯定有水。不过可他这补充,饮料嘛,补充: <维 C 啊> {<}
55	*	CF06B	维 C 啊> {>}

56	*	CF06A	对呀, 营养, 补充营养的。																																																																																				
57	*	CF06B	呃, 那咱们相同的就是书。感觉还是教育最重要。〈是吗?〉{<}</td></tr> <tr><td>58</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>&lt; 嗯 嗯 嗯&gt; {&gt;} , 对。</td></tr> <tr><td>59</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>啊。</td></tr> <tr><td>60</td><td></td><td>&lt;1 秒&gt;</td><td></td></tr> <tr><td>61</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>其他的我觉得: 呃, 肯定是也需要, 但是我觉得最需要的, 我认为, 最需要的是这三个。然后就是你认为最需要的那三个一样。是吧。</td></tr> <tr><td>62</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>嗯, 挑三张。六, 六选三。</td></tr> <tr><td>63</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>那:</td></tr> <tr><td>64</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>] ] 现在不是六, 这个, 这个一样的就不用选了。</td></tr> <tr><td>65</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>那我们选完了之后然后要跟, 跟大家一起商量商量, 是吧。</td></tr> <tr><td>66</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>嗯, 最终确定一下。</td></tr> <tr><td>67</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>最终确定一下, 到底是哪, 哪些, 需要, 捐赠。</td></tr> <tr><td>68</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>现在选: 三个的话, (1 秒) 那个文具: ↑[[。</td></tr> <tr><td>69</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>] ] 我觉得药品是必须要的。</td></tr> <tr><td>70</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>嗯 (e-n)</td></tr> <tr><td>71</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>然后书咱俩都选了。那我觉得可以不要文具, 要: 衣服↑ (嗯)。行吧↑</td></tr> <tr><td>72</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>要药吧, 药, 衣服和书。</td></tr> <tr><td>73</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>对, 药, 衣服和: :</td></tr> <tr><td>74</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>书。</td></tr> <tr><td>75</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>对。就要这三个吧。行不行?</td></tr> <tr><td>76</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>嗯。</td></tr> <tr><td>77</td><td>*</td><td>CF06B</td><td>那我们就达成一致了, 就要这三个吧。</td></tr> <tr><td>78</td><td>*</td><td>CF06A</td><td>嗯。</td></tr>	58	*	CF06A	< 嗯 嗯 嗯> {>} , 对。	59	*	CF06B	啊。	60		<1 秒>		61	*	CF06B	其他的我觉得: 呃, 肯定是也需要, 但是我觉得最需要的, 我认为, 最需要的是这三个。然后就是你认为最需要的那三个一样。是吧。	62	*	CF06A	嗯, 挑三张。六, 六选三。	63	*	CF06B	那:	64	*	CF06A	] ] 现在不是六, 这个, 这个一样的就不用选了。	65	*	CF06B	那我们选完了之后然后要跟, 跟大家一起商量商量, 是吧。	66	*	CF06A	嗯, 最终确定一下。	67	*	CF06B	最终确定一下, 到底是哪, 哪些, 需要, 捐赠。	68	*	CF06A	现在选: 三个的话, (1 秒) 那个文具: ↑[[。	69	*	CF06B	] ] 我觉得药品是必须要的。	70	*	CF06A	嗯 (e-n)	71	*	CF06B	然后书咱俩都选了。那我觉得可以不要文具, 要: 衣服↑ (嗯)。行吧↑	72	*	CF06A	要药吧, 药, 衣服和书。	73	*	CF06B	对, 药, 衣服和: :	74	*	CF06A	书。	75	*	CF06B	对。就要这三个吧。行不行?	76	*	CF06A	嗯。	77	*	CF06B	那我们就达成一致了, 就要这三个吧。	78	*	CF06A	嗯。
58	*	CF06A	< 嗯 嗯 嗯> {>} , 对。																																																																																				
59	*	CF06B	啊。																																																																																				
60		<1 秒>																																																																																					
61	*	CF06B	其他的我觉得: 呃, 肯定是也需要, 但是我觉得最需要的, 我认为, 最需要的是这三个。然后就是你认为最需要的那三个一样。是吧。																																																																																				
62	*	CF06A	嗯, 挑三张。六, 六选三。																																																																																				
63	*	CF06B	那:																																																																																				
64	*	CF06A	] ] 现在不是六, 这个, 这个一样的就不用选了。																																																																																				
65	*	CF06B	那我们选完了之后然后要跟, 跟大家一起商量商量, 是吧。																																																																																				
66	*	CF06A	嗯, 最终确定一下。																																																																																				
67	*	CF06B	最终确定一下, 到底是哪, 哪些, 需要, 捐赠。																																																																																				
68	*	CF06A	现在选: 三个的话, (1 秒) 那个文具: ↑[[。																																																																																				
69	*	CF06B	] ] 我觉得药品是必须要的。																																																																																				
70	*	CF06A	嗯 (e-n)																																																																																				
71	*	CF06B	然后书咱俩都选了。那我觉得可以不要文具, 要: 衣服↑ (嗯)。行吧↑																																																																																				
72	*	CF06A	要药吧, 药, 衣服和书。																																																																																				
73	*	CF06B	对, 药, 衣服和: :																																																																																				
74	*	CF06A	书。																																																																																				
75	*	CF06B	对。就要这三个吧。行不行?																																																																																				
76	*	CF06A	嗯。																																																																																				
77	*	CF06B	那我们就达成一致了, 就要这三个吧。																																																																																				
78	*	CF06A	嗯。																																																																																				

CF07			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF07A	选好了吗?
02	*	CF07B	嗯, 差不多了。那看我们, 咱俩能对的上吗?
03	*	CF07A	我们只有衣服可以对上。
04	*	CF07B	衣服对上了。那想法应该是差不多一致的 (对) 穿暖最重要。
05	*	CF07A	对, 穿暖吃饱嘛。毕竟, 灾区, 灾区受灾严重, 然后食品供应肯定不足, 所以我们捐的时候肯定是一定要先保证, 食, 食品的供应量, 以, 人, 人以食为天嘛。
06	*	CF07B	但我觉得像食品这种东西应该是, 政府应该会提供的。都会让他们吃得饱。
07	*	CF07A	如果政府的供应资助来不及呢。我想我们应该是捐一些食品, 而政府应该是捐一些, 呃, 其他的, 其他的一些供应品, 像水啊之类的一些东西。
08	*	CF07B	呃, 呃, 我是觉得食品的话它是, 政府应该是会考虑到每一个人的, 还是可以够温饱的那种。所以我觉得我们不要浪

			费这个钱去捐食物,然后我想的是被子,需要,因为像[[
09	*	CF07A	]]我选的是,帐篷。
10	*	CF07B	帐篷,这两个感觉也差不多。
11-1	/	CF07A	对,也差不多。但是你想,如果你想到政府可以去提供食品的话那政府也可以去提供被子啊[[, ,
12	*	CF07B	]]帐篷<也可以> {<} 。
11-2	*	CF07A	<也可以> {>} 提供衣服啊。
13	*	CF07B	衣服我觉得应该[[。
14	*	CF07A	]]所以呢,我想就是,呃,也就是说,因为受灾以后它所有供应物资都会中断(,它的,交通运输整个方面,政府不会一下子就,就提供给他们。所以让我们及时的话,我们可以先,保证,儿童们他们的饮食方面(嗯),我是这样想的。
15	*	CF07B	我,我是觉得就是,就是政府如果就是,提供,像被子然后这个的话,它肯定有人数要求的,每个人应该都会有,像这被子这种东西这些都会公用的(对)。这两个是没问题的。然后衣服的话就,哪怕他提供衣服的话也每个人特别少,我们我们捐衣服这个也没毛病的。然后食物的话我觉得每个人够温饱的,但是也像你说的,它可能就是说[[。
16	*	CF07A	]]对,会供应不足。
17	*	CF07B	对,会供应不足。然后这个,我想选的是书,我主要是想着小孩子嘛,在那边,本来就已经,在那,心情已经够不好的了,然后就是,<咂舌>用,书来转移他们的注意力,然后可以在此,就是,感受一下这世界美好的这种感觉。
18	*	CF07A	但是我想如果你,这个,温饱问题解决不了,呃,小孩子他毕竟还小,对于书籍嘛,他还没有太大的追求。你如果他哭着打闹的话,有的时候零食啊,他会,呃,让他转移注意力,而有些时候你像读书什么的,他静不下心来,毕竟刚受了灾难,呃,他现在很紧张,呃,身心比较恐惧,我想还是零食嘛,比较,对他来说,有一点缓和之力安慰他一下嘛。那我们最后就挑选...
19	*	CF07B	衣服啊是要的。
20	*	CF07A	对,挑选衣服,衣服是一个。
21	*	CF07B	衣服的话,就是我们也可以,就是自己的衣服也是可以的。=
22	*	CF07A	=对啊,也可以通过捐赠啊(对对对),很多家里不穿的衣服我们可以捐出来。
23	*	CF07B	那这两个我觉得就其实完全没有必要了(对),应该会提供的。
24	*	CF07A	首先提供的应该就是这个(对)。
25	*	CF07B	对,这个应该也是足够的(对),就是不够的话每个人挤一挤还是可以的,这两个,愉快的选择了这三个。
26	*	CF07A	对。
27	*	CF07B	然后这个书籍的话,大家可以自己提供,就是把自己这书可以捐赠一些出去,然后,也不用花太多钱这里面,主要可能稍微主要买一些就是针对,比较小一点的小孩子我们没有的书,然后可以给买一些这个,然后就是,食品了,就是大部分的钱可能花在食品上面。
28	*	CF07A	对。

29	*	CF07B	就这三个吧（嗯）。其他的话我把它放下来。这些像药啊，这些东西啊，差不多政府都是会给，给予提供的。
30	*	CF07A	我感觉，玩具其实是特别没有必要的。
31	*	CF07B	没有，不需要这个呀。
32	*	CF07A	对，不需要这个玩具。因为，他受，他，最大的安慰就是应该是在他的精神上，还有，他的物质上，就像玩具就只是逗他开心，其实，不会缓解燃眉之急。
33	*	CF07B	对，但其实一开始我有我有把这个彩笔放在前面，我想给他们一些彩笔，但是想想还是温饱比较重要一点。
34	*	CF07A	对，温饱比较重要。吃饱喝暖他才不会吵。毕竟他们还小。
35	*	CF07B	差不多就这样决定了。
36	*	CF07A	嗯。
37-1	/	CF07B	就这三样，应该也没有多大问题。资金方面的话，主要就是花在，吃，和[[，，
38	*	CF07A	]]穿↑
37-2	*	CF07B	一些书上面。穿的话大家捐赠的就完全已经足够了，就是班上的不够多的话就组织全校的。这这都是ok的，没问题的。
39	*	CF07A	嗯，好。

CF08			
発話文番号	発話文終了	話者	発話内容
01	*	CF08B	你选的是，哪几个？
02	*	CF08A	（呃↑）就这个不一样。就这个不一样。
03	*	CF08B	你选的是零食（嗯）我选择的是药品。你为什么∅要[∧]选择零食呢？
04-1	/	CF08A	灾区肯定就是... 选零食的话我感觉就是灾区的话... 肯定刚开始经历了一段比较艰难的过程。所以零食[[，，
05	*	CF08B	]]哎哟↑h h h
04-2	*	CF08A	食物，食物肯定是比较缺乏的，对吧。
06	*	CF08B	这是零食，不是食物<hhh>。
07	*	CF08A	面包啊↑ 饼干啊↓ 嗯，能填饱肚子的（嗯）。本来我之前也想选就是，药，药物的。<1 秒>但我感觉吧，这个，<2 秒>药品之类的应该，国家<h>，φ国家应该[h] [[。
08	*	CF08B	]]对这有可能是国家会捐的，有可能是个人捐。
09	*	CF08A	嗯。
10	*	CF08B	嗯。
11	*	CF08A	那是个人捐还是国家捐？
12	*	CF08B	都行呗。反正你认为[[。
13	*	CF08A	]]如果是我捐的话，我可能是，捐食物。因为药品的话我觉得，有些东西的话药品，像简单的一些，就是肠胃，就比较普通的话可能就是，比较好弄到，但是如果有些涉及到比较高端一点的话，肯定，有有些是，我，我们，像我们这种，就比较难获取的，有些药品的话我觉得应该国家方面应该会。
14	*	CF08B	对，但这，这个，它没，它也，它就说看你想捐什么，我感

			觉, < 咂舌 > 虽然就是..., 药品方面, 像是国家, 但是有些贫苦地区其实..., 他有时候是在山上, 或者是在比较偏远的地方, 它有些地方, 它就是, 它是有些他们的医生就不是那种, 很正规的医生, 就是那种, 就是那种, 在山区里面就是那种, 行医, 反正就是, 就是古古 (代), 就是以前的那种, 并不是很专业的。药品的话就难##, 我感觉这个人捐不了, 国家应该也应该, 就是, 去, 加大就这种, 在, 往那边的投资吧。但是, 个人的话可能会有点, 有点有点, 比较难弄到。可以买一些比较, 常用的呀。像什么感冒的, 发烧的, 这种比较常用的, 药品。比较好 (嗯)。常用的还是很好弄的。
15	*	CF08A	呃: : :
16	*	CF08B	但是药品方面可能会比较贵。
17	*	CF08A	这方面肯定是, 肯定比较贵。
18	*	CF08B	比较贵。因为我感觉像衣服这种, 还有书籍这种都是[[。
19	*	CF08A	]]我是选书籍是 (嗯), 孩子嘛, 肯定要还是要 < 扩充一些 > { < } [[。
20	*	CF08B	]] < 其实当时 > { < } 我还想选一个: 想选这个, 画图的这个呢。可以培养他们的兴趣。但是我感觉吧, 兴趣这个方面是, 也不, 相对于, 掌握这种书籍的知识, 这种培养看书的兴趣更重要一点。
21	*	CF08A	嗯。衣服这个是φ肯定要的 [h]。但是, 我还是觉得, < 咂舌 > φ食物 [ < ] 比较重要, 真的。因为有些有些有些, 食物的话可能, 就比较, < 我们大家 > { < } [[
22	*	CF08B	]] < 因为当时 > { > }, 我, 我是这样想的。其实, 我是, 当时是看这个图片我是认为, 它就是一些零食, 它并不是什么比较主要的食品。所以, 所以我就就感觉, 零食这种东西, 这些东西吧, 可能... 呃, 是, 所以, 所以我就选择了药品。
23	*	CF08A	嗯。但是它这里是, 有面包之类的, 饼干啊, 就是能填饱 (对), 填饱肚子。有些小零食的话, 虽然说, 吃零食对身体不太好 < h > (h), 但是有些垃圾食品还是可以, 就是, 可以尝试一下。因为最主要的话我们到时候, 如果真的捐赠的话, 肯定是以面包为主啊。像衣服的话, 就是可以让学校的一些, 一些人就是, 自己可以, 就是, 这个的话可以就是, 收集一下学校里面有一些, 平常不是有那个, 捐赠嘛, 就是, 他们的旧衣服可以捐赠, 所以这种来源的话比较广。还有书籍的话也是, 都可以, 相对资金的话, 应该是可以, 减少一点, 这种可以在学校里面号召一下然后免费地收集。像食物的话, 就得, 就是, 也可以弄一个什么爱心捐款啊 (嗯), 就是, 收集一些钱, 然后再, 自己再加一点, 然后去买。
24-1	/	CF08B	像这种书的话, 其实, 呃: : , 让学校, 如果是学校的话应该能捐出来很多 [[, ,
25-1	/	CF08A	]]那我, 那我现在想 [[, ,
24-2	*	CF08B	]]而且 (嗯), 嗯, 而且像这种, 这种书的话, 呃, 不需要花费什么资金 (嗯)。
25-2	*	CF08A	那我现在想问一下, 如果你真的, 买药的话 (嗯), 你打算买哪些?

26	*	CF08B	就是像,平常小...,就是,小孩得一个什么,感冒发烧呀,或者是,什么拉肚子呀,像这种比较很普,就是很普通的药,就是,并不是那些很,很罕见的病,就是一些很很平常的药品。(2秒)这种其实在市面上的话,应该,应该也:比较容易买的到。
27	*	CF08A	但在我看来吧,我觉得,就小孩子,就是,因为我有一个观点就是,如果生病了的话,就是,小病的话就最好是,不要就是,一生一个小病就吃药,以药为主。就是,想别的办法,就是(嗯),代替药物。因为感觉小孩子接触药物太多的话对他们以后的发育不太好,也不是说...,反正对发育应该会有一些的影响吧,我感觉。所以我就。我之前也在想就是说感觉再去的话,有些皮外伤的话,还可能真的需要药品(对)。但是我觉得后面想一下的话,有些东西其实,把,把控不了。如果真的是要买药品的话我觉得,包,包扎之类的,就像[创可贴]什么,或者一些伤口的药物的话,可以用一下。其他的,就像小感冒或者干嘛的话,可以用别的东西来代替药物。=
28-1	/	CF08B	=那假如他,就是,发烧,一连2,3天发烧,就是没有什么##,还是要[, ,
29-1	/	CF08A	]]这种可以, ,
28-2	*	CF08B	<还是要去吧> {<}。
29-2	*	CF08A	<这种的话> {>},就到,可以去当地的一些,小,小,地方,小φ诊所[<<之类的> {<}。
30	*	CF08B	<对啊> {>},它有可能,小诊所也可能会缺药品呀,φ它并不是[>],并不是,把这个药就捐到,个人家,捐到个人家,他自己如果不会看说明,也不会用,也不知道怎么计量(嗯)。
31	*	CF08A	这也是刚刚我之前想的(啊)。
32	*	CF08B	它肯定要捐给,就是,当地就是,医院啊就或者什么地方,不能,就是,直接捐助到家里。
33	*	CF08A	反正我还是,现在我还是觉得,保持我刚才那个观点(嗯,你说)。药品之类的方面我们只能就是,想个方法就是...,让国家去:就是,如果真的很急缺的话,让国家这一方面去协助一下(嗯)。我,我感觉就像,学生的话我们应该就是...,就是...,吃。住的话肯定...,我们有些地方感觉,住的方面我们,保,保证不了。还有,穿的话我们可以。然后,精神,就是书籍(嗯)。我,我是这样想的。那现在选哪个?这两个。<h>
34	*	CF08B	hhhhh
35	*	CF08A	我们这两张是,是:有区别的
36	*	CF08B	不是要选择一张吗?(我们)必须的。
37	*	CF08A	必须选一张?
38	*	CF08B	选一张必需品。
39	*	CF08A	那我们先把这个排除吧。
40	*	CF08B	嗯,可以<hhh>。
41	*	CF08A	如果,如果从这两张一定要排除一张的话,你选哪张?
42	*	CF08B	呃?
43	*	CF08A	如果从这[[。
44	*	CF08B	]]那,排除药品,可以。
45	*	CF08A	那现在就从这三张中选。

46		<2 秒>	
47	*	CF08B	嗯,哪一张是?
48		<1 秒>	
49	*	CF08A	我如果选的话我选择穿(对呀)。
50	*	CF08B	我感觉精神这一方面的话,其实,还是要解决温饱问题。
51	*	CF08A	对,穿上我还是比较...,穿吧。
52	*	CF08B	嗯,好,行了,差不多就这样吧。

CF09			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF09B	你要的啥?
02	*	CF09A	嗯水,书,本然后药品。
03	*	CF09B	我要的衣服帐篷,还有药。
04	*	CF09A	嗯这俩这俩还比较一致。
05	*	CF09B	那这个就选一个,这四个↑
06	*	CF09A	这四个的话...
07	*	CF09B	为啥要书?
08	*	CF09A	灾区,需要一点精神来维持的嘛,经历了这么大事情,而且 呃他们在那会比较无聊,要是拿一本书,他就可,以在帐篷 里就有一个人就可以讲好多故事。
09	*	CF09B	嗯:很有理由。那水是必须的。但是我觉得,衣服嘛,灾 区,受到灾害了衣服肯定拿不出来呀,然后就,衣服人家肯 定要穿的嘛(嗯)然后帐篷他们用来住的呀。
10-1	/	CF09A	帐篷我觉得一般捐赠的都会有,而且我们...做[[,
11	*	CF09B	]]我们不就是捐赠的吗?
10-2	*	CF09A	就是做其他大的捐赠的话,可能考虑到比较多这种,我们就 做一些小一点的,而且,资金的话就,比较少一点的,这样比 较能节省。对吧?
12	*	CF09B	但是我还是觉得,帐篷是必需的呀。
13	*	CF09A	嗯: : :
14	*	CF09B	你那些..., <1 秒>对吧? 必须的吧? <hhh> (h)
15	*	CF09A	呃...
16	*	CF09B	φ因为[h],你没有地方住你就算有被子也没有用啊,他是人 家那些大的捐和小的捐是不一样的呀,不一样的概念,一个 代表企业,一个代表的是,咱们这样的个人啊,个人这种集 体啊。
17	*	CF09A	嗯: 呃: :
18-1	/	CF09B	我觉得,呃[[,
19	*	CF09A	]]我觉得...
18-2	*	CF09B	灾区嘛,那孩子们... 肯定需要的,φ不是书[h]<hh>(hh)。
20	*	CF09A	φ不啊,他们需要精神啊[h],而且他们对整个受灾过程接受 不了啊。他们受到这样的伤害他们肯定要找点事情干,而 且,调,调节一下心情啊这些什么的。
21	*	CF09B	调节心情:,做游戏嘛。
22	*	CF09A	做游戏↑
23	*	CF09B	对啊,丢手绢啊,编花篮啊<hhh>(hhh)。
24	*	CF09A	φ真随意[h]。<hh>(hh)。



25	*	CF09B	φ不都可以吗[h]你说你运点书过去,哪有空看,灾区连电都没有。
26	*	CF09A	呃: : :
27	*	CF09B	我觉得还是,φ住的比较重要[>]。
28	*	CF09A	嗯: 住的... 有没有什么具体我想? 就是比如说怎么送去怎么弄啊什么的。
29	*	CF09B	跟水一起送去啊。
30	*	CF09A	呃: 怎么弄去?
31	*	CF09B	其实我觉得,药的话: 人家那些医护人员去的话一定会带的呀。
32	*	CF09A	嗯:
33	*	CF09B	要不不要药了吧<hhhh>。
34	*	CF09A	不..., 你开始不也说心意不同嘛, 我们代表我们的呀。药的话肯定是比较急需的那种, 虽然我们也不知道具体的, 但是, 呃呃, 用的比较普遍的嘛。
35	*	CF09B	但是, 有些孩子他对一些药过敏啊, 我买不好把孩子们弄坏了怎么办? =
36	*	CF09A	=我们又不拿处方药<h> (hh) 。
37	*	CF09B	就像那个头孢啊, 青霉素啊, 有些孩子也会过敏的, 牙疼不就吃头孢嘛, 那就不是可以说可以买到嘛。
38	*	CF09A	但是他们肯定会在医护人员的指导下用啊<h>。他们也肯定不会乱, <乱用> {<} 。
39	*	CF09B	所以> {>} 有医护人员我们就不用药了呀。
40	*	CF09A	呃: :
41	*	CF09B	hh
42	*	CF09A	我觉得还是来点吧<hh> (hhhhh), φ是吧[h]。然后水..., 水, 这是油吗? 水吧, 都是水吧?
43	*	CF09B	这是绿茶, 浓茶。
44	*	CF09A	嗯, 那都是...水嘛。我觉得水也可以来点儿。
45	*	CF09B	水应该是必须要的。
46	*	CF09A	嗯。
47	*	CF09B	衣服也要, φ书[^]不要。
48	*	CF09A	行: φ吧[^]。
49	*	CF09B	那这四个: 。
50	*	<3 秒>	
51	*	CF09A	<嗯>{<}
52	*	CF09B	<这四个>{>} 衣服要穿, 帐篷要住, 药要吃, 水要喝。
53	*	<2 秒>	
54	*	CF09B	你觉得呢? 亲。
55	*	CF09A	要不然, 他们随便φ来点水吧[h]
56	*	CF09B	我觉得吧, 水的话消防官兵一定会带去的(嗯), 要不然... 怎么去啊? <hhh>
57	*	CF09A	对, 他们, <他们应该会带的> {<} 。
58	*	CF09B	<我觉得他们应该会带> {>} , 医护人员会带药, 那这两个φ都不用带那就[h]。
59	*	CF09A	药, 药, 可以作为一部分啊, 就是补充那种嘛。
60	*	CF09B	不对, 我要水。
61	*	CF09A	水↑嗯: : : :

62	*	CF09B	我觉得水,水比药重要。毕竟我们什么都不知道,你说,你买个,这些小药的话,孩子们感冒发烧行,人家害那些大病的话那就,没办法。
63	*	CF09A	我们肯... 灾区啊,我们肯定就送一些,呃呃,创伤呀,或者这种类型的药,就是,清理伤口啊或者是[[, ,
64	*	CF09B	]]对嘛,那是医护人员干的嘛。医护人员会清理伤口他们一定带自己的药去的呀。
65	*	CF09A	就是作为一部分,补给啊。就是他们不够用啊,或者他们紧急的时候,他们自己需要他们自己处理的时候用的啊。
66	*	CF09B	他们会有后续救援的。
67	*	CF09A	后续救援φ那不是后面的事嘛[>]。φ他们现在不是需要嘛[h]<hh>
68	*	CF09B	那需要,那医护人员人家会带药去的呀-
69	*	CF09A	衣服也紧(急),他们在灾区这么紧急了,肯定几天不换,也差不多那样,然后... 哎↓,是吧。
70	*	CF09B	你从了我吧。
71	*	CF09A	<h>
72		<3 秒>	
73	*	CF09A	那这些剩下的,不是,还得,呃,跟同学们交代一下吗?
74	*	CF09B	嗯嗯,让同学们捐点儿衣服。
75	*	CF09A	捐衣服-
76	*	CF09B	对,我们能捐的只有衣服。
77	*	CF09A	可以呀。
78	*	CF09B	帐篷什么的[[, ,
79-1	*	CF09A	]]那那这些东西还得后续去买呢。
80	*	CF09B	帐篷什么的去超市什么的去看看(嗯),去找个就是质量好又便宜的,我们就批发点。
79-2	*	CF09A	你觉得他们都能接受这些吧?
81	*	CF09B	我觉得能(嗯)。毕竟我很有理<hh>(hh)。
82	*	CF09A	我觉一般能考虑到的,就,就这些吧。<>{<}, ,
83	*	CF09B	<对啊>{>}。
84	*	CF09A	玩具这些应该:
85	*	CF09B	关玩具什么事儿。=
86	*	CF09A	=然后这个,φ这有洗漱用品[^],基本洗漱用品,这种可以吗?
87	*	CF09B	住都没有地方住,哪有地方让他们洗漱啊↑
88	*	CF09A	还有消毒啊↑
89		CF09B	消毒液那不就放在药品里,跟药品一起不就好了。
90	*	CF09A	但是我们现在没有选药品啊。
91	*	CF09B	<1 秒>医护人员有带消毒水的。
92		CF09A	就你##。<hhh>(hhh)。这些应该也都不需要,学习这一套,然后,娱乐的,水的。
93		CF09B	既然你都说学习这一套不需要了,为什么刚才你还选书?
94		CF09A	刚才觉得他们需要精神支柱,现在想想还是比较物质一点。<hh>(hh)
95		CF09B	嗯,那就这三个吧,
96		CF09A	嗯。

CF10			
発話文 番号	発話文 終了	話者	発話内容
01	*	CF10B	我选好了,你选好了吗?
02	*	CF10A	选好了。
03	*	CF10B	三个,这三个
04	*	CF10A	我的这三个
05	*	CF10B	天:哪,咱俩,咱俩就这个不一样,这个不一样,
06	*	CF10A	这个?
07	*	CF10B	嗯,,
08	*	CF10A	那我俩=。
09	*	CF10B	=我觉得衣服是肯定得需要的。
10-1	/	CF10A	衣服肯定需要,因为那边,不是:[[, ,
11	*	CF10B	]]因为<我怕他们就是>{<}。
10-2	*	CF10A	<灾区不是>{>}马上就降温了嘛。
12	*	CF10B	呃,对,而且他们清洗的那种条件也不是很好,所以我觉得,衣服他们肯定就,一年就那么两三件衣服。
13	*	CF10A	但是<可能在>{<}[[。
14	*	CF10B	]]<可能会>{>}φ穿旧[h]<hhh>。
15	*	CF10A	φ但是但是[>]在灾区你说你这个
16	*	CF10B	这个我觉得,<hhh>。=
17	*	CF10A	=φ这个东西[h],那还不如...
18-1	/	CF10B	我觉得这个需要啊,因为[[, ,
19	*	CF10A	]]你这个需要↑那[[。
18-2	/	CF10B	]]因为,他们牙刷这种东西,都是属于那种,不是,每天都要买嘛[[, ,
20	*	CF10A	]]那[[。
18-3	*	CF10B	]]然后你要是给他们的话,他们可能会用三年呢<hhhh>=
21	*	CF10A	=那你在这里[[。
22	*	CF10B	]]你为什么挑这个?文具。
23	*	CF10A	我觉得,我觉得,<咳>他们在那边肯定那种书,那些各种文具用品肯定都坏了。那,到时候买去,他们至少能建立那种临时的那种教室的时候,也可以拿这些当做文具学习啊(嗯)
24	*	CF10B	但是我觉得,我本来也想选文具,我觉得文具的话,第一它就是耗费的那种,时间比较快。
25	*	CF10A	φ耗费的时间比较快[v]。
26	*	CF10B	对。
27-1	/	CF10A	<不是啊>{<}[[, ,
28	*	CF10B	]]<而且每个人他>{>}。<##>{<}[[。
27-2	*	CF10A	]]φ<如果>{>}如果选择那种[>],φ实惠[^],然后,不,便宜的,然后,φ量又多[<]的那种(hhh),φ给他们就行了呀[h]
29	*	CF10B	也行。但是,我还是觉得,就是,如果是文具的话,尤其是笔嘛(嗯),如果它实在就是:没有笔的话,其实可以用其他东西呀。
30	*	CF10A	其他的東西=?
31	*	CF10B	=比如说石头<hhhh>
32	*	CF10A	石头。你确定石头?

33	*	CF10B	φ对,当时我就是这样想的[h]。
34	*	CF10A	好文雅,但是你说你说要是###[[。
35	*	CF10B	]]但是,但是像牙刷这种东西,你每天早上总得刷牙吧,可是他们找不到别的东西来替代呀,当牙刷。你总不能用手=。
36	*	CF10A	=谁说,你直接拿手。
37	*	CF10B	拿手有些污垢这些是去不掉的呀。
38	*	CF10A	但是在那种,那种环境下,你想想,那些非洲的不也是有的没有牙刷什么的(hhhh)φ照样也活下来了嘛,是吧[h]。
39	*	CF10B	φ什么叫照样也活下来[h]<hhh>
40	*	CF10A	是的嘛,你(呃呃),觉得咱们应该选哪些?
41-1	/	CF10B	我觉得咱们比较争议还是这一块。其实我还是有点点想,被单这一个(被单↑),我是在犹豫这四个当中一直在纠结。[[
42-1	/	CF10A	]]为什么[[
41-2	*	CF10B	]]因为被单他们[[。
42-2	*	CF10A	]]为什么不,为什么不选择帐篷呢?
43	*	CF10B	<hh>φ我觉得他们应该有房子[h]。
44	*	CF10A	有有那种救护的话,但是有的人是直接就是在那种[[。
45	*	CF10B	]]我觉得如果是冷天的话,他们当地政府就会给他们资助的。
46	*	CF10A	但是资助的话不一定[[。
47	*	CF10B	]]而且还可以,两个家庭并在一块住。φ我觉得这个,这个还是可以解决的[h]。所以当时我觉得帐篷这个属于,有点属于那种奢侈品了吧。
48-1	/	CF10A	不是,有有的是临时的那种搭建的帐篷就像咱们[[, ,
49	*	CF10B	]]那抗抗震##[[。
48-2	/	CF10A	]]去年全运会,全运会那个,个,全运会结束之后,那个新生开学那不也是学校搭建了那个[[, ,
50-1	/	CF10B	]]但咱们是[[, ,
48-3	*	CF10A	]]帐篷嘛。
50-2	*	CF10B	]]送给,送给,送给那个φ贫困山区的[h]<hhh>。
51-1	/	CF10A	<h>,φ不是...[h],啊,也是啊[[, ,
52-1	/	CF10B	]]我反正是[[, ,
51-2	/	CF10A	]]对。<咱们咱们当时>{<} [[, ,
52-2	/	CF10B	]] <我反正选,对,还有这个药>{>} [[。
51-3	*	CF10A	]]如果是学生的话学生的话[[。
52-3	*	CF10B	]]对,就这五个我在纠结,其他我觉得都...
53	*	CF10A	哪哪五个?
54	*	CF10B	玩具呀吃的啊我觉得这些,(嗯)<不,不是必需品>{<}
55	*	CF10A	<这些不不> {>},不是必须的,嗯。
56	*	CF10B	但是我就是觉得文具不算是必需品啊。
57-1	/	CF10A	但是我觉得,φ药[^]的话,那边肯定有。药,药品不用咱们买[[, ,
58-1	/	CF10B	]]因为我觉得相对来说[[, ,
57-2	*	CF10A	]]因为具体的药的话[[
58-2	*	CF10B	]]这两个都属于学习上的,就是学业上的东西[[
59-1	/	CF10A	]]儿童的话,我觉得药[[, ,

60	*	CF10B	]]药药是[[, ,
59-2	*	CF10A	]]没有特别的必要, 因为, 也不是说, 那个=
61	*	CF10B	=不是我是觉得药, 单单只给药的话可能会乱用, 导致
62	*	CF10A	对, 因为我觉得[[。
63	*	CF10B	]]而且他们很多都不识字。
64	*	CF10A	也不...φ不识字[h], 有家长不...
65	*	CF10B	家长反而都不识字, 真的。
66	*	CF10A	那万一人家有的家长就是, 那种学历还是, 蛮可以的那种呢。(hhh)。你说你拿这个药。然后, 咱们, 这边, 咱们也不知道<具体的那种> {<} 疗效。
67-1	/	CF10B	<但是就像##> {>} , 我觉得贫困山区这边的话, 应该是小孩儿可能还会一点儿, 现在不是义务教育嘛(嗯), 是他们上一辈的人应该是: [[, ,
68-1	/	CF10A	]]但是: [[, ,
67-2	/	CF10B	]]很, 很难义务教育[[, ,
68-2	/	CF10A	]]但是但是贫困山区它[[。
67-3	*	CF10B	]]像我爸妈都是初中毕业, 我妈是初二就毕业了。不一定识那么多字, 有些他们好多汉字他们都不一定识, 而且药品上面, 很多不都是那种, 专业名词嘛(嗯嗯), 所以不一定能看得懂<上面的汉字> {<} 。
69	*	CF10A	<所以我觉得这个> {>}
70	*	CF10B	所以我觉得这个万一..., 给是挺好的, 他们如果会用。但是万一つひとつ造成误用的话, 就会[[。
71	*	CF10A	]]而且, 而且咱们这边, 咱们也不知道该买买些什么药。
72	*	CF10B	对, 它, 他们急需的那种病我觉得
73	*	CF10A	所以这个走了。
74	*	CF10B	这个比较难, 难, 难用到实处。
75	*	CF10A	但是被子的话, 我φ是: 觉: 得[^]##=
76	*	CF10B	=因为被子可以咱们可以[[, ,
77	*	CF10A	]]不: [[。
78	*	CF10B	]]咱们家里有一些就是, 像咱们大学φ四年[h], (h)。大学四年, 咱们班肯定大学四年毕业之后, 你那些床单肯定带不回去啊。
79	*	CF10A	带带不回去的话[[, ,
80	*	CF10B	]]我觉得可以挑其中那些, 就是, <每年> {<} [[。
81	*	CF10A	]]<你运> {>}, 你运去贫困山区的话, 他那个时间还有就是, 你你这个被子一大坨的, 你运去他们那边的话, 他那边本来路就就颠簸[[。
82	*	CF10B	]]可以压缩啊, 有压缩包啊, 有真空压缩包啊, 真空压缩包压的时候就很小的。
83	*	CF10A	那咱们, 那咱们这边咱们自己出车啊?
84	*	CF10B	我觉得大小不是重点, <1 秒>你可以多派几辆车或者直接[[。
85	*	CF10A	]]多派几辆车, 那你要, 一来是成本, 二来你说那个[[。
86	*	CF10B	]]我们又不赚钱, 真的。
87	*	CF10A	不是, 那那主要是咱们考虑到的各方面因素嘛, 毕竟咱们咱们去捐给那些要考虑到他们那边[[。
88	*	CF10B	]]还有不单单是牙刷, 我觉得, 你想想他们对于这个清洁的意识那个不是很强, 而且我觉得给他们这些话可以,

			不仅提高他们在,自身打理方面,尤其,山区连厕所的地方条件都很差。
89	*	CF10A	山区的条件?
90	*	CF10B	厕所。
91	*	CF10A	厕所,厕所条件还是马,马虎虎的,我我是去过的,至少那种就是,还是那种勉强强的小房子,要不就是,就是那种,以前几十年代的那种厕所,就是直接蹲的(对对)那种。不是说好与坏就是勉强强。就是觉得牙刷这些,还行。但是(对)我还是...
92	*	CF10B	因为这,如果,如果咱们这两个对吧?(嗯),那这两个的价钱,你觉得他们哪个更能承担的起?对吧?那我觉得应该捐这个呀。
93		<2秒>	
94	*	CF10A	但是[[。
95	*	CF10B	]]而且[[^牙刷(捐赠的)对我们来说并不算奢侈品啊。<3秒><咋舌>有些不是咱们平时家庭一般都是,比如我们自己想买一支牙刷,但是超市一般都会两只一起卖,很多都是。
96	*	CF10A	两只一起卖?
97	*	CF10B	对,有些人他可能买了两只之后另外一只他就放不用,那就完全可以拿出来捐献。
98	*	CF10A	但咱们这次,不是要给儿童嘛,他们更需要的东西
99-1	/	CF10B	那儿童回去,还,还有家里啊。
100-1	/	CF10A	但是但是[[,
99-2		CF10B	]]我觉得要考虑整个家庭。
100-2	*	CF10A	我看,我看人家以前的有捐助都是,这,这,这。
101	*	CF10B	是这个。但是我觉得这三个,其实,有些是政府就已经会捐的。但是我觉得这个是很少捐的。发现没有?从来就没有听说过谁去捐沐浴露啊,φ洗发膏之类的[h]。
102	*	CF10A	是啊,你的想法很气人,那你觉得咱们##[[
103-1	/	CF10B	]]我当时觉得这个是,这三个如果让我挑,这三个当中,只能挑一样的话,我就选这个。这两个[[。
104-1	/	CF10A	]]那你觉得,
103-2	*	CF10B	我觉得别人都能想得到,都能捐。你看咱们学校爱心什么爱心衣物啊什么爱心书籍啊他们<都有捐>{<}。
104-2	*	CF10A	<你觉得>{>},你觉得咱们班,能捐这个的,呃,不,这两个,咱们是要说服咱班的人的(啊)。你觉得这两个·他们更愿意会捐哪个?
105	*	CF10B	这两个?如果说是...
106	*	CF10A	你,你可以说服我,你说服的了我,但是你说服的咱班那群人吗。有的人可能就考虑到因为咱们班也不是说,很多都是,那种条件比较富裕的,也有像是贫困山区那种[[。
107	*	CF10B	]]那咱们可以捐那种,旧的呀。
108	*	CF10A	旧的↑那用了... (hhh) <φ你用了一半了你说这[h] [[。
109-1	/	CF10B	]]不是,<像水杯这个,水杯>{<}
110	*	CF10A	<在,在运输过程>{>}。
109-2	/	CF10B	水杯经过高温消毒应该可以。牙刷这个高温消毒[[,
111	*	CF10A	]]不[[
109-3	/	CF10B	]]也可以呀。

112	*	CF10A	高温消毒你想想... ϕ牙刷二手了你还拿给人家[^]↑
113	*	CF10B	<hh>ϕ那梳子那[h]?
114	*	CF10A	梳子倒是还行,但是就像这种高温消毒这种...
115	*	CF10B	我觉得应该不是只限于这几样吧,它这个应该是代表了一个日用品啊。
116	*	CF10A	对
117	*	CF10B	就是日用品类。那咱们日用品类又不代表只是就是牙刷牙膏这些 [[
118	*	CF10A	]]那不可能把[[
119	*	CF10B	]]还有鞋子啊,就是拖鞋啊,然后还有...
120	*	CF10A	日用品是包括在衣服内吗? =
121	*	CF10B	=呃呃,等等等等等等,让我再想想日用品有什么,日用品比如说头绳啊,这些总可以吧? 一些旧的头绳。
122	*	CF10A	头绳啊(啊),像我这种,额,万一谁只有一两条就,只是自己用的呢→
123-1	/	CF10B	那反正,我觉得日用品这个类,概括的种类的比较多,所以每个人不一定要捐同样东西,有些人,她比如说头绳 [[, ,
124-1	/	CF10A	]]不是那,你考虑
123-2	/	CF10B	有些比如说牙刷[[。
124-2	*	CF10A	]]你考虑一下,咱们班男生比较多,你说,ϕ男生你不可能让他捐...。弄个头绳[h]
125	*	CF10B	那男生就,呃呃...
126	*	CF10A	男生,捐两双臭袜子。(hhhh)<hhh>
127-1	/	CF10B	但是我觉得文具的话他们更缺吧。你想想他们班,咱们班人,大学会用卡纸啊↑ 写字本啊↑ 橡皮擦啊↑ 你看刚刚,刚刚写作业的时候[[, ,
128-1	/	CF10A	]]但是<咱们可以> {<} , ,
127-2	/	CF10B	<多少人> {>} 拿橡皮擦和自动笔? [[
128-2	/	CF10A	]]直接去<那种文具文具文具> {<} , ,
127-3	*	CF10B	<所以他们必须要去...> {>} , ,
128-3	*	CF10A	<批发市场批发啊> {<} 。
129	*	CF10B	对呀,<批发市场自己买啊> {>} 。
130-1	/	CF10A	但是,批发,批发市场的话,咱们这个,还可以问一下那个,那个老板,可以[[, ,
131-1	/	CF10B	]]我觉得<尽量捐一些我们自己有> {<} , ,
130-2	*	CF10A	<我们可以进十然后让他赠一> {>} 。
131-2	*	CF10B	但是自己不用的东西吧。
132-1	/	CF10A	但是,像衣服咱们就不用啊,像衣服[[, ,
133	*	CF10B	]]对,衣服这种我觉得是肯定的,那像这种,<这两种我们可能会> {<} 。
132-2	*	CF10A	<衣服我觉得####> {>} ,但是总觉得日用品这附,这附,附近就像 [[。
134	*	CF10B	]]你是不是觉得它太奢侈了?
135	*	CF10A	<也不是太奢侈> {<} [[。
136	*	CF10B	]]<有可能有些人负担不起> {>} 。
137	*	CF10A	就是:<呃舌>确实,你想吧,这种洗发露最低价钱。那也得10块。

138	*	CF10B	不是,我们不买这种洗发露我们买那种,φ袋装的[^][[, ,
139	*	CF10A	]]就是
140-1	/	CF10B	就是那种挂在那种小卖部。<小卖部卖的,就是那种> {<} [[, ,
141	*	CF10A	]]<那种袋装的你的买多少啊?> {>}
140-2	*	CF10B	一袋一袋一袋的。
142	*	CF10A	我知道。但是你买多少?一袋一袋的,难不成,你一家给个一二十袋,那种那种的,好麻:烦:啊。那你得买多少条呀?
143	*	CF10B	咱们可以每每半年捐一次嘛。
144	*	CF10A	每半年捐一次↑
145	*	CF10B	对,咱们又不是只捐一次那种,长期小小的捐,其实我觉得不会影响到<我们的生活> {<}。
146	*	CF10A	小小的捐-> {>},那我觉得如果是真的要捐这个的话,不能用二手的=
147	*	CF10B	=因为我觉得这样的话[[。
148	*	CF10A	]]因为我觉得个人的那种,也也,如果是我的话,我我个人,是不可能用二手的,除了...除了梳子,其他的那种毛巾你说你擦过脸的那种。
149	*	CF10B	其实真的我觉得贫困他们不会想那么多,真的贫困的人,我们根本就没有接触到,你看那个《滨城际》里边的那些,他们住的那个房子。
150	*	CF10A	但是,我觉得,对他们最基本的那个尊重。
151-1	/	CF10B	我觉得这不算是尊重。那你衣服这种,那你衣服这种你确定他[[, ,
152-1	/	CF10A	]]不是,那衣服, ,
151-2	*	CF10B	要是真有洁癖的人我觉得衣服都不会穿的。
152-2	/	CF10A	<那衣服这种> {<} , ,
153	*	CF10B	<衣服肯定####> {>}。
152-3	*	CF10A	我也洗干净了这种。
154	*	CF10B	对呀,那那[[。
155	*	CF10A	]]那牙刷你刚刚在用二手的。=
156	*	CF10B	=不是,我不说二手,我就说,你比如说你买两支的时候,第2支肯定有的时候,用完之后就掉灰尘了,比如说,然后,但是你没有用过,但你自己就不想用了,你想再买1支嘛,买个新款牙刷,然后这个牙刷就浪费了。反正我之前,我们家是肯定有遇到这样的状况。还有就是,咱们肯定有去过宾馆吧(嗯),宾馆里总是有送那些牙膏牙刷很多的吧,反正我妈就是经常,多要几个然后带回家去,但是又不用就放在那,我觉得这些完全浪费了呀。那里面还自带牙膏,我觉得这就完全可以给他们。牙膏我觉得不算必需品,但是牙刷必须要,它可以清,它可以单单用清水刷,但总比没有牙刷好吧。
157	*	CF10A	用清水刷刷出来的肯定没有牙膏刷出来的好<笑着说>。
158	*	CF10B	那,那他可以,他们那边可能有自制的草药什么的,<两人都笑>,可以可以擦一擦。



159	*	CF10A	没有,你以为,你以为是那种土著人,<两人都笑>,还过这古代的生活呀,没有牙膏。
160-1	/	CF10B	我是觉得他们在清洁做的是挺差的。咱们,咱们,就捐献这种角度,一般大家都朝向他的学业方面或者生活方面,但是没有想到[[,
161	*	CF10A	]]但是...
160-2	*	CF10B	<卫生方面> {<}。
162	*	CF10A	<个人> {>} ,个人卫生方面,他们自己肯定也会注意的,你想想,那,他们现在最需要的,肯,咱们现在针对的是儿童,儿童最需要的就是教育。教育的话就是,你如果给他们那种好一点的呀,像那种爱读书那种,写写字呀那种,写字写得多的,像你,你不也写字写得多,然后笔墨纸,那个笔芯几天就没了,你不得多换几支→你知道以前那种人家他们写写字就是,这边用了还剩一点点,他们都能(啊)<有反过来> {<}。
163	*	CF10B	<反过来用> {>}。反过来,我小的时候就会这么用。倒着反着都会用(嗯)。我只觉得这个消耗太快,而且如果一旦[[
164-1	/	CF10A	]]不,<但是这价值> {<} ,,
165	*	CF10B	<咱们捐献的对象就是> {>} [[。
164-2	/	CF10A	]]但是但是咱们这个,成本低啊,也不是说成本低[[,
166	/	CF10B	]]<那咱们都要重新购买> {<}。
164-3	*	CF10A	<但是,它就> {>} 量大啊。咱们可以买的量大。因为这个的话咱们买的量不是很大,一个是因为它的价格嘛稍微那种中上以上的。但是咱们这个呢,咱们像这种本,书本呀,本子什么的,咱们几毛钱[[,
167	*	CF10B	]]那我觉得咱们可不可以这样,,
168	*	CF10A	批发的话就可以。
169	*	CF10B	把被子,把衣服去掉,把这个替换上来?
170	*	CF10A	衣服是必有的。
171	*	CF10B	不,我觉得,衣服政府方面,那些其他机构[[。
172	*	CF10A	=这倒也是哎。那咱们这样吧,这样,这样,这三样。
173	*	CF10B	这三个?
174	*	CF10A	嗯
175	*	CF10B	嗯,那就这三个吧。
176	*	CF10A	嗯。
177	*	CF10B	行,那先这三个吧。

